臺灣總督府

中央研究所農業部報告

第三十七輯

臺灣稻ノ育種學的研究

臺灣總督府中央研究所

昭和三年十二月

本報告ハ臺灣稻ノ分類及特性ニ關スル研究 水稻各形質間ノ相關現象ニ關スル研究 收量構成ノ特性的要素特ニ其二大要素タル分蘖穗重ト生育中ニ於テ之ヲ構成スル各種要素トノ相關研究 育種上及耕種上分蘖穗重昂進ニ關スル研究 育種上及耕種上產米ノ品質構成ニ關スル研究等ヲ登載セルモノニシテ當事者ノ參考ニ資センカ爲茲ニ印刷ニ附ス

昭和三年十一月

臺灣總督府中央研究所農業部長

農學博士 大島金太郎

臺灣總督府中央研究所 農業部報告 第三十七號

臺灣稻ノ育種學的研究 目次

第一編 緒 言…… 1
第二編 臺灣稻ノ分類…… 5
第一章 臺灣ニ於ケル稻ノ品種…… 5
第二章 栽培概要…… 29
1 第一期作…… 29
2 第二期作…… 29
3 中間作…… 30
4 陸 稻…… 30
第三章 調査標準…… 31
第四章 調査總括表
1 第一期作
2 第二期作
3 中間作
4 陸 稻
第五章 分類要項…… 35
第六章 分 類…… 47
1 第一期作
2 第二期作
3 中間作
4 陸 稻
第三編 臺灣稻ノ特性…… 49
第一章 水稻種並ニ陸稻種…… 49
第二章 期作種…… 49
1 期作ト作付法…… 50
2 期作種ノ特性…… 51
3 陸稻ノ特性…… 64
4 共通種ノ特性…… 65
第三章 粳種並ニ糯種…… 66

1 粳米ノ代表的品種竝ニ其特性…… 66
2 糯米ノ代表的品種竝ニ其特性…… 71
第四章 生育日數…… 75
1 各期作ノ生育日數…… 75
2 品種ト熟期ノ早晩…… 76
第五章 葉…… 78
1 葉ノ形態…… 78
2 葉ノ長サ,幅竝ニ色…… 78
第六章 稈…… 81
1 稈ノ性狀…… 81
2 稈長…… 81
3 分蘖ノ性狀…… 83
4 分蘖數…… 84
5 伸長性…… 85
6 分蘖性…… 92
7 稈長ノ遺傳…… 99
8 分蘖ノ遺傳……100
9 稈色ノ遺傳……101
第七章 花……102
1 花ノ形態……102
2 開花ノ狀態……103
3 開花時刻竝ニ開花時間ノ長短……103
4 開花日數……106
5 開花順序……107
第八章 芒……108
1 芒ノ性狀……108
2 芒ノ遺傳……109
3 芒ノ變異……110
第九章 稃……111
1 稃ノ性狀……111
2 稃色ト他ノ形質トノ關係……111
3 稃色ノ遺傳……112

第十章　穗……115
1　穗ノ性狀……115
2　出穗時間……121
3　出穗ノ整否……125
4　出穗順序……126
5　出穗期ノ遺傳……130
6　穗長ノ遺傳……133
第十一章　子　實……134
1　籾及玄米ノ性狀……134
2　籾ノ乾燥ト其水分トノ關係……138
3　籾ノ乾燥ト其重量トノ關係……143
4　籾ノ乾燥ト籾摺歩合トノ關係……145
5　籾ノ乾燥ト玄米ノ乾燥トノ關係……146
6　籾ノ適熟ト籾摺歩合トノ關係……146
7　籾ノ乾燥ト貯藏中ニ於ケル籾重量ノ變化トノ關係……147
8　籾ノ乾燥度ト其玄米貯藏中ニ於ケル重量ノ變化トノ關係……153
9　籾ノ乾燥ト其玄米貯藏中ニ於ケル品質ノ變化トノ關係……156
10　籾摺時期ト其玄米貯藏中ニ於ケル重量、含水率、容重ノ變化トノ關係……163
11　籾摺時期ト其玄米貯藏中ニ於ケル品質變化トノ關係……174
12　玄米ノ大サ竝ニ形狀……176
13　玄米ノ大サ竝ニ形狀ノ遺傳……182
14　不稔性ノ遺傳……185
15　脫粒性ノ遺傳……188
16　玄米形狀ノ變異……189
第十二章　玄米ノ品質……197
1　玄米品質ノ意義……197
2　臺灣稻ノ品質上ニ於ケル缺點……198

3 玄米ノ形狀……198
4 稃 破……199
5 腹 白……209
6 剛 性……211
7 搗 減……215
8 色 澤……217
9 臺灣米素質改良ノ要點……217
第十三章 玄米收量……218
1 甲當玄米收量……218
2 甲當收量過少ノ原因……218
3 分類上ヨリ見タル玄米收量ノ改良ノ要點……220
第十四章 藁收量……224
第四編 各形質間ノ相關現象……225
第一章 第一回相關現象調査……230
1 調査品種……230
2 調査項目……230
3 調査方法……231
4 相關係數……233
5 相關々係表……242
第二章 第二回相關現象調査……245
1 調査品種……246
2 調査項目……246
3 調査方法……246
4 相關係數……247
5 相關々係表……247
第三章 相關々係綜合……248
第五編 臺灣稻ノ收量構成ニ關スル研究……255
第一章 子實收量ト他形質トノ相關係數……255
第二章 系統分離試驗實蹟ニ據ル子實收量ト他形質トノ關係……255
1 第一期作……256
2 第二期作……261

第六編　臺灣稻ノ分蘖構成ニ關スル研究……268
第一章　分蘖ト有效分蘖トノ關係……268
第二章　分蘖ノ早晩ト生育期間ノ長短……269
第三章　分蘖ノ早晩ト有效分蘖トノ關係……271
第四章　分蘖ト草丈トノ關係……274
第五章　分蘖ノ齊否ト出穗ノ齊否トノ關係……275
第六章　各章摘要……277
第七編　穗重性構成ニ關スル研究……278
第一章　穗重ヲ形成スヘキ形質……278
第二章　生育日數ト草丈トノ關係……278
第三章　生育日數ト穗長トノ關係……280
第四章　分蘖ノ早晩ト草丈トノ關係……283
第五章　草丈ト穗重トノ關係……285
第六章　出穗ノ齊否ト穗重トノ關係……287
第七章　分蘖ノ早晩ト一株穗重トノ關係……288
第八章　草丈ト子實重量トノ關係……288
第九章　各章摘要……291
第八編　育種並ニ耕種上ヨリ分蘖及穗重昂進ノ研究……292
第一章　育種上ニ於ケル分蘖及穗重ノ昂進……292
第二章　耕種上ニ於ケル分蘖及穗重ノ昂進……293
1　苗ノ性質ト分蘖及穗重トノ關係……293
2　苗ノ大小ト分蘖及穗重トノ關係……301
3　分蘖苗非分蘖苗ト分蘖及穗重トノ關係……302
4　植付株間距離ト分蘖及穗重トノ關係……304
5　耕耘肥培ト分蘖及穗重トノ關係……305
第九編　臺灣稻ノ品質構成ニ關スル研究……306
第一章　品質構成ノ原因……306
摘　要……308

分類ニ關スル調査表

第九表　各年ニ於ケル系統別稃色調査表
第十表　各年ニ於ケル系統別芒ノ有無長短調査表
第十一表　各年ニ於ケル系統別玄米大小調査表
第十二表　各年ニ於ケル系統別玄米形狀調査表
第十三表　各年ニ於ケル系統別稈長調査表
第十四表　各年ニ於ケル系統別分蘖調査表
第十五表　各年ニ於ケル系統別穗長調査表
第十六表　各年ニ於ケル系統別一寸間粒數調査表
第十七表　各年ニ於ケル系統別出穗期日調査表

備考　本表ハ各品種ノ系統分離ヲ行ヒシモノニ就キ2箇年ノ調査成績ニシテ之ニ依リテ一品種内ニ於ケル系統間ノ差異竝ニ栽培年次ヲ異ニスル爲ニ起ル形質變異狀況ノ一斑ヲ窺フコトヲ得ヘシ

臺灣稻ノ育種學的研究

技師　磯　永吉

第一編　緒言

臺灣ニ於ケル稻作ハ其從業者數耕作面積生產價額等何レノ點ヨリ觀察スルモ最モ重要ナル意義ヲ有ス蓋シ其消長ハ直接ニ島民ノ經濟ヲ左右スルノミナラス惹イテハ民情文化等ニ及ホス影響亦カラサルヲ以テナリ　サレハ總督府ニ於テハ領臺以來稻作ノ改良ニ就テ特ニ意ヲ注キ　耕作改善ニ關シテハ農事試驗場ヲ設置シテ耕種學上ノ試驗ヲ行ハシメ進ンテ之カ成績ノ利用ヲ奬勵シ　產米ノ改良ニ對シテハ地方廳農會ヲシテ米種改良事業ヲ遂行セシメ或ハ水利ヲ便ニシテ栽培上ノ能率ヲ高メ　耕作ノ普及ニ關シテハ水利ヲ開キ耕地ノ擴張ヲ圖ル等終始一貫稻米ノ增收ト品質ノ向上ヲ促スコトニ努メツヽアリ　爲ニ惡質ノ稱アリシ島米モ大ニ面目ヲ改メ今ヤ內地消費米トシテ年々二百萬石ノ移出ヲ見ルニ至リ本邦食糧政策上貢獻セシ所亦カラス

惟フニ當局ノ此方針ハ特別ノ事情ノ突發セサル限リ今後ニ於テモ毫モ更ルコトナカルヘク否寧ロ世界ヲ擧ケテ食糧問題ニ脅カサレツツアルノ秋ニ際シ益々進展ヲ期スヘキヤ疑ヲ容レサル所ナリ　斯カル事情ニ於テ栽培學上將來如何ナル方針ニ據テ研究ヲ續行スヘキ哉ハ重大ナル問題ト謂ハサルヘカラス

凡ソ農事ノ試驗研究ハ天候ニ支配セラルヽヲ以テ確實ノ成績ヲ擧クルニ長年ノ日子ヲ要ス　特ニ程度幼稚ナル時期ニ於テハ稍急速ノ成績ヲ擧ケ得ヘキモ或限度以上ノ進步ハ極メテ難事ニ屬シ之カ效果ヲ見ルノ日又同日ノ談ニ非サルナリ　此點ニ於テ現今臺灣ニ於ケル稻作ノ研究ハ須ク科學ニ基礎ヲ置キ組織的ナラサル可カラス　而シテ先ツ稻品種ノ特性ヲ調査シ進ンテ各形質カ總テノ外界ノ情況ニ對スル關係ヲ闡明スルハ研究ノ基礎タルヘキモノニシテ之ニ據テ初メ

テ各種ノ天候土質ノ下ニ耕種肥培ノ效果ヲ擧ケ得ヘク病害蟲ノ防除又自ラ道ヲ生スヘシ

本研究ハ敍上ノ見地ニ基キ現今栽培セラルヽ臺灣稻ノ實用的分類ヲ行ヒテ農業者ノ參考ニ資シ又如何ナル形質ノ增進低下カ直接稻米ノ收量品質ニ影響ヲ及ホスヘキヤニ就キ之カ解釋ヲ生物測定學的研究竝ニ育種實際ノ結果ニ需メ進ンテ之カ方法手段ノ育種學的研究ヲ行ヒ併セテ之ト耕種肥培トノ連絡ヲ考究シ又現在ノ品種分布ト氣象トノ關係ヲ考究シ新品種栽培ノ將來ニ備ヘ育種栽培兩學上ノ資料ヲ學者竝ニ當業者ニ提供セントスルニアリ

若シ夫レ領臺以來臺灣稻試驗研究ノ主ナルモノハ試驗ニ關シテハ中央研究所農業部(元總督府農事試驗場)及各地方廳農會ニ於テ行ハレ就中成績ノ發表セラレタル事項ハ前者ニアリテハ

1.品種試驗(北中南部別)[1] 2.播種期對挿秧期試驗(本島種及內地種) 3.株間對苗本數試驗(本島種 內地種) 4.壓稻試驗 5.耕鋤深淺試驗 6.肥料用量試驗 7.厩肥取扱試驗 8.畑苗水田苗比較試驗 9.播種量試驗 10.三要素試驗 11.三要素適量試驗 12.燐酸肥料比較試驗 13.窒素肥料比較試驗 14.人糞尿施用期試驗 15.過燐酸石灰施用期試驗 16.耕種法比較試驗 17.小柳津農法試驗 18.調製及精米試驗 19.稻ト風土トノ關係試驗 20.綠肥肥效試驗 21.肥料用量試驗(內地種) 22.苗假植試驗 23.品種ト旱害トノ關係試驗 24.水稻[2]第二期作ノ自然交雜ニ關スル試驗(以上同部種藝科員諸氏) 後者ニアリテハ 1.水稻育種[3] 2.土糞[4]ニ關スル試驗 3.米蕉輪作試驗[5](臺中州農會試驗場農藝部員諸氏) 等ニシテ其[6]他ハ以上ノ項目ト大差ナキヲ以テ之ヲ省ク

調査研究ニ關シテハ各地方別稻作法島田彌市[7]氏、稻ノ害蟲素木得一[8]、新渡戸稻雄、牧茂一郎ノ三氏、稻ノ病害ニ關シテハ川上滋彌[9]、澤田兼吉兩氏、天候ト稻作トノ關係竝ニ窒素及燐酸肥料ト稻作トノ關係鈴木眞吉[10]氏、臺灣米ノ性狀片山徹吉[11]氏、糯米ノ糠化鈴田巖[12]氏、稻ノ子實ノ脫落竹內叔雄[13]氏、臺灣米ノ消化率島津良能[14]氏等ノ研究アリ臺灣稻ノ改良上稗益セシ所尠カラス 予[15]ハ曩ニ特性調査ノ結果ニ基キ臺灣稻ノ分類ヲ行ヒ大正八年豫報スル所アリシカ今其後ノ研究ニヨリテ之ヲ增補シ更ニ特性ニ關スル新ナル研究ヲ加ヘタルモノ卽チ本報告ナリトス

著者ハ上述見解ノ下ニ研究ヲ施行セシモノナルカ故其細目ニ至リテハ他日ノ發表ニ讓レルモノアリ　例ヘハ遺傳現象ノ說明ハ育種栽培ノ實際ニ應用シ得ル程度ニ止メ純分析的ニハ必スシモ之ヲ盡サス是レ本研究ノ主要目的ニ非サレハナリ

本報告第一編ヨリ第三編ハ可成敍述的記載ヲナセルモ第四編以後ハ相關係數ノ表示ニ據リテ說明シ敍述ハ極メテ簡單ヲ期セリ　是レ係數其者カ既ニ有力ナル說明語ナレハナリ　然レトモ是等ハ第一編ヨリ第三編ニ至ル記述ト對照考慮シテ初メテ意義アルモノアリ

本報告ハ臺灣稻ノ研究ト稱スルモ第一編ヨリ第三編ニ至ル間ノ或部分,第四編以後ノ研究結論ハ又稻一般ニ通スヘシ　臺灣ニ於ケル內地種栽培法解決ノ如キハ其應用ノ好例ナリ

本報告中ニ使用ノ度量衡單位ハ各測定性質ニ就テハ各々一定統一スト雖モ全性質ヲ通シテハ必スシモ齊一ナラス　尺貫法ト米突法トヲ混用セリ　是等ハ本研究開始當時本邦一般ニ認容使用セラレシモノニシテ現今尙其觀念ニヨリ統一セラル　本研究ノ如ク永年續行多岐ニ亙レル研究結果ヲ比較對照スルニ換算ハ却ツテ實觀念ニ遠カリ判斷ノ誤謬ヲ多カラシムルヲ以テ敢テ一率米突法ニ準據セサルコトトセリ

本研究ハ著者カ臺中廳農會試驗場(現在ノ臺中州立農事試驗場)臺灣總督府中央研究所農業部　同中央研究所嘉義農事試驗支所在職中ニ行ヒタルモノニシテ本研究遂行ニ際シテハ臺中廳農會試驗場ニ於テハ末永仁氏,西口逸馬氏其他場員諸氏,　中央研究所農業部ニ於テハ月原德逸氏,畠山等氏,　中央研究所嘉義農事試驗支所ニ於テハ森山栖次郎氏ノ協力ニ俟ツ所尠カラス　尙中央研究所農業部長大島金太郎氏ハ常ニ激勵ト便宜ヲ與ヘラレ北海道帝國大學敎授南鷹次郎氏ノ激勵ニ負フ所亦尠カラス特ニ同大學敎授明峰正夫氏ハ本文ノ起稿ニ當リ終始懇篤ナル指導ヲ與ヘラレタリ　玆ニ是等ノ諸氏ニ對シ深甚ノ謝意ヲ表ス

(1) 臺灣總督府農事試驗場農事試驗成績
第一報(明治三十七年)乃至第十一報(大正五年)
(2) 鈴田巖、戸村忠平:— 水稻ノ自然交雜ニ就テ
臺灣農事報第一八四號 (大正十一年)
(3) 磯永吉、末永仁及其他:— 稻育種事業
第一輯(大正五年)乃至第四輯(大正八年)臺中廳農會
(4) (5) (6)
臺中廳農會報 第一號乃至第十二號
臺中州農會農事試驗年報 大正十年度乃至大正十一年度
臺中州立農事試驗場農事試驗年報 大正十二年度乃至大正十四年度
(7) 島田彌市:— 臺灣重要農作物調査 (明治三十九年)
(8) 素木得一、其他:— 臺灣ノ害蟲ニ關スル調査
臺灣總督府農事試驗場特別報告第一號(明治四十三年)
一般害蟲ニ關スル調査
臺灣總督府農事試驗場特別報告第八號(大正二年)
一點大蚜蟲ニ關スル研究
臺灣總督府農事試驗場特別報告第十五號(大正六年)
(9) 川上瀧彌:— 臺灣農作物病害目錄(明治四十一年)
澤田兼吉:— 稻苗腐敗病調査
臺灣總督府農事試驗場特別報告第三號(明治四十五年)
稻「イモチ」病菌論
臺灣總督府農事試驗場特別報告第十六號(大正六年)
稻馬鹿苗病ニ就テ(大正六年)
稻馬鹿苗病ノ豫防ニ就テ(豫報)
臺灣總督府中央研究所農業部彙報第二十一號(大正十三年)
(10) 鈴木眞吉:— 臺灣產水稻ノ研究(一)
臺灣總督府農事試驗場特別報告第十號(大正四年)
(11) 片山徹吉:— 臺灣米ト內地米トノ比較研究
臺灣總督府研究所報告第四回(大正四年)
(12) 鈴田巖、三瀨榮次:— 糯米ノ糖化ニ就テ
臺灣農事報第百九十二號(大正十一年)
(13) 竹內叔雄:— 水稻子實脫落ニ關スル調査報告
臺灣總督府中央研究所農業部報告第八號(大正十二年)
(14) 島津良能、古賀藤次郎:— 臺灣米ノ消化ニ就テ
臺灣醫學會雜誌第二百二十四號(大正十一年)
(15) 磯永吉:— 臺灣稻之分類 臺中廳農會(大正八年)

第二編　臺灣稻ノ分類

第一章　臺灣ニ於ケル稻ノ品種

本島ニ於ケル稻ノ品種數ハ之ヲ米種改良事業施行ノ前後ニ分チテ論スルヲ至當トスヘシ　卽チ元各廳農會ハ當局ノ方針ニ基キ明治三十九年以降(阿緱ハ明治三十九年度　臺中ハ明治四十三年度　臺南、嘉義、南投ハ明治四十四年度　宜蘭、新竹ハ大正元年度　臺北、桃園ハ大正二年度)米種改良事業ニ著手シ在來栽培セル稻ノ品種ヲ調査スルト共ニ其栽培品種ヲ優良ナル若干數ニ限定シタリ　本島ニ於ケル栽培品種ノ確實ニ明トナレルハ實ニ此以後ニ屬スヘシ　第一表ハ卽チ元各廳ノ米種改良事業著手當時ニ於ケル基本調査ノ結果竝ニ限定セラレタル品種ノ廳別數ニシテ之カ總數ハ在來種ニアリテハ1,679品種ニシテ限定品種ハ547ヲ算スヘシ

第一表　廳別在來品種竝ニ限定品種數

廳		總數			第一期作			第二期作			中間作			陸稻		
		計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯
在來品種	總數	1679	1201	478	586	417	169	822	598	224	84	58	26	187	128	59
	臺北	196	148	84	70	46	24	121	97	24	.....	.....	.....	5	5	.....
	宜蘭	87	75	12	23	18	5	59	54	5	.....	.....	.....	5	3	2
	桃園	91	71	20	42	31	11	49	40	9	.....	.....	.....	.....	.....	.....
	新竹	261	169	92	100	71	29	138	88	50	.....	.....	.....	23	10	13
	南投	164	120	44	57	44	13	65	46	19	.....	.....	.....	42	30	12
	臺中	242	163	79	121	90	31	117	69	48	.....	.....	.....	4	4	.....
	嘉義	235	161	74	55	39	16	78	50	28	54	34	20	48	38	10
	臺南	132	108	24	17	12	5	76	63	13	30	24	6	9	9	.....
	阿緱	162	132	30	53	42	11	88	71	17	.....	.....	.....	21	19	2
	臺東	26	18	8	13	8	5	8	7	1	.....	.....	.....	5	3	2
	花蓮港	83	36	47	35	16	19	23	13	10	.....	.....	.....	25	7	18
限定品種	總數	547	391	156	208	149	59	221	165	56	31	27	4	86	49	37
	臺北	24	17	7	13	8	5	10	8	2	.....	.....	.....	1	1	.....
	宜蘭	26	20	6	11	8	3	12	11	1	.....	.....	.....	3	1	2
	桃園	33	23	10	19	13	6	14	10	4	.....	.....	.....	.....	.....	.....
	新竹	87	58	29	29	21	8	35	27	8	.....	.....	.....	23	10	13

廳		總數			第一期作			第二期作			中間作			陸稻		
		計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯
限定品種	南投	54	37	17	20	15	5	24	14	10	……	……	……	10	8	2
	臺中	55	45	10	25	22	3	26	19	7	……	……	……	4	4	……
	嘉義	67	57	10	15	13	2	27	21	6	17	15	2	7	7	……
	臺南	55	44	11	11	8	3	26	20	6	14	12	2	4	4	……
	阿緱	37	36	1	17	17	……	16	15	1	……	……	……	4	4	……
	臺東	26	18	8	13	8	5	8	7	1	……	……	……	5	3	2
	花蓮港	83	36	47	35	16	19	23	13	10	……	……	……	25	7	18

備考

I. 大正十年地方行政區域ノ改正アリ五州二廳(臺北州、新竹州、臺中州、臺南州、高雄州、臺東廳、花蓮港廳)ニ區分セラレシモ本調査ハ右改正前ノモノニシテ又米種改良事業カ舊制度ノ際與サレタルモノナルヲ以テ之ヲ援用スルコトヽナシタリ

舊制ト新制ノ區域ノ分合ハ次ノ如シ　臺北州(臺北廳、宜蘭廳)　新竹州(新竹廳、桃園廳)　臺中州(臺中廳、南投廳)　臺南州(嘉義廳、臺南廳ノ一部)　高雄州(臺南廳ノ一部、阿緱廳、澎湖廳)

II. 本表ハ各廳ノ米種改良事業經營並ニ特ニ各廳農會ニ照會シタル回答ヲ基礎トシテ調製シタリ

III. 在來品種數ハ各廳農會ニ於テ施行シタル第一次米種改良事業基本調査ノ結果ナリト雖モ其際栽培品種トシテ計上セサルモノニシテ現存セル品種(限定品種トシテ)ヲ包含セリ又普通ノ異字同音ノ品種ハ同品種ト認メ合一計上シタリ例ヘハ　尖＝占＝粘(烏尖、烏粘ノ如シ)菁＝青、蛋＝卵、低＝矮、猫＝貓、仔＝仔ヲ附セサルモノ　干＝官＝旱、眞＝秦、蠶＝牛＝蛾、鎚＝錘、娘＝粮、陀＝狆、青＝清、桃＝陶＝蔦等ノ如シ隨テ第一表ニ於ケル各廳品種ノ計數ト稍異レリ

IV. 臺東、花蓮港、澎湖ノ3廳ハ米種改良事業ヲ施行セス又桃園、新竹、臺中ノ各廳ハ陸稻ニ就キ施行セス仍テ現存品種ヲ以テ限定品種ニ代用シタリ

V. 臺東廳、花蓮港廳ヲ除クノ外ハ第一次4箇年繼續米種改良事業施行結了後引續キ第二次第三次事業ヲ施行セリ

VI. 各廳ノ報告ニハ淦仔種破仔種ハ別途計上セルモ本表ニテハ便宜上第二期作ニ合算シタリ是レ淦仔種破仔種ハ第二期作ノ變形ナレハナリ又陸稻ノ一、二期作ハ水稻ノ夫レト趣ヲ異ニシ完全ナル2回作ヲ行フモノニ非スシテ播種ノ早晩ニヨリテ分チタルモノナレハ第一期作及第二期作ニ分類セス　舊嘉義廳下ノ

中間作陸稻ハ中間作水稻ト陸稻ニ別チテ計上セリ

VII 以上 I 乃至 VI ハ本報告ノ各表ニ對シ適用スヘキモノトス

然リト雖モ前表品種數ハ本島ニ於ケル稻ノ總品種數ヲ論スルニハ當ヲ得タルモノニ非ス　如何トナレハ此數ハ廳別品種ノ合計ナレハ同一品種ニシテ數廳ニ跨ルモノ尠カラサレハナリ　而シテ是等數廳ニ亙リテ栽培セラルヽ品種ヲ統一シテ總數ヲ需ムレハ第二表ニ示スカ如ク在來品種1,197限定品種390ノ結果ヲ得ヘシ　而シテ之カ地方別在來品種及限定品種名ハ第三表ニ示セリ　素ヨリ同名稱ノ品種ニシテ分布地域ヲ異ニスルカタメ全ク別品種ナル場合モ尠カラサルヘク跨カレル品種ノ統一モ此點ニ對シ聊カ不備ノ嫌ナキニ非サル可シト雖モ品種別特性ノ瞭ナラサル際ニ於テハ又止ムヲ得サル處置ト謂ハサル可カラス

第二表　臺灣稻在來品種竝ニ限定品種數

要項	品種數														
	總數			第一期作			第二期作			中間作			陸稻		
	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯	計	粳	糯
限定品種	390	283	107	131	97	34	154	120	34	29	5	4	76	41	35
在來品種	1.197	882	315	382	279	103	580	444	136	80	55	25	155	104	51

要之米種改良事業ノ結果各廳別ニ就テハ著シク其品種數ヲ減セリト雖モ本島全體ヨリ見ルトキハ未タ必スシモ然ラサルカ如シ　是等品種カ果シテ個々別々ノ特性ヲ有セルモノナル哉　將タ或程度迄ノ分異合同ヲ行ヒ得ヘキモノナル哉ハ宜シク分類ノ結果ニ俟タサル可カラサルナリ

吾人ハ敍上ノ問題ヲ決定センカ爲品種ノ特性ヲ調査シ併セテ稻育種事業遂行ノ資料タラシメン事ヲ期シタリ　而シテ其調査ス可キ品種數ノ多少ハ臺灣稻ノ分類トシテノ價値ニ影響ヲ及ホスコト尠カラサルヲ以テ可成現在品種ノ全部ヲ網羅センコトニ努メ各廳農會ニ依囑シテ之ヲ蒐集シ420種ヲ得タリ　本島ニ於ケル廳別限定品種數ハ第

一表ニヨリ547ナリト雖モ限定後消滅シタルモノ、異名同種ノ判明シタルタメ一方ノ品種名ヲ削除シタルモノ等アリ 420ハ大體ニ於テ現存品種ヲ網羅セルモノト認メ得ヘシ

第三表 廳別在來品種並ニ限定品種名

○ハ限定品種
×ハ限定ノ結果淘汰セラレタル品種

第一期作水稻

廳	員粒仔	弄獅	鄭瑣	老任	鏡蟻張	半高低花蟻	白殼花蟻	半高低烏殼	半高低柳洲	白尾愈	白殼軟枝	參仔粒	白米粉	白殼耳	白米匏	白殼舊	白殼仔	半天仔	半高低烏尖	晚大花
臺北	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
宜蘭	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−	−
桃園	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−	−
新竹	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	○	○	−	−	−	○	−
南投	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	−	−
臺中	×	×	×	×	−	−	×	−	−	−	−	−	○	×	−	○	○	○	×	○
嘉義	×	−	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	○	−	−
臺南	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
阿緱	○	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−
臺東	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−
花蓮港	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−

廳	白殼清流	白殼清油	白尾	白腹花蟻	白尾條仔	白米潤種	白脚清油	白脚花蟻	白高矮軟枝	烏占白米清油	白殼花蟻	白米烏粘	蕃澳	蕃糯	白舊	白米温仔	白尾倫	白尾伸	白紋	白葉
臺北	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
宜蘭	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	−
桃園	−	−	−	×	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
新竹	−	−	−	−	−	×	×	×	×	×	×	×	−	−	−	−	−	−	−	−
南投	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	−	−	−	−	−	−
臺中	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	×	×	−	−
嘉義	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
臺南	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
阿緱	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×
臺東	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
花蓮港	−	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

廳	白袖	白殼双冬	白葉烏殼	二烏烏殼	二花烏占	二花仔	二花花蠟	二花烏殼	胞粟花蠟	埔占	包心菊	糯稿	斗六	中脚花蠟	中烏殼	中脚烏殼	中花蠟	長脚花蠟	竹筒溟	長花蠟
臺北	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
南投	—	—	○	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	烏咬	竹絲花蠟	烏咬來	選紅脚	柳洲	兩脚烏占	柳樹	汚葉仔	朽藻	矮仔種	矮仔花	矮脚清油	下脚柳洲	下脚花蠟	下脚烏尖	下脚大花	鷲蛋尖	下脚格仔	過尖花
臺北	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	×	—
南投	—	—	—	—	×	—	×	—	×	—	×	—	—	—	—	—	○	—	×
臺中	—	—	—	—	○	—	—	×	—	—	—	×	—	×	○	×	—	—	—
嘉義	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—

廳	下脚仔	岸仔	仔下脚烏殼耳	下脚白殼	幼紋花蠟	幼葉烏占	幼稿烏占	幼仔烏占	幼稿烏殼	短廣花蠟	大烏殼	大花	打鐵崙	大烏	大粒清油	大有種	短脚花蠟	大花烏粘	大早	短花蠟
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	×	—	×	×	—
南投	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	×
臺中	—	—	×	×	○	—	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—
嘉義	×	×	—	—	—	○	○	—	×	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	○	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	大花烏殼	大果烏占	大耳婆	大糯	大粒	早大花	早種	早清油	粗糯烏殼	粗葉烏尖	早烏占	尤仔變	遲興	米仔舊	軟枝烏殼	中村	軟枝赤殼	南路早	軟枝烏尖	軟枝大花
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	×	—	—	—
宜蘭	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—
南投	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	×	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	×
嘉義	×	×	—	—	—	○	—	—	×	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	○	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	檳仔仙	檳仔	軟枝花蝶	內港	滿四仔	軟枝	軟菁	內大烏	內地種	揚稻	落忍	落糯	烏殼花蝶	烏殼柳洲	烏殼軟仔	烏種	烏尖	烏殼	烏殼耳	烏殼大花
臺北	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	×	×	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	×	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	×	—	—	—	○	×	—	—
南投	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	—	○	—	—	—	×	○	—	×
臺中	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	○	×	×	—	—	—	○	○	○	×
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—
臺南	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
阿緱	○	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
花蓮港	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—

廳	烏花仔	烏殼清油	烏粒	烏殼白葉	烏遠	烏殼双冬	花蝶	火燒烏尖	花肚	火燒烏殼	火燒葉	九十日	火燒仔	花殼	花蝶小粒	火燒軟枝烏占	花羅々	滿田贊	滿田串	浸種
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	○	○	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	×	—
南投	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	×	—	—	—	—	—	×	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
臺南	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	○	○	○	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	×
臺東	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—

廳	硯仔	鈕種	月桃包	武鞭	硬尾花蠟	高脚烏殼	高脚柳洲	紅皮花蠟	高脚花蠟	紅米(紅)	高脚烏尖	硬尾	紅脚烏尖	玉脚齊	紅脚大花	高脚白殼	紅脚赤殼大花	高脚大花	高脚赤殼	紅脚清流
臺北	—	—	—	—	○	×	×	×	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	×	×	×	×	—	—	—	—	○	—	○	—	○	×	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	○	—	—	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	×	—	—	—	—	—	×	—	○	—	○	—	—	○	○	×	○	×	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	×	—	—	—	—	—	○
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	紅脚反	紅脚	紅目	紅脚變	虎皮花	硬尾烏殼	高脚軟枝花蠟	紅殼花蠟	紅米鈕(紅)	紅米油(紅)	紅脚清油	高脚油	紅脚花蠟	紅脚烏殼	高脚耳仔	後粟仔	紅脚早	高脚烏耳仔	高脚清油	後山
臺北	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
桃園	—	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—
臺南	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	×	○	○	○	○	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	陣毬	紅爪	廉漂	圓紋	永種	低脚花蠟	低脚柳洲	低脚烏殼	低脚赤殼	低脚烏尖	低脚	低脚清油	低脚短壅花蠟	低脚烏殼花蠟	低脚早	田鐵	店葉仔	田串	山栗仔	齊仔
臺北	—	—	—	—	—	○	×	×	×	×	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	×	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	×
新竹	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×
南投	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺中	—	—	—	—	—	○	×	—	—	×	×	×	—	—	×	×	×	×	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	三粹	澄仔	三抔	牛紅早	蠟公包	金精	牛逢牛	弓箭	密粒	小烏殼	正烏粘	新種	臭稿耳	四天金烏粘	潤種	耳種	上港種	正清油	上光烏	潤種齊
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	○	○	—	×	—	—	—	○	—	—	×	×	×	×	×	×	×
南投	—	—	—	—	—	○	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	×	—	—	×	—	—	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	×	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	四天金	小花蠟	新蛩	新烏粒	七十日早種	尾張	目節	赤殼烏殼	赤殼二烏	清油	青脚清油	赤殼花蠟	菁心仔	赤殼	清流	接仔	赤骨	赤骨花蠟	赤骨清流	青葉
臺北	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	×	—	×	×	—	×	×	×	—
宜蘭	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	×	—	×	—	—	○	—	×	—	—	—	—	×	—	—	×
新竹	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—
臺中	×	×	—	—	—	—	—	—	—	○	—	×	○	×	×	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—

廳	青花	青葉烏粘	青脚花蠟	赤骨清油	青稿烏粘	青脚烏粘	赤殼烏粘	清油烏粘	赤殼花蠟	青粳	占葉烏殼	菁稿	赤殼耳	赤脚大花	赤脚花蠟	赤殼清油	水瀨	水張	水龍	水軟
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	×	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	員粳	員紋	隱葉	娘花	老鼠牙	老仔	芝花	白	白殼	馬尾西	馬福	白殼芒花	蕃種	白蕃種	白殼竹絲	晚	白米	白學	烏篤	馬尾
	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳	粳
臺北	—	×	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	×	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	白脚赤殼粳	晚蓼粳	反尖粳	日木粳	芒花粳	埔尖粳	埔社粳	埔花粳	防風粳	德國粳	竹絲粳	長山粳	頂港圓粳	柳洲粳	林樸粳	林禾粳	林胡粳	矮脚粳	早芒花粳	改頁粳
臺北	—	—	—	○	○	—	—	—	—	×	○	—	—	×	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	○	○	—	×	×	—	—	—	×	—	—	×	×	—	○	—	—
南投	×	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
臺中	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	○	—	×	—	—	—	×	—	×	—
嘉義	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	喊春粳	蠶張粳	官眞粳	葉下桃粳	葉下粳	大粳	大粒粳	大昂粳	大青稿粳	大脚婆粳	大脚蒲粳	淡水花蠟粳	東脚粳	双冬粳	綜蓑粳	双耳粳	双氣粳	早粳	鼠牙粳	早蓼粳
臺北	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—
南投	—	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
臺中	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	×	×	—	×	—	—	—	—	×	×
嘉義	—	○	—	—	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—

廳	掃帚	帚	軟枝	南路	夢花	烏尖	烏殼	大雲蛋	牛蛋	火燒	風甚	紅殼	紅脚	虎皮	高脚竹絲	紅脚早	紅稿雲蛋	圓粒	英國	テンピ
臺北	−	−	−	−	−	×	×	−	−	−	−	×	×	×	×	−	−	−	×	×
宜蘭	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
桃園	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−
新竹	−	−	−	×	−	×	−	−	−	−	−	○	○	−	−	−	−	−	−	−
南投	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	○	−	×	−	−	×	−	−	−	−
臺中	×	−	−	−	×	×	−	−	×	×	−	−	○	−	−	−	−	−	−	−
嘉義	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−
臺南	−	−	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
阿緱	−	×	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−
臺東	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
花蓮港	−	−	−	−	−	○	−	○	−	−	−	○	−	−	−	−	−	○	−	−

廳	低脚花蟲	店空細	細粒	細	金包銀	卵	鈕花	正頭雲卵	針仔	遲羅	上港	十八瓦	小	赤殼	占仔	菁稿	青四	青菓	菁花	菁稿雲蛋
臺北	×	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−
宜蘭	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−
桃園	−	−	−	−	○	−	−	−	−	×	−	−	−	×	−	−	−	−	×	−
新竹	−	−	×	−	−	−	○	−	−	−	×	−	−	×	−	−	×	×	−	−
南投	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	−	×	−	−	−	−	−	−
臺中	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−	×	−	−	−	−	×
嘉義	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	×	−	×	−	×	−	×	−	−
臺南	−	○	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
阿緱	−	−	−	×	−	−	−	−	×	−	−	−	×	−	−	−	−	−	−	−
臺東	−	−	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
花蓮港	−	−	−	−	−	○	−	−	○	−	−	−	−	○	○	○	−	−	−	−

廳	尖	樂瑞	水蛋谷
臺北	−	−	−
宜蘭	−	−	−
桃園	−	−	−
新竹	−	−	−
南投	−	−	−
臺中	×	−	−
嘉義	−	−	−
臺南	−	−	−
阿緱	−	×	×
臺東	−	−	−
花蓮港	−	−	−

第二期作水稻

廳	貝粒	貝葉	允仔谷	貝粒埔占	貝粒金鍬	貝粒尖	老緩	白穀金鍬	白鱗	白米金鍬	晚三抔	晚清油	晚仔	白占	白穀紅脚蔓	白脚清流	白穀貝粒	蕃仔	白稻	白米允
臺北	—	—	—	—	×	—	—	○	×	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—
宜蘭	×	—	—	—	—	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
桃園	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	—	○	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	○	—	—	—	—	○	—	—
南投	○	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	○	—	—	×
臺中	×	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
嘉義	○	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—
臺南	×	—	○	×	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	白穀大冬	白穀晚	白穀蔓仔	白肚引	白穀三桔	晚清油	晚烏尖	蕃冬	白梗	晚種	白脚赤(紅)	播降	蕃仔貝葉	白米菊	馬尾稻	烟番	八月粘	蕃仔尖	白米粉	白脚萬仔
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
臺南	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	白穀清流	晚仔	白肚仔	白穀清油	白穀蔓仔	白穀天來	晚柳洲	白穀下脚	米高下菊仔	白穀高脚	白尾	馬尾尖	白穀早	白穀埔占	白葉	晚道	晚刀仔	白穀三抔	晚貝粒	白尾格仔
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×
宜蘭	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	×	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	白骨格仔	白殼格仔	晚金鍬	白綿仔稻	白稻	仔稻(紅)白綿	晚赤(紅)	半高短金鍬	日本粟	包心稻	北投萬仔	埔占舊	埔尖	放面稻	埔禾糟	埔占	沒仔	芒花	到頭	唐山
臺北	×	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	×	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—

廳	冬稻仔	冬仔員粒	到種上種	登青糧	長山	中格仔	中格仔(紅)	長粒金鍬	長粒赤殼金鍬	烏咬	烏踏	烏咬來	刀仔	柳明	番根油	龍讖	粒仔	柳洲	塭仔	黃稿
臺北	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—
桃園	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×
新竹	—	×	×	—	×	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—	×	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	黃古	矮脚蕃仔	矮脚菊仔	矮脚埔占	黃尖	黃葉仔	和毛格仔	含葉格仔	過猿仔	岸仔	下鍾	下脚岸	含葉清油	格仔	學種	格仔萬	含瑞格仔	緩仔緩	含胎種	糖仔
臺北	—	—	—	—	—	—	×	○	×	×	○	—	—	×	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	×	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	×	—	×	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	×	—
新竹	×	○	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	×	×	×	—	○
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	×	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	學仔	成口格	緩仔	下蘇員粒	學甲	下脚仔	岸仔早	含葉仔	改良種	岸子堅	下脚菊仔	岸仔(紅)	幼稿	幼葉白占	幼葉天來	幼稿下脚岸	幼稿青稿岸	大格仔	大種	大伯姆
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	○	×	×
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	○	—	—	×	×	—	—	○
桃園	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	○	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
嘉義	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	○
臺南	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	大伯姆(紅)	大葉稻	大粒	大菁稿	大允	大凡變	大冬	大粒稻	大番	大給	大冇稻	大粘稻	大粒號番仔員	打鐵崙	大粒三抔	大伯婆	大八婆	大粒清油	大葉	大穗
臺北	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	○	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	大白殼	大烏	駝仔	大金猴	大粒金猴	短廣花蠟	大格仔(紅)	短粒金猴	速招	霜降早	早清油	早一七	霜降稻	組葉白占	粽葉齊	粽鬚齊	卒姑	早道	早金猴	霜降
臺北	—	—	—	×	×	×	×	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	×	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
阿緱	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	×	×	×	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	尤變	尤舊	通興	軟枝	南路早	南路	楠仔仙	軟種	南路紅(紅)	南路員粒	南投萬	南投緩	南路白	軟稿岸	內地種	軟枝格仔	內湖晚	雷稻	烏尖	烏殼紅脚蔞
臺北	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	×	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—
桃園	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
新竹	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—
南投	—	—	—	—	×	○	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	○
臺南	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	—
阿緱	○	○	×	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—

廳	烏殼仔	烏殼大冬	烏殼晚	烏殼三粩	烏葉	烏粘稻	烏米(烏)	烏殼員粒	烏花仔	烏豆種	烏殼三抔	烏殼清油	烏殼埔占	烏殼柳占	烏殼蔞仔	烏殼天來	烏殼高脚烏尖	烏殼金鍬	烏葉仔	烏粒
臺北	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
宜蘭	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—
桃園	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	×	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	○	○	—	—	—	—	×	—	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	—
阿緱	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	×	×
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	烏粒清油	烏殼水柳	烏殼早	烏稻	烏殼格仔	烏殼埔占	烏殼尤變	花殼金鍬	火燒格	花螺稻	火燒	花螺	花殼	火燒格仔	禾秋	格仔火燒(紅)	蔞仔	萬仔	蔞仔蔞	萬仔員粒
臺北	—	—	—	—	×	×	—	○	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	○	×	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—
阿緱	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—

區	萬仔早	萬新	浸種	浸清尤	浸清油	浸仔	萬米	慢埔占	米粉占	米粒占	溪洲	府種	畝仔	扶喬	(不明)	府早	府萬	府晚	勿仔	粉占
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
南投	○	○	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	×	×	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	○	—	—	—	—	—	×	×
阿緱	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

區	粉仔	粉占舊	紅粉米(紅)	紅米(紅)	二紅(紅)	稻米菁(紅)	七十米二早(紅)	十日間七米紅(紅)	高山	高脚稉仔	坑溝	紅毛稉	玉枝齊	紅脚清流	紅脚蔞	高脚萬仔	高麗	紅脚萬仔	高梨	紅米(紅)	玉托種
臺北	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	×	—	—	×	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	×	○	×	—	○	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	○	—	—	—	—	×	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	×	—
阿緱	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

區	紅脚赤(紅)	高脚清油	湖溝	粳米變	紅溝	高脚員粒	古早員粒	紅葉白占	紅脚烏占	高脚烏粒	紅米白	紅鬚(紅)	高美萬仔	玉脚齊	高脚花蝶	鴨母怨	高脚番仔	虎獅	江山烏	紅脚埔占
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	後埔慢	高脚岸	高脚幼稿	後山	高脚菊仔	高脚阿扁	紅米(紅)員粒	戊皮花	紅脚變	紅脚	紅目	高脚(紅)仔疋骨格	紅毛格仔	紅殼金鍼	紅金鍼	古清流	高山(紅)	紅米青菓仔	圓粒	圓葉
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	—
宜蘭	—	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	圓鉄	圓鑞仔	圓柏	低脚柳洲	低脚柚仔	田欠	天來	田昏早	低脚萬仔	天順早	低脚蕃仔	低脚清油	田乞	低脚烏占	田畦	田員粒	紅米(紅)低脚	田岸	田岸早	低脚幼稿
臺北	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
桃園	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	×	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
臺南	—	×	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	低脚晚	田員葉	低脚(紅)綿仔	阿扁	三紹	細葉柚	三杯	三層弄	齊仔	細鍼圓葉	山員粒	三費論	齊漸	山白殼	細糠	錯京糧	三光(紅)	芜儀	菊仔	金鍼
臺北	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	×
宜蘭	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	○	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	○
新竹	—	×	—	—	—	○	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○
南投	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×
嘉義	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	舊萬仔	吟合格	柚仔	曲牛廊叫	蟻公包	舊蔓仔早	曉腰	菊仔變	牛屎	朽草格仔	金猴(紅)	有鬚紅(紅)	綿仔鬚	綿仔(紅)	密粒	撐仔	小粒三杯	小菁稿	新種	淦仔
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	×	×	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	○	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—
南投	○	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	○	○	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
花蓮港	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

廳	運羅	潤種	菫仔	新來	小青稿占	新萬	姜厘	小瑞	小白殼	新登	小凡變	紫頭	小粒金猴	種仔	七十二甲	糯擇	糯踏	糯蜜	青柳格仔	清流
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	×	○
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
桃園	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—
新竹	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	×	—	—
南投	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
臺南	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

廳	小格仔	青稿尖	青稿岸	清油菊	菁種	青葉粘	菁稿	青蕾	接仔種	生毛紅谷	青葉	青葉擔	清油	青骨粘	生蕾	赤殼員粒	赤殼	赤殼岸仔	赤殼花蟲	赤殼紅脚蔓
臺北	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	×	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	×
臺南	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	青稿莢	石壁尖	成維	青稿堅	赤殼金殼	赤殼三杯	青殼刀	赤殼早	赤殼格仔	青脚格仔	青種格仔	赤仔	青稿針	赤綿(紅)仔	青葉仔(紅)	青稿針(紅)	水張	水張(紅)	水企	水弄
臺北	—	—	—	—	×	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	—
宜蘭	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
臺南	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	水涙	水卵	水柳	水軟	水鐵	員仔	員粒	隱葉	路竹花	老鼠牙	爐竹	晩	蕃薯花	馬尾	反鹽	馬尾絲	白殼	白	蕃仔	晩蓼花
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	×	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—
桃園	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	—	○	—	—	×	—	×	×	—
南投	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—
臺中	×	×	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	○	○	×	×	—	×
嘉義	—	—	—	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	○	—	—	×	×	—	—
臺南	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—
阿緱	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
臺東	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	白葉	蕃薯	日本	芒花	埔社	穉公	埔尖	埔稻	北路	冬	烏咬	竹絲	鈕花	矮脚	鷲張	早芒花	干眞	含胎	下庄	官鹽
臺北	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	○	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
桃園	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	×	×	×	×	×	—	—	×	—	—	—	×	×	×	×	—	—	×	×	—
南投	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	○	—	—	×
臺中	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×	×	—	—	—
嘉義	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	○	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—

廳	岸仔籼	官眞籼	芋蔴籼	雲蛋大籼	含葉籼	含葉赤殼籼	葉下淘籼	葉下陀籼	葉下藏籼	葉下籼	大脚蒲籼	大葉籼	大粒籼	大脚婆籼	大籼	大脚籼	鼠牙籼	双季籼	双冬籼	掃帚籼
臺北	—	—	—	—	×	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	○	×	×	—	—	×	×	—	—	—	—	×	×	×
南投	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	×	×	—	—	—	×	×	×	×	×	—	—	—	×	—	×	—	—	—
嘉義	×	—	—	—	—	—	×	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	禾卵籼	烏籼	烏殼軟枝籼	烏皮種籼	烏葉籼	烏鼠牙籼	烏尖籼	烏尖元籼	烏殼籼	櫛仔仙籼	軟葉籼	軟枝籼	南路籼	軟枝雲卵籼	籼	籼米谷籼	籼榴籼	霜降籼	瘦田籼
臺北	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	×	—	—	×	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
新竹	×	—	—	—	×	○	—	—	×	—	—	×	×	×	—	×	—	—	×
南投	—	—	×	—	—	○	○	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	×	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	×	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	○	×	×	×	—	—	—	○	—	—	—	—	×	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	虎皮籼	高粱籼	高脚烏尖籼	硬葉籼	紅花籼	個尼籼	高瓦籼	虎頭雲蛋籼	紅脚籼	高龍籼	高統籼	虎頭籼	硬枝雲卵籼	不明籼	風梭籼	溪州籼	鶴爪籼	花殼籼	牛蛋籼	火燒籼
臺北	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○
新竹	—	—	—	×	×	—	—	—	×	—	×	○	—	—	—	—	×	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○
臺中	×	—	—	—	—	—	×	×	○	×	×	×	—	—	—	—	—	—	×	○
嘉義	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	紅殼籼	高脚籼	高溪籼	後燒籼	古早萬仔籼	虎頭大籼	圓籼	天來籼	店葉仔籼	店空籼	定籼	低脚籼	三脚婆籼	三杯籼	細籼	牛麻叫籼	牛鬚賈籼	牛母叫籼	蟻公包籼	姜仔籼
臺北	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×
宜蘭	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	×	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	×	×	×	×	×	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	×	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—

廳	油籼	密粒籼	十八瓦籼	蕉籼	針仔籼	小籼	敬婆籼	木公籼	赤殼籼	青葉籼	青稿籼	青葉籼	占葉仔籼	清油菊籼	生尾籼	赤脚籼	尖籼	赤殼圓籼	清油籼	水蛋谷籼
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	○	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—	×	×	—	—	—	—	—
南投	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	×	×	×	—	—
嘉義	—	—	×	×	—	—	×	—	×	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	×
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	水蛋籼
臺北	—
宜蘭	—
桃園	—
新竹	—
南投	—
臺中	—
嘉義	—
臺南	—
阿緱	×
臺東	—
花蓮港	—

中間作水稻

廳	員粒	白穀員粒	白穀花蠟	白埔占	白米粉	白穀埔占	白占	白脚清流	白穀清流	晚仔	白穀紅脚蔓	白穀柳占	白清油	日本種	埔占	烏咬來	烏咬	岸仔	格種	學仔
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	○	○	○	○	×	—	×	○	○	×	×	—	—	—	—	—	×	×	×	×
臺南	×	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	×	×	×	○	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	幼葉烏占	幼稿烏占	幼葉白占	大粒清油	大粒三杯	大花	大菁稿	宗蓑齊	南棹仙	烏穀員粒	烏穀埔占	烏穀清油	烏占	烏穀	花蠟	花蠟清油	九十日	花穀	萬種	米粉占
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	○	○	×	—	×	×	×	—	—	○	—	—	○	×	×	—	—	○	×	—
臺南	—	—	—	○	—	—	—	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	—	—	○
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	溪洲	紅脚花蠟	高洲	紅脚清流	紅脚蔓	天來	山林	三杯	密粒清油	小粒三杯	赤穀員粒	赤穀	清流	青稿	水溟	鬱葉籼	白穀芒花籼	馬尾籼	白穀光	白稿籼
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	×	○	—	○	×	×	○	×	—	×	○	×	×	×	×	×	—	×	×	×
臺南	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	芒花籼	烏咬籼	柳尖籼	雲珠籼	岸仔籼	火燒籼	葉下菊籼	大脚婆籼	草林籼	南路籼	烏殼芒花籼	烏鼠牙籼	烏殼籼	烏尖籼	溪洲籼	天來籼	蕉籼	十八瓦籼	菁稿籼	赤殼籼
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	○	×	—	×	×	—	×	×	×	×	—	×	×	—	×	×	○	×	×	×
臺南	—	—	×	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	×	—	—	—	—	—	×
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

陸稻

廳	員粒	員葉	蕃仔	白殼	白殼清流	白脚清流	白殼早仔	白殼埔占	晚埔占	白米	白脚花蟒	白脚烏占	白殼草	蕃仔占	白殼矮脚芦	白殼員粒	白殼清油	日本種	埔占草鶯犁	埔禾赤
臺北	○	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
南投	○	—	—	×	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—
臺中	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	×	—	—	○	○	○	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	○	×	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

廳	埔占	補針	埔尖	埔早仔	刀仔	猪腰仔	林禾粘	林禾	林膜	柳仔占	矮脚	矮脚埔占	矮脚早	矮脚芦	黃殼	岸仔	下脚赤殼	幼葉烏占	幼葉白殼	大脚婆
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	×	—	—	—	—	○	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
嘉義	×	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	×	×	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—
阿緱	×	—	—	—	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	×
臺東	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

縣	短唇	斯呑仔	打鐵崙	大頭株	大脚浦	早仔	早埔占	早一七	粗葉烏占	粗葉白穀	朮占	南路早	雷槌	烏占	烏穀	烏穀花蠟	烏穀早仔	烏穀七十日	烏穀蝶脚芦	烏穀埔占
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
南投	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	—	—	○	○	×	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	×	—	—	×	—	—	×	×	—	—	○	×	○	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—
阿緱	×	×	—	—	—	○	×	×	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	○
臺東	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

縣	オホロク	花蠟	花蠟早仔	米粉占	フラロス	控腰	紅米白	紅金米(紅)	紅米(紅)	員粒(紅)	紅米(紅)	紅脚清流	紅脚花蠟	紅脚烏穀	高脚烏穀	高脚烏尖	高脚員粒	高脚大粒	高脚白穀	圓粒	低脚花蠟
臺北	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
南投	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	×	×	×	—	○
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	×	×	×	—	×	—	—	—	—	—
臺南	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

縣	低脚白穀	低脚烏占	低脚烏穀	三杯	山埔占	橋腰	筲腰	曲腰	ミサバス	斜紮	書仔占	七十日早仔	赤埔占	赤仔	赤穀	赤穀早	生鬚埔占	清油	赤穀占	清流
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
南投	○	—	×	—	—	—	—	×	—	—	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
嘉義	—	×	×	—	×	—	○	—	—	—	—	—	×	—	○	—	—	—	×	×
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—

廳	靖由	赤殼清油	生蕃	水金	員粒籾	白殼籾	白籾	蕃仔籾	バンナイ籾	晩胡鬚籾	馬尾籾	馬尾絲籾	芒花籾	ボヨン籾	埔占籾	長尾籾	ボスカリテ籾	林禾籾	黄殼籾	黄糯籾
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—
南投	×	—	×	—	×	×	—	—	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	×
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	×	—	×	—	—	×	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—

廳	ロイノ籾	カリステボス籾	カツパイ籾	ダシエン籾	複圓籾	鼠牙籾	早仔籾	籾	烏籾	烏殼籾	タガリテボス籾	火燒籾	萬仔早籾	プトメン籾	紅殼籾	控腰籾	胡鬚籾	虎頭籾	紅脚籾	紅米籾
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	×	—	—	×	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	×	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	×
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
花蓮港	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	—

廳	圓粒籾	テボス籾	山猪慈籾	斜梅籾	シヲヤン籾	鉦仔針籾	シエベル籾	ボスシンナウテ籾	招梅籾	尾張籾	肥圓籾	眉猫炳籾	赤殼籾	青藻籾	生毛籾
臺北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宜蘭	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桃園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新竹	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—
南投	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×	×	○	—
臺中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
嘉義	—	—	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	×	—	—
臺南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿緱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	○	○	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	○

第二章　栽培概要

1　第一期作

苗　代

1. 播種　大正七年一月上旬苗代用地ヲ反覆耕鋤シ一月十七日品種別ニ種子ノ混合セサル樣播下シタリ　但臺東廳產、花蓮港廳產品種ハ種子運著ノ爲一月十七日、二月十三日ノ2回ニ播下シタリ　苗代ハ西北面ニ防風設備ヲ爲シタリ

2. 肥料　播下後種子ノ見エサル程度ニ燒土灰ヲ覆ヒ發芽後直ニ大豆粕ノ粉粹シタルモノヲ醱酵セシメテ窒素畝當400匁ノ割合ニテ使用シタリ

3. 管理　灌漑ニ注意シ霜害鳥害ノ防除ニ力メタリ

本　田

1. 移植　三月下旬整地シ同月二十九日移植シタリ但遲播ノ分ハ四月十日移植シタリ

イ　面積　一品種一坪宛

ロ　株間　本數　一坪50株(8寸5分四方)一本植

2. 管理　除草ハ手取法ニヨリ3回施行シ其他灌漑排水ニ留意シタリ

3. 肥料　(反當用量)

肥料名	用量	三要素(匁)		
		窒素	燐酸	加里
大豆粕	匁 24	1,488	288	360
過燐酸石灰	3	—	570	—
計	—	1,488	858	360

4. 收穫　七月四日收穫シタリ　但遲播ノ分ハ七月二十日トス

2　第二期作

苗　代

1. 播種　七月上旬整地シ同月七日播種シタリ　其方法ハ第一期作ニ準ス

2. 肥料　無肥料トス

3. 管理　灌漑,排水,鳥害防除ニ努メタリ

本　田

1. 移植　八月上旬整地シ同月九日挿秧シタリ　其方法ハ第一期作ニ準ス

2. 管理　除草ハ手取法ニヨリ3回行ヒ灌漑,排水ニ注意セリ

3. 肥料　(反當施用量)

肥料名	用量	三要素(匁)		
		窒素	燐酸	加里
大豆粕	15	930	180	225
過燐酸石灰	2	—	380	—
計	—	930	560	225

4. 收穫　十一月二十一日收穫セリ

3　中間作

中間作ハ第一期作,第二期作種及陸稻種トノ關係ヲ調査センカ爲各期作トシテ試作セリ

耕種ハ第一期作ニ準シ各期作ノ分ハ各期作ニ準シタリ

第四表　中間作種各期試作

試作方法		播種月日	移植月日	收穫月日
第一回	第一期作トシテ試作	三月三日	四月二十二日	九月上旬(數回)
第二回	陸稻トシテ試作	四月十八日		
第三回	中間作水稻試作	五月十四日	六月二十一日	
第四回	中間作陸稻トシテ試作	五月十四日		
第五回	第二期作トシテ試作	七月七日	八月九日	十一月十一日

(試驗地　臺中)

備考

I. 第一期作トシテ試作ノ分ハ多少鳥害ヲ蒙リタリ

II. 陸稻並ニ中間作水陸稻トシテ試作セシモノハ著シク螟蟲ノ被害ヲ蒙リタルノミナラス出穗後鳥害ニ罹リタリ　隨テ調査用ノ穗ノミ袋ヲ以テ被ヒ保存シ他ハ收穫ヲナサヽリキ

4　陸　稻

1. 播種　四月上旬整地同月十八日播下シタリ　條間1尺2寸ノ條播トシ面積一品種一坪トス

2. 肥料　第二期作本田ニ準シタリ

3. 管理　除草ヲ兼ネ中耕2回施行シタリ

4. 收穫　七月下旬ヨリ成熟ニ隨テ收穫セリ

備考　成熟後鳥害ニ罹リタリ

第三章　調査標準

特性調査ハ別ニ吾人カ施行セル臺中廳農會稻育種事業ニ於ケル[1]調査標準ニ準シタルヲ以テ該標準ヲ記載スルコトヽセリ

I. 品種名　期作別トシ糯ハ品種名ノ下部ニ朮ヲ附ス

II. 系統番號

III. 試驗別

IV. 播種期

V. 挿秧期

VI. 植付株數

VII. 補植株數

VIII. 缺損株數

IX. 生育株數

X. 刈除株數　反當收量ノ換算ハ株數ニ基礎ヲ置キ植付株數ヨリ刈除株數ヲ控除シタルモノヲ基本株數トス

XI. 穗孕期　外部ヨリ鑑定シ五、六分孕ミタル時

XII. 出穗期　一株中最初出穗セシ穗カ僅ニ外部ヨリ認メ得ル時期ヲ其株ノ出穗期トシ全栽培株ニ就キ日別ニ調査シ平均價標準偏差ヲ算出ス　但標準偏差ヲ算出セサル場合又ハ數本植區、地方生產力試驗田ノ調査ハ次ノ標準ニ據ル

イ　出穗始　全體ノ三、四部出穗

ロ　出穗期　全體ノ五、六部出穗

ハ　出穗揃　全體ノ八、九分出穗

XIII. 成熟期　全穗登熟シ穗軸ノ將ニ黃化セントスルトキ

---

(1)　磯永吉、末永仁及其他：一稻育種事業　第一輯(大正五年)第四輯(大正八年)　臺中廳農會

XIV. 生育期中ノ形態

イ　分蘖ノ姿勢　分蘖ノ極期ニ調査ス(散集)

ロ　葉ノ姿勢　分蘖ノ極期ニ調査ス(彎、直)

XV. 葉　一株中最長莖ニツキ調査ス

イ　長　止葉ノ長ヲ測リ平均ヲ求ム(單位寸)

ロ　幅　止葉ノ最モ廣キ部分ヲ測リ平均ヲ求ム(單位分)

ハ　色　分蘖ノ極期ニ鑑定ス

ニ　止葉ト稈長トノ長短　止葉ニ比シ稈長高キ場合ハ「+」之ニ反スル場合ハ「−」トス(單位分)

ホ　止葉ノ姿勢　止葉カ穗軸トナス角度ヲ表シ直角ヲ10區分シタルモノヲ1度トス

ヘ　毛茸ノ多少　認定ニ據ル(多、中、少)

ト　葉面ノ粗滑　認定ニ據ル(粗、滑)

XVI. 稈　一株中最長莖ニ就キ調査ス

イ　彈性　「ホルデフライス彈性測定器指度14(cm)ニテ測定シ一莖中ノ上部ヨリ第一節ト第二節トノ中間ヲ用フ(單位匁)

ロ　稈長　根元ヨリ穗頂點迄全株ニツキ調査シ(芒ヲ除ク)平均價竝ニ標準偏差、變異係數ヲ算出ス(單位寸)

ハ　分蘖　全株中ニツキ株別ニ分蘖本數ヲ調査シ平均價竝ニ標準偏差、變異係數ヲ算出ス

ニ　太サ　莖ノ上部ヨリ第二節上方1寸ノ箇所ヲ彎脚器ニテ測リ平均ヲ求ム(單位粍)

ホ　色　稈ノ下部ニツキ鑑定ス(綠、暗紫)

XVII. 穗　一株中最長莖ニツキ調査ス

イ　長　全株ニツキ株別ニ測定シ平均價竝ニ標準偏差、變異係數ヲ算出ス(單位分)

ロ　粒數　一穗ノ完全粒數ヲ數ヘ平均ヲ求ム

ハ　枝數　一穗ノ枝數ヲ數ヘ平均ヲ求ム

ニ　一寸間粒數　一穗粒數ヲ穗長ニテ除シ1寸間ノ粒數ヲ求ム

ホ　姿勢　符號A·BCヲ以テ表ス(第五圖參照)

VXIII. 花

イ　柱頭ノ色　認定ニ據ル(白・紫・赤)

ロ　花粉ノ色　認定ニ據ル(濃・中・淡)

XIX. 籾

イ　芒ノ有無　有及無ヲ以テ表ス　芒短クシテ10%未滿ヲ無芒トス

ロ　芒ノ長短　穗ノ頂點ヨリ芒ノ尖端迄ヲ測定ス(單位分)

短　3分未滿

中　7分未滿

長　7分以上

ハ　芒ノ多少　極少　10%未滿

少　10%以上 30%未滿

中　30%以上 70%未滿

多　70%以上

ニ　稃ノ成熟色　登熟後鑑定ス(淡茶褐・茶褐・濃茶褐・黑茶褐等)

ホ　芒ノ未熟色　出穗中鑑定ス(綠・紫・紅等)

ヘ　芒ノ成熟色　登熟中鑑定ス(暗赤・暗紫褐・淡茶褐等)

ト　稃先ノ未熟色　出穗中ニ鑑定ス(淡綠・紫・紅等)

チ　稃先ノ成熟色　登熟中鑑定ス(淡黃・淡茶褐・茶褐・濃茶褐・黑茶褐等)

リ　護穎ノ未熟色　熟穗中鑑定ス(淡綠・紅等)

ヌ　護穎ノ成熟色　登熟中鑑定ス(淡黃・淡紅等)

ル　稃ノ厚薄　籾ノ平均厚ヨリ該籾脫稃後ノ玄米平均厚ヲ減シ2ニテ除シタル商トス(單位粍)

ヲ　稃毛ノ有無　有及無ヲ以テ表ス

ワ　稃毛ノ長短　認定ニ據ル(長・短)

カ　千粒重量　計數板ヲ用ヒテ粃及不完全粒ヲ除キタル千粒ヲ選出シ瓦ニテ表ス

ヨ　千粒ニ對スル稃量　籾千粒重量ヨリ玄米千粒重量ヲ減シテ算出ス

タ　玄米ノ重量比率　籾摺ヲ行ヒ籾ニ對スル玄米比率ヲ%ニテ表ス

レ　玄米ノ容量比率　籾1升ノ重量ニ玄米ノ重量比率ヲ乗シ其重量ヲ玄米1升重量ニテ除シ%ニテ表ス

ソ　一升重量「ブラウエル」氏穀粒檢定器ヲ用ヒ3回平均ヲ匁ニテ表ス

XX. 玄米

イ　形狀　彎脚器ヲ用ヒテ平均ノ長、幅、厚ヲ粍ニテ表シ幅長ノ比ヲ求ム

ロ　形狀ノ整否　米長ノ標準偏差ヲ求メ其整否ヲ決定ス

ハ　米色　米色ヲ鑑定シ其整否ヲ併セ調査ス（銀白・純鈍白・暗鈍白・乳白等）

ニ　光澤　認定ニヨリ良否ヲ鑑定ス

ホ　罅破ノ多少　肉眼鑑定ニヨリ罅破粒數歩合ヲ%ニテ表ス

ヘ　腹白ノ多少　肉眼鑑定ニヨリ腹白粒數歩合ヲ%ニテ表ス

ト　千粒重量　計數板ヲ以テ材料ヲ選出シ瓦ニテ表ハス

チ　一升重量「ブラウエル」氏穀粒檢定器ヲ用ヒ3回ノ平均トス

リ　剛性　材料ヲ豫メ除濕器中ニ容レ置キ安藤氏剛性檢定器ヲ用ヒ瓩ニテ平均剛性ヲ表ハス

ヌ　品質　以下各項ノ綜合點ニテ決定シ上、中、下ヲ以テ表ハス

項目	點數	項目	點數
腹白	15	罅破	15
剛性	15	一升重量	15
形狀整否	20	米色	10
色澤	10		

備考　玄米ハ調製5箇月後保存性ヲ調査ス

XXI. 收量

イ　反當籾收量　貫若クハ石ヲ以テ表ハス

ロ　反當玄米收量　貫若クハ石ヲ以テ表ハス

ハ　反當藁收量　貫ヲ以テ表ハス

ニ　藁重量100ニ對スル籾重量ノ比率%ヲ以テ表ハス

備考　調査箇體數ハ平均値及標準偏差變異係數ヲ算出スルモノハ百箇體以上トシ單ニ平均値ノミヲ算出スルモノハ十箇體ニ止ム

第五章　分類要項

稻ノ分類ハ我國ニ於テハ夙ニ佐藤信淵氏[1]ニ依テ行ハレ本邦ノ稻ヲ水稻,旱稻ニ大別シ水稻ヲ更ニ粳米,糯米,柚米ニ3別シ品種ヲ其特性ニヨリ栽培上ノ見地ヨリ4屬12種トセリ

海外ニ於テハ Körnicke, F. (1885)[2] ノ分類アリ　同氏ハ品種ヲ廣ク各國ニ求メ之ヲ39變種ニ分テリ　後稻垣乙丙氏[3]ハ之ニ本邦產ノ稻4變種ヲ增加セリ　此分類ハ稍完全ナルモノヽ如キモ粳米ノ特性ニノミ偏倚セルノ憾アリ「ケルニツケ」氏ノ稻分類要項ハ

1. 米粒ノ炭水化物ノ性狀
2. 米粒ノ大小
3. 芒ノ有無
4. 米粒ノ色
5. 穎及芒ノ色

ニシテ其分類ヲ示セハ次ノ如シ

第六表　「ケルニツケ」氏(稻垣氏增補)ノ分類

Oryza sativa, L.　栽培稻

分類項目						
米粒ノ炭水化物ノ性狀	米粒ノ大小	芒ノ有無	米粒ノ色	穎及芒ノ色 穎	穎及芒ノ色 芒	分類名
Utilissima Kcke. 粳稻	Communis Kcke.	無	白	帶赤黃	—	1. Var. italica Al.
		〃	〃	黃白	—	2. Var. japonica Inag.
	通常稻米粒大ニシテ其長サ5—7m.m.	〃	〃	赤又ハ暗赤	—	3. Var. javanica Kcke.
		〃	〃	帶黑	—	4. Var. paraguayensis Kcke.
		〃	青綠	稍鮮乃至汚褐色	—	5. Var. viridescens Kcke.
		〃	赤褐	帶赤黃	—	6. Var. sundensis Kcke.
		〃	黑褐	帶黑褐	—	7. Var. wightiana Kcke.
		有	白	(穎ト芒同色)		
		〃	〃	帶赤黃		8. Var. vulgaris Kcke.
		〃	〃	赤		9. Var. rubra Kcke.

(1) 佐藤信淵:—六部耕種法

(2) Körnicke, F.,:—Arten und Varietäten des Getreides. 1885.

(3) Inagaki, O.,:—Researches on the rice-plant. 1894.

米粒ノ炭水化物ノ性狀	米粒ノ大小	芒ノ有無	米粒ノ色	頴及芒ノ色 頴	頴及芒ノ色 芒	分類名
		有	白	褐		10. Var. amaura Al.
		〃	〃	紫	(壁紫)	11. Var. violacea. Inag.
		〃	〃	(頴・芒	異色)	
		〃	〃	帶赤黄	汚赤	12. Var. erythroceros Kcke.
		〃	〃	帶赤黄	暗紫褐	13. Var. ianthroceros Kcke.
		〃	〃	帶赤黄	黑	14. Var. melanoceros Al.
		〃	〃	赤	暗紫褐	15. Var. Hasskarlii Kcke.
		〃	〃	汚褐	白	16. Var. Leucoceros Kcke.
		〃	〃	汚褐	暗紫褐	17. Var. brunnea Kcke.
		〃	白・赤庭アリ	帶赤黄	帶赤黄	18. Var. striata Heuzé.
		〃	白・帶黑庭	帶黑褐	帶黑	19. Var. catalonica Kcke.
		〃	青綠	赤	赤	20. Var. caspica Kcke.
		〃	帶褐赤	赤	赤	21. Var. savannae Kcke.
		〃	赤褐	帶赤黄	帶赤黄	22. Var. pyrocarpa Al.
		〃	〃	帶赤黄	汚紫褐	23. Var Desvauxii Kcke.
		〃	黑褐	帶赤黄	赤	24. Var. atrofusca Kcke.
	Minuta Presl 小粒稻	無	白	帶赤黄	—	25. Var. cyclina Al.
	米粒小ニシテ其長サ 4 m. m.	〃	〃	灰赤	(稃先紫褐)	26. Var. melanacra Kcke.
		〃	〃	暗褐	—	27. Var Kleiniana Kcke.
	圓形	有	〃	帶赤黄	赤	28. Var. microcarpa Kcke.
	長形	無	〃	帶赤黄	—	29. Var. longior Al.
Glutinosa Lour 糯稻		〃	〃	帶赤黄	—	30. Var. affinis Kcke.
		〃	〃	汚灰赤褐	—	31. Var. mique liana Kcke.
		〃	〃	赤又ハ赤褐	—	32. Var. erythra Inag.
		〃	〃	黑褐	—	33. Var. nigra Inag.
		〃	青綠	汚灰赤褐	—	34. Var. manilensis Kcke.
		〃	赤褐	帶赤黄	—	35. Var. dubia Kcke.
		有	白	帶赤黄	帶赤黄	36. Var. abba Al.
		〃	〃	帶赤黄	赤	37. Var. zomica Kcke.
		〃	〃	帶赤黄	暗紫褐	38. Var. Henzeana Kcke.
		〃	〃	赤	赤	39. Var. isochroa Kcke.
		〃	赤褐	帶赤黄	暗紫褐	40. Var. Eedeniana Kcke.
		〃	黑褐	帶赤黄	帶赤黄	41. Var. melanocarpa Al.
			〃	帶赤黄	暗紫褐	42. Var. Atra Kcke.
附 護頴舟形ニシテ頴ト同シ長サ						43. Var. grandiglumis Döll.

田中節三郎氏[1]ハ本邦ノ稻ヲ2變種ニ大別シ通常栽培稻(Oryza sativa

(1) 田中節三郎:一稻品ノ分類ヲ論シ長頴稻ノ性狀ニ及フ 農學會報第四十二號(明治三十三年)

L. var. typica ト長穎稻 (Oryza sativa L. var. grandiglumis, Doel) トシ更ニ前者ヲ粳糯ノ2亞變種トシ更ニ粳稻ヲ3分シテ通常品,香稻品,紫稻品トス通常品ヲ分チテ無芒種及有芒種トシ更ニ長形粒及圓形粒ノ2トシ之ヲ大粒,中粒,小粒ノ3ニ分チ更ニ穀粒ノ色及籾,稃尖,芒ノ色ニヨリテ細別シ尙成熟期ノ早晩及水陸稻ノ區別ヲ要ストシ以テ分類ノ大項ヲ立テタリ　其大要ヲ示セハ次ノ如シ

田中節三郎氏ノ分類要項

第一變種　通常栽培稻

第一亞變種　Utilissima Kcke.　粳稻

(天)　通常品　Communissima.

- 上　無芒
- 下　有芒

- 甲　長形粒　Longior Al.
- 乙　圓形粒　Cyclima Al.

- 伊　大粒　Communis Kcke.
- 呂　中粒　Media.
- 波　小粒　Minuta presl.

- い　穀粒白色(純白·珍白·黃白·灰白及帶赤白色
- ろ　穀粒白色　白·赤斑色
- は　同　白·黑斑色
- に　同　赤褐色
- ほ　同　帶赤褐色
- へ　同　黑褐色又ハ紫黑色
- と　同　帶青綠色

- イ　穀及稃尖 / 或穀及芒 } 同色
- ロ　穀及稃尖 / 或穀及芒 } 異色

} 亞品類 / 若クハ品種類

(穀若クハ芒ノ色)

- イ　黃白色
- ロ　帶赤黃色
- ハ　淡赤色
- ニ　赤色
- ホ　灰赤色
- ヘ　暗赤色
- ト　赤褐色
- チ　淡褐色

リ　褐色
ヌ　汚褐色
ル　黑褐色
ヲ　紫褐色
ワ　暗紫褐色
カ　帶黑色
ヨ　黑色

(地)　香稻品　Moschata.

(人)　紫稻品　Violacea Inag.

第二亞變種　Glutinosa Lour.　糯稻

上　無芒
下　有芒

甲　長形粒
乙　圓形粒

伊　大粒
呂　中粒
波　小粒

以下殼粒籾及芒ノ色ハ粳稻ト略同一ナリ

第二變種　長護穎稻(二皮稻)

武田總七郎氏[1]ハ農商務省農事試驗場山陰支場ニ於テ該地方ノ水稻種類ノ特性ヲ調査スルニ大別シテ

早,中,晩ノ區別　　稻種外形上ノ特性

トナシ前者ハ出穗期ノ早晩ニヨルヲ正確トシ早,中,晩ノ標準種ヲ定メテ早晩ノ區別ヲナシ後者ハ I.藁ノ大小(長短ハ最短ヨリ最長ニ至ル7階級,細太ハ太ヨリ細ニ至ル5階級) II.一株莖數(最少ヨリ極多ニ至ル6階級) III.子實ノ大小(大粒ヨリ小粒ニ至ル5階級) IV.一穗ノ重量(極々少ヨリ極々多ニ至ル9階級) V.一穗ノ粒數(極少ヨリ極々多ニ至ル8階級) VI.米粒ノ長短(長形ヨリ短形ニ至ル5階級) VII.籾一升重量 VIII.籾摺歩合 IX.玄米一升重量(最輕ヨリ最重ニ至ル階級) X.玄米品質(優良ヨリ劣ノ下ニ至ル5階級) XI.藁ノ倒伏ノ多少(無ヨリ極多ニ至ル7階級)ニ分チ品種ヲ分別セリ　未ダ盡サヽル所アリト雖モ特

(1) 武田總七郎:一水稻種類ノ特性　農商務省農事試驗場報告第二十六號(明治三十六年)

ニ實用的特性ヲノミ取扱ヘル點ヲ特長トスヘシ

吉川祐輝氏[1]ハ稻ノ分類上次ノ項目ヲ必要ナルモノトセリ

I. 栽培上ノ分類

1. A.水稻　B.陸稻
2. a.早生稻　b.中生稻　c.晩生稻
3. I.通常稻　II.特殊稻
4. 但3.ノ分類ハ水稻ニ限ル　II.ヲ　a.巨稻　b.鹽稻ニ分ツ
5. a.高稻　b.中稻　c.矮稻
6. 1.有芒　2.無芒
7. 穎、護穎、穎尖、芒、ノ色
8. 稈、葉ノ色
9. 長護穎稻
10. 復粒稻

II. 米粒ノ利用上ヨリノ分類

1. A.粳稻　B.糯稻
2. I.細長粒　II.長粒　III.短粒
3. 1.大粒　2.中粒　3.小粒
4. a.普通色粒　b.特殊色粒
5. a.普通米　b.香米　但5ハ普通色粒ニ限ル
6. 玄米及白米ノ形狀
7. 腹白米

而シテ同氏ノ調査II.ハ米粒ノ利用上ヨリ分類ヲナセルモノニシテ測定ノ標準ハ下ノ如シ

I. 細長粒 $\frac{L}{B}>3$ (L＝長、B＝幅)

1. 大粒　長サ7.5粍以上　幅2.5粍以上　$L\times B>18.75$粍
2. 中粒　大及小ノ中間
3. 小粒　長サ7.0粍以下　幅2.2粍以下　$L\times B<15.40$粍

II. 長粒　$3>\frac{L}{B}>2$

(1) Kikkawa, S.,—On the Classification of Cultivated Rices. Jour. Coll. Agric. Imp. Univ. Tokyo. 3 (1912)

1. 大粒　長サ6.5粍以上　幅3.0粍以上　$L \times B > 19.5$粍
2. 中粒　大及小ノ中間
3. 小粒　長サ6.0粍以下　幅2.5粍以下　$L \times B < 15.0$粍

III. 短粒　$2 > \frac{L}{B}$

1. 大粒　長サ6.0粍以上　幅3.0粍以上　$L \times B > 18.0$粍
2. 中粒　大及小ノ中間
3. 小粒　長サ5.5粍以下　幅3.0粍以下　$L \times B < 16.5$粍

現今本邦ニ於テ籾米ノ大小ハ一千粒ノ重量ヲ瓦ニテ表ハシ形狀ハ粒ノ幅ニ對スル長サノ比ヲ以テ表ハスヲ普通トス　加藤氏[1]ハ主要品種ニ就テハ大略次ノ標準ヲ示サレタリ

玄米大小（千粒重量）	最大粒	30.0瓦以上
	大　粒	27.0—30.0瓦未滿
	中　粒	23.5—27.0瓦未滿
	小　粒	21.5—23.5瓦未滿
	最小粒	21.5瓦未滿
玄米形狀（長サ/幅）	長　粒	1.8以上
	中　粒	1.6—1.8未滿
	圓　粒	1.6以下

其他稻垣[2]（大小ハ容積ヲ標準トシ粒形ハ幅ニ對スル長サノ比トス）　南[3]（大小ハ一千粒ノ重量トシ粒形ハ幅ニ對スル長サノ比トス）　永井[4]（大小ハ一千粒ノ重量トス）諸氏其人ニヨリ多少程度ヲ異ニスレトモ予カ目的トスル臺灣稻ノ分類ニ對シテハ殆ト大同小異ノ關係ニアルヲ以テ詳細比較ヲ省略ス

R. J. D. Graham[5]ハ英領印度「セントラルプロビンス」ノ稻種ノ分類ヲナシ豫報トシテ發表セリ　此分類ノ要旨ハ稻ヲ I. 葉鞘ノ綠色ナルモノ

---

(1) 加藤茂苞：一稻作ニ就テ　農事講習會講演筆記錄　奈良縣農會(大正二年)

(2) 稻垣乙丙：一田所、米ノ生化學的研究叢書第一卷第二號ヨリ引用

(3) 南鷹二郎：一作物學講義

(4) 永井威三郎：一日本稻作講義　(大正十五年)

(5) Graham, R. J. D.,—Preliminary Notes on Classification of Rice in the Central Provinces, Mem. Dept. Agric. India, Bot. Ser. 6. 1913, No. 7.

II.葉鞘ノ著色セルモノ　ニ大別シ葉鞘ノ著色セルモノハ之ヲ葉鞘紅色ナルモノ及葉鞘紫色ナルモノニ分テリ　而シテ是等ハ更ニ穂,穂軸,枝梗ノ形態,蘂花ノ形狀,大サ,facet小枝梗ノ形態,穎及護穎ノ色,芒ノ有無,長短,色　又玄米ニアリテハ其形,大サ,色,胚ノ色,香氣等ニ分チテ記載シ加之成熟ノ早,中,晩ヲ以テセリ　其他耐寒（但本邦ニ於ケル如キ特ニ寒冷ナル氣候ナラサル可シ）耐旱,耐浸水,草丈等ハ考慮ニ入ルヘキモノトセリ　然レトモ其特性ニヨル分類ノ目的タル分異合同ハ未タ完結セス其他ノ特性ニツキテハ各品種ニ對シ記載ヲ缺ケリ

以上分類ハ各々其特長ニヨリ稻ノ分類ニ從フモノヲ裨益スルコト甚タ多シ　然レトモ吾人ノ遺憾トスルハ或者ハ植物學的一部ノ特性ニ偏シ實用的形質ヲ缺クモノアリ或ハ分類ノ項目兩者ヲ兼ヌルモ必スシモ依之品種ノ分類ヲ全ウセス或ハ又其分異合同ハ分類ノ比較的大ナル項目ニ止マリ完全ナラス其細目ニ至リテハ單ニ特性調査ノ記載ニ止マルモノアリ分類ノ利用上遺憾ノ點少カラス　予カ臺灣稻ヲ研究スルニ當リ先ツ之カ分類ヲ行ヒタルハ臺灣ニ於ケル稻ノ栽培及ヒ育種ノ研究　現行米種改良事業,米穀ノ取扱上ニ直接裨益セントスルモノニシテ從テ分類ハ何人モ項目ヲ迪リテ平素之ヲ利用スルニ至便且ツ誤ナキモノタルヲ主眼トシタリ　是レ予ノ分類カ必スシモ全然先人ノ形式ニノミヨル能ハサリシ所以ナリ

本報告ノ分類要項

吾人ハ本分類ノ基本ヲ品種ニ置キタリ　是レ品種ハ現今農業上ニ於テ最モ實用的ニ使用セラルルヲ以テ利用ノ範圍甚タ大ナリト認メタレハナリ　然レトモ玆ニ起ルヘキ問題ハ特性上品種ニ對スル見解ナリトス　卽チ現今ニ於テハ品種,系統間ニ確然タル限界ノ存スルナク特ニ現在臺灣ニ於ケル稻ノ品種ハ遺傳學上ヨリ觀察スレハ其內容甚タ複雜ナルモノニシテ地方種間ニ於テモ甲カ以テ同一品種トナセルモノモ乙ハ之ヲ異品種トナス場合敢テ稀ナリトセス　蓋シ如斯矛盾ハ獨リ分類上ノミナラス世上萬物皆然ラサルハナク事實上止ムヲ得サル事ニ屬スト雖モ分類ヲ試ミル以上之ニ對シ確固タル見解ナカル可カラス

玆ニ吾人カ行ハントスル品種ノ基礎ハ臺灣稻ノ性狀ニ鑑ミ植物的形質ニ實用的形質ヲ加味シテ其項目ヲ選ミタリ　卽チ I.水陸稻別

II.期作別 III.粳糯別 IV.熟期ノ早晩 V.護穎ノ狀態 VI.莖色 VII.芒ノ有無 VIII.稃色 IX.稃毛ノ有無 X.稃先,護穎,柱頭色 XI.粒ノ大小 XII.粒ノ形狀 XIII.草丈 XIV.分蘖 XV.穗長 XVI.止葉ノ狀態等ニシテ此外重要ナル要項ナキニ非サルモ何レモ臺灣稻ノ特性以外ニ出テ項ヲ分ツノ必要ヲ認メサルモノナルヲ以テ省略シタリ 又特ニ實用的形質ヲ加味シタルハ吾人ノ事業カ實用ト離ル、能ハサルヲ以テナリ而シテ以上各形質中性狀的形質卽チ粳糯ノ別,稃先色等ノ如キハ分類ノ標準頗ル簡單ナレトモ草丈,分蘖,穗長等ノ如キ分量的形質ニ關シテハ程度ノ差異ナルヲ以テ劃然タルノ限界ナク分類者ノ意見ニヨリテ標準ヲ定ムルモノナレハ先決問題ハ是等各形質ノ分量ノ範圍ヲ査定セサル可カラサルニアリ 換言スレハ現今臺灣ニ於ケル稻ノ品種ナルモノハ幾多ノ遺傳的形質ヲ異ニセル系統ノ集合體ニシテ決シテ單純ナルモノニ非ス 隨テ其間ニ分量的差異甚シキハ瞭ナル所ニシテ其分量的差異ノ如何ナル程度カ品種ノ差ヲ決定スルモノナルカヲ定ムルノ要アリ 然レトモ此點ハ分類ヲ行フ上ニ於テ頗ル難事トスル所ナリ 吾人ハ本問題ヲ決定センカ爲ニ予カ臺中廳農會試驗場ニ於テ行ヘル水稻第一次育種第一期作15品種,第二期作15品種ニツキ同一品種內ニ於ケル各形質ノ系統間ノ變異ヲ調査シ之ヲ基本トシテ分異合同ヲ行ヒタリ(分類ニ關スル調査表第九表及至第十七表參照)以下各分類項目ニツキ細目的論評ヲ試ムヘシ

I. **水陸稻別** 本島ノ夏季ハ濕潤ノ氣候ナレハ水稻品種ヲ陸稻ノ狀態ニテ培養スルモ相當ノ生育ヲナスコト多シ 卽チ臺南州下ニ於テ水陸共通種ト稱スルハ恐ラク比較的旱魃ニ堪ヘ得ル品種ナルヘシ 濕潤ナル氣候ト關係アルハ水陸共通種カ夏季ノ降雨季ニ栽培スル中間作種ノミナルコト 陸稻ノ播種期カ概ネ清明ヲ(自四月五日 至四月二十日)適期トセルコト等ノ事實ニ據リ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシ 水陸別ハ或ハ植物學的形質トシテハ價値甚タ大ナラサルヘシト雖モ實用上明ニ區分セラレ栽培ノ途ヲ異ニセルヲ以テ分類ノ一要項トナスハ頗ル必要ナルモノトス

II. **期作別** 本島ニ於ケル稻ノ第一期作及第二期作ニ就テハ統計上七月三十一日ヲ限界トシ此期日以前ニ收穫スルモノヲ第一期作トシ後ニ收穫スルモノヲ第二期作トナセトモ素ヨリ統計材料蒐

集ノ便宜上定メタルモノナリ　栽培上ニ於テ晩冬ヨリ春季ニ播種スルモノヲ第一期作トナシ晩春ヨリ初夏ニ播種スルモノヲ中間作ト稱シ夏季ニ播種スルモノヲ第二期作ト稱シ其種子ヲ期作別ニ一定シ他期作ノ種子ヲ流用スルコト甚タ稀ナリ　然レトモ植物學上ノ特性ニ至リテハ劃然タル標徴ノ存スルコトナク實用上ノ利益ヨリ自然的ニ區分セラレタルモノナルカ如ク想像セラル　然シテ期作別調査ハ實用上頗ル重要ナルモノニシテ若シ誤テ第二期作種ヲ第一期作トシテ播種センカ開花結實著シク遲延シ完全ニ2回作ヲ行フコト難シ　隨テ分類上ニ於テモ重要ナル要項トナサヽル可カラス　期作ニ關シテハ編ヲ改メテ論スル所アル可シ

III. **粳糯別**　分類學上粳糯ノ別ヲ明ニスルコトハ實用上重要ナルコトニ屬シ植物學上ヨリ見ルモ分類ノ一條件タラサル可カラス

IV. **熟期ノ早晩**　熟期ハ氣候、風土、栽培法ノ異ナルコトニヨリ差アル可ク臺灣ノ第二期作種ヲ內地ニ移植スルトキハ出穗遲レ登熟セサルヲ普通トス　又內地種ヲ臺灣第二期作トシテ臺灣種ト同樣ノ取扱ヲ以テ栽培スルトキハ挿秧後30日內外ニシテ出穗スルカ如シ　栽培法ニテハ肥料ノ多少、植付ノ本數、苗ノ熟度、分蘖苗ト非分蘖苗等ニヨリテ熟期ニ差ヲ生ス　就中苗ノ熟度ノ影響大ナリ然レトモ同一地ニ於テ年々同樣ノ栽培法ヲ施スニ於テハ大ナル差ナシ　熟期ニ對スル本分類ノ基礎ハ生育總日數ノ長短トシ期作ニヨリテ標準ヲ異ニシタリ

第一期作 {160日未滿 早 / 160日以上 晩}　　中間作 {140日未滿 早 / 140日以上 晩}

第二期作 {130日未滿 早 / 130日以上 晩}

而シテ早晩ノ2種ニ分チ他ノ分類ニ見ルカ如キ早、中、晩ノ3階級ヲ設ケサリシハ成熟期ノ差頗ル短少ナルカ爲ナリ(分類ニ關スル調査表第十七表參照)

V. **護穎ノ狀態**　護穎ノ長サハ通例稃長ニ比シ著シク短小ナルモノナレトモ稀ニ殆ト稃長ニ等シキ發達ヲナセルモノアリ品種ノ特徴ト見做シ得ヘシ　臺灣種水稻ハ盡ク短護穎ナレトモ陸稻ハ然ラス

VI. **莖色**　莖色ハ綠色ヲ普通トスレトモ亦紫色ナルアリ何レモ濃淡ノ差アリ　臺灣稻ノ紫色ニ屬スルモノハ暗紫色ニシテ農業者名付ケテ紅脚ト稱ス　不變的特性ナレハ品種ノ類別上重要ナル項目タリ

VII. **芒ノ有無長短**　芒ハ栽培期間中ニ於ケル空氣ノ乾濕,灌漑水ノ多少稻生育ノ良否等ニヨリテ其發達ノ度ヲ異ニシ隨テ栽培地域竝ニ耕作ノ方法ニヨリ多少ノ彷徨變異ヲナス可キハ從來唱ヘラレタル所ニシテ吾人ノ實驗モ亦之ニ一致ノ成績ヲ示セリ　然レトモ是等ノ變異ハ僅少ナルモノニシテ特性トシテハ品種類別上ノ一條件トナスヲ妨ケサル可シ　臺灣稻ニ於ケル芒ノ變異ハ通常發現數ニ於テ10%內外,其發育ニ於テ無ヨリ中ノ間ヲ彷徨スルヲ普通トスルヲ以テ之ニヨリ類別ノ限界ヲ短芒10%竝ニ長芒トナシ次ノ如ク標準ヲ定メタリ(分類ニ關スル調査表第十表參照)

中芒 {10%以上　有芒
短芒 {10%以下　無芒

長芒 {……有芒

VIII. **稃色**　稃色ハ栽培ノ時期(隨テ栽培地域)收穫時期ノ早晩ニ因リ濃度ヲ異ニスルモ變異ノ大ナラサルヲ以テ品種類別ノ一條件トシテ充分ノ價値アルヘシ(分類ニ關スル調査表第九表參照)

稃色……{淡黃 淡茶褐}……淡
茶褐……茶
濃茶褐 黑茶褐 暗赤褐}……濃
黃……白
暗紫……褐

IX. **稃毛**　稃毛ハ品種ニ依リ之ヲ有スルモノト然ラサルモノトアリ又多少長短アリ　外界ノ影響ニヨル變異極メテ僅少ナルカ如シ品種類別ノ標準次ノ如シ

稃毛{有　無
長　短

X. **稃先,護穎,柱頭ノ色**　稃先,護穎,柱頭ノ色ハ普通不變的特性トモ云

フヘキモノナレハ品種類別上重要項目タリ　此類別標準次ノ如シ

稃先色	無(稃色ト同質色ナル場合)	成熟色
護頴色	紫又ハ赤(稃色ト異ナル場合)	成熟色
柱頭色	無(白色ノ場合)	
	紫又ハ赤	

XI. **米粒ノ大小**　生育期間中ニ於ケル外界ノ事情ニヨリ僅少ナル變異ヲナスモノニシテ實驗ニヨルニ同品種中ノ異ナル系統間ニ於ケル玄米大小最大變異ハ特ニ極端ノ物ヲ除ケハ全系統ノ玄米平均重量ノ約20分ノ1内外ヲ示セリ(分類ニ關スル調査表第十一表參照)米粒ノ大小ハ一般ニ品種ノ類別トシテ重要ナル項目トシテ認メラル　然シテ臺灣ニ於テハ第二期作種ハ第一期作種ニ比シ一般ニ小粒ナルヲ以テ標準ヲ異ニシ尙類別ノ範圍ハ何レモ2瓦ト定メタリ

第一期作	20瓦以上	大
	20瓦未滿	中
	18瓦以上	
	18瓦未滿	小
	16瓦以上	
	16瓦未滿	最小
第二期作	19瓦以上	大
	19瓦未滿	中
	17瓦以上	
	17瓦未滿	小
	15瓦以上	
	15瓦未滿	最小

XII. **米粒ノ形狀**　實驗ノ結果ニヨレハ米粒ノ形狀(幅ニ對スル長サノ比)ハ他ノ分量的性質ニ比シ外界ノ影響ニ左右セラルヽコト僅少ナリ(分類ニ關スル調査表第十二表參照)之カ類別ノ範圍ヲ0.3トナシ次ノ如ク標準ヲ定メタリ

1.9以上	長

1.9未滿	中
1.6以上	
1.6未滿	間

XIII. **草丈** 草丈ハ外界ノ影響ニヨル變異比較的大ニシテ且第二期作種ハ第一期作種ニ比シ概シテ矮小ナリ　同一品種ノ同一系統間ニ於テモ第一期作トシテ栽培シタル場合ト第二期作トシテ栽培シタル場合ハ10分ノ1内外ノ差ヲ生スルヲ普通トスレトモ第二期作ノ播種期ヲ早クスレハ必スシモ然ラス　隨テ第二期作種カ第一期作種ニ比シ若干矮小ナリトスルモ必スシモ絶對的ノモノニ非サルハ瞭ナリト雖モ實用上ニ於テハ決定的ト見做シテ差支ヲ生スル理由ナシ　之カ類別ノ範圍ヲ1尺トシ如上ノ關係アルヲ以テ一、二期其標準ヲ異ニシタリ(分類ニ關スル調査表第十三表參照)

第一期作陸稻	45寸以上	長
	45寸未滿	中
	35寸以上	
	35寸以下	短
第二期作中間作	40寸以上	長
	40寸未滿	中
	30寸以上	
	30寸未滿	短

XIV. **分蘖** 分蘖モ亦草丈ト同樣ニ變異大ナリト雖モ特性トシテ重要ナル調査要件タルヘシ　之カ類別ノ範圍ヲ10本トナシ次ノ標準ニ隨ヒタリ(分類ニ關スル調査表第十四表參照)

第一期作	20本以上	多
第二期作	20本未滿	中
	10本以上	
中間作	10本未滿	少
陸稻作	10本以上	多
	10本未滿	中
	5本以上	
	5本未滿	少

XV. **穗長** 穗長ハ收量ト最モ密接ナル關係アルヲ以テ重要ナル項目

タルヘシ　而シテ類別ノ範圍ヲ2寸トシ次ノ標準ヲ定メタリ(分類ニ關スル調査表第十五表參照)

8寸以上	長
8寸未滿	中
6寸以上	
6寸未滿	短

XVI. **著粒疎密**　著粒ノ疎密ハ外因ニ由ル變異僅少ニシテ品種ノ類別上重要ナリ　1寸間ノ粒數ヲ以テ定メ此範圍ヲ10粒トナシ次ノ標準ニヨリタリ(分類ニ關スル調査表第十六表參照)

25以上	密
25未滿	中
15以上	
15未滿	疎

XVII. **止葉ノ姿勢**　止葉ノ穗軸ニ沿ヒ直立セルモノハ明カニ品種ノ一特性ニシテ其穗軸トナス角度ヲ以テ標準ヲ定メタリ

角度	直角ノ$\frac{1}{10}$以下	小
	直角ノ$\frac{1}{10}$以上	大

本分類ハ以上各標準ニ隨ヒタリト雖モ徒ラニ標準ニ拘泥スルヲ避ケ各要項形質ノ特ニ高キモノ或ハ特ニ低キモノニ就テハ異例トシテ別種ノ取扱ヲナシ又類別ノ境界線ニ近キ計數ヲ示セルモノハ實物ニ照シ吾人ノ意見ニヨリ分異合同ヲ行ヒタリ　蓋シ分量的形質ハ連續的變異ヲナスモノナレハ一定規矩ヲ嚴守スルハ當ヲ得タルモノニ非サルヲ以テナリ

第六章　分　　類

予ハ品種ノ類別ヲ行フニ當リ先ツ試ニ「ケルニツケ」氏ノ分類ニ據リ臺灣稻ヲ類別スルニ氏ノ分類ニ相當スルモノ12種ニシテ別ニ3種ノ例外ト認ムルモノアリ　卽チ次ノ如シ

第七表　「ケルニツケ」氏ノ標準ニ據ル臺灣稻ノ分類

栽培稻　Oryza sativa L.

粳　稻　Utilissima Kcke.

通常稻　Communis Kcke.

無　芒

米粒白色 { Var. italica Al.　白殼種(第一期)ノ類
　　Var. paraguayensis Keke.　烏尖種(第一期)ノ類

米粒赤褐色　Var. sundensis Keke.　紅米萬仔種(第二期)ノ類

有　芒

米粒白色　Var. vulgaris Keke.　生鬚埔占種(陸稻)ノ類

米粒赤褐色　Var. pyrocarpa Al.　紅米赤鬚種(第二期)ノ類

糯　稻　Glutinosa Lour.

無　芒

米粒白色 { Var. affinis Keke.　紅脚朮種(第一期)ノ類
　　Var. mipueliana Keke.　反鹽朮種(第二期)ノ類
　　Var. erythra Inag.　赤殼朮(第一期)ノ類

(例外) 籾色 {未熟 帶黃淡綠 / 成熟 茶褐}　鵝卵朮(第二期)ノ類

{米粒黑褐色}　(例外)　烏米種(第二期)ノ類

有　芒

米粒白色 { Var. alba Al.　タダシエン朮種(陸稻)ノ類
　　Var. zomica Keke.　バイナイ朮種(陸稻)ノ類

米粒赤褐色 { (例外) 籾色 {未熟 帶黃淡綠 / 成熟 黑茶褐}　カツバイ朮(陸稻)ノ類
　　Var. grandiglumis Döll　シベエル朮(陸稻)ノ類

備考　{ }ハ例外トナルヘキ特性ヲ有ス

更ニ前章述フル所ノ分類ノ標準ニ據リ臺灣稻ノ系統的分類ヲ試ミタル結果臺灣ニ於ケル現在栽培稻ノ類別ハ175種ニ歸スルヲ知レリ其內譯次ノ如シ　若シソレ單ニ實用ノミヲ主トスル場合ハ更ニ約半數以下ニ類別スルコトヲ得ヘシ

類別總數	第一期作	72	粳	57
			糯	15
	第二期作	57	粳	41
			糯	16
	中間作	18	粳	14
			糯	4
	陸稻	28	粳	19
			糯	9
	計	175		175

以下第八表ニ分類結果ヲ揭クヘシ

第三編　臺灣稻ノ特性

第一章　水稻竝ニ陸稻種

現今臺南州管内ニ栽培セラルヽ中間作中ニハ水陸共通種ト稱スル品種アリ　舊嘉義廳下ニ分布セル中間作ハ17種ニシテ盡ク水陸共通種ト稱セラレ　舊臺南廳下ニ栽培セラルヽ中間作ハ14種ニシテ2種ノ水陸共通種アリ　是等ハ概ネ水利不便ノ地ニ栽培セラルヽモノニシテ共通種ト稱スルハ比較的旱魃ニ堪ヘ得ル性質ヲ有スル水稻品種ナルカ如シ　然シテ臺灣水陸稻ハ概ネ支那系統ニ屬スルモノニシテ又水陸相類似セリト雖モ蕃人ノ栽培ニ係ル陸稻中ニハ南洋系ト認メラルヽ品種アリ（玆ニ支那系ト稱スルハ小粒ニシテ芒發達セス比較的多葉ニシテ草丈穗長中庸ナルヲ謂ヒ　南洋系トハ草丈及穗長大ニシテ分蘖比較的尠ク大粒ニシテ芒頗ル發達シ葉幅稍廣キ品種ヲ謂フ）　水稻ヲ陸稻トシテ栽培シタル場合ニ於ケル各形質ノ變異ハ第十八表ニヨリテ窺知スルコトヲ得ヘシ

第十八表　中間作種ヲ水稻竝ニ陸稻トシテノ試作成績

大正七年

栽培方法	試作品種數	播種月日	稈長	穗長	分蘖	生育日數
			寸	分	本	
普通中間作水稻	24	5.14	34.36	77.07	13.31	145.6
中間作ノ時期ニ陸稻トシテ播種	20	5.14	32.33	61.35	7.98	152.3

（試驗地　臺中）

備考

I. 中間作種中ニハ普通中間作水稻種ト水陸共通種ト混合セリ

II. 陸稻試作ノ株間ハ坪60株(條間1尺2寸株間5寸)中間作水稻ノ株間ハ坪49株トシタリ

III. 一品種ニ對スル栽培面積ハ10坪トス

第二章　期作種

臺灣ニ於テハ稻ノ栽培時期ニヨル作付ノ名稱ヲ第一期作,第二期作,中間作ト名付ケ3期作ニ類別シ更ニ中間作ヲ半冬,大冬ニ分テリ　半

冬ハ大冬ニ比シ早播スルモノヲ謂フ　又第一期作ヲ早期作,第二期作ヲ晩期作ト稱スルコトアリ　各期作種ノ播種期ハ地方ニヨリテ差アリト雖モ第一期作ハ十二月乃至翌年三月ニ至リ第二期作ハ五月乃至七月ノ間トス　而シテ中間作ハ所謂其中間時期ニ播種スルモノニシテ隨テ第一期作ト中間作,中間作ト第二期作トノ限界ハ瞭ナラス　作付ノ方法ハ普通第一期作收穫後更ニ第二期作ノ挿秧ヲナスモノナレトモ灌漑水缺乏又ハ其他ノ原因ニヨリテ完全ニ2回作ヲ行フ能ハサル地方ニ於テハ種々ナル特殊栽培法行ハレ是等ニ用ヒラルヽ品種モ特性上略一定セリ

1. 期作ト作付法

一年二回作法

イ　第一期作及第二期作法

南北各地ノ灌漑順調ナル地方ニ行ハルヽ普通ノ方法ナリ

ロ　澁仔法(寄仔)

前稻作(主トシテ第一期作種)ノ生育中別ニ養成セシ苗(主トシテ第二期作種)ヲ其株間ニ挿秧シ前作收穫後殘株竝ニ雜草ヲ除キ2回ノ收穫ヲナスモノニシテ宜蘭,臺北,桃園,新竹竝ニ嘉義地方ニ行ハル　之カ理由ハ地方ニヨリテ異ナレトモ　(イ)第二期挿秧當時灌漑水缺乏シ挿秧困難ナル地方ニ於テ早植ヲナシテ安全ヲ計ルコト　(ロ)第二期作挿秧期ニ浸水深クシテ苗ノ腐敗ヲ來ス虞アル地方ニ於テ早植ヲ行ヒテ腐敗ヲ免カルヽコト等ヲ主ナルモノトシ之ニ用フル品種ハ金猴,大伯姆等トス蓋シ是等ノ品種ハ分蘖性ニ富ムカ爲ナルカ如シ

ハ　滲仔法(破仔)

早熟種(主トシテ第一期作種)ト晩熟種(主トシテ第二期作種)トヲ混合播種シテ苗ヲ作リ之ヲ挿秧ス　然ル時ハ早熟種收穫ノ際ハ晩熟種ハ未タ幼莖トシテ株內ニ介在スルヲ以テ收穫後手入ヲ行ヒ更ニ第2回目ノ收穫ヲナスヲ得ヘシ　本法ハ宜蘭,臺北,桃園,嘉義地方ニ行ハレ之カ理由竝ニ之ニ用フル品種ハ略前項ニ同シ

一年一回作法

イ　第一期一回作

第一期ノミ栽培スルモノニシテ其理由ハ第二期作ノ時期ニ(イ)降雨尠クシテ灌漑水缺乏シ作付困難ナルコト (ロ)降雨ノ爲湛水深ク稻ノ生育ニ適セサルコト等ヲ主ナルモノトシ前者ハ北部地方ニ後者ハ南部地方ニ稀ニ行ハル {(イ)(ロ)ノ理由全ク相反スルハ北部ノ雨期ハ冬期ニシテ南部ハ夏季ナルカ爲ナリ}

ロ 中間一回作
ハ 第二期一回作

以上2項ハ第一期作ノ時期ニ灌漑水充分ナラスシテ作付不能ナル田ニ就キ中間作若クハ第二期作ノ1回作ヲ行フモノニシテ主トシテ南部地方ニ行ハル 同地方ハ雨期ノ關係上冬春ノ間ハ圳水涸渇シ第一期作ヲ行フ能ハサル田地多シト雖モ中間作及第二期作ノ際ハ降雨ヲ利用シテ作付ヲナス

ニ 乾 播

三,四月ノ頃畑地ノ狀態ニアル田地ヲ畑トシテ整地シ1尺内外ノ距離ニ條播シ置キ苗ノ移植期ニ達シタル際降雨潤澤ナレハ之ヲ間引シテ他ニ移植シ然ラサル場合ハ陸稻トシテ栽培ス 間引ノ方法ハ一定ノ間隔ヲ置キ點々四,五本宛植株ノ狀態ニ殘留セシメ恰モ普通ニ移植シタルカ如クナラシム 主トシテ南部地方ノ看天田(全ク水路ヲ有セス夏季ノ降雨ニヨリテ水稻ヲ栽培スル田地)及水利不便ナル地方ニ用ヒラル、中間作半冬ノ特殊栽培法ニ屬スヘシ

ホ 撒 播

五,六月頃ノ降雨ヲ待チテ普通水田ノ整地ヲ行ヒテ撒播ヲ行フモノニシテ主トシテ南部地方ノ看天田ニ用ヒラル、中間作大冬ノ特殊栽培法ニ屬スヘシ

2. 期作種ノ特性

各期作種ニ於ケル特性ノ差異ハ品種ニ依テ趣ヲ異ニシ決定的ニ斷シ難シト雖モ之ヲ統計的ニ論スレハ

イ 稃 色

第一期作種ハ第二期作種ニ比シ粳種ハ概シテ稃色濃厚ニシテ黑褐ノ斑點ヲ附著スルコト多ク糯種ハ之ニ反ス(第五表自

No.1乃至No.8參照)此傾向ハ栽培時期ヲ異ニスルカ爲ニ起ル反應上ノ差異ニモ多少ノ關係ナキニ非サルモ多クハ本來ノ稟性ニ基ケリ

ロ　葉鞘葉面ノ毛茸

第一期作及中間作種ノ多クハ毛茸僅少ナレトモ第二期作種ハ概シテ多毛ナリ

ハ　生育中ノ姿勢

第二期作種ハ第一期作種ニ比シ一株中ニ於ケル各莖ノ上部著シク開キタル姿勢ヲ呈スル品種多シ

以上ノ外各形質ヲ仔細ニ觀察スレハ各相異ナレル傾向アリ　就中出穗ノ整否米色腹白歩合等ニ於テ著シキモノアリト雖モ是等ハ期作種ニ於ケル稟性上ノ相違ニ非スシテ寧ロ作付時期ヲ異ニスルコトニヨリテ起ル反應ノ差異ト認ムルヲ至當トスヘシ

期作ニヨル稻ノ特性上ノ地位ハ熟期ノ早晩ニヨリ實用上ニ區分セラレ永年繼續栽培中自然淘汰作用並ニ人爲淘汰作用ニヨリ各栽培期ニ適應セシモノ殘存シ然ラサルモノ絶滅セシ結果ニヨルモノナラン

中間作種ハ特性上第一期作ニ隷屬スヘキモノト第二期作ニ隷屬スヘキモノトニ類別シ得ルカ如シ　又各期作種子ハ常ニ一定シ第二期種ヲ第一期作トシ或ハ第一期種ヲ第二期作トシテ作付ヲナスカ如キコト無キハ前述ノ如シト雖モ特殊ノ場合ニ第一期作種ヲ第二期作トシテ栽培スルコトアリ　例ヘハ舊阿緱廳管内ニ行ハル、中繼法ノ如ク翌年播種ノ際發芽力ヲ失フ虞アル場合ニ第二期作トシテ栽培シ之ニヨリ生シタル籾ヲ種子用ニ供スル如キコトアリ　試驗ノ結果ニ據ルニ普通第一期作種ハ第二期作トシテ栽培シ生育收量ノ點ニ於テ相當ノ成績ヲ擧ケ得レトモ第二期作種ヲ第一期作トシテ作付シタル場合ニハ出穗著シク遲延シ爲ニ年2回作ヲ行フコト能ハス　農業者ニシテ誤テ第二期作種ヲ第一期作トシテ植付ケタル場合ニハ出穗ヲ待タスシテ刈除クヲ普通トス　是レ一般ニ第二期作種ハ第一期作トシテ栽培不可能ナリト稱セラル、所以ナルヘシ　第一期作種ハ臺灣種中ノ早生種ニシテ中間作種第二期作種トナルニ從ツテ晩生種トナルコトハ栽培試驗ノ結果之ヲ示セリ　卽チ第二期作種ハ晩生種ナルカ故ニ第一期作トシテ栽培困難ナルモノニシテ第一期作種ハ早生種

ルカ故ニ方法ニヨリテハ第二期作トシテ栽培可能ナルモノト考ヘラル　之ニヨリ從來臺灣ニ於テ最モ早生種タル內地種稻モ方法宜シキヲ得ルニ於テハ各期作ヲ通シ全島ニ栽培シ得ヘキ可能性ヲ有スルモノト認メ得ヘシ

第十九表　第一期作種ヲ第一期作及第二期作ニ試作シタル成績

大正七年

品種名	第一期作栽培					第二期作栽培				
	生育總日數	草丈	穗長	分蘖		生育總日數	草丈	穗長	分蘖	
		寸	分				寸	分		
早大花	172	44.1	77.0	9.2		130	41.0	69.0	12.1	
烏尖	173	40.1	63.4	22.0		129	33.0	60.1	26.4	

（試驗地　臺中）

備考

I. 分蘖ハ5株,草丈,穗長ハ10株平均トス

II. 本表ハ大正十年ヨリ大正十二年ニ亞ル試驗ノ豫備試驗トス

大正十年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗期標準誤差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗期標準誤差
		寸		分	月日			寸		分	月日	
早大花	165	44.8	10.0	72.2	5.29	±2.47	118	32.4	12.7	63.4	10.10	±2.55
烏尖	165	37.8	18.5	60.5	5.29	±2.10	118	27.7	18.6	53.2	10.10	±2.17

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈,分蘖,穗長ハ100株平均トス

II. 第一期作栽培　播種期一月十七日　挿秧期　三月九日

III. 第二期作栽培　播種期七月十六日　挿秧期　八月十三日

大正十一年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗期標準誤差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗期標準誤差
		寸		分	月日			寸		分	月日	
早大花	162	42.0	10.3	74.3	5.25	±1.95	142	39.7	9.8	71.4	10.25	±1.93
烏尖	162	37.7	20.6	60.3	5.26	±1.82	142	29.3	17.9	60.7	10.25	±1.83

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈,分蘖,穗長ハ100株平均トス

II. 第一期作栽培　播種期　一月十五日　挿秧期　三月六日

III. 第二期作栽培　播種期　七月八日　挿秧期　八月九日

大正十二年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準誤差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準誤差
烏尖	165	33.5 cm	17.2	66.0 mm	5.29 月日	±1.66	134	31.3 cm	19.8	52.6 mm	10.18 月日	±1.71
朮仔舊	165	39.6	13.8	74.9	5.29	±1.82	130	34.6	14.4	62.0	10.15	±2.06
白殼仔	165	34.5	13.7	65.7	5.28	±1.38	136	38.7	12.3	63.6	10.20	±2.00
高脚花蠟	166	41.9	12.9	74.4	5.30	±1.40	136	37.4	13.5	63.8	10.20	±1.92
早大花	165	42.0	12.6	76.1	5.28	±2.14	136	36.5	13.0	64.7	10.21	±1.30
半天仔	166	44.9	14.4	79.2	5.31	±1.98	134	38.9	10.5	61.3	10.19	±2.08
五脚齊	165	42.6	11.5	71.4	5.26	±2.05	134	36.3	10.8	65.5	10.18	±2.74

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈、分蘖、穗長ハ100株平均トス

II. 第一期作栽培　播種期　一月十五日　挿秧期　三月十一日

III. 第二期作栽培　播種期　七月七日　挿秧期　八月七日

第二十表　第二期作種ヲ第一期作及第二期作ニ試作シタル成績

大正七年

期作	平均ニ用ヒシ品種數	播種期	移植期	出穗期	分蘖
第二期作種	1	2.17 月日	4.10 月日	9.20 月日	24.0
第一期作種	10	2.17	4.10	6.28	—

（試驗地　臺中）

備考

I. 雀害ニ罹リ收穫皆無

II. 本表ハ單ニ兩期作ノ出穗期ヲ觀察スルノ參考ニ資スヘキモノトス

III. 本表ハ大正十年ヨリ大正十二年ニ至ル試驗ノ豫備試驗トス

大正十年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準誤差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準誤差
格仔	183	39.0 cm	9.1	77.7 mm	5.25 月日	±5.90	123	28.1 cm	23.9	56.9 mm	10.15 月日	±4.98
黃稿	—	—	—	—	—	—	123	30.2	17.9	64.5	10.15	±1.81

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈、分蘖、穗長ハ100株平均トス

第一期作黃稿ハ完全ナル出穗ヲ見ス漸次枯死セリ

II. 第一期作栽培　播種期　一月十七日　挿秧期　三月九日

III. 第二期作栽培　播種期　七月十六日　挿秧期　八月十三日

大正十一年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差
		寸		分	月日			寸		分	月日	
格仔	162	31.2	16.1	74.1	5.20	±6.00	126	31.6	15.3	66.0	10. 9	±3.18
黃稿	—	—	—	—	—	—	135	38.1	14.4	51.4	10.17	±1.23

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈、分蘖、穗長ハ100株平均トス

第一期作黃稿ハ完全ナル出穗ヲ見ス漸次枯死セリ

II. 第一期作栽培　播種期　一月十五日　挿秧期　三月六日

III. 第二期作栽培　播種期　七月八日　挿秧期　八月九日

大正十一年

期作	自挿秧至出穗日數	自出穗至收穫日數	自挿秧至收穫日數	自挿秧至收穫日數	草丈	分蘖	穗長	一穗粒數	反當粗收量
					寸		分		瓦
第一期作	177	29	206	237	56.1	8.4	86.0	162.5	83.010
第二期作	62	28	90	121	36.8	10.1	69.0	153.4	43.500

（試驗地　嘉義）

備考

I. 第一期作栽培　播種期　三月二日　挿秧期　四月二日

II. 第二期作栽培　播種期　七月二十日　挿秧期　八月二十日

III. 本調査ハ前表ニ對スル參考資料トス

IV. 品種　蠶蛋米

大正十二年

品種名	第一期作栽培						第二期作栽培					
	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差	生育總日數	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差
		寸		分	月日			寸		分	月日	
格仔	164	38.5	16.5	77.4	5.26	±2.51	120	32.5	17.2	59.2	10. 3	±1.96
清流	—	38.6	21.6	—	—	—	124	30.4	20.6	61.7	10.12	±1.40
蔓仔	—	37.8	21.7	—	—	—	124	32.4	17.8	61.3	10.10	±2.18
烏咬	—	44.3	16.9	—	—	—	123	33.1	14.2	64.5	10. 8	±1.27
大菁稿	—	44.7	15.4	—	—	—	134	37.5	14.0	61.5	10.19	±1.01
高梨	—	44.9	15.8	—	—	—	128	36.4	13.5	66.7	10.12	±1.70
黃稿	—	43.7	12.6	—	—	—	128	34.2	12.6	64.5	10.13	±0.85

（試驗地　臺中）

備考

I. 草丈、分蘖、穗長ハ100株平均トス

第一期作ニ於テ格仔以外ノ品種ハ完全ナル出穗ヲ見スシテ漸次枯死セリ

II. 第一期栽培　播種期　一月十五日　挿秧期　三月十一日

III. 第二期栽培　播種期　七月七日　挿秧期　八月七日

內地種ヲ第一期及第二期作ニ試作シタル成績

大正十三年

期作	平均ニ用ヒシ品種數	草丈	穗長	分蘖	生育總日數
		寸	分	本	
第一期作	186	33.5	68.9	12.6	145
第二期作	185	28.6	59.4	17.2	102

（試驗地　臺北）

備考

I. 第一期作栽培　播種期　二月九日　挿秧期　三月二十三日

II. 第二期作栽培　播種期　七月九日　挿秧期　七月二十六日

III. 本表ハ寥ロ第十九表ニ對スル參考資料トナスヲ便トス

大正十三年

期作	草丈	穗長	分蘖	生育總日數	苗代日數
	寸	分			
第一期作	35.4	70.0	9.1	144	44
中間作	40.6	85.0	15.6	137	20
第二期作	31.5	71.0	10.0	96	10

（試驗地　臺北）

備考

I. 第一期作　播種期　二月九日　挿秧期　三月二十三日

II. 中間作　播種期　四月五日　挿秧期　四月二十五日

III. 第二期作　播種期　七月二十日　挿秧期　七月三十日

IV. 中間作ハ大正十四年

V. 品種　中村

苗代日數ノ長短カ植付後ノ生育期間ノ長短,草丈ノ伸長等ニ密接ナル關係ヲ有シ從テ收穫量ニ及ホス影響大ナルコトハ第八編第二章ニ詳說セル所ナリ　是等ノ試驗ニヨリ攻究スルニ晩生種カ第二期作ニ分布サルヽハ盛夏苗代ニアリテハ苗ノ生育迅速ニシテ過熟ニ陷リ易ク爲メニ早生種ハ勿モスレハ出穗ノ促進過度ニ失シ正常ナル發育ヲ阻止セラルヽニ因ルヘシ從テ早生稻ヲ第二期作トシテ栽培スルニハ其品種ニ應シ適當ニ苗代日數ヲ短縮スルヲ要ス

內地種ハ從來栽培試驗ノ結果第一期作時期ニ生育良好ナルモ第二期作時期ニハ出穗極端ニ促進セラレ草丈著シク低ク成績可良ナラス又第一期作ノ一般栽培ニ於テ北部ノ一地方ハ相當ノ成績ヲ擧ケ得シ

モ中南部地方ニ於ケル成績甚タ不良ナリシハ臺灣種栽培ノ經驗ヲ以テ內地種ヲ栽培セシカタメ氣溫ニ對スル苗代日數ノ短縮カ充分ニ行ハレサリシコトニ基因スヘシ

從來臺灣種ヲ栽培スルニ當リ第二期作ノ施肥量ハ第一期作ノ施肥量ヨリ少量トスルヲ可トストセラレタリ　然ルニ予ハ內地種ノ第二期作栽培ヲナスニ當リ苗代日數ヲ中村種其他之ニ類スル品種ハ10—15日トシ臺中特二號其他之ニ類スル品種ハ20日トシ堆肥ヲ增施シ其他ノ肥料ハ第一期作ト等量又ハ以上量トナセシニ其成績却テ第一期作ニ優リ多年ノ試驗成績又ハ經驗ト全ク相反スルカ如キ結果ヲ生シタリ

又中間作種ヲ第一期作及第二期作トシテ栽培セシニ草丈,生育日數ハ第二期作ヨリ第一期作ニ至ルニ從ヒ增加セリ(第二十一表參照)

第二十一表　中間作種ヲ各期作トシテ試作シタル成績

大正七年

調査要項		1 赤殼員粒	2 白殼員粒	3 花殼	4 山林	5 白殼花蟹	6 烏殼員粒	7 白埔占	8 紅脚花蟹	9 蕉朮	10 芒花朮	11 白殼員粒	12 烏唆來	13 高洲
稈長(寸)	1	53.1	51.1	56.0	48.2	—	45.6	—	—	—	—	43.8	45.6	40.5
	2	30.3	34.3	27.1	33.1	33.5	34.4	32.7	28.4	25.4	30.0	34.0	32.1	34.0
	3	35.8	36.9	38.9	40.2	31.5	34.7	32.4	31.2	34.6	31.6	37.6	86.2	37.8
	4	31.0	36.8	36.3	33.8	32.6	—	26.9	—	34.5	30.3	34.2	32.6	31.3
	5	31.2	31.2	32.7	31.9	33.8	31.0	29.5	34.5	25.8	30.8	30.0	30.5	30.8
穗長(分)	1	85.4	84.4	77.6	86.0	—	82.5	—	—	—	—	68.8	72.8	56.2
	2	72.5	67.0	61.0	71.5	62.0	61.5	65.0	53.0	50.8	53.0	69.0	61.0	61.8
	3	81.8	81.5	80.2	81.6	67.6	80.3	64.3	67.0	80.1	71.0	86.2	75.8	74.0
	4	58.5	72.8	66.2	67.8	53.0	—	55.0	—	64.0	61.0	52.5	57.0	54.8
	5	69.9	61.3	69.3	67.6	75.3	69.6	63.8	71.3	58.6	77.4	66.7	64.1	61.9
分蘖	1	10.0	8.5	13.3	7.1	—	10.2	—	—	—	—	9.3	9.9	14.8
	2	5.6	5.9	5.1	5.2	7.3	8.2	5.5	6.6	2.2	5.8	5.2	4.3	6.7
	3	7.5	13.9	22.4	8.4	8.8	17.0	11.0	7.9	5.6	19.2	18.1	11.1	15.6
	4	10.1	5.4	10.4	9.0	7.0	—	5.6	—	3.0	9.8	8.7	7.2	7.6
	5	8.0	11.5	15.3	5.8	11.0	6.6	6.2	13.1	5.2	12.4	10.4	8.6	11.8
生育日數	1	185	195	236	192	—	201	—	—	—	—	192	178	179
	2	169	170	195	190	162	173	155	164	186	153	171	167	168
	3	144	144	170	164	131	143	140	132	165	127	145	140	144
	4	152	152	169	169	133	—	140	—	166	133	151	143	147
	5	136	135	135	128	141	137	133	140	126	141	137	135	136

調査要項		14 烏殼貝粒	15 密粒清油	16 烏殼埔占	17 大粒清油	18 白殼埔占	19 白粉占	20 白殼埔占	21 粽蓑朮	22 烏殼清油	23 白殼芒花朮	24 烏殼芒花朮	品種平均ニ用ヒシ數	平均	播種月日
稈長(寸)	1	36.8	—	42.2	—	44.5	39.5	42.8	41.8	—	35.0	35.6	16	43.88	3.03
	2	30.7	30.0	26.8	25.8	31.2	33.0	32.0	32.2	27.8	31.6	29.6	24	30.91	4.18
	3	32.8	34.2	41.0	29.5	32.8	33.4	34.0	34.0	27.0	34.4	32.1	24	34.36	5.14
	4	36.8	—	30.1	—	32.3	30.5	33.0	31.9	29.2	33.7	28.9	20	32.33	5.14
	5	27.1	30.7	30.0	32.9	29.1	30.3	31.1	31.8	30.6	36.6	33.2	24	31.92	7.07
穗長(分)	1	62.8	—	88.3	—	77.9	67.1	89.0	92.7	—	63.3	63.0	16	76.11	3.03
	2	55.5	52.5	62.0	52.0	70.1	68.5	72.0	60.5	60.0	66.5	58.6	24	61.97	4.18
	3	63.2	80.4	80.5	62.8	76.7	76.0	96.5	71.6	65.4	79.6	85.6	24	77.07	5.14
	4	62.8	—	75.1	—	68.0	68.7	66.3	63.1	45.7	60.4	54.5	20	61.35	5.14
	5	63.2	54.1	65.1	64.2	66.0	63.1	66.0	65.4	66.1	69.2	66.7	24	66.08	7.07
分蘖	1	13.0	—	8.7	—	11.8	15.4	12.4	12.9	—	12.6	11.0	16	11.31	3.03
	2	7.9	5.6	4.2	8.5	7.3	7.6	5.0	6.4	7.5	5.9	4.6	24	6.00	4.18
	3	12.6	17.4	11.8	17.4	12.5	13.8	11.6	17.7	17.2	11.6	9.4	24	13.31	5.14
	4	13.0	—	7.1	—	7.0	6.5	7.6	8.9	8.1	9.8	7.9	20	7.98	5.14
	5	8.7	13.2	6.9	12.3	10.0	9.7	9.0	12.9	12.3	10.1	10.6	24	10.07	7.07
生育日數	1	165	—	224	—	190	184	189	232	—	155	186	16	192.7	3.03
	2	155	152	192	152	173	170	172	183	152	158	157	24	168.3	4.18
	3	131	141	162	134	145	144	144	165	141	145	153	24	145.6	5.14
	4	142	—	192	—	153	151	154	169	139	146	146	20	152.3	5.14
	5	133	136	136	140	137	135	139	137	143	139	130	24	135.7	7.07

(試驗地 臺中)

備考

I. 1. 第一期水稻トシテ試作　2. 陸稻トシテ試作　3. 中間作水稻トシテ試作　4. 中間作ノ時期ニ陸稻トシテ試作　5. 第二期水稻トシテ試作

II. 本表ハ一回ノ試作ナレハ概念ヲ得ルニ止ムヘキモノトス

以上ハ良ク臺灣ニ於ケル期作種分布ノ理由ヲ說明スルモノニシテ本島ノ如ク酷暑長キノミナラス氣溫ノ變化多ク稻作期間ニ種々ノ氣溫系ヲ有スル地方ニ於テ有利ニ稻作ヲ經營セントスルニハ各期節ニ適合スル品種配置ノ妙ヲ必要トシ多年ノ經驗ハ不知覺的又ハ知覺的ニ人爲淘汰ヲ行フニ至リ自然淘汰作用ノ之ヲ助クルアリテ年月ノ經過ト共ニ第一期作ニ早生種又第二期作ニ至ルニ從ヒ晚生種ノ分布ヲ來シタルモノナルヘク又同理ニヨリ概シテ北部ニ早生種南部ニ至ルニ從ヒ各期作ニ應シ晚生種ノ分布セラレタルモノナルヘシ

氣溫ト稻ノ發育トノ關係ハ各種ノ試驗結果ヲ觀察考査スルニ次ノ事實ヲ認ムルコトヲ得ヘシ

1. 草丈ト氣溫トノ關係

植付ヨリ穂ノ形成迄ニ氣温遞昇シ高温ナルモノ草丈最モ伸長ス　假令植付時期ノ温度前者ト同一ナルモ植付後氣温漸降スレハ草丈ノ伸長充分ナラス　又植付時期ノ氣温前者ノ出穂期ト同樣高温ナルモ其後遞減スル場合ニ於テハ前者ト氣温昇降ノ方向ヲ異ニスルノミナルニ拘ハラス尙草丈ノ伸長充分ナラス

2　分蘖ト氣温トノ關係

植付期早キ時ハ氣温低キカタメ分蘖多ク植付期ノ氣温高キニ從ツテ分蘖漸減スト雖モ大ナル差ナシ　植付時期秋冷ニ赴ケハ分蘖又增加スル傾アリト雖モ出穂不揃ニシテ穂小サク粃多シ

3　發育期間ト氣温トノ關係

植付期早ク氣温低キトキハ植付ヨリ出穂迄ノ期間長ク植付期ノ氣温高キニ從ツテ發育期間短シ

但植付後氣温ノ遞下スル場合ニアリテハ假令氣温低キモ發育期間極メテ短シ

是等氣象ト稻ノ生育狀況トノ關係ヲ期作種分布ノ現狀竝ニ上述ノ理由ト合セ考査スレハ一層分布ノ理明瞭ナルヘシ

內地種ノ如キハ收量ト關係深キ草丈,分蘖,發育期間ノ3形質ニツキ考査スレハ最高氣温ノ月タル七八月及ヒ上昇氣温ヲ利用スル點ニ於テ五月ヨリ九月頃ノ期間ヲ最適ト認メラル此時期ハ他ノ時期ニ比シ穂長ヲ品種特性ノ限度迄發達セシメ得ヘク分蘖又少カラサルカ故ニ肥培宜シキニ於テハ充分其特質ヲ發揮シ得ヘシ　又兩作田ニ於テハ第一期作收穫ヲ成ル可ク早クスル方法ヲ講シ之ニ依テ第二期作ノ植付ヲ早クシ最高氣温ノ月七月中旬以前ニ於ケル上昇氣温ヲ利用シ發育ノ促進ヲ圖ルトキハ良ク內地種兩期作收穫量ノ合計ヲ最高限度ニ達セシムルコトヲ得ヘシ

期作種分布ノ理ヲ了解シ得ル他ノ方法トシテ次ニ明治四十五年乃至大正二年頃舊臺灣總督府農事試驗場カ南部地方ニ行ヘル地方試作ノ成績ノ一部ヲ摘錄シテ說明スヘシ　蓋シ同場ハ此成績ニヨリ當時ニ於テハ內地種ハ臺灣南部地方ニ於テハ經濟的栽培ヲ行ヒ得サルモノト看做セリ　然ルニ今日ニ於テハ予ハ同成績竝ニ爾後ニ於ケル予

ノ研究經驗ニヨリ內地種カ臺灣全島各期作ヲ通シ經濟的ニ栽培可能ナル所以ヲ知レルヲ以テ次ニ之カ解說ヲ試ムヘシ

第二十二表　南部地方內地種試作成績

明治四十五年

品種	播種期	挿秧期	出穗期	收穫期	苗代日數	自至挿秧穗日數	自至出穗穗日數	自至挿秧穗日數	自至播收穗日數	生育狀況 草丈	生育狀況 分蘖	反當籾收量
	月日	月日	月日	月日						寸		石
都	3.6	4.28	自 8.9 至 8.13	9.19	54	108	47	145	198	40.5	15	3.900
中村	3.6	4.28	自 8.9 至 8.13	9.19	54	108	47	145	198	45.4	12	3.000
江戶	3.6	4.28	自 8.9 至 8.13	9.19	54	108	47	145	198	44.8	14	2.800
佐賀萬作	3.6	4.28	自 8.9 至 8.13	9.19	54	108	47	145	198	45.5	12	3.000
巾着	3.6	4.28	自 8.9 至 8.13	9.19	54	108	47	145	198	44.8	14	3.300

（試驗地　嘉義）

上表[1]ハ嘉義廳農會ニ委託セル試驗成績ニシテ各品種共移植後14—15日ニシテ草丈7—8寸ニ及ヒ出穗シ後14日ニシテ再ヒ回復シ生育ヲ始メタリ　從テ成績トシテ示スモノハ第二次出穗ニヨルモノナリ

第二十三表　南部地方內地種試作成績

大正二年

品種	播種期	挿秧期	出穗期	收穫期	苗代日數	自至挿秧穗日數	自至出穗穗日數	自至挿收穗日數	自至播收穗日數	生育狀況 草丈	生育狀況 分蘖	反當籾收量
	月日	月日	月日	月日						尺		石
都	2.8	4.9	7.5	9.9	61	88	67	154	214	2.84	13.0	0.956
	2.19	5.3	8.4	9.25	65	94	53	146	219	4.03	9.4	2.913
	3.6	4.11	自 5.25 至 6.28	8.26	37	79	60	138	205	3.11	29.6	2.983
中村	2.8	4.9	7.5	9.9	61	88	67	154	214	3.84	13.6	1.950
	2.19	5.3	8.4	9.25	65	94	53	146	219	4.17	9.4	2.780
	3.6	4.11	自 5.25 至 6.28	8.26	37	79	60	138	205	3.13	25.3	3.135
江戶	2.8	4.9	7.5	9.9	61	88	67	154	214	3.08	13.2	1.489
	2.19	5.3	8.4	9.25	65	94	53	146	219	4.17	11.8	3.044
	3.6	4.11	自 5.25 至 6.28	8.26	37	79	60	138	205	2.97	31.6	2.684
佐賀萬作	2.8	4.9	7.5	9.9	61	88	67	154	214	3.22	15.8	1.464
	2.19	5.3	8.4	9.25	65	94	53	146	219	4.00	9.4	2.427
	3.6	4.11	自 5.25 至 6.28	8.26	37	79	60	138	205	3.06	24.0	1.607
巾着	2.8	4.9	7.5	9.9	61	88	67	154	214	3.67	16.4	1.599
	2.19	5.3	8.4	9.25	65	94	53	146	219	4.11	11.4	3.500
	3.6	4.11	自 5.25 至 6.28	8.26	37	79	60	138	205	3.33	16.8	1.307

（試驗地　嘉義）

(1) 增田朋來：一臺灣ニ於ケル內地種水稻　臺灣總督府農事試驗場特別報告　第十二號（大正四年）

第二十三表[1]ハ嘉義廳農會ニ委託セル試驗成績ニシテ表中二月八日播種四月九日植付ノモノハ各品種共移植後20日間ニシテ出穗ヲ始メ85日ニシテ穗揃トナリ頗ル長期間ヲ要シタリ　是レ一旦出穗成熟シタル後莖ノ中途ヨリ新ニ分岐シ出穗シタルモノアリシニ因ルナリ

二月十九日播種五月三日挿秧ノモノハ移植後10日ニシテ各品種共草丈八,九寸ニ滿タサルニ既ニ出穗成熟シ後更ニ各株共新莖ヲ發生シ尋常ノ結實ヲナセリ　而シテ他ノ期節ニ挿植セシモノニ比シ出穗齊一ニシテ草丈伸長シ成績良好ナリシト雖モ成熟日數長キヲ要シタリ此成績ハ二重出穗ニヨルモノニシテ過熟苗ヲ高温期節ニ挿秧スル際ニ於テ良好ナル成績ヲ擧ケ得ルコトヲ示ス

三月六日播種四月十一日挿秧ノモノハ二重出穗ナキモ出穗期間長キニ亙リ且著シク不齊ナリキ

此成績及其他全島ノ内地種試作ノ成績ニ據リ内地種水稻ハ第一期作トシテ「本島[2]北部少クトモ臺北廳下ニアリテハ確ニ適當ナルモノト認メ中南部地方ニアリテハ遽ニ其適否ヲ斷スルヲ得スト雖モ内地種水稻ノ特性ヲ知悉シ其栽培技術進マハ將來一般栽培ノ一品種ニ數フルヲ得ルニ至ルヘシ」ト云ハレ其當時ニ於テハ臺灣南部ニハ適スル見込ナキモノト認メラレタリ

當時予ハ是等ノ成績ノ整理考査ヲ技手增田朋來氏ト共ニシ本文ハ實ニ特ニ予ノ執筆ニ係ルモノナリト雖モ第二十二表竝ニ第二十三表ノ成績ヲ精査シ今日ニ於ケル予ノ意見ヲ以テスレハ該試作ハ苗代日數長キニ失シ所謂過熟苗ヲ用ヒタリ　然レトモ其成績ハ必スシモ不成效ト斷ス可カラス時ニ相當ノ生育ヲ遂ケ相當ノ收量ヲ擧ケ得タルモノナキニシモ非ス　唯其生育ノ甚タ不齊ナリシハ爭フ可カラサル事實ナリ　然シテ相當ノ良成績ト認ム可キモノハ何レモ苗ノ植付後短期間ニ出穗成熟シタル後更ニ同株ヨリ新莖ヲ發生シ所謂二重出穗ヲナシ第二次出穗ニヨリ得タル成績ナリ　卽チ第一次出穗成熟ハ第八編ニ述フル所ノ苗代日數長キ時ハ植付ヨリ出穗又ハ成熟ニ至ル日數ノ短縮サル、場合ノ極端ノ例ナリ　過熟苗ヲ植付タルトキハ充分生育ヲ遂ケスシテ出穗シ其苗ノ熟度及移植後ノ氣温ニヨリ出穗ノ早

(1)(2) 增田朋來:一臺灣ニ於ケル内地種水稻　臺灣總督府農事試驗場特別報告第十二號(大正四年)

晩ヲ生シ出穂甚シク早ケレハ其穂ノ成熟枯死スルニ及ヒ更ニ新莖ヲ分蘖シ其分蘖莖ハ第一次出穂期中ニ發達セル地下部新根ノ影響ニヨリ著シキ生育ヲ遂ケ氣温未タ上昇中ナルヲ以テ草丈ノ伸長良好ナリシナリ　然レトモ苗代日數普通ナルカ爲第一次出穂稍々遲キトキハ第一次莖ノ伸長期間幾分長キタメ第二次莖ノ發育充分ナラス二重出穂ハ連續出穂トナリ出穂期長キニ亙リ極メテ不整トナリシナリ　故ニ高温期節ニ於ケル內地種ノ栽培ハ徹底的ニ苗代日數ヲ短縮シ若苗ヲ用フルコトヲ必要トスルモ時ニ又極端ナル老熟苗モ亦利用シ得ルモノトス　卽チ二次新莖ノ二重出穂ヲナサシメ其出穂偏差ヲ少カラシムレハ又相當收穫ヲ擧ケ得ヘシ　低温期節ニ於テモ內地種ハ臺灣種ニ比較シ幼苗ヲ必要トシ苗代日數ノ短縮ヲ要スルコト同理ニ屬ス然レトモ此場合ニ於テハ二重出穂ノ利用ハ殆ト不可能ナリ

以上述フル所ヲ考査スルニ內地種カ若苗ヲ有利トスル生理的理由ハ苗ノ地上部ノ發育ニ對シ地下部根系ノ發育ヲ特ニ充分ナラシムルニ在ルカ如シ　卽チ前述過熟苗ヲ挿秧スル時ハ地上部ノ旣ニ發育セル程度ニ比シ根系ノ發育劣レル狀態ニアリ仍テ氣温上昇シ之カ成熟ヲ促スモ養分ノ補給伴ハス自然的ニ矮小ナル第一次出穂ヲナシ成熟スルニ至ルヘシ　然レトモ此際旣ニ形成包藏サル、分蘖萠芽ハ發育ニ移リ　又上部ニ對スル根部ノ發育程度ハ比率的ニハ極メテ良好ナレハ之ニヨツテ補給サル、養分甚タ潤澤ナルカタメ第二次出穂ノモノハ莖稈ノ發達良好ニシテ穂モ亦大ナルヘシ　換言スレハ第二次出穂ヲナセシ分蘖莖ハ充分發達セル根莖ヲ有スル若苗ト解スルモ妨ナカルヘシ　卽チ若苗ヲ挿秧スルハ生育ノ初ヨリ充分ナル根系ノ發達ヲ期スル所以ニシテ之ニ淺植,深耕,多肥或ハ堆肥其他有機質肥料ノ施用等ニヨリ地力ノ增進之ニ伴ハハ一層顯著ナル生育ヲ遂ケ得ヘキ理ナリ　而シテ淺植ノ利點トスル所ハ發育ノ途中ニアル苗ノ分蘖莖ニ障害ヲ與ヘサルニアリ　深耕其他カ根系ノ發達ニ利アルコトハ敢テ說明ノ要ナカルヘシ

苗カ旣ニ其基部ニ於テ多數分蘖ノ萠芽ヲ藏シ萠芽ノ發育均等且ツ其苗幼齡ナルハ最モ理想トスル所ニシテ如斯苗ハ秧後分蘖迅速均等ニ行ハレ各莖ノ發育旺盛ニシテ無效分蘖少ク出穂偏差從ツテ減少シ

平均穗重ヲ大ナラシムヘシ　育苗上苗代ニ於ケル播種量,肥料ノ種類,施用量或ハ施肥ノ方法等ハ品種ノ早晩ト其品種カ分布セル地方ノ氣象ニ鑑ミ各々其程度ノ存スルコトハ勿論ナリト雖モ適當ナル若苗ノ養成ヲ目的トスルヲ可トスヘシ　即チ分蘖苗ノ如キ性質ヲ具備シ適當ナル乾物量ニ富ミ强健ナル若苗ノ挿秧ハ臺灣ニ於ケル稻作上特ニ內地種栽培ニ對シ最モ必要ナルコトニ屬シ蘖性ノ合理的利用ハ稻作ノ一秘訣タルヘシ（第六編各章及第八編第二章參照）

以上歸スル所若苗ヲ可トスル理ハ根系ノ發育ヲ充分ナラシメ之ニヨリ地上部ノ發育ヲ旺盛ナラシメントスルモノニシテ地上部發育ノ昂進制御ハ根系發育ノ昂進制御ニ俟ツコト大ナルヘク之カ各地方ニ於テ適當ニ行ハルヽトキ初メテ其地方ニ於ケル合理的生育ヲ遂ケ最大收穫量ヲ擧クルニ至ルモノナルヘシ　最近臺灣ニ於テ甘蔗ノ挿期ヲ早メ九月頃トナシ（普通十一月下旬ヨリ翌年二月頃迄）多收ノ實ヲ擧クルニ至リシハ臺灣南部看天田地方ニ於ケル糊仔甘蔗法（コアー ハンチー）：看天田地方ハ主トシテ中間作ヲ行ヒ收穫期ハ九月乃至十月ニシテ南部地方乾燥期トナル時節ナルタメ收穫後田面極度ニ乾固シ耕耘困難ニシテ後作甘蔗苗ノ挿秧ヲ行フ能ハス故ニ農家ハ水稻立毛中田面乾固セサルニ先チ稻株ノ間ニ甘蔗苗ヲ挿秧スルモノナリ ノ模倣ニヨル糊仔甘蔗ノ觀念ヲ經テ發達シタルモノナランモ其生理的說明ハ早植ニヨリ翌春發育期迄ニ於ケル根系ノ發育ヲ充分ナラシムルニ基因スルモノナルヘク挿植ヲ過度ニ早メタルタメ翌春ヲ待タス多少ノ生育ヲナスノ結果却テ翌年異常不均一ナル發育ニ陷ルモノアルカ如キハ恰モ前述內地種老熟苗ノ生育ニ似タルモノアリ　其他大小麥秋蒔種カ春蒔種ニ優リ或ハ春蒔種育種ノ要點カ生育初期ニ於ケル發育ノ迅速ヲ選擇ノ一手段トナスカ如キハ何レモ相似タル原因ニ非サルナキ乎　又水稻作直播栽培ニ於テ種籾浸水ノ如何或ハ萌芽播ニ於ケル萌芽ノ程度等ハ分蘖莖ノ發生及發育ノ程度,偏差等ニ關係シ從ツテ直播ヲ利トシ移植ヲ利トシテ論スルモ其根柢ハ上述若苗ニヨツテ說明セシ所ト相似タルモノニ非サルナキ乎　之カ解決ハ他日ノ研究ニ俟ツヘシ

以上ニヨリ南部ニ於ケル內地種試作成績ヲ考査スルニ南部地方內地種栽培ノ能否ハ其方法如何ニアリ　氣象品種ニ相應セル若苗ヲ挿秧スルコトヲ得ハ兩期作,中間作ヲ通シ充分可能性ヲ有スト斷シ得ヘシ　予ハ以上ノ見解ニ基キ數年中央研究所嘉義農事試驗支所ニ於テ

試作ヲナセルニ成績極メテ良好ニシテ其結果ハ臺南,高雄兩州ノ所謂熱帶水田地方ニ內地種作ノ機運ヲ勃興セシメツヽアリ

以上內地種カ臺灣全島ヲ通シ或ハ第一期作,中間作,第二期作ヲ通シテ現ハス現象ハ其半面從來臺灣期作種ノ特性竝ニ其分布カ自然淘汰及人爲淘汰ニヨリ次第ニ發達適應シ今日ニ至レルコトヲ說明スルモノニシテ各期作ニヨル耕作法ノ差異モ亦其影響ニヨリ今日ノ狀態ニ進化シ兩者相俟ツテ臺灣從來ノ稻作法ノ確立サレシモノナルヘシ

又第十九表,第二十表,第二十一表ノ各表ニヨリ同一系統種ニシテ栽培期節ヲ異ニスルコトニヨリ生育總日數,稈長,分蘖等ニ一定ノ傾向アルヲ認メ得ヘシ　是等ニ關スル研究ハ臺灣ニ於ケル稻作上最モ重大ナル關係ヲ有スルモノナレハ特ニ第四編以後ニ於テ詳論セリ　尙參考ノタメ臺北,臺中,臺南,福岡ノ月別平均氣溫竝ニ平均濕度ヲ表示(第二十四表)スヘシ

第二十四表　氣溫及濕度比較表

月	平均氣溫				平均濕度			
	臺北	臺中	臺南	福岡	臺北	臺中	臺南	福岡
	°C	°C	°C	°C				
一月	15.2	15.7	16.9	5.1	84	81	78	74
二月	14.6	15.3	16.7	5.0	84	81	78	73
三月	16.9	18.2	19.6	8.1	85	83	79	74
四月	20.8	22.0	23.4	13.1	83	83	78	77
五月	23.9	24.9	25.9	17.0	82	82	80	78
六月	26.7	26.8	27.3	21.4	81	82	82	82
七月	28.1	27.6	27.7	25.5	77	80	82	82
八月	27.8	27.3	27.4	26.2	78	82	84	82
九月	26.2	26.3	27.0	22.5	80	81	80	83
十月	23.1	23.8	24.8	16.4	81	79	78	80
十一月	19.7	20.3	21.5	11.5	82	79	77	77
十二月	16.7	17.1	18.3	6.9	83	81	78	74
年	21.6	22.1	23.1	14.9	82	81	80	78

備考　臺灣ノ氣溫及濕度ハ23箇年平均　福岡ノ氣溫及濕度ハ5箇年平均

3. 陸稻ノ特性

陸稻モ亦第一期作,中間作,第二期作ノ各期ニ適スル品種アリト雖モ水稻ノ如ク2回作ヲ行フコト稀ニシテ三月乃至六月ニ至ル間ニ播種

シ地方ニヨリテ自ラ其時期一定セリ　而シテ播種期早キ地方ニ用ヒラルヽ品種ハ第一期作性ノ品種ニ屬シ漸次播種期晩キニ從ツテ中間作性第二期作性品種ヲ用フ　仍テ第二期性品種ヲ早播スルトキハ出穗著シク遲ルヽコト水稻ノ場合ニ等シ　然レトモ第一期性品種ハ又第二期ノ時期ニモ栽培可能ナルハ水稻ト同一ナルヲ以テ第一期作種ヲ第二期作ノ時期ニ栽培ヲ行フモノアリ

今陸稻品種ヲ期作別及生育總日數ニヨリ區別スレハ第二十五表ノ如シ

第二十五表　陸稻種ノ期作別及生育總日數ニヨル區別

大正七年

要項	生育總日數 95-105	105-115	115-125	125-135	135-145	145-155	155-165	165-175	175-185	185-195	計
品種名	控脚[2] 烏粘[1] 赤穀[1] 烏穀 赤穀早[1] 清油[1] 白穀[1] 烏穀早仔[中] 烏穀七十日[中] 烏穀燒柳葉 — — —	赤穀[1] 烏穀[1] 赤穀[3] — — — — — — — — —	低脚白穀[1] 甜糯[1] 澆脚[1] ラヲバイ[2]尤 バンナイ[3]尤 マダレエン[1]尤 生鬚埔尤[中] 白穀早仔[中] — — — — —	白穀清油[1] 生毛尤[1] — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — —	赤仔[2] 鉗仔針尤[2] — — — — — — — — — — —	員粒[2] 圓粒[2] 員葉[1] 草鷲[2] 白穀埔占[2] シラヤン[2]尤 — — — — — — —	— — — — — — — — — — — — —	— 圓粒尤[2] 瘠畑尤[2] 黃穀尤[2] 白穀尤[2] 瘠圓尤[2] 番仔尤[2] 黃穀[1] 埔占[1] 埔占[2] ワイノノ[2]尤 生鬚埔占[1] シコベル[1]尤	
一期作	5	3	6	2	—	—	—	1	—	4	21
二期作	2	—	1	—	—	—	2	5	—	8	18
中間作	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	4

（試驗地　臺中）

備考　品種名ノ右上ニ 1. 2. 中トアルハ 1. ハ第一期 2. ハ第二期中ハ中間作ト稱セラルヽ品種ナルコトヲ示スモノナリ

4. 共通種ノ特性

臺灣稻ニハ一、二期共通種ト稱スルモノアリ紅脚尤ノ如シ　是等ハ早生種タル第一期作種ニシテ第一期作種ノ多クハ前述ノ如ク第二期作トシテモ亦良ク生育スルヲ以テ共通種ノ取扱ヲナシ得ヘシ　輓近栽培面積ノ著シク增加シタル內地種ノ如キモ第一期作性ナルカ爲ニ

共通的ニ栽培スルコトヲ得ヘシ

第三章　粳種竝ニ糯種

1. 粳米ノ代表的品種竝ニ其特性

臺灣米ノ代表品種ハ

- 粳
  - 長形米
    - 烏尖系(第一期)　米粒純鈍白乃至暗鈍白硝子質ニシテ幅長ノ比1.9乃至2.0内外品質可良ナリ
    - 烏咬系(第二期)　米粒純鈍白ニシテ硝子質ヲ呈シ幅長ノ比2.0乃至2.1内外品質可良ナリ
  - 中形米
    - 大花系(第一期)　稍中粒暗鈍白ニシテ半硝子質ヲ呈ス幅長ノ比1.8乃至1.9内外品質中等ナリ
    - 格仔系(第二期)　小粒純鈍白ニシテ硝子質ヲ呈ス幅長ノ比1.9内外品質可良ナリ
  - 圓形米
    - 短廣花螺系(第一期)　中粒純鈍白ニシテ半硝子質ヲ呈ス幅長ノ比1.6内外品質中等ナリ

代表品種ノ選定ハ分類(第五表及第六表)ニヨリ玄米ノ特性ニ於テ其系統ニ屬スル品種多キコト及栽培[1]面積ノ大ナルコトヲ加味シ又其品種名ハ遍ク一般當業者ニ熟知セラレ代表米トシテ異存ナキモノヲ選ヒタリ

臺灣粳米ハ殆ト長形米若クハ中形米ニシテ圓形米ハ全品種ヲ通シ僅カニ第一期作短廣花螺種アルノミ　特ニ北部地方ニ限リテ栽培サレ北部丸粒ト呼稱セラル　而シテ此呼稱ハ常ニ短廣花螺ヲ意味スルモノタルナリ　臺灣米ハ炊爨ニ際シ内地米ニ比シ多量ノ水ヲ仕込ムニ非サレハ佳良ノ食味ヲ有スル飯ヲ炊ク能ハサルハ一般ニ唱ヘラルル所ニシテ又釜殖及之ヲ食シタル場合ニ於ケル消化ノ難易等ニ關シテモ種々ノ說アリ　予ノ實驗成績ニヨレハ第二十六表ノ如ク内地米ノ水加減ハ米ノ容量ト等量ヲ適當トスルニ對シ臺灣米及混糯臺灣米(3割ノ糯米ヲ混シタルモノニシテ臺灣在住ノ内地人ノ常食トスルモノ)ハ3割增ノ水量ヲ以テ適當トスルカ如ク釜殖ハ同一水加減ニアリテハ重量殖ハ差ナク容量殖ハ内地米ニ比シ少ク而シテ各適度ノ水加減ヲ以テ炊キタルモノハ容量殖内地米ニ等シク重量殖ハ臺灣米大ナリ　換言スレ

---

(1) 稻ノ品種及其分布面積統計　臺灣總督府中央研究所農業部彙報　第十四號(大正十一年)及第二十八號(大正十四年)

ハ3割増ノ水加減ヲ以テ炊キタル臺灣米ト等量ノ水加減ヲ以テシタル內地米トハ其容量略相等シク水分ノ含量ハ臺灣米ニ於テ大ナリ兩者間ニ各差異アルハ蓋シ臺灣米ノ膨脹率內地米ニ劣ルニ因ルヘシ然シテ臺灣米ヲ炊クニ多量ノ水ヲ要スル所以ハ內地米ニ比シ煮エ難キニヨルト想像セラル　卽チ臺灣米及內地米ヲ同一ノ容器ニテ煮沸シ溫度ノ上昇ニ從ヒ各時ニ煮熱ノ程度ヲ調査スルニ臺灣米ハ常ニ遲ルヽノ事實アリ　臺灣米ヲシテ可及的粘力ヲ生セシムルニハ充分煮沸スルヲ要シ從テ多量ノ水ヲ必要トスルニヨルナルヘシ　彼ノ釀造業者カ臺灣米ヲ蒸煮スルニ當リ中途浸水又ハ散水シテ再ヒ之ヲ行フハ其間ノ消息ヲ瞭ニセルモノト謂フ可シ

從來俗間ニ臺灣米ハ內地米ノ如ク腹ニモタレルコトナク腹減リ早シト唱ヘラル　而シテ腹減リ早キハ消化シ易シト看做シ得ルヤ否ヤハ速斷シ難シ片山徹吉氏[1]ハ臺灣米ノ消化早キ原因ニツキ適當ナル水加減ヲ以テ炊キタル臺灣米ハ內地米ノ夫レニ比シ容積大ナルヲ以テ同一ノ椀ニ盛ラルヽ飯米ニテハ臺灣米ハ內地米ヨリモ實質ニ於テ其量少キニ基因スルコトヲ論セラレタリト雖モ吾人ノ實驗ニヨレハ含有水分量多キモ容積大ナラサルノ成績ヲ示セルコト第二十六表ニ示スカ如シ

臺灣米ノ消化利用率ニ關シテハ島津良能氏[2]ノ研究結果ニ據レハ第二十七表ノ如ク臺灣米ハ內地米ニ比シ蛋白質ノ消化劣リ脂肪ノ消化稍優リ炭水化物ノ消化ハ大ナル遜庭ナク纖維ノ消化優レリ　氏ハ是等ノ成績ニ基キ米ノ消化利用率ハ亞熱帶タル臺灣ニ於テハ內地米モ臺灣米モ其消化利用上ニ於テハ大ナル差ナシト論セリ

---

(1) 片山徹吉:一臺灣米ト內地米ト比較研究　臺灣總督府研究所報告　第四回（大正四年）

(2) 島津良能古賀藤次郎:一臺灣產米ノ消化ニ就テ　臺灣醫學會雜誌　第二百二十四號(大正十一年)

第二十六表　炊爨試驗成績

大正十二年三月

米ノ種類及水量區分		米量	水量	飯量	釜殖(%) 重量	釜殖(%) 容量	炊爨時間(分) 沸騰點	炊爨時間(分) 爨上迄	炊爨時間(分) 蒸時間	炊爨時間(分) 總時間	摘要
內地米	等量	79	99.0	157.8	200	207	10.5	20.0	10.0	29.9	適度
臺灣米	等量	77	99.0	156.3	203	198	11.7	21.6	10.0	31.6	
	一割增	77	108.9	168.3	219	205	9.0	19.7	10.0	29.7	
	二割增	77	118.8	176.8	230	210	11.0	21.7	10.0	31.7	
	三割增	77	128.7	181.0	235	217	11.7	23.3	10.0	33.7	
	四割增	77	138.6	193.0	251	217	11.7	22.7	10.0	32.7	
	五割增	77	148.5	197.2	256	229	12.0	22.5	10.0	32.5	適度
混糯臺灣米	等量	77	99.0	153.0	204	198	10.0	20.0	10.0	30.0	
	一割增	75	108.9	157.7	210	200	10.0	20.0	10.0	30.0	
	二割增	75	118.8	166.2	222	206	8.0	18.0	10.0	28.0	
	三割增	75	128.9	175.2	234	208	9.5	18.5	10.0	28.5	適度
	四割增	75	138.6	193.5	258	216	8.5	18.5	10.0	28.5	
	五割增	75	148.5	191.5	255	216	1.0	20.0	10.0	30.0	

(試驗地　臺中)

備考

I. 供試品種ハ內地米ハ大正十一年產上米　臺灣米ハ同年第二期鳥咬種

II. 炊爨ノ方法ハ軍人用飯盒ヲ用ヒ2合宛仕込ミテ木炭上ニ接近シテ裝置シ內容ノ沸騰ノ狀態調查ハ聽診器ヲ用ヒタリ

III. 供試米重ノ夫々差異アルハ本試驗ハ容量ヲ基トシ米ノ種類ニヨリ容重異ナリタル爲ナリ

IV. 內地米ハ10回其他ハ5回平均

第二十七表　臺灣ニ於ケル臺灣米及內地米ノ消化率

米ノ種類	固形分	粗蛋白質	粗脂肪	粗纖維	可溶含窒素物	澱粉	灰分	燐酸
臺灣米	96.299%	78.309%	83.457%	77.043%	99.638%	99.768%	92.581%	67.817%
內地米	96.745	83.978	81.179	73.144	99.658	99.797	93.413	74.057

臺灣米ハ一般ニ內地米ニ比シ其味淡白ニシテ粘力ニ乏シク飯ノ冷エタルモノハ所謂「ボロボロ」トシテ稍堅シ　臺灣在住ノ內地人ハ臺灣米ノ粘性ヲ增シ嗜好ニ適セシムル爲ニ2割乃至3割ノ糯米ヲ混合シテ炊爨シ食用ニ供スルヲ常トセリ　而シテ粘性ノ度合ハ味覺ヲ以テ表示スルコト難キヲ以テ吾人ハ「エングラー」氏粘度計ヲ用ヒ糊化セル粉末又ハ澱粉カ小孔ヲ通シテ落下スル時間ト攝氏20度ニ於ケル同量ノ蒸溜水ノ落下時間トノ比ヲ內地米及臺灣米ニツキ調查セシニ第二十八表ノ如ク白米ニアリテハ臺灣米ハ內地米ニ比シ粉末及澱粉共ニ

落下速ニシテ明ニ粘力ニ乏シキ結果ヲ示シタリ　唯玄米ノ場合ニアリテハ臺灣米及內地米ニヨル差殆ト認メ難キ結果ヲ示シ其原因ハ糠層ノ關係ニヨル可キモ尙研究ヲ要スヘシ

第二十八表　粘度調査表

玄米ノ產地竝ニ品種別粘力(蒸溜水100ニ對スル比)

大正十一年

要項	內地產		臺灣產	
	雄町	烏尖	雄町	烏尖
粘力比	174.6	166.9	168.7	173.5

(試驗地　臺中)

備考

I. 本調査ハ施行方法ノ如何ニヨリテ著シキ誤差ヲ生スルヲ以テ最初精密ナル基礎的練習ヲ行ヒタリ

II. 本試驗ノ方法ハ試料ヲ粉末トナシ絹篩ニカケ230瓦ノ水ニ8瓦ノ粉末ヲ投シ「エンゲラー」氏粘度計ニ入レ同器ノ外側ニ水ヲ注入シ一定ノ火ニ掛ケ液ノ溫度ヲ85°Cニ15分間ニシテ達セシムル樣ニ熱シ後直ニ火ヲ去ル　30分間ニシテ40°Cニ降下セシメタル液ヲ同器ノ小孔ヨリ100瓦滴下セシメ之ヲ200c.cノ蒸溜水落下時間トノ比ヲ求メタリ　初メ230瓦ノ水ヲ用フルモ加熱ノタメ30瓦ハ蒸發スルカ故ニ8瓦ハ4%液トナル

III. 雄町ハ內地種烏尖ハ臺灣種第一期作種

白米竝ニ澱粉ノ稻ノ種類別粘力(蒸溜水100ニ對スル比)

大正十一年

要項	內地米		臺灣米	
	白米	澱粉	白米	澱粉
粘力比	152.7	181.8	123.6	130.9

(試驗地　臺中)

備考

I. 試驗ノ方法ハ前ニ同シ　但3%液

II. 品種ハ內地米ハ不明ナレトモ上米

臺灣米ハ第二期作青稿種

臺灣米ノ粘力ニ乏シキ原因ニ就テハ化學成分上ノ差異ニアラサルヤハ何人モ先ツ著眼スヘキ所ナレトモ含有成分量ニ關シテハ第二十九表ノ如ク臺灣米ト內地米トノ間ニ何等ノ認ムヘキ原因ヲ見出ス能ハス　坊間臺灣米ハ內地米ニ比シ脂氣少シト唱フルハ單ニ味覺上ノ感覺ニ過キサルカ如シ

第二十九表　各地產玄米ノ成分表[1]

種類	試料	水分	澱粉	蛋白質	脂肪	纖維質	灰分	糊精及糖類	分析者
		%	%	%	%	%	%	%	
臺灣米	32箇所ノ產米平均（明治三十八年）	11.82	75.45	8.55	1.90	0.81	1.47	—	臺灣總督府農事試驗場
	6箇所ノ產米平均（明治四十一年第一期作）	12.70	63.36	11.41	3.98	0.70	2.00	5.86	同
	73箇所ノ產米平均（明治四十一年第二期作）	15.23	71.32	8.03	1.17	0.79	1.46	2.00	同
	總督府農事試驗場產　34品種平均（明治四十二年第一期作）	13.63	71.15	8.03	1.59	0.85	1.63	3.12	同
	同　47品種平均（明治四十二年第二期作）	14.43	70.63	8.28	0.81	1.01	1.42	3.42	同
	同　31品種平均（明治四十三年第一期作）	12.14	71.36	7.18	2.65	0.56	1.59	4.51	同
	同　42品種平均（明治四十三年第二期作）	13.80	64.85	9.35	1.73	0.79	1.62	7.86	同
臺灣產內地種粳	同　15品種平均（明治四十二年第一期作）	13.71	70.37	8.45	1.32	0.77	1.52	3.86	同
	同　15品種平均（明治四十三年第一期作）	12.04	71.00	7.62	2.70	0.84	1.44	4.37	同
內地米粳	6箇所ノ產米平均	14.50	71.63	8.40	2.47	0.90	1.46	—	衛生試驗所
	8箇所ノ產米平均	12.68	72.92	5.96	1.39	2.62	1.39	3.04	アトキンソン氏、橫濱衛生試驗所ケルネル及長岡氏
	578箇所ノ產米混合及12箇所產米平均	13.60	72.84	8.46	2.09	1.15	1.86	—	ケルネル、辻岡及齋藤氏
臺灣米糯	3箇所產米平均	13.73	61.91	10.53	3.81	0.29	1.91	7.31	臺灣總督府農事試驗場
	總督府農事試驗場產　15品種平均	14.66	67.33	8.33	1.72	0.88	1.63	5.45	同
內地米糯	6箇所ノ產米平均	13.67	70.40	6.44	2.14	2.73	1.33	3.08	アトキンソン氏、ケルネル氏、東京農科大學

片山徹吉氏ハ化學的研究ノ結果臺灣米ト內地米ノ粘力ノ差異ハ米ノ大部分ヲ占ムル澱粉ノ性狀ノ差異ニ基キ臺灣米冷飯ノ所謂「ボロボロ」トナルコトハ乾燥ノタメニ起ルモノニ非スト論シ又稻垣博士[2]ハ外國米ノ粘力ニ乏シキハ澱粉粒ノ皮殼厚ク普通ノ溫度ニテハ糊化スルモノ少キニ起因スルコトヲ發表セラレタリ

吾人モ亦粘力乏シキ原因ニツキ研究ヲ行ヒ大體ニ於テ兩氏ノ意見ニ合致スル成績ヲ得タリト雖モ臺灣米ノ澱粉ノ如何ナル性狀ナルカ

(1) 增訂四版臺灣農家便覽（大正十三年）

(2) 稻垣乙丙：一糧食問題ニ就テ　大日本農會報　第四百六十七號、第四百六十八號及第四百六十九號（大正九年）

爲粘力ニ乏シキ哉ハ尙研究中ニ屬ス　吾人ハ曩ニ臺灣米ヲ炊クニ當リ多量ノ水ヲ要スルハ煮エ難キ臺灣米ヲシテ能ク煮沸シ一面粘力ヲ增ス可キ事情ノ存スルコトヲ述ヘタリ　而シテ果シテ然リトセハ高溫裝置ヲ以テ炊爨セハ相當ノ粘力ノ增加ス可キヲ豫想シ蓋ヲ嚴重ニ密閉シ得ル構造ノ釜ニテ攝氏 106 度ノ高溫ニテ炊爨試驗ヲ行ヒシニ斯クシテ炊キタル飯ハ著シク粘力ヲ增シ冷飯トナルモ「ボロボロ」スルコトナク且水量モ 2 割增ノ程度ニテ適度ノ飯ヲ生シタリ

2. 糯米ノ代表的品種竝ニ其特性

臺灣糯(朮)米ノ代表品種ハ

- 糯(朮)
  - 長形米
    - 芒花朮系(第一期)｝米粒幅長ノ比2.1內外　品質稍可良ナリ
    - 反鹽朮系(第二期)｝小粒細長ニシテ幅長ノ比2.3內外　品質稍可良ナリ
  - 圓形米
    - 鵝卵朮系(第一期)
    - 鵝卵朮系(第二期)
    - ｝米粒幅長ノ比1.6內外　品種稍可良ナリ

糯米ノ代表的品種ノ選定[1]ハ粳米ニ於ケルト同樣ナル意味ニ於テナセリ　糯米中鵝卵朮ノ如キハ栽培面積甚タ廣ク特ニ臺灣北半部第二期作ニ於テ盛ナリ　舊桃園廳下ハ最モ良質ノモノヲ產ス　鵝卵朮ノ栽培ハ殆ト移出ヲ目的トスルモノニシテ臺灣ニ於テ丸糯ト云ヘハ殆ト鵝卵朮ヲ指シ內地市場ニ於テモ特ニ長糯ト稱セサル限リ臺灣糯ト云ヘハ鵝卵朮ヲ指ス程ナリ

糯米ハ最初硝子質狀ヲ呈スレトモ乾燥シテ水分ヲ放散スレハ蠟白色ヲ呈スルニ至ル之カ原因ニ就テハ尙研究中ニ屬スト雖モ恐ラク物理的作用ニヨリ光線ノ通過ヲ遮斷スル結果ニ外ナラサルヘシ　而シテコノ事ハ田所渡邊兩氏[2]モ亦認メラレタリ　白化スル水分放散ノ限度ニ就テハ鈴田氏[3]竝ニ三瀨氏ハ 12.0 % 乃至 12.5 % 迄乾燥スレハ白化スト論セリ　予[4]ハ限界水分ニ關シ研究セシ結果 14.0 % 乃至 15.0 % 迄放散セシ時ニ於テ白化完了スルコトヲ認メタリ　卽チ第三十表ハ其成績ノ一ナリ

---

(1) 臺灣總督府中央研究所農業部彙報　第十四號(大正十一年)及第二十八號(大正十四年)

(2) 田所哲太郎渡邊修平:一米ノ生化學的研究叢書　第一卷第二號37　(大正十三年)

(3) 鈴田巖三瀨榮次:一糯米ノ糠化ニ就テ　臺灣農事報　第百九十二號　(大正十一年)

(4) 磯永吉:一糯米中ノ硝子質粒ニ關スル研究　札幌農林學會報　第十八年第八十二號　(昭和二年)

第三十表　糯米白化ノ限界水分率度

大正十一年十二月

品種		白化米	原試料		乾燥後ノ試料重量			乾燥					未白化米選別ニ要セシ時間及其溫度	
		水分	水分	全重量	全量	白化米	未白化米	月日	開始時	終了時	場面ノ溫度	乾燥時間	時間	溫度
		%	%	g	g	g	g	月日	時分	時分	℃	時分	分	%
鶯卵糯	第一回	14.8	20.9	250	233.3	212.3	21.0	11.30	9.30	15.30	24.1	6.00	30	58.0
	第二回	14.9	20.0	250	235.9	208.7	27.0	12. 1	10.00	15.00	24.6	5.00	30	58.0
	第三回	14.8	19.6	250	237.4	169.7	67.7	12. 4	9.30	14.30	24.4	5.00	30	69.0
	平均	14.8	20.2	250	235.5	196.9	38.6	—	—	—	24.4	5.20	30	61.7
烏殼糯	第一回	14.6	21.1	250	230.4	203.2	27.2	12. 2	9.30	12.30	22.7	3.00	30	77.0
	第二回	14.6	20.7	250	233.3	177.7	55.6	12. 3	10.00	13.00	24.0	3.00	30	55.0
	第三回	14.7	20.7	250	234.0	190.5	43.5	12. 3	10.00	13.00	24.0	3.00	30	55.0
	平均	14.6	20.8	250	232.6	190.5	42.1	—	—	—	23.6	3.00	30	72.3

備考　開始時及終了時ハ便宜上1日時刻24時ニヨレリ

糯米ハ必スシモ收穫乾燥後ニ白化スルモノニ非スシテ臺灣米ニアリテハ既ニ圃場ニ於テ成熟中白化セルモノアリ　而シテ成熟期ノ進ムニ從ヒ又成熟期ヲ經過スルニ從ヒ漸次其歩合ヲ增加ス　第三十一表ハ其歩合ヲ調査セルモノナリ

第三十一表　立毛中糯米ノ白化歩合竝ニ水分率

大正十一年十一月

月日	烏殼糯		鶯卵糯		備考
	白化歩合	粳水分量	白化歩合	粳水分量	
	%	%	%	%	
11.16	0.0	25.5	4.0	21.3	十一月十六日降雨0.6m. m. アリ
11.18	6.0	24.4	4.0	18.6	十一月十八日ハ鶯卵糯ノ成熟期ニ相當セリ
11.20	16.0	17.9	8.0	16.3	
11.22	10.0	22.8	9.0	22.5	十一月二十一日降雨3.4m. m. アリ
11.24	16.0	23.1	14.0	21.9	十一月二十三日降雨5.0m. m. アリ
11.26	18.0	19.7	20.0	19.4	十一月二十六日ハ烏殼糯ノ成熟期ニ相當セリ
11.28	44.0	14.7	22.0	14.4	
11.30	57.0	14.9	34.0	15.6	(粳ノ水分ハ玄米ノ水分ヨリ常ニ少シ)
12. 2	53.5	14.9	56.0	15.7	
12. 4	55.0	14.8	59.0	14.8	
12. 6	58.0	14.6	70.0	14.5	

市場出廻糯米中ニハ往々白化セスシテ硝子質其儘ノ狀態ニテ存スルモノアリ　第三十二表ハ移出標準米査定會用トシテ各地ヨリ提出セル豫選米中ニ混淆セル硝子質米混淆量ヲ示スモノニシテ丸糯ハ平

均1.5%長糯ハ平均8.3%ヲ示シ概シテ長糯ニ多ク22.4%ニ達セルモノアリ　調査ノ結果ニヨルニ是等ノ多クハ更ニ乾燥スルモ白化スルコトナク依然トシテ硝子質狀態ヲ呈スルモノ多シ　卽チ右試料再乾燥後ニ於ケル硝子質米ノ割合ハ丸糯1.4%長糯8.2%ニシテ之ヲ以テ市場米中ニ混淆セル硝子質米ハ其大部分乾燥不足ニヨリシモノニ非サルコトヲ推察シ得ヘシ　然シテ是等硝子質米ハ如何ナル性質ノモノナルヤニツキ沃度試驗ヲ行ヒシ結果ニヨレハ盡ク糯ニアラスシテ粳米ナルコト判明シタリ

第三十二表　標準豫定米中ノ硝子質米混淆量

大正十一年十二月

	試料		二百瓦中ノ硝子質米		
			粒數	重量	重量歩合
丸糯	一等米	臺北檢	58	1.2	0.6
		桃園檢	24	0.5	0.2
		楊梅檢	23	0.5	0.2
		新竹農	3	0.5	0.0
		鷺歌檢	45	0.8	0.4
	二等米	臺北檢	375	7.1	3.5
		新竹農	0	0	0
		新竹檢	363	7.3	3.6
		桃園檢	14	0.3	0.1
		楊梅檢	18	0.7	0.3
	三等米	臺北檢	760	13.7	6.8
		新竹農	23	0.4	0.2
		新竹檢	418	7.7	3.8
		桃園檢	79	1.4	0.7
平均			157.4	29.7	1.5
長糯	一等米	臺中農	92	1.8	0.9
		員林檢	1011	17.8	8.9
		斗六檢	685	12.5	6.2
	二等米	臺中農	216	5.5	2.7
		臺南農	181	3.6	1.8
		斗六檢	763	12.5	6.2
	三等米	臺北檢	451	8.7	4.3
		員林檢	1083	15.8	7.9
		臺南農	2725	43.4	21.7
		斗六檢	2514	44.8	22.4
平均			972.1	16.6	8.3

備考　臺北檢ハ臺北米穀檢査所　新竹農ハ新竹州農會提出ノ標準豫選米ニシテ其他倣之

凡ソ糯米中ニ硝子質米ノ混淆セルモノハ糯米トシテノ價値ニ影響ヲ及ホスコト大ナリ　蓋シ硝子質米ハ之ヲ搗クモ潰ルヽコトナク粒ノ儘餅内ニ介在スルヲ以テ餅ノ品位ヲ著シク低下セシムルヲ以テナリ　尙調査ノ結果ニヨレハ硝子質米ト雖モ糯性ヲ帶ヒタルモノハ一般白化米ト同樣ニシテ毫モ餅ノ品位ヲ低下セシムヘキ原因トナラサルモ粳米ハ然ラス　從來硝子質米ノ混淆ヲ嫌忌セラルヽハ潰レサル粳米ノ混入シタルニヨルモノニシテ糯性硝子質米ハ一見之ト見分ケ難キカ爲ナルヘシ　而シテ如何ナル機會ニ於テ斯ク糯米中粳米ノ混在スルカハ素ヨリ取扱中ノ自然混淆モアルヘシト雖モ其最タル原因ハ粳糯間ノ自然雜種ニ基因スヘシ　卽チ星野勇三氏[1]ノ實驗ニヨレハ粳ハ糯ニ對シテ優性ニシテ且「キセニア」ヲ現ハシ J. P. Moquette[2], 池野成一郎氏[3]等ノ實驗モ同樣ノ結果ヲ得タリ　然ルニ山口氏[4]ハ粳糯雜種ハ粳性完全ナル優性ヲ示サスシテ寧ロ中間性ヲ示ストシ「ホモ、ヘテロ」態胚乳ニ存スル還元糖量ノ差異ヲ報告セリ　故ニ要スルニ若シ糯ニ粳ノ交配セラレンカ直ニ外觀粳性ニ化シ次代ニハ糯米及中間性糯米ヲ分離スト雖モ粳性ハ漸次其數ヲ增加シ特ニ採種ニ意ヲ用ヒサルニ於テハ遂ニ消失スルノ期ナカルヘシ

臺灣稻ノ自然交雜ノ起ル程度ハ品種,栽培狀態,氣象等ニ關係アル可シト雖モ明峯,中村兩氏[5]カ北海道帝國大學試驗田ニ於テ研究セラレシ成績ニヨレハ5箇年ニ亙リ19品種ニツキ觀察シ交配率最高品種2.319%,最低品種0.209%,全體ヲ通シテ0.899%ニシテ又5箇年ニ於ケル各年ノ交配率ヲ平均シテ得タル平均交配率ハ0.703%,最高品種1.669%,最低品種0.165%ニシテ各種ノ事情ヲ總括シテ自然交配率ハ2%ニ上ルヘシト述ヘラレタリ

---

(1) 星野勇三:—粳ヲ糯ニ配シテ得タル粒實ニ於ケル胚乳成分ノ變化　札幌農林學會報　第三卷(明治三十五年)

(2) Moquette, J. P.: — Voorloopig verslag over het vinden van rystkorrels op ketan, en proeven daarover genomen. Teysmmania, vol. 16. PP. 632–634. abs. in Bot. Centlbl. vol. 101. P. 194.

(3) Ikeno. S.: — Ueber die Bestaubung und die Bastardierung von Reis Ztsch. f. Pflanzenzüchtung. 2, 1914, Hebt 4, 495–503.

(4) Yamaguchi, Y.: — Beitrage zur Kenntnis der Xenien bei Oryza sativa, L. Bot. Mag. Tokyo. vol. 32. No. 3, 77, 83. 1918.

(5) 明峯正夫,中村誠助:—稻ニ於ケル自然交配ノ種類及其原因ニ就テ　札幌農林學會報　第十六年　第六十九號(大正十三年)

Parnell[1] 氏ハ印度ニ於テ隣接栽培セル稻ニ就キ或品種ハ0.1%他ノ品種ハ2.9%平均1.4%ノ交配率アリト報告セリ　臺灣ニ於テハ鈴田,戸村[2]兩氏カ臺北ニ於テ第二期作白殼種ト白殼紫脚種間ノ自然交配率ヲ調査シタル結果ハ0.01205乃至1.446%ヲ示シ其他數多ノ人々ニ依テ行ハレタル結果モ大略大差ナキヲ以テ糯粳間ノ自然交配モ相當ノ機會アリト看做スヘク彼ノ混淆硝子質米中色澤,形狀等乾燥前ノ糯ニ近似シ一定品種ノ粳米ト認メ難キモノヲ多數占ムルニ徵スルモ吾人ノ判定ノ大ナル誤ナキヲ想像スルニ難カラサヘシ

第四章　生育日數

臺灣稻ノ生育日數ハ期作,水陸別ニヨリ又同期作ニアリテモ播種ノ時期,苗代ノ日數ニヨリテ差アリ　概シテ生育期間中氣温高キ場合ハ生育日數短キ傾アリ　臺灣ノ氣温ハ二月ヲ最低トシ七月ヲ最高トス依テ十二月乃至二月頃ニ播種スル第一期作ヨリモ七月頃播種スル第二期作カ總生育日數短キハ自ラ想像セラルヽ所ナリ　第一期作種ノ同一品種ヲ第一期作竝ニ第二期作ニ栽培スレハ第十九表ノ如ク第二期作ノ生育日數著シク短シ　苗代日數ノ生育日數ニ及ホス影響ハ苗代日數長キ時ハ總日數亦長キモ移植ヨリ出穗迄ノ日數短縮セラルヽカ故ニ其差大ナラス(第百八十三表)

1. 各期作ノ生育日數

各期作ノ生育日數ハ第一期作ハ165日,第二期作ハ135日,中間作ハ140日,陸稻ハ130日(南洋系陸稻ハ極メテ長シ)内外ヲ普通トス　之ヲ内地稻作ノ180日内外ノ生育總日數ニ比スレハ一般ニ短ク北海道ノ夫ニ匹敵スヘシ　然シテ苗代發育,成熟等ノ日數ハ大約第三十三表ヲ以テ代表的日數ト謂ヒ得ヘシ

---

(1) Hector. G. P., — Notes on Pollination and Cross-fertilization in the common Rice plant, Oryza sativa, L. Mem. Dept. Agric. India Bot. Ser. 6. 1913. 1–10.

(2) 鈴田巖,戸村忠平:—水稻ノ自然交配ニ就テ　臺灣農事報　第百八十四號(大正十一年)

第三十三表　各期作生育日數

期作	苗代	發育（挿秧ヨリ出穗期迄）	成熟（出穗期ヨリ成熟期迄）	合計
第一期作	59	82	33	174
第二期作	30	72	32	134
中間作	40	72	32	144
陸稻	(100)	—	32	132

備考 I. 本表第一期作及第二期作ハ大正五年臺中縣農會試驗場ニ於テ代表的品種15種ニツキ調査セシ平均數ナリ[1]

II. 下表內地種ノ生育日數參照

期作(內地種)	苗代	發育（挿秧ヨリ出穗期迄）	成熟（出穗期ヨリ成熟期迄）	合計
第一期作	30—40	70—80	35	135—155
第二期作	15—20	55—65	35	105—120
中間作	20	70—80	35	125—135

（試驗地　臺北）

2. 品種ト熟期ノ早晚

臺灣稻ハ內地種ニ於ケル如ク品種ニヨリ熟期ニ早晚ノ差アリ　本調査ノ結果ニヨレハ第一期作ハ早熟ト晚熟トノ差51日,第二期作ハ16日,中間作ハ53日,陸稻ハ95日ニシテ陸稻ヲ除クノ外ハ概シテ早晚ノ差接近シ就中第二期作ニアリテハ僅ニ半箇月ノ差ニ過キス　第三十四表ハ第五表及第八表臺灣稻ノ分類ニ據ル品種第一期作72,第二期作57,中間作18,陸稻28ニツキ生育日數ノ階列ヲ作リ更ニ依之早晚ヲ區別セルモノナリ

第三十四表　生育日數ノ階列

第一期作

大正五年

要項	總數	184	183	182	181	180	179	178	177	176	175	174	173	172
品種數	72	2	—	1	—	1	2	1	1	3	3	—	3	3

171	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161	160	159	154	150	142	133
2	3	3	5	4	5	3	7	—	5	5	2	3	1	1	2	1

(1) 磯永吉,末永仁及其他:一稻ノ生育日數ニ關スル調査　稻育種事業第二輯　臺中農會(大正六年)

各級ニ於ケル品種數	早晩ノ標準		第一期
	160 未満	早	8
	160 以上	晩	64

第二期作

大正五年

要項	總數	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131
品種數	57	1	2	3	3	2	4	6	3	2	7	3	3	4

130	129	128	127
1	5	4	4

各級ニ於ケル品種數	早晩ノ標準		第二期
	130 未満	早	13
	130 以上	晩	44

中間作

大正五年

要項	總數	170	169	168	167	166	165	164	163	162	161	160	159	158
品種數	18	1	—	—	—	—	2	1	—	1	—	—	—	—

157	156	155	154	153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	2

140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127
2	—	—	—	—	—	1	—	1	2	—	—	—	1

各級ニ於ケル品種數	早晩ノ標準		中間作
	140 未満	早	7
	140 以上	晩	11

陸稻

大正五年

要項	總數	195	194	193	192	190	173	170	169	166	160	157	122	121
品種數	28	1	2	1	3	—	1	1	2	1	1	1	3	1

116	114	106	102	101	100
1	1	1	2	4	1

各級ニ於ケル品種數	早晩ノ標準		陸稻
	130 未滿	早	14
	130 以上	晩	14

第五章　葉

1. 葉ノ形態

臺灣稻ノ葉面ニハ一般ニ毛茸發生セリ　是レ內地種ニ見ル能ハサル異點ナリトス　毛茸ノ發育ハ第二期作ニ多キコトハ前述ノ如シ　又葉ノ表面ハ普通粗面ニシテ指頭ヲ以テ逆ニ觸ルレハ皮膚ヲ刺スカ如ク感スルモノニシテ之ヲ鏡檢スレハ角狀ノ突起物アリ毛茸ヲ有セサル內地種ニアリテモ同樣ナリ　然レトモ臺灣種ニハ稀ニ葉面滑ニシテ何等如上ノ現象ヲ呈セサルモノアリ　例ヘハ第一期作鵞卵朮竝ニ赤殼朮等ノ如シ　而シテ葉面ノ粗滑ハ稃毛ノ有無ト相關關係ヲ有スルカ如ク前記鵞卵朮、赤殼朮種ニアリテモ稃毛ヲ有スルモノハ葉面粗笨ニシテ稃毛ノ多少ニヨリ粗滑ニ程度ノ差アリ

臺灣稻ノ生育中ニ於ケル葉ノ姿勢ハ直立スルモノト垂下スルモノト二樣ニ分ツヘシ　降雨後若クハ早朝露ノ乾カサル際ハ一層顯著ナリ

2. 葉ノ長サ、幅竝ニ色

葉ノ長サ、幅ノ測定ハ第二編第三章調査標準ニ示スカ如ク一株中最長莖ニツキ止葉ノ長サ及其最モ廣キ部分ヲ測レリ　蓋シ此調査法ハ一般ニ屢々見ル所ナリ　止葉ハ一般ニ其下位ノ葉長ニ比シ短キヲ普通トシ止葉ヲ以テ葉ノ大小ヲ代表セシム可キヤ否ヤハ止葉ノ大小ト他ノ葉ノ大小トノ相關的關係ヲ調査シテ後決定サルヘキモノト思料スルモ止葉ハ調査ノ標準トシテ選擇スルニ便ニシテ又一面品種ノ特性ヲ表スニ最モ適當ト認メラルヽニ因ルヘシ　予モ亦相關的關係ヲ調査セサリシト雖モ別ニ稻育種事業ヲ遂行スルニ當リ同樣ノ方法ヲ用ヒ居タリシヲ以テ本調査ニ於テモ其方法ニ據ルコトトセリ

葉長ハ7寸乃至1尺未滿ノモノヲ中位トシ（第三十五表）之ニ該當スル品種數最モ多ク最長ハ1尺4寸5分ニシテ之ニ屬スルモノ1品種ナリ　而シテ陸稻ハ水稻ニ比シ葉長ノ大ナルモノ多シ　是等ヲ別ニ

嘉義農事試驗支所ニ於テ栽培セル內地種50品種ニ對シテ調査セル成績(第三十八表)ニ比較スルトキハ陸稻其他ノ數種特種ノモノヲ除キ其他ニ於テハ臺灣稻ノ葉長特ニ長シト謂フヘカラス

臺灣稻ノ葉幅ハ一般ニ狹小ナルヲ特徵トス　然レトモ陸稻種中ニハ頗ル廣キモノアリ(第三十六表)　止葉ノ頂點ノ高サト稈長(穗先迄)トノ關係ハ品種ニヨリテ一定セスト雖モ概シテ止葉ノ頂點ニ比シ稈ノ頂點高シ(第三十七表)又第二期作種ヲ第一期作種トシテ栽培スレハ止葉著シク伸長ス　葉色ハ一般ニ淡色ニシテ特ニ內地種ト明ニ區分セラル　但糯種ハ稍濃色ナリ

第三十五表　葉長ノ階列(單位分)

大正五年

要項		總數	145	140	135	130	125	120	115	110	105	100	95	90	85
品種數	第一期	71	1	—	—	2	—	—	—	—	2	1	7	4	7
	第二期	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	1	2	2	2	3	3	1
	陸稻	28	—	1	—	—	3	1	1	4	5	8	3	—	1
	計	174	1	1	—	2	3	1	2	6	9	11	13	10	15

80	75	70	65	60	55
11	13	13	5	4	1
9	10	11	14	4	—
2	1	1	—	—	—
1	—	—	—	—	—
23	24	25	19	8	1

各級ニ於ケル品種數	長短ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	100	以上	長	36	6	—	7	23
	70 100	以上 未滿	中	110	55	39	11	5
	70	未滿	短	28	10	18	—	—

第三十六表　葉幅ノ階列(單位厘)

大正五年

要項		總數	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34	32	30	28	26
品種數	第一期	71	—	1	3	5	10	10	12	8	10	7	5	—	—	—	—	—
	第二期	57	—	—	1	—	1	2	2	3	4	3	4	5	12	8	8	4
	中間作	18	—	—	—	—	2	—	3	1	—	4	4	2	1	1	—	—
	陸稻	28	1	1	2	2	1	1	1	2	1	10	2	3	1	—	—	—
	計	174	1	2	6	7	14	13	18	14	15	24	15	10	14	9	8	4

各級ニ於ケル品種數	廣狹ノ標準		總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	50以上	廣	16	9	1	—	6
	30以上50未滿	中	146	62	44	18	22
	30未滿	狹	12	—	12	—	—

第三十七表　止葉ノ頂點ト稈ノ頂點トノ高低(單位分)

大正五年

要項		總數	(+)50	45	40	35	30	25	20	15	10	5	0	(−)5	10	15	20	25	30
品種數	第一期	71	1	1	2	2	2	5	10	9	7	17	12	2	—	—	1	—	—
	第二期	57	—	—	1	1	3	2	7	5	9	10	6	8	3	2	—	—	—
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	2	—	1	1	4	3	2	3	—	1	1
	陸稻	28	—	—	—	1	—	—	1	—	2	3	3	3	4	5	3	3	—
	計	174	1	1	3	4	5	7	20	14	19	31	25	16	9	10	4	4	1

各級ニ於ケル品種數	長短ノ標準		總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	(+) 20 以上	長	41	23	14	2	2
	5 20 以上未滿	短	64	33	24	2	5
	(±) 0	無	25	12	6	4	3
	5 20 以上未滿	短	35	2	13	8	12
	(−) 20 以上	長	9	1	—	2	6

備考　止葉ニ比シ稈長高キ場合ハ(+)之ニ反スル場合ハ(−)トス

第三十八表　內地種葉長ノ階列(單位分)

第一期作

大正十四年

要項	總數	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80	82
品種數	50	2	2	—	3	3	7	7	3	1	5	2	1	3

84	86	88	90	92	94	96	98	100	平均
3	—	2	2	1	2	—	—	1	74.64

備考　計量的形質ヲ計數的形質トシテ取扱ヘルモノアリ以下各表同斷

第六章　稈

1. 稈ノ性狀

臺灣稻ノ稈ハ概ネ脆剛ニシテ撓性ニ乏シク纖維弱クシテ藁細工用トシテ內地種ニ劣ル　稈色ハ大別シテ綠竝ニ紫トシ綠莖ニ屬スルモノハ淡綠ニシテ濃綠ノ葉鞘ヲ以テ蔽ハル　成熟スルニ從テ莖葉共ニ黃變スレトモ第一期作ハ成熟ノ際氣溫高ク結實シツヽ繁茂ヲ繼續スルカ故ニ內地稻ノ如ク稈色ノ黃變著シカラス　紫色ニ屬スルモノハ稈及葉鞘共ニ暗紫色ニシテ成熟スレハ其濃度ヲ減ス概シテ莖ノ下部濃厚ニシテ上部ニ向フニ從テ淡ク上部第一節ノ全ク著色セサルヲ普通トス又一節間內ニ於ケル濃度ハ節ノ上部葉鞘ヨリ露出セル部分最モ濃厚ニシテ葉鞘ヲ以テ蔽ハレタル部分ハ全ク著色セス　而シテ其最モ淡色ナルモノハ稈色,葉鞘色共ニ殆ト認メ難キ程度ナルモ葉鞘ノ內面及葉節ノ外面ニ僅ニ著色ヲ認メ得ヘシ　暗紫色莖ノ品種ハ葉綠赤紫色ヲ帶ヒ柱頭,稃先(未熟成熟)又紫色ヲ呈シ護穎ハ著色セス

2. 稈　長

稈長ハ(稈長ハ調査ノ都合上總テ穗先マデトナシタリ)期作ニヨリテ稍相違アリト雖モ本調査ノ結果ニヨレハ普通3尺5寸乃至4尺内外トシ第一期作ハ第二期作ニ比シ稍長シ(第四十表) 吾人カ臺中廳農會試驗場ニ於テ行ヒシ育種[1]成績ニ徵スレハ15品種ノ平均第一期作ハ4尺2寸8分,第二期作ハ3尺7寸1分ヲ示セリ(第三十九表)

第三十九表 稈長調査

大正五年

期作	調査材料			平均稈長			摘要
	品種數	系統數	一系ノ平均ニ用ヒシ株數	最長	最短	平均	
第一期	15	1722	10	尺 4.64	尺 3.92	尺 4.28	稈長ハ穗先迄トス
第二期	15	1500	10	4.07	3.41	3.71	

稈ノ太サハ普通4.2粍乃至5.0粍ニシテ概シテ細ク而シテ第二期作種ハ第一期作種ニ比シ稍細ク認メラル(第四十一表)

第四十表 稈長ノ階列(單位寸)

大正五年

要項		總數	59	53	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25
品種數	第一期作	72	—	—	1	—	1	1	3	3	6	5	2	8	6	8	7	6	4	5	—	2	1	1	1	—	—	—	—	1	—
	第二期作	57	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	3	4	3	1	6	4	5	7	4	6	3	3	2	2	2	—	—	1
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	1	2	3	1	4	1	—	1	—	1	—	—
	陸稻	28	1	1	—	—	1	2	—	—	—	1	—	1	—	1	1	3	4	2	4	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	175	1	1	1	—	2	3	3	4	6	6	2	12	11	13	10	16	12	13	13	13	10	8	5	2	3	2	1	1	1

各級ニ於ケル品種數	長短ノ標準	總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	45以上 長	21	15	1	—	5
	35以上45未滿 中	108	51	33	7	17
	35未滿 短	46	6	23	11	6

1) 磯永吉:一臺灣稻之分類 臺中廳農會(大正八年)

本表ヲ内地稲ノ標準ニ比較スレハ次ノ如シ

各級ニ於ケル品種數	長短ノ標準			總數	第一期	第二期	中間
	38	以上	長	79	57	18	4
	35 38	以上 未満	中	28	9	16	3
	35	未満	短	40	6	23	11

第四十一表　稈ノ大小ノ階列(單位粍)

大正五年

要項		總數	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.6	5.5	5.4	5.3	5.2	5.1
品種數	第一期	72	—	—	1	—	—	—	1	2	—	1	2	3	6
	第二期	57	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	陸稲	28	1	—	1	1	3	—	1	—	—	—	3	—	—
	計	175	1	—	2	1	3	1	2	2	—	1	6	4	8

5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4
5	3	4	3	7	2	4	4	7	3	2	5	2	2	2	1	—
3	4	7	4	7	4	5	3	4	2	3	2	—	3	2	—	—
1	2	2	3	3	3	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
1	3	1	3	2	4	—	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—
10	12	14	13	19	13	9	9	11	6	5	8	4	5	4	1	—

3.3	3.2	3.1	3.0
—	—	—	—
—	—	—	1
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	1

各級ニ於ケル品種數	細太ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稲
	5.0	以上	太	41	21	6	3	11
	4.0 5.0	以上 未満	中	111	39	43	14	15
	4.0	未満	細	23	12	8	1	2

3. 分蘖ノ性狀

稲株個々ノ容姿ハ品種若クハ系統ノ差異ニヨリテ異ナルモノニシ

テ之ヲ分蘖ノ姿勢ト名付ク(分蘖ノ姿勢ト葉ノ姿勢トヲ組合セタルモノヲ株ノ姿勢トナス) 分蘖ノ姿勢ハ概シテ2種ニ分ツヲ得ヘシ 即チ株ノ上部ノ著シク開ケルモノ(分蘖塁カ地面トナス角度小ナルモノ)又ハ閉セルモノ(分蘖塁カ地面トナス角度大ナルモノ) トアリ其間連續的程度ノ差アリ 臺灣稻ハ內地稻ニ比シ概シテ株ノ上部開ケル品種多ク就中第二期作種ニ於テ顯著ナリ

4. 分 蘖 數

分蘖本數ハ本調査ノ結果ニ從ヘハ1株10本乃至20本(一本植)トシ第二期作ハ他期作ニ比シ多蘖ノ傾向ヲ有スト雖モ素ヨリ品種ニヨリテ一定セス(第四十三表) 吾人カ臺中廳農會試驗場ニ於テナセル育種[1]成績(第四十二表)ニヨレハ15品種ノ平均第一期作ハ13本6ニシテ第二期作ハ16本2ヲ示セリ 分蘖ハ之ヲ內地稻カ普通栽培ノ場合ニ於テ1株11本乃至17本ヲ以テ中位ノ階級トスルニ比較スレハ程度伯仲ノ間ニアリト認メ得ヘシ(第四十三表)

第四十二表 分蘖調査表

大正五年

期作	調査株數			平均分蘖本數			摘要
	品種數	系統數	一系ノ調査株數	最多	最少	平均	
第一期	15	1720	10	18.3	10.0	13.6	有效分蘖トス
第二期	15	1500	10	20.1	12.7	16.2	

第四十三表 分蘖ノ階列

大正五年

要項		總數	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
種數	第一期	72	—	1	—	—	2	3	1	5	5	2	10	10	5
	第二期	57	1	—	4	2	1	2	2	6	5	7	5	5	5
	中間作	18	—	1	—	—	1	2	4	—	—	—	1	2	2
	陸稻	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	計	175	1	2	4	2	4	7	7	11	10	9	16	18	13

10	9	8	7	6	5	4	3
11	8	4	1	3	—	—	1
4	2	2	2	1	—	1	—
—	2	2	—	1	—	—	—
—	1	6	6	2	5	6	—
15	13	14	9	7	5	7	1

(1) 磯永吉:一臺灣稻之分類 臺中縣農會(大正八年)

各級ニ於ケル品種數	多少ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	20	以上	多	9	1	7	1	—
	10 20	以上 未滿	中	110	54	42	12	2
	10	未滿	少	56	17	8	5	26

本表ヲ內地稻ノ標準ニ比較スレハ次ノ如シ

各級ニ於ケル品種數	多少ノ標準			總數	第一期	第二期	中間
	17	以上	多	27	7	12	8
	11 17	以上 未滿	中	75	37	33	5
	11	未滿	少	45	28	12	5

5. 伸長性

臺灣稻ノ第一期作ハ挿秧後5日內外ニシテ發根シ10日目頃ヨリ伸長ヲ開始ス　第二期作ハ第一期作ニ比シ迅速ニシテ1晝夜ニシテ既ニ發根シ5日目頃ヨリ伸長ヲ開始ス　而シテ第四十五表及第四十六表ノ調査表竝ニ之ヲ圖示セル第一圖及第二圖ニ據リ全生育期間ヲ通シ發育ノ初期及出穗時期ニ於ケル伸長ハ他ノ時期ニ比シ迅速ナリ而シテ此傾向ハ第一期作ハ第二期作ニ比シ顯著ナリ　第四十四表ハ第四十五表及第四十六表中ヨリ伸長ノ最大時期及最大度ヲ摘錄セルモノニシテ兩者ヲ對照スレハ其伸長性ヲ知ルコトヲ得ヘシ　伸長ニ伴ヒ草丈ノ偏差ハ第四十七表ニ示スカ如ク兩期作各15品種ニツキ1品種10系統宛之ニ在來種ヲ加ヘ調査セル結果其平均ニ於テ標準偏差第一期作ハ±1.793第二期作ハ±2.815ヲ示セリ

第四十四表　伸長性

大正五年

期作	品種名	挿秧月日	伸長ノ最大度 月日	一日ノ伸長	挿秧後ノ經過日數	收穫時ノ草丈
第一期作	落忍	3.15	月日 6.7	尺 0.14	85	尺 4.50
	白米粉	3.15	5.28	0.12	74	4.10
	高脚烏尖	3.16	6.6	0.11	83	4.50
第二期作	菁稿	8.01	10.5	0.09	66	4.31
	烏咬	8.03	8.14	0.12	11	4.25
	稑仔	8.04	8.12 9.27	0.12 0.12	8 54	3.92

（試驗地　臺中）

第四十五表　品種別草丈調査　（第一期作）

（30株ノ平均）　　大正五年

挿秧後ノ経過日數	白米粉種 草丈	白米粉種 同上增加數	落窓種 草丈	落窓種 同上增加數	高脚烏尖種 草丈	高脚烏尖種 同上增加數
	尺	尺	尺	尺	尺	尺
30	1.36	—	—	—	1.14	—
31	1.44	0.08	1.17	—	1.22	0.08
32	1.50	0.06	1.27	0.10	1.28	0.06
33	1.56	0.06	1.37	0.10	1.34	0.06
34	1.62	0.06	1.45	0.08	1.40	0.06
35	1.68	0.06	1.51	0.06	1.46	0.06
36	1.75	0.07	1.59	0.08	1.53	0.07
37	1.81	0.06	1.68	0.09	1.54	0.01
38	1.86	0.05	1.73	0.05	1.58	0.04
39	1.89	0.03	1.78	0.05	1.63	0.05
40	1.91	0.02	1.81	0.03	1.66	0.03
41	1.94	0.03	1.85	0.04	1.70	0.04
42	1.97	0.03	1.89	0.04	1.74	0.04
43	1.99	0.02	1.91	0.02	1.81	0.07
44	2.01	0.02	1.92	0.01	1.85	0.04
45	2.04	0.03	1.94	0.02	1.88	0.03
46	2.05	0.01	1.98	0.04	1.93	0.05
47	2.08	0.03	2.01	0.03	1.95	0.02
48	2.13	0.05	2.03	0.02	2.00	0.05
49	2.17	0.04	2.08	0.05	2.04	0.04
50	2.19	0.03	2.10	0.02	2.07	0.03
51	2.21	0.02	2.12	0.02	2.10	0.03
52	2.25	0.04	2.13	0.01	2.13	0.03
53	2.28	0.03	2.14	0.01	2.16	0.03
54	2.32	0.04	2.17	0.03	2.22	0.06
55	2.34	0.02	2.18	0.01	2.26	0.04
56	2.37	0.03	2.20	0.02	2.29	0.03
57	2.41	0.04	2.22	0.02	2.33	0.04
58	2.46	0.05	2.26	0.04	2.38	0.05
59	2.50	0.04	2.30	0.04	2.43	0.04
60	2.54	0.04	2.33	0.03	2.47	0.04
61	2.58	0.04	2.38	0.05	2.50	0.03
62	2.64	0.06	2.43	0.05	2.55	0.05
63	2.70	0.06	2.48	0.05	2.59	0.04
64	2.73	0.03	2.53	0.05	2.64	0.05

挿秧後ノ経過日數	白米糯種 草丈	白米糯種 同上增加數	落忍種 草丈	落忍種 同上增加數	高脚烏尖種 草丈	高脚烏尖種 同上增加數
	尺	尺	尺	尺	尺	尺
65	2.78	0.05	2.56	0.03	2.69	0.05
66	2.82	0.04	2.60	0.04	2.74	0.05
67	2.88	0.06	2.64	0.04	2.80	0.06
68	2.96	0.08	2.69	0.05	2.87	0.07
69	3.03	0.07	2.74	0.05	2.94	0.07
70	3.11	0.08	2.80	0.06	3.02	0.08
71	3.23	0.12	2.87	0.07	3.08	0.06
72	3.34	0.11	2.93	0.06	3.15	0.07
73	3.46	0.12	2.99	0.06	3.21	0.06
74	3.58	0.12	3.05	0.06	3.28	0.07
75	3.70	0.12	3.12	0.07	3.33	0.05
76	—	—	3.18	0.06	3.39	0.06
77	—	—	3.24	0.06	3.43	0.03
78	—	—	3.29	0.05	3.52	0.09
79	—	—	3.36	0.07	3.58	0.06
80	—	—	3.42	0.06	3.65	0.07
81	—	—	3.48	0.06	3.73	0.08
82	—	—	3.53	0.05	3.82	0.09
83	—	—	3.60	0.07	3.93	0.11
84	—	—	3.73	0.13	4.03	0.10
85	—	—	3.87	0.14	4.12	0.09
86	—	—	3.99	0.12	4.19	0.07
87	—	—	4.12	0.13	4.28	0.09
88	—	—	4.23	0.11	4.36	0.08
89	—	—	4.34	0.11	—	—
90	—	—	4.40	0.06	—	—

（試驗地　臺中）

備考　草丈調査ノ方法ハ第二編第三章調査標準ニヨル

第四十六表　品種別草丈調査（第二期作）

大正五年

挿秧後ノ経過日數	菁稿 草丈	菁稿 同上增加數	烏咬 草丈	烏咬 同上增加數	格仔 草丈	格仔 同上增加數
	尺	尺	尺	尺	尺	尺
6	—	—	—	—	0.78	—
7	—	—	1.18	—	0.87	0.09
8	—	—	1.30	0.12	0.99	0.12
9	1.25	—	1.38	0.08	1.11	0.12
10	1.34	0.09	1.49	0.11	1.19	0.08

挿秧後ノ經過日數	著稿 草丈	同上增加數	島咬 草丈	同上增加數	格仔 草丈	同上增加數
	R	R	R	R	R	R
11	1.40	0.06	1.61	0.12	1.23	0.04
12	1.41	0.01	1.64	0.03	1.31	0.08
13	1.46	0.05	1.67	0.03	1.34	0.03
14	1.50	0.04	1.72	0.05	1.38	0.04
15	1.53	0.03	1.78	0.06	1.40	0.02
16	1.55	0.02	1.82	0.04	1.43	0.03
17	1.58	0.03	1.85	0.03	1.52	0.09
18	1.62	0.04	1.88	0.03	1.61	0.09
19	1.66	0.04	1.93	0.05	1.72	0.11
20	1.73	0.07	1.96	0.03	1.78	0.06
21	1.79	0.06	2.04	0.08	1.84	0.06
22	1.85	0.06	2.06	0.02	1.90	0.06
23	1.93	0.08	2.09	0.03	1.95	0.05
24	1.99	0.04	2.09	—	2.01	0.06
25	2.05	0.06	2.16	0.07	2.03	0.02
26	2.07	0.02	2.19	0.03	2.15	0.12
27	2.11	0.04	2.25	0.06	2.23	0.08
28	2.16	0.05	2.28	0.03	2.26	0.03
29	2.21	0.05	2.31	0.03	2.32	0.06
30	2.26	0.05	2.39	0.08	2.36	0.04
31	2.31	0.05	2.44	0.05	2.41	0.05
32	2.31	—	2.46	0.02	2.43	0.02
33	2.34	0.03	2.49	0.03	2.47	0.04
34	2.38	0.04	2.52	0.03	2.50	0.03
35	2.42	0.04	2.57	0.05	2.54	0.04
36	2.47	0.05	2.59	0.02	2.59	0.05
37	2.51	0.04	2.61	0.02	2.63	0.04
38	2.52	0.01	2.67	0.06	2.66	0.03
39	2.57	0.05	2.67	—	2.73	0.07
40	2.67	0.10	2.71	0.04	2.88	0.15
41	2.68	0.01	2.76	0.05	2.83	0.05
42	2.75	0.07	2.83	0.07	2.86	0.03
43	2.81	0.06	2.86	0.03	2.90	0.04
44	2.85	0.04	2.91	0.05	2.95	0.05
45	2.91	0.06	2.93	0.02	3.00	0.05
46	2.98	0.07	3.00	0.07	3.05	0.05
47	3.02	0.04	3.05	0.05	3.11	0.06

挿秧後ノ経過日數	蓍稿 草丈	蓍稿 同上增加數	烏嗂 草丈	烏嗂 同上增加數	格仔 草丈	格仔 同上增加數
	尺	尺	尺	尺	尺	尺
48	3.09	0.07	3.09	0.04	3.13	0.02
49	3.14	0.05	3.15	0.06	3.18	0.05
50	3.19	0.05	3.20	0.05	3.21	0.03
51	3.24	0.05	3.27	0.07	3.24	0.03
52	3.30	0.06	3.26	(−) 0.01	3.27	0.03
53	3.34	0.04	3.31	0.05	3.22	(−) 0.05
54	3.36	0.02	3.32	0.01	3.34	0.12
55	3.38	0.02	3.42	0.10	3.42	0.08
56	3.39	0.01	3.41	0.01	3.50	0.08
57	3.47	0.08	3.43	0.04	3.53	0.03
58	3.50	0.03	3.46	0.01	3.63	0.10
59	3.58	0.08	3.51	0.05	3.72	0.09
60	3.60	0.02	3.57	0.06	3.73	0.01
61	3.67	0.07	3.60	0.03	3.84	0.11
62	3.71	0.04	3.64	0.04	3.88	0.04
63	3.77	0.06	3.67	0.03	3.90	0.02
64	3.85	0.08	3.71	0.04	3.92	0.02
65	3.90	0.05	3.77	0.06	3.92	—
66	3.99	0.09	3.84	0.07	3.92	—
67	4.06	0.07	3.93	0.09	3.91	(−) 0.01
68	4.13	0.07	4.00	0.07	3.92	0.01
69	4.17	0.04	4.08	0.08	3.91	(−) 0.01
70	4.20	0.03	4.18	0.05	3.91	—
71	4.23	0.03	4.17	0.04	3.91	—
72	4.26	0.03	4.20	0.03	—	—
73	4.27	0.01	4.25	0.05	—	—
74	4.28	0.01	4.23	(−) 0.02	—	—
75	4.29	0.01	4.24	0.01	—	—
76	4.31	0.02	4.23	(−) 0.01	—	—
77	4.37	0.06	4.22	(−) 0.01	—	—
78	4.29	(−) 0.08	4.24	0.02	—	—
79	4.29	—	4.24	—	—	—
80	4.29	—	4.25	0.01	—	—
81	4.31	0.02	—	—	—	—

（試驗地　臺中）

備考　(−)印ハ草丈調査ニヨリテ得タル數前日ヨリ少カリシヲ示スモノニシテ試驗材料ノ故障ニヨリテ生セシモノナリ

第四十七表　各品種ノ系統別草丈標準偏差及變異係數[1]（單位寸）

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	1.79	1.53	1.45	1.77	1.46	1.55	1.56	1.47	1.32	1.71	1.69	1.573
		4.71	3.73	4.00	4.73	3.76	4.11	4.13	3.94	3.33	4.50	4.43	4.125
	半高低烏尖	1.32	1.64	1.75	1.54	1.51	1.70	1.75	1.59	1.82	2.12	2.53	1.752
		3.65	4.41	4.77	4.41	4.79	4.65	4.97	4.63	4.75	5.25	6.66	4.837
	高脚花蝶	1.86	2.13	1.14	2.75	2.40	2.31	2.01	1.96	2.20	2.69	2.10	1.141
		4.49	4.96	2.79	6.99	5.93	5.58	4.97	4.85	5.36	6.69	5.11	5.239
	落忍	1.91	1.67	2.07	1.69	1.54	2.53	1.92	1.88	1.97	2.38	2.12	1.971
		5.54	4.86	5.10	4.93	4.46	5.31	5.72	5.54	4.97	6.23	6.72	5.398
	高脚烏尖	1.92	2.01	1.71	1.89	1.48	1.87	1.78	1.80	2.16	2.02	2.24	1.898
		4.72	4.93	4.30	4.55	3.69	4.64	4.51	4.52	5.39	5.65	5.50	4.764
	烏殼耳仔	2.23	2.42	2.28	2.14	2.13	2.38	2.44	2.41	2.30	2.12	2.04	2.263
		5.69	6.04	5.70	5.39	5.48	6.09	6.18	8.78	5.88	5.46	5.69	6.035
	朮仔舊	1.85	1.79	1.53	1.62	1.79	1.60	1.73	1.70	1.89	1.75	1.94	1.745
		4.89	4.76	4.57	4.26	4.60	4.08	4.40	4.35	4.90	4.48	5.12	4.583
	柳洲	1.69	1.74	1.57	1.64	1.47	1.65	1.65	1.73	1.64	1.65	2.00	1.675
		4.58	4.79	4.36	4.63	4.12	4.60	4.67	4.77	4.43	4.54	5.45	4.631
	半天仔	1.59	1.87	1.62	1.71	1.49	1.69	1.68	1.71	1.58	1.35	1.82	1.646
		3.91	4.44	4.02	4.27	3.70	4.16	4.10	4.23	3.65	3.37	4.13	3.998
	白殼舊	1.69	1.84	1.40	1.66	1.58	1.39	1.46	1.47	1.41	1.72	1.69	1.574
		4.27	4.76	3.86	4.38	4.04	3.55	3.70	3.79	3.61	4.39	4.35	4.064
	白殼仔	1.78	2.25	2.13	2.02	1.82	2.06	1.74	2.19	2.21	2.19	2.14	2.048
		5.04	6.13	5.80	5.47	5.02	5.50	4.84	6.48	6.64	6.01	6.21	5.740
	烏殼仔	1.82	1.98	1.64	1.73	1.70	1.81	2.03	1.97	1.58	1.99	2.26	1.865
		4.63	5.13	4.03	4.42	4.31	4.58	5.10	5.00	4.08	5.00	5.73	4.728
	晩大花	1.70	1.70	1.80	1.75	1.82	1.93	1.89	1.69	1.72	1.86	1.98	1.804
		4.28	4.30	4.54	4.41	4.53	4.81	4.71	4.18	4.25	4.66	4.96	4.515
	低脚花蝶	1.85	2.06	2.00	1.84	2.09	1.88	2.07	1.80	1.78	1.97	2.03	1.943
		4.54	4.91	5.23	4.45	4.90	4.59	4.78	4.46	4.39	4.64	4.86	4.705
	早大花	1.89	1.99	2.11	1.97	2.00	2.05	1.97	2.00	1.85	1.82	2.37	2.002
		4.62	4.81	5.10	4.80	4.90	4.95	4.75	4.81	4.46	4.41	5.65	4.842
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.793
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.814
	最大最小	2.75	1.14										
		6.90	3.33										

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第二期作	菁稿	1.51	1.25	1.36	1.14	0.90	1.03	1.14	1.20	1.35	1.53	1.93	1.304
		4.34	3.56	3.48	3.30	2.59	2.90	3.24	3.15	3.66	3.91	5.44	3.597
	五枝齊	1.77	1.99	1.66	2.03	1.84	1.84	1.89	1.85	1.75	1.77	1.89	1.846
		5.86	6.38	5.72	6.66	6.19	6.22	6.25	6.36	6.08	5.88	6.13	6.157
	高梨	2.10	1.83	1.46	1.60	1.89	1.97	1.91	1.95	1.98	1.92	2.09	1.882
		6.88	6.10	5.16	5.21	5.66	6.90	6.29	6.56	6.57	6.29	6.82	6.222
	黃稿	1.84	1.74	1.88	1.89	2.29	1.97	2.03	2.01	1.79	1.97	1.87	1.935
		6.21	6.06	6.26	5.99	7.59	6.46	6.54	6.80	5.87	6.67	6.34	6.435
	烏咬	1.73	2.07	2.26	1.89	1.82	2.50	1.98	2.21	1.83	1.69	1.77	1.977
		7.27	6.69	7.33	6.27	5.97	7.98	6.48	7.26	4.03	6.24	5.73	6.477
	岸仔	2.06	2.72	1.87	2.07	1.85	1.79	1.71	1.89	1.81	2.06	2.14	1.994
		6.90	8.96	6.09	7.10	6.52	5.42	6.02	6.85	5.81	6.86	7.08	6.692
	格仔	1.33	1.07	1.29	1.22	1.14	1.31	1.18	1.19	1.19	1.26	1.54	1.247
		4.60	3.63	4.46	4.23	3.93	4.60	4.32	4.40	4.13	4.69	5.38	4.397
	蔓仔	2.19	2.01	2.09	2.03	2.13	2.02	1.93	1.80	1.88	2.04	2.09	2.019
		6.78	6.41	6.54	6.31	6.94	6.21	5.97	5.83	6.15	6.48	6.89	6.410
	大菁稿	1.97	1.64	1.83	1.80	1.96	1.74	1.71	1.94	1.81	1.81	2.18	1.854
		6.01	4.82	5.43	4.62	5.66	5.36	5.35	6.83	5.45	5.64	6.66	5.621
	反鹽甫	1.65	1.48	1.36	1.46	1.56	1.45	1.61	1.55	1.60	1.58	1.81	1.555
		5.30	4.76	4.42	4.76	4.91	4.65	5.20	5.07	5.22	5.18	5.87	5.031
	高脚萬仔	1.64	1.78	1.66	1.58	1.80	2.26	1.65	1.69	1.87	1.67	2.13	1.794
		5.96	6.41	6.10	5.78	6.40	7.82	5.95	5.37	6.64	6.14	7.50	6.370
	小菁稿	1.73	1.88	1.77	1.63	1.68	1.69	1.91	1.84	1.69	1.86	2.09	1.797
		5.25	6.42	6.10	5.76	5.51	6.14	6.64	6.68	5.86	6.25	7.05	6.151
	學種	1.60	1.68	1.50	1.82	1.60	1.43	1.76	1.58	1.78	1.84	1.72	1.659
		5.35	5.63	5.11	5.98	5.38	4.74	5.72	5.32	5.96	6.34	5.58	5.555
	清流	1.71	1.56	1.58	1.67	1.52	1.77	1.66	1.48	1.71	1.71	1.84	1.655
		5.50	5.15	6.38	5.52	5.48	5.87	5.77	5.12	5.67	5.93	6.02	5.674
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.815
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.771
	最大最小	2.50	0.90										
		7.98	2.59										

（試驗地　臺中）

備考　上欄ハ標準偏差、下欄ハ變異係數

(1)　磯永吉：一臺灣稻之分類　臺中縣農會(大正八年)

6 分 蘖 性

臺灣稻ノ分蘖ハ挿秧後第一期ハ15日,第二期作ハ10日內外ニシテ開始シ又第四十九表ノ第一期作,第五十表ノ第二期作品種別分蘖調査及之ヲ圖示セル第三圖及第四圖ニ示ス如ク第一期作ハ45日第二期作ハ35日內外ニシテ有效分蘖終期ニ達スルヲ普通トス

分蘖ノ極期迄ノ日數ハ第一期作ハ約60日第二期作ハ50日內外トス第四十八表ハ是等ノ要點ニツキ第四十九表及第五十表ヨリ摘錄シ各各ノ關係ヲ說明セルモノニシテ兩者ヲ對照スレハ分蘖性狀ヲ窺フコトヲ得ヘシ分蘖ノ偏差ハ第五十一表ニ於テ示スカ如ク兩期作各15品種 各品種各10系統之ニ其在來種ヲ加ヘ調査セル結果平均第一期作ハ±3.339ニシテ第二期作ハ±4.448ノ成績ヲ示セリ

第四十八表 分 蘖 性

大正五年

期作	品種名	挿秧	有效分蘖期		分蘖ノ極期		自有效分蘖期至分蘖極期	有效分蘖100ニ對スル無效分蘖ノ割合	分蘖ノ最大密度		
		月日	月日	經過日數	月日	經過日數			月日	一日ノ分蘖本數	挿秧後ノ經過日數
第一期作	落忍	3.15	4.26	43	5.09	56	13	23	4.21	1.51	37
	白米粉	3.15	4.30	47	5.13	58	13	11	4.21	1.20	37
	高脚烏尖	3.16	4.29	45	5.12	58	13	40	4.28	1.74	43
第二期作	菁稿	8.01	9.02	33	9.15	46	13	20	9.04	1.80	34
	烏咬	8.03	9.04	33	9.23	52	19	13	8.31	1.90	28
	格仔	8.04	9.05	33	9.23	51	18	7	8.30	2.50	26

(試驗地 臺中)

第四十九表 品種別分蘖調査 (第一期作)

(30株ノ平均)

大正五年

挿秧後ノ經過日數	白米粉種		落忍種		高脚烏尖種	
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
30	3.700	—	—	—	3.200	—
31	3.930	0.230	4.800	—	3570	0.370
32	4.300	0.470	5.600	0.800	3870	0.300
33	4.770	0.370	6.500	0.900	4.220	0.350
34	5.500	0.730	7.200	0.700	4.670	0.450
35	6.030	0.530	8.533	1.333	5.400	1.730
36	7.300	1.270	9.593	1.060	6.770	1.370
37	8.500	1.200	11.100	1.507	8.070	1.300
38	9.570	1.070	12.600	1.500	9.330	1.261
39	10.630	1.060	13.900	1.300	10.600	0.270

挿秧後ノ經過日數	白米粉種		落忍種		高脚烏尖種	
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
40	11.700	1.070	14.970	1.670	12.070	1.470
41	12.530	0.830	16.030	1.060	13.170	1.100
42	13.633	1.103	17.333	1.303	14.733	1.563
43	14.267	0.634	× 18.333	1.000	16.467	1.734
44	15.300	1.033	19.800	1.467	17.767	1.300
45	15.633	0.333	20.710	0.910	× 19.300	1.533
46	16.500	0.867	21.667	0.957	20.300	1.000
47	× 16.967	0.467	22.067	0.400	21.500	1.200
48	17.133	0.166	22.333	0.266	23.300	1.800
49	17.367	0.234	22.600	0.267	33.933	0.633
50	17.633	0.266	22.830	0.233	24.433	0.500
51	17.933	0.300	22.867	0.034	24.700	0.267
52	17.933	—	23.000	0.133	25.067	0.367
53	18.067	0.134	23.067	0.067	25.300	0.233
54	18.167	0.100	23.333	0.266	25.570	0.270
55	18.333	0.166	23.333	—	25.867	0.297
56	18.367	0.034	∘ 23.367	0.034	25.967	0.100
57	18.300	(−) 0.067	23.200	(−) 0.167	25.933	(−) 0.034
58	∘ 18.400	0.100	22.167	(−) 0.033	∘ 26.267	0.334
59	18.697	0.267	23.333	0.616	26.167	(−) 0.100
60	18.333	(−) 0.334	23.333	—	26.100	(−) 0.067
61	18.267	(−) 0.066	23.330	(−) 0.003	26.066	(−) 0.034
62	18.133	(−) 0.134	23.200	(−) 0.130	25.800	(−) 0.266
63	17.967	(−) 0.166	23.100	(−) 0.100	25.000	(−) 0.800
64	18.200	(−) 0.233	22.733	(−) 0.367	25.467	0.467
65	17.967	(−) 0.233	22.666	(−) 0.067	25.300	(−) 0.167
66	17.933	(−) 0.034	22.767	0.101	25.333	0.033
67	17.900	(−) 0.033	22.600	(−) 0.167	25.267	(−) 0.066
68	17.833	(−) 0.067	22.867	0.267	25.133	(−) 0.134
69	17.600	(−) 0.233	22.633	(−) 0.234	25.067	(−) 0.066
70	17.667	0.067	22.467	(−) 0.166	24.967	(−) 0.100
71	17.600	(−) 0.067	22.367	(−) 0.100	24.567	(−) 0.400
72	17.467	(−) 0.133	22.300	(−) 0.067	24.600	0.033
73	17.267	(−) 0.200	22.322	0.022	24.900	0.300
74	17.267	—	22.200	(−) 0.122	24.467	(−) 0.443
75	16.767	(−) 0.500	23.667	0.467	24.167	(−) 0.300
76	—	—	22.033	(−) 0.634	24.000	(−) 0.167
77	—	—	21.900	(−) 0.133	23.667	(−) 0.333
78	—	—	21.733	(−) 0.167	23.300	(−) 0.367
79	—	—	21.333	(−) 0.400	22.800	(−) 0.500

挿秧後ノ經過日數	白米粉種		落忍種		高脚烏尖種	
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
80	—	—	21.133	(-) 0.200	22.467	(+) 0.333
81	—	—	20.933	(+) 0.200	22.667	0.200
82	—	—	20.500	(+) 0.433	21.567	(-) 1.100
83	—	—	20.400	(-) 0.100	21.233	(+) 0.334
84	—	—	20.230	(+) 0.170	20.900	(+) 0.333
85	—	—	20.000	(+) 0.230	20.600	(+) 0.300
86	—	—	19.800	(-) 0.200	20.433	(+) 0.167
87	—	—	19.300	(-) 0.500	19.967	(+) 0.466
88	—	—	19.267	(-) 0.033	18.733	(-) 1.234
89	—	—	18.500	(-) 0.767	—	—
90	—	—	18.200	(+) 0.300	—	—

(試驗地臺中)

備考　I (+) 印ハ分蘖數前日ヨリ少キヲ示ス　第五十表モ之ニ同シ

II × 印ハ有效分蘖極期　○印ハ分蘖極期頃ヲ示ス　第五十表モ之ニ同シ

第五十表　品種別分蘖調査　(第二期作)

大正五年

挿秧後ノ經過日數	菅糯		烏咬		格仔	
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
6	—	—	—	—	1.90	—
7	—	—	2.00	—	1.90	—
8	—	—	2.10	0.10	2.00	0.10
9	1.50	—	2.10	—	2.20	0.20
10	1.60	0.10	2.30	0.20	2.70	0.50
11	1.90	0.30	2.70	0.40	3.30	0.60
12	2.70	0.80	3.20	0.50	4.10	0.80
13	3.20	0.50	3.70	0.50	4.70	0.60
14	3.70	0.50	4.10	0.40	5.30	0.60
15	4.00	0.30	5.40	1.30	5.90	0.60
16	4.30	0.30	5.60	0.20	6.20	0.30
17	5.20	0.90	5.90	0.30	6.90	0.70
18	5.60	0.40	6.30	0.40	7.70	0.80
19	6.50	0.90	6.80	0.50	8.10	0.40
20	7.20	0.70	7.40	0.60	9.10	1.00
21	7.70	0.50	8.10	0.70	10.30	1.20
22	8.10	0.40	8.60	0.50	11.50	1.20
23	8.40	0.30	9.40	0.80	12.10	0.60
24	9.70	1.30	9.70	0.30	13.50	1.40
25	11.10	1.40	10.20	0.50	14.90	1.40

挿秧後ノ經過日數	菁	稿	島	咬	格	仔
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
26	10.90	0.20	10.60	0.40	17.40	2.50
27	11.80	0.90	11.90	1.30	19.10	1.70
28	12.10	0.30	13.80	1.90	20.90	1.80
29	13.20	1.10	14.50	0.70	23.00	2.10
30	14.10	0.90	15.50	1.00	24.40	1.40
31	15.70	1.60	16.60	1.10	25.00	0.60
32	16.00	0.30	17.30	0.70	25.50	0.50
33	× 17.10	1.10	× 18.30	1.00	× 25.90	0.40
34	18.90	1.80	18.50	0.20	26.60	0.70
35	18.10	(−) 0.80	18.80	0.30	26.80	0.20
36	19.30	1.20	19.70	0.90	26.90	0.10
37	19.70	0.40	19.80	0.10	27.20	0.30
38	19.70	—	20.00	0.20	26.70	(−) 0.50
39	19.50	(−) 0.20	19.90	(−) 0.10	26.60	(−) 0.10
40	19.70	(−) 0.20	20.20	0.30	26.90	0.30
41	19.70	—	19.80	(−) 0.40	27.10	0.20
42	20.00	0.30	19.80	—	27.00	(−) 0.10
43	19.80	(−) 0.20	20.00	0.20	27.20	0.20
44	19.90	0.10	20.60	0.60	27.60	0.40
45	19.80	(−) 0.10	20.00	(−) 0.60	27.50	(−) 0.10
46	° 20.20	0.40	20.00	—	27.40	(−) 0.10
47	19.50	(−) 0.70	20.20	0.20	27.30	(−) 0.10
48	19.70	0.20	20.30	0.10	27.40	0.10
49	19.60	(−) 0.10	20.10	(−) 0.20	27.20	(−) 0.20
50	19.40	(−) 0.20	20.20	0.10	27.30	0.10
51	19.30	(−) 0.10	20.30	0.10	° 27.90	0.60
52	19.20	(−) 0.10	° 20.80	0.50	26.90	(−) 1.00
53	18.90	(−) 0.30	20.10	(−) 0.70	26.60	(−) 0.30
54	19.70	0.80	19.30	(−) 0.80	27.20	0.60
55	18.90	(−) 0.80	20.40	1.10	27.30	0.10
56	19.00	0.10	20.70	0.30	27.40	0.10
57	19.50	0.50	20.40	(−) 0.30	26.30	(−) 1.10
58	19.50	0.40	20.00	(−) 0.40	26.60	0.30
59	19.60	(−) 0.30	20.00	—	26.60	—
60	18.50	(−) 1.10	20.00	—	26.20	(−) 0.40
61	19.00	0.50	19.80	(−) 0.20	25.90	(−) 0.30
62	19.00	—	19.80	—	26.00	0.10
63	19.00	—	19.60	(−) 0.20	25.70	(−) 0.30
64	18.30	(−) 0.70	19.60	—	25.80	0.10
65	18.20	(−) 0.10	19.40	(−) 0.20	25.90	0.10

挿秧後ノ經過日數	菁稿		烏咬		格仔	
	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數	分蘖本數	增加本數
66	18.10	(−) 0.10	19.30	(−) 0.10	25.80	(−) 0.10
67	17.80	(−) 0.30	19.50	0.20	25.80	—
68	17.80	—	18.80	(−) 0.70	25.80	—
69	17.70	(−) 0.10	18.60	(−) 0.20	25.80	—
70	17.60	(−) 0.10	18.80	0.20	25.80	—
71	17.50	(−) 0.10	18.30	(−) 0.50	25.80	—
72	17.30	(−) 0.20	18.50	0.20	—	—
73	17.30	—	18.40	(−) 0.10	—	—
74	17.30	—	18.30	(−) 0.10	—	—
75	17.10	(−) 0.20	18.50	0.20	—	—
76	17.20	0.10	18.20	(−) 0.30	—	—
77	16.80	(−) 0.40	18.20	—	—	—
78	16.90	0.10	—	—	—	—
79	16.80	(−) 0.10	—	—	—	—

(試驗地　臺中)

第五十一表　各品種ノ系統別分蘖本數標準偏差及變異係數(1)

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	2.79	2.64	3.44	3.08	2.89	3.48	3.17	3.01	3.09	3.03	3.07	3.063
		21.76	21.36	21.16	23.32	23.85	26.26	23.69	22.33	23.70	21.96	23.05	22.95
	半高低烏尖	3.61	4.73	3.91	4.33	5.44	4.17	3.98	4.38	3.37	3.86	4.03	4.165
		22.14	23.69	23.39	24.45	24.77	22.87	24.72	22.84	20.20	26.29	27.88	23.93
	高脚花蝶	2.93	2.81	2.87	2.82	2.84	2.68	3.19	2.85	2.88	2.77	2.69	2.848
		25.98	26.92	22.96	23.33	24.98	24.68	25.89	25.36	26.21	24.80	23.93	25.00
	落忍	4.68	5.02	3.29	4.77	4.97	3.13	4.28	5.22	4.84	2.48	3.80	4.225
		23.48	26.99	24.15	23.28	25.25	27.49	23.32	26.87	24.51	26.67	31.17	25.74
	高脚烏尖	3.27	3.73	3.17	2.81	3.18	2.81	2.56	2.77	3.39	4.24	2.23	3.105
		27.90	29.79	26.51	23.83	25.03	22.96	21.71	22.34	25.49	24.71	10.07	23.67
	烏殼耳仔	3.01	3.26	2.76	3.02	2.89	3.07	2.70	2.96	2.44	2.82	4.26	3.017
		24.73	24.92	24.08	23.91	23.48	24.88	22.17	24.12	20.66	23.78	24.07	23.71
	朮仔舊	3.72	3.68	3.43	3.82	3.58	1.61	3.66	3.73	3.19	3.59	3.77	3.435
		27.47	29.92	24.57	26.57	25.96	23.37	25.07	25.12	22.69	25.12	28.11	25.82
	柳洲	4.88	4.64	4.21	4.19	4.46	4.91	4.86	3.42	4.38	3.51	5.54	4.455
		22.37	21.75	20.17	18.42	20.38	20.69	23.06	21.76	21.77	21.55	29.66	21.96
	半天仔	2.88	3.09	3.02	2.96	2.63	2.56	2.74	2.52	2.36	2.56	2.88	2.745
		20.66	23.86	20.54	23.76	22.10	20.61	21.92	20.50	19.59	20.61	23.17	21.57
	白殼蜜	2.79	3.03	2.92	2.78	2.96	2.73	3.04	3.83	3.26	2.91	3.30	3.050
		22.34	23.02	20.41	20.04	21.34	21.58	22.45	30.66	24.90	23.30	25.62	23.24
	白殼仔	3.46	3.31	3.07	2.97	2.98	3.41	2.96	3.45	3.40	3.15	3.46	3.238
		25.78	24.96	23.54	22.71	23.14	25.26	23.44	26.54	24.37	24.34	25.39	24.50
	烏殼仔	3.58	3.77	4.81	4.62	3.53	3.36	3.25	3.59	4.09	3.53	3.78	3.810
		22.60	22.97	21.61	22.32	20.75	21.04	20.95	21.70	21.14	24.33	25.94	22.30
	晚大花	3.03	2.87	3.01	2.89	2.75	2.90	2.82	3.11	3.08	3.13	2.91	2.955
		23.04	23.78	22.18	21.46	20.06	22.02	19.87	22.20	22.61	21.80	23.32	22.03
	低脚花蝶	3.79	3.79	3.75	4.17	3.29	3.50	3.18	3.37	4.06	3.16	3.91	3.634
		21.39	22.75	22.69	22.82	21.24	20.67	24.79	19.57	22.14	21.47	23.78	22.12
	早大花	2.31	2.29	2.09	2.20	2.29	2.19	2.32	2.49	2.42	2.20	2.89	2.335
		22.45	23.61	20.78	22.22	22.50	22.05	23.48	25.36	23.59	21.48	28.25	23.25
	平均	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	3.339
		.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	23.45
	最大最小	5.54	1.61										
		31.17	19.57										

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第二期作	菁稿	3.16	3.03	3.16	3.33	2.87	3.10	3.24	3.41	3.26	3.33	2.71	3.145
		20.53	17.80	21.56	19.06	17.89	20.01	20.02	23.45	21.43	23.11	17.43	20.21
	五枝齊	3.71	3.62	3.53	4.36	3.76	3.65	3.42	3.89	3.58	3.72	3.38	3.693
		34.75	25.64	23.18	28.37	23.86	25.75	21.97	24.68	23.51	27.70	23.39	25.67
	高梨	4.33	4.61	4.87	5.03	5.19	4.68	4.70	4.60	4.65	4.87	4.56	4.735
		26.78	25.74	26.60	28.52	26.79	24.57	26.32	25.34	27.65	26.83	27.06	26.56
	黃稿	4.51	4.33	3.34	4.46	4.24	4.20	4.11	3.85	3.98	3.82	4.52	4.124
		26.78	25.41	23.46	28.19	24.00	27.17	26.08	24.97	26.15	25.08	27.76	25.91
	烏咬	4.00	4.09	3.92	3.58	4.88	4.00	3.63	3.65	4.60	3.75	3.81	3.992
		26.28	27.52	25.69	24.67	26.80	28.09	23.93	24.73	27.79	25.77	24.44	25.97
	岸仔	4.11	4.42	4.11	5.04	4.53	4.54	4.06	4.10	4.10	4.21	4.64	4.351
		28.23	29.08	29.13	32.94	30.40	32.20	31.66	28.87	28.95	28.45	30.39	30.03
	格仔	5.13	4.84	4.17	4.90	4.65	4.33	6.74	4.54	4.73	4.93	5.18	4.922
		26.96	26.08	22.95	24.29	24.47	24.66	25.77	24.25	24.52	26.18	27.05	25.20
	蔞仔	4.52	3.75	4.16	4.00	4.22	4.11	4.06	4.40	4.26	4.49	4.26	4.203
		28.92	27.06	26.20	26.81	26.44	25.93	25.68	26.46	26.20	27.75	28.03	26.86
	大菁稿	4.15	4.03	4.11	5.27	3.52	4.25	4.06	5.25	3.98	4.80	4.70	4.375
		24.41	23.99	24.13	22.60	25.86	23.82	24.53	24.07	25.11	25.92	25.35	24.53
	反鹽朮	4.70	5.35	4.56	4.75	4.81	4.27	5.22	5.31	5.24	4.67	5.09	4.906
		27.18	27.92	25.65	25.71	25.44	26.77	29.49	27.26	28.78	26.12	28.36	27.15
	高脚萬仔	4.81	4.71	5.35	4.55	4.85	5.00	4.76	5.09	5.06	4.87	4.82	4.897
		24.60	23.39	25.19	24.58	26.12	26.41	25.04	26.64	25.80	22.93	22.85	24.87
	小菁稿	4.38	4.82	5.49	4.56	4.97	5.52	4.77	4.42	4.18	4.25	5.06	4.765
		27.22	30.03	29.14	27.60	27.38	27.96	26.81	25.13	25.04	27.28	28.02	27.42
	學種	4.01	4.36	4.36	4.37	4.58	4.49	4.96	4.30	4.44	4.72	3.59	4.380
		25.27	25.22	24.40	28.79	27.76	26.72	26.33	25.98	25.23	25.89	24.13	25.97
	清流	6.20	5.46	5.50	5.01	5.96	6.07	5.74	6.50	5.84	5.62	5.68	5.780
		28.50	23.44	26.33	24.14	26.89	28.30	23.75	28.90	29.23	27.11	26.15	26.61
	平均	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	4.448
		.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	25.93
	最大最小	6.74	2.71										
		32.94	17.43										

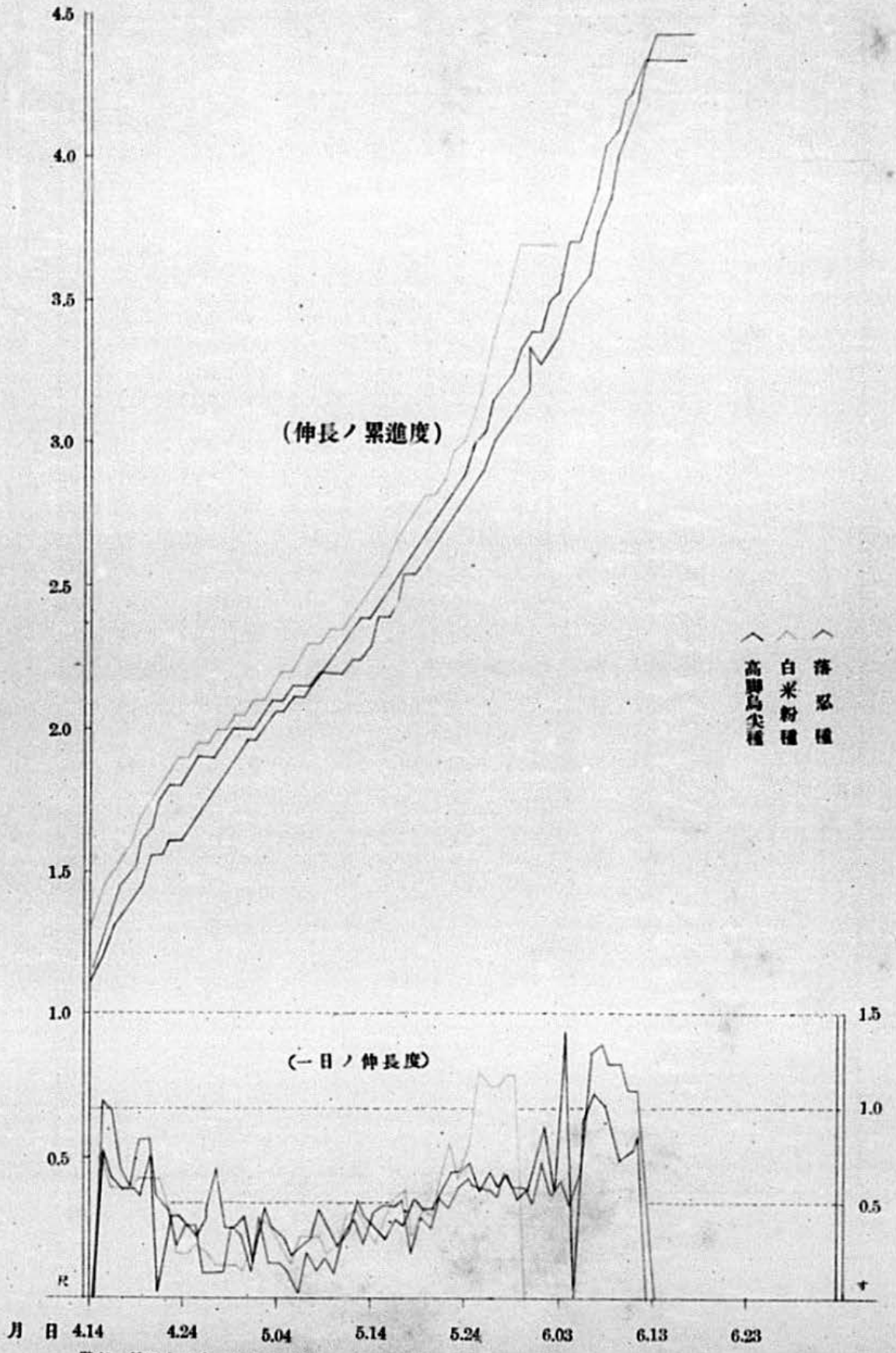
(試驗地　臺中)

備考　上欄ハ標準偏差　下欄ハ變異係數

(1) 磯永吉:一臺灣稻ノ分類　臺中廳農會　(大正八年)

第一圖　第一期作

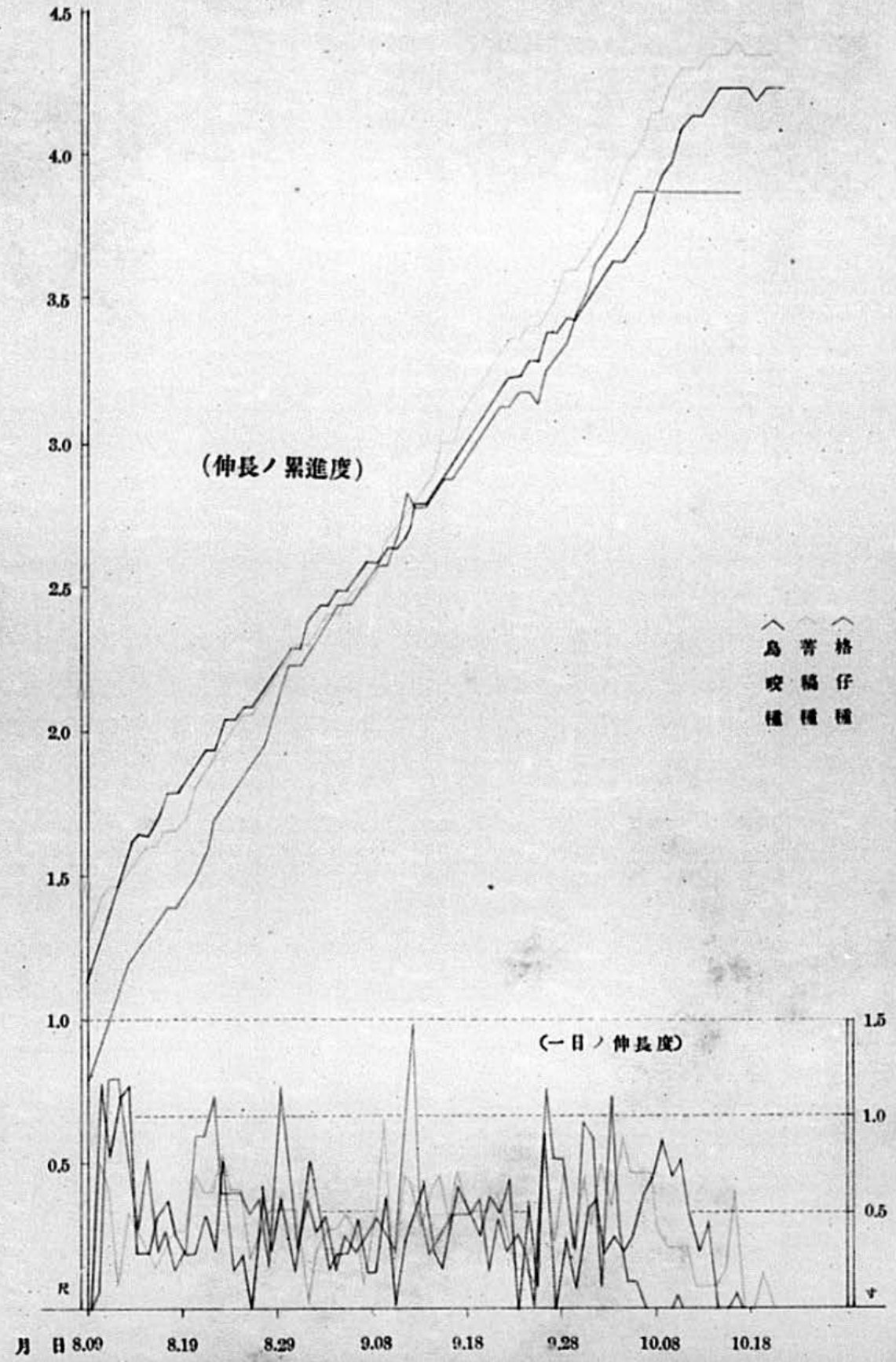
伸長性



備考　第四十五表　伸長性ニ關スル品種別草丈調査ノ成績ヲ示ス

第二圖　第二期作

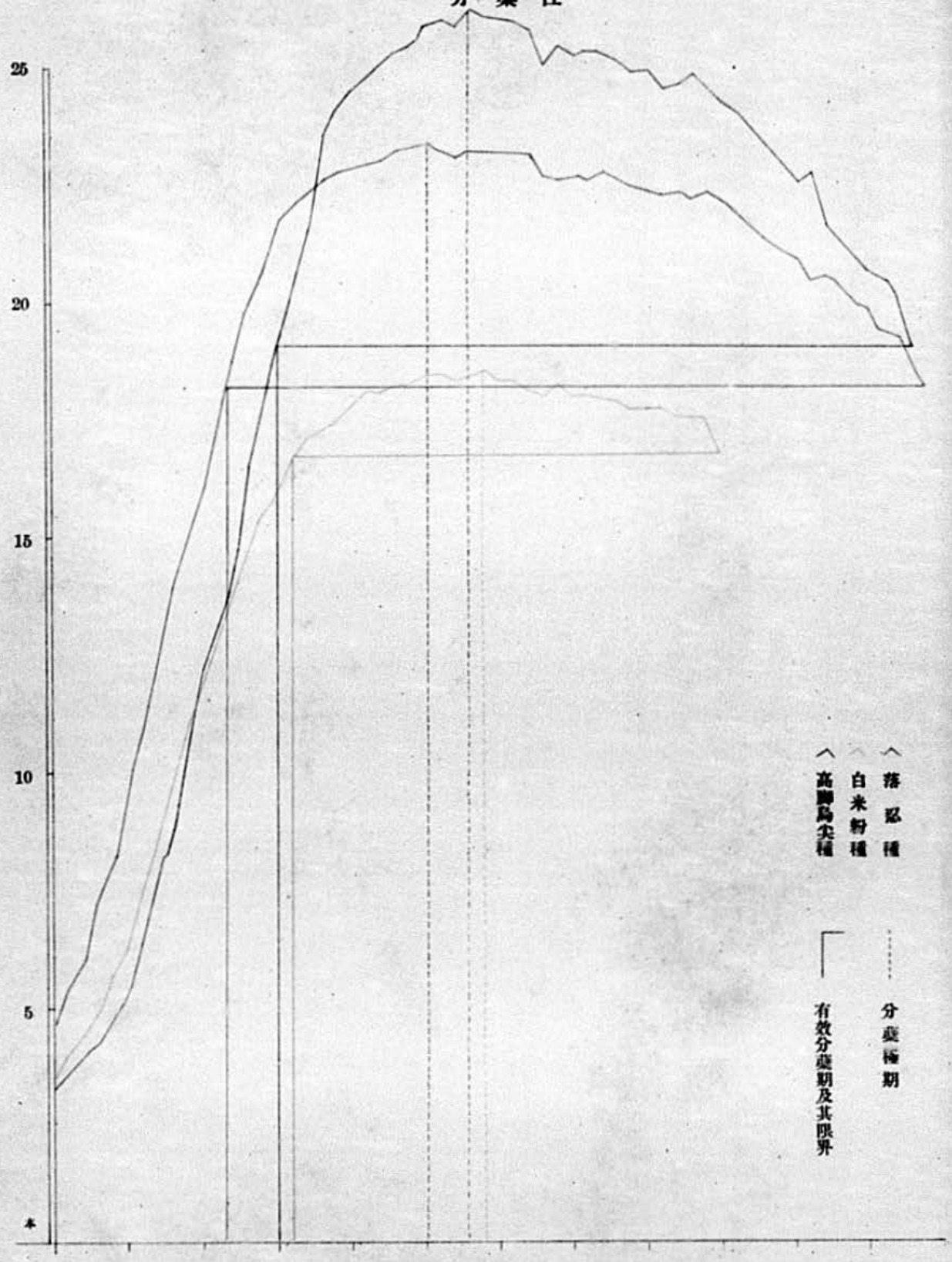
伸長性



備考　第四十六表　伸長性ニ關スル品種別草丈調査ノ成績ヲ示ス

第三圖　第一期作

分蘖性

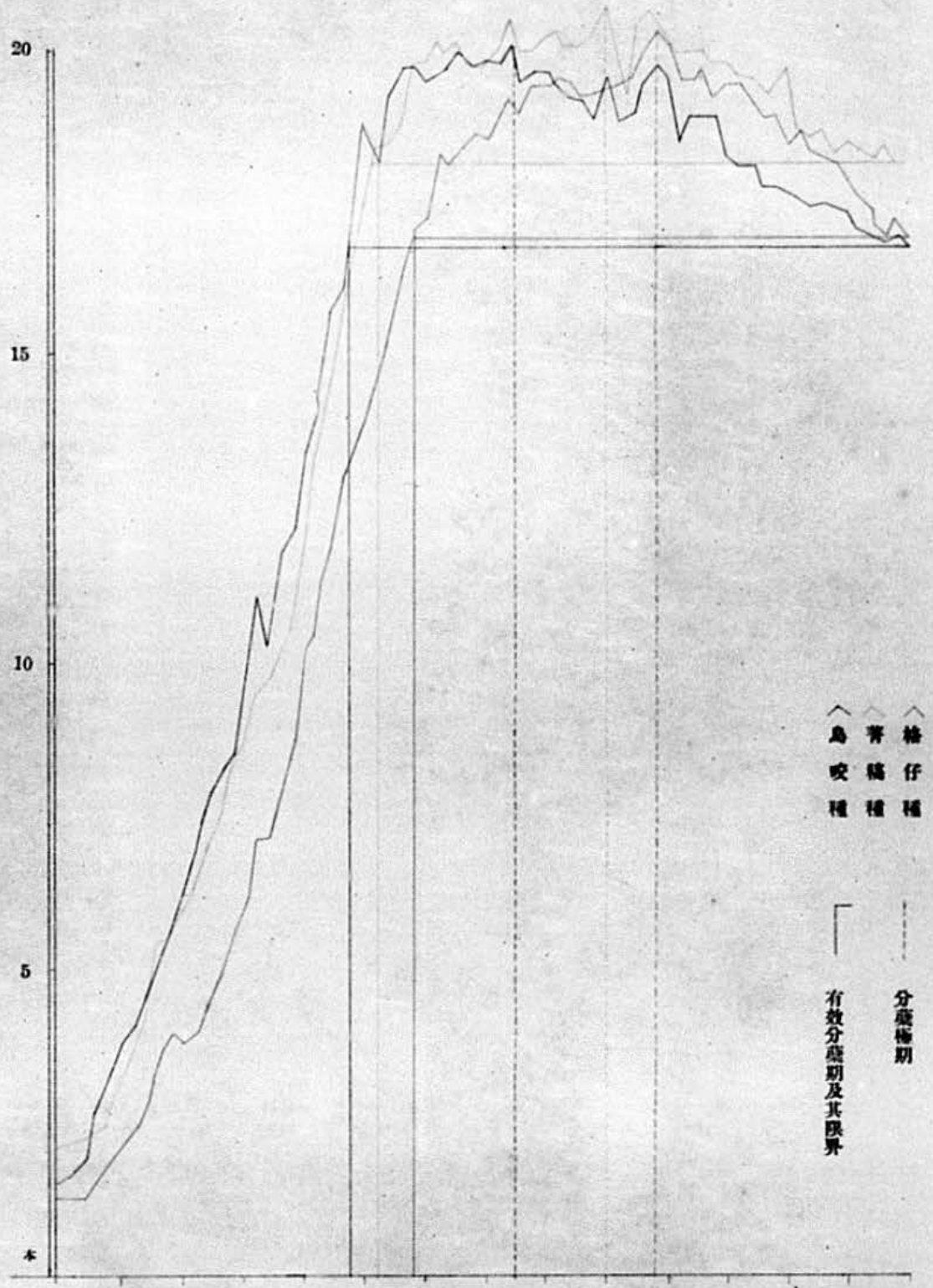


分蘖月日	4.14	4.19	4.24	4.29	5.04	5.09	5.14	5.19	5.24	5.29	6.03	6.08	6.13
挿秧後ノ日數〈落忍種	30	40	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90
挿秧後ノ日數〈白米籾種	31	36	41	46	51	56	61	66	71	76	81	86	91
挿秧後ノ日數〈高脚烏尖種	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90

備考　第四十九表ヲ示セルモノ

第四圖　第二期作

分蘖性



分蘖月日	8.09	8.14	8.19	8.24	8.29	9.03	9.08	9.13	9.18	9.23	9.28	10.03	10.08	10.13	10.18
挿秧後ノ日數 〈	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79
〈	6	11	16	21	26	31	36	41	46	51	56	61	66	71	76
〈	7	12	17	22	27	32	37	42	47	52	57	62	67	72	77

備考　第四十九表ヲ示セルモノ

7 稈長ノ遺傳

稻ニ於ケル稈長ノ遺傳ニ就テハ加藤氏[1]ハ草丈長キハ其短キニ對シ優性ナリト報告セリ　下山氏[2]ハ短稈種ト長稈種トノ交配ノF_1ハ大體稈ノ長キ方優性ニシテ幾分短クモ現ハレF_2ハ中間遺傳ヲ現ハシF_3ニ於テハF_2ノ長稈ヲ用フレハ長クナリ短稈ヲ用フレハ短クモ現ハルルコトヲ報告セリ　永井氏[3]ハ大黑ノ如キ畸型的短莖種ト普通種トノ交配ニ於テハ比較的明瞭ナル分離ヲナスモ其他ノ場合ニ於テハF_2ノ平均草丈ハ兩親ノ平均草丈ノ中間ニ來ル場合一方ノ親ノ平均草丈ト略等シキ場合又兩親ヨリモ著シク長キ場合アリトセリ　明峯氏[4]ハ通常稻ヨリ偶然變異ニヨリ生セル2種ノ矮性稻ハ其原種ナル長生稻ニ對シ劣性ニシテ正常的メンデル遺傳ヲナスコトヲ報告シ尙是等2種ノ矮性稻ハ長生稻ヲ生スルニ必要ナル補足因子ヲ有スルコトヲ報告セリ

余ハ長稈ナル大稻種ト短稈ナル烏尖種トヲ交配セシカ其結果ニ據リ稈長ノ遺傳現象ヲ視ルニ第五十二表ノ如ク大稻ハ平均稈長48寸53±0.17　烏尖ハ37寸59±0.12 F_1ハ50寸8 F_2ハ47寸44±0.09ヲ示シF_2ニ於ケル個體分離ノ狀態ハ多元性ナルコトヲ想像シ得ラル　而シテF_2ノ平均稈長ハ長稈ノ品種ニ著ク接近セルコトヲ示セリ　F_1個體ノ著ク長稈ナルハ蓋シ雜種勢ニ歸ス可キカ　之ハJones[5]モ實驗ノ結果認メタル所ナリ

第五十二表　稈長ノ遺傳現象　(大稻×烏尖)

大正五年—大正七年

品種	稈長ノ級別箇體數(寸)																	
	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34	32	30	計	平均
大稻	—	3	2	4	18	22	26	14	8	2	1	—	—	—	—	—	100	48.53±0.17
烏尖	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	10	39	31	10	2	2	100	37.59±0.12
大稻×烏尖F_1	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	50.8
大稻×烏尖F_2	2	5	13	32	58	59	104	104	72	57	24	6	4	1	—	—	581	47.44±0.09

(試驗地　臺中)

(1) 加藤茂苞:一農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況　日本育種學會報第一卷第一號(大正五年)

(2) 下山長次:一稻ノ雜種ト實用型遺傳　大日本農會報第五百十七號、第五百十八號(大正十三年)

(3) 永井威三郎:一日本稻作講義(大正十五年)

(4) 明峯正夫:一稻ニ於ケル矮性ノ遺傳ニ就テ　日本學術協會報告第一卷(大正十四年)

(5) Jones, J. K.—Hybrid Vigorin Rice. J. Amer. Soc. Agronomy, 18, 1926, No. 5. 423—427.

備考　I.大稻ハ內地種、烏尖ハ第一期作種以下各表同シ
II. F_2 ハ F_1 ノ全株5株ヲ栽培セリ

8　分蘖ノ遺傳

稻ニ於ケル分蘖ノ遺傳ニ就テハ加藤氏[1]ハ分蘖多キ品種ト少キ品種トノ交配ノ F_1 ニ於テハ通常兩親ノ中間性ヲ現ハシ F_2 ニ於テハ一ノ親ヨリ他ノ親ノ前後ニ分離スト報告セリ

E. van der Stock[2] 及 L. Koch ハ分蘖多キ品種ト少キ品種トノ交配ノ F_1 ニ於テハ多分蘖性カ優性又ハ優性ニ近ク F_2 ニ於テハ連續的變異ヲ示シ F_3 ニ於テ兩親ノ中間又ハ之ヲ超逸セル分蘖力ヲ有スル新品種育成ノ可能ナルヲ報告セリ　下山氏[3]ハ分蘖力ノ多少ハ F_1 ニ於テ大體兩親ノ平均數ヲ表ハシ F_2 ニ於テモ同樣ニ兩親ノ範圍內ニ分離シ平均ニ接近スル傾向アリトセリ

永井氏[4]ハ水稻東鄕ヨリ偶然變異ニヨリテ生セル分蘖著シク多キモノハ其母型ナル分蘖少キモノニ對シ優性ニシテ正常的メンデル遺傳ヲナスコトヲ報告シ尙其他ノ實用品種間ノ交配ノ場合ニ於テハ分離狀態カ連續的ニシテ多數ノ因子ノ關與セルコトヲ示シ概シテ F_2 ノ平均分蘖數ハ兩親ノ平均價ノ中間附近ニアリ又一方ノ親ト略等シキ場合モアルコトヲ報告セリ

余カ分蘖極メテ尠キ大稻種ト多蘖性ノ烏尖種ト交配セシ結果ニ據レハ第五十三表ノ如ク大稻ノ分蘖本數ハ 6.64 ± 0.25 烏尖ハ 19.89 ± 0.42 F_2 ハ 12.74 ± 0.16 ヲ示シ F_2 ニ於ケル個體分離ノ狀態ニヨリ多元性ナルコトヲ想像シ得ヘク大體ニ於テ從來ノ實驗成績ト一致セリ

---

(1) 加藤茂苞:—農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況　日本育種學會報第一卷第一號(大正五年)

(2) E. van der Stock and L. Koch: — Bastardierung am Reis. C. Fruwirth—Handbuch d. landw. Pflanzenzüchtung, Bd. 5. 2te auff, 1923.

(3) 下山長次:—稻ノ雜種ト實用型遺傳　大日本農會報第五百十七號、第五百十八號(大正十三年)

(4) 永井威三郎:—日本稻作講義(大正十五年)

第五十三表　分蘗ノ遺傳現象　(大稻×烏尖)

大正五年—大正七年

品種	分蘗本數ノ																	
	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
大稻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
烏尖	—	—	—	1	1	2	3	4	2	4	9	7	11	12	8	10	8	2
大稻×烏尖F_1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
大稻×烏尖F_2	1	0	1	2	2	1	0	2	3	2	2	7	4	3	16	17	23	25

級別箇體數																	
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	計	平均	備考
1	1	1	0	2	5	13	15	8	21	14	7	10	1	1	100	6.64±0.25	F_2ハF_1ノ全株五株ヲ栽培セリ
6	2	4	1	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	100	19.89±0.42	
0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	16.2	
40	51	71	59	62	53	53	35	27	12	4	—	—	—	—	578	12.74±0.16	

(試驗地　臺中)

9　稈色ノ遺傳

稻ノ稈色ノ遺傳ニ關スル從來ノ文獻ヲ見ルニ:—

Parnell[1] 等ハ通常綠色莖ト黃金色莖トノ交配ニ於テ綠色莖ハ優性ニシテF_2ニ於テハ3綠色:1黃金色ニ分離スルコトヲ示シ又稈及其他ノ部分ノ色ニ關シ紫色ヲ生スル能力ハ其缺如ニ對シ優性ニシテF_2ノ分離比ハ3:1又ハ9:7ナルコトヲ示セリ

竹崎氏[2]ハ紫稻ト通常綠稻トノ交配ニ於テ27:37ノ分離比ヲ示スコトアルヲ報告セリ

Hector[3] ハ有色ノ稈ハ無色ノモノニ對シ常ニ優性ニシテ其F_2ニ於テハ3:1ノ比9:7ノ比27:37ノ比ニ分離スルコトアルヲ示セリ

余カ臺灣ニ於テ行ヘル實驗ニヨルニ暗紫色莖ノ紅鬚種ト綠莖ノ格仔種トノ交配ニ因ル遺傳現象ハ第五十四表ノ如ク紫色優性ニシテ單純ナル「メンデル分離ヲ行ヒタリ

(1) Parnell, F. R. and others:— The In eritance of Characters in Rice. I. Mem. Dept. Agria. India, Bot. Ser., 9, 1917, No. 2. 75—105.

(2) 竹崎嘉徳:—紫稻ノ葉色ノ遺傳ニ就テ　遺傳學雜誌第一卷第一號(大正十年)

(3) Hector, G. P.:— Correlation of Colour Characters in Rice. Mem. Dept. Agric. India, Bot. Ser., 11, 1922, No. 7. 153—183.

第五十四表　稈色ノ遺傳現象　I（格仔×紅鬚）

大正五年—大正八年

要項	各世代ニ於ケル形質							
	F_1（大正六年）		F_2（大正七年）		F_3（大正八年）			
					紫莖ノモノヨリ		綠莖ノモノヨリ	
	紫莖	綠莖	紫莖	綠莖	紫莖固定	混綠紫莖	紫莖	綠莖
株數	8	—	672	194	215	395	—	180
理論數	—	—	(3) 649.5	(1) 216.5	(1) 203.3	(2) 406.7	—	—
偏差	—	—	+ 22.5	− 22.5	+ 11.7	− 11.7	—	—
標準誤差	—	—	± 12.74		± 11.65		—	—

（試驗地　臺中）

備考　格仔種、紅鬚種ハ第二期作種

綠莖種タル大稻及烏尖兩種間ノ交配ニ因ル遺傳現象ハ第五十五表ノ如クF_1ニ紫莖現ハレF_2ハ紫莖9綠莖7ニ分離シF_3ニ於テハ紫莖中$\frac{1}{9}$ハ紫莖ニ固定シ$\frac{8}{9}$ハ紫莖ト綠莖ニ分離シ又綠莖ハ全部綠莖ニ固定セリ　之ニヨリテ見レハ紫莖ニ二ノ補足因子ノ關係スルコトヲ認ムヘシ

第五十五表　稈色ノ遺傳現象　II（大稻×烏尖）

大正八年—大正十一年

要項	各世代ニ於ケル形質							
	F_1（大正九年）		F_2（大正十年）		F_3（大正十一年）			
					紫莖ノモノヨリ		綠莖ノモノヨリ	
	紫莖	綠莖	紫莖	綠莖	紫莖固定	混紫綠莖	紫莖	綠莖
株數	6	—	338	254	38	252	—	201
理論數	—	—	(9) 333	(7) 259	(1) 32.2	(8) 257.8	—	—
偏差	—	—	+ 5	− 5	+ 5.8	− 5.8	—	—
標準誤差	—	—	± 12.07		± 5.35		—	—

（試驗地　臺中）

以上本實驗ノ成績ノミヨリ考フレハ紫莖因子ニ就テハ紅鬚ハ AABB、格仔、大稻、烏尖ハ AAbb 及 aaBB ニテ示スヘキヲ知ル可シ

第七章　花

1　花ノ形態

花ノ特徵トシテハ雄蕊ニ於ケル花粉竝ニ雌蕊ニ於ケル柱頭色ヲ以テ重要ナルモノト看做ササル可カラス　臺灣稻ノ花粉ハ內地稻ノ花粉ニ比シ一般ニ稍淡色ナリト雖モ品種個々ノ間ニ於ケル濃淡ハ著シカラス　柱頭色ハ概ネ淡白ナレトモ稀ニ紫色ヲ呈スルモノアリ　柱頭紫色ナレハ穎先又紫色ヲ呈ス　護穎ハ普通柱頭色ト關係ヲ有スル

モノナレトモ臺灣稻ニハ兩者ノ間ニ關係アリト認ムルモノナシ（第八表、第六十三表）

2 開花ノ狀態

（品種　江戸・短廣花蝶・高脚烏尖・著稿）

開花ノ狀態ハ先ツ雄蕊ノ花絲伸長シテ葯ハ稃ノ頂部ニ達スルヤ穎ハ開キ始メ之ト同時ニ花絲漸次伸長シ葯ハ穎上ニ抽出スルニ至リ漸クニシテ葯裂開シ花絲垂下ス開穎初ヨリ之ヲ完了スル迄ノ時間ハ調査ノ結果ニヨレハ早キハ8秒遲キモ100秒ヲ出テス

3 開花時刻竝ニ開花時間ノ長短

稻ノ開花時刻ニ就キ從來報告セラレタルモノハ概括スレハ次ノ如シ

印　度　Sharngapani[1] 氏

第一期作種ニシテ七八月開花期ノモノハ午前七時開花ヲ始ム

第二期作種ニシテ十月開花期ノモノハ午前九時開花ヲ始ム

緬　甸　Thompstone[2] 氏

午前七時ヨリ午前十時迄ノ開花ヲ普通トス

比律賓　Torrens[3] 氏

快晴ノ日ニ於テハ午前九時ヨリ午前十一時開花ス

爪　哇　E. Van der Stock[4] 氏

午前六時ヨリ午後三時迄ノ間ニシテ最盛期ハ午前十時ヨリ正午迄トス

札　幌　明峯[5] 氏

午前八時ヨリ午後十時ニ及フモノ稀ニアレト普通ハ午前九時頃ヨリ午後三時頃迄トシ最盛時ハ午前十一時ト

---

(1) Sharngapani, S. G.:— A few Observation on Paddy (Oryza sativa) Crossing. Agr. Jour. India, 19 : 48–50, 1924

(2) Thompstone, E.:— Some Observation on Upper Burma Paddy (Grown under Irrigation) Agr. Jour. India 10 : 20–53. 1915

(3) Torrens, J. E.:— Some Notes on Rice Hibridization Work. Phil. Agr. Rev. 16 : 46–48., 1923

(4) Stock, J. E. Vander : — Onderzoekingen omtrent rizst en tweede gewassen Meded. Dept. Landb. No. 12. 243 P. 1910.

(5) Akemine, M.:— Ueber das Blühen des Reises und einige sich daran anknüpfende Erscheinungen. Zeit. f. Pflanzen zücht. 2 : 339, 1914.

米國加州 Jones[1] 氏

大多數ハ正午ヨリ午後二時ノ間ニ開花シ更ニ午後四時頃マテ相當ノ開花數ヲ見ル

臺灣ニ於ケル開花時刻ハ第五十六表及五十七表ニ示スカ如ク第一期作ハ臺北[2]ニ於テハ普通午前九時頃ニ始マリ午前十一時乃至正午頃ニ於テ最盛時トナリ正午ヲ越ユレハ急ニ其ノ數ヲ減シ午後二時以後ハ全ク停止ス　臺中ニ於ケル第一期作ハ午前九時乃至十二時,第二期作ハ午前十時乃至午後二時迄ニ大部分開花シ第二期作ハ第一期作ニ比シ時刻遲ル　又開花時間ノ長短ハ(開穎シ始メテヨリ閉穎スル迄)ハ開花時刻遲キモノハ早キモノニ比シ稍短キ傾アリ(第二期作ハ此傾向ナキカ如シ)臺北及臺中ニ於ケル觀察ニヨレハ約1時間內外ナリ

第五十六表　稻ノ開花時刻　I　臺北

大正二年

品種名	調査月日	午前 六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	計
第一期作江戸	氣溫	度 23.6	25.2	26.6	28.4	30.0	31.2	31.3	31.2	30.6	31.0	30.0	28.7	28.0	
	濕度	% 88.4	81.1	82.7	69.6	62.4	56.9	59.6	60.4	64.1	63.3	72.1	73.3	74.4	
	5.30	0	0	0	10	39	64	229	7	0	0	0	0	0	349
	5.31	0	0	0	1	244	146	27	3	0	0	0	0	0	421
	6.01	0	0	0	0	0	393	299	33	4	0	0	0	0	729
	6.02	0	0	0	0	0	399	230	5	0	0	0	0	0	634
	6.03	0	0	0	0	0	184	294	12	4	0	0	0	0	494
	6.04	0	0	0	0	0	62	190	17	0	0	0	0	0	269
	6.05	0	0	0	0	0	32	55	4	0	0	0	0	0	91
	計	0	0	0	11	283	1280	1324	81	8	0	0	0	0	2987
	百分比	0	0	0	0.368	9.474	42.852	44.325	2.712	0.268	0	0	0	0	100.000

備考　個體數30株1株1穗ヲ觀察ス

(1) Jones, J. K.:— Observations on the Time of Blooming of Rice Flowers. J. Amer. Soc. Agronomy, 16: 665, 1923

(2) 磯永吉:—稻ノ開花及授粉ニ關スル觀察、臺灣農事報第八十號(大正二年)

稻ノ開花時刻 II 臺北

大正二年

品種名	調査月日	午前 六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	計
第一期作短廣花蘿	氣溫	度 24.1	25.5	27.1	29.4	31.0	31.1	31.3	31.1	28.6	29.8	26.9	26.6	26.1	
	濕度	% 93.0	86.2	80.6	68.8	62.4	61.0	62.0	63.6	76.6	82.6	83.2	83.2	85.1	
	6.09	0	0	0	0	113	310	3	3	0	0	0	0	0	429
	6.10	0	0	0	0	112	333	291	0	0	0	0	0	0	736
	6.11	0	0	0	2	5	664	158	0	0	0	0	0	0	829
	6.12	0	0	0	1	1	424	96	0	0	0	0	0	0	522
	6.13	0	0	0	0	46	63	5	7	0	0	0	0	0	121
	計	0	0	0	3	277	1794	553	10	0	0	0	0	0	2637
	百分比	0	0	0	0.114	10.504	68.032	20.212	0.379	0	0	0	0	0	100.000

備考　一株一壓寃30株調査

稻ノ開花時刻 III 臺中

大正五年

品種名	調査月日	午前 六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	計
第一期作高脚烏尖種	氣溫	度 24.1	—	—	—	30.9	—	—	—	32.0	—	—	—	29.2	
	濕度	% 39.6	—	—	—	63.7	—	—	—	60.7	—	—	—	69.4	
	6.09	0	0	0	5	32	12	0	0	1	0	0	0	0	50
	6.10	2	0	0	0	2	54	37	4	2	0	0	1	0	102
	6.11	2	0	0	67	86	38	2	0	0	1	0	0	0	196
	6.12	2	0	10	59	137	1	1	0	0	0	0	0	0	210
	6.13	0	1	2	25	113	16	3	0	0	0	0	0	0	160
	6.14	0	0	0	29	7	35	1	0	0	0	0	0	0	72
	6.15	0	0	0	3	1	4	6	0	0	0	0	0	0	14
	計	6	1	12	188	378	160	50	4	3	1	0	1	0	804
	百分比	0.746	0.124	1.492	23.383	47.015	19.900	6.215	0.497	0.373	0.124	0	0.124	0	100.000

稻ノ開花時刻 IV 臺中

大正五年

品種名	調査月日	午前 六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	計
第二期作菁稿種	氣溫	度 20.6	—	—	—	26.5	—	—	—	27.6	—	—	—	23.7	
	濕度	% 95.0	—	—	—	69.0	—	—	—	65.0	—	—	—	77.1	

品種名	調査月日	午前 六時	七時	八時	九時	十時	十一時	十二時	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	計
第二期作菁稿種	10.10	0	0	0	0	1	61	9	1	7	0	0	0	0	79
	10.11	0	0	0	2	0	0	0	85	84	5	1	0	0	177
	10.12	0	0	0	0	9	180	65	17	9	2	0	0	0	282
	10.13	0	0	0	0	4	163	28	6	0	0	0	0	0	201
	10.14	0	0	0	0	0	92	56	4	0	0	0	0	0	152
	10.15	0	0	0	0	0	4	93	10	0	0	0	0	0	107
	10.16	0	0	0	0	7	10	20	5	0	0	0	0	0	42
	10.17	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	6
	計	0	0	0	2	21	512	274	129	100	7	1	0	0	1046
	百分比	0	0	0	0.191	2.008	48.948	26.195	12.333	9.560	0.669	0.096	0	0	100.000

備考　一株一壺宛第一期作ハ6株　第二期作ハ10株調査

第五十七表　稻ノ開花時刻、開花時間竝ニ其關係

大正十一年

期作	品種	開花時刻	開花時間	開花時刻ト開花時間長短ノ相關係數
第一期作	尤仔舊	10.87±0.012	60.12±0.014	−0.324±0.082
	自殼	12.02±0.014	50.56±0.031	−0.511±0.079
	雄町變種	10.73±0.024	60.15±0.012	−0.346±0.083
	烏尖	11.48±0.034	60.50±0.023	−0.545±0.083
	平均	11.25±0.023	57.83±0.021	−0.431±0.082
第二期作	烏咬	12.11±0.009	71.00±0.029	−0.165±0.096
	黃稿	11.48±0.014	61.04±0.014	−0.036±0.097
	菁稿	12.04±0.007	70.00±0.019	−0.025±0.083
	平均	11.88±0.010	67.35±0.021	−0.075±0.092

備考　各品種一株宛　　(試驗地　臺中)

4　開花日數

一穗ノ開花日數ハ第五十八表ノ如ク第一期作ハ5日內外第二期作ハ7日內外トス　第一期作ニ比シ第二期作ノ日數長キハ氣溫ノ關係及品種ノ特性ニ因ルヘシ　枝梗ノ開花日數ハ兩期共2日內外ヲ示セリ

第五十八表　穗及枝梗ノ開花日數

大正十一年

期作	品種	開花日數 穗	開花日數 枝梗
第一期作	朮仔舊	5	1.89±0.007
	白殼	5	2.32±0.012
	雄町變種	6	2.44±0.009
	烏尖	6	2.23±0.016
	平均	5.5±0.50	2.22±0.015
第二期作	烏咬	7	2.39±0.011
	黃稿	7	2.71±0.013
	菁稿	7	2.68±0.009
	平均	7.0±0.00	2.59±0.012

(試驗地 臺中)

備考 各品種一株宛全粒ニツキ調査セリ

5 開花順序

開花ノ順序ハ一穗內ニ於テハ先端粒先ツ開花シ順次下部ニ向フ一枝梗內ニアリテハ穗ノ場合ト同樣ノ傾向アリ 一小枝梗內及主枝(一穗ノ最先端ノ小枝梗) 內ニ於ケル開花順序ハ前ト異ナリ先端粒先ツ開花シ次ニ最後端粒ニ移リ順次先端ニ向フ (第五十九表及第六十表ハ此事實ヲ示セリ)

第五十九表 一穗並ニ一枝梗內ニ於ケル開花順序

大正十一年

期作	品種	相關係數 一穗ノ先端粒ヲ始トシタル粒順位ト開花順位	調査個體數	相關係數 各枝梗ノ先端粒ヲ始トシタル粒順位ト開花順位	調査個體數
第一期作	朮仔舊	+0.620±0.058	113	+0.666±0.041	118
	白殼	+0.616±0.064	93	+0.600±0.072	80
	雄町變種	+0.600±0.061	112	+0.579±0.063	111
	烏尖	+0.597±0.074	75	+0.585±0.076	95
	平均	+0.608±0.065	—	+0.607±0.064	—
第二期作	烏咬	+0.636±0.058	105	+0.402±0.085	96
	黃稿	+0.666±0.054	105	+0.638±0.057	106
	菁稿	+0.728±0.039	146	+0.809±0.034	101
	平均	+0.677±0.051	—	+0.616±0.062	—

(試驗地 臺中)

第六十表　一小枝梗並ニ主枝内ニ於ケル開花順序

大正十一年

期作	品種	相關係數 小枝梗 先端一粒ト開花順一位	調査個體數	小枝梗 後端一粒ト開花順二位	調査個體數	主枝 先端一粒ト開花順一位	調査個體數
第一期作	朮仔舊	+0.813±0.056	36	+0.764±0.068	37	+0.637±0.078	55
	白殼	+1.000±0.000	33	+0.654±0.092	39	+0.803±0.056	39
	雄町變種	+0.879±0.039	34	+0.741±0.080	32	+0.513±0.099	56
	烏尖	+0.792±0.083	19	+0.596±0.144	20	+0.650±0.094	38
	平均	+0.871±0.054	–	+0.689±0.100	–	+0.651±0.083	–
第二期作	烏咬	+1.000±0.000	44	+1.000±0.000	34	+0.873±0.037	42
	黃稿	+0.849±0.037	57	+0.619±0.083	56	+0.758±0.082	22
	菁稿	+1.000±0.000	80	+0.886±0.024	80	+0.702±0.072	47
	平均	+0.950±0.021	–	+0.835±0.049	–	+0.778±0.064	–

期作	品種	相關係數 主枝 後端一粒ト開花順二位	調査個體數	後端第二位ヲ始トシテ先端一粒ヲ除キタル粒順位ト開花順位	調査個體數
第一期作	朮仔舊	+0.154±0.128	58	+0.850±0.049	32
	白殼	+0.803±0.056	39	+0.700±0.104	24
	雄町變種	+0.273±0.124	56	+0.700±0.081	40
	烏尖	+0.226±0.154	38	+0.560±0.152	20
	平均	+0.364±0.121	–	+0.702±0.104	–
第二期作	烏咬	+0.873±0.037	42	+0.857±0.050	28
	黃稿	+0.389±0.181	22	+0.734±0.094	24
	菁稿	+0.548±0.102	47	+0.689±0.087	36
	平均	+0.603±0.122	–	+0.760±0.079	–

(試驗地　臺中)

第八章　芒

1　芒ノ性狀

臺灣稻ノ芒ヲ論スルニハ之ヲ水稻並ニ陸稻ニ分ツヲ便トス　水稻ハ完全ナル有芒ト認メ得ルモノ無シ(紅驅、格仔交配種ヲ除ク)ト雖モ10%以下ノ短芒ヲ有スルモノハ尠カラス　是等ハ概ネ一穗中各枝ノ頂點ニ位スルモノ最モ發達セリ而シテ全ク無芒ナル品種ト雖モ年ニヨリ10%内外迄ノ芒ヲ現ハスコト稀ナラス　芒色ハ稃色ト同一性質ナル

場合ニ於テハ稃色ヨリ稍淡ナルヲ普通トスレトモ本調査ハ便宜上稃色ト同樣ニ記載シタリ　又稃色ト全然異ルモノアリ例ヘハ第一期作鵞卵尤ノ如キ品種ニシテ此等ハ概ネ稃先色ト同性質ナリ

陸稻ニハ完全ナル有芒ト認メラルヽモノ數品種アリ　何レモ南洋系ニ屬ス　而シテ稃色ト同一性質ノ物アリ又異性質ノ物アリ　柱頭色·護穎色ト特ニ關係アルモノナシ

2　芒ノ遺傳

稻ニ於ケル芒ノ遺傳ニ關シテハ加藤氏[1]ハ普通有芒ハ無芒ニ對シ優性ナルモ或品種ニテハ無芒ト無芒トヨリ芒ヲ生スルコトアルヲ報告セリ E. vander Stock 及 L. koch[2] ノ實驗ニヨレハ無芒又ハ極メテ少芒ノ品種ヲ普通ノ有芒品種ト交配スレハ其 F_1 ハ通例有芒カ優性トナレトモ又兩者混淆スルコトアリ但後者ノ場合ニモ强有芒ガ主宰スルヲ常トス又極メテ少芒ノ一品種ト無芒ノ品種トノ交配ニ於テ F_1 カ無芒ナル一ノ場合ヲ發見セリ　而シテ F_2 ニ於テハ往々芒長ニ關シ連續的階列ヲ示シ又往々兩親ノ限界ヲ超越スルモノアリ　而シテ F_3 ニ於テハ F_2 ノ示セルト同樣ノ變異ヲ呈スルモノアレトモ又 F_2 ノ示セル芒ノ程度カ固定セルモノモアリテ育種ノ實際上ニ於テ芒長カ兩親ノ芒長ノ中間性ニ位スル新品種及兩親ノ芒長ヲ超越セル新品種ヲ育成スルノ可能ナルヲ示セリ

永井氏[3]ハ偶然變異ニヨリ有芒ノ親ヨリ生セル無芒種ハ有芒種ニ對シ劣性ニシテ 3:1 ノ比ニ分離スルコトヲ示シ又有芒種ト普通無芒種トノ交配ニ於テハ多クノ場合有芒カ優性ナレトモ或場合ニハ無芒カ有芒ニ對シ優性ナルコトアリテ後者ノ場合ニハ芒ノ抑制因子存在スル爲ナリトセリ　又普通ノ無芒種ト有芒種トノ交配ニ於テハ有芒ト無芒トハ二性乃至三性雜種ノ分離比ヲ示スモノ多キコトヲ報告セリ

吾人ノ實驗シタル臺灣稻相互ノ交配ノ結果モ亦從來ノ實驗成績ニ一致セリ　卽チ第二期作格仔種(無芒)ト紅鬚種(有芒)トノ交配成績ハ第六十一表ノ如シ

---

(1) 加藤茂苞：一農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況、日本育種學會報第一卷第一號(大正五年)

(2) E. van der Stock and L. Koch:— Bastardierung am Reis. C. Fruwirth-Handbuch d. Landw. Pflanzenzüchtung, Bd. 5, 2te auf, 1923.

(3) 永井威三郎：一日本稻作講義(大正十五年)

第六十一表　芒ノ遺傳現象　(格仔×紅驪)

大正六年—大正八年

要項	各世代ニ於ケル形質							
	F_1(大正六年)		F_2(大正七年)		F_3 (大正八年)			
					有芒ノモノヨリ		無芒ノモノヨリ	
	有芒	無芒	有芒	無芒	有芒系	混無芒系	混有芒系	無芒系
株數	8	0	813	53	369	431	0	42
理論數	—	—	(15) 811.5	(1) 54.1	(7) 373.3	(8) 426.7	—	—
偏差	—	—	+ 1.1	− 1.1	− 4.3	+ 4.3	—	—
標準誤差	—	—	± 2.85		± 14.11		—	—

(試驗地　臺中)

即チ有芒ハ優性ナルノミナラスF_2ニ於ケル分離15:1ヲ示セルハ紅驪種ヲ形成スル芒ハ二元形質ナルコトヲ想像セシメF_3ノ分離ニヨリ更ニ之ヲ確メ得ヘシ

3　芒ノ變異

芒ハ此發現因子ヲ有スルモノト雖モ臺灣ニ於テハ一穗全粒ノ10%内外ノ發現ニ止マリ或ハ全ク發現セサルコトアリ　出穗期間中ノ濕度及ヒ稻生育ノ盛否ニ關係スルモノナルカ如シ　即チ之カ大ナレハ芒發達シ小ナレハ發達鈍ク甚シキハ全ク無芒トシテ出現セサルコトアリ　即チ出穗期中多濕ナル第一期作ト同期間中乾燥セル第二期作トノ芒ノ發達ニツキ調査セシ結果ニヨレハ第六十二表ノ如ク雄町種ハ第一期作ニアリテハ有芒種トナリ第二期作ニ於テハ全ク芒ヲ有セサルニ至ル　又長芒種ノ大稻ニ於テモ第二期作ハ第一期作ヨリ芒ノ發達著シク劣レルヲ見ル

第六十二表　芒長ノ變異調査表

大正九年

品種	芒長	
	第一期作	第二期作
	cm.	cm.
大稻	3.46±0.02	2.04±0.02
雄町	0.34±0.02	0.01±0.01

(試驗地　臺中)

備考

I. 個體數300粒

II. 芒長ノ測定法第二編第三章調査標準ニ依ル

大正十年

品種		芒長 第一期作	芒長 第二期作
		cm.	cm.
大稻	1	3.75±0.05	2.74±0.11
	2	3.07±0.04	2.13±0.09
	3	3.25±0.04	2.28±0.10
雄町	1	0.42±0.07	0
	2	0.33±0.06	0
	3	0.05±0.02	0

(試驗地　臺中)

備考　個體數系別300粒

大正十一年

品種		芒長 第一期作	芒長 第二期作
		cm.	cm.
大稻	1	2.56±0.12	2.44
	2	2.47±0.12	2.30
	3	3.33±0.16	1.89
雄町	1	0.90±0.10	0
	2	0.87±0.10	0
	3	0.67±0.10	0

(試驗地　臺中)

備考　個體數系別300粒

第九章　稃

1　稃ノ性狀

臺灣稻ノ護穎ノ長サハ普通稃長ノ半ニ達セサルモノナレトモ稀ニ稃ト殆ント同シ長サノ長護穎稻アリ　陸稻ノ南洋系ニ屬スル「シエペル」「シヤラン」等ノ如シ　又稃毛モ內地種ニ比シ一般ニ短シト雖モ稀ニ第二期作鵞卵ノ如ク內地種ニ匹敵ス可キ長毛ヲ有スルモノアリ或ハ第一期作鵞卵ノ並ニ赤殼ノ一種ノ如ク全ク之ヲ缺如セルモノアリ

2　稃色ト他ノ形質トノ關係

稃·稃先·芒·護穎·雌蕊ノ柱頭等ノ色ノ間ニハ相關關係ヲ有スルモノアリ　臺灣稻ニ於ケル是等ノ關係ハ第六十三表ノ如ク略6類ニ分チ得ヘク而シテ稃先·芒·護穎カ稃色ト同一色ニヨリテ形成セラルル場合稃色濃厚ナル時ハ他ハ之ヨリ淡色ニシテ稃色淡薄ナルトキハ他ハ之ヨ

リ濃厚ナルヲ普通トス

第六十三表　稃色ト他ノ形質トノ關係

大正五年

類	稃	稃先	護頴	芒	稈	柱頭	代表品種
1	帶赤黃	帶赤黃	帶赤黃	—	綠	白	普通ノ第一二期作
2	帶赤黃	紫	帶赤黃	有芒種ハ紫	紫	紫	第一期作 紅脚大花・紅脚烏粘・紅脚清流・紅脚赤殼大花・紅脚糯 第二期作 烏殼紅脚糯・紅脚清流・紅鬚・火燒糯
3	帶赤黃	紅	帶赤黃	有芒ノモノハ紅	綠	白	第一期作 鶯卵糯 陸稻 シヤラン糯
4	帶赤褐	帶赤褐	帶赤褐	—	綠	白	第一期作 赤殼糯
5	帶黃白	紫	紅	—	綠	白	第二期作 鶯卵糯 陸稻 シエヘル糯
6	帶紫黑	帶紫黑	帶紫黑	帶紫黑	綠	白	陸稻 カツパイ糯

備考　第三類・第五類・第七類ノ稃先色ハ成熟ノ際出現シ品種ニヨリテハ成熟完了スレハ消失ス

3　稃色ノ遺傳

稃色ノ遺傳ニ關シテハ加藤氏[1]ハ稃ニ著色アルモノハ特ニ著色ナキモノニ對シ又特ニ著色ナキモノハ黃色ニ對シ優性ナリトセリ Parnell[2] (1917) ハ通常ノ綠色稃ト黃金色稃トノ交配ニ就テハ綠色ハ優性ニシテ 3 綠色:1 黃金色ニ分離シ又或系統ニテハ綠色・班黃金色・黃色ヲ 1:2:1 ノ比ニ生スルヲ示シ黃金色ニ對スル抑制因子ノ存在ヲ想定セリ　又稃ノ黃金色及暗色溝ニ對スル班紋型ハ何レモ金色型ニ對シテ優性ニシテ F_2 ニ於テハ 3:1 ノ分離ヲナスコトヲ示セリ　又紫色ノ稃ハ綠色ノ稃ニ對シテ優性ニシテ F_2 ニ於テハ 3:1 ノ分離ヲナシ又紫色稃ハ紫色ノ節間ト配偶 (Coupling) セルコトヲ示セリ　又成熟時ニ於テ黑色ヲ呈スル稃ハ通常ノ稃色ノモノニ對シ優性ニシテ尙之ニ關シテハ二ツノ因子ノ存在スルカ爲兩親ノ遺傳的組成如何ニヨリ或場合ニハ 3:1 或場合ニハ 9:7 ノ比ニテ分離シ尙此因子ト紫色節間ヲ起ス因子トノ間ニハ反撥 (Repulsion) ノ存在スルコトヲ報告セリ

Parnell[3] (1922) ハ其後更ニ研究ヲ積ミテ稃ノ黃金色ニハ明ニ因子カ關

(1) 加藤茂苞：一農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況、日本育種學會報第一卷第一號(大正五年)

(2) Parnell, F. R. and others: — The Inheritance of Characters in Rice, I. Mem. Dept. Agric. India, Bot. Ser., 9, 1917, No. 2, 75—105.

(3) Parnell, F. R. and others: — The Inheritance of Characters in Rice, II. Mem. Dept. Agric. India, Bot. Ser., 11, 1922, No. 8. 185—208.

係シ尙此外ニ1因子カ關係スルナラント云ヘリ　Hector[1]ハ有色稃ハ無色稃ニ對シ優性ニシテF_2ニ於テハ3:1又ハ9:7ノ分離ヲナスコトヲ報告セリ

臺灣稻ニハ品種ニヨリ稃ノ外部ニ黑色ノ斑點密集シテ帶黑色ヲ呈セルモノアリ俗ニ之ヲ烏殼ト稱ヘ概シテ稃ノ頂半部ニ附著シ第一期作品種ニ多シ　而シテ之ノ全クナキ內地種ノ所謂白殼トノ遺傳現像ハ第六十四表　雄町(白殼)×落忍(烏殼)ノ成績ニ據レハF_1ハ白殼表ハレF_2ハ白殼13・烏殼3ノ割合ニ分離シF_3ニ於テ白殼ヨリハ純白殼及烏殼白殼ト混シタルモノヲ7:6ノ比ニテ生シ烏殼ヨリハ純烏殼及白殼ト烏殼ト混シタルモノヲ1:2ノ比ニ生セリ　之ニヨリテ見レハ此場合ニハ抑制因子ノ存在ヲ認ムヘク今Cヲ烏殼因子Iヲ抑制因子トスレハ雄町ccII・落忍ハCCiiニテ示スヘシ

第六十四表　稃色ノ遺傳關係　(雄町×落忍)

大正七年—大正十年

要項	各世代ニ於ケル形質							
	F_1(大正八年)		F_2(大正九年)		F_3(大正十年)			
					白殼ノモノヨリ		烏殼ノモノヨリ	
	白殼	烏殼	白殼	烏殼	混烏殼ノ白殼	白殼ノミ	混白殼ノ烏殼	烏殼固定
株數	4	0	323	55	151	152	45	9
理論數	—	—	(13) 307.1	(3) 70.9	(6) 139.8	(7) 163.2	(2) 36	(1) 18
偏差	—	—	+15.9	−15.9	+11.2	−11.2	+9	−9
標準誤差	—	—	±7.6		±8.68		±3.16	

(試驗地　臺中)

備考　雄町種ハ內地種落忍種ハ第一期作種

次ニ淡黃ノ稃色ヲ有スル大稻種並ニ烏尖種間ニ於ケル交配ノ結果ハ第六十五表ニ示スカ如クF_1ニ於テ淡黑色表ハレF_2ニハ濃黑乃至淡黑色ノモノ9ニ對シ白(淡黃)7ヲ出現シ此場合ニモ補足因子ノ存在ヲ認ムヘシ　F_3ニ於ケル分離モ理論ニ適合セリ

---

(1) Hector, G. P. :— Corrolation of Colour Characters in Rice. Mem. Dept. Agric. India, Bot. Ser. 11, 1922, No. 7, 153—183.

第六十五表　稃色ノ遺傳現象　(大稻×烏尖)

大正八年—大正十一年

要項	各世代ニ於ケル形質							
	F_1(大正九年)		F_2(大正十年)		F_3(大正十一年)			
					黑白ノ毛ノ母		白色ノ毛ノ母	
	黑	白	黑	白	黑固定	黑白混	黑	白
株數	6	—	314	263	40	250	0	235
理論數	—	—	(9) 324.6	(7) 252.4	(1) 32.2	(8) 257.8	—	—
偏差	—	—	−10.6	+10.6	+7.8	−7.8	—	—
標準誤差	—	—	±11.92		+5.35			

(試驗地　臺中)

第十章　穗

1　穗ノ性狀

稻穗ノ姿勢ハ主トシテ枝梗カ穗軸トナス角度竝ニ穗軸垂下ノ狀況ニヨリテ定マリ本調査ニ於テハ角度及垂下ノ容姿ヲ組合セテ A.B.C ノ 3 種ニ分チタリ(第五圖參照)

穗ノ姿勢
- A. 枝梗カ穗軸ニ沿フテ密集セルモノ
- B. 枝梗カ穗軸トナス角度僅少ナルモノ
- C. 枝梗カ穗軸トナル角度大ナルモノ

穗ノ長サヲ六等分シ其彎曲頂點カ何レノ位置ニアル哉ニヨリ A$\frac{x}{6}$等ノ附號ヲ附ス

內地種ハ一般ニ枝梗カ穗軸トナス角度極メテ小ニシテ所謂 A ノ姿勢ニ屬シ又穗軸垂下ノ狀況ハ內地種ハ半圓形ナレトモ臺灣種ハ垂下ノ狀態內地種ニ比シ緩ナルモノ多シ　臺灣稻ノ穗長ハ 6 寸乃至 8 寸ヲ普通トシ之ヲ內地種ノ 175 種ノ平均 6 寸 66 ニ比スレハ必スシモ遲色アリト認ムヘカラス(第六十六表及六十七表)

概シテ分蘖多キ品種ハ穗長短シ　穗長ノ齊否ハ臺中廳農會試驗場[1]ニ於テ行ヒシ育種成績 15 品種ノ成績ニヨレハ標準偏差第一期作ハ ±4.542、第二期作ハ ±5.045 ヲ示セリ(第七十一表)一穗粒數ハ 120—160 ヲ普通トシ之ヲ內地種平均 130 粒內外ニ比スレハ伯仲ノ間ニアリ(第六十六表、第六十八表)著粒密度ハ一寸間ノ粒數普通 15—25 粒平均 17.9 ニシテ內地種ノ平均ハ 19.3 ヲ示シ著粒稍疎ナル傾向ヲ有ス(第六十六表、第六十九表)枝梗ノ數ハ普通 10 本乃至 13 本平均 10.4 本ナリ(第七十表)其最モ內地種ト異ナル形質ハ穗重ニシテ內地種 175 種ノ平均 3 瓦 25 ナルニ對シ臺灣種 77 種ノ平均 2 瓦 47 ヲ示シ臺灣種ノ重量ヲ 100 トスルトキハ內地種ハ 132 トナリ 32% ノ差アリ(第六十六表)其原因ハ主トシテ臺灣種ハ內地種ニ比シ小粒ナルニ基因スヘシ

第六十六表　稻穗ニ關スル調査

大正五年

種類	調査品種數	穗長	一穗粒數	一寸間粒數	一穗重量
		寸			瓦
內地種	175	6.66	130	19.3	3.25
臺灣種	77	7.05	128	18.1	2.47
臺灣種 100 ニ對スル內地種ノ割合	—	94	102	10.8	1.32

(1) 磯永吉：臺灣稻之分類、臺中廳農會(大正八年)

備　考

I. 臺灣種ハ大正五年採收ノ標本トス

II. 內地種ハ大正二年ニ於ケル內地各縣產トス

III. 平均ニ用ヒシ品種數ハ各形質每ニ極端ナルモノヲ除キタリ

IV. 一穗粒數ハ落粒セシモノ及概ヲ加算セリ

穗長ノ階列 (單位寸)

種類	總數	9.0	8.9	8.8	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2	8.1	8.0	7.9	7.8	7.7	7.6	7.5	7.4
內地種	175	—	—	—	1	—	—	—	—	3	1	4	1	4	3	3	6	6
臺灣種	77	1	—	—	—	—	—	—	2	—	2	2	2	1	2	3	7	4

7.3	7.2	7.1	7.0	6.9	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.3	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	5.7	5.6	5.5	5.4	5.3
3	4	9	9	9	8	15	10	13	13	5	11	10	3	3	4	3	1	—	1	—
5	9	6	5	1	2	3	1	3	1	1	4	1	5	1	—	1	—	1	—	—

5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	平均價
1	—	1	1	—	3	1	—	1	1	6.66
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	7.05

一寸間粒數ノ階列

種類	總數	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
內地種	175	1	—	1	—	1	—	—	—	—	4	—	1	7	11	15	5	11
臺灣種	77	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	1	1	—	2	2	7	4

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	平均價
21	20	12	17	18	12	8	4	3	1	2	19.3
1	6	10	7	9	8	5	4	2	3	1	18.1

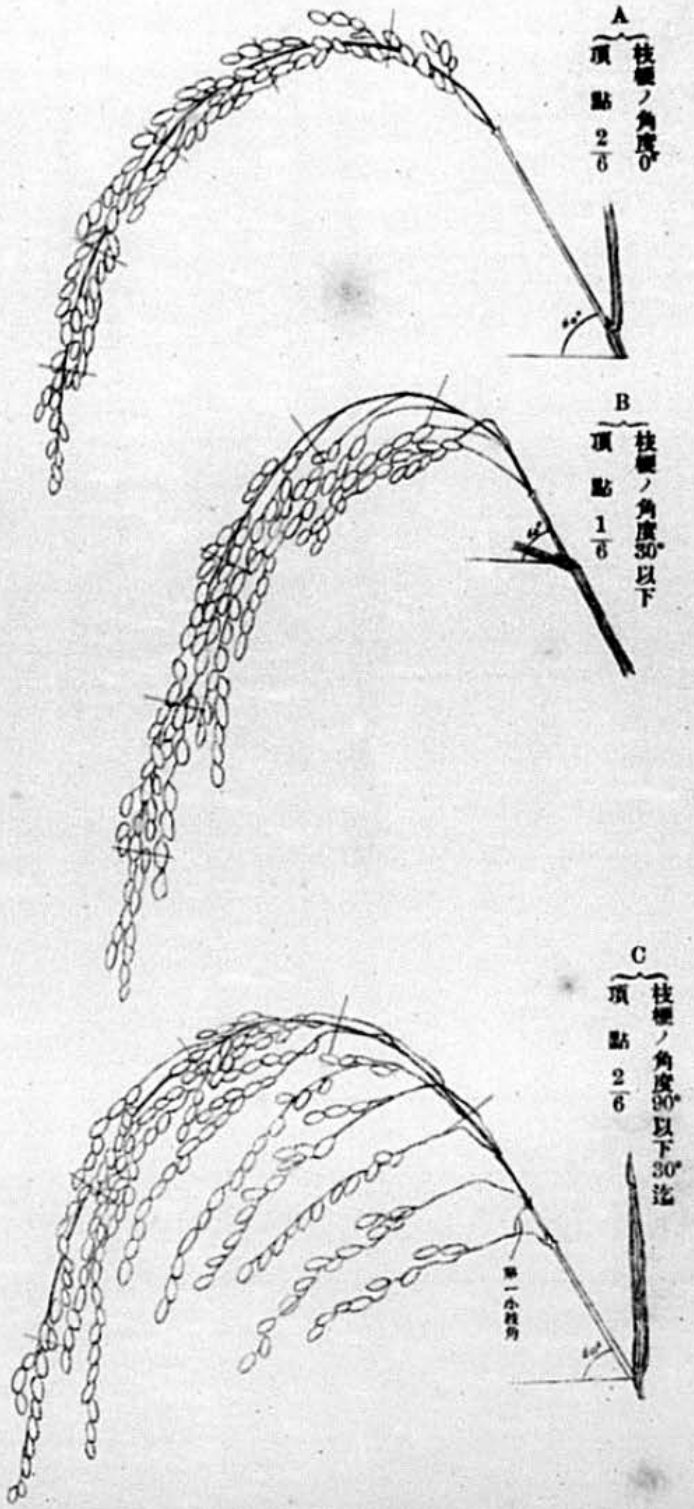
一穗粒數ノ階列

種類	總數	255	250	245	240	235	230	225	220	215	210	205	200	195	190	185	180	175
內地種	175	—	1	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	2	4	1	3	1
臺灣種	77	—	1	—	—	1	1	1	—	1	—	1	—	—	1	1	—	2

170	165	160	155	150	145	140	135	130	125	120	115	110	105	100	95	90	85	80	75	70
5	8	1	7	6	10	12	12	11	19	12	8	6	7	13	5	8	2	5	1	1
1	3	3	—	1	3	4	3	6	6	4	3	2	7	3	5	1	3	3	2	1

第五圖

穗之姿勢



65	60	55	50	平均價
—	—	1	—	130
2	—	—	1	128

一穗重量ノ階列 (單位瓦)

種類	總數	5.7	5.6	5.5	5.4	5.3	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.4.	4.3	4.2	4.1
內地種	175	1	—	—	—	1	1	1	—	2	2	—	—	4	2	3	6	4
臺灣種	77	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—	1

4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0
7	3	5	4	8	6	8	11	12	12	12	9	2	4	11	2	4	3	4	5	9
—	1	—	—	1	—	1	2	3	2	5	3	2	1	2	5	5	5	2	3	7

1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	平均價
2	1	—	—	1	—	—	2	1	3.25
3	5	3	3	4	1	1	2	1	2.47

第六十七表 穗長ノ階列 (單位分)

大正五年

要項		總數	105	100	98	97	96	95	92	91	90	86	85
品種數	第一期	72	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—
	第二期	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中間	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	陸稻	28	1	1	1	1	1	1	1	—	1	1	1
	計	175	1	1	1	1	1	1	1	2	1	4	1

84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71
1	—	—	2	3	1	5	1	2	—	4	4	5	5
1	—	1	—	—	—	1	2	1	1	1	1	1	3
—	—	1	—	6	—	—	—	1	—	—	—	1	1
1	1	—	2	2	3	1	3	1	—	—	—	—	2
3	1	2	4	11	4	7	6	5	1	5	5	7	11

70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57
5	5	4	7	2	1	3	2	3	2	—	—	1	1

5	4	6	6	2	4	2	2	3	1	5	—	3	1
—	1	1	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
10	10	12	13	5	7	7	4	6	3	5	—	4	2

各級ニ於ケル品種數	長短ノ標準				總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	80	以	上	長	36	9	2	9	16
	60 80	以 未	上 滿	中	133	61	51	9	12
	60	未	滿	短	6	2	4	—	—

第六十八表　一穗粒數ノ階列

大正五年

要項		總數	285	235	230	225	220	215	210	205	200	195
品種數	第一期	72	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—
	第二期	57	—	—	—	1	—	—	—	3	—	1
	中間	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	陸稻	28	1	1	1	—	—	2	—	1	—	—
	計	175	1	1	1	1	—	3	—	5	1	1

190	185	180	175	170	165	160	155	150	145	140	135	130	125
1	3	1	2	2	5	1	4	6	3	7	4	4	6
1	—	1	1	—	6	5	3	5	3	2	2	2	3
—	—	2	—	1	—	—	—	—	2	2	1	—	1
—	—	—	—	1	2	1	2	2	3	4	—	2	—
2	3	4	3	4	13	7	9	13	11	15	7	8	10

120	115	110	105	100	95	90	85	80	75	70
5	2	4	2	3	—	1	2	—	1	—
8	2	3	1	—	1	1	1	—	—	1
3	—	1	—	3	2	—	—	—	—	—
2	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
18	5	9	3	7	3	2	3	—	1	1

各級ニ於ケル品種數	多少ノ標準				總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	160	以	上	多	50	18	19	3	10
	120 160	以 未	上 滿	中	91	39	28	9	15
	120	未	滿	少	34	15	10	6	3

第六十九表　一寸間粒數ノ階列

大正五年

要項		總數	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24
品種數	第一期	72	—	—	1	—	—	1	1	1	1	5	4
	第二期	57	1	—	—	—	1	—	1	3	2	4	2
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	陸稻	28	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1
	計	175	1	—	1	1	1	1	3	4	3	9	7

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9
3	6	8	7	10	3	5	4	5	5	1	1	—	—	—
4	7	5	4	9	5	3	3	2	—	—	1	—	—	—
—	2	1	1	2	2	1	2	3	4	—	—	—	—	—
—	1	—	3	7	3	3	2	1	1	2	1	—	—	1
7	16	14	15	28	13	12	11	11	10	3	3	—	—	1

各級ニ於ケル品種數	疎密ノ標準				總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	25	以	上	密	24	10	12	—	2
	15 25	以 未	上 滿	中	134	55	44	14	21
	15	未	滿	疎	17	7	1	4	5

第七十表　一穗枝數ノ階列

大正五年

要項		總數	15	14	13	12	11	10	9	8	7
品種數	第一期	72	1	3	6	21	24	10	6	—	1
	第二期	57	—	3	4	14	17	7	5	6	1
	中間作	18	—	—	—	3	1	3	1	7	3
	陸稻	28	3	2	1	—	1	3	9	7	2
	計	175	4	8	11	38	43	23	21	20	7

各級ニ於ケル品種數	多少ノ標準	總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	13以上 多	23	10	7	—	6
	10以上 13未滿 中	104	55	38	7	4
	10未滿 少	48	7	12	11	18

第七十一表　各品種ノ系統別穗長標準偏差及變異係數(單位分)

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	3.83	5.00	6.30	7.03	4.72	4.35	4.48	4.50	6.22	6.00	4.88	5.210
		5.81	7.70	10.78	10.46	7.51	6.77	6.82	6.83	9.02	9.14	6.98	7.984
	半高低烏尖	5.15	4.54	5.00	5.18	4.41	4.93	4.17	4.40	4.87	4.19	6.29	4.830
		8.52	7.25	8.28	8.61	7.61	7.60	7.08	6.78	7.26	6.56	9.73	7.753
	高脚花蠟	4.40	4.53	4.80	5.29	4.34	3.89	3.67	3.79	3.75	3.92	5.01	4.308
		6.26	6.37	6.38	7.77	6.12	5.32	5.04	5.71	5.18	5.73	7.01	6.081
	落忍	5.70	4.91	3.57	5.83	4.76	4.32	4.59	4.65	4.08	3.79	4.85	4.641
		8.79	8.15	5.04	9.26	8.05	5.85	5.85	7.41	7.41	5.37	7.11	7.117
	高脚烏尖	4.89	4.77	5.83	4.43	4.76	5.25	3.95	3.78	5.37	3.97	5.37	4.761
		6.70	6.56	7.92	6.17	7.04	6.75	5.32	4.74	6.22	6.26	6.94	6.420
	烏殼耳仔	3.75	3.85	4.37	4.05	3.87	3.84	3.48	3.94	3.92	3.78	3.83	3.880
		5.49	5.05	6.33	5.95	5.70	5.69	5.07	5.61	5.49	5.24	6.32	5.631
	朮仔舊	3.83	4.49	4.25	5.08	4.72	4.78	3.56	3.48	3.82	4.59	5.59	4.381
		5.43	6.18	5.77	7.02	6.28	6.55	4.69	4.59	4.91	5.99	8.05	5.951
	柳洲	5.27	4.64	5.27	4.10	4.32	4.54	4.50	5.28	4.38	4.70	6.47	4.861
		8.43	7.20	8.33	6.74	6.89	7.31	7.25	7.40	7.07	6.62	9.95	7.563
	半天仔	5.72	4.61	5.49	4.92	4.19	5.34	5.17	5.27	4.55	4.79	6.81	5.169
		7.24	6.04	7.22	6.30	5.32	6.81	6.50	6.67	5.73	6.04	8.61	6.589
	白殼舊	5.55	5.12	4.01	4.88	5.02	4.47	4.41	5.28	4.42	4.62	5.52	4.864
		9.20	7.45	5.99	7.43	7.75	6.82	6.78	8.35	6.85	6.97	8.76	7.486
	白殼仔	4.58	3.51	4.67	4.30	3.77	4.08	3.97	3.54	4.59	4.43	4.50	4.176
		7.40	6.20	6.94	6.34	5.70	6.09	6.22	5.62	7.48	6.63	7.09	6.519
	烏殼仔	3.04	3.57	3.95	3.21	3.69	3.48	4.05	4.53	3.62	4.48	4.90	3.865
		4.18	5.36	5.93	4.86	5.05	4.77	5.64	6.51	5.50	6.19	6.82	5.528
	曉大花	3.06	4.58	3.95	4.26	4.24	4.83	4.48	3.99	3.92	4.15	5.70	4.287
		3.80	5.77	4.73	5.54	5.31	5.88	5.64	4.85	4.87	5.19	7.06	5.331
	低脚花蠟	3.30	3.40	3.89	4.55	5.20	4.14	5.82	4.04	4.10	3.40	5.11	4.268
		4.77	4.69	5.86	6.16	6.65	5.88	7.39	5.96	5.99	4.52	7.21	5.916
	早大花	5.88	4.36	4.26	4.09	4.37	4.58	4.57	4.52	4.29	4.68	5.40	4.636
		8.23	5.73	5.59	5.44	5.90	6.20	6.08	5.89	5.70	6.18	7.23	6.197
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.542
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.538
	最大最少	7.03	3.04										
		10.78	3.80										

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第二期作	蓍稿	5.80	4.43	6.24	5.43	5.61	4.78	4.63	5.18	3.81	3.81	7.35	5.188
		9.06	7.12	9.40	8.00	8.33	7.19	7.26	7.95	5.50	5.80	11.34	7.905
	五枝齊	4.93	3.80	5.80	4.04	4.31	4.95	3.25	4.41	5.76	5.23	5.75	4.748
		8.81	6.02	10.06	6.73	7.68	8.83	5.99	8.03	10.19	9.23	9.55	8.284
	高梨	6.19	5.03	4.08	5.46	4.63	5.17	4.25	4.39	5.66	5.29	5.52	5.061
		9.98	8.32	6.67	8.50	7.50	8.81	7.14	7.14	8.66	8.98	8.95	8.241
	黃稿	4.43	4.81	4.48	3.39	6.68	5.71	3.93	4.77	4.48	4.49	5.41	4.780
		7.55	8.50	7.59	5.58	10.73	9.19	6.43	7.67	7.26	7.29	9.23	7.911
	烏咬	4.42	4.03	5.10	4.82	5.18	5.18	5.10	6.58	6.30	6.24	5.92	5.352
		7.27	7.50	8.54	7.97	7.31	9.03	8.00	10.03	8.65	8.48	10.15	7.630
	岸仔	5.34	4.59	4.98	5.55	4.63	4.17	4.59	4.97	7.27	6.00	6.03	5.284
		8.60	7.68	7.87	9.37	7.00	7.06	7.20	8.08	11.23	9.98	9.74	8.588
	格仔	5.19	6.55	5.67	5.62	5.99	6.00	6.56	4.79	5.26	6.04	6.74	5.855
		8.44	10.41	9.26	9.39	9.57	9.85	11.70	8.25	8.52	10.34	11.44	9.743
	蔓仔	5.44	5.08	4.38	4.04	5.12	4.70	4.18	4.71	4.32	5.27	4.59	4.712
		8.87	8.44	7.68	6.87	8.72	7.89	7.29	8.49	7.06	8.59	7.71	7.964
	大蓍稿	4.54	4.94	6.21	4.88	4.96	4.71	4.83	4.26	7.55	4.59	6.24	5.246
		8.04	8.21	10.16	9.06	8.20	8.40	8.45	7.98	12.46	7.90	10.49	9.032
	巨鹽尤	3.91	4.08	3.74	3.86	4.07	4.59	4.07	4.15	4.27	4.30	4.29	4.121
		5.98	6.45	5.95	6.37	6.08	5.43	6.36	6.40	6.81	6.87	6.90	6.328
	高脚萬仔	5.44	5.66	5.49	7.44	6.28	5.32	4.78	4.55	5.41	5.69	6.47	5.685
		9.08	9.66	9.32	12.56	10.06	8.95	8.04	7.64	9.25	9.58	11.07	9.565
	小蓍稿	4.72	4.96	5.10	4.83	5.26	4.84	5.14	5.10	5.59	5.34	5.15	5.094
		7.76	8.82	8.71	8.41	8.60	8.86	8.76	9.17	9.34	8.62	8.93	8.725
	學種	4.15	4.71	4.47	5.11	3.96	4.48	4.00	5.37	4.09	4.62	5.11	4.552
		6.84	7.94	7.53	7.97	6.45	7.24	6.88	8.66	6.55	7.76	7.42	7.385
	清流	4.76	5.09	4.94	4.82	5.66	4.06	4.44	4.82	5.44	5.02	5.36	4.946
		8.24	9.03	9.05	8.49	10.03	8.04	8.10	8.88	9.41	8.83	9.17	8.842
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.045
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.296
	最大最小	7.55	3.25										
		12.56	5.43										

(試驗地　臺中)

2　出穗時間

臺灣稻穗ノ出穗初メヨリ之ヲ完了スル迄ノ時間ハ60乃至70時間(第七十二表ノIII)ヲ要シ第二期作ハ第一期作ヨリ稍々少キ傾向アリ　一日中ニ於ケル出穗ノ進行ハ夜半ヨリ早朝ニ掛ケテ稍々緩漫ニシテ晝間ニ迅速トナル卽チ第七十二表(I. II. IV)ニ示スカ如ク午前零時ヨリ一晝夜ヲ4時間宛ニ6等分シ各々ニ於ケル穗ノ伸長度ヲ見ルニ午前零時ヨリ同四時ニ至ル間ハ伸長度少ク午前四時ヨリ同八時ニ至ル間之ニ次キ午前八時ヨリ午後八時ニ至ル3區分間ハ伸長大ナリ　而シテ

午後八時ヨリ零時ニ至ル區間ニ至リテ減少スルヲ見ル可シ　然シテ全體ヲ通覽スレハ第二期作ニ於ケル各區分伸長度ノ差ハ第一期作ヨリ少キ傾向アルカ如シ

第七十二表　出穂ノ時刻別伸長度

1　第一期作　(烏尖種第五號系)

大正六年

月日	時刻	天候 雲量	天候 日照時	溫度	濕度	各調査時ニ於ケル穂長	各調査時ニ於ケル穂長伸度	全穂長ニ對スル伸長歩合	摘要
				c°	%	分	分	%	
6.19	午前 10	0	1.00	32.5	55	0	2.3	4.0	
6.19	11	—	1.00	—	—	2.3	0	0	
6.19	12	—	1.00	—	—	2.3	0.5	0.9	
6.19	午後 1	—	1.00	—	—	2.8	0.5	0.9	
6.19	2	2	1.00	34.1	53	3.3	0.6	1.6	
6.19	3	—	0.90	—	—	3.9	0.9	1.6	
6.19	4	—	1.00	—	—	4.8	0.8	1.4	
6.19	5	—	1.00	—	—	5.6	0.5	0.9	
6.19	6	2	1.00	31.2	65	6.1	1.0	1.7	
6.19	7	—	0.50	—	—	7.1	1.3	2.3	
6.19	8	—	0	—	—	8.4	0.8	1.4	
6.19	9	—	0	—	—	9.2	0.4	0.7	
6.19	10	0	0	26.3	80	9.6	0.8	1.4	
6.19	11	—	0	—	—	10.8	0.4	0.7	
6.19	12	—	0	—	—	11.5	0.7	1.2	
6.20	午前 1	—	0	—	—	12.5	1.0	1.7	
6.20	2	0	0	24.8	80	14.0	1.5	2.6	
6.20	3	—	0	—	—	14.5	0.5	0.9	
6.20	4	—	0	—	—	15.3	0.8	1.4	
6.20	5	—	0	—	—	15.8	0.5	0.9	
6.20	6	2	0	24.4	91	17.1	1.3	2.3	
6.20	7	—	0.10	—	—	17.6	0.5	0.9	
6.20	8	—	0.55	—	—	18.4	0.8	1.4	
6.20	9	—	0.80	—	—	19.0	0.6	1.0	
6.20	10	2	1.00	32.2	54	20.5	1.5	2.6	
6.20	11	—	1.00	—	—	21.8	1.3	2.3	
6.20	12	—	0.70	—	—	23.5	1.7	3.0	
6.20	午後 1	—	0	—	—	23.5	0.9	1.6	
6.20	2	2	0.40	32.0	63	24.4	0.9	1.6	
6.20	3	—	0.50	—	—	25.3	1.2	2.1	
6.20	4	—	1.00	—	—	26.5	0.8	1.4	
6.20	5	—	0.60	—	—	27.3	2.0	3.5	
6.20	6	4	0	27.9	82	29.3	1.6	2.8	

月日	時刻	天候 雲量	天候 日照時	溫度	濕度	各調査時ニ於クル穗長	各調査時ニ於ケル穗長伸度	全穗長ニ對スル伸長歩合	摘要
				c°	%	分	分	%	
6.20	7	—	0	—	—	30.9	0.3	0.5	
6.20	8	—	0	—	—	31.2	1.7	3.0	
6.20	9	—	0	—	—	32.9	0.6	1.0	
6.20	10	1	0	26.3	82	33.5	0.4	0.7	
6.20	11	—	0	—	—	33.9	1.7	3.0	
6.20	12	—	0	—	—	35.6	0	0	
6.21	午前 1	—	0	—	—	35.6	0.3	0.5	
6.21	2	1	0	24.7	90	35.9	0.9	1.6	
6.21	3	—	0	—	—	36.8	1.6	2.8	
6.21	4	—	0	—	—	38.4	0.3	0.5	
6.21	5	—	0	—	—	38.7	0.6	1.0	
6.21	6	2	0	24.1	95	39.3	0.7	1.2	
6.21	7	—	0	—	—	40.0	1.3	2.3	
6.21	8	—	0.89	—	—	41.3	0.4	0.7	
6.21	9	—	0.50	—	—	41.7	0.5	0.9	
6.21	10	2	0	30.4	63	42.2	1.1	1.9	
6.21	11	—	0	—	—	43.3	0.6	1.0	
6.21	12	—	0	—	—	43.9	1.1	1.9	
6.21	午後 1	—	0	—	—	45.0	0.5	0.9	
6.21	2	2	0	30.2	68	45.5	0.5	0.9	
6.21	3	—	0.58	—	—	46.0	1.8	3.1	
6.21	4	—	0.93	—	—	47.8	1.7	3.0	
6.21	5	—	1.00	—	—	49.0	1.1	1.9	
6.21	6	2	0	29.0	69	50.6	1.2	2.1	
6.21	7	—	0	—	—	51.8	0.9	1.6	
6.21	8	—	0	—	—	52.7	0.7	1.2	
6.21	9	—	0	—	—	53.4	0.4	0.7	
6.21	10	0	0	25.5	90	53.8	0	0	
6.21	11	—	0	—	—	53.8	0.9	1.6	
6.22	12	—	0	—	—	56.3	1.6	2.8	
6.22	午前 1	—	0	—	—	56.3	—	—	
6.22	2	0	0	23.9	94	56.3	—	—	
6.22	3	—	0	—	—	56.3	—	—	
6.22	4	—	0	—	—	56.3	0.3	0.5	
6.22	5	—	0	—	—	56.6	0.6	1.0	
6.22	6	2	0	23.9	92	57.2	—	—	本時ヲ以テ出穗終ル

(試驗地　臺中)

備考　本調査ハ24株ノ平均トス

II　第二期作　(黃糯種第十號系)

月日	時刻	天候 雲量	天候 日照時	溫度	濕度	各調査時ニ於ケル穗長	各調査時ニ於ケル穗長伸度	全穗長ニ對スル伸長歩合	摘要
				c°	%	糎	糎	%	
10.18	午後 2	3	0.5	35.4	59	0	1.0	1.7	
10.18	4	—	0.8	—	—	1.0	1.0	1.7	
10.18	6	4	0	29.6	83	2.0	2.0	3.4	
10.18	8	—	0	—	—	4.0	2.0	3.4	
10.18	10	2	0	25.1	96	6.0	1.0	1.7	
10.18	12	—	0	—	—	7.0	1.0	1.7	
10.19	午前 2	8	0	25.2	100	8.0	3.0	5.1	
10.19	4	—	0	—	—	11.0	0	0	
10.19	6	10	0	24.8	99	11.0	3.0	5.1	
10.19	8	—	0.6	—	—	14.0	1.0	1.7	
10.19	10	1	1.0	34.9	66	15.0	4.0	6.8	
10.19	12	—	0.8	—	—	19.0	2.0	3.4	
10.19	午後 2	6	0.7	36.4	63	21.0	3.0	5.1	
10.19	4	—	1.0	—	—	24.0	1.0	1.7	
10.19	6	0	0.6	26.8	86	25.0	2.0	3.4	
10.19	8	—	0	—	—	27.0	2.0	3.4	
10.19	10	2	0	24.7	98	29.0	4.0	6.8	
10.19	12	—	0	—	—	33.0	1.0	1.7	
10.20	午前 2	0	0	23.3	99	34.0	1.0	1.7	
10.20	4	—	0	—	—	35.0	1.0	1.7	
10.20	6	10	0	23.3	100	36.0	3.0	5.1	
10.20	8	—	0	—	—	39.0	2.0	3.4	
10.20	10	6	0.6	34.8	67	41.0	2.0	5.1	
10.20	12	—	1.0	—	—	43.0	3.0	1.7	
10.20	午後 2	0	1.0	33.5	70	46.0	1.0	3.4	
10.20	4	—	1.0	—	—	47.0	2.0	1.7	
10.20	6	0	0.7	26.3	78	49.0	1.0	1.7	
10.20	8	—	0	—	—	50.0	1.0	1.7	
10.20	10	0	0	24.6	88	51.0	2.0	3.4	
10.20	12	—	0	—	—	53.0	2.0	3.4	
10.21	午前 2	0	0	23.4	88	55.0	2.0	3.4	
10.21	4	—	0	—	—	57.0	1.0	1.7	
10.21	6	0	0	22.8	91	58.0	1.0	1.7	
10.21	8	—	0.2	—	—	59.0	—	—	本時ヲ以テ出穗終ル

(試驗地 臺中)

備考 本調査ハ20株平均トス

III 出穗ニ要セシ時間

期作	平均値	標準偏差(±)
第一期	68.7±0.651	3.21±0.46
第二期	64.4±0.698	3.12±0.47
差	4.3	—

IV 出穗各時ニ於ケル穗ノ伸長度

期作	月日	午前 零時—四時	午前 四時—八時	午前 八時—十二時	午後 零時—四時	午後 四時—八時	午後 八時—十二時	摘要
		分	分	分	分	分	分	
第一期作 烏尖 第五號系	6.19	—	—	2.8	2.8	3.6	2.3	本日午前十時ヨリ出穗ヲ初ム
	6.20	3.8	3.1	5.1	3.8	5.6	2.7	
	6.21	3.1	3.0	3.3	4.5	3.9	2.9	
	6.22	0.3	0.6	—	—	—	—	本日午前六時ヲ以テ出穗ヲ終ル
	平均	2.4	2.2	3.7	3.7	4.4	2.6	
第二期作 蓍稿 第十號系	10.18	—	—	1.6	4.4	3.5	4.3	本日正午ヨリ出穗ヲ初ム
	10.19	3.2	4.8	6.1	4.0	4.0	3.8	
	10.20	3.8	4.4	4.2	2.9	2.5	1.5	
	10.21	2.7	2.9	—	—	—	—	本日午前八時出穗ヲ終ル
	平均	3.2	4.0	3.9	3.8	3.3	2.2	

(試驗地 臺中)

3 出穗ノ整否

出穗ノ齊否ハ臺中州農會試驗場ニ於テ行ヘル育種成績[1]15品種ノ調査結果ニ據レハ第七十三表ノ如ク標準偏差第一期作ハ±2.152第二期作ハ±1.352ヲ示シ第一期作ハ第二期作ニ比シ稍々不齊ナリ 蓋シ兩期成熟期間中ノ氣温ニ基因スルナルヘシ 第二期作中最モ整齊ナル系統ハ±0.57ヲ示セルモノアリ

第七十三表 各品種ノ系統別出穗期日ノ標準偏差

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	2.16	2.12	2.01	2.82	2.27	1.98	2.22	2.28	1.96	1.98	2.30	2.191
	中高低烏尖	1.96	1.74	2.63	2.02	2.01	1.74	1.89	1.78	1.83	2.49	2.28	2.034
	高脚花蠟	2.19	2.28	2.11	1.92	1.85	2.18	1.94	2.15	2.49	2.31	2.48	2.173
	落忍	1.86	2.07	2.36	1.77	1.86	2.44	2.21	2.21	2.11	2.23	2.44	2.142
	高脚烏尖	1.85	2.58	2.22	2.11	2.12	1.96	1.83	1.77	1.92	1.88	3.72	2.178
	烏殼耳仔	2.04	1.87	1.95	1.67	1.73	2.51	1.81	1.96	1.96	1.72	2.17	1.945
	北仔舊	2.36	2.39	2.41	2.22	2.44	2.43	1.90	1.95	1.78	2.24	2.86	2.271
	柳洲	1.54	1.90	1.60	1.78	1.66	1.70	1.91	1.65	1.57	1.54	2.22	1.733
	羊天仔	3.18	3.78	3.42	2.93	3.04	3.86	3.04	2.87	2.85	2.53	3.60	3.191
	白殼舊	1.97	1.82	1.90	1.82	1.99	1.37	1.65	1.57	1.53	1.41	1.82	1.714
	白殼仔	1.86	1.82	2.23	1.95	2.10	2.68	1.70	1.91	2.04	2.33	2.24	2.078

(1) 磯永吉:臺灣稻之分類 臺中廳農會(大正八年)

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	烏殼仔	1.65	1.85	1.81	1.72	1.60	1.56	1.58	1.54	1.89	3.15	2.63	1.907
	晚大花	2.55	2.15	3.02	2.75	3.04	2.75	2.97	2.91	2.89	3.52	3.10	2.877
	低脚花蜂	1.37	1.54	2.19	1.81	3.49	1.54	2.58	1.74	1.43	1.81	2.16	1.969
	早大花	2.24	1.50	1.49	1.64	1.67	1.76	1.78	2.19	2.20	2.19	1.98	1.876
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.152
	最大最小	3.86	1.37										
第二期作	菁稿	1.28	1.13	1.06	1.55	1.14	1.41	1.66	1.12	0.87	1.01	2.37	1.327
	五枝齊	1.25	0.83	1.36	0.99	1.02	1.36	0.85	1.12	1.42	1.38	1.51	1.191
	高梨	1.52	1.58	0.97	1.22	1.39	1.47	1.18	1.08	1.49	1.65	1.83	1.396
	黃稿	1.05	0.83	0.84	0.90	1.67	1.61	0.84	1.72	1.00	0.95	1.89	1.209
	烏咬	1.63	1.48	2.34	1.54	1.98	2.28	1.82	3.31	1.51	1.77	2.60	2.024
	岸仔	1.85	1.42	1.70	2.23	1.75	1.13	1.52	1.40	1.95	2.61	2.27	1.803
	格仔	1.37	2.40	1.82	2.01	1.96	2.29	2.85	2.85	2.31	2.36	2.37	2.235
	蔓仔	0.90	1.16	0.71	0.76	1.43	0.57	0.89	0.87	0.89	0.78	1.45	0.946
	大菁稿	0.86	0.80	1.31	0.98	1.02	1.17	1.22	0.85	1.13	1.11	1.71	1.105
	反雞肉	0.97	0.90	0.87	0.92	0.81	0.57	0.89	0.87	0.89	0.78	1.45	0.902
	高脚萬仔	1.14	1.80	1.09	0.82	1.17	1.09	1.22	1.29	1.59	1.29	1.81	1.301
	小菁稿	0.86	1.51	1.02	1.50	1.92	1.65	1.56	1.56	1.02	1.46	1.07	1.375
	學種	0.58	0.88	0.67	1.24	1.91	0.92	0.71	0.96	1.20	1.50	2.31	1.171
	清流	0.94	0.89	0.96	0.75	1.07	0.78	0.98	1.08	0.80	0.89	1.29	0.948
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.352
	最大最小	3.31	0.57										

(試驗地　臺中)

4 出穗順序

一株ニ於ケル出穗ノ順序ハ第七十四表ノ如ク分蘖早キモノハ概シテ出穗期ニ至ル日數多キモ出穗期ハ早ク分蘖遲キモノハ出穗期ニ至ル日數ハ少キモ出穗期ハ遲キ傾向アリ而シテ第二期作ハ第一期作ヨリ其傾向大ナルカ如シ　而シテ分蘖ヨリ出穗ニ至ル日數長キトキハ稈長穗長亦大ナル傾アリ

第七十四表　分蘖ト出穗順序性

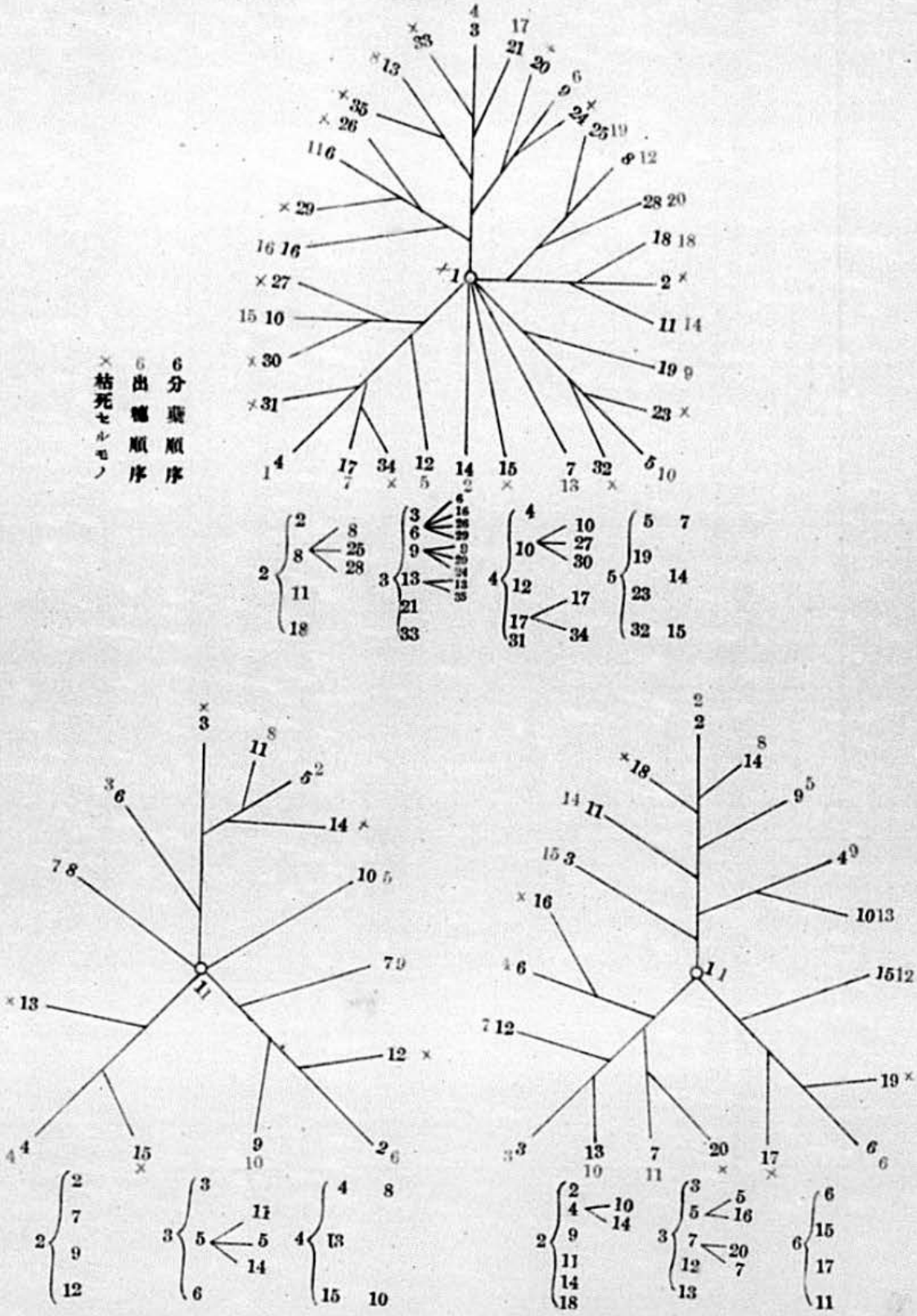
1　第一期作（烏尖種第五號系）

大正六年

一株苗番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數	稈長	穗長
1……	1	3	—	6.26	—	35.0	84
2……	2	—	4.16	—	—	—	—

第六圖　分蘗ト出穗順序性

第一期作烏尖種

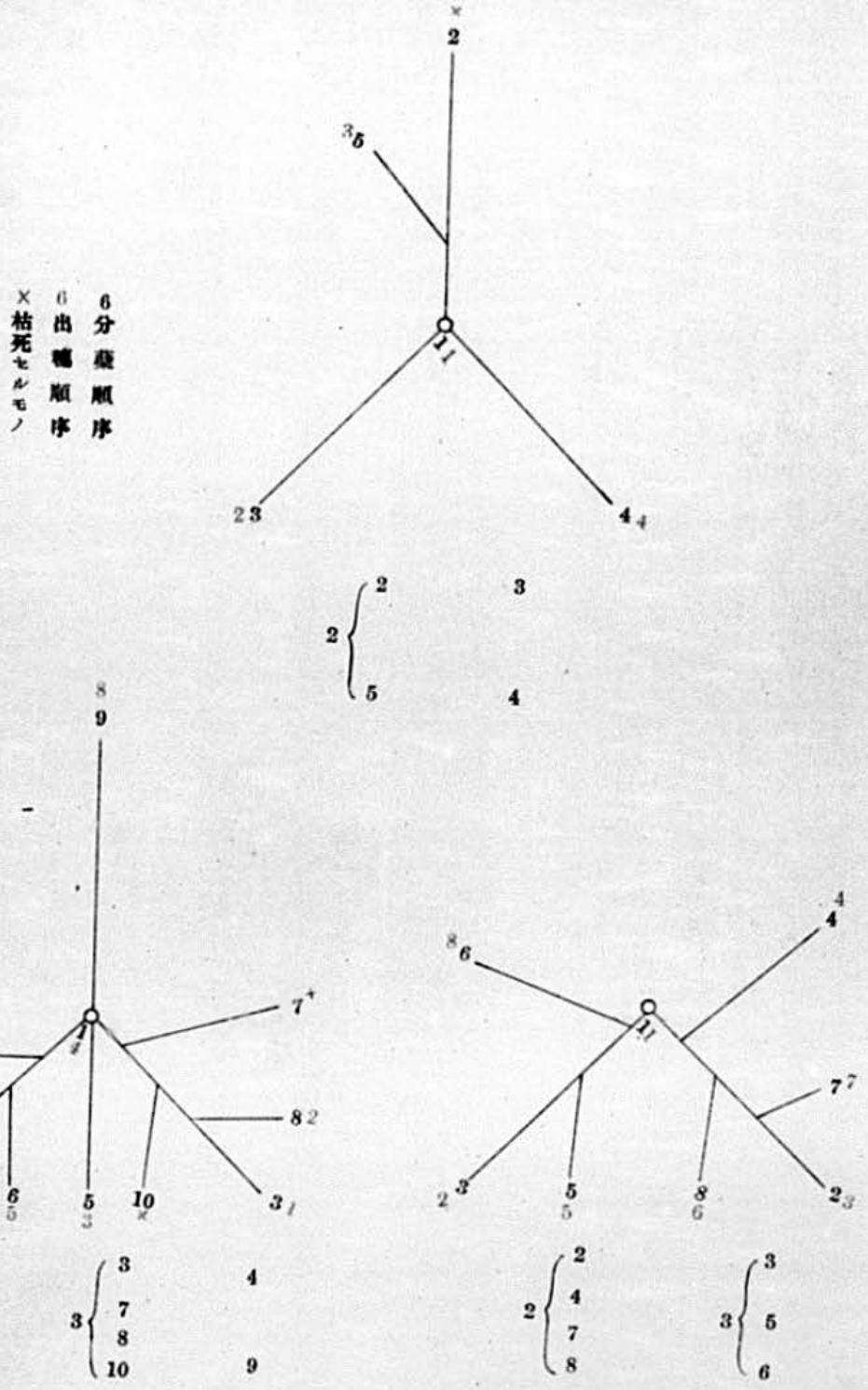


備考　第七十四表(1.2.3)ヲ示セルモノニシテ({)印ハ子分蘗ヨリ生セル孫分蘗ヲ示ス其他ノ符號略之

第七圖

分蘖ト出穂順序性

第二期作　菁稿種



備考　第七十四表(4.5.6)ヲ示セルモノ

一株莖番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數	稈長	穗長
						寸	分
3	3	4	4.19	6.26	68	35.2	85
4	4	1	4.27	6.24	58	35.2	83
5	5	10	5.05	6.30	56	32.8	78
6	6	11	5.05	7.01	57	34.5	75
7	7	13	5.06	7.02	57	32.0	67
8	8	12	5.07	7.02	56	27.3	69
9	9	6	5.08	6.27	50	32.9	75
10	10	15	5.10	7.03	54	32.5	77
11	11	14	5.11	7.02	52	32.0	74
12	12	5	5.12	6.27	46	31.8	71
13	13	8	5.12	6.29	48	36.6	74
14	14	2	5.13	6.25	43	30.9	75
15	15	—	5.15	—	—	—	—
16	16	16	5.15	7.04	50	30.0	65
17	17	7	5.16	6.28	43	29.3	74
18	18	18	5.16	7.05	50	29.1	69
19	19	9	5.16	6.30	45	29.0	68
20	20	—	5.17	—	—	—	—
21	21	17	5.17	7.04	48	25.7	62
22	22	—	5.17	—	—	—	—
23	23	—	5.18	—	—	—	—
24	24	—	5.18	—	—	—	—
25	25	—	5.19	—	—	—	—
26	26	—	5.20	—	—	—	—
27	27	—	5.23	—	—	—	—
28	28	20	5.24	7.06	43	29.3	76
29	29	—	5.25	—	—	—	—
30	30	—	5.25	—	—	—	—
31	31	—	5.27	—	—	—	—
32	32	—	5.28	—	—	—	—
33	33	—	5.28	—	—	—	—
34	34	—	5.29	—	—	—	—
35	35	—	5.29	—	—	—	—

（試驗地　臺中）

備考　1本表中番號一ハ親穗ナリ以下各表同シ

2出穗順序欄ニ記入セサルモノハ出穗前ニ枯死シタルモノナリ　以下各表同シ

II 第一期作 (烏尖種)

大正六年

一株坐番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數	稈長	穗長
						寸	分
1	1	—	—	—	—	—	—
2	2	1	4.17	6.23	67	34.0	75
3	3	2	4.28	6.24	57	33.3	77
4	4	8	5.04	6.27	54	33.2	70
5	5	3	5.07	6.25	49	30.3	69
6	6	5	5.09	6.26	48	32.0	76
7	7	10	5.12	6.30	49	31.1	60
8	8	14	5.13	7.04	52	26.7	60
9	9	4	5.13	6.25	43	31.0	68
10	10	12	5.15	7.02	48	23.5	55
11	11	13	5.16	7.03	48	25.2	52
12	12	6	5.16	6.26	41	33.6	72
13	13	9	5.16	6.27	42	27.1	64
14	14	7	5.17	6.26	42	29.5	70
15	15	11	5.17	6.30	44	25.5	66
16	16	—	5.19	—	—	—	—
17	17	—	5.21	—	—	—	—
18	18	—	5.22	—	—	—	—
19	19	—	5.26	—	—	—	—
20	20	—	5.27	—	—	—	—

(試驗地 臺中)

III 第一期作

大正六年

一株坐番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數	稈長	穗長
						寸	分
1	1	1	—	6.17	—	32.4	69
2	2	6	4.16	6.19	64	30.5	66
3	3	4	4.26	6.18	54	30.4	64
4	4	2	4.28	6.18	53	30.6	68
5	5	3	5.03	6.18	46	29.1	60
6	6	9	5.04	6.21	48	29.5	60
7	7	7	5.08	6.20	43	28.1	63
8	8	10	5.09	6.22	44	27.3	62
9	9	5	5.10	6.19	40	26.7	55
10	10	8	5.11	6.21	41	26.6	61
11	11	—	5.13	—	—	—	—
12	12	—	5.14	—	—	—	—
13	13	—	5.18	—	—	—	—
14	14	—	5.22	—	—	—	—
15	15	—	5.24	—	—	—	—

(試驗地 臺中)

IV 第二期作 (菁稿種)

大正六年

一株壅番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數
1	1	1	—	10.18	—
2	2	—	8.30	—	—
3	3	2	9.02	10.20	48
4	4	4	9.15	10.25	40
5	5	3	9.17	10.23	36

(試驗地　臺中)

V 第二期作 (菁稿種)

大正六年

一株壅番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數
1	1	4	—	10.22	—
2	2	2	8.31	10.20	50
3	3	1	9.06	10.19	43
4	4	6	9.10	10.24	44
5	5	3	9.11	10.20	39
6	6	5	9.12	10.23	41
7	7	—	9.14	—	—
8	8	7	9.16	10.24	38
9	9	8	9.17	10.25	38
10	10	—	9.20	—	—

(試驗地　臺中)

VI 第二期作 (菁稿種)

大正六年

一株壅番號	分蘖順序	出穗順序	分蘖月日	出穗月日	分蘖ヨリ出穗迄ノ日數
1	1	1	—	10.17	—
2	2	3	8.31	10.19	49
3	3	2	9.02	10.18	46
4	4	4	9.07	10.19	42
5	5	5	9.14	10.22	38
6	6	8	10.07	10.30	23
7	7	7	10.07	10.29	22
8	8	6	10.08	10.28	21

(試驗地　臺中)

5 出穗期ノ遺傳

水稻出穗期ノ遺傳ニ就テ從來報告サレタルモノ少カラス星野氏[1](1915)ハ黑坊主ト赤毛トノ交配ニ於テF_1ハ兩親ノ中間ヨリモ早キ方ニ偏シF_2ハ兩親ノ示セル變異ノ範圍內ニ擴カリ尙F_3及F_4ノ調査ニヨリ出穗期ニ對シテハ3種ノ因子關係スルナラント云ヘリ 宮澤氏[2](1916)ハ長早生ト玉錦トノ交配ニ於テF_1ハ兩親ト同時期ニ出穗シ早生神力ト愛國トノF_1ハ兩親ノ何レヨリモ遙カニ遲ク出穗スルコトヲ報告セリ加藤氏[3]ハ水稻ノ出穗期ハ普通ハ兩親ノ中間ナルモ或品種間ニテハ明ニ晩カ優性ヲ示スモノアリF_2ニ於テモ或ハ普通ノ曲線ヲ畫キ或ハ二頂曲線ヲ畫キ又ハ全然早ト晩トニ分離スルモノアリト云ヘリ E. Van der Stok and L. Koch[4] (1923) ハ早熟種ト晩熟種トノ交配ニ於テハF_1ニ於テハ通例早熟性カ優性又ハ偏優性ナルトモ又中間性ヲ現ハスコトアリ又稀ニハ晩熟性カ偏優性ナルコトアルヲ報告セリ下山氏[5](1924)ハ早神力ト晩神力トノ交配ニ於テ晩稻カ優性ニシテF_2ニ於テハ晩稻ト早稻カ3:1ノ比ヲナシテ分離シ尙F_3ニ於テハ大體ニ於テ出穗ノ晩キモノヨリハ晩稻ヲ生シ早キモノヨリハ早稻ヲ生スト報告セリ 福家氏[6](1924)ハ水稻出穗期ノ遺傳形式ニ4型アリトシ其1型トシテ大場早生ト晩三十三號ニ對スル實驗ノ結果ヲ報告セルカ之ニ據レハF_1ハ兩親ノ中間ヨリモ晩キ方ニ偏シF_2ニ於テハ早生種ヨリ晩生種ニ亙ル連續變異ヲ示シ尙其F_3ノ結果ヨリ此場合二ツノ因子ノ關係スルコトヲ示セリ野村氏、山崎氏[7](1925)ハ保村及關取十五號ノ交配又關取十五號及無芒愛

---

(1) Hoshino, Y. :— On the Inheritance of the Flowering Time in Peas and Rice. J. Coll. Agr., Tōhoku Imp. Univ. 6, 1915, 230–288.

(2) 宮澤文吾:—小麥、水稻ノ遺傳研究報、日本育種學會報第一卷第一號(大正五年)

(3) 加藤茂苞:—農事試驗場機內支場ニ於ケル稻育種ノ概況、日本育種學會報、第一卷第一號

(4) E. van der Stock and L. Koch :— Bastardierung am Reis.-C. Fruwirth-Hand buch der Landw. Pflanzenzüchtung, Bl. 5, 2te auflage, 1923.

(5) 下山長次:—稻ノ雜種ト實用型遺傳、大日本農會報第五百十七號、第五百十八號(大正十三年)

(6) 福家豐:—水稻出穗期ノ遺傳ニ就テ、農學會報第二百六十四號(大正十三年)

(7) 野村盛久、山崎利七—:水稻出穗期ノ遺傳研究、遺傳學雜誌第三卷第三號(大正十四年)

國トノ交配ニ於テ出穂期ノ遺傳ニ關シテハ3因子存在シ其内或因子ハ完全優性ヲ示シ他ノ因子ハ中間性ヲ示シ又或一、二因子ハ互ニ補足力ヲ有シ又或2因子ハ特殊ノ關係ナク兩者共存セハ兩者ノ作用合併セラルルコトヲ報告セリ　永井氏[1](1926)ハ東郷ノ或系統ニ偶然變異ニ因リ起レル晩生種ハ其母系ノ早生種ニ對シテ劣性ニシテ3:1ニ分離ストヲ示シ實用品種間ノ交配ニ於テハ連續的ノ分離狀態ヲ見ルコルコト多キモ又組合ニ因リテハF_3以後ノ系統中ニハ極メテ明瞭ナル分離ヲナスモノルアルヲ示シ其一例トシテ愛國×龜ノ尾ヲ示セリ尙氏ハ稻ノ出穂期ニハ多數ノ遺傳因子カ關與スレトモ之ヲ基本的因子ト補助的因子トニ區別シ得ヘキヲ說キ又早晩何レカ優性ナルカニ關シテハ或モノハ早カ優性或ルモノハ晩カ優性或モノハ優劣性ヲ示サス1:2:1ノ比ニ分離スルコトヲ示セリ

余カ第一期作ニ於テ早熟種タル大稻種ト晩熟種タル烏尖種トヲ交配セシ結果ニ據レハF_1ハ兩出穂期ノ中間ニ出穂シF_2ニテハ第七十五表ノ如ク兩親ノ出穂期ニ跨カリ更ニ限界ヲ超エテ稻之ヨリ早ク或ハ之ヨリ遲ク出穂スル株ヲ生シタリ　蓋シ出穂期ヲ構成スル因子ノ多キ結果ニ外ナラサルヘシ　是ヲ要スルニ本試驗ハF_3ニ於ケル分離狀態ノ調査ヲ缺キ適確ニ證明スルコト能ハサルモ複因子(multiple factors)ニ因リ支配セラレ且「ヘテロ」接合子ハ中間性ヲ現ハスモノナルコトハ想像スルニ難カラス　而シテF_2ニ於テ兩親ノ出穂期ヲ凌駕セルモノヲ生スルハ又多クノ學者ノ既ニ實驗セル所ニシテ又複因子說ニヨリテ容易ニ說明シ得ヘキ所ナリ

第七十五表　出穂期ノ遺傳現象　(大稻×烏尖)

大正五年—大正七年

品種	五月					六月					中ノ							
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
大稻	—	—	—	—	—	5	5	5	37	28	15	2	0	1	2	—	—	—
烏尖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3
大稻×烏尖F_1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—	—
大稻×烏尖F_2	2	3	13	15	22	18	9	13	19	22	13	21	19	11	18	4	5	15

(1) 永井威三郎:—日本稻作講義 (大正十五年)

別	出	株	穂	數								計	平	均
(月) 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100	五月	22.5±0.16
9	12	23	20	16	6	4	3	2	—	—	—	100	六月	3.66±0.20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	五月	27.6
15	8	13	11	3	0	7	1	2	2	2	1	307	五月	25.36±0.37

(試驗地　臺中)

第二期作種ヲ第一期作トナス時ハ第一期作種ニ比シ出穂期數箇月(約3箇月)遲レ著シク晩熟ト稱シ得ヘシ　卽チ此大ナル相違アル第一期作種烏尖ト第二期作種黃稿トヲ交配セシ結果ニヨレハF_1ニテハ兩者ノ中間時期ニ出穂シF_2ニ於ケル出穂期ハ第七十六表ノ如ク最モ早キモノ11株・稍早キモノ38株・中間ニ屬スルモノ58株稍晩キモノ35株最モ晩キモノ13株ヲ示シ前記交配ノ場合ト同樣ニ優劣ノ關係ナキ多元形質タルコトヲ想像シ得ル結果ヲ生シタリ　如斯現象ハ育種ノ實際ニ於テハ常ニ遭遇スル事實ニシテ臺灣稻ト內地稻ノ交配ニ於テハ內地稻カ臺灣稻ニ對シ甚シキ早生種ナルカタメF_2ニ於ケル變異ノ擴カリ大ニシテ出穂期間甚シキ長期ニ亙ルヲ見ルナリ

第七十六表　出穂期ノ遺傳現象　(烏尖×黃稿)

大正十年第二期作

出穂月日	10月 4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
出穂株數 F_1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
出穂株數 F_2	1	3	6	—	1	—	2	1	7	4	7	3	5	5	1	—	1	2	—	1

24	25	26	27	28	29	30	31	11月 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	3	2	—	8	11	4	7	5	4	6	—	5	—	2	—	—	2	—	1

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12月 1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	4	2	3	9	1	5	4	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	（殘株13株ハ12月中旬迄ニ完全ナル出穗ヲ見スシテ漸																		

23	24	25	26	27	計
—	—	—	—	—	5
次枯死シタリ）					155

（試驗地　臺中）

出穗期(月日)	10.4—10.9	10.10—10.22	10.23—11.7	11.8—11.24	11.24 以後完全ナル出穗ナク漸次枯死セルモノ	計
出穗株數 F_1	—	1	4	—	—	5
出穗株數 F_2	11	38	58	35	13	155

6　穗長ノ遺傳

穗長ノ遺傳ニ就テハ E. Van der Stok and L. Koch[1] (1923) ハ前記芒及分蘖ノ遺傳ト殆ト同樣ノ關係アリトシ下山氏[2] (1924) ハ F_1 ハ兩親ノ中間性ヲ示セトモ長穗ノ親ニ近ツク傾向アリ F_2 ハ兩親ノ稍平均ニアリ F_3 ハ F_2 ト同一幅ノ內ニ分離シ F_2 ニテ長穗ヲ採用スレハ長ク短穗ヲ採用スレハ短ク現ハルトセリ　永井氏[3] (1926) ハ F_2 ノ平均穗長ハ兩親ノ平均價ノ中間ニアル場合又一方ノ親ト略等シキ場合アルヲ示セリ

余ノ實驗ニヨレハ穗ノ長キ大稻種ト之ノ短キ鳥尖種トノ交配ノ結果ハ F_1 ハ長穗ナレトモ雜種勢ニ歸スルコト大ナルヘク F_2 ハ第七十七表ノ如ク多元性ナルコトヲ想像サルコトヲ示スト云フヘク其遺傳關係稈長ノ場合ト一致セリ

(1) E. var der Stock and L. Kock:—Bastardierung am Reis. C. Fruwirth—Handbuch der Landw. Pflanzenzüchtung, Bd. 5, 2te auflage, 1923.

(2) 下山長次:—稻ノ雜種ト實用型遺傳,大日本農會報第五百十七號,第五百十八號(大正十三年)

(3) 永井威三郎:—日本稻作講義(大正十五年)

第七十七表　穂長ノ遺傳現象　(大稻×烏尖)

大正五年—大正七年

品種	穂長 (單位分)													
	105	100	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50	總計	平均
大稻	—	—	1	7	26	48	12	2	2	1	1	—	100	80.24±0.11
烏尖	—	—	—	—	—	—	—	1	14	26	42	17	100	50.40±0.10
大稻×烏尖F_1	—	—	—	—	—	—	1	2	2	—	—	—	5	69.00
大稻×烏尖F_2	2	16	44	74	122	140	70	68	31	7	3	1	578	80.22±0.08

(試驗地　臺中)

第十一章　子　實

1　籾及玄米ノ性狀

臺灣稻ノ籾ノ容量ハ第七十八表ノ如ク普通1升260匁乃至280匁ニシテ玄米ハ第七十九表ノ如ク360匁乃至370匁ナルヲ以テ內地米ヨリモ稍輕キ傾アリ又糯ハ粳ヨリモ稍輕シ　籾對玄米ノ重量比率ハ第八十表ノ如ク60%乃至80%ニシテ內地米ヨリ稍少シ　籾千粒ノ重量ハ粒ノ大小ニヨリテ差アリト雖モ籾ハ第八十一表ノ如ク20瓦乃至25瓦トシ玄米ハ第百三表ノ如ク18瓦乃至20瓦トス　籾摺歩合ハ重量ニ於テ75%容量ニ於テ55%ヲ標準トス　臺灣稻ノ子實ハ一般ニ脫粒シ易ク其ノ原因ニ就テ竹內叔雄氏[1]ノ調査ニヨレハ脫粒シ易キ品種ハ子實ト小枝梗トノ接著部ニ分離細胞層發達スルニ因ル

予カ大正二年ニ育成シ今日臺北州下ニ廣ク分布セル第二期作白殼種ハ收量甚タ多キモ脫粒シ易ク又同年育成ノ中村十一號ハ收量多キモ極端ニ脫粒シ難キカタメ却テ不便ナルコトアル品種ナリ　是等ハ同氏ノ調査ニヨレハ籾ノ接著部ニ於ケル分離細胞層ノ發達ノ如何ニ起因スルモノナルコトヲ知ラレタリ

---

(1) 竹內叔雄—水稻子實脫落ニ關スル調査報告　臺總中央研究所農業部報告第八號(大正十二年)

第七十八表　籾一升重量ノ階列　（單位匁）

大正五年

要項		總數	310	294	292	290	288	286	284	282	280	278	276	274	272	270	268	266	264	262	260	258	256	254	252	250	248	246	244	242	240	238	236	234	232	230	228	226	224	平均價
品種數	第一期	72	—	2	2	—	—	2	5	4	3	4	8	9	8	5	3	1	—	3	1	4	—	—	1	2	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	271.2
	第二期	57	—	—	—	—	—	2	1	2	2	4	10	4	3	4	2	4	—	4	1	—	—	3	2	3	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	267.1
	中間作	18	—	—	—	—	1	1	—	1	3	1	2	2	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270.2
	陸稻	28	1	—	1	1	—	2	—	—	1	1	—	—	—	2	—	—	5	—	3	1	1	2	2	1	—	1	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—	1	263.9
	計	175	1	2	3	1	1	7	6	7	9	10	20	15	11	11	5	5	6	8	5	5	2	7	5	8	1	2	4	1	—	2	1	1	—	2	—	1	1	268.6

各級ニ於ケル品種數	輕重ノ標準		總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	280 以上	重	37	18	7	6	6
	260 以上 280 未滿	中	96	42	36	7	11
	260 未滿	輕	42	12	14	5	11

第七十九表　玄米一升重量ノ階列　(單位匁)

大正五年

要項		總數	387	386	385	384	383	382	381	380	379	378	377	376	375	374	373	372	371	370	369	368	367
種數	第一期	72	1	—	—	1	—	1	1	—	4	6	—	4	6	1	3	7	1	3	12	—	—
	第二期	57	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	3	3	—	3	9	—	3	13	3	—
	中間作	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	6	1	1	2	—	—
	陸稻	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	1	1
	計	173	1	—	—	1	—	1	1	—	4	9	—	7	11	1	6	22	2	8	27	4	1

366	365	364	363	362	361	360	359	358	357	356	355	354	353	352	351	350	349	348	347	346	345	平均價
—	4	1	1	1	2	1	1	2	3	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	369.5
1	4	3	2	2	2	—	1	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	368.9
1	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	369.6
—	2	—	—	—	1	5	1	1	—	1	1	1	—	—	1	7	—	—	—	3	—	356.9
2	12	6	3	3	5	6	3	3	4	1	3	2	—	—	1	8	—	—	—	3	2	367.2

各級ニ於ケル品種數	輕重ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	375	以上	重	35	24	9	1	1
	360 375	以上 未滿	中	108	37	45	15	11
	360	未滿	輕	30	11	3	—	16

第八十表　籾對玄米ノ重量比率　(單位%)

大正五年

要項		總數	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	平均價
品種數	第一期	72	—	1	4	9	17	16	4	3	7	3	3	2	—	1	—	—	—	—	—	—	2	74.2
	第二期	57	1	2	3	12	8	6	4	9	1	4	3	—	2	—	1	—	—	1	—	—	—	74.4
	中間作	18	—	—	—	—	1	3	2	2	4	—	3	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	72.0
	陸稻	28	1	9	—	4	5	2	3	—	2	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.3
	計	175	2	12	7	25	31	27	13	14	14	8	9	5	2	1	1	1	—	1	—	—	2	74.4

各級ニ於ケル品種數	大小ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	80	以上	大	2	—	1	—	1
	70 80	以上 未滿	中	160	67	52	15	26
	70	未滿	小	13	5	4	3	1

第八十一表　籾千粒重量　(單位瓦)

大正五年

要項		總數	30.0	29.5	29.0	28.5	28.0	27.5	27.0	26.5	26.0	25.5	25.0	24.5	24.0	23.5	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0	19.5	19.0	18.5	18.0	平均價
品種數	第一期	72	—	—	—	—	1	1	—	1	1	2	9	4	11	10	10	6	5	5	3	—	1	—	2	—	—	23.41
	第二期	57	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2	—	1	4	4	4	3	6	5	10	5	3	2	4	—	1	21.91
	中間	18	—	—	—	—	1	—	1	1	4	2	1	1	1	—	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	24.70
	陸稻	28	1	—	2	—	1	1	—	—	8	1	—	1	5	2	3	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	25.00
	計	175	1	—	2	—	3	2	1	3	15	7	10	7	21	16	20	9	14	11	14	5	4	3	6	—	1	23.30

各級ニ於ケル品種數	輕重ノ標準		總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	250 以上	重	44	15	5	10	14
	200 以上 250 未滿	中	121	55	45	8	13
	200 未滿	輕	10	2	7	—	1

2　籾ノ乾燥ト其水分トノ關係

臺灣稻ノ籾ハ未乾燥狀態ニ於テ第一期作18%,第二期作15乃至16%內外ニシテ乾燥スルニ從ヒ水分率ヲ減少ス　收穫當時晴天3日間乾燥スレハ露地在來式乾燥法ニ於テ第八十二表其一,其二,其三,其四ノ如ク第一期作ハ10.3%,第二期作ハ11.2%ニ達シ其乾燥ノ初期ニアリテハ水分放散迅速ナレトモ進行スルニ從ヒ漸ク緩漫トナル卽チ乾燥第一日ノ水分放散度合ハ第二日乃至第三日ニ比シ第二日ノ放散度合ハ第三日ノ放散度合ニ比シ大ナリ　一日中ニ於ケル乾燥ハ籾ノ水分量竝ニ溫度ニ關係スレトモ觀察ニヨレハ午前十時乃至午後二時迄ニ最モ盛ニシテ漸次緩漫トナリ午後四時以後ハ普通ノ籾ハ殆ト乾燥セサ

ルカ如シ

第八十二表　乾燥場ノ種類並乾燥日數別籾含水量

其　一

大正十一年

乾燥日數	第一期作（烏尖種）				第二期作（菅稿種）			
	乾燥場ノ種類				乾燥場ノ種類			
	露地	タークレー	コンクリート	三和土	露地	タークレー	コンクリート	三和土
	%	%	%	%	%	%	%	%
未乾	18.0	18.0	18.0	18.0	15.6	15.6	15.6	15.6
第一日	13.6	12.1	13.2	12.3	13.2	13.2	13.2	13.2
第二日	10.5	9.9	10.1	9.5	12.6	11.9	11.8	11.4
第三日	10.3	7.8	9.3	8.4	11.2	10.4	10.6	10.1

（試驗地　臺中）

備考

I. 第一期作ハ大正十一年六月二十八日
　第二期作ハ大正十一年十一月二十九日開始

II. 他ノ試驗モ本試驗ノ成績ト同一傾向ヲ示セリ

III. 乾燥方法ハ1石ノ籾ヲ1坪半ニ擴ケ在來法タル波形日向乾燥法ニ據リ30分ニ1回攪拌シ3回ニテ全部ノ反轉ヲ了スル樣ニ行ヒタリ

其　二

大正十一年第一期作

乾燥日數	乾燥場							
	コンクリート	タールセコンクリート	三和土	黑色三和土	タークレー	蓆	露地	屋内
	%	%	%	%	%	%	%	%
未乾	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4	28.4
一日	20.5	21.5	21.0	21.2	20.4	23.1	23.0	26.5
二日	11.5	10.9	13.0	22.4	11.8	13.1	14.4	23.6
三日	9.0	8.6	8.8	8.3	9.0	9.2	10.6	21.8
四日	8.4	7.7	8.7	8.2	8.2	9.0	10.2	19.4
五日	7.2	7.0	8.6	8.0	7.9	8.3	9.9	17.6
六日	6.8	6.6	8.2	6.8	6.4	8.0	8.4	14.6
七日	6.6	6.4	6.8	6.8	6.2	7.8	9.6	13.4
八日	6.6	6.0	6.9	6.8	6.6	7.6	9.0	13.4
九日	6.0	6.6	6.9	6.7	6.7	7.2	8.0	12.8
十日	6.0	6.4	6.6	6.6	6.4	7.3	7.8	12.4
十一日	6.8	6.4	6.5	6.6	6.2	7.0	8.6	12.4
十二日	6.2	5.4	7.8	6.2	6.5	7.4	7.6	12.4
十三日	6.2	5.8	6.8	6.6	5.6	6.8	7.6	12.2

（試驗地　臺北）

備考

I. 大正十一年七月十日開始

II. 供用品種ハ短腐花蠟種

III. 未乾並一日ノ水分率高キハ收穫期ニ於テ濡レ籾トナリタルカ爲ナリ

其三

大正十二年第二期作

乾燥日數	乾燥場							
	コンクリート	タール塗コンクリート	三和土	黒色三和土	タークレー	磚	露地	屋内
	%	%	%	%	%	%	%	%
未乾	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
一日	12.6	10.8	12.4	13.0	13.2	13.8	12.8	16.2
二日	11.6	9.4	10.2	10.2	9.6	9.8	11.6	14.8
三日	9.2	8.8	10.0	10.0	8.6	9.8	11.0	14.0
四日	9.6	8.6	9.6	9.6	8.6	8.8	10.8	13.6
五日	8.8	8.2	10.0	9.4	9.4	9.6	11.2	13.2

(試驗地 臺北)

備考

I. 大正十一年十一月五日開始

II. 供用品種ハ格仔種

其四

乾燥日次	大正十三年		備考
	第一期作(七月)	第二期作(十一月)	
	%	%	
收穫當日	28.4	23.2	I. コンクリート乾燥場
第一日	13.2	17.2	II. 品種 中村(III)
第二日	8.4	10.8	
第三日	6.2	9.0	

(試驗地 臺北)

其五 籾乾燥中ノ溫度觀測 (本表其二附)

大正十一年第一期作

要項	コンクリート	タール塗コンクリート	三和土	黒色三和土	タークレー	磚	露地	屋内
籾表面溫度	46.9	47.0	46.2	46.9	46.6	44.9	44.7	29.7
籾中央部溫度	41.3	42.2	39.7	41.0	41.2	39.6	38.2	29.1
籾底部溫度	39.5	41.4	36.4	38.0	39.9	35.7	34.5	28.6
以上平均	42.6	43.5	40.8	41.9	42.6	40.5	39.1	29.1
氣溫	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3
乾燥場場面溫度	45.1	46.9	41.9	43.9	45.5	42.3	38.8	29.9

(試驗地 臺北)

備考

I. 大正十一年七月十日收穫當日ヨリ5日間乾燥中ニ於ケル每時間ノ觀測値ヲ平均セルモノ (攝氏)

II. 氣溫測定ハ百葉箱1箇所ニ就テ行フ

其　六　籾乾燥中ノ温度觀測　(本表其三附)

大正十二年第二期作

要　項	コンクリート	タール塗コンクリート	三和土	黑色三和土	タークレー	蓆	露地	屋内
籾表面温度	34.5	34.7	35.5	35.2	34.5	34.5	34.6	25.6
籾中央部温度	31.3	31.3	30.3	31.1	30.5	29.9	29.8	28.3
籾底部温度	28.5	29.7	27.2	28.8	28.5	28.3	26.6	24.6
以上平均	31.4	31.9	31.0	31.7	31.2	30.9	30.3	26.1
氣温	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4
乾燥場場面温度	33.2	34.4	31.6	33.4	33.2	31.3	30.5	25.8

(試驗地　臺北)

備考　大正十一年十一月五日開始　其他同上

由來臺灣產米ハ乾燥不良ノ評アリ臺灣ノ氣象ハ乾燥ニ適セサル如ク思惟セラレツツアリト雖モ其乾燥ノ程度ヲ測定シ臺灣ノ氣象カ乾燥ニ對スル能率ヲ研究セシモノナシ　而シテ其多クハ在來式露地乾燥法カ能率甚タ低キニヨルモノト想像サレ曩ニ火力乾燥工場設立ヲ奬勵シ其乾燥程度ヲ籾水分12.5%標準トセリ　然レトモ露地乾燥場ハ其乾燥能率ノ點ニ於テハ一般ノ想像スルカ如ク低率ノモノナラサルコトハ上記試驗成績ノ示スカ如シ　而シテ第八十二表其五·其六ニ示スカ如ク天日乾燥場乾燥中ノ籾温度又相當高温ニシテ第一期作ハ平均42°Cヲ越エ第二期作ハ平均30°Cヲ越エ部分的ニハ第一期作46°C乃至47°C第二期作34°C乃至35°Cニ達セリ　乾燥場ノ表面温度ハ乾燥中ノ籾ノ表面温度ヨリ低ク最モ高温ナルハ籾ノ表面温度ナリ波形ニ堆積セル籾ノ低部ニ於テモ其温度ハ比較的高ク第一期作35°C乃至41°C第二期作26°C乃至29°Cナリ斯ノ如キヲ以テ乾燥中微風ノ之ニ伴フアレハ其能率甚タ大トナリ淫雨連續スル天候ノ外晴天ノ場合ニ於テハ乾燥狀態ハ却テ良好ナル可キ理ナリ　天日乾燥場容量能率ハ在來式波形乾シトシ百石ニ對シテ150坪ノ實測數ヲ得又相當大ナルコトヲ認メタリ　以上ノ如キヲ以テ普通ノ場合ニ於テ農家カ收穫後ニ3日ノ天日乾燥ヲ行フ時ハ其乾燥程度ハ蓋シ良好ナルヘキナリ　實際問題トシテ臺灣米カ內地移出先ニ於テ變質スルモノ多ク其原因カ乾燥不良ニアル場合其不良トナル原因ハ蓋シ單ニ臺灣ノ氣候ニ因ルニ非スシテ他ニ多クノ原因ノ存スルナルヘク之カ解決ハ頗ル必要ナリト謂ハサル可カラス

余ハ大正十二年以來臺灣總督府ニ於ケル移出標準米ノ水分率ノ調査ヲ行ヒツツアリ　標準米査定ハ各期作收穫期後ニ行ハルルモノニシテ其材料ハ其時期ニ於ケル全島出廻リ米中ヨリ各等級最低品位ノモノヲ採擇シ多數ノ材料中ヨリ其年ニ應シ適當ナルモノヲ選擇スルモノナリ

下ニ其調査ノ結果ヲ表示シ本項以下ノ研究結果ト對照シ臺灣米乾燥度ノ概念ヲ得ントス

註　I. 臺灣ニ於ケル產米賣買ノ慣行ハ經重量取引ナルヲ以テ靑田賣買竝ニ之ニ伴フ價額ノ變動ノ如何ニヨリテハ農家ハ乾燥ヲ充分行ハスシテ賣渡スヲ有利トスル場合アリ　又移出上鐵道運輸力充分ナラス常ニ滯貨ノ狀況ニアリ加之各驛倉庫ノ設備之ニ伴ハス到ル所野積ミノ狀況ヲ呈シ熱帶驟雨ノ襲フコト屢々ナリ

II. 從來臺灣產米ノ乾燥不良ナルハ臺灣ノ氣象上全然良好ナル狀態ニ乾燥シ能ハサルモノトサレ又一般農家ノ露地乾燥法ニヨリテハ一層乾燥ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノトサレタリ

第八十三表　臺灣總督府移出標準米水分率

要項	等級	大正十二年 第一期作	大正十二年 第二期作	大正十三年 第一期作	大正十三年 第二期作	大正十四年 第一期作	大正十四年 第二期作	要項	等級	大正十五年 第一期作	大正十五年 第二期作
		%	%	%	%	%	%			%	%
北部粳	I	12.4	13.9	12.5	14.0	14.4	14.0	長粳	I	12.4	13.8
	II	13.6	15.7	12.7	14.0	13.8	14.6		II	13.0	14.4
	III	13.4	14.7	13.2	14.4	14.1	14.2		III	13.2	13.4
	等外	—	—	12.8	14.0	14.0	13.4				
中部粳	I	13.1	13.0	13.2	13.2	13.2	13.4	丸粳	I	12.4	—
	II	12.6	13.3	13.2	14.0	13.6	12.8		II	12.8	—
	III	13.6	13.6	13.4	14.4	13.9	13.4		III	12.0	—
	等外	—	—	13.8	14.2	13.8	13.2				
南部粳	I	12.3	12.8	13.3	14.6	13.8	14.2	長糯	I	11.4	14.0
	II	12.4	14.2	13.4	14.4	12.0	12.8		II	13.8	14.2
	III	14.0	13.8	13.8	—	14.2	13.4		III	14.0	13.8
	等外	—	—	13.6	14.4	14.2	13.8				
丸糯	I	13.4	14.8	13.9	12.8	13.6	13.8	丸糯	I	13.8	14.8
	II	13.7	14.4	14.4	13.6	14.2	14.4		II	13.8	14.6
	III	13.4	14.0	14.0	14.0	14.0	14.2		III	13.6	14.4
	等外	—	—	14.2	14.2	14.3	14.0				
長糯	I	12.9	13.3	13.8	15.2	15.0	13.4	長糯白米	I	12.0	13.4
	II	12.9	13.6	13.9	15.2	13.8	13.6		II	12.2	14.4
	III	12.8	13.2	13.8	15.6	14.2	13.0		III	12.8	13.2
	等外	—	—	14.0	15.8	14.7	13.2				

要項	等級	大正十二年 第一期作	大正十二年 第二期作	大正十三年 第一期作	大正十三年 第二期作	大正十四年 第一期作	大正十四年 第二期作
		%	%	%	%	%	%
白米	I	12.8	13.0	13.4	13.8	13.0	13.0
	II	12.4	13.4	13.4	14.4	13.2	14.4
	III	12.8	13.8	13.6	14.8	13.8	14.2
	等外	—	—	13.6	15.8	14.2	14.2
丸粳	I	—	—	13.2	—	13.4	—
	II	—	—	13.4	—	14.4	—
	III	—	—	13.6	—	14.1	—
	等外	—	—	13.8	—	13.8	—
內地種粳	I	13.8	—	12.2	13.4	13.6	14.0
	II	13.8	—	12.5	14.4	13.9	14.0
	III	14.0	—	13.1	13.8	13.8	14.1
	等外	—	—	13.4	14.0	13.4	14.2
總平均	%	13.7					

要項	等級	大正十五年 第一期作	大正十五年 第二期作
		%	%
內地種粳	I	13.4	13.8
	II	13.6	14.2
	III	13.6	14.3
	等外	13.0	—

出廻米ノ含水量ハ其年ノ天候,出廻リノ月ニ因リテ異ナルヘシト雖モ第八十三表ニ於テハ大正十二年ヨリ大正十五年ニ至ル各期作ヲ通シテ 11.4 %乃至 15.8 %總平均 13.7 %ニシテ 13.5 %乃至 14.5 %程度ヲ普通トセリ　之ヲ西ケ原農事試驗場[1]カ內地ヲ北海道·關東·北陸東北·東海·近畿·山陽·山陰·四國·九州ノ10區ニ分チ各區產米中著シク品質ヲ劣變スルコトナク夏越可能ノ見込アルモノノ內最低位ト認メタル玄米ノ水分ヲ檢定セシニ 13.6 乃至 15.4 總平均 14.4 ヲ得タル等[2]ニ比較スレハ臺灣ニ於ケル普通出廻米ノミヲ捉ヘ必スシモ乾燥不良ト稱ス可カラサルナリ

3　籾ノ乾燥ト其重量トノ關係

籾ハ乾燥ヲ行ヘハ漸次重量ヲ減シ容重ヲ增加ス（第八十四表）然レトモ容重ノ增加ハ必スシモ決定的ノモノニ非ス時ニ却テ減少スルコトアリ（第八十五表及第八十六表）籾ノ收縮ト水分ノ發散量トニ關係シ籾ノ充實可良ナラサルモノニ對シ充分ノ乾燥ヲ行フ場合ニハ減少スルカ如シ

加藤,石川兩氏[3]ノ研究ニヨレハ籾米ノ含水率大ナル間ハ緩漫ナル乾

(1) 農務局報第二十六號(大正十一年)

(2) 近藤萬太郎,武田元溫:一米穀貯藏中ニ於ケル米ノ水分含量ノ變遷ニ就キテ 糧食研究第二十號(大正十二年)

(3) 加藤茂苞,石川潤一:一籾米及玄米ノ乾燥ト容積トノ關係　農學會報第百九十九號(大正八年)

燥法急激ナル乾燥法何レニヨルモ容重増加スレトモ乾燥進ムニ從ヒ水分ノ發散ト籾ノ收縮ト釣合ヒ易ク容積ノ變化著シカラス　乾燥極端ニ進メハ籾ヲ收縮セシムルコト微少ナルニ比シ米ノ水分發散多ケレハ容重減シ濕潤ナル籾米ハ貯藏中著シク容重減少シ乾燥進ムニ從ヒ其關係漸次消失ストセリ

臺灣ニ於テハ屢々乾燥ニヨリテ容重ノ減少ヲ來スコトアルハ子實ノ成熟中季節風病害等ノ障害多キニ職由スヘシ

第八十四表　乾燥場ノ種類並乾燥度合別籾ノ一升重量

大正十一年

期作	乾燥日數	乾燥場 露地 水分	露地 籾一升重量	ダークレー 水分	ダークレー 籾一升重量	コンクリート 水分	コンクリート 籾一升重量	三和土 水分	三和土 籾一升重量
第一期作	未乾	18.0%	282.3瓦	18.0%	282.3瓦	18.0%	282.3瓦	18.0%	282.3瓦
	一日	13.6	283.1	12.1	286.5	13.2	285.6	12.3	286.5
	二日	10.5	284.8	9.9	287.3	10.1	286.5	9.5	287.3
	三日	10.3	288.2	7.8	288.2	9.3	287.3	8.4	288.2
第二期作	未乾	15.6	269.0	15.6	269.0	15.6	269.0	15.6	269.0
	一日	13.2	268.0	13.2	268.0	13.2	268.0	13.2	268.0
	二日	12.6	268.0	11.9	271.0	11.8	268.0	11.4	268.0
	三日	11.2	271.0	10.4	270.0	10.6	272.0	10.1	269.0

（試驗地　臺中）

備考

I. 試驗ノ方法ハ第八十二表參照

II. 供試品種　第一期作烏尖

第二期作蓬萊

第八十五表　籾乾燥試驗成績

圃場乾燥

大正七年

月日	時	氣溫 (°C)	濕度 (%)	第一試驗 總重量	第一試驗 一升重量	第一試驗 場面ノ溫度	第二試驗 總重量	第二試驗 一升重量	第二試驗 場面ノ溫度	摘要
8.29	後5	—	—	278瓦	278.0瓦	—°C	278瓦	278.0瓦	—°C	
8.30	前12	31.2	76	267	271.8	41.5	275	277.4	39.2	前8時乾燥著手
8.30	後2	34.0	51	264	271.8	39.0	272	276.6	36.5	小雨アリ乾燥中止
8.31	前12	30.9	61	260	268.0	40.0	270	274.2	39.0	前8時乾燥著手
8.31	後5	30.0	76	260	268.6	29.0	270	274.8	37.0	
9.1	前12	31.0	70	259	268.0	43.1	269	274.2	41.0	前8時乾燥著手
9.1	後5	29.2	43	259	268.1	38.1	269	274.2	35.0	
9.2	前5	29.8	—	257	268.1	38.0	267	273.4	35.5	前8時乾燥著手

（試驗地　臺中）

備考　第一試驗ハ「コールタール」塗乾燥場、第二試驗ハ露地乾燥場ニ各5分ノ厚サニ撒ケテ乾燥セシモノナリ

第八十六表　籾人工乾燥試驗成績

大正五年八月

試驗回數	人工乾燥前			人工乾燥後			摘要
	容量	重量	一升重量	容量	重量	一升重量	
	石	貫	匁	石	貫	匁	
第一回	5.000	133.605	267	4.861	128.482	264	140F°ニテ4時間乾燥
第二回	5.000	133.615	267	4.840	125.458	259	143F°ニテ4時間乾燥
第三回	5.000	133.935	268	4.859	127.041	261	135F°-143F°ニテ5時間乾燥
第四回	5.000	133.927	268	4.869	127.363	262	143F°ニテ5時間乾燥
第五回	8.900	237.768	268	8.671	226.422	261	140F°ニテ3時間乾燥
第六回	5.000	134.580	269	4.903	129.458	264	140F°ニテ4時間乾燥

（試驗地　臺中）

4　籾ノ乾燥ト籾摺歩合トノ關係

臺灣稻ノ籾摺歩合ハ重量ニ於テ75%内外ヲ普通トスレトモ固ヨリ乾燥ノ程度ニヨリ異ナリ乾燥ヲ充分ニ行ヒ水分率ノ減少スルニ隨ヒ其歩合高シ　試驗ノ結果ニヨレハ第八十七表ノ如ク第一期作ニ於テ未乾燥ノモノハ籾摺歩合37.1%ナレトモ含水量9.5%ニ乾燥セシモノハ80.1%ヲ示シ第二期作ハ未乾燥71.6%ニシテ9.6%ニ乾燥シタル籾ハ77.4%ノ高率ヲ示セリ　蓋シ乾燥ニ伴ヒ籾殼水分ノ發散玄米水分ノ發散ヨリ早クシテ大ナルト兩者實質上ノ差ニ基因スヘシ

第八十七表　籾ノ乾燥度合別籾摺歩合

大正十一年

期作	籾水分	籾量	籾摺後ノ玄米量	籾摺歩合	碎米量	碎米歩合	玄米水分	一升重量	
								籾	玄米
	%	貫	貫	%	匁	%	%	匁	匁
第一期作	14.4	23.000	16.810	73.1	346	1.50	15.3	290.8	366.3
	13.1	23.000	17.540	76.3	374	1.60	14.1	291.7	367.7
	12.1	23.000	17.720	77.0	362	1.60	13.7	289.9	377.8
	11.3	23.000	17.760	77.2	270	1.20	12.9	289.9	373.1
	10.0	23.000	17.915	77.9	206	0.90	11.8	295.3	377.1
	9.5	23.000	18.432	80.1	197	0.86	12.0	292.6	377.8
第二期作	14.5	30.000	21.470	71.6	480	1.60	15.3	268.0	365.0
	13.5	64.000	46.720	73.0	920	1.44	14.4	270.0	366.0
	12.4	61.500	46.125	75.0	738	1.20	13.9	269.0	365.0
	11.5	64.000	48.384	75.6	582	0.91	13.4	270.0	366.0
	10.4	62.000	47.368	76.4	558	0.90	12.5	270.0	369.0
	9.6	59.630	46.150	77.4	440	0.74	11.4	269.0	369.0

（試驗地　臺中）

備考　供試品種　第一期作烏尖
　　第二期作菁稿

5 籾ノ乾燥ト玄米ノ乾燥トノ關係

籾ノ含水率小ナレハ之ヲ籾摺シタル玄米ノ水分又小ナリ　隨テ籾ノ乾燥ハ又玄米ノ乾燥ヲ意味ス　然レトモ籾ト玄米トノ間ニ於ケル含水率ハ全然正比例スルモノニ非ス　試驗ノ結果ニヨレハ第八十八表ニ示スカ如ク未乾燥ノ場合ニハ籾ノ水分ト玄米ノ水分相接近シ乾燥スルニ隨テ其差大トナル　蓋シ籾ヲ乾燥スレハ稃ハ玄米ヨリモ乾燥スルコト大ナルニ因ルヘシ

第八十八表　乾燥ノ度合別籾對玄米ノ水分比率

大正十二年

期作	籾水分	玄米水分	籾及玄米ノ水分率差	籾ノ水分100ニ對スル玄米水分比率	乾燥結了月日	籾摺月日	適熟日數
	%	%	%				
第一期作	14.4	15.3	0.9	106.2	6.28	7.07	9
	13.1	14.1	1.0	107.6	7.02	7.12	10
	12.1	13.7	1.6	113.2	6.29	7.14	15
	11.3	12.9	1.6	114.2	6.29	7.15	16
	10.0	11.8	1.8	118.0	6.30	7.16	16
	9.5	12.0	1.5	126.0	6.30	7.17	17
第二期作	14.5	15.3	0.8	108.6	12.02	12.17	15
	13.5	14.4	0.9	110.0	12.02	12.17	15
	12.4	13.9	1.5	115.2	12.03	12.18	15
	11.5	13.4	1.9	121.2	12.03	12.21	18
	10.4	12.5	2.1	124.3	12.06	12.19	13
	9.6	11.4	1.8	118.7	12.25	1.07	13

（試驗地　臺中）

6 籾ノ適熟ト籾摺歩合トノ關係

籾ハ乾燥後直ニ籾摺ヲ行フ時ハ碎米ヲ生シ易ク籾摺歩合低下スルノ傾アリ精農者ハ必ス數日間放置シテ籾摺スルヲ常トス　蓋シ適熟ノ意ハ乾燥後放置中適當ノ水分ヲ吸收シ內容整頓シテ組織堅密ナルニ至ルノ謂ナリ　而シテ適熟カ籾摺上如何ナル影響ヲ及ホスヤハ米質乾燥ノ程度、乾燥ノ方法、籾摺機等ニヨリテ異ナルヘキモ吾人ノ屢々實驗セシ所ニヨレハ極度ニ乾燥セシモノヲ適熟ヲ行ハスシテ籾摺ヲ行フトキハ胴割、割米ヲ生シ易ク普通ノ乾燥狀態ノ物ハ肌擦ヲ生シ易シ　第八十九表ハ適熟ノ效果ヲ試驗セシモノナリ

第八十九表　適熟カ籾摺歩合ニ及ホス影響試驗

期作	處理	年次	水分 稈	水分 玄米	供試稈量	玄米量	稈摺歩合	碎米重量	碎米歩合	稈摺月日	乾了月日	適熟日數
			%	%	貫	貫	%	瓦	%			
第一期作	未適熟	11	9.2	12.9	23.000	17.390	75.6	600	2.61	7.18	7.18	0
		12	10.7	12.3	15.580	11.810	75.8	170	1.09	7.11	7.11	0
		13	9.7	10.8	11.990	9.330	77.8	120	1.00	7.14	7.14	0
		平均	9.87	12.0	16.857	12.843	76.2	296.7	1.76	—	—	0
	適熟	11	9.2	13.1	23.000	17.740	77.1	260	1.13	7.26	7.18	8
		12	10.7	12.7	15.580	11.920	76.5	50	0.32	7.18	7.11	7
		13	9.7	11.7	11.990	9.330	77.8	95	0.79	7.21	7.12	7
		平均	9.87	12.5	16.857	12.997	77.1	135	0.80	—	—	7.3
第二期作	未適熟	11	10.3	11.3	23.000	16.951	73.7	529	2.30	12.10	12.10	0
		12	9.7	10.8	18.000	13.778	76.5	380	2.11	11.27	11.27	0
		13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		平均	10.0	11.05	20.365	15.365	75.0	454.5	2.21	—	—	0
	適熟	11	10.3	12.5	23.000	17.664	76.8	345	1.50	12.17	12.10	7
		12	9.7	11.0	18.000	14.050	78.1	196	1.09	12.04	11.27	7
		13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		平均	10.0	11.75	20.500	15.857	77.4	270.5	1.32	—	—	7

（試驗地　臺中）

7　籾ノ乾燥ト貯藏中ニ於ケル籾重量ノ變化トノ關係

貯藏後ニ於ケル籾ノ重量ハ水分ノ吸收又ハ放散竝ニ生理的ニ起ル質量ノ變化ニヨリテ異動ヲ生スヘキモ生理的ノ變化ハ含水分量過多ナル時ニ於テ著シキモノナレハ重量ノ變化ハ主ニ水分ノ影響ニヨルモノト認メ得ラルヘク隨テ乾燥度合ト貯藏後ニ於ケル重量ノ變化トハ密接ナル相關的關係アルヘク而シテ此關係ヲ次ニ示スカ如キ水分率ヲ有スル籾試料ノ貯藏試驗ニ據リ考査セリ

其I　大正十一年　第一期作試料

第一號	14.40%
第二號	13.10%
第三號	12.10%
第四號	11.30%
第五號	10.00%
第六號	9.50%

（貯藏期間60日每日秤量）

其II 大正十一年 第一期作試料	第一號	14.40%	(貯藏期間615日每十五日秤量)
	第二號	13.10%	
	第三號	12.10%	
	第四號	11.30%	
	第五號	10.00%	
	第六號	9.50%	
其III 大正十二年 第一期作試料	第一號	15.70%	(貯藏期間555日每十五日秤量)
	第二號	14.00%	
	第三號	12.90%	
	第四號	12.00%	
	第五號	10.70%	
	第六號	10.10%	
	第七號	8.90%	
其IV 大正十二年 第二斯作試料	第一號	15.00%	(貯藏期間420日每十五日秤量)
	第二號	13.50%	
	第三號	12.50%	
	第四號	11.50%	
	第五號	10.50%	
	第六號	9.50%	
	第七號	8.50%	
其V 大正十三年 第一期作試料	第一號	15.70%	(貯藏期間390日每十五日秤量)
	第二號	14.60%	
	第三號	13.40%	
	第四號	12.50%	
	第五號	11.40%	
	第六號	10.60%	
	第七號	9.10%	

其VI 大正十三年第二期作試料

第一號	14.40%	
第二號	13.20%	
第三號	12.00%	
第四號	11.00%	(貯藏期間255日毎十五日秤量)
第五號	10.00%	
第六號	9.10%	
第七號	8.40%	

其VII 大正十一年,同十二年,同十三年試料(其I乃至其VIト別試料)

	第一期作			第二期作		
	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十一年	大正十二年	大正十三年
第一號	21.80%	24.10%	21.30%	20.40%	16.80%	17.80%
第二號	14.70	17.00	11.80	15.80	14.30	15.80
第三號	14.20	10.80	8.80	14.20	11.40	13.40
第四號	13.00	8.90	8.40	11.80	10.40	12.80
第五號	12.00	7.40	8.00	10.20	9.80	11.40
第六號	—	7.50	7.60	8.60	9.20	10.80

貯藏期間1箇年毎月秤量

以上ノ如キ試料竝ニ其貯藏ニヨリ貯藏中ニ於ケル各試料ノ水分率ノ變化ヲ調査セシニ一般ニ乾燥程度高キモノハ漸次空中ヨリ水分ヲ吸收シテ水分率ヲ增加シ其程度ハ乾燥度ノ高キモノ程增加率大ナリ然ルニ乾燥度ノ低キモノ或ハ未乾燥ノモノハ漸次水分率ヲ減ス　而シテ是等ノ現象ハ空中濕度ノ如何ニヨリテ左右セラル隨テ各階級ノ水分率ハ貯藏後次第ニ相接近シ數箇月後ニハ殆ト同率ノ水分ヲ有スルカ若クハ極メテ僅少ノ差ヲ示スニ至ル　而シテ此乾燥度高キモノノ水分ノ吸收或ハ未乾燥又ハ乾燥度低キモノノ水分ノ放散ニヨル水分率接近ノ限界線ハ籾ニ於テ13.50%乃至14%此籾ヲ籾摺シテ玄米トナシタル場合ニ於テ14%乃至14.50%ナルカ如ク(第八圖)換言スレハ各階級籾ノ水分率ハ濕度ノ高低ニ伴ヒ或ハ水分吸收シ或ハ放散シ限界

線ニ沿ウテ彷徨スルヲ認ムヘシ　而シテ最初限界線ニ接近スルニハ大約2箇月半乃至3箇月ヲ要スルモノト認メラル尙水分ノ放散吸收ニヨリ限界線ヲ彷徨スル際最初乾燥度高カリシモノハ空氣ノ乾燥ニ伴フ水分ノ放散鋭敏ナルカ如ク貯藏期間中ヲ通シ觀察スレハ其水分率ハ乾燥セシモノハ未乾燥ノモノヨリ又乾燥度高キモノハ低キモノヨリ常ニ幾分宛ノ水分率少キヲ窺フコトヲ得ヘシ（第九十表其一乃至其七及ヒ第八圖）

乾燥可良ナルモノカ事實ニ於テ貯藏中ニ變質遲キハ貯藏初メヨリ水分ヲ吸收シツツ限界線ニ接近スル數箇月間ノ乾燥狀態良好ナルト及接近後ニ於テモ乾燥不良ナリシモノニ比シ含水量常ニ稍々少キニ歸スルカ如シ　第九十表其一乃至其七ハ前記各種ノ水分率ヲ有スル粗麻袋（普通「ガンニ一」袋6斗入在來包裝）又ハ木綿袋（2貫500入）ニ容レ同時ニ倉庫內ニ安置シ前述ノ期日每ニ秤量シタル結果ナリ

今試ミニ本試驗成績中第九十表其五大正十三年第一期作每十五日秤量390日間貯藏ノモノヲ採リテ說明センニ

第一號貯藏當時水分率15.70%ノモノハ60日目ニハ14.61%90日目ニハ13.88%ニ減シ爾後殆ト14%乃至14.25%ヲ彷徨セリ

第二號貯藏當時水分率14.60%ノモノハ60日目ニハ13.69%90日目モ同率ニシテ爾後13.21%乃至13.51%ヲ彷徨セリ

第三號貯藏當時水分率13.40%ノモノハ60日目ニハ14.37%90日目ニハ14.25%ニシテ爾後14.13%乃至14.37%ヲ彷徨セリ

第四號貯藏當時水分率12.50%ノモノハ60日目13.11%90日目ニハ13.71%ニシテ爾後13.35%乃至13.77%ヲ彷徨セリ

第五號貯藏當時水分率11.40%ノモノハ60日目ニハ13.82%90日目14.67%ニシテ爾後14.31%乃至14.92%ヲ彷徨セリ

第六號貯藏當時水分率10.60%ノモノハ60日目ニハ13.02%90日目ニハ13.75%ニシテ爾後13.30%乃至14.30%ヲ彷徨セリ

第七號貯藏當時水分率9.10%ノモノハ60日目12.37%90日目ニハ12.62%ニシテ爾後12.74%乃至13.83%ヲ彷徨セリ

而シテ全貯藏期間中ニ於ケル水分率變化ノ狀況ハ第八圖ニ之ヲ示セリ

其七　第一期作

年次	糊ノ含水率											
	七月（移植前）	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
大正十一年	21.8	16.2	13.2	13.7	14.4	13.6	13.0	15.2	14.1	14.0	13.8	11.6
	14.7	13.8	12.4	12.6	13.0	12.0	13.6	14.3	13.5	13.0	12.0	13.4
	14.2	13.6	13.4	13.6	13.8	13.6	13.0	14.2	13.4	14.4	13.0	11.6
	13.0	14.0	12.4	13.0	12.0	12.4	13.6	13.4	13.0	13.2	11.2	13.0
	12.0	13.2	12.5	13.4	13.8	13.2	12.6	13.5	13.4	14.2	13.4	11.4
大正十二年	24.1	13.8	13.2	13.2	13.0	12.8	13.4	14.4	14.6	15.0	13.1	13.6
	17.1	13.2	12.5	13.4	13.4	13.4	13.4	14.0	13.8	13.2	13.4	13.4
	10.8	12.5	12.4	13.0	12.4	12.8	12.4	13.4	13.4	13.4	12.6	13.2
	8.9	12.0	10.8	13.8	12.2	12.0	12.0	13.2	13.5	13.8	12.6	13.0
	7.4	11.3	12.2	12.0	12.4	11.6	12.4	13.8	13.6	12.6	12.6	12.0
	7.5	12.0	11.2	12.4	12.5	12.4	12.6	13.4	13.4	13.4	13.0	11.8
大正十三年	21.3	13.4	14.6	14.8	14.0	13.8	14.4	15.2	15.0	14.4	14.4	14.0
	11.8	13.0	12.6	15.0	13.2	13.0	13.2	14.4	14.0	13.6	14.0	13.4
	8.8	10.6	12.8	13.0	12.8	12.8	13.0	14.6	13.6	13.8	13.2	12.8
	8.4	11.0	12.4	13.0	12.4	12.8	12.8	13.6	13.4	13.6	12.8	12.8
	8.0	10.2	12.4	13.0	12.6	13.0	12.6	13.6	12.4	13.4	13.4	13.4
	7.6	10.8	13.4	13.2	13.0	12.0	12.6	13.6	12.8	14.0	13.6	13.2
大正十四年	28.0	18.0	14.4	14.2	13.8	13.3	13.6	13.6	14.6	14.8	15.6	15.6
	14.6	13.8	14.0	13.5	12.6	12.2	13.2	13.8	14.6	14.6	15.0	14.8
	9.6	12.8	12.6	12.4	12.6	11.0	12.8	13.0	13.4	14.4	14.4	13.4
	9.0	12.8	12.6	12.3	11.4	11.0	11.8	12.0	13.4	13.6	13.4	11.6
	8.0	12.4	12.6	12.0	11.8	10.6	11.8	11.8	13.0	13.2	12.8	11.4
大正十五年	26.2	15.2	13.0	13.2	13.8	15.0	14.4	14.4	14.8	14.8	15.0	15.3
	15.6	11.8	11.8	12.6	13.8	14.0	14.0	13.8	14.0	14.6	14.2	14.5
	9.8	11.0	10.8	11.8	13.2	13.8	13.8	13.8	13.8	14.4	13.8	14.0
	9.4	10.8	10.6	12.0	13.2	13.6	13.8	13.6	13.6	14.4	13.6	13.9
	7.8	10.6	9.8	12.0	11.8	13.4	13.4	13.4	13.6	13.6	13.2	13.6
	6.9	10.5	9.4	10.8	13.0	13.4	11.8	13.0	13.4	13.0	12.8	13.2

（試驗地　臺北）

第二期作

年次	糊ノ含水率												
	十月（移植前）	十一月（移植前）	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
大正十一年	—	20.4	16.4	14.0	14.0	14.0	14.4	12.0	13.4	13.2	12.6	11.9	13.2
	—	15.8	13.9	13.2	13.0	14.8	13.2	13.8	12.2	13.4	13.3	12.3	13.8

年次	麩ノ含水率												
	十月(貯蔵前)	十一月(貯蔵前)	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
大正十一年	—	14.2	13.6	14.6	13.0	14.4	13.1	12.6	13.4	13.2	12.3	12.4	12.0
	—	11.8	12.0	12.4	13.8	14.8	13.7	14.4	11.8	13.4	13.5	12.1	13.4
	—	10.2	11.2	13.0	14.6	14.6	14.4	11.7	12.8	13.0	14.3	12.1	12.2
	—	8.6	10.6	12.0	12.8	15.2	12.6	13.2	11.2	12.8	12.7	12.2	12.8
大正十二年	—	16.8	14.0	13.2	14.2	15.0	15.0	14.2	13.6	13.1	13.1	13.0	14.2
	—	14.3	13.4	13.0	14.0	14.2	14.6	14.4	13.7	13.4	13.4	13.2	14.0
	—	11.4	12.6	12.8	13.8	14.2	13.9	14.2	14.5	13.4	13.8	13.4	13.8
	—	10.4	12.6	12.4	13.8	13.4	14.6	13.7	14.3	13.8	13.7	12.8	14.0
	—	9.8	11.0	12.4	13.8	13.7	14.0	13.8	13.7	13.6	13.6	12.6	14.2
	—	9.2	11.4	11.6	13.8	13.7	14.0	13.2	13.4	13.6	13.6	12.6	14.2
大正十三年	—	17.8	15.2	14.8	15.6	15.2	15.0	16.0	15.4	14.4	14.0	14.0	13.6
	—	15.8	14.0	14.6	15.2	14.6	14.2	15.8	14.4	13.8	13.4	13.8	13.7
	—	13.4	15.0	13.6	14.8	13.6	14.0	15.0	14.8	13.6	13.0	13.8	13.5
	—	12.8	12.8	13.6	13.6	13.8	14.0	14.8	14.8	13.6	13.4	13.8	13.7
	—	11.4	11.4	13.4	13.6	14.0	14.0	14.6	13.8	13.4	12.6	13.2	13.8
	—	10.8	11.8	13.0	13.6	13.6	14.2	14.0	13.4	13.4	12.6	13.6	13.2
大正十四年	17.2	14.6	13.6	12.8	14.2	14.4	15.0	15.8	14.2	14.4	12.9	13.2	13.2
	15.0	13.0	12.0	12.6	13.6	14.3	14.6	15.2	14.4	13.6	12.6	12.6	13.4
	12.4	12.4	11.8	12.2	13.0	14.0	14.6	14.8	13.6	13.2	12.6	12.6	13.0
	11.4	12.0	11.0	12.2	13.0	14.0	14.2	14.6	14.0	12.4	12.3	12.4	13.0
	9.4	10.8	12.0	12.0	12.6	13.6	13.8	13.8	14.0	13.0	12.3	12.4	12.0
	9.6	10.2	10.2	10.6	11.6	13.2	13.4	13.4	14.0	11.8	12.2	11.4	11.4
大正十五年	—	18.6	14.8	14.0	14.8	15.4	15.6	14.8	16.0	13.8	13.4	13.0	13.2
	—	14.6	14.6	14.4	14.2	14.8	15.4	14.6	15.2	13.2	13.0	12.8	13.0
	—	12.7	13.6	14.0	14.0	14.6	15.2	14.2	15.2	13.0	12.8	12.6	12.6
	—	10.7	13.4	13.8	13.6	14.4	15.2	14.0	15.0	13.0	12.7	12.2	12.4
	—	8.9	12.8	12.4	13.8	14.2	15.0	13.4	14.6	12.8	12.5	12.6	12.4
	—	8.3	12.4	13.4	13.4	14.2	14.8	13.0	14.4	12.8	12.7	13.1	12.2

(試験地　臺北)

備考

I. 第一期作ハ七月敢種「ガンニー」袋ニ入レ種麩庫ニ貯蔵シ毎月十五日調査セリ

第二期作ハ十一月敢種同様ノ處理ヲナシ毎月三十日調査セリ

II. 水分檢定ハ「ホフマン」水分檢定器ヲ使用セリ

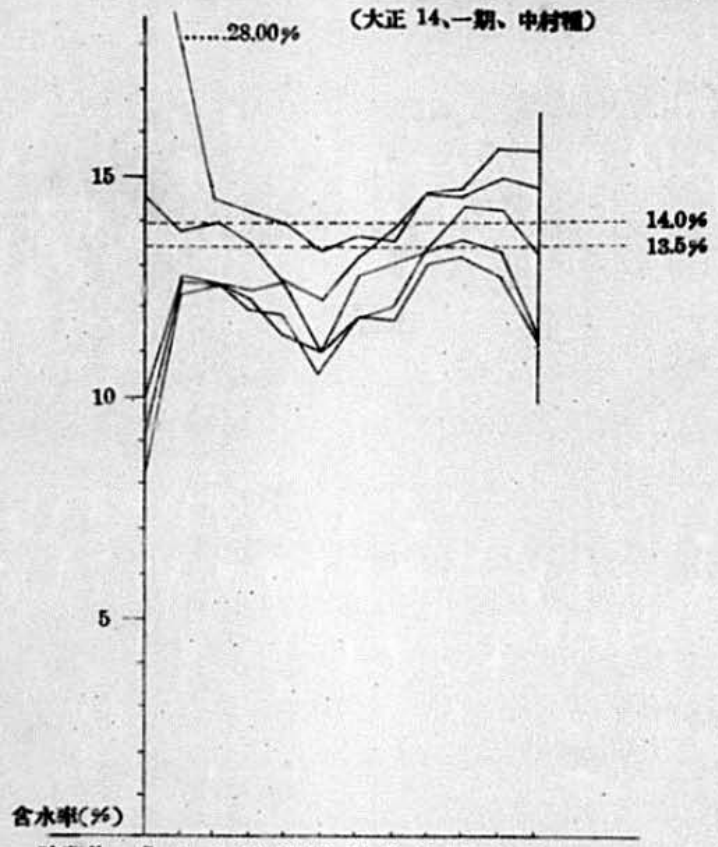
III. 第一期作品種ハ大正十年、同十二年、同十三年ハ短廣花蓮、大正十四年、同十五年(昭和元年)ハ中村トス

第二期作品種ハ自大正十年至大正十三年ハ下脚格仔、大正十四年、同十五年(昭和元年)ハ中村トス

第八圖 其 1

含水率ヲ異ニセル籾貯藏中ニ於ケル含水率ノ變化

（大正 14、一期、中村種）

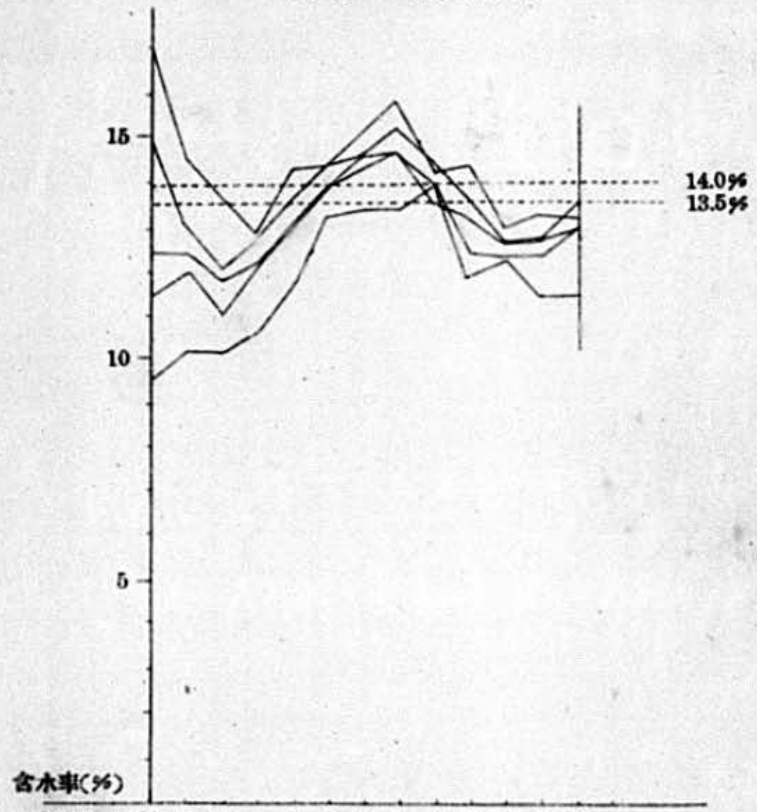


貯藏月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
含水率(%)	28.0	18.0	14.4	14.2	13.8	13.3	13.6	13.6	14.6	14.8	15.6	15.6
	14.6	13.8	14.0	13.5	12.6	12.2	13.2	13.8	14.6	14.8	15.0	14.8
	9.6	12.8	12.6	12.4	12.6	11.0	12.6	13.0	13.4	14.4	14.4	13.6
	9.0	12.6	12.6	12.3	11.4	11.0	11.8	12.0	13.4	13.6	13.4	11.8
	8.0	12.4	12.6	12.0	11.8	10.6	11.8	11.8	13.0	13.2	12.8	11.4

第八圖 其 2

含水率ヲ異ニセル籾貯藏中ニ於ケル含水率ノ變化

（大正 14、二期、中村種）

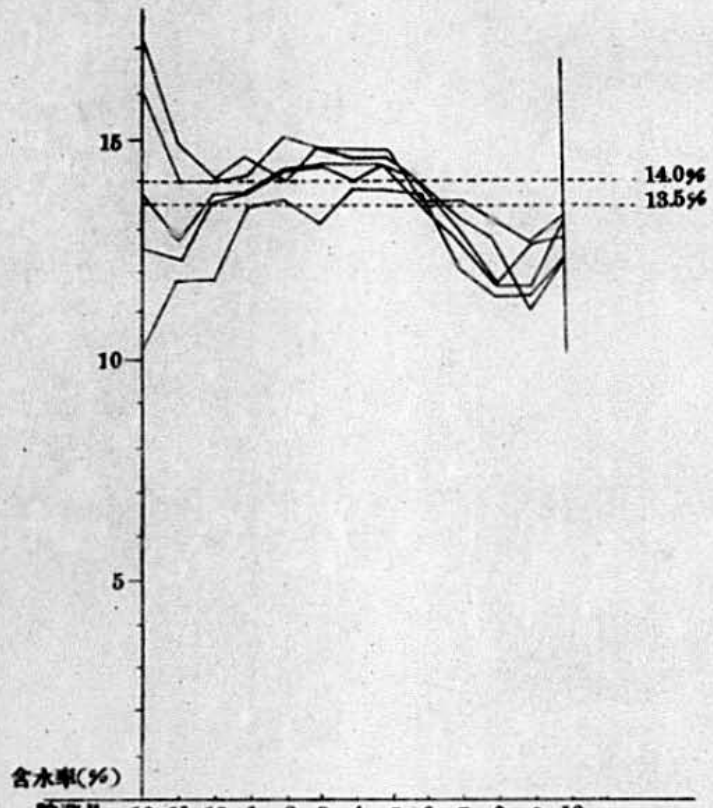


貯藏月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
含水率(%)	17.2	14.6	13.6	12.8	14.2	14.4	15.0	15.8	14.2	14.4	12.9	13.2	13.2
	15.0	13.0	12.0	12.8	13.6	14.3	14.6	15.2	14.4	13.6	12.8	12.8	13.4
	12.8	12.4	11.8	12.2	13.0	14.0	14.6	14.8	13.6	13.2	12.6	12.8	13.0
	11.4	12.0	11.0	12.2	13.0	14.0	14.2	14.6	14.0	12.4	12.3	12.8	13.0
	9.6	10.2	10.2	10.6	11.6	13.2	13.4	13.4	14.0	11.8	12.2	11.4	11.4

第八圖 其 3

含水率ヲ異ニセル玄米貯藏中ニ於ケル含水率ノ變化

（大正 14、二期、中村種）

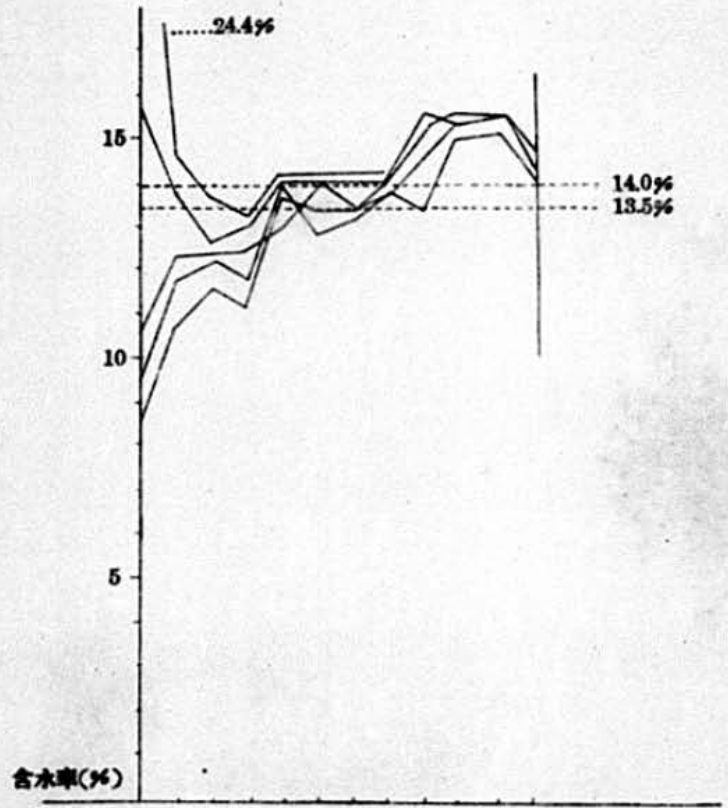


貯藏月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
含水率(%)	18.4	14.8	14.0	14.6	14.0	14.8	14.8	14.8	13.6	13.6	13.1	12.6	13.2
	16.2	14.0	14.0	14.2	15.0	14.8	14.6	14.6	13.8	13.2	12.8	11.2	12.6
	13.8	12.6	13.8	13.8	14.2	14.6	14.6	14.4	13.3	13.0	11.6	11.6	13.0
	12.5	12.2	13.6	13.8	14.2	14.6	14.0	14.4	13.6	12.2	11.8	12.6	12.8
	10.2	11.8	11.8	13.4	13.6	13.0	13.8	13.8	13.7	12.0	11.4	11.4	12.4

第八圖 其 4

含水率ヲ異ニセル玄米貯藏中ニ於ケル含水率ノ變化

（大正 15、一期、中村種）



貯藏月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
含水率(%)	24.4	14.6	13.6	13.2	14.2	14.2	14.2	14.2	—	—	—	—
	15.7	13.7	12.6	13.0	14.0	14.0	14.0	14.0	15.6	15.4	15.6	14.8
	10.4	12.3	12.5	12.4	13.0	14.0	13.4	13.8	15.4	15.6	15.6	14.6
	9.5	11.8	12.2	11.8	13.6	13.4	13.4	14.0	14.6	15.4	15.6	14.5
	8.5	10.7	11.6	11.2	13.8	12.8	13.2	13.8	13.4	15.0	15.2	14.2

VI 大正十一年及大正十二年ノ一部ハ貯藏庫不完全ニシテ從ツテ成績ニ異微ヲ呈スト認ムベキモノアリ

8 籾ノ乾燥度ト其玄米貯藏中ニ於ケル重量ノ變化トノ關係

玄米モ亦貯藏中ニ於テ水分ヲ吸收シ或ハ放散スルコト籾ノ場合ニ於テ說明セシ現象ト異ナル所ナク又其重量ノ變化モ水分ニ關係スルモノ大ナリト認ムルコトヲ得ヘシ 近藤氏[1]ハ季節ニ伴フ水分ノ增減ハ其最大最小ノ較差ハ約1%ト見ルヘク唯米ヲ11%位ニ乾燥シテ貯藏セシ場合時雨期ニ相當シ急ニ濕分カ米ニ吸收セラレ水分ノ增加カ3.4%以上ナリシモ一旦之カ相當水分ヲ吸收シタル上ハ季節ニヨル變化ハ1%位ニ過キス 又乾燥度カ異ナルモ貯藏後一時ニ吸水シテ爲ニ乾燥セルモ乾燥セサルモ殆ト其水分含量ハ遂ニ相接近ス 然レトモ斯ク接近スルハ2年,3年迄ノ事ニシテ4年5年トナラハ漸次水分ヲ放失シテ乾燥セントス 而シテ初メヨク乾燥シタル米ハ水分ヲ多ク失ヒ其含量ヲ減シ乾燥不良ナリシ米ハ比較的ニ水分ヲ失フコト少クシテ再ヒ貯藏當初ノ如ク水分含量ニ差ヲ生スト述ヘ其原因ヲ米粒ヲ組成セル膠質物ノ特性ニ歸セリ 此現象ハ予カ前項籾ノ乾燥ト貯藏後ニ於ケル籾重量ノ變化トノ關係ニツキ含水率ノ變化ヲ說明セシ處ト相一致スルモノナリ

予ハ前項ニ於ケル各種含水率ヲ有スル籾ヲ籾摺シ次ニ述フルカ如キ試料ヲ得前項籾ニ於ケルト同樣貯藏試驗ヲ行ヒタルニ其結果モ亦傾向籾ノ場合ト相似タリ

予カ本調査ニ用ヒシ玄米試料及其含水率ハ次ニ示スカ如ク而シテ之カ成績ハ第九十一表ニ示スカ如シ

其I 大正十一年 第一期作試料	第一號	15.30%	(貯藏期間60日每日秤量)
	第二號	14.10%	
	第三號	13.70%	
	第四號	12.90%	
	第五號	12.00%	
	第六號	11.80%	

(1) 近藤萬太郎:一米穀貯藏ニ關スル研究 (大正十二年)

其II 大正十一年 第一期作試料	第一號	15.30%	(貯藏期間615日每十五日秤量)
	第二號	14.10%	
	第三號	13.70%	
	第四號	12.90%	
	第五號	12.00%	
	第六號	11.80%	
其III 大正十一年 第二期作試料	第一號	15.30%	(貯藏期間60日每日秤量)
	第二號	14.40%	
	第三號	3.901%	
	第四號	13.40%	
	第五號	13.10%	
	第六號	11.40%	
其IV 大正十一年 第二期作試料	第一號	14.40%	(貯藏期間日每十五日秤量)
	第二號	15.30%	
	第三號	13.90%	
	第四號	13.40%	
	第五號	13.10%	
	第六號	11.40%	
其V 大正十二年 第一期作試料	第一號	16.40%	(貯藏期間日每十五秤量)
	第二號	14.40%	
	第三號	13.50%	
	第四號	12.90%	
	第五號	12.40%	
	第六號	12.20%	
	第七號	11.70%	

其VI 大正十二年 第二期作試料	第一號	15.90%	
	第二號	14.30%	
	第三號	13.80%	
	第四號	12.20%	(貯藏期間375日每十五日秤量)
	第五號	11.00%	
	第六號	10.20%	
	第七號	9.60%	
其VII 大正十三年 第一期作試料	第一號	15.80%	
	第二號	14.90%	
	第三號	14.90%	
	第四號	14.00%	(貯藏期間390日每十五日秤量)
	第五號	12.90%	
	第六號	12.00%	
	第七號	11.50%	
其VIII 大正十三年 第二期作試料	第一號	14.50%	
	第二號	14.20%	
	第三號	13.30%	
	第四號	12.60%	(貯藏期間390日每十五日秤量)
	第五號	11.50%	
	第六號	11.20%	
	第七號	11.00%	

以上ノ如キ試料並ニ貯藏ニヨリ其貯藏中ニ於ケル重量並ニ含水率ノ變化狀況ヲ調査セシニ略前項籾貯藏ノ場合ニ於ケルト同樣ノ現象ヲ示セリ　但含水率大ナル玄米カ水分ヲ放散シ小ナル玄米カ水分ヲ吸收シテ互ニ相接近スル限界含水率ハ玄米ハ籾ヨリ稍大ニシテ14.00%乃至14.50%ニシテ實際的ニハ14.00%ト認メテ可ナルカ如シ　普通籾ト其籾ヲ籾摺シテ得タル玄米トノ含水率ノ差ハ1.0%乃至1.5%ニシテ此關係ニヨリ限界線ノ含水率ニ差ヲ生スルモノト認メラル

試ミニ其VII.大正十三年第一期作每十五日秤量ノ成績ヲ見ルニ

第一號含水率15.80%ノモノハ60日目ニハ15.30%ニ減シ90日目ニハ14.97%トナリ爾後13.55%乃至14.72%ノ間ヲ彷徨セリ

第二號含水率14.90%ノモノハ60日目ニハ14.57%ニ減シ90日目ニハ14.48%トナリ爾後13.73%乃至14.40%ノ間ヲ彷徨セリ

第三號含水率14.90%ノモノハ60日目ニハ15.40%トナリ90日目ニハ15.23%トナリ爾後14.57%乃至15.32%ノ間ヲ彷徨セリ

第四號含水率14.00%ノモノハ60日目ニハ14.50%トナリ90日目ニハ同14.50%ニシテ爾後14.17%乃至14.50%ノ間ヲ彷徨セリ

第五號含水率12.90%ノ物ハ60日目ニハ14.15%トナリ90日目ニハ14.40%ニシテ爾後14.40%乃至14.98%ノ間ヲ彷徨セリ

第六號含水率12.00%ノ物ハ60日目ニハ13.21%トナリ90日目ニハ13.83%トナリ爾後13.67%乃至14.13%ノ間ヲ彷徨セリ

第七號含水率11.50%ノモノハ60日目ニハ13.25%トナリ90日目ニハ13.42%トナリ爾後13.71%乃至14.58%ノ間ヲ彷徨セリ

9　籾ノ乾燥ト其玄米貯藏中ニ於ケル品質ノ變化トノ關係

玄米貯藏後ニ於ケル品質ノ變化ハ籾ノ時代ニ於ケル乾燥ノ如何ニヨルモノニシテ卽チ玄米ノ含水量少ケレハ能ク貯藏ニ堪ヘ大ナレハ變質速ナリ　第九十二表ハ未乾燥並ニ含水率ニヨル6階級ノ籾各150斤ヲ麻袋入トシテ貯藏セシモノヲ每月十五日ニ品質ヲ調査シタルモノニシテ大正十一年ヨリ同十三年ニ至ル3箇年間第一期作並ニ第二期作兩期ニ亙リテ之ヲ施行セリ

今次ニ貯藏ニ用ヒシ玄米試料及其含水率並ニ貯藏試驗ノ成績ヲ示

ス可シ

其I 大正十一年第一期作米	1	15.3%	(大正十一年ヨリ同十二年十月迄貯藏)
	2	14.1%	
	3	13.7%	
	4	12.9%	
	5	12.0%	
	6	11.8%	
其II 大正十一年第二期作米	1	15.3%	(大正十一年十二月ヨリ同十二年十月迄貯藏)
	2	14.4%	
	3	13.9%	
	4	13.4%	
	5	12.5%	
	6	11.4%	
其III 大正十二年第一期作米	未乾燥	16.4%	(大正十二年八月ヨリ同十四年二月迄貯藏)
	1	14.4%	
	2	13.5%	
	3	12.9%	
	4	12.4%	
	5	12.2%	
	6	11.7%	
其IV 大正十二年第二期作米	未乾燥	15.9%	(大正十三年一月ヨリ同十四年二月迄貯藏)
	1	14.3%	
	2	13.8%	
	3	12.2%	
	4	11.0%	
	5	10.2%	
	6	9.6%	

其V 大正十三年 第一期作米	未乾燥	15.8%	(大正十三年八月ヨリ同十四年十二月迄貯藏)
	1	14.9%	
	2	14.5%	
	3	14.0%	
	4	12.9%	
	5	12.0%	
	6	11.5%	
其VI 大正十三年 第二期作米	未乾燥	14.5%	(大正十四年一月ヨリ同十五年一月迄貯藏)
	1	14.2%	
	2	13.3%	
	3	12.6%	
	4	11.5%	
	5	11.2%	
	6	11.0%	

以上ノ如キ試料並ニ貯藏ヲ行ヒ而シテ貯藏ハ品質ヲ調査シ品質下トナルトキハ其貯藏ハ中止スルコトトシタリ

玄米品質ノ鑑定ハ上、上ノ下、中ノ上、中、中ノ下、下ノ6階級トシ鑑定ノ標準ヲ臺灣總督府移出米殼檢査規則ニヨル標準米ニ置ケリ而シテ

上　ハ一等及二等合格相當品質ノモノ
上ノ下　ハ二等合格品中下位ニ屬スルモノ
中ノ上　ハ三等合格品中上位ニ屬スルモノ
中　ハ三等合格品相當品質ノモノ
中ノ下　ハ三等合格品中下位ニ屬スルモノ
下　ハ不合格相當品中下位ニ屬スルモノ

ナリ　但移出檢査ニ於テハ玄米含水率14.5%以上トナルトキハ不合格トナスモノナレトモ本鑑定ニ於テハ含水率ヲ考査セス又調製ノ程度ハ凡テ同一程度トセリ

第九十二表　玄米ノ含水率別貯藏後ニ於ケル品質

其　I

大正十一年第一期米

調査月次	含水率 1	2	3	4	5	6	平均溫度	平均溫度
	15.3%	14.1%	13.7%	12.9%	11.8%	12.0%	c°	%
八月	上	上	上	上	上	上	27.1	84
九月	上	上	上	上	上	上	24.4	83
十月	中ノ上	中ノ上	中ノ上	上	上	上	23.8	81
十一月	中	中	中	上ノ下	上ノ下	上ノ下	19.1	79
十二月	中	中	中	上ノ下	上ノ下	上ノ下	16.5	82
一月	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ上	上ノ下	上ノ下	15.5	80
二月	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ上	上ノ下	上ノ下	15.2	82
三月	下	下	下	中	中	中	18.6	82
四月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	22.2	81
五月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	25.0	77
六月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	26.8	82
七月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	27.9	78
八月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	27.4	81
九月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	25.8	76
十月				下	下	下	23.1	78

（試驗地　臺中）

備考　品種　烏尖

其　II

大正十一年第二期米

調査月次	含水率 1	2	3	4	5	6	平均溫度	平均溫度
	15.3%	14.4%	13.4%	13.4%	12.5%	11.4%	c°	%
十二月	上	上	上	上	上	上	16.5	82
一月	上ノ下	上ノ下	上	上	上	上	15.5	80
二月	中ノ上	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上	上	15.2	82
三月	中ノ上	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上ノ下	上ノ下	18.6	82
四月	中	中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	上ノ下	22.2	81
五月	下	下	中ノ下	中ノ下	中ノ上	上ノ下	25.0	77
六月			中ノ下	中ノ下	中	中ノ上	26.8	82
七月			中ノ下	中ノ下	中	中	27.9	78
八月			下	下	中ノ下	中ノ下	27.4	81
九月					中ノ下	中ノ下	25.8	76
十月					下	下	23.1	78

（試驗地　臺中）

備考　品種　菁稿

其 III

大正十二年第一期米

調査月次	含水率 未乾燥 16.4%	1 14.4%	2 13.5%	3 12.9%	4 12.4%	5 12.2%	6 11.7%	平均溫度 c°	平均濕度 %
八月	上ノ下	上	上	上	上	上	上	27.4	81
九月	中	中	中	中ノ上	上ノ下	上	上	25.8	76
十月	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	23.1	78
十一月	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	21.0	76
十二月	下	下	下	中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	27.4	76
一月				中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	16.9	82
二月				中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	16.3	85
三月				中ノ下	中	中	中	17.8	82
四月				中ノ下	中	中	中	22.1	83
五月				中ノ下	中	中	中	26.3	80
六月				中ノ下	中	中	中	26.4	84
七月				中ノ下	中	中	中	27.8	81
八月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	27.2	81
九月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	26.6	81
十月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	24.8	79
十一月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	19.0	73
十二月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	15.9	82
一月				中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	15.7	85
二月				下	下	下	下	14.6	81

（試驗地　臺中）

備考　品種　烏尖

其 IV

大正十二年第二期米

調査月次	含水率 未乾燥 15.9%	1 14.3%	2 13.8%	3 12.2%	4 11.0%	5 10.2%	6 9.6%	平均溫度 c°	平均濕度 %
一月	中	中	中	上	上	上	上	16.9	82
二月	中	中	中	中	上	上	上	16.3	85
三月	下	下	下	中	上ノ下	上ノ下	上ノ下	17.8	82
四月				中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	22.1	83
五月				中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	26.3	80
六月				中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	26.4	84
七月				中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	27.8	81
八月				中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	27.2	81
九月				中ノ下	中	中	中	26.6	81
十月				中ノ下	中	中	中	24.8	79
十一月				中ノ下	中	中	中	19.0	73
十二月				中ノ下	中	中	中	15.9	82
一月				中ノ下	中	中	中	15.7	85
二月				下	下	下	下	14.6	81

備考　品種　菁稿

（試驗地　臺中）

其 V

大正十三年第一期米

調査月次	水分率 未乾燥 15.8%	1 14.9%	2 14.5%	3 14.0%	4 12.9%	5 12.0%	6 11.5%	平均溫度 C°	平均濕度 %
八月	上	上	上	上	上	上	上	27.2	81
九月	中	中	中	中	中ノ上	上	上	26.2	80
十月	下	下	下	下	中	上	上	24.8	79
十一月					中	上ノ下	上	18.2	76
十二月					中ノ下	上ノ下	上	15.9	82
一月					中ノ下	中ノ上	上	15.7	78
二月					中ノ下	中ノ上	中ノ上	14.8	79
三月					中ノ下	中	中	18.3	88
四月					中ノ下	中ノ下	中	19.3	95
五月					中ノ下	中ノ下	中	25.7	82
六月					中ノ下	中ノ下	中	27.0	81
七月					中ノ下	中ノ下	中	27.8	80
八月					中ノ下	中ノ下	中	28.7	78
九月					中ノ下	中ノ下	中	26.4	79
十月					中ノ下	中ノ下	中	22.2	74
十一月					下	下	中ノ下	20.5	78
十二月							下	15.5	77

（試驗地 臺中）

備考 品種 烏尖

其 VI

大正十三年第二期米

調査月次	含水率 未乾燥 14.5%	1 14.2%	2 13.3%	3 12.6%	4 11.5%	5 11.2%	6 11.0%	平均溫度 C°	平均濕度 %
一月	中	中	上	上	上	上	上	15.7	78
二月	中ノ下	中ノ下	中	中ノ上	上	上	上	14.8	79
三月	下	下	下	中ノ上	中ノ上	上	上	18.3	88
四月				中ノ上	中ノ上	上	上	19.3	95
五月				中ノ上	中ノ上	上	上	25.7	82
六月				中	中	上	上	27.0	81
七月				中ノ下	中	中	中	27.8	80
八月				中ノ下	中	中	中	28.7	78
九月				中ノ下	中	中	中	26.4	79
十月				中ノ下	中ノ下	中	中	22.2	74
十一月				下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	20.5	78
十二月					中ノ下	中ノ下	中ノ下	15.5	77
一月					下	下	下	15.4	80

（試驗地 臺中）

備考 品種 蓍稿

以上ノ成績ヲ考査スルニ年ニヨリ多少ノ差異アルモ大體ニ於テ相一致スルヲ以テ大正十三年ノ成績ヲ主トシテ說明スレハ第一期作米ハ 14.0% 以上ノ含水率ノモノハ十月調査ノ際ハ既ニ品質(下)トナレリ其他ノ年ニ於テモ 14.0% ニ近キ含水率ノモノハ品質ノ惡變早ク十二月又ハ十二月ヲ越ユル際ニハ(中ノ下)トナリ三月迄(中ノ下)ヲ保持スルモノナシ 12.9% ノ含水率ノモノハ八月調査ノ際ハ(上)ニシテ九月(中ノ上)十月(中)トナリ十二月(中ノ下)トナリ翌年十月迄此品位ヲ保持シ十一月(下)トナレリ　含水率 12.0% ノモノハ八月ヨリ十月迄品質(上)ニシテ十一月十二月ハ(上ノ下)一月、二月ハ(中ノ上)三月(中)四月以降(中ノ下)トナリ十一月(下)トナレリ　含水率 11.5% ノモノハ八月ヨリ翌年一月迄 6 箇月間品質(上)ニシテ二月(中ノ上)三月以降十月迄 8 箇月間(中)ニシテ十一月(中ノ下)十二月(下)トナレリ　而シテ各年ノ傾向ヲ通覽スレハ品質ノ惡變ハ四月、五月、六月ニ盛ニシテ特ニ五月、六月ノ 2 箇月間ハ其程度大ナリ

其 VI. 大正十三年第二期作米ニ於テハ含水率 14.5% 及 14.2% ノモノハ一月調査ノ際品質(中)二月(中ノ下)三月(下)トナリ 13.3% ノモノハ一月(上)二月(中)三月(下)トナレリ大正十二年第二期作米含水率 15.9% 14.3% 13.8% ノモノハ品質ハ一月及二月(中)ニシテ三月(下)トナリ相似タル傾向ヲ示シ大正十一年第二期作米ハ大正十二年及大正十三年ノモノニ比較スレハ最初貯藏ノ際約同率ノ含水率ノモノモ品質(上)ナリシヲ以テ四月(中)トナリ五月(下)トナレリ　然レトモ二月及三月ニ於テハ大正十二年及大正十三年ト同樣品質ノ惡變甚シキヲ認メタリ大正十三年其 VI 含水率 12.6% 11.5% 11.2% 11.0% ノ 4 種ハ之ヲ含水率 14.5% 14.2% 13.3% ノ 3 種ニ比較スルニ各々含水率少キニ比例シテ良好ナル品質ヲ維持セルヲ認ムヘシ　然レトモ 12.6% ノモノハ二月(上)ヨリ(中上)ニ 11.5% ノモノハ三月(上)ヨリ(中上)ニ變シ爾後次第ニ品質ヲ低下シ前者ハ十一月、後者ハ一月品質(下)トナレリ　然ルニ 11.2% 及 11.0% ノ 2 種ハ一月ヨリ六月迄品質(上)ヲ維持シ七月ヨリ十月迄(中)十一月及十二月(中ノ下)ニシテ翌年一月(下)トナレリ

其他ノ年ノモノヲ通覽スルニ各年ノ成績ニ多少ノ差異アルモ大體ニ於テ其傾向相一致スルヲ認ムヘシ

今各年並ニ兩期作米ヲ通覽スルニ貯藏後 3 箇月內外ノ時期ハ品質

惡變ノ度大ナル如ク唯乾燥甚タ良好ナルモノ(含水率約12.0%以下)ハ其惡變ヲ防ク力强ク又其良好ナル程度ニ應シ品質保全ノ力モ大ナリ年内ヲ通シテ見レハ五月及六月ハ品質最モ惡變スル時期ナルコトヲ認メラル

大工原氏[1]ハ農事試驗場ニテ米穀ノ乾燥度ヲ研究シテ東北、北陸、山陰地方ノ如ク收穫當時氣候濕潤ナル地方ニ於テハ玄米ノ含水率ハ15%ヲ標準トシ右以外ノ地ニアリテハ含水率14%ヲ標準トシテ乾燥スヘシト述ヘ又近藤及武田兩氏[2]ハ含水率12%迄乾燥スルハ貯藏ニ安全ナラント述ヘタリ　臺灣ニ於ケル貯藏玄米ノ品質ト其含水率トノ關係ハ前述ノ如ク含水率約12%以下ノモノハ其惡變ヲ防ク力强ク品質保全ノ力大ナリト雖モ臺灣產米ノ取引其他實用上ヨリ現在ニ於ケル經濟的乾燥ノ最小限度ヲ考查スレハ玄米含水率13%程度ニアルカ如ク籾ニアリテハ含水率11.5%内外ニアルカ如シ　而シテ此程度ノ乾燥ハ前述各種ノ天日乾燥場ニヨリ晴天2日乃至3日乾ニヨリ容易ニ得ラルヘキ範圍ニ屬スヘシ

10　籾摺時期ト其玄米貯藏中ニ於ケル重量、含水率、容重ノ變化トノ關係

予ハ本章2乃至9ニ於テハ主トシテ各種乾燥場ノ籾及玄米ニ對スル乾燥能率及乾燥程度ヲ異ニスル籾及玄米ノ貯藏前或ハ貯藏中ニ於ケル各種ノ事項ニツキ調查ノ成績ヲ述ヘタリ　然ルニ本項(10)並ニ次項(11)ニ於テハ普通ノ乾燥ヲ行ヘル籾ヲ貯藏シ毎月一定日ニ其一部ノ籾摺ヲ行ヒ其玄米ノ重量、含水率、容重(10)品質(11)ノ變化ヲ證查セル成績ヲ述ヘントス(第九十三表)本調查ハ前項各種ノ調查ニ伴ヒ當然必要トスル所ニシテ兩者相俟ツテ初メテ臺灣ニ於ケル農家、土壠間(トウランケン)(農家ト米穀移出業者トノ間ニ介在スル製米業者ニシテ農家ヨリ籾ヲ買收シ籾摺ヲ行ヒ之ヲ移出業者ニ賣却スルカ或ハ自己カ移出ヲ兼スルモノナリ從ツテ一般ノ米農ハ籾ノ生產ヲナスモノト見テ可ナリ)米穀移出商及一般米商等ノ間ニ於ケル米穀取引並ニ貯藏ノ實際問題ニ密接ナル關係ヲ保ツヘシ

---

(1) 大工原銀太郎：一米穀ノ貯藏ニツキテ　大日本農會報第四八七號(大正十年)

(2) 近藤萬太郎、武田元溫：一米穀貯藏中ニ於ケル米ノ水分含量ノ變遷ニ就キテ　糧食研究(第二十號(大正十二年)

第九十三表　籾摺時期ト其玄米貯藏中ニ於ケル重量、含水率、容重ノ變化

其一　大正十年　第二期作　水分率(%)

調査月次	籾摺月次												平均溫度	平均濕度
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
													c°	%
十二月	13.7												17.4	82
一　月	14.6	14.0											16.3	83
二　月	15.3	15.6	15.8										16.9	87
三　月	16.0	15.4	14.4	14.5									18.7	82
四　月	16.0	15.3	16.3	14.0	15.1								21.9	82
五　月	15.5	16.0	16.4	15.8	15.8	16.5							26.0	84
六　月	15.4	15.4	16.0	15.9	15.8	15.7	15.7						27.1	82
七　月	15.5	15.1	15.2	15.2	16.1	14.6	15.2	14.7					27.8	81
八　月	15.1	15.6	15.6	15.6	16.8	15.2	15.1	14.4	15.0				27.1	84
九　月	16.2	16.8	16.5	15.5	17.0	16.5	16.3	16.1	15.0	15.8			26.2	83
十　月	14.9	15.1	15.4	15.5	15.1	15.3	15.2	14.9	15.2	14.7	15.0		23.8	81
十一月	15.0	15.4	16.7	14.8	15.7	14.8	14.5	15.0	15.2	14.8	15.8	14.4	19.1	79
十二月		15.4	14.6	14.9	15.2	15.4	14.8	15.1	16.0	14.7	14.7	14.2	16.5	82
一　月			14.5	15.3	13.4	13.8	14.8	14.7	14.3	14.6	14.4	14.2	15.5	80
二　月				13.5	14.3	14.8	14.3	14.5	13.0	13.7	13.8	13.2	15.2	82
三　月					14.5	15.0	14.0	14.7	14.4	14.2	14.3	14.0	18.6	82
四　月						15.2	14.9	15.1	14.3	15.0	16.0	14.8	22.2	81
五　月							14.4	14.5	14.8	13.7	15.3	14.7	25.0	77
六　月								14.6	14.7	13.9	14.4	13.9	26.8	82
七　月									14.1	14.7	14.5	14.4	27.9	78
八　月										13.5	14.1	14.2	27.4	81
九　月											14.3	13.7	25.9	76
十　月												13.9	23.1	78
十一月												13.8	21.0	76

（試驗地　臺中）

備考

1. 籾摺及調査ハ毎月十五日ニ行ヒタリ
2. 試料用籾ハ一定ノモノヲ貯藏シ置キ籾摺ヲ行ヒタリ但七月ハ籾摺前ニ1回輕ク日乾シタリ
3. 水分率ハ「ポフマン」氏檢定器ニヨリ實測シタリ
4. 溫度及濕度ハ調査月ノ平均ナリ
5. 貯藏方法ハ2貫500匁宛木綿袋ニ入レ鼠避ケ裝置ヲナシタル茅葺平家倉庫ニ安置シ數回二硫化炭素ノ燻蒸ヲ行ヒタリ
6. 供試品種ハ菅穗第十號

其二　大正十年　第二期作　重量(貫)

調査月次	穎			摺			月				次		平均溫度	平均溫度
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	c°	%
十二月	2.500												17.4	82
一　月	2.535	2.500											16.3	83
二　月	2.538	2.531	2.500										16.9	87
三　月	2.539	2.531	2.507	2.500									18.7	82
四　月	2.531	2.523	2.500	2.518	2.500								21.9	82
五　月	2.503	2.502	2.490	2.495	2.502	2.500							26.0	84
六　月	2.501	2.505	2.502	2.492	2.503	2.493	2.500						27.1	82
七　月	2.481	2.487	2.478	2.480	2.486	2.474	2.488	2.500					27.8	81
八　月	2.477	2.484	2.472	2.464	2.412	2.466	2.481	2.530	2.500				27.1	84
九　月	2.483	2.500	2.476	2.470	2.465	2.473	2.486	2.544	2.530	2.500			26.2	83
十　月	2.476	2.495	2.468	2.445	2.450	2.461	2.477	2.531	2.520	2.505	2.500		23.8	81
十一月	2.455	2.474	2.455	2.430	2.411	2.450	2.466	2.520	2.510	2.492	2.500	2.500	19.1	79
十二月	2.562	2.571	2.455	2.495	2.410	2.447	2.468	2.520	2.514	2.493	2.499	2.502	16.5	82
一　月	2.458	2.466	2.454	2.422	2.407	2.445	2.464	2.517	2.512	2.489	2.495	2.502	15.5	80
二　月	2.524	2.506	2.475	2.494	2.494	2.488	2.490	2.532	2.517	2.395	2.500	2.506	15.2	82
三　月	2.463	2.473	2.461	2.420	2.410	2.453	2.472	2.524	2.517	2.495	2.505	2.513	18.6	82
四　月	2.461	2.467	2.458	2.410	2.414	2.450	2.467	2.520	2.515	2.495	2.500	2.511	22.2	81
五　月	2.458	2.460	2.457	2.396	2.405	2.439	2.466	2.510	2.506	2.488	2.495	2.505	25.0	77
六　月	2.482	2.458	2.448	2.386	2.400	2.433	2.461	2.512	2.497	2.482	2.483	2.505	26.8	82
七　月	2.449	2.453	2.447	2.394	2.402	2.435	2.455	2.513	2.495	2.499	2.486	2.502	27.9	78
八　月	2.549	2.453	2.445	2.387	2.400	3.434	2.453	2.511	2.495	2.477	2.479	2.496	27.4	81
九　月	2.452	2.453	2.443	2.385	2.399	2.428	2.450	2.508	2.496	2.465	2.468	2.495	25.9	76
十　月	2.445	2.444	2.441	2.379	2.395	2.421	2.451	2.504	2.491	2.455	2.462	2.495	23.1	78
十一月	2.444	2.452	2.444	2.377	2.392	2.466	2.447	2.506	2.489	2.447	2.462	2.492	21.0	76
十二月		2.451	2.445	2.377	2.400	2.424	2.450	2.505	2.491	2.431	2.450	2.403	17.4	76
一　月			2.440	2.376	2.400	2.427	2.449	2.509	2.493	2.430	2.450	2.493	16.9	82
二　月				2.380	2.403	2.431	2.451	2.506	2.495	2.433	2.450	2.497	16.3	85
三　月					2.407	2.434	2.454	2.512	2.498	2.432	2.452	2.501	17.8	82
四　月						2.438	2.455	2.512	2.519	2.375	2.380	2.500	22.1	83
五　月							2.467	2.512	2.526	2.371	2.385	2.513	26.3	80

備考　其一ト同ジ　　(試驗地　臺中)

其三　大正十年　第二期作　一升重量(匁)

調査月次	穎			摺			月				次		平均溫度	平均溫度
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	c°	%
十二月	361												17.4	82
一　月	355	355											16.3	83
二　月	355	350	345										16.9	87

調査月次	輕			摺			月				次		平均溫度	平均濕度
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
													c°	%
三 月	355	353	350	355									18.7	82
四 月	353	350	341	350	353								21.9	82
五 月	345	345	349	353	357	343							26.0	84
六 月	345	351	351	351	353	346	351						27.1	82
七 月	349	354	354	357	355	353	355	363					27.8	81
八 月	338	353	353	355	345	350	343	353	348				27.1	84
九 月	343	355	355	354	355	348	353	350	345	353			26.2	83
十 月	345	350	355	348	351	345	348	350	345	353	355		23.8	81
十一月	361	369	363	366	363	358	358	369	361	355	358	358	19.1	79
十二月		375	369	375	372	361	366	369	361	363	323	366	16.5	82
一 月			366	366	372	361	369	361	363	363	361	363	15.5	80
二 月				369	366	372	366	363	358	372	359	369	15.2	82
三 月					363	361	361	363	366	366	363	366	18.6	82
四 月						363	361	361	355	353	366	361	22.2	81
五 月							352	354	348	361	358	359	25.0	77
六 月								363	358	358	357	361	26.8	82
七 月									362	357	358	358	27.9	78
八 月										361	360	364	27.4	81
九 月											361	364	25.9	76
十 月												364	23.1	78
十一月												366	21.0	76

備考　其一ト同ジ　　（試驗地　臺中）

其四　大正十一年　第一期作　水分率(%)

調査月次	輕			摺			月				次		平均溫度	平均濕度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
													c°	%
七 月	14.5												27.8	81
八 月	14.7	15.0											27.1	84
九 月	16.2	16.0	15.2										26.2	83
十 月	15.0	15.0	14.5	14.5									23.8	81
十一月	14.4	14.3	14.7	15.0	13.7								19.1	79
十二月	14.7	14.9	15.7	14.6	15.0	14.0							16.5	82
一 月	14.8	14.8	15.0	14.4	14.6	13.8	13.9						15.5	80
二 月	14.1	14.3	14.4	14.2	14.0	13.9	14.2	14.1					15.2	82
三 月	15.2	14.5	14.7	15.2	14.3	15.0	14.2	15.4	14.0				18.6	82
四 月	14.9	15.3	15.0	15.2	15.0	14.2	16.1	15.0	14.3	14.8			22.2	81
五 月	14.9	14.4	14.1	14.4	14.6	14.7	14.8	14.2	15.7	14.6	—		25.0	77
六 月	14.0	14.4	14.7	14.8	14.9	13.6	14.6	14.6	14.4	14.6	14.5	14.1	26.8	82
七 月		14.5	13.9	14.1	13.8	13.7	13.5	13.8	14.4	14.1	14.7	13.6	27.9	78

調査月次	經				摺				月			次	平均溫度	平均溫度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
													c°	%
八 月			14.5	14.4	14.3	14.4	14.4	14.4	14.5	14.3	14.5	13.8	27.4	81
九 月				14.5	14.5	14.2	13.4	13.4	14.1	13.8	13.8	13.9	25.8	76
十 月					14.6	14.0	13.4	13.6	13.8	13.7	14.2	14.0	23.1	78
十一月						14.0	13.4	13.6	13.8	13.7	14.2	14.0	21.0	76
十二月							12.0	12.9	13.1	13.2	14.0	13.4	17.4	76
一 月								13.4	14.1	13.3	14.2	13.8	16.9	82
二 月									14.0	14.0	14.1	14.0	16.3	85
三 月										15.1	14.1	14.1	21.3	82
四 月											14.9	14.2	22.1	83
五 月												13.8	26.3	80
六 月												14.3	26.2	84

備考　　（試驗地　臺中）

1. 供試品種　烏尖A第三號

2. 其他其一ト同シ

其五　大正十一年第一期作　重量(貫)

調査月次	經				摺				月			次	平均溫度	平均溫度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
													c°	%
七 月	2.500												27.8	81
八 月	2.544	2.500											27.1	84
九 月	2.570	2.545	2.500										26.2	83
十 月	2.558	2.538	2.504	2.500									23.8	81
十一月	2.550	2.523	2.497	2.500	2.500								19.1	79
十二月	2.547	2.525	2.497	2.499	2.500	2.500							16.5	82
一 月	2.548	2.520	2.494	2.495	2.500	2.503	2.500						15.5	80
二 月	2.553	2.527	2.497	2.503	2.504	2.502	2.500	2.500					15.2	82
三 月	2.553	2.525	2.500	2.504	2.507	2.507	2.507	2.507	2.500				18.6	82
四 月	2.547	2.519	2.490	2.500	2.505	2.510	2.507	2.510	2.500	2.500			22.2	81
五 月	2.540	2.510	2.487	2.492	2.500	2.510	2.500	2.508	2.493	2.492	2.500		25.0	77
六 月	2.537	2.506	2.476	2.489	2.495	2.507	2.499	2.495	2.487	2.486	2.491	2.500	26.8	82
七 月	2.533	2.501	2.478	2.490	2.491	2.500	2.494	2.491	2.487	2.484	2.488	2.526	27.9	78
八 月	2.532	2.500	2.475	2.484	2.489	2.495	2.496	2.485	2.488	2.473	2.481	2.513	27.4	81
九 月	2.527	2.510	2.480	2.473	2.492	2.492	2.489	2.490	2.478	2.456	2.479	2.513	25.8	76
十 月	2.523	2.499	2.471	2.466	2.483	2.488	2.489	2.483	2.468	2.448	2.475	2.515	23.1	78
十一月	2.519	2.496	2.468	2.463	2.482	2.485	2.481	2.481	2.467	2.444	2.476	2.504	21.0	76
十二月	2.525	2.502	2.471	2.462	2.481	2.491	2.485	2.483	2.452	2.437	2.478	2.505	17.4	76
一 月	2.522	2.499	2.469	2.460	2.484	2.491	2.486	2.484	2.453	2.434	2.475	2.510	16.9	82
二 月	2.526	2.503	2.474	2.463	2.486	2.492	2.489	2.486	2.455	2.440	2.481	2.509	16.3	85
三 月	2.530	2.507	2.473	2.463	2.491	2.493	2.489	2.486	2.455	2.440	2.482	2.512	21.3	82

調査月次	糊摺月次												平均温度	平均濕度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
													c°	%
四月	2.530	2.502	2.438	2.467	2.506	2.502	2.493	2.502	2.409	2.397	2.476	2.503	22.1	83
五月	2.536	2.513	2.481	2.441	2.505	2.500	2.499	2.498	2.412	2.398	2.494	2.510	26.3	80
六月	2.536	2.513	2.481	2.441	2.505	2.500	2.499	2.498	2.412	2.398	2.494	2.510	26.2	84

備考　其四ト同シ　　（試驗地　臺中）

其六　大正十一年　第一期作　一升重量(匁)

調査月次	糊摺月次												平均温度	平均濕度
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
													c°	%
七月	370												27.8	81
八月	348	353											27.1	84
九月	363	345	345										26.2	83
十月	358	348	353	350									23.8	81
十一月	375	372	363	378	369								19.1	79
十二月	375	372	378	375	369	375							16.5	82
一月	369	372	381	375	372	369	363						15.5	80
二月	384	381	372	363	369	361	363	372					15.2	82
三月	387	375	361	366	369	363	366	366	363				18.6	82
四月	381	375	363	366	366	363	372	363	366	375			22.2	81
五月	358	366	364	355	361	355	354	366	358	358	375		25.0	77
六月	364	364	364	365	361	366	375	366	366	364	364	365	26.8	82
七月		369	369	366	358	364	375	366	368	364	364	366	27.9	78
八月			369	366	366	364	369	372	369	369	366	369	27.4	81
九月				366	364	369	369	372	366	355	369	372	25.8	76
十月					371	369	372	372	369	355	369	372	23.1	78
十一月						369	372	372	369	355	369	372	21.0	76
十二月							368	372	369	340	366	372	17.4	76
一月								378	376	340	378	375	16.9	82
二月									371	346	376	375	16.3	85
三月										340	365	372	21.3	82
四月											376	375	22.1	83
五月												370	26.3	80
六月												375	26.2	84

備考　其四ト同シ　　（試驗地　臺中）

第九十三表ハ大正十年第二期作產籾及大正十一年第一期作產籾ヲ貯藏ノ月ヨリ以後每月十五日籾摺ヲ行ヒ其玄米ヲ貯藏シタルモノナリ　從ツテ籾摺ヲ行フ迄ハ何レモ籾ノ儘藏貯サレタルモノナリ

今成績ノ概要ヲ述フレハ籾摺貯藏後最初ハ含水率及重量ヲ增加シ之ニ反シテ容重ヲ減シ或點ヲ限界トシテ空氣ノ乾濕ニ應シ或ハ水分ヲ吸收シ或ハ放散ス隨テ重量モ亦含水率ニ比例シ增加シ容重ハ反比例シテ減少セリ是等現象ノ大要ハ前項各種ノ試驗成績ト相似タリ而シテ籾摺遲キモノハ早キモノニ比シ貯藏期間ノ平均含水率少ク又各月ニ於ケル含水率ハ五月ヨリ六月ニ亙リテ急激ニ增加シ十二月ヨリ翌年二月ニ亙リテ減少セリ　隨ツテ重量竝ニ容重ハ之ニ伴ツテ變化スル傾向アリ

第九十三表其一及其四ニ據リ籾摺貯藏ヲ始メタル月ヨリ第二箇月目,第三箇月目ト順次同數ノ月ノ間貯藏シタル玄米ノ含水率ヲ平均セシニ第九十四表ノ如キ結果ヲ得タリ

第九十四表　玄米貯藏中ニ於ケル含水率ノ變化

(籾摺時期ヲ異ニセル12類平均)

貯藏月數	含水率 第二期作(大正十年)	含水率 第一期作(大正十一年)	貯藏月數	含水率 第二期作(大正十年)	含水率 第一期作(大正十一年)
	%	%		%	%
1	14.4	15.0	7	14.2	14.9
2	14.6	15.0	8	14.1	15.2
3	14.8	15.3	9	14.2	14.7
4	14.6	15.3	10	14.0	14.8
5	14.4	15.4	11	14.1	14.6
6	14.5	15.1	12	14.1	14.4

卽チ兩期作共貯藏初メハ含水率ノ增加ヲナスモ後次第ニ減少シ限界約14%ニ沿ウテ彷徨セリ　上表ハ12類ノ平均成績ニシテ單ニ大體ノ傾向ヲ寬フニ止マルモ第九十三表其一及其二ニ於テハ籾摺時期ノ遲ルルニ從ヒ含水率ノ增加ノ程度減少スル傾向ヲ示シ全貯藏期間ヲ通シ籾摺晩キモノハ早キ物ヨリ含水率少キヲ見ル　今籾摺月次別ニ全貯藏期間ノ平均含水率ヲ求ムレハ第九十五表ノ如シ

第九十五表　籾摺月次別玄米貯藏中ノ平均含水率

第二期作 大正年	第二期作 籾摺月次	第二期作 含水率	第一期作 大正年	第一期作 籾摺月次	第一期作 含水率
		%			%
10	12	15.3	11	7	14.5
11	1	15.4	11	8	14.8

第二期作			第一期作		
大正年	籾摺月次	含水率	大正年	籾摺月次	含水率
		%			%
11	2	15.6	11	9	14.7
11	3	15.0	11	10	14.6
11	4	15.4	11	11	14.4
11	5	15.2	11	12	14.1
11	6	14.9	12	1	14.0
11	7	14.9	12	2	13.9
11	8	14.7	12	3	14.2
11	9	14.4	12	4	14.1
11	10	14.7	12	5	14.3
11	11	14.1	12	6	13.9

即チ概シテ籾摺月次遅キニ從ツテ平均含水率少シ　近藤[1]武田[2]兩氏ハ俵米ノ含水率ハ貯藏久シケレハ次第ニ減少ス而シテ米カ貯藏年數ト共ニ吸水分ヲ減スル原因ヲ膠質物ノAgingニ歸セリ　第九十三表其一、其四及第九十五表ニ據レハ此現象ハ比較的早クヨリ起リツツアルモノノ如ク想像セラル

貯藏中各月ニ於ケル含水率ノ變化ハ又第九十三表其一及其四ニヨリ總平均ヲ求メシニ第九十六表ノ如キ結果ヲ得タリ

第九十六表　貯藏玄米各月平均含水率

第二期作（大正十年）		第一期作（大正十一年）	
月別	含水率	月別	含水率
	%		%
12	14.9	7	14.0
1	14.3	8	14.4
2	14.3	9	14.8
3	14.6	10	14.2
4	14.3	11	14.1
5	15.3	12	13.9
6	15.1	1	14.2
7	14.9	2	14.1
8	15.0	3	14.7
9	15.7	4	14.9
10	15.1	5	14.5
11	15.2	6	14.4

(1)　近藤萬太郎:—　米穀貯藏ニ關スル研究　(大正十二年)

(2)　近藤萬太郎,武田元溫:—　米穀貯藏中ニ於ケル米ノ吸收膨脹能力ノ變遷ニ就テ　糧食研究第二十一號　(大正十二年)

卽チ上表ニ據レハ五六月前後ハ含水率急激ニ增加シ八九月迄經續シ十月以降漸減シ十二月乃至二月ニ於テ含水率最モ低シ　而シテ第九十表其一及其四ヲ通覽スレハ籾摺遲キモノハ早キ物ニ比シ含水率增加少キハ恰モ乾燥度ヲ異ニスル籾又ハ玄米ノ貯藏試驗ニ於テ乾燥良好ナルモノカ常ニ幾分含水率少カリシト相似タル傾向ヲ示スモノト謂フヘシ

玄米重量ニ就テハ第九十三表其二及其五ニ據リ籾摺後各同量(2貫500)ヲ貯藏セルモノヲ貯藏最初ノ月ヨリ順次貯藏期間相同シキ物ノ平均ヲ求メシニ第九十七表ノ如キ結果ヲ得タリ

第九十七表　貯藏玄米平均重量ノ變化

貯藏月數	玄米重量 第二期作	玄米重量 第一期作	貯藏月次(箇月)	玄米重量 第二期作	玄米重量 第一期作
	瓩	瓩		瓩	瓩
1	2.500	2.500	7	2.486	2.497
2	2.512	2.509	8	2.479	2.495
3	2.507	2.509	9	2.478	2.491
4	2.501	2.505	10	2.482	2.496
5	2.503	2.503	11	2.477	2.486
6	2.482	2.500	12	2.479	2.484

卽チ兩期作共貯藏當初ハ重量ヲ增加シ後次第ニ減少ノ傾向ヲ呈シ含水率ト相似タル傾向ヲ示セリ　第九十三表其一及其四籾摺月次別各欄ニ就テ見ルモ何レモ同シ現象ヲ示セリ

貯藏中各月ニ於ケル重量ノ變化ニ就テハ第九十三表其二,其五ニ據リ籾摺月次ヲ異ニスル各貯藏米ヲ通シ年ニ關係ナク同シ月ノモノノ平均ヲ求メシニ第九十八表ノ如キ結果ヲ得タリ

第九十八表　玄米貯藏中各月平均重量

第二期作(大正十年) 月別	重量	第一期作(大正十一年) 月別	重量
	瓩		瓩
12	2.490	7	2.494
1	2.479	8	2.494
2	2.499	9	2.498
3	2.497	10	2.496
4	2.503	11	2.492
5	2.497	12	3.534
6	2.514	1	2.493

第二期作（大正十年）		第一期作（大正十一年）	
月別	重量	月別	重量
	g		g
7	2.489	2	2.497
8	2.478	3	2.504
9	2.491	4	2.506
10	2.485	5	2.504
11	2.472	6	2.497

上表ハ第九十七表ト同樣一定ノ傾向ヲ窺フニ難シ　而シテ其原因モ亦第九十七表ト同シ理由ニ基クモノナルヘシ飜テ之ヲ第九十三表其二及其五ニ就テ見ルトキハ各々其重量ハ五、六月ヨリ七、八月前後ニ亙リテ大ニシテ其他ニ於テ少キヲ窺フコトヲ得ヘシ

次ニ容重ハ含水率ノ減少ニ反比例シテ增加スルコトハ本章各種ノ試驗ニヨリ明カナリ　而シテ本項第九十三表其一及其二、第九十四表及第九十五表ニ示スカ如ク含水率ハ籾摺時期遲キニ從ヒ或ハ貯藏期間ノ增進ニ伴ヒ各月ノ濕度ノ影響ニヨリ增減シツツ然モ全體トシテハ減少ノ傾向ヲ示セリ　而シテ籾摺時期ヲ異ニセル玄米ノ貯藏試驗成績（第九十三表其三、其六）ハ是等含水率ノ增減ニ反比例シテ容重ノ增減スル傾向ヲ示セリ　而シテ同表各欄ヲ調査シ籾摺當初ノ容重特ニ爾後貯藏中各月ノモノヨリ大ナルモノアルハ多クハ十二月乃至二月前後含水率少キ月ニ籾摺シタルモノニシテ其場合ニ於ケル特殊ノ現象ト認ムヘシ　第九十三表其三及其六ニ就キ籾摺貯藏ヲ始メタル月ヨリ同月數貯藏シタル玄米平均容重及籾摺月次別貯藏期間中ノ平均容重ハ第九十九表竝ニ第百表ノ如シ

第九十九表　籾摺時期ヲ異ニセル玄米貯藏中ニ於ケル平均容重　（一升ノ重量）

貯藏月數	第二期作（大正十年）	第一期作（大正十一年）	貯藏月次（箇月）	第二期作（大正十年）	第一期作（大正十一年）
	g	g		g	g
1	353	356	7	357	368
2	353	362	8	358	367
3	352	363	9	359	368
4	356	368	10	360	368
5	355	368	11	361	366
6	358	368	12	363	368

第百表　籾摺月次別貯藏期間平均容重　(一升重量)

第二期作		第一期作	
貯藏月別	一升重量	貯藏月別	一升重量
	瓦		瓦
大正10.12	350	大正11. 7	369
大正11. 1	355	8	366
2	354	9	365
3	358	10	365
4	359	11	366
5	355	12	366
6	357	大正12. 1	368
7	360	2	370
8	356	3	368
9	360	4	366
10	360	5	364
11	363	6	371

卽チ上表ニ於テモ貯藏長キニ從ヒ或ハ籾摺遲キニ從ヒ容重增加ノ傾向ヲ示セリ　而シテ之ハ籾ノ貯藏,玄米ノ貯藏ヲ通シ同シ原因ニ由リ左右セラルルモノト認ムヘシ　近藤氏[1]ハ俵米ノ容積重ハ貯藏年數ト共ニ增加スト云ヘリ　予ノ實驗成績モ亦此現象ニ一致セリ

次ニ1箇年中ノ季節ニヨル容重ノ變化ヲ見ルニ第九十三表其三及其六籾摺月次各欄ニ於テ五月乃至九月ハ容重少ク十二月乃至二月ハ多キコトニ一致セリ　更ニ前例ニヨリ籾摺月次及貯藏年ニ關係ナク同月ノ容重ノ平均ヲ求メシニ第百一表ノ如ク明カナル傾向ヲ窺フニ難キ結果ヲ示セリ　之レ容重ヲ左右スル各種原因ノ重復錯綜セルタメナルヘシ

第百一表　玄米貯藏中各月ノ容重

第二期作		第一期作	
月別	一升重量	月別	一升重量
	瓦		瓦
12	367	7	367
1	358	8	366
2	362	9	363
3	360	10	363
4	356	11	370
5	356	12	369

(1)　近藤萬太郎:—　米穀貯藏ニ關スル研究　(大正十二年)

第二期作		第一期作	
月別	一升重量	月別	一升重量
	匁		匁
6	353	1	371
7	356	2	369
8	352	3	366
9	353	4	370
10	350	5	362
11	362	6	365

II 籾摺時期ト玄米貯藏中ニ於ケル品質變化トノ關係

貯藏玄米ニ對スル外界ノ影響ハ普通普遍的ノモノニ非スシテ濕度ト氣溫ノ高低ニ從ヒ程度ノ差アルコトハ云フ迄モナク一般ノ熟知スル所ニシテ近藤氏[1][2][3]其他ノ調査研究アリ　予モ亦本章各項ニ於テ之カ試驗成績ニ就テ述フル所アリタリ　予ハ更ニ臺灣ニ於ケル米穀籾摺時期ト其玄米貯藏後ニ於ケル品質變化トノ關係ヲ直接ニ知ランカ爲試驗ヲ行ヒ第百二表ニ示スカ如キ成績ヲ得タリ蓋シ臺灣ノ如キ高溫多濕ナル熱帶的氣象ヲ有スル地方ニ於テハ貯藏米質ノ變化亦大ナルモノ有ル可ク之ヲ內地ニ於ケル事情ト同一視スヘカラス貯穀ノ實行方法亦自ラ異ナルト認メタレハナリ　第百二表ノ試驗ハ每月籾摺ヲナシ150斤宛麻袋入トナシ一定ノ倉庫ニ貯藏セシモノヲ每月十五日其品質ヲ調査セシモノニシテ此成績ニヨレハ五月乃至六月ヲ通スル際ハ他ニ比シ變質スルコト著シク速ナリ蓋シ該月ハ氣溫急激ニ上昇シ濕度亦大ナルニ因ルヘシ　又七月乃至九月ハ第一期作米ハ收穫中又ハ收穫直後ニシテ品質良好ナレトモ1箇年後ニ於テハ五月乃至六月ト同シク惡變迅速ナリ第二期作米モ亦七月乃至九月ニ於テハ五月乃至六月ニ續キ惡變速ナリ而シテ兩期作米其九月ヲ經過シタルモノハ惡變ノ度迅速ナラス又兩期作米ヲ通シ籾摺當時ノモノハ何レモ品質良好ニシテ其惡變ハ籾摺後ニ於テ進行スルコト特ニ顯著ナリ從ツテ五,六月頃ニ於ケル籾摺ハ最モ不利ナル現象ヲ呈セリ

本成績及第八十二表乃至第百二表ノ成績ニヨレハ臺灣ノ氣象ハ籾

(1) 近藤萬太郎:一　米穀貯藏ニ關スル研究　(大正十二年)
(2) 近藤萬太郎,武田元溫:一　米穀貯藏中ニ於ケル米ノ水分含量ノ變遷ニ就キテ、糧食研究第二十號　(大正十二年)
(3) 米穀貯藏ニ關スル調査、農商務省　(大正六年)

米ノ乾燥ヲナスニハ一般カ想像スル如ク不良ナルモノニ非ス却テ乾燥良好ナル籾米ヲ得ルニ容易ナレトモ之ヲ貯藏スルニ玄米トシテ貯藏スルハ安全ト云フ可カラス　一般農家又ハ土壟間等ハ籾ノ貯藏ヲナスヲ有利トス　恰モ予ハ佛領印度支那、暹羅、英領東印度、馬來半島、爪哇、比律賓等ノ熱帶米產地ヲ視察シ同地方ノ米農又ハ製米業者ノ貯藏ハ殆ト籾ニヨルヲ認メタルカ臺灣ニ於ケル從來ノ慣行亦之ニ類スルカ如キハ良ク前記ノ消息ヲ語ルモノト云フ可ク故ニ此慣行ハ永ク持續スルト共ニ將來一層ノ改善ヲ計ルヲ得策トシ敢テ玄米貯藏ニ改メサルヲ有利トスヘシ　然レトモ農家又ハ土壟間ニシテ止ムヲ得ス玄米トシテ貯藏スルニ至ル場合或ハ既ニ市場ニ玄米トシテ出廻リ或ル期間ノ貯藏ヲ要スル場合ニ於テハ五月ヨリ六月ニ至ル期間或ハ更ニ九月中旬頃ニ至ル期間ハ特ニ貯藏場所ノ氣溫並ニ濕度ノ調節ニ注意シ貯藏ノ乾燥ヲ良好ニ維持シ其品質ノ惡變ヲ防止セサルヘカラス

第百二表　籾摺月別玄米ノ貯藏中ニ於ケル品質ノ變化

其　I

大正十年第二期作

調査月次	籾摺月次											
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
一月	上											
二月	上	上										
三月	中ノ上	上	上									
四月	中	上ノ下	上ノ下	上								
五月	中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上							
六月	中ノ下	中	中	中ノ上	中ノ上	上						
七月	下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中	中	上					
八月		下	下	下	中	中	中	上				
九月					下	下	下	中ノ上	上			
十月								中	上ノ下	上		
十一月								中	中ノ上	上ノ下	上	
十二月								中	中ノ上	中ノ上	上ノ下	上
一月								中	中	中ノ上	上ノ下	上
二月								中	中	中ノ上	中ノ上	上
三月								中ノ下	中	中ノ上	中ノ上	上ノ下
四月								中ノ下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中
五月								下	中ノ下	中ノ下	中ノ下	中
六月									下	下	下	下

（試驗地　臺中）

備考　品種　著稿

其 II　　大正十一年第一期作

調査月次	穎			穗			月				次	
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
八月	上											
九月	中	上										
十月	中	上ノ下	上									
十一月	中	上ノ下	上	上								
十二月	中ノ下	上ノ下	上ノ下	上ノ下	上							
一月	下	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上	上						
二月		中ノ上	上ノ下	上ノ下	上	上	上					
三月		中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上	上ノ下	上				
四月		中	中	中ノ上	上ノ下	上ノ下	上ノ下	上ノ下	上			
五月		中ノ下	中	中	中	中ノ上	中ノ上	中ノ上	上	上		
六月		下	下	下	下	下	下	下	中	中	上	
七月									下	下	中	上
八月											下	中
九月												下

（試驗地　臺中）

備考　品種　烏尖

12　玄米ノ大サ竝ニ形狀

玄米ノ大サハ千粒重量ニ於テ最大24.5瓦最小13.5瓦平均18.7瓦ナル成績ニヨリ知ラルルカ如ク著シク小粒ナリ殊ニ水稻ニアリテハ最大僅ニ21.5瓦ヲ示スニ過キス　之ヲ內地米ニ比較スルニ水稻ハ殆ト最小ノ階級ニ屬シ陸稻ノ最大ナルモノト雖モ尙中粒ニ位スヘシ（第百三表）

形狀ハ一般ニ極メテ長形ニシテ內地米ノ圓形ノ標準タル幅長ノ比1.6以下ニ位スルモノハ僅ニ數種ニ過キス然モ是等ノ多クハ糯種ニシテ粳種ニアリテハ僅ニ短廣花蝶系1種ノ圓形ノモノアルノミ　其最モ長キハ長サカ幅ノ3倍以上ナルモノアリ　臺灣米ノ小粒長形ナルコトハ內地ノ嗜好ニ適セス移出米トシテ聲價擧ラサル所以ナリ　短廣花蝶系ノ米質優良ナラサルニ移出米トシテ常ニ良質ナル長形米ニ比シ高價ニ取引セラルルハ全ク圓形ナルカタメナリ　（第百四表）

臺灣種中第一期作種ト第二期作種ヲ比較スレハ概シテ第二期作種ノ方小粒長形ナル傾向アリ　同一品種ヲ兩期作ニ栽培スル時モ亦此傾向ニ陷リ易シ

第百三表　玄米大小ヲ重量ニテ示セル階列

（千粒重量　單位瓦）　　大正五年

要項		總數	24.5	24.0	23.5	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	20.5	20.0
品種數	第一期	72	—	—	—	—	—	—	3	5	2	12
	第二期	57	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2
	中間作	18	—	—	—	—	—	—	1	2	2	4
	陸稻	28	2	2	—	2	1	2	1	1	2	4
	計	175	2	2	—	2	1	2	5	9	7	22

19.5	19.0	18.5	18.0	17.5	17.0	16.5	16.0	15.5	15.0	14.5	14.0	13.5	平均
12	13	6	5	5	6	2	—	1	—	—	—	—	17.6
1	3	5	2	9	7	10	6	7	1	1	—	1	17.1
1	2	—	2	—	2	1	1	—	—	—	—	—	19.1
2	3	1	2	2	—	—	1	—	—	—	—	—	20.5
16	21	12	11	16	15	13	8	8	1	1	—	1	18.7

各級ニ於ケル品種數	大小ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	20.0	以上	大	52	22	4	9	17
	18.0 20.0	以上 未満	中	60	36	11	5	8
	14.0	未満	小	63	14	42	4	3

本表ヲ内地種標準ニ對照スレハ次ノ如シ

各級ニ於ケル品種數	大小ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	30.0	以上	最大	—	—	—	—	—
	27.0 30.0	以上 未満	大	—	—	—	—	—
	23.5 27.0	以上 未満	中	4	—	—	—	4
	21.5 23.5	以上 未満	小	10	3	—	1	6
	21.5	未満	最小	161	69	57	17	18

第百四表　玄米形狀ノ階列　（幅長ノ比）

要項		總數	3.05	2.65	2.50	2.45	2.40	2.35	2.30	2.25	2.20	2.15
品種數	第一期	72	1	—	—	1	1	1	1	1	—	3
	第二期	57	—	—	—	—	—	1	4	3	3	10
	中間作	18	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2
	陸稻	28	—	—	—	1	—	—	—	—	4	2
	計	175	1	1	—	2	1	2	5	4	8	17

大正五年

2.10	2.05	2.00	1.95	1.90	1.85	1.80	1.75	1.70	1.65	1.60	1.55	平均
8	6	9	9	5	6	10	3	1	3	—	3	1.96
5	4	2	7	6	4	5	—	—	—	3	—	2.02
2	3	4	2	2	—	—	—	1	—	—	—	2.05
6	—	3	1	6	1	—	1	2	—	—	1	2.00
21	13	18	19	19	11	15	4	4	3	3	4	2.00

各級ニ於ケル品種數	形狀ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	2.00	以上	長	93	32	32	13	16
	1.65 2.00	以上 未滿	中	75	37	22	5	11
	1.65	未滿	圓	7	3	3	—	1

本表ヲ內地種標準ニ對照スレハ次ノ如シ

各級ニ於ケル品種數	形狀ノ標準			總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	1.8	以上	長	157	62	54	17	24
	1.6 1.8	以上 未滿	中	14	7	—	1	3
	1.6	未滿	圓	4	3	—	—	1

臺灣ニ栽培セル內地種ノ玄米ハ之ヲ臺灣種ニ比較スルニ著シク圓形ニシテ大粒ナリ　卽チ大正十三年第一期作及第二期作ニ試作セル內地種184種ニ就キ調査セシニ第一期作ハ千粒ノ重量最大26.5瓦,最小19.0瓦,平均23.47瓦,第二期作ハ最大25.0瓦,最小17.5瓦,平均22.11瓦ヲ示シ(第百五表其I)粒形ハ幅ニ對スル長サノ比第一期作最大2.00,最小1.45,平均1.623,第二期作最大2.05,最小1.35,平均1.755ヲ示セリ(第百六表其I)

一般ニ第二期作產玄米ハ第一期作產玄米ニ比シ稻長形小粒ナルモ之ヲ臺灣種玄米ニ比較スレハ圓形ニシテ大粒ナルコトニ於テ同一ナリ(第百四表,第百五表,第百六表)之ヲ內地ニ於ケル加藤氏[1]ノ玄米大小竝ニ形狀ノ標準ニ照合スルトキハ(第百五表其II,第百六表其II)千粒ノ重量23.5瓦以上27.0瓦未滿(標準中及小)ノモノ大多數ヲ占メ形狀ハ幅ニ對スル長サノ比1.6以上1.9(第百六表其I)大多數ヲ占ム　然レトモ之ヲ臺灣種玄米ノ標準千粒重量20.0瓦以上ヲ大粒幅ニ對スル長サノ比2.0以上ヲ長形トスル場合ニ比較スレハ內地種ハ兩期作ヲ通シテ殆ト全部大粒ニシテ

(1) 加藤茂苞:— 稻作ニ就テ 農事講習會講演筆記錄(奈良縣農會) (大正二年)

形狀中形又ハ圓形トナルヲ認ムヘシ

第百五表　臺灣產內地種玄米大小ノ階列

其　I　(千粒重量 單位瓦)　大正十三年

要項		總數	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.5	25.5	26.0	26.0	平均 重量	平均 指數
品種數	第一期作	184	—	—	—	2	4	4	1	9	12	4	15	24	18	22	27	19	17	5	1	23.47	100.0
	第二期作	184	2	1	6	4	4	10	8	12	22	14	33	21	20	14	7	6	—	—	—	22.11	94.2

其　II

各級ニ於ケル品種數	大小ノ標準			總數	第一期作	第二期作
	30.0	以上	最大	—	—	—
	27.0 30.0	以上 未滿	大	—	—	—
	23.5 27.0	以上 未滿	中	156	109	47
	21.5 23.5	以上 未滿	小	145	55	90
	19.5 21.5	以上 未滿	最小	52	18	34
	18.0 19.5	以上 未滿		13	2	11
	18.0	未滿		2		2

第百六表　內地種玄米形狀ノ階列

其 I　幅長ノ比　大正十三年

要項		總數	2.05	2.00	1.95	1.90	1.85	1.80	1.75	1.70	1.65	1.60	1.55	1.50	1.45	1.40	1.35	平均 幅長ノ比	平均 指數
品種數	第一期作	184	—	1	2	5	15	29	44	36	24	18	6	2	2	—	—	1.623	100.0
	第二期作	184	1	1	3	10	29	33	42	31	19	11	1	1	1	—	1	1.755	108.1

其 II

各級ニ於ケルnn種數	長圓ノ標準			總數	第一期作	第二期作
	1.8	以上	長	129	52	77
	1.6 1.8	以上 未滿	中	225	122	103
	1.6	未滿	圓	14	10	4

其III 玄米ノ長サ（單位$\frac{1}{10}$mm）大正十三年

期作		總數	24.0	41.0	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0	平均米長 米長	平均米長 指數
nn種數	第一期作	184	1	—	1	—	2	8	6	10	6	18	20	42	24	28	8	7	2	1	55.5	100.0
	第二期作	184	—	1	1	2	4	9	3	11	8	21	21	45	19	32	4	2	1	—	55.1	99.3

其IV 玄米ノ幅 （單位$\frac{1}{10}$mm）大正十三年

期作		總數	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	平均米幅 米幅	平均米幅 指數
nn種數	第一期作	184	—	—	12	10	42	41	73	4	2	31.4	100.0
	第二期作	184	2	3	26	26	58	41	28	—	—	31.0	98.7

其V 玄米ノ厚サ （單位$\frac{1}{10}$mm）大正十三年

期作		總數	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	平均米厚 米厚	平均米厚 指數
nn種數	第一期作	184	—	2	22	32	124	4	—	—	—	—	—	22.0	100.0
	第二期作	184	40	37	58	29	18	—	1	—	—	—	1	20.8	94.5

其VI　平均成績　　大正十三年

要項	第一期作		第二期作	
	實數	指數	實數	指數
玄米千粒重量 (g)	23.470	100.0	22.110	94.2
玄米幅長ノ比	1.623	100.0	1.755	108.1
玄米ノ長サ $\frac{1}{10}$mm	55.5	100.0	55.1	99.3
玄米ノ幅 $\frac{1}{10}$mm	31.4	100.0	31.0	98.7
玄米ノ厚サ $\frac{1}{10}$mm	22.0	100.0	20.8	94.5

備考　幅長ノ比第一期作100點圓形トスル時ハ第二期作ハ92.5點圓形トス

臺灣米ノ玄米モ第二期作產ハ第一期作產ニ比シ一般ニ長形小粒ナルモ品種ヲ異ニスルカタメ粒形及其大小ト栽培期節トノ關係ヲ知ルニハ不充分ナリ　然レトモ內地種ハ同一ノ品種ヲ兩期作ニ亙リテ栽培セシカタメ其關係明ニシテ第二期作產玄米ノ長形小粒ナル直接原因トシテハ厚サノ減少ハ小粒タラシムル最大ノ原因ニシテ幅ノ減少之ニ次キ長サハ最モ其度少シ　而シテ幅ノ減少カ長サノ減少ニ比シ大ナルコトハ第二期作產玄米カ第一期作產ノモノニ比シ長形トナル所以ナリ(第百六表其III.其IV.其V.其VI)

以上ノ如ク第二期作產玄米カ小粒長形トナルコトハ一般的現象ナリト雖モ前記成績ハ普通北部地方ニ於ケル第二期作植付期七月下旬ニ挿秧シ十八日苗ヲ用ヒタル場合ノ成績ヲ示スモノナリ　然レトモ第二期作內地種ノ栽培法トシテハ寧ロ六月中ニ植付クルヲ有利トスヘク特ニ一層若苗ヲ用フルトキハ草丈穗長ヲ伸長セシメ得ヘク其結果ハ相關的ニ粒重ヲ大ニシ豐圓タラシムヘシ是等ハ第四編·第七編·第八編ノ研究結果ニヨリ歸納シ得ヘキ事項ニ屬ス

第二期作產內地種米ノ品質第一期作產ノモノニ劣ルカ如ク稱セラルル所以ノモノハ第二期作內地種耕作法カ一般ニ周知セラレス特ニ苗ノ育成法適當ナラス或ハ植付適期ヲ誤リシニ基因スルコト多キモノト認ムルヲ至當トスヘシ　而シテ又第一期作米ハ主トシテ五月乃至八月內地市場ニ於テ貯藏米ノ端境期ニ相當スル時期ニ移出サルルヲ以テ高價ニ取引セラルルモ第二期作米ハ其收穫期內地ニ於ケル收穫期ト大差ナキタメ從ツテ第一期作米ニ於ケルカ如ク取引上有利ナラス自然特ニ高價ナラサルコトカ品質不良ナリト稱セラルル原因ヲ

ナスコトモアルヘシ　予ヲ以テ之ヲ云ハシムレハ臺灣ニ於ケル內地種第二期作產米ハ適當ナル栽培法ニヨリ粒ノ大サハ寧ロ第一期作ニ劣ラサルモノヲ作リ得ヘク而シテ第二期作成熟收穫乾燥時期ハ第一期作ノモノニ比シ低溫ニシテ漸次遞下スルヲ以テ籾米ノ乾燥急激ナラス從ツテ胴割腹白ノ步合少キタメ却テ品質良好ナルモノヲ得ヘキ理ナリト稱セサルヘカラス　次ニ參考ノタメ余カ別ニ大正十四年ニ於ケル內地種試作ノ成績中ヨリ玄米ノ大小竝ニ粒形ノ變異ヲ調査セルモノヲ摘錄セン(第百七表)

第百七表　栽培期作ヲ異ニスル內地種玄米大小形狀ノ變異

大正十四年

要項	千粒重量		長サ		幅		厚		幅長比	
	平均	指數	平均	指數	平均	指數	平均	指數	平均	指數
	瓦		粍		粍		粍			
第一期作	22.77	96	5.178	92	2.990	93	2.048	89	1.73	99
第二期作	24.08	102	5.325	95	3.057	95	2.075	90	1.74	100

備考

I. 指數ハ大正十三年第一期作ノモノヲ100トシテ計算セルモノ

II. 調査品種竝ニ品種數(184)第百五表ニ同シ

第百七表ニヨレハ第二期作米ハ幅ニ對スル長サノ比1.74、第一期作米ハ1.73ニシテ第二期作米ハ第一期作米ヨリ稍長形ナルモ千粒重量ハ第一期作米ハ22.77瓦第二期作米ハ24.08瓦ニシテ大正十三年第一期作米ヲ100トシテ大正十四年ニ於テハ第一期作米96、第二期作米102ノ指數ヲ示シ第二期作米ノ方却テ優レリ　是等ノ事實ニヨリ第二期作內地種米ノ品質ハ第一期作ニ優リ得ヘキコトヲ想像シ得ヘシ

以上ハ內地種ニヨリ第一期作米及第二期作米ノ粒形及其大小ト栽培期節竝ニ栽培法トノ關係ヲ略述シタルモノナリ　臺灣種ノ玄米ニ於テハ第二期作米ハ第一期作米ニ比シ長形小粒ナルコトハ品種ノ特性ニヨルコト大ナルモノト認ムルモ更ニ幾分內地種ト同樣栽培期節栽培法トノ關係ハ考慮シ置クヘキモノト思料セラル

13　玄米ノ大サ竝ニ形狀ノ遺傳

玄米ノ大サ及形狀ノ遺傳ニ關シテハ加藤氏[1](1916)ハ長形粒ト圓形粒

(1) 加藤茂苞:一農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況、日本育種學會報第一編一號(大正五年)

トノ交配及大粒ト小粒トノ交配ニ於テF_1ハ孰レモ中間性ヲ現ハシ兩親ノ範圍內ニ分離スルモノナリトセリ Parnell[1] (1917) ハ形狀ニ於テ著シク異ナレル品種間ノ交配ニ於テF_1ハ中間性ヲ示シF_2ニ於テ互ニ重複セル型ノ複雜ナル階列ヲ示シテ連續的變異ヲ呈スルコトヲ報告セリ E. Van der Stoch and L. Koch[2] (1923) ハ平均粒重ニ殆ド差ナクシテ平均ノ長サ及幅ニ於テ著シク異ナレル粒ヲ有スル兩品種ノ交配ニ於テ其F_2ハ著シキ變異ヲ示シ兩親ヨリハ明ニ大ナル粒及明カニ小ナル粒ヲ有スル個體ヲ生シ此間ニハ中間性ノ階列ヲ示シ此內固定性ノモノアルコトヲ報告セリ 下山氏[3] (1924) ハ玄米ノ大小ノ遺傳ニ關シテハF_1ハ殆ド中間遺傳ヲ表ハシF_2ニ至リテ兩親ノ兩端ヨリ連續的ニ現ハシ其大ナルモノヨリハ大粒,小ナルモノヨリハ小粒ヲ生ストセリ又玄米ノ形狀ノ遺傳ニ關シテモ同樣ノ關係アリトセリ 永井氏[4] (1926) ハ農事試驗場元畿內支場ニ於ケル實驗成績ヲ引照シ無芒白笹ニ發見セル小粒型ハ大粒型ニ對シテ優性ノ關係ヲ有シ且兩型ハ二性雜種ノ遺傳形式ヲ執ルモノノ如シトセリ 又信州金子(小粒)ト美濃早生(大粒)トノ交配ニ於テハF_2ノ分離狀態ヨリスレハ大粒型ハ前例ト同シク劣性ニシテ且大粒株ハ出穗期ノ早キモノノミニ生シ兩者ノ間ニ相關アルモノノ如シトセリ 又玄米ノ形狀ニ關シテハ元畿內支場ノ成績ニ由レハF_1ニ於テ兩親ノ中間性ヲ表ハス場合多シトセリ予カ內地種大稻ト臺灣種烏尖トヲ交配シ太サハ長·幅·厚ノ相乘積·形狀ハ幅·長サノ比ヲ調査セシ結果ニヨレハF_1ハ太サ·形狀共ニ中間性トナリF_2ニ於テモ種々ノ程度ノ中間性ヲ現シ多元形質ナルコトヲ想像セシムル分離ヲナシ以テ從來ノ實驗成績ノ多クト一致スルコトヲ示セリ第百八表並ニ第百九表ハ其成績ナリ 此現象ハ常ニ內地種ト臺灣種トノ交配育種試驗ノ實際ニ於テハ絕エス遭遇スル事實ナリ

---

(1) Parnell, F. R.:- The Inheritance of Characters in Rice II. Men. Dept. Agric. India, 11, 1922, No. 3. 185–208.

(2) E. van der Stock and L. Koche- Bastardierungam Reis. C. Fruwith-Handbuch der landw. Pflanzenzüchtung, Bd. 5, 2te auflage, 1923

(3) 下山長次:一稻ノ雜種ト實用型遺傳、大日本農會報第五十七號、第五十八號(大正十三年)

(4) 永井威三郎:一日本稻作講義(大正十五年)

第百八表　玄米ノ大サノ遺傳現象

大正五年—大正七年

| 品種 | 玄米 | | |

ノ									形
1.74	1.77	1.80	1.83	1.86	1.89	1.92	1.95	1.98	2.01
29	22	17	2	3	2	—	—	—	—
—	—	—	—	—	3	7	11	1	29
3	—	5	3	10	16	6	16	5	12
25	44	61	31	65	31	44	29	8	34

狀						(幅：長)			
2.04	2.07	2.10	2.13	2.16	2.19	2.22	2.25	2.28	2.31
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	37	12	19	18	8	5	7	5	2
4	6	2	2	2	1	1	1	—	—
26	20	13	10	8	1	2	3	2	5

2.34	2.37	調査個體數	平　　均
—	—	200	1.68±0.17
1	—	200	2.08±0.20
—	—	100	1.95±0.40
2	1	575	1.86±0.21

(試驗地　臺中)

14　不稔性ノ遺傳

水稻ニ於テ屢々不稔性ノ現ハルルコトハ從來人々ノ實驗セル所ニシテ其不稔性ニモ種々ノ程度アリ　卽チ個體カ全然結實セサルモノ約半數ノ結實ヲ見ルモノ不稔率0乃至50%又ハ50%—100%ノ中間ニ位スル等是ナリ　而シテ不稔性ノ起ル原因ニ就テハ完全稔熟品種ヨリ偶然變異ニヨリテ生スルコトアリ又完全稔熟ノ品種間ノ交配ニ因リテ起ルコトアリ

今稻ノ不稔性ニ關スル從來ノ研究成績ヲ見ルニ寺尾氏[1] (1917) ハ水稻ノ或品種ニ於テ部分的不稔性ヲ呈スル一個體ヲ發見セルカ此個體ニ生スル種子ハ再ヒ此性質ニ關シ分離ヲ呈シ又不稔性ハ稔性ニ對シ簡單ナル劣性ナルコトヲ示シ更ニ稔性ヲ起ス因子ハ不稔性因子ニ變化シ又之ト反對ニ不稔性因子カ稔性因子ニ變化スルコトヲ示セリ

(1) Terao, H.: — On Reversible Transformability of Allelomorphs. Amer. Naturalist, 51, 1917 690-698.

寺尾氏[1] (大正十年) ハ又水稻關山種ニ於テ發見セル半稔稻ニ於テ自花授精ニヨリテ生セル後裔ハ常ニ1(結實稻):1(不稔稻)ニ分離シ結實稻ハ固定シ不稔稻ハ同樣ノ分離ヲ繼續スルコトヲ示シ又不稔稻ニ於テハ發育不完全ナル花粉ノ發生著シク多キコトヲ示セリ　尙氏ハ雌性配偶子ニ對スル致死因子及雄性配偶子ニ對スル半致死因子(Semi-lethal factor)ノ想定ニヨリテ此遺傳現象ヲ說明セリ　鈴田巖氏[2] (大正十一年) ハ臺灣ニ於テ黑糯ニ部分的不稔性　蠶卵朮ニ殆ト完全ナル1不稔性ノ現ハレシコトヲ報告シ是等ハ自然交配ニ歸スヘキモノナラントセリ　近藤萬太郎,小野眞威冑氏[3] (大正十二年) ハ水稻神力ノ或系統ニ於テ半稔性出現セルヲ發現シ此者ハ數年間ノ純系繁殖ノ結果常ニ不稔稻ノミヲ生シ其Homo Zygonsナルコトヲ示スト報告セリ　石川潤一氏[4](大正十四年) ハ水稻豐國ノ一純系ニ於テ配偶子致死因子ニヨル2種ノ半稔稻接合子致死因子ニヨル一種ノ半稔稻ヲ發見セリ　而シテ前者ニ屬スル半稔稻ノ一ハ稔稻50%,半稔稻50%ノ分離ヲ起シ他ノ一ハ約半稔稻12%,稔稻88%ヲ生シ又接合子致死因子ニ因ル半稔稻ハ重複劣性ナルコトヲ示シ尙細胞學的研究ニヨリ花粉及胚囊ノ發育狀態ヲ檢セリ　永井威三郎氏[5][6] (大正十五年) ハ水稻石川區ト大黑トノ交配ノ後裔ニ於テ偶然變異ニヨリ3種ノ完全不稔稻ト1種ノ半稔性ヲ生セルヲ發見セリ完全不稔稻ハ雌蘊ノ雄蘊化ニヨルStaminoidal sterile.花粉ノ異常ニヨルAwned sterile.雄蘊及雌蘊ノ大部分ノ穎化ニヨルPaleaccons sterile.ニシテ孰レモ正常型ニ對シ劣性ナリ又半稔稻ハ直ニ固定スレトモReverionニヨリテ少數ノ稔稻ヲ生スルコトアリ而シテ稔稻ニ對シ劣性ナルコトハ前者ト同シキコトヲ報告セリ

予カ不稔稻ニ關スル觀察ハ未タ充分ナラサルモ今從來ノ實驗ニヨ

---

(1) 寺尾博:— 稻ニ於ケル半稔性ノ突然變異及遺傳現象、遺傳學雜誌第一卷第一號(大正十年)

(2) 鈴田巖:— 採種栽培ニ就テ、臺灣農事報第一八七號 (大正十年)

(3) 近藤萬太郎,小野眞威:— 不稔稻ノ一例ニ就キテ、農學會報第二五〇號 (大正十二年)

(4) 石川潤一郎:— 稻ニ於ケル致死遺傳質ノ作用、札幌農林學會報第十七年第七五號,第七六號 (大正十四年)

(5) 永井威三郎:— 日本稻作講義 (大正十五年)

(6) Nagai, I.:— Studies on the Mutations in Oryzasatira L. Jap. Journal of Botany, 3,1926,.No225–96.

リ知リ得タル所ヲ記サンニ内地種ト臺灣稻トヲ交配シタル場合ニ於テハ著シク不稔性粃ヲ生スルコト普通ナリ　而シテ全粒數ニ對スル其比ハ兩親ニ用ヒシ品種ニヨリテ同シカラス　内地種大稻ト臺灣種烏尖ト交配セシ結果ニヨレハ第百十表ノ如クF_1ノ不稔比率55.22±0.47ニシテ約半數ヲ示シ又内地種神力ト臺灣種烏尖トノ交配ノ結果ハ第百十一表ノ如クF_1ニ於テ不稔性極メテ大ニシテ94.72%ニ達セリ

第百十表　不稔性ノ遺傳現象

大正五年—大正七年

品種	一穗全粒數ニ對ス										
	100	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
大稻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
烏尖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大稻×烏尖F_1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	2
大稻×烏尖F_2	3	3	3	3	5	5	4	12	8	12	20

ルノ粃ノ割合（單位%）										計	平均
45	40	35	30	25	20	15	10	5	0		
—	—	—	—	—	—	3	6	51	32	92	4.78±0.07
—	—	—	—	—	—	—	4	47	25	76	4.78±0.08
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	56.22±0.47
21	36	56	55	70	62	90	67	31	9	575	25.65±0.16

（試驗地　臺中）

第百十一表　不稔性ノ遺傳現象

大正九年—大正十年

品種	一穗全粒數										
	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90
神力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
烏米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神力×烏米F_1	4	4	7	2	4	10	—	6	2	7	1

ニ對スル粃												
89	88	87	86	85	15	14	13	12	11	10	9	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—

ノ		割		合		(單位%)		計	平 均
7	6	5	4	3	2	1	0		
1	—	3	15	61	25	26	21	152	2.24±0.11
—	2	—	8	53	34	23	25	146	2.68±0.10
—	—	—	—	—	—	—	—	50	94.72±0.16

(試驗地 臺中)

更ニ大稻ト烏尖トノ交配ノF_2ヲ見ルニ從來不稔稻ニ於テ觀察セラレタル所ノ不稔性ノ固定スル場合又ハ簡單ナル劣性トシテ行動スル場合トハ其趣ヲ異ニシテ其分離ノ狀態ハ100%ノ不稔率ヨリ0%ノ不稔率ニ亙リ一見Multiple factorsノ關係スルヲ想像セシメ偶然變異ニヨル不稔性ト交配ニヨル不稔性トノ相違ヲ思ハシムルモ之カ詳細ハ更ニ實驗ヲ積ミテ確ムル所アルヘシ

臺灣ニ於テ一般ニ普及サルル內地種中時ニ不稔性穗多ク發見スルコトアリ　是等ノ多クハ臺灣種トノ自然交雜ニ起因スルモノナルヘク選擇淘汰ニヨリ之ヲ除去スルコト比較的容易ナリトス

15　脫粒性ノ遺傳

脫粒性ノ遺傳ニ關シテハ加藤氏[1] (1916) ハ脫粒シ難キ性質ハ其易キ性質ニ對シテ優性ナリト稱セリ　予ノ實驗ニ於テハ脫粒シ難キ大稻種ト之ノ容易ナル烏尖種トノ交配結果ハ第百十二表ノ如クF_1ニ於テハ難易中庸ヲ示シF_2ニ於テハ中庸ノモノ最モ多ク難易共ニ漸減シ大稻ヨリモ更ニ難、烏尖ヨリモ更ニ易ナル個體若干ヲ生シタリ此分離ノ結果ニヨリテ考査スルニ脫粒性ハ優劣ノ關係ナク且多元形質ナルコトヲ想像セラル

第百十二表　脫粒難易ノ遺傳現象

大正五年—大正七年

品　種	脫		粒		ノ		難	易	
	極難	難	中	易	極易	平 均		平均誤差	標準偏差
大　稻	—	100	—	—	—	難		—	—
烏　尖	—	—	—	100	—	易		—	—
大稻×烏尖F_1	—	—	100	—	—	中		—	—
大稻×烏尖F_2	3	158	278	137	2	中		± 0.03	± 0.74

(試驗地 臺中)

(1) 加藤茂苞:一　農事試驗場畿內支場ニ於ケル稻育種ノ概況、日本育種學會報第一卷第一號 (大正五年)

備考　脱粒難易調査ノ方法ハ稻株ヲ掘リ取リ敷穉乾燥後各株一穗ヲ取リ小枝梗ヲ左手ニ持チ右手ニテ其小枝梗ニ附著セル穎ヲ輕ク摘ミ接著部ニ就キ輕ク撓メ粒カ小枝梗ヲ脱離スル際ノ難易ノ感覺ニヨリ極難、難、中、易、極易ノ5階級ニ分テリ而シテ試料ハ一株中最長莖ノ一穗ヲ採リ約中間ニ位スル枝梗ヲ選ヒ小枝梗ニ就キ總數10粒宛難易ヲ測リ其株ノ脱粒ノ程度トセリ極難ノ程度ハ僅ナル撓屈ニテハ脱粒セス特ニ力ヲ要スル程度ナリ極易ハ撓屈ヲ要セス手ノ觸ルヽノミニテ脱粒スル程度ニシテ敷穉乾燥中丁寧ニ取扱ハサレハ脱粒スル程度ナリ

16　玄米形狀ノ變異

玄米形狀ノ變異ニ關シ大正六年福岡縣產雄町種ノ原種十數株ヲ需メ一株ヨリ一穗宛總數十穗ヲ採リ一穗ヲ一系ト看做シ各系全粒ヲ脱稃調査シテ後其玄米全部ヲ播種育苗セリ10系中2莖ハ播種後發芽セサリシ爲廢棄シ殘8系ヲ本田ニ一本植トナシ第一代植物ヲ得タリ第一代植物全株中生育中庸ノ標準株一株ヲ選ヒ其最長莖ノ穗一穗ニツキ其全粒ヲ脱稃シ第一回次調査ヲ行ヒ第二代植物ハ標準株ノ全莖中第二位ニ長キ莖ノ穗ヲ取リ其全籾粒ヲ播種シ本田50株一本植トセリ以後第十二代植物迄同樣ノ方法ニヨリ調査ヲ行ヒ尙繼續中ニ屬ス栽培ハ第一期作及第二期作ヲ通シテ之ヲ行ヒ自然交雜ノ起ラサル裝置ヲナシ又偶發セルモノト認メシモノハ種子トシテ採用セサルコトトセリ　從來ノ調査成績ニヨレハ素ヨリ分量的形質ニ屬スルモノナレハ年年同一結果ヲ示サスト雖モ第百十三表ノ如ク臺灣ニ栽培セシ物ト原種トノ間ニ格段ノ差ナク特ニ適應變異ニヨリ臺灣種玄米ノ形狀ニ近似スルカ如キ傾向ナキノミナラス累積的變異ノ傾向ナキモノト認メラル　更ニ別ニ多年臺灣總督府中央研究所農業部ニ於テ栽培セル內地種品種ノ試作成績ヲ調査シ同一品種ニツキ最近子ノ調査ヲ加ヘ考察スルモ第百十四表ニ示スカ如ク第百十三表ノ實驗ニ等シキ結果ヲ示セリ

第百十三表　稻子實形狀ノ累年ノ變異　(品種雄町)

其 I　第一系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稈長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		51.45±0.307	28.59±0.159	1.80	—	58	64	3	1	68
1	VII	1	51.49±0.197	29.32±0.125	1.76	31.4	62	83	6	3	92
2	VII	2	54.73±0.257	32.04±0.181	1.71	27.8	53	45	11	3	59
3	VIII	1	52.56±0.220	30.52±0.130	1.72	23.1	54	61	3	1	65
4	VIII	2	53.00±0.214	30.59±0.143	1·73	26.4	66	97	4	—	101
5	IX	1	51.77±0.227	31.32±0.181	1.65	—	—	74	7	12	92
6	IX	2	51.84±0.183	29.21±0.163	1.77	21.9	50	56	5	—	61
7	X	1	51.12±0.208	30.97±0.100	1.65	34.7	37	105	13	1	119
8	X	2	49.68±0.280	26.38±0.153	1.88	22.4	50	73	1	0	74
9	XI	1	52.37±0.187	31.32±0.118	1.67	31.5	70	75	6	0	81
10	XI	2	53.63±0.151	29.90±0.151	1.79	29.5	69	122	21	10	153
11	XII	1	54.00±0.318	31.52±0.134	1.73	28.1	59	103	7	11	121
12	XII	2	55.26±0.182	31.74±0.138	1.74	27.9	65	87	35	2	124

其 II　第二系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稈長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		51.49±0.176	28.77±0.142	1.79	—	63	83	7	2	92
1	VII	1	51.52±0.237	29.53±0.143	1.74	32.0	64	77	4	4	85
2	VII	2	53.80±0.292	30.30±0.195	1.78	20.0	48	31	5	4	40
3	VIII	1	51.34±0.260	29.35±0.180	1.75	25.0	56	56	5	1	62
4	VIII	2	53.23±0.177	30.61±0.143	1.74	27.9	61	105	5	0	110
5	IX	1	52.52±0.212	31.43±0.138	1.67	—	—	101	28	6	135
6	IX	2	52.23±0.212	29.25±0.012	1.79	23.2	53	57	6	—	63
7	X	1	52.84±0.170	31.05±0.119	1.70	36.5	65	115	23	0	138
8	X	2	49.89±0.211	26.76±0.114	1.86	24.8	68	123	6	2	131
9	XI	1	51.94±0.187	30.66±0.096	1.69	31.1	60	88	20	13	121
10	XI	2	54.04±0.128	30.36±0.105	1.78	29.7	73	121	5	2	128
11	XII	1	56.45±0.238	29.97±0.178	1.88	28.7	72	67	26	9	102
12	XII	2	56.34±0.200	32.49±0.103	1.73	26.0	62	76	18	0	94

其 III　第三系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稃長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		51.17±0.177	28.97±0.171	1.77	—	64	79	6	1	86
1	VII	1	49.59±0.211	28.53±0.142	1.74	35.5	66	101	12	2	115
2	VII	2	49.81±0.411	29.97±0.261	1.66	23.7	59	76	19	12	97
3	VIII	1	48.55±0.260	28.50±0.150	1.70	23.7	59	66	7	—	73
4	VIII	2	53.72±0.210	31.65±0.160	1.70	24.9	55	40	11	—	51
5	IX	1	49.94±0.213	30.63±0.129	1.63	—	—	80	13	5	98
6	IX	2	50.58±0.235	28.44±0.153	1.78	22.5	57	54	6	—	60
7	X	1	50.18±0.192	29.73±0.111	1.69	35.2	75	124	12	6	142
8	X	2	49.44±0.265	25.59±0.189	1.93	22.6	60	70	18	1	89
9	XI	1	50.31±0.205	28.91±0.108	1.74	29.0	63	90	15	4	109
10	XI	2	52.09±0.138	30.30±0.106	1.72	30.8	70	123	9	2	134
11	XII	1	54.64±0.201	31.36±0.136	1.74	25.7	61	74	16	7	97
12	XII	2	54.05±0.182	31.93±0.130	1.69	28.9	69	111	5	2	118

其 IV　第四系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稃長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		52.02±0.206	28.86±0.133	1.80	—	63	58	8	0	66
1	VII	1	49.45±0.224	28.76±0.121	1.72	33.1	65	98	8	0	106
2	VII	2	54.11±0.235	30.83±0.230	1.75	23.2	58	42	12	1	55
3	VIII	1	50.51±0.230	30.70±0.090	1.65	26.8	75	84	2	1	87
4	VIII	2	51.69±0.210	29.63±0.140	1.73	25.1	61	68	11	—	79
5	IX	1	51.99±0.168	30.79±0.118	1.69	—	—	97	21	11	129
6	IX	2	49.57±0.251	28.34±0.155	1.75	23.2	53	62	5	—	67
7	X	1	50.38±0.174	29.65±0.117	1.70	35.3	77	106	30	1	137
8	X	2	49.48±0.259	26.69±0.152	1.85	25.9	69	83	6	2	91
9	XI	1	51.63±0.189	29.44±0.093	1.75	31.5	68	73	7	13	93
10	XI	2	52.36±0.173	30.07±0.130	1.74	30.6	66	107	17	1	125
11	XII	1	54.26±0.205	31.82±0.108	1.70	30.5	72	103	17	—	120
12	XII	2	52.84±0.189	30.95±0.131	1.71	28.3	72	118	25	4	147

其 V　第五系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稈長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		53.35±0.266	29.14±0.144	1.83	—	59	51	5	1	57
1	VII	1	49.73±0.246	28.63±0.139	1.74	34.3	68	83	11	1	95
2	VII	2	53.50±0.244	30.71±0.188	1.74	29.0	58	52	25	1	78
3	VIII	1	49.53±0.190	27.91±0.130	1.77	25.4	56	70	12	—	82
4	VIII	2	49.53±0.140	28.52±0.130	1.71	29.0	67	127	11	2	140
5	IX	1	50.06±0.195	30.54±0.151	1.64	—	—	57	27	4	88
6	IX	2	50.12±0.261	28.00±0.173	1.79	22.1	50	50	9	—	59
7	X	1	50.95±0.199	31.21±0.140	1.63	36.4	68	106	12	3	121
8	X	2	47.47±0.222	25.95±0.150	1.83	24.6	61	81	8	1	90
9	XI	1	50.59±0.177	29.78±0.106	1.70	32.0	64	115	8	1	124
10	XI	2	50.41±0.158	29.03±0.161	1.74	31.8	67	120	21	0	141
11	XII	1	53.34±0.183	31.38±0.129	1.69	28.3	59	91	9	1	101
12	XII	2	54.82±0.180	31.49±0.143	1.74	30.2	66	112	27	4	143

其 VI　第六系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	稈長	穗長	一穗粒數 完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		52.79±0.239	29.34±0.131	1.80	—	63	62	8	1	71
1	VII	1	50.70±0.201	29.68±0.120	1.71	33.0	75	106	22	4	132
2	VII	2	54.39±0.230	30.46±0.194	1.79	26.3	56	61	12	2	73
3	VIII	1	49.61±0.240	30.40±0.190	1.63	29.4	68	83	17	—	100
4	VIII	2	49.97±0.190	30.58±0.120	1.79	27.2	61	93	10	1	104
5	IX	1	52.13±0.126	31.20±0.155	1.67	—	—	55	34	2	91
6	IX	2	55.08±0.237	31.54±0.109	1.75	25.1	52	48	2	—	50
7	X	1	52.21±0.165	30.19±0.115	1.73	33.7	66	94	21	3	118
8	X	2	49.68±0.235	26.96±0.158	1.84	23.7	54	50	6	1	57
9	XI	1	51.96±0.158	29.90±0.115	1.74	33.7	65	101	8	9	118
10	XI	2	53.59±0.182	31.34±0.117	1.71	29.1	62	98	9	1	108
11	XII	1	54.63±0.217	31.73±0.138	1.72	23.8	64	81	4	9	94
12	XII	2	55.16±0.190	31.52±0.113	1.75	29.1	71	100	6	—	106

其 VII 第七系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	穗長	穗長	一穗粒數			
								完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		52.69±0.237	28.97±0.143	1.82	—	64	68	15	—	83
1	VII	1	51.37±0.219	29.82±0.143	1.72	35.0	63	78	16	2	96
2	VII	2	55.08±0.237	—	—	—	—	—	—	—	—
3	VIII	1	50.52±0.230	29.72±0.140	1.70	26.1	62	69	5	—	74
4	VIII	2	50.45±0.220	28.06±0.140	1.77	26.6	63	79	4	—	83
5	IX	1	52.97±0.308	30.00±0.148	1.77	—	—	81	11	20	112
6	IX	2	52.13±0.189	28.98±0.198	1.80	21.0	51	47	7	—	54
7	X	1	54.02±0.283	30.19±0.171	1.79	36.2	71	80	5	1	86
8	X	2	51.86±0.242	27.36±0.111	1.90	25.7	58	66	1	0	67
9	XI	1	54.42±0.230	30.00±0.130	1.81	32.3	66	77	7	6	90
10	XI	2	51.03±0.195	29.19±0.195	1.75	32.5	70	101	36	—	137
11	XII	1	55.53±0.177	31.67±0.105	1.75	28.3	71	105	12	5	122
12	XII	2	54.26±0.156	31.54±0.113	1.70	28.7	65	112	6	6	124

其 VIII 第八系統

栽培回次	年次	期作	粒長	粒幅	幅長比	穗長	穗長	一穗粒數			
								完全	秕	落粒	計
	大正		1/10 m.m.	1/10 m.m.		寸	分				
原種	VI		51.70±0.277	28.15±0.128	1.84	—	61	69	6	1	76
1	VII	1	50.90±0.189	29.11±0.123	1.75	32.6	66	102	4	2	108
2	VII	2	53.66±0.268	30.41±0.207	1.76	26.0	58	45	19	8	72
3	VIII	1	51.08±0.280	29.63±0.190	1.72	21.5	55	51	5	—	56
4	VIII	2	50.17±0.190	28.16±0.130	1.75	25.5	61	93	7	1	101
5	IX	1	50.22±0.215	30.42±0.131	1.65	—	—	81	21	7	109
6	IX	2	30.31±0.231	28.00±0.123	1.08	22.0	53	78	5	—	83
7	X	1	53.58±0.208	29.44±0.214	1.81	32.8	60	52	11	1	64
8	X	2	49.10±0.258	25.20±0.258	1.95	25.5	64	107	12	1	120
9	XI	1	51.13±0.151	29.18±0.088	1.75	35.9	68	119	9	10	138
10	XI	2	51.90±0.201	30.61±0.110	1.70	31.1	67	80	23	2	105
11	XII	1	54.48±0.201	30.72±0.098	1.77	24.8	59	79	4	16	99
12	XII	2	53.73±0.173	31.04±0.100	1.73	29.9	69	116	7	2	125

（試驗地 臺中）

第百十四表　稻子實形狀累年ノ變異

（二十五品種）

要項	品種 中村 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	都 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	江戸 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	粍	粍	粍			粍	粍	粍			粍	粍	粍		
明治四十二年	5.16	3.00	2.10	1.72	32.508	5.15	2.88	2.07	1.79	30.702	5.22	2.96	2.05	1.76	31.675
同　四十三年	5.26	3.39	1.90	1.55	33.880	5.34	2.92	1.93	1.62	30.084	5.27	2.90	1.87	1.82	28.579
同　四十四年	5.19	3.03	1.97	1.71	30.078	5.11	2.91	1.84	1.76	27.361	5.21	2.93	1.84	1.78	28.088
大正十二年	5.27	3.11	2.10	1.69	34.418	5.22	3.10	2.08	1.68	33.659	5.10	3.07	2.08	1.66	32.567

要項	品種 巾著 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	佐賀萬作 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	白藤 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	粍	粍	粍			粍	粍	粍			粍	粍	粍		
明治四十二年	5.06	2.89	2.07	1.75	30.270	5.16	2.92	2.23	1.77	33.600	5.23	2.95	2.08	1.77	32.091
同　四十三年	5.30	3.08	1.95	1.72	31.832	5.27	3.01	1.95	1.75	31.032	5.22	2.96	1.92	1.76	29.666
同　四十四年	5.27	2.95	1.87	1.79	29.072	5.24	2.94	1.99	1.78	30.657	5.23	2.90	1.91	1.80	28.969
大正十二年	5.20	3.10	2.09	1.68	33.691	5.21	3.10	2.11	1.68	34.079	5.28	3.10	2.12	1.70	34.700

要項	品種 薩摩 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	雄町 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	龜治 長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	1.62	0.90	0.60	1.80	0.875	1.62	0.90	0.60	1.80	0.875	1.75	1.01	0.70	1.73	1.237
明治四十一年	1.52	0.80	0.54	1.90	0.657	1.66	0.90	0.56	1.84	0.837	1.58	0.94	0.60	1.68	0.891
同　四十二年	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190
同　四十三年	1.72	0.98	0.71	1.76	1.197	1.64	0.99	0.69	1.66	1.120	1.70	0.95	0.70	1.79	1.131
同　四十四年	1.64	0.94	0.63	1.74	0.970	1.66	1.00	0.70	1.66	1.162	1.69	0.97	0.70	1.74	1.148
大正元年	1.64	0.93	0.61	1.76	0.925	1.70	0.98	0.66	1.73	1.100	1.68	0.97	0.67	1.73	1.092
同　十二年	1.68	0.96	0.64	1.75	1.036	1.71	1.00	0.68	1.70	1.163	1.69	0.98	0.68	1.72	1.126

要項	品種														
	長一木					多平撰					五段穂				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	1.46	0.90	0.70	1.62	0.920	1.65	0.95	0.65	1.74	1.019	1.75	1.00	0.64	1.70	1.114
明治四十一年	—	—	—	—	—	1.60	0.90	0.60	1.78	0.864	1.58	0.90	0.58	1.76	0.825
同 四十二年	1.50	1.00	0.70	1.50	1.050	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190
同 四十三年	1.52	0.94	0.66	1.62	0.943	1.69	0.98	0.69	1.72	1.143	1.71	0.99	0.69	1.73	1.168
同 四十四年	1.47	0.95	0.69	1.73	0.862	1.74	0.98	0.69	1.78	1.177	1.65	0.98	0.69	1.68	1.116
大正元年	1.50	0.94	0.63	1.60	0.888	1.74	0.98	0.64	1.78	1.091	1.63	0.96	0.64	1.70	1.001
同 十二年	1.50	0.97	0.64	1.55	0.902	1.73	1.00	0.65	1.73	1.125	1.71	1.00	0.68	1.71	1.163

要項	品種														
	雄町					三尺荒木					器瓦好				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	1.70	1.00	0.65	1.70	1.105	1.70	0.90	0.70	1.89	1.071	1.63	0.90	0.60	1.81	0.880
明治四十一年	1.66	0.92	0.58	1.80	0.886	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 四十二年	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.60	1.00	0.70	1.60	1.120	—	—	—	—	—
同 四十三年	1.73	0.99	0.72	1.75	1.212	1.61	0.94	0.71	1.71	1.075	1.69	0.98	0.70	1.72	1.159
同 四十四年	1.70	0.97	0.72	1.75	1.182	1.59	0.94	0.68	1.69	1.010	1.67	0.97	0.70	1.72	1.134
大正元年	1.71	1.00	0.65	1.71	1.112	1.62	0.95	0.62	1.71	0.954	1.76	0.98	0.64	1.79	1.104
同 十二年	1.71	0.97	0.66	1.76	1.095	1.61	0.95	0.66	1.69	1.009	1.67	0.98	0.66	1.70	1.080

要項	品種														
	改瓦白玉					大分神力					鍋張				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乗積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	1.66	0.91	0.60	1.82	0.906	1.78	1.01	0.53	1.76	0.953	1.79	0.91	0.61	1.97	0.994
明治四十一年	1.56	0.88	0.72	1.77	0.988	1.54	0.94	0.59	1.64	0.854	1.52	0.92	0.68	1.65	0.951
同 四十二年	1.80	1.00	0.70	1.80	1.260	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190
同 四十三年	1.72	1.00	0.74	1.72	1.273	1.71	0.96	0.70	1.78	1.149	1.60	0.99	0.73	1.62	1.156
同 四十四年	1.73	0.98	0.69	1.75	1.170	1.70	0.99	0.68	1.72	1.144	1.54	0.98	0.72	1.57	1.087
大正元年	1.74	0.99	0.66	1.76	1.137	1.71	0.98	0.64	1.75	1.073	1.60	1.00	0.68	1.60	1.088
同 十二年	1.72	0.98	0.65	1.76	1.096	1.71	0.97	0.64	1.76	1.062	1.61	1.00	0.67	1.61	1.079

要項	品種														
	器具好					關取					保村				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	1.62	0.92	0.60	1.76	0.894	1.63	0.90	0.67	1.81	0.983	1.64	0.94	0.64	1.74	0.987
明治四十一年	1.60	0.92	0.58	1.74	0.853	1.55	0.88	0.68	1.76	0.927	1.66	0.93	0.69	1.78	1.065
同 四十二年	1.60	1.00	0.70	1.60	1.120	1.56	0.85	0.66	1.83	0.875	1.65	0.89	0.67	1.85	0.984
同 四十三年	1.65	0.91	0.69	1.81	1.036	1.57	0.89	0.64	1.76	0.894	1.65	0.94	0.64	1.76	0.987
同 四十四年	1.64	0.92	0.67	1.78	1.011	1.53	0.88	0.62	1.74	0.835	1.65	0.95	0.65	1.74	1.019
大正元年	1.65	0.93	0.65	1.77	0.997	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 十二年	1.64	0.97	0.66	1.69	1.150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

要項	品種														
	五斗夜食					青撰					大和錦				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	分	分	分			分	分	分			分	分	分		
原種子	—	—	—	—	—	1.50	0.90	0.70	1.67	0.945	1.70	0.90	0.70	1.89	1.071
明治四十一年	1.66	0.90	0.60	1.84	0.896	1.48	0.88	0.56	1.69	0.729	—	—	—	—	—
同 四十二年	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190	1.50	1.00	0.70	1.50	1.050	1.70	0.90	0.70	1.89	1.071
同 四十三年	1.62	0.95	0.69	1.72	1.062	1.55	0.93	0.74	1.67	1.067	1.67	0.95	0.68	1.76	1.066
同 四十四年	1.71	0.97	0.70	1.76	1.161	1.51	0.94	0.70	1.61	0.994	1.63	0.92	0.68	1.77	1.020
大正元年	1.65	0.96	0.64	1.72	1.014	1.55	0.95	0.67	1.63	0.987	1.72	0.98	0.65	1.76	1.096
同 十二年	1.64	0.96	0.66	1.71	1.039	1.52	0.95	0.68	1.60	0.982	1.67	0.96	0.65	1.74	1.042

要項	品種				
	豐後				
	長	幅	厚	幅長比	長幅厚相乘積
	分	分	分		
原種子	1.69	0.89	0.59	1.90	0.888
明治四十一年	1.54	0.80	0.52	1.93	0.641
同 四十二年	1.70	1.00	0.70	1.70	1.190
同 四十三年	1.65	0.92	0.67	1.79	1.017
同 四十四年	1.68	0.90	0.68	1.87	1.028
大正元年	1.71	0.95	0.62	1.87	1.023
同 十二年	1.70	0.98	0.65	1.74	1.083

（試驗地 臺北）

第十二章　玄米ノ品質

1　玄米品質ノ意義

玄米ノ品質ヲ論スルニハ先ツ標準トスル品質ノ定義ヲ決定シ然ル後之ニ關係アル諸點ニツキ形質良否ノ依テ來ル原因ヲ探索セサル可カラス　蓋シ單ニ品質ト稱スルモ用途ニヨリテ需ムル所ヲ異ニスヘケレハナリ　而シテ臺灣米ノ品質(廣義)ハ經濟上竝ニ嗜好上ノ要求點ニヨリ之ヲ需メサル可カラス

經濟上要求スル品質
- I.　保存ニ耐ヘ得ルコト
- II.　歩減(食用ニ供スル迄ノ)ノ尠キコト
- III.　滋養ニ富ムコト

嗜好上要求スル品質
- IV.　食味佳良ナルコト
- V.　外觀美麗ナルコト

即チ大體ニ於テ以上ノ諸點ヲ具備セルモノハ現在ノ用途ニ於ケル臺灣米トシテ品質優良ナルモノト看做スコトヲ得ヘシ　而シテ是等各項ニ關係アル形質ハ次ノ如シ

- I.　保存
  - 子實內容ノ組成(變質性·不變質性)
  - 形狀ノ整否
  - 腹白ノ有無多少
  - 罅破ノ有無多少
  - 搗減(糠層ノ厚薄·壓溝ノ深淺)
- II.　歩減
  - 比重ノ大小
  - 實重ノ大小
  - 不良米混合ノ多少(赤米·青米·死米等)
  - 水分含量ノ多少(乾燥)
  - 夾雜物ノ有無(調製)
- III.　滋養
  - 榮養分含量ノ多少
  - 消化率
- IV.　食味
  - 食味及粘氣ノ多少(理學的性質·化學的性質)
- V.　外觀
  - 色及光澤ノ良否
  - 形狀ノ適否
  - 子實大小ノ適否

以上各形質ハ相互間ニ連絡ヲ有スルモノアルヘシ　例ヘハ比重,容重,實重,子實內容ノ組成等ノ間ニハ或程度迄一致スル場合アルヘク又腹白,形狀等ノ如キハ外觀部ニモ關係アルヘシ　卽チ臺灣米トシテ品質ヲ論スルニハ少クモ是等各項ノ調査ヲ終ヘサレハ眞ニ其良否ヲ鑑定シタルモノト謂フ能ハス　而シテ臺灣稻ノ米質ハ之ヲ二樣ニ論セサル可カラス　一ハ卽チ技術的ニシテ他ハ統計的トス　蓋シ之カ必要ナル所以ハ本島ハ稻ノ栽培期間ニ於テ外障ヲ蒙ルコト著シク就中海岸地方ニ於ケル第二期作ハ季節風ノ關係上直接又ハ間接ニ稻ノ生育作用ニ障害ヲ與フルカ爲ニ品質不良ニ陷ルノ機會多ク是等ノ產米カ廣ク市場ニ搬出セラルルノ結果市場米ノ品質ハ種々錯雜ナル現象ヲ呈スルコト掛カラサルヲ以テナリ

2　臺灣稻ノ品質上ニ於ケル缺點

品質上臺灣稻ノ缺點トスル所ハ　I.粘氣掛ク食味不良ナルコト　II.罅破多キコト　III.腹白多キコト　IV.形狀不整ナルコト　V.色澤不良ナルコト　VI.不良米(赤米·青米·不充實米等)ヲ混スルコト　VII.夾雜物(稗·粃·土石等)ヲ混スルコト　VIII.乾燥不良ナルコト等ニシテ是等ハ第一項ノ外品種ノ稟性ノミニ歸スヘキモノニ非スシテ寧ロ外界ノ影響ニ因ルコト及栽培ノ粗放ナルコトニ原因スルコト多シト認ヌラル

3　玄米ノ形狀

臺灣米ノ形狀ハ幅:長1.8乃至2.0ノモノ最モ多ク內地移出米トシテ嗜好上不適當ナリト謂ハサル可カラス　然レトモ臺灣米ノ實際上ノ品質トシテハ長形米ハ圓形米ニ比シ寧ロ優良ナルモノ多シ(糯ハ例外トス)圓形米(粳)ハ品種掛ク幅·長ノ比1.6以下ノモノ僅ニ3品種ニ過キス　隨テ何レモ中以下ニ屬シ一モ傑出シタルモノナシ　其一升重量ノ大ナルハ實質ノ關係ニ歸スルコト少カラサルヘキモ亦形狀カ一定容積內ニ多數ヲ容ルルニ適セルニ因ルカ如シ　長形米ハ概シテ腹白少ク剛性比較的高ク實質緻密粘氣多ク味又不良ナルモノ掛カラス　而シテ今內地ニ於テ長形米ヲ嫌厭スルノ習慣アルハ內地種カ概ネ圓形ニシテ自然的嗜好ヲ馴致セラレタルノ結果之ト趣ヲ異ニスル長形米ニ對シ愛著ノ念ニ乏シキニアルヘキモ亦惡質ノ外國米カ長形ナルノ結果ヨリ誘致セルニモヨルヘシ　而シテ近時改良ノ結果著シク品位ノ向上シタル臺灣米カ內地市場ニ於テ比較的聲價ノ擧ラサルハ錯綜シタ

ル原因ノ存スヘシト雖モ亦臺灣ニ於テ品質優良ナラサル圓形米ヲ優良品トシテ取扱ヒ內地下等米ノ混合用トシテ瞞著的手段ヲ弄シ其他臺灣米ハ單獨ニ其價値ヲ內地消費地ニ問フコトナク常ニ外國米ト等シク內地米ニ對スル混合用トシテ用ヒラルルニ甘ンシ從テ眞ニ改良セラレタル優良米ヲ移出スルノ機會ナク優良米ハ常ニ不良米ト混合シ移出米檢査規則ニ合格シ得ル最低限度ノ品質ヲ以テ內地ニ移出セラレタルニヨラスンハアラス　臺灣米形狀ノ齊否ハ第百十五表ノ如ク臺中廳農會試驗場育種15品種[1]ノ平均米長ノ標準偏差第一期作ハ平均±1.973第二期作ハ平均±1.741ニシテ甚シク不齊ナリト云フ可カラサルモ育種成績ニヨレハ原種±1.98ニ對シ±1.36ノ純系種アリ成績全體ヲ通覽シ形狀ノ整否ハ系統分離ニヨリ向上セシメ得ヘキモノト認ムルコトヲ得ヘシ(第百十五表)

4 墨　　破

墨破ハ第百十六表ノ如ク臺中廳農會試驗場ニ於テナセル育種成績[2]15品種ノ平均第一期作30.32%第二期作10.80%ニシテ之ヲ內地稻ニ比較スレハ大正十三年產米道府縣米穀檢査標準米[3](梗)調査成績平均墨破米步合

12品種	特等	一等	二等	三等	四等	五等	六等
平　均	3.1	5.5	4.4	3.0	4.1	5.5	2.5

ニ比較スレハ著シク多キ結果ヲ示セリ

墨破ノ生スル原因ハ內因及外因ニヨルモノニシテ外因トシテハ耕作法,乾燥ノ狀態等ニ因ルヘク就中乾燥法ノ如何ハ最モ大ナル關係ヲ有スヘシ　卽チ乾燥ノ急激ナルコト　乾燥ノ高キコトハ墨破ノ生スル最大原因ニシテ之カ傾向ハ第百十七表乃至第百二十表ニヨリ窺フコトヲ得ヘシ

---

(1) 磯永吉:一臺灣稻之分類　臺中廳農會(大正八年)

(2) 磯永吉:一臺灣稻之分類　臺中廳農會(大正八年)

(3) 永井威三郎:一日本稻作講義ヨリ引用(大正十五年)

第百十五表　各品種ノ系統別米長ノ標準偏差

（單位 $\frac{1}{10}$ 粍）　　大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	1.78	1.41	1.86	1.78	1.69	1.81	1.81	1.78	1.89	1.68	2.20	17.82
	半高低烏尖	1.64	1.65	1.54	1.97	2.07	1.74	2.50	1.68	1.57	1.65	2.16	1.834
	高脚花蝶	1.66	1.74	1.57	1.75	1.49	1.75	1.84	2.30	1.76	1.69	2.32	1.806
	落忍	1.97	2.15	1.61	1.78	2.24	1.53	1.98	2.13	2.05	1.76	2.47	1.970
	高脚烏尖	1.45	2.02	1.47	1.87	1.95	2.04	2.00	1.67	1.93	1.79	2.14	1.848
	烏殼耳仔	1.89	1.69	1.86	1.99	1.74	1.89	1.93	1.74	1.97	1.94	2.80	1.949
	朮仔舊	2.39	2.20	2.14	1.95	2.03	2.27	2.59	2.48	2.59	2.51	2.07	2.292
	柳洲	1.42	2.29	1.59	1.95	1.61	2.25	1.67	2.49	1.92	2.26	3.04	2.045
	半天仔	1.82	1.82	2.14	1.84	2.05	2.03	1.86	2.07	2.20	2.16	2.22	2.019
	白殼舊	2.08	1.74	1.69	1.37	2.13	2.27	2.15	2.28	2.00	1.70	2.22	1.966
	白殼仔	1.62	1.86	2.21	2.18	1.62	1.85	2.15	2.11	1.41	2.25	2.72	1.998
	烏殼仔	1.86	1.97	2.02	2.36	1.82	1.77	1.47	2.15	2.40	1.52	2.04	1.944
	晚大花	2.23	2.27	2.14	2.33	2.20	1.98	2.36	2.35	1.84	2.35	2.38	2.221
	低脚花蝶	1.75	2.21	2.12	2.26	1.77	2.20	1.90	1.84	2.08	1.90	2.15	2.016
	早大花	1.78	1.67	1.77	2.11	1.86	1.97	2.15	2.06	2.17	1.59	1.76	1.899
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.973
第二期作	薯稿	1.77	1.60	1.91	1.53	1.36	1.52	1.61	1.89	1.49	2.13	1.98	1.708
	五枝齊	2.54	2.29	2.47	1.98	2.15	2.62	2.01	2.22	2.02	1.76	3.39	2.314
	高梨	2.53	2.30	1.94	2.09	2.78	2.71	2.18	2.42	1.87	1.83	3.14	2.345
	黃稿	2.07	1.58	2.30	1.71	1.89	2.05	1.91	1.99	2.31	2.14	2.86	2.074
	烏咬	1.91	1.92	2.06	2.07	1.54	1.97	2.21	2.26	1.66	1.63	1.77	1.909
	岸仔	1.81	2.05	2.06	1.56	1.78	2.38	2.10	1.98	1.73	1.73	2,53	1.974
	格仔	1.50	1.60	1.60	1.29	1.48	1.44	1.64	1.53	1.41	1.49	1.88	1.533
	蔓仔	1.72	2.44	1.83	2.10	2.03	1.61	1.60	1.59	1.68	1.87	3.08	1.959
	大薯稿	1.98	2.16	1.58	1.49	2.44	2.17	2.02	1.66	2.09	1.96	2.89	2.040
	反鹽朮	1.88	1.86	1.87	1.81	1.68	2.28	2.21	1.87	2.18	2.00	2.98	2.056
	高脚萬仔	1.53	1.68	2.04	1.43	1.61	1.85	1.55	1.64	1.65	1.93	2.28	1.745
	小薯稿	1.69	1.34	1.46	1.66	1.69	1.56	1.87	2.05	1.54	2.07	2.83	1.796
	學種	1.79	1.45	1.44	1.97	1.62	1.57	1.33	1.52	1.80	1.53	2.59	1.694
	清流	1.42	1.71	1.95	1.71	1.63	1.73	1.63	1.61	1.40	1.66	1.91	1.669
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.741

（試驗地　臺中）

第百十六表　各品種ノ系統別墾破步合

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	8	16	24	16	12	8	16	8	4	16	16	13.1
	半高低烏尖	20	12	4	4	8	12	12	16	28	8	8	12.0
	高脚花蝶	36	56	54	32	72	46	48	40	36	54	44	47.1
	落忍	4	4	24	0	12	12	8	4	12	48	24	13.8
	高脚烏尖	20	24	44	4	12	28	16	20	8	16	24	19.6
	烏殼耳仔	68	36	44	44	24	12	28	52	28	24	68	38.9
	尤仔舊	16	20	48	32	32	28	16	28	24	32	36	28.4
	柳洲	24	18	16	20	28	28	12	44	8	40	20	23.5
	半天仔	32	40	20	16	44	28	36	36	32	40	48	33.8
	白殼舊	12	24	24	40	16	32	16	8	28	16	12	20.7
	白殼仔	20	28	44	20	32	8	44	36	28	8	24	26.5
	烏殼仔	78	60	32	58	72	58	60	76	68	54	54	60.9
	晚大花	52	48	90	48	64	80	64	48	52	52	28	56.9
	低脚花蝶	36	28	20	32	20	24	24	80	4	40	56	33.1
	早大花	48	24	16	24	16	24	40	12	12	16	60	26.5
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.32
第二期作	菁稿	12	6	2	4	5	4	10	0	0	4	10	5.2
	五枝齊	16	4	12	0	12	18	0	6	12	0	6	7.5
	高梨	10	6	4	2	12	2	0	2	0	8	4	4.5
	黃稿	2	0	10	2	12	12	12	6	4	14	16	8.2
	烏咬	6	6	0	4	2	10	18	12	10	16	4	8.0
	犀仔	12	6	6	2	0	0	10	6	10	12	8	6.5
	烏踏	6	12	28	2	10	10	12	6	8	4	6	9.5
	格仔	56	46	40	54	42	48	50	40	26	44	42	44.4
	蔓仔	14	6	2	2	6	6	2	10	10	8	20	7.8
	大菁稿	4	2	4	6	2	6	6	8	2	8	18	6.0
	高脚萬仔	8	18	10	2	12	2	4	22	4	4	16	9.3
	小菁稿	8	28	26	20	16	14	24	18	26	20	40	21.8
	學種	0	8	6	6	4	4	8	4	6	6	8	5.5
	清流	12	2	8	6	4	4	12	8	6	8	6	6.9
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.80

（試驗地　臺中）

第百十七表　乾燥法ニヨル罅破ノ多少

大正十二年

期作	試驗回次	薄乾法ニ依ル籾製數別罅破歩合						厚乾法ニ依ル籾製數別罅破歩合					
		總數	1	2	3	4	5	總數	1	2	3	4	5
第一期作	I	48.5%	19.0%	21.0%	7.0%	1.5%	0%	12.0%	8.0%	3.0%	1.0%	0%	0%
	II	53.0	20.5	25.0	7.0	0	0.5	13.0	7.0	4.0	1.0	1.0	0
	III	58.0	27.5	24.5	5.0	1.0	0	11.0	7.0	3.0	1.0	0	0
第二期作	I	46.0	22.0	19.5	3.5	0.5	0.5	9.0	8.0	1.0	0	0	0
	II	42.0	19.0	16.5	5.5	0.5	0.5	11.1	10.5	0.5	0	1.0	0
	III	45.0	17.0	19.5	6.0	1.5	1.0	9.0	7.5	1.5	0	0	0

（試驗地　臺中）

備考

I. 品種　第一期烏尖　第二期菁稿

II. 厚乾法1石ノ籾ヲ「コンクリート」乾燥場1坪半ニ擴ケ波形乾燥法ニヨリ30分間毎ニ攪拌ス

薄乾法5升ノ籾ヲ「コンクリート」乾燥場1坪ニ擴ケ一日4回攪拌ス

III. 籾製數トハ同一粒ニ於ケル籾製數ニ依リ1. 2. 3. 4. 5ト區分シタルモノニシテ5トハ玄米1粒内ニ5ノ罅破籾製數ヲ有スルモノ　其他倣之

以上第百十七表ノ成績ヲ見ルニ薄乾法ハ第一期作ハ總罅破歩合48.5%乃至58.0%　第二期作42.0%乃至46.0%ニシテ厚乾法ハ第一期作11.0%乃至13.0%　第二期作9.0%乃至11.0%ヲ示シ厚乾法ハ薄乾法ヨリ罅破歩合甚タ少ク兩法ヲ通シ第二期作ハ第一期作ヨリ歩合少シ　是等ノ成績ハ厚乾法ハ薄乾法ニ比シ又第二期作ハ第一期作ニ比シ乾燥急激ナラサルニ因ルヘシ

予ハ別ニ乾燥ノ程度ニヨル罅破歩合ノ增減程度ヲ知ランカタメ試驗ヲ行ヒシニ第百十八表ノ如キ結果ヲ得タリ

第百十八表　乾燥程度ニヨル罅破ノ歩合

大正十一年

期作	乾燥日數	第一例		第二例		第三例		第四例		平均	
		水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破
第一期作	(未乾)	18.0%	6.0%	18.0%	6.0%	18.0%	6.0%	18.0%	6.0%	18.0%	6.0%
	I	13.6	7.0	12.1	7.0	13.2	7.0	12.3	8.0	12.8	7.2
	II	10.5	8.0	9.9	11.0	10.1	10.0	9.5	11.0	10.0	10.0
	III	10.3	24.0	7.8	20.0	9.3	20.0	8.4	22.0	8.9	21.5

期作	乾燥日數	第一例		第二例		第三例		第四例		平均	
		水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破	水分	罅破
第	(未乾)	15.6%	14.8%	15.6%	14.8%	15.6%	14.8%	15.6%	14.8%	15.6%	14.8%
二	I	13.2	16.1	13.2	15.3	13.2	16.1	13.2	14.8	13.2	15.6
期	II	12.6	18.9	11.9	18.6	11.8	18.6	11.4	20.0	11.9	19.0
作	III	11.2	18.4	10.4	18.6	10.6	19.3	10.1	20.0	10.6	19.1

(試驗地 臺中)

備考 乾燥法、臺灣波形式 品種、第一期作烏尖 第二期作菁稿

即チ第百十八表ハ籾米乾燥ヨリ晴天3日乾迄ニヨリ4組ノ試料ノ平均含水率第一期作18.0%、12.8%、10.0%、8.9% 第二期作15.6%、13.2% 11.9%、10.6%ノモノヲ得其各々ニツキ罅破歩合ヲ調査セシニ乾燥程度進ミ含水率減スルニ從ヒ歩合增加シ第一期作ハ初メ罅破歩合少カリシモ乾燥急激ニ進行シ歩合從ツテ甚シク增加シ第二期作ハ乾燥徐々ニ進行シ初メハ第一期作ヨリ罅破歩合多カリシモ最後ニ於テハ却テ少キ現象ヲ示セリ 而シテ初メ第一期作ヨリ歩合多カリシハ圃場ニ於ケル乾燥第一期作ニ優リタルニ因ルヘシ

急激ナル乾燥カ罅破歩合ヲ大ナラシムル原因ナルヲ示ス他ノ實例ヲ擧クレハ次ノ如シ(第百十九表)

第百十九表 乾燥方法ニヨル罅破ノ歩合

其 I

大正十一年

乾燥日數	乾燥方法											
	蔭乾				陽乾				除濕器			
	完全米數	罅破數	計	罅破歩合	完全米數	罅破數	計	罅破歩合	完全米數	罅破數	計	罅破歩合
1	141.4	5.4	147.0	3.7%	62.0	67.0	129.0	51.9%	141.0	14.0	155.0	9.0%
2	132.0	27.2	159.0	17.1	89.2	62.0	151.0	41.1	130.0	15.2	145.0	10.5
3	161.0	2.8	164.0	1.7	86.2	70.0	156.0	44.8	158.0	3.0	161.0	1.9
4	146.0	11.6	158.0	7.3	98.2	55.0	153.0	35.9	152.0	1.8	154.4	1.2
5	131.0	20.0	151.0	13.2	77.0	91.6	168.6	54.3	125.4	20.0	145.0	13.8
6	132.0	14.0	146.0	9.6	23.4	114.2	138.0	82.7	149.2	10.2	159.4	6.4
7	124.0	18.4	143.0	12.9	11.6	111.0	122.6	90.5	120.4	7.2	128.0	5.6
8	138.0	10.0	148.0	6.8	19.6	104.6	124.2	84.2	142.8	29.4	172.2	17.1
9	120.0	16.0	136.0	11.8	21.4	121.2	142.6	85.0	125.6	27.0	152.0	17.8
10	140.0	6.2	146.0	4.2	6.4	116.4	122.8	94.8	116.4	21.8	138.2	15.8
平均	136.5	13.3	149.8	9.0	49.5	91.3	140.8	64.8	136.1	15.0	151.0	9.9

(試驗地 臺北)

備考

I.第一期作 七月七日ヨリ同十六日ニ至ル

II. 品種　短廣花蠟

III. 試料ハ收穫前拔穗セルモノヲ穗ノ儘乾燥シ每一日其中ヨリ一穗ヲ採リ手ニテ剝殼各粒ニツキ罅破ノ有無ヲ調査シ之ヲ平均セリ　從ツテ各日ノ試料ハ同一ノモノナラス

IV. 蔭乾及陽乾ハ竹製紙張リ木框ノ器ニ穗ヲ盛ヘ蔭乾ハ屋內ニテ陽乾ハ屋外日光ニ當テ之ヲ乾燥シ除濕器ハ鹽化「カルシユーム」ヲ裝置セル「デシケーター」ヲ用ヒタリ

V. 其II. 其III. 其IV. 之ニ倣フ

其　II

大正十一年

乾燥日數	乾燥方法											
	蔭乾				陽乾				除濕器			
	完全米數	罅破數	計	罅破歩合	完全米數	罅破數	計	罅破歩合	完全米數	罅破數	計	罅破歩合
				%				%				%
1	85.0	1.0	86.0	1.2	58.4	21.6	80.0	27.0	98.4	1.4	99.8	1.4
2	89.8	3.6	83.4	4.3	56.8	56.2	113.0	49.7	98.2	0.8	99.0	0.8
3	102.2	0.6	102.8	0.6	26.6	51.6	88.2	58.5	96.8	15.6	112.4	13.9
4	104.0	6.2	106.0	5.8	37.0	52.4	89.4	58.6	94.4	4.2	98.6	4.3
5	77.8	7.2	85.0	8.4	33.2	63.8	97.0	65.8	102.8	0.8	103.6	0.8
6	81.6	2.4	84.0	2.9	27.0	60.8	87.8	69.2	88.6	4.4	93.0	4.7
7	93.8	11.8	105.6	11.2	29.0	66.6	95.6	70.0	73.8	2.0	75.8	2.6
8	76.8	8.8	105.6	8.3	35.4	59.6	95.0	62.7	101.8	5.8	107.6	5.4
9	91.4	3.8	95.2	4.0	33.8	51.2	85.0	60.2	94.6	4.0	98.6	4.0
10	99.0	3.6	102.6	3.5	31.8	41.8	73.6	56.8	94.2	11.8	106.0	11.1
平均	90.1	4.9	95.7	5.1	37.9	52.6	90.5	58.1	94.4	50.8	99.4	5.11

（試驗地　臺北）

備考　品種　江戸　六月二十九日開始

其　III

大正十二年

乾燥日數	乾燥方法							
	蔭乾				陽乾			
	完全米數	罅破數	計	歩合	完全米數	罅破數	計	歩合
				%				%
1	81.0	4.2	83.1	5.1	62.4	29.4	101.8	28.9
2	82.4	7.6	89.6	8.5	28.4	54.0	82.4	65.5
3	86.0	12.0	98.0	12.2	43.4	39.4	82.4	47.8
4	74.8	5.6	80.4	7.0	36.8	50.0	86.8	57.6
5	66.0	4.2	70.2	6.0	28.2	37.6	65.8	57.1
6	80.7	14.2	94.9	15.0	28.8	64.4	93.2	69.1
7	77.0	6.4	83.4	7.7	21.2	17.6	88.8	76.1
平均	78.3	7.7	85.7	8.9	35.6	41.8	75.9	57.4

（試驗地　臺北）

備考　品種　短廣花蠟　七月五日開始

其 IV

大正十二年

乾燥日數	乾燥方法							
	蔭乾				陽乾			
	完全米數	罅破數	計	歩合	完全米數	罅破數	計	歩合
1	55.0	1.2	67.0	1.8%	27.6	40.4	68.0	59.4%
2	54.8	2.2	57.0	3.9	16.4	40.0	57.6	69.4
3	60.4	1.4	61.8	2.2	—	—	—	—
4	62.6	1.2	68.8	1.7	—	—	—	—
5	60.4	2.0	67.4	3.0	—	—	—	—
6	62.0	8.0	70.0	11.4	—	—	—	—
7	62.0	10.6	72.6	14.6	—	—	—	—
平均	59.6	3.8	66.3	5.5	22.0	40.2	62.8	64.4

(試驗地 臺北)

備考 品種 江戸 六月二十九日開始

以上第百十九表其I乃至其IVヲ通覽スルニ毎日ノ調査試料ヲ異ニスルタメ必スシモ乾燥ノ進ムニ伴ヒ罅破歩合ノ增加セサルモノアリ或ハ一定ノ乾燥日數ヲ經過スレハ罅破ヲ生スヘキ粒ハ何レモ罅破シ盡シ其他ノモノハ罅破ヲ生セサルタメ歩合ノ增加セサルモノアルヘク成績區々ナルカ如キモ全體ヲ通覽スレハ之ヲ理解スルニ難カラサルヘシ

乾燥ノ方法ニヨル罅破歩合ノ差ハ歴然トシテ之ヲ認ムヘク蔭乾5.1%乃至9.0% 陽乾45.3%乃至64.8% 除濕器5.1%乃至9.9%ヲ示セリ而シテ予ハ是等ノ調査ヲナスニ當リ一般ニ罅破ハ穗元ヨリ穗先ニ多ク一小枝梗ニアリテハ先端第一位及後端第一位ノ粒カ常ニ罅破ヲ生スルヲ認メタリ 卽チ罅破ハ開花ノ順序從ツテ成熟ノ順序ニ伴フ如ク想像セラル

由來臺灣農家カ籾ノ乾燥ニ使用スル乾燥場ハ圃場ノ一隅表土ヲ固メ或ハ水牛糞ヲ混シテ固メ平坦トナシタルモノニシテ一般ニ其改良ヲ必要トセラル 然レトモ又一面臺灣酷熱ノ地ニ於テ「コンクリート」其他之ニ類スル乾燥場ハ溫度高キニ過キ胴割米ヲ生シ易キヲ憂フルモノアリ是等ハ又大ニ考慮ヲ要スル事項ナリシヲ以テ第百二十表ニ示スカ如ク各種乾燥場ニテ乾燥シタル籾ニ就キ罅破歩合ヲ調査セリ

第百二十表　乾燥場ノ種類ニヨル罅破ノ歩合

其　I

大正十二年

期作	乾燥日數	天日乾燥場種類								
		コンクリート	タール塗コンクリート	玉石	臺灣瓦	三和土	黑色三和土	タークレー	蓆	露地
第一期作	(未乾)	31%	31%	31%	31%	31%	31%	31%	31%	31%
	一日	70	77	64	67	67	69	58	68	66
	二日	74	75	66	69	69	78	77	75	76
	三日	71	73	74	89	70	77	79	82	67
	四日	83	76	77	83	77	75	79	82	79
	五日	97	96	92	89	90	97	97	91	94
	六日	98	96	91	93	93	93	90	93	93

(試驗地　臺北)

備考

I. 供用品種　短廣花蓮

II. 大正十二年自七月七日至七月十二日

III. 乾燥ハ凡テ陽乾ニシテ　粗1石ヲ1坪半ニ波形ニ擴ケ約1時間半ニ1回之ヲ攪拌反轉セリ　其IIモ倣之

其　II

大正十二年

期作	乾燥日數	天日乾燥場種類	
		タール塗コンクリート	三和土
第一期作	(未乾)	12%	12%
	一日	54	52
	二日	83	99
	三日	88	90
	四日	93	88

(試驗地　臺北)

備考

I. 供用品種　中村

II. 六月三十日開始

以上其I　其IIヲ通覽スルニ上記乾燥場ノ種類ニヨリ多少ノ差異ヲ認メサルニ非サルモ特ニ顯著ナル罅破歩合ノ差ヲ見ス　本調査ハ第二期作ノ調査ヲ缺クモ之ヲ第八十二表其五及其六(乾燥場ノ種類對粗乾燥中ノ溫度)ト比較對照スルニ第八十二表其五(第一期作)中乾燥中最高溫度ヲ示シタル表面「タール」塗「コンクリート」乾燥場ト在來式露地乾燥場トノ差ハ乾燥場ニテ陽乾中ノ粗ノ表面溫度ハ「タール」塗「コンクリート」47.0°C露地44.7°C堆積粗ノ中央部ハ「タール」塗「コンクリート」42.2°C露地38.2°C堆積粗ノ最低部(卽チ乾燥場面ニ接スル所)「タール」塗「コンクリ

ート」41.4°C 露地 34.5°C 平均前者 43.5°C 後者 39.1°C ヲ示セリ　卽チ兩者其差ハアルモ何レモ乾燥中ノ籾ノ温度ハ相當ノ高温ヲ保テルモノニシテ臺灣ニ於テ一般カ想像スルカ如キ低温ノモノニ非サルナリ

特ニ最モ注意スヘキコトハ乾燥中ノ籾ノ表面部ノ温度カ常ニ他ノ部分ヨリ高キコトニシテ第百二十表ニ於テ乾燥場ノ種類ニヨリ罅破歩合ニ甚シキ差異ヲ生セサリシハ全體温度ノ高キノミナラス乾燥中ノ籾ノ表面部ノ温度甚タ高キニ基因スルニ非サルナキ乎　第八十二表其六(第二期作)ニ於テハタール塗「コンクリート」乾燥場ノ籾表面部 34.7°C 中央部 31.3°C 最低部 29.7°C 平均 31.9°C 在來式露地乾燥場ノ籾表面部 34.6°C 中央部 29.8°C 最低部 26.6°C 平均 30.3°C ニシテ第一期作ニ比シ著シク低シ是レ第二期作米カ罅破歩合少キ所以ナルヘシ　又屋内「コンクリート」床上ニテ乾燥セル場合ノ籾ノ温度ハ第八十二表其五及其六ニ示スカ如ク第一期作平均 29.1°C 第二期作平均 26.1°C ニシテ甚タ低シ　第百十九表ニ於テ蔭乾及除濕器ニヨル乾燥籾カ罅破歩合甚タ少キハ乾燥中ノ温度低ク乾燥徐々ニ行ハレタル結果ト謂ハサル可カラス以上ノ實驗成績ニヨルニ急激ニ乾燥セシ場合又乾燥度ノ高キニ從ヒ罅破增加スルモノト認ムヘク　仍テ乾燥温度高キハ急激ノ乾燥ヲ意味シ罅破ヲ生スルコト多キハ想像スルニ難カラス　第百十七表ノ薄乾區ノ罅破著シク多ク第百十六表及第百十八表ノ第一期作カ第二期作ヨリ罅破多キヲ示セルハ何レモ其原因ヲ玆ニ置カサル可カラス　臺灣式波形乾燥法ハ厚乾トナシ各籾粒ノ乾燥程度ヲ平均ナラシムルタメニ絶エス攪拌スルカ故ニ彼ノ内地式薄播乾放シノ法ニ比シ罅破ノ生スルコト少ク隨ツテ場面ノ温度高キハ乾燥ヲ迅速ナラシムルノ利アリ　吾人ハ屢々實驗ノ結果臺灣ニ於テハ1石ノ籾ヲ1坪半ニ擴ケ波形乾燥トナシ30分間ニ1回ツツ波ヲ崩シ3回ニシ波ノ位置ヲ換ユル方式ヲ最モ適當ノ方法ナルコトヲ知リ乾燥場ハ「コンクリート其他之ニ類スル乾燥場ニ改ムルモ操作宜シキニ於テハ罅破歩合在來式露地ニ比シ甚シキ增加ヲ來スコトナキヲ認メタリ

内因ニ據ル罅破ノ原因ハ出穗ノ不齊ニアリ凡ソ罅破ハ既ニ圃場ニ於テ生スルモノニシテ成熟スルニ從ヒ穗ノ儘乾燥スルニ因ル　第百二十一表ハ立毛中ニ於ケル罅破歩合ヲ調査セルモノナリ

第百二十一表　立毛中ニ於ケル墨破歩合

其　I

大正十一年

收穫前日數	第一期作 短廣花蝶				第一期作 江戸（內地種）				第二期作 下脚格仔			
	完全米數	墨破數	計	墨破歩合	完全米數	墨破數	計	墨破歩合	完全米數	墨破數	計	墨破歩合
				%				%				%
4	—	—	—	—	—	—	—	—	78.1	3.0	81.1	3.7
3	—	—	—	—	—	—	—	—	70.1	1.7	71.8	2.4
2	—	—	—	—	76.2	0.2	76.4	—	76.3	4.6	80.9	5.0
1	138.0	3.7	141.7	2.6	78.2	5.6	83.8	6.7	67.0	5.2	72.2	7.2

（試驗地　臺北）

備考

I. 收穫日　短廣花蝶　七月十六日

下脚格仔　十一月五日

江　戸　七月四日

II. 圃場ニ就キ各株ヨリ1穗宛10穗ヲ採リ屋內ニ持チ歸リ直チニ劍殼調査其平均ヲ採レリ

其IIモ倣之

其　II

大正十二年

收穫前日數	第一期作 短廣花蝶				第一期作 江戸			
	完全米數	墨破數	計	墨破歩合	完全米數	墨破數	計	墨破歩合
				%				%
7	—	—	—	—	78.6	13.9	92.5	15.0
6	—	—	—	—	79.8	8.8	88.6	9.9
5	—	—	—	—	76.8	11.4	88.2	11.8
4	—	—	—	—	88.1	10.2	98.2	10.4
3	81.0	11.9	92.9	12.8	77.5	3.2	80.7	3.9
2	92.3	23.5	115.8	20.3	69.1	10.8	79.9	13.5
1	71.9	28.7	100.6	28.5	67.1	7.7	74.5	10.3

（試驗地　臺北）

備考　收穫日　短廣花蝶　七月四日

江　戸　六月二十九日

即チ大正十一年第一期作ニ於テハ收穫前日短廣花蝶2.6%江戸6.7%第二期作ニ於テハ收穫前日下脚格仔7.2%大正十二年第一期作ニ於テハ收穫前日短廣花蝶28.5%江戸10.3%ノ墨破歩合ヲ示シ尙短廣花蝶ハ大正十二年第一期作ニ於テハ收穫前3日·江戸ハ大正十一年ハ收穫前2日·大正十二年ハ7日·下脚格仔ハ大正十一年收穫前4日既ニ墨破ノ發生ヲ認メタリ

以上ノ如キヲ以テ籾粒ノ過熱ニ陷ルハ墨破ヲ生スル所以ニシテ出穗不揃ナル品種カ墨破歩合高キハ推察シ得ヘシ　耕作法當ヲ得ス出穗不揃ナラシムルコトモ之ト同一ノ結果ニ陷ルヘシ　又成熟中ノ氣温高キハ之ヲ助長スルコトトナルヘシ　一般ニ第一期作ハ第二期作ニ比シ墨破米多キハ第一期作ハ成熟中高温ニシテ出穗不揃ナルカ爲ナルヘシ　而シテ一穗中ニ於テハ穗先粒ニ墨破米ヲ生シ易ク之ヲ烏尖種ニ就キ調査セシニ100穗中穗先10粒宛ノ平均 6.24 % 穗ノ中央部10粒宛ノ平均 4.77 % 穗元10粒宛ノ平均 2.68 % ナル結果ヲ生シタルモ亦此ノ理ニ基クモノナルヘシ

5 腹　白

臺灣米ノ腹白ハ概ネ腹部ニ起リ其ノ大ナルモノハ背部ニ向テ連續シ狹小ナル脈ヲナセリ　而シテ內地種白玉ニ見ルカ如キ完全ナル心白ト稱スルモノナシ　又腹白部凹形ヲナシテ所謂腹切ヲナスモノアレトモ極メテ稀ナリ腹白歩合ハ一般ニ頗ル大ニシテ第一期作種ノ如キハ寧ロ小麥ニ於ケルカ如ク硝子質若クハ粉狀質ト稱スルヲ適切ナリト思惟セラルル程度ニアリ　隨ツテ實質緻密ヲ缺キ品質上影響ヲ及ホスコト甚大ナリ　之ヲ15品[1]種ノ平均ニ就テ見ルニ第百二十二表ノ如ク第一期作23.37 % 第二期 6.56 % ヲ示シ第一期作ハ著シク大ナルヲ見ルヘシ　而シテ之ト同樣ノ方法ヲ以テ審査セル內地產內地種4種ノ平均腹白歩合ハ3.5% ヲ示セリ（審査ノ方法ハ一粒ノ面積ノ5分ノ1以上ノ腹白ヲ有セルヲ腹白米トシソレ以下ノモノヲ無腹白トシタリ）米粒ノ形狀ニヨル腹白ノ多少ハ第百三十一表ノ如ク長形米最モ僅少ナル成績ヲ示セリ　一穗中ニ於ケル腹白米ノ分布ハ墨破ニ於ケルト同樣ノ傾向アリ之ヲ第一期作烏尖種第五號系100穗ニ就テ見ルニ穗先10粒宛ノ總平均 6.20 % 穗ノ中央部10粒平均 4.76 % 穗元10粒平均 2.99 % ノ成績ヲ示シ單ニ此結果ノミヲ以テ考査スレハ過熟ハ腹白ヲ擴大ナラシムルカ如ク想像セラルルモ或ハ過熟米カ一般ニ不透明ニ陷ルノ結果調査ニ際シテ腹白ノ大ナルカ如ク誤ラルルモ亦一部ノ原因タルヘシ　而シテ腹白ト過熟トノ相關關係アルモノトスレハ第一期作ニ著シク多キハ墨破ト同樣ニ出穗偏差ノ大ナルコト竝ニ成熟中ノ氣温ニ基因スル所

---

(1) 磯永吉：臺灣稻ノ分類　臺中廳農會(大正八年)

大ナルヘシ

内地種ヲ臺灣ニ栽培シタル場合ニ於ケル腹白ノ變異ハ雄町種内地産 12.0% 臺灣産 13.3% ニシテ神力種ハ内地産 10.0% ニ對シ臺灣産6.7%ヲ示シ一定ノ傾向ナキカ如シ

第百二十二表　各品種ノ系統別腹白歩合

大正七年

品種名		系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米粉	16	16	24	28	20	16	24	16	4	28	24	19.6
	半高低烏尖	28	12	28	20	24	32	26	16	16	16	20	21.6
	高脚花蠟	32	20	16	12	40	16	40	16	24	16	10	22.0
	落忍	36	32	28	36	36	28	44	36	28	20	28	32.0
	高脚烏尖	28	12	18	10	28	32	20	32	28	28	20	23.3
	烏殼耳仔	4	20	4	28	24	24	28	12	20	24	20	18.9
	尤仔舊	20	24	20	36	16	28	28	8	18	4	16	19.8
	柳洲	8	12	24	36	44	8	48	20	32	0	28	23.6
	半天仔	76	60	64	52	20	48	60	42	72	64	40	54.4
	白殼舊	24	28	16	36	36	36	16	20	20	36	20	26.2
	白殼仔	8	0	8	12	12	4	4	24	12	12	8	9.5
	烏殼仔	4	16	16	10	30	26	12	32	8	26	8	17.1
	晚大花	32	0	12	16	4	4	12	8	24	16	16	13.1
	低脚花蠟	0	4	4	56	12	36	8	36	4	4	4	15.3
	早大花	44	32	32	36	28	32	24	32	44	36	36	34.2
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23.37
第二期作	菁稿	0	2	0	0	0	2	2	0	32	0	2	3.6
	五枝齊	0	4	10	6	6	2	2	4	0	8	8	4.5
	高梨	0	0	2	0	2	6	0	0	0	0	6	1.5
	黄稿	4	8	2	0	26	4	10	2	2	0	6	5.8
	烏咬	0	0	2	2	4	10	6	4	10	12	8	5.3
	岸仔	2	4	4	6	0	0	0	4	6	8	4	3.5
	烏踏	2	2	0	6	2	6	2	4	2	6	6	3.5
	格仔	0	0	8	4	4	4	2	10	2	0	6	3.6
	蔓仔	18	14	8	8	16	12	8	14	14	16	24	13.8
	大菁稿	12	10	18	4	10	18	18	2	14	14	20	12.7
	高脚萬仔	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0.5
	小菁稿	20	16	6	10	8	4	10	22	18	6	18	12.5
	學種	4	14	6	14	6	6	4	10	8	8	18	8.9
	清流	14	12	4	14	13	10	14	18	10	14	10	12.1
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.56

（試驗地　臺中）

6 剛　　性

剛性ハ第百二十三表ニ據レハ第一期作ハ4.20瓩乃至6.40瓩,第二期作ハ4.80瓩乃至8.40瓩,中間作ハ5.80瓩乃至7.40瓩,陸稻ハ6.00瓩乃至8.40瓩ヲ示シ之ヲ剛柔ノ標準ニ照シテ分類スレハ剛35品種,中105品種,柔35品種トナル　然レトモ本調査ハ第一期作ハ陽乾セシ材料ヲ用ヒ第二期作其他ハ硫酸乾燥器ヲ用ヒテ一旦除濕シタルモノニ就キ行ヒタルモノヲ以テ一,二期作其他比較ノ材料トシテハ不備ノ點アリ第百二十四表臺中廳農會試驗場育種[1]成績ニヨレハ第一期作15品種第二期作15品種各々在來種外10系統ノ總平均第一期作5.152瓩第二期作7.316瓩ヲ示シ又大正七年第一期作粳3品種,糯2品種,第二期作粳3品種,糯3品種ノ各純系種ニ就キ陽乾及硫酸除濕器(口徑8寸濃度60°液0.8封度)ニテ3日間處理シタモノニ就キ各100粒宛調査シタルニ第百二十五表ノ如キ結果ヲ得タリ

第百二十三表　玄米剛性ノ階列　(單位瓩)

大正五年

要項		總數	8.40	8.20	8.00	7.80	7.60	7.40	7.20	7.00	6.80	6.60	6.40	6.20	6.00	5.80	5.60	5.40	5.20	5.00	4.80	4.60	4.40	4.20
品種數	第一期	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	2	1	5	8	11	9	14	9	9	1
	第二期	57	1	2	—	2	—	1	1	4	1	8	5	6	8	6	6	2	2	—	2	—	—	—
	中間作	18	—	—	—	—	—	2	1	1	4	2	3	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	陸稻	28	12	1	1	1	1	—	2	2	1	2	2	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	175	13	3	1	3	1	3	4	7	6	12	12	12	12	8	11	10	13	9	16	9	9	1

(1) 磯永吉.一臺灣稻ノ分類、臺中廳農會 (大正八年)

各級ニ於ケル品種數	剛柔ノ標準		總數	第一期	第二期	中間	陸稻
	7.00以上	剛	35	—	11	4	20
	5.00以上 7.00未滿	中	105	39	44	14	8
	5.00未滿	柔	35	33	2	—	—

第百二十四表　各品種ノ系統別剛性（單位瓩）

大正七年

	品種名	系統番號 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	在來種	平均
第一期作	白米籽	5.47	5.76	5.87	5.52	5.19	5.65	5.39	5.51	5.56	5.35	5.27	5.504
	牛高低烏尖	5.60	5.48	5.42	5.66	5.49	5.40	5.75	5.54	5.36	5.70	5.52	5.538
	高脚花蠟	4.59	4.35	4.62	4.52	4.79	4.43	4.63	4.80	4.62	4.37	4.73	4.586
	落忍	4.87	5.12	4.81	4.98	4.83	4.82	5.02	4.93	5.01	4.87	4.94	4.927
	高脚烏尖	4.25	4.55	4.27	4.36	4.58	4.41	4.61	4.54	4.24	4.34	4.31	4.405
	烏殼耳仔	5.19	5.02	4.98	5.19	5.13	5.00	4.37	4.87	5.02	5.10	5.11	4.998
	朮仔舊	4.33	4.60	4.79	4.47	4.34	4.55	4.58	4.61	4.42	4.52	4.16	4.488
	柳洲	5.73	5.67	5.82	5.63	5.95	5.84	5.77	5.44	5.84	5.43	5.59	5.701
	牛天仔	5.24	5.25	5.25	5.24	5.20	5.22	2.13	5.20	5.19	5.25	5.08	4.932
	白殼舊	5.56	5.60	5.33	5.50	5.49	5.54	5.52	5.36	5.66	5.23	5.59	5.489
	白殼仔	5.24	5.26	5.17	5.12	5.06	5.06	5.07	5.21	5.06	5.24	5.13	5.147
	烏殼仔	6.21	6.94	6.74	6.51	6.03	6.63	6.28	1.18	6.84	6.35	6.07	5.980
	晚大花	5.12	5.01	4.76	4.84	4.72	5.06	4.66	4.72	4.87	5.08	4.77	4.874
	低脚花蠟	5.53	5.53	5.55	5.52	4.91	5.52	5.39	5.45	5.57	5.54	5.55	5.460
	早大花	5.17	5.23	5.26	5.53	5.18	5.12	5.23	5.18	5.34	5.30	5.30	5.258
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.152
第二期作	菁稿	6.98	7.04	6.48	7.08	7.00	5.92	7.30	6.62	5.26	7.12	7.28	6.735
	五枝齊	7.52	6.94	6.62	7.02	7.12	7.46	6.72	7.16	7.50	6.54	8.30	7.173
	高梨	9.20	8.36	9.14	7.92	7.32	7.22	7.36	8.00	7.28	7.96	6.66	7.856
	黃稿	7.52	6.82	5.66	6.02	6.80	6.54	6.46	6.20	5.40	6.52	7.58	6.502
	烏咬	7.26	8.22	6.00	5.98	6.86	7.98	6.12	8.42	6.96	6.40	5.64	6.899
	岸仔	6.94	7.48	7.62	6.70	7.12	6.88	7.64	8.42	6.18	8.86	6.78	7.329
	格仔	7.74	6.34	7.28	6.28	7.17	6.28	7.37	7.16	6.18	7.43	6.91	6.922
	蔓仔	7.34	7.23	7.58	7.26	7.08	7.42	7.57	7.28	7.32	7.05	6.62	7.250
	大菁稿	7.38	7.30	7.04	7.69	7.22	7.43	7.36	6.[illegible]6	7.68	6.88	7.10	7.258
	反鹽朮	8.12	8.02	7.70	8.52	8.59	8.04	7.98	8.10	8.14	8.03	8.12	8.123
	高脚萬仔	7.07	8.18	7.30	7.50	7.50	8.88	7.80	7.32	7.57	7.03	7.72	7.625
	小菁	7.26	7.48	7.75	7.02	7.76	8.37	8.01	7.74	7.40	7.41	7.08	7.571
	學種	7.82	7.33	7.61	7.71	7.62	7.62	7.51	7.70	7.76	6.85	7.20	7.521
	清流	7.60	7.50	7.80	8.10	7.00	7.90	7.40	7.50	8.20	7.40	7.90	7.664
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.316

（試驗地　臺中）

第百二十五表　期作及種類別剛性　(單位 瓩)

大正七年

期作	第一期作		第二期作	
乾燥法	陽乾	除溫器	陽乾	除溫器
粳	4.85	6.52	5.65	7.00
糯	5.25	7.78	5.19	8.02

(試驗地　臺中)

備考

I. 品種　第一期作、烏尖、赤仔舊、白殼仔、芒花赤、雲卵赤、　第二期作、格仔、烏咬、菁稿、雲卵赤、反籃赤、烏殼赤

II. 各品種10粒平均

第百二十五表ニ據レハ兩期作ヲ通シ糯ハ粳ヨリ剛性大ナルカ如ク第一期作ト第二期作トノ優劣ノ關係ハ明カナラス更ニ他日多數ノ品種ニツキ研究ヲ行ヒ決定スルコトアルヘシ　玄米ノ剛性ハ主トシテ含水率ニヨリ左右セラレ含水率少キ程剛性大ナルコトハ高木氏[1]ノ研究アリ予ハ臺灣玄米ニ對スル試驗ヲ行ヒシニ第百二十六表ノ如キ成績ヲ得タリ

第百二十六表　乾燥程度ニヨル剛性

大正十一年

期作	乾燥日數	第一例		第二例		第三例		第四例		平均	
		水分	剛性	水分	剛性	水分	剛性	水分	剛性	水分	剛性
		%	瓩	%	瓩	%	瓩	%	瓩	%	瓩
第一期作	(未乾)	18.0	3.43	18.0	3.43	18.0	3.43	18.0	3.43	18.0	3.43
	I	13.6	4.97	12.1	5.72	13.2	5.49	12.3	5.71	12.8	5.48
	II	10.5	5.80	9.9	6.34	10.1	6.75	9.5	6.49	10.0	6.35
	III	10.3	5.93	7.8	7.29	9.3	7.84	8.4	7.18	9.0	7.06
第二期作	(未乾)	15.6	4.46	15.6	4.46	15.6	4.46	15.6	4.46	15.6	4.46
	I	13.2	4.84	13.2	4.45	13.2	4.60	13.2	4.53	13.2	4.71
	II	12.6	4.74	11.9	4.70	11.8	4.78	11.4	4.91	11.9	4.78
	III	11.2	4.76	10.4	4.81	10.6	5.05	10.1	5.16	10.6	4.95

(試驗地　臺中)

備考

I. 品種　第一期作、烏尖、　第二期作、菁稿

II. 水分ハ粒ニ就キ測定シタルモノニシテ從ツテ玄米ハ各々約1.5%內外少シ

III. 乾燥5日後脫稃シテ調査シタリ但百粒平均トス

即チ第百二十六表ノ成績ハ第一期作ニ於テハ粒ノ平均含水率 18.0

(1) 高木一三：一米ノ含水量ト剛性、稻垣農業氣象學

%ノモノハ玄米ノ剛性3.48瓩ニシテ乾燥ニ從ヒ剛性ヲ增加シ籾ノ平均含水率9.0%ノモノハ玄米ノ剛性7.06瓩ニ增加セリ　第二期作ニ於テハ籾ノ平均含水率15.6%ノモノハ玄米ノ剛性4.46瓩ニシテ乾燥ニ從ヒ剛性ヲ增加シ籾ノ平均含水率10.6%ノモノハ玄米ノ剛性4.95瓩ニ增加セリ

次ニ臺灣產米ヲ內地產米ニ比較スレハ第百二十七表ノ如ク內地產米ノ剛性稍大ナリト認ムル成績ヲ得タリ

第百二十七表　產地竝品種別玄米ノ剛性

（單位瓩）

產地	品種	年別剛性（百粒平均）				
		大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	平均
內地產	雄町	7.92	6.27	6.34	7.50	7.01
	烏尖	7.12	8.71	7.80	6.72	7.59
臺灣產	雄町	5.68	8.60	6.04	6.72	6.76
	烏尖	6.10	6.67	7.10	6.33	6.55

（試驗地　臺中）

備考　內地產ハ福岡縣ノ農家ニ委託栽培シタルモノニシテ同一品種ナリトス

卽チ4箇年間ノ平均ニ於テ內地種雄町ハ內地產7.01瓩臺灣產6.76瓩臺灣種烏尖ハ內地產7.59瓩臺灣產6.55瓩ヲ示セリ

今大正十三年產米道府縣米穀檢查標準米(1)(模)調查成績平均玄米剛性ヲ見ルニ12品種ノ平均特等7.5瓩一等7.8瓩二等7.7瓩三等7.6瓩四等7.8瓩五等7.7瓩六等8.2瓩ニシテ概シテ臺灣米ニ比シ剛性大ナル傾向アリ

次ニ臺灣產內地種米ト臺灣米トヲ比較スルニ第百二十八表ニ示スカ如ク臺灣種15品種平均1.653貫內地種15品種平均1.910貫ニシテ內地種概シテ剛性大ナリト認メ得ヘシ

第百二十八表　臺灣產內地種米ト臺灣米トノ剛性比較

（單位貫）　大正十二年

要項		穗數	2.20	2.15	2.10	2.05	2.00	1.95	1.90	1.85	1.80	1.75	1.70	1.65	1.60	1.55	1.50	平均
品種數	第一期作	15	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	5	2	1	1	3	1.653
	內地種	15	—	1	2	1	1	—	3	1	4	2	—	—	—	—	—	1.910

（試驗地　臺北）

(1) 永井威三郎:— 日本稻作講義ヨリ引用

7 搗　減

搗減ハ玄米ノ品質,乾燥ニヨリ又精白ノ程度ニヨリ異ナルヘキモ臺灣米ノ平均搗減ハ重量ニ於テ1割内外ト見ルヲ至當トスヘシ而シテ乾燥度合ニヨル搗減ハ第百二十九表ノ如ク乾燥可良ナルニ隨ツテ少キ傾向アリ　米ノ種類ニヨル搗減ハ正確ナル試驗ヲ缺キ論シ難キモ第百三十表ニヨレハ糯米ハ粳米ニ比シ搗減少キ結果ヲ示セリ　之ハ或ハ糯米ハ特ニ乾燥ニ留意スルカタメ其原因乾燥ニアルヤモ知ルヘカラス

第百二十九表　乾燥度合ニヨル玄米ノ搗減歩合

第一期作　　大正十二年

種別	試料水分率(%)			供試玄米	白米		碎米		糠	
	籾	玄米	白米	重量	重量	歩合	重量	歩合	重量	歩合
				瓩	瓩	%	瓩	%	瓩	%
第一號	14.4	15.3	15.1	10.000	8.920	89.20	0.402	4.02	0.866	8.66
第二號	13.1	14.1	14.5	10.000	9.160	91.60	0.260	2.60	0.777	7.77
第三號	12.1	13.7	14.1	10.000	9.200	92.00	0.158	1.58	0.581	5.81
第四號	11.3	12.9	13.5	10.000	9.220	92.20	0.263	2.63	0.725	7.25
第五號	10.0	12.0	13.0	10.000	9.220	92.20	0.317	3.17	0.550	5.50
第六號	9.5	11.8	12.8	10.000	9.400	94.00	0.133	1.33	0.694	6.94

（試驗地　臺中）

備考

I. 供試品種　烏尖第五號

II. 精米方法臼搗法　口徑1尺5寸5分深サ1尺ニシテ1斗3升ノ玄米ヲ適當ナル精白量トスル石製臼,搗杵ハ直徑3寸3分ノ石杵ニシテ1時間ノ搗數1,800搗粉ハ石粉ニシテ玄米1斗ニ對シ2合ノ割ニ用ヒ精白全時間3時間ヲ適當トスル水車石臼搗ニ據リ供試料タル10貫ノ玄米ヲ2臼(一臼ノ玄米量凡ソ1斗3升5合)ニ分チテ精米シタリ

第二期作　　大正十二年

種別	試料水分率(%)			供試玄米	白米		碎米		糠	
	籾	玄米	白米	重量	重量	歩合	重量	歩合	重量	歩合
				瓩	瓩	%	瓩	%	瓩	%
第一號	14.5	15.3	14.9	10.000	9.000	90.00	0.453	4.53	0.547	5.47
第二號	13.5	14.4	14.2	10.000	8.800	88.00	0.561	5.60	0.639	6.39
第三號	12.4	13.9	14.0	10.000	8.900	89.00	0.510	5.10	0.590	5.90
第四號	12.5	13.4	13.7	10.000	8.980	89.80	0.477	4.77	0.543	5.43
第五號	11.4	13.1	13.1	10.000	9.200	92.00	0.305	3.05	0.495	4.95
第六號	10.4	11.4	12.3	10.000	9.260	92.60	0.318	3.18	0.422	4.22

（試驗地　臺中）

備考

供試品種　菁稿第十號

第百三十表　米ノ種類ニヨル搗減歩合

大正十二年

種類	供試玄米重量	上白米		碎米		糠	
		重量	歩合	重量	歩合	重量	歩合
	斤	斤	%	斤	%	斤	%
粳米	688.329	569.705	82.8	67.715	9.8	51.069	7.4
長糯米	254.555	219.457	86.2	15.112	5.9	19.508	7.7
丸糯米	14.918	13.058	87.5	0.819	5.5	1.207	8.1

（試驗地　臺中）

備考

I. 供試品種　粳米　烏尖　長糯米　反毛　丸糯米　雲卵米

II. 精米方法　場所臺灣總督府鐵道部購買組合　豐原精米所精米機「ナショルナ」精米機（5馬力石油發動機附）精米方（上精白）1回ノ精白量ハ玄米900斤（150入6袋）トシ精白開始後凡ソ20分ニシテ搗粉トシテ石粉8斤ヲ混シ更ニ2時間ヲ經過セル時石粉4斤ヲ投シテ10分ノ後上精白ヲ終ル

糠及碎米ハ精米機附屬篩ニ依テ糠ハ精白中、碎米ハ精白最終ニ篩出ス

第百二十九表ハ乾燥度ヲ異ニスル供試籾第一期作ハ第一號（含水率14.4%）ヨリ第六號（含水率9.5%）ニ至ル6種ヲ籾摺シ玄米第一號（含水率15.3%）ヨリ第六號（含水率11.8%）ニ至ル6種ヲ得　第二期作ハ供試籾第一號（含水率14.5%）ヨリ第六號（含水率10.4%）ヲ籾摺シ玄米第一號（含水率15.3%）第六號（含水率11.4%）ニ至ル6種ヲ得　各玄米10貫ヲ採リ精白セリ　而シテ精白米ハ第一期作第一號（含水率15.1%）ヨリ第六號（含水率12.8%）ニ至ル6種ヲ得第二期作ハ第一號（含水率14.9%）ヨリ第六號（含水率12.3%）ニ至ル6種ヲ得タリ　第二期作第一號及第二號ヲ除ク外ハ白米ノ含水率ハ玄米ノ含水率ヨリ增加セリ　各種ノ玄米ヨリ得タル白米ノ重量ハ乾燥度高ク含水率少キニ應シ大ニシテ第一期作ハ第一號8.920貫漸次增加第六號9.400貫即チ玄米ニ對シ第一號89.2%乃至第六號94.0%ノ歩留リアリ　第二期作ハ第一號9.000貫第六號9.260貫ヲ得　唯第一號重量カ第二號·第三號·第四號ヨリ大ナリシモ第二號ヨリ第六號ニ至ル重量ハ漸次含水率ノ少キニ應シ增加セリ　而シテ玄米ニ對スル歩合ハ第一號90.0%ヲ別ニシテ第二號88.0%乃至第六號92.6%ノ歩留ヲ得タリ

第百三十表ハ粳米、長糯米、丸糯米ヲ精白セル成績ニシテ粳米82.8%長糯米86.2%丸糯米87.5%ヲ得　糯米ハ粳米ニ比シ搗減少キ結果ヲ示セリ

8 色　　澤

色澤ハ子實ノ內容狀態ニヨリテ異ナリ又收穫ノ時期ニ多少ノ關係アリ　硝子質ナルモノ及適期ニ收穫セルモノハ概ネ透明ニシテ粉狀質ナルモノ及收穫期ヲ失シタルモノハ純鈍白又ハ暗鈍白ヲ呈ス　中南部ニ於テハ一般ニ第二期米ハ純白ニシテ光澤アレトモ(季節風ノ影響ヲ受クル地方ノ產米ハ然ラス)第一期作種ハ之ニ反ス　然レトモ第一期作種ヲ第二期作トシテ栽培セシ場合ニ於テハ純白ニシテ光澤アルモノヲ生ス　蓋シ出穗齊否ノ關係及之ニ作フ內容充實ノ關係ヲ以テ重ナル原因タラサル哉ト思料セラル

9 臺灣米素質改良ノ要點

以上品質ニ關係アル形質ニ就テ考查スルニ品質上ニ於ケル臺灣米素質改良ノ要點ハ(1)長形米ヲ選ヒ(最モ長キモノノ謂ニ非ス)(2)出穗ノ偏差ヲ小ナラシメテ壘破腹白ヲ減シ光澤ヲ優良ナラシムルニアルヘシ

內地市場ヲ目標トスル玄米ノ形狀ハ圓形米タラサルヘカラサルカ故ニ圓形米ニ改良スルコトハ勿論根本策ニ屬スト雖モ現存臺灣米中ニハ第百三十一表調查表ノ如ク圓形米トシテ優良ナルモノナク寧ロ優良品種ハ長形米ニアルヲ以テ差當リノ策トシテ之ヲ採用スルノ止ムヲ得サルヘシ　然レトモ更ニ內地種ヲ全島ニ亙リ栽培スルノ方法ヲ研究スルコトハ最モ重要ナル意味ヲ有スヘシ

第百三十一表　玄米ノ形狀別形質調查

腹白ノ多少　品種數　　大正七年

期作	品種總數(種)	長形 多	長形 中	長形 少	長形 無	中形 多	中形 中	中形 少	圓形 多	圓形 中	圓形 少
第一期作	135	27	45	20	—	18	15	7	—	3	—
第二期作	134	10	51	50	2	2	14	5	—	—	—
兩期作 實數	269	37	96	70	2	20	29	12	—	3	—
兩期作 步合		18	47	34	1	33	47	20	—	100	—

剛性　瓩

期作	品種數	長形	品種數	中形	品種數	圓形
第一期作	42	4.88	40	4.77	3	4.93
第二期作	113	6.05	21	6.22	—	—
兩期作	205	5.465	61	5.49	3	4.93

一升重量 匁

期作	品種總數	長形	品種數	中形	品種數	圓形
第一期作	92	372	40	373	3	378
第二期作	113	370	21	371	—	—
兩期作	205	371	61	372	3	378

品質 品種數

期作		品種總數	長形			中形			圓形		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下
第一期作		135	19	51	22	7	26	7	—	2	1
第二期作		134	32	67	14	6	9	6	—	—	—
兩期作	實數	269	51	118	36	13	35	13	—	2	1
	歩合	—	25	57	18	21	58	21	—	67	33

第十三章　玄米收量

1　甲當玄米收量

臺灣ニ於ケル一定地積ニ對ニル最多收量ヲ知ルニハ地方農會ノ立毛競作會ノ成績ニ據ルノ外ナカルヘシト雖モ之カ成績ハ何レモ坪刈ノ結果ヲ換算シタルモノナルヲ以テ眞ニ價値アル數字タル能ハサルノ恨アリ　又本調査ニ於ケル收量ハ一品種僅ニ一坪ニ過キサレハ單ニ概略ノ參考タルニ過キス　此點ニ於テ元臺中廳農會ハ大正六年以降ノ立毛競作會ニ於ケル審査ノ方法トシテ大面積收穫ノ制ヲ設ケテ實行セリ卽チ其成績ニ據レハ大正六年第二期作東勢角支廳下ニ於テ在來種甲當籾63石、大正七年第一期作沙轆支廳下ニ於テ同63石3斗、大正七年第二期作員林支廳下ニ於テ同56石7斗ニシテ之ヲ以テ全島ニ於ケル最多收量ノ記錄ト看做シテ大過ナカルヘシト信ス　而シテ之ヲ內地ノ收量ニ比較スルニ內地ニ於ケル最多收量ノ記錄ハ反當玄米7石餘ニシテ本島ノ記錄ハ大約內地ノ半量ニ過キス　又其平均收量ニ至リテハ內地反當玄米2石ニ對シ臺灣種ノ收量ハ僅ニ玄米1石內外ニ過キス　是ニ由リテ之ヲ觀レハ臺灣ノ稻作ハ技術的ニモ統計的ニモ內地ニ及ハサルコト遠シト謂ハサルヘカラス

2　甲當收量過少ノ原因

吾人ハ各種ノ調査研究ノ結果臺灣稻甲當收量過少ノ原因ヲ次ノ各

項ニ基因スルモノト認定セリ

I 氣象關係ノ外障ヲ蒙ルコト多ク是等ヨリ來ル減收カ平均收量ヲ低下セシムルコト（例ヘハ夏季第一期作ノ成熟期ヨリ初秋第二期作ノ開花期ニ亙リ低氣壓發生シ暴風ノ襲來頻繁ナルコト　或ハ西部海岸地方一帶ニ亙リ秋期第二期作成熟收穫期ニ強列ナル季節風ノ襲來スル等ノ如シ）

II 惡質土壤其他天然要素不良ナル地ニ栽培サルル面積大ニシテ是等ノ收量カ平均ヲ低下セシムルコト（例ヘハ「アルカリ」土壤酸性土壤ノ分布廣大ナルコト等）

III 栽培比較的粗放ナルコト

{以上ハ平均ヲ低下セシムル所謂統計的ノ原因}

IV 生育日數短キコト（第三十三表竝ニ第三十四表）

V 臺灣稻カ生育上ノ優良條件ニ對スル能率著シク低キコト（例ヘハ臺灣稻カ內地稻ニ比シ肥料ニ對スル能率甚タ低キコト等　第百三十二表乃至第百四十一表參照）

{以上技術的ノ原因}

而シテ I 及 II ハ III ノ改善ニヨリテ多少償ヒ得ヘキモ III ハ農業者思想ノ發達ニヨリテ著々改善セラレツツアリ　平均甲當收量ノ增加ハ疑ナシト雖モ又耕地ノ擴張ニ伴ヒ外障地竝ニ惡質土壤ニ栽培セラルル面積モ亦增加スヘキヲ知ラサル可カラス

臺灣稻ノ生育總日數ハ前揭第三十三表及第三十四表ノ如ク內地稻ニ比シ著シク短期間ニシテ收量ニ於テ早稻ノ晚稻ニ及ハサル一般的事例ニ微シ臺灣稻ハ內地稻ニ比シ此點ニ於テ收量ノ及ハサルモノト認メサルヘカラス　而シテ稻ノ特性ヲ改善シテ生育總日數ヲ延長スルコトカ栽培上如何ノ問題ニ就テハ全ク不可能ニ非サルヘキモ延長ノ可能低度タルヤ左程大ナラサルヘシ蓋シ第二期作ノ如キ海岸地方ニ於テハ障害ノ關係上今日尙早生稻ヲ選フノ狀態ニアリ或ハ又冬期休閑期利用上早生種ヲ選フカ如キハ一般ニ行ハレツツアルヲ以テナリ

臺灣稻カ優良條件ニ對スル能率著シク低キハ正ニ是レ臺灣稻ノ特性ト認ムヘク之ニ反シテ不良條件ニ堪ヘ得ルハ又特長ト謂ヒ得ヘシ然レトモ之ハ將來積極的改良ヲ行ハント欲スルニハ品種ノ特性上大ナル缺點トナササル可カラス

由來稻ハ他作物ニ比シ肥料ニ對スル能率特ニ高シト謂フ可カラサ

ルモ第百三十七表乃至第百三十九表ニ示スカ如ク內地種ハ尙無肥料ノ收量100ニ對シ施肥料ノ收量200以上ノ成績ヲ示セリ　然ルニ臺灣種ニアリテハ從來ノ成績ニ徵スレハ第百三十二表乃至第百三十六表ニ示スカ如ク無肥料100ニ對シ150內外ヲ以テ最大能率トス　是レ臺灣稻ノ收量上ニ於ケル一大缺陷ト謂ハサル可カラス

3　分類上ヨリ見タル玄米收量ノ改良ノ要點

收量上ニ於ケル臺灣稻素質改良ノ要點ハ I.分蘖ヲ大ナラシムルコト II.穗ノ重量ヲ大ナラシムルコト III.肥料ニ對スル能率ヲ大ナラシムルコトIV.穗ノ脫粒ヲ防クコト等ヲ以テ最大條件トナスヘシ　蓋シ臺灣稻ハ分蘖ノ點ニ於テ內地種ニ劣ル所ナシト雖モ分蘖ト收量トハ密接ナル積極的相關關係ヲ有スルヲ以テ收量增加ニ對シ重要ナル事項タルヘク穗重ヲ大ナラシムルコトノ有效ナルハ前述ノ如ク形質上內地種ニ劣ル唯一ノ缺點ナレハナリ而シテ穗重ヲ增加スル手段トシテハ大粒タラシムルコト著粒ヲ密ナラシムルコト一穗粒數ヲ增加スルコト等單獨若クハ是等ノ綜合ニヨルヲ得ヘク就中內地種ニ對スル缺點タル粒ノ大サ及著粒ノ改良ハ最モ見込アル項目タルヘシ　肥料ニ對スル能率ハ之ニ對シ高度ノ形質ヲ有スルモノヲ選出スルノ外策ナカルヘシ而シテ其具體的方案ハ品質ノ部ニ於テ敍述セシカ如ク品種ノ改良ヲ行フヲ最良ノ策タルヘク　臺中廳農會試驗場ニ於ケル系統分離ノ成績ハ15品種45箇所ノ平均第一期作ハ12%第二期作ハ11%ノ增收ヲ示セリ

第百三十二表　米蔗試驗地力維持考査試驗區成績

要項	第一期作		第二期作	
	反當籾收量	指數	反當籾收量	指數
無肥區	71.748	100	74.606	100
施肥區	91.889	128	88.401	118

（試驗地　臺中）

備考

I. 大正六年ヨリ同十二年迄七箇年平均

II. 品種第一期作烏尖　第二期作蓍稿

III. 施肥區肥料用量　硫酸「アンモニア」10.0貫(N,2.000貫)過燐酸石灰5.0貫(P_2O_5,1.000貫)硫酸加里1.1貫(K_2O,0.440貫)

第百三十三表　肥料三要素試驗成績

要項	第一期作		第二期作	
	反當糎收量	指數	反當糎收量	指數
無肥區	56.520	100	56.510	100
三要素區	79.000	140	79.340	140

備考　　（試驗地　臺中）

I. 第一期作ハ大正七年ヨリ同九年ニ至ル3箇年平均
　第二期作ハ大正五年ヨリ同七年ニ至ル3箇年平均
II. 品種　第一期作烏尖　第二期作菁稿
III. 三要素區ノ肥料用量　硫酸「アンモニア」10匁(N. 2.000匁)過燐酸石灰10匁(P_2O_5 2.000匁)硫酸加里5匁(K_2O 0.200匁)

第百三十四表　在來種ト肥料用量トノ關係

要項	第一期作					第二期作				
	無肥	5割減	標準量	5割增	2倍	無肥	5割減	標準量	5割增	2倍
反當糎收量	90.441	101.346	107.146	107.372	105.879	73.541	82.082	84.468	86.943	90.638
同上指數	100	112	118	119	117	100	112	115	118	123
反當藁收量	94.128	110.107	125.806	134.461	138.370	97.928	110.033	116.761	124.356	129.017
同上指數	100	117	134	143	147	100	112	119	127	132
藁對糎ノ比率	0.96	0.92	0.85	0.80	0.77	0.84	0.75	0.72	0.70	0.70

備考　　（試驗地　臺北）

I. 第一期作6品種　第二期作6品種平均
II. 第一期作ハ自大正十一年至同十四年4箇年平均
　第二期作ハ自大正十一年至同十三年3箇年平均
III. 標準量　第一期作ハ推肥300貫、大豆粕10貫、過燐酸石灰5貫、人糞尿100貫、第二期作ハ各其2分ノ1量トス

第百三十五表　臺灣總督府農事試驗場肥料三要素試驗成績[1]

要項	第一期作		第二期作	
	反當糎收量	指數	反當糎收量	指數
無肥區	64.160	100	72.450	100
三要素區	94.803	147.76	95.403	132

備考

I. 品種、第一期作白殼花蠟、第二期作下脚格仔
II. 第一期作ハ自明治三十八年至同四十三年6箇年平均
　第二期作ハ自明治三十九年至同四十三年(但同四十二年ヲ除ク)4箇年平均
III. 三要素區ノ肥料用量ハN. 2.000貫、P_2O_5 1.500貫、K_2O 1.500貫ニシテ窒素ハ硫酸アンモニア、燐酸ハ燐酸曹達、加里ハ炭酸加里ヲ以テ補給

(1) 農事試驗成績第七報一、二、臺灣總督府農事試驗場(明治四十二年)

第百三十六表　臺灣總督府農事試驗場肥料三要素適量試驗成績[1]

要項	第一期作		第二期作	
	反當穀收量	指數	反當穀收量	指數
無肥區	67.944π	100	63.014π	100
最優良區	101.760	149.77	92.847	147

備考

I. 品種　第一期作、白殼花蓮、第二期作、下脚格仔

II. 第一期作ハ自明治三十八年至同四十三年6箇年平均

第二期作ハ自明治三十九年至同四十三年5箇年平均

III. 最優良區ノ肥料用量ハ第一期作N. 2.000貫、P_2O_5 1.500貫、K_2O 0.500貫施用區、第二期作N. 2.000貫、P_2O_5 2.000貫、K_2O 1.500貫施用區ニシテ窒素ハ硫酸「アンモニア」、燐酸ハ燐酸曹達、加里ハ炭酸加里ヲ以テ補給

第百三十七表　臺灣總督府農事試驗場內地種對本島種肥料試驗成績[2]

大正三年第一期作

要項	本島種（石）			內地種（石）		
	無肥料	普通肥料	普通肥料二倍	無肥料	普通肥料	普通肥料二倍
反當穀收量	2.389	3.203	3.473	1.877	3.263	4.235
指數	100	134	145	100	174	226

備考

I. 本島種4種　內地種4種平均

II. 普通肥料區肥料用量ハ堆肥300貫、大豆粕10貫、過燐酸石灰5貫、人糞尿100貫、(N. 2.779貫、P_2O^5 4.422貫、K_2O 2.028貫)トス

第百三十八表　內地種ト肥料用量トノ關係

要項	第一期作							
	無肥	5割減	標準量	5割增	2倍	2倍半	3倍	3倍半
反當穀收量	80.760π	120.570	129.180	141.270	158.250	165.840	170.460	127.680
指數	100	149	160	175	196	205	211	158
反當藁收量	98.300π	139.380	149.180	162.640	174.630	195.360	218.790	201.600
指數	100	142	152	165	178	199	223	205
藁對穀ノ比率	0.821	0.865	0.862	0.868	0.906	0.848	0.779	0.633

（試驗地　臺北）

(1) 農事試驗成績第八報一、二　臺灣總督府農事試驗場(明治四十三年、同四十四年)

(2) 農事試驗場特別報告第十號　臺灣總督府農事試驗場(大正四年)

備考

I. 品種　中村

II. 自大正十三年至同十四年 2 箇年平均

III. 肥料標準量　第一期作 N. 2.200 貫、P_2O_5 2.500 貫、K_2O 2.500 貫

第二期作 N. 1.300 貫、P_2O_5 1.500 貫、K_2O 1.500 貫

窒素ハ硫酸「アンモニヤ」燐酸ハ過燐酸石灰、加里ハ炭酸加里ヲ以テ補給

第百三十九表　臺灣總督府農事試驗場內地種肥料用量試驗成績[1]

大正二年第一期作

要項	無肥料	普通肥料				
		五割減	普通肥料	五割增	二倍	三倍
反當穀收量	1.506	1.786	2.156	2.736	3.334	3.808
指數	100	119	143	182	221	253

備考

I. 品種　江戶

II. 普通肥料區ノ肥料用量ハ堆肥 300 貫、人糞尿 100 貫、大豆粕 50 貫、過燐酸石灰 5 貫、(N. 2.982 貫 P_2O_5 3.610 貫 K_2O 3.372 貫)トス

第百四十表　農事試驗場元北陸支場ニ於ケル試驗成績[2]

要項	無肥料	無窒素	無燐酸	無加里	三要素
穀收量比例	100.0	142.1	198.6	192.8	208.4

備考　自明治二十七年至同三十四年七箇年平均

第百四十一表　西ケ原農事試驗場ニ於ケル試驗成績[2]

要項	無肥料	無窒素	無燐酸	無加里	三要素
穀收量比例	100.0	115.8	200.0	187.4	263.2

備考　自明治三十四年至同四十四年 8 箇年平均

---

(1) 農事試驗成績第十一報　臺灣總督府農事試驗場(大正五年)

(2) 農事試驗場事務功程　農商務省(明治四十一年、同四十四年)

第十四章　藁收量

1　藁收量ト子實收量トノ關係

臺灣稻ニ於ケル藁對籾ノ收量ハ伯仲ノ間ニアリト雖モ無肥料ヲ以テ栽培スルニ際シテハ籾量ニ比シ藁量稍々少ナルノ傾向アリ　又肥料ノ配合如何ニヨリテ多少ノ差アルヘキモ一般ニ施肥量ヲ增加スルニ從ツテ籾ニ對スル藁量ノ步合ヲ增加スルカ如シ　然シテ其增加ノ割合ハ臺灣種第二期作種ハ第一期作種ニ比シ大ニシテ同第一期作種ハ內地種ニ比シ大ナリ

第十三章ニ於ケル各表ニヨリ考察スレハ施肥量ニ對スル能率ハ第一期作種ハ第二期作種ニ比シ內地種ハ第一期作種ニ比シ殆ト2倍ニ近キ差ヲ有ス

以上第十一章ヨリ第十三章ニ亙リ臺灣種米ヲ內地種米ニ比較シ改良ノ要點ヲ述フル所アリシト雖モ內地種ノ特性ハ臺灣種ニ比シ特ニ優レタルモノ多キカタメ臺灣ニ於ケル內地種栽培ノ研究ハ最モ必要ナルコトニ屬ス

現在ノ臺灣稻カ其栽培法ト結ヒ臺灣ノ風土ニ適應シ良ク其生產ヲ擧ル理由及更ニ之ヲ改良發達セシムヘキ原則ヲ攻究スルハ畢竟其生育ノ生理ヲ明カニスル所以ニシテ從ツテ內地種ヲ臺灣全般ニ亙リ適應セシムヘキ途ヲモ明カニスルコトヲ得ヘシ

第四編　各形質間ノ相關現象

稻作栽培上當業者ノ最モ希望スル點ハ經濟的ニ子實ノ收量ヲ高メ且品質ヲ向上セシムルコトニアリ　然レトモ收量品質ハ單ニ一、二形質ノ單獨ニ左右スルモノニ非スシテ多クノ形質ノ綜合的關係ニヨルモノナリ　仍テ各形質間ノ相關的現象ヲ調査シ綜合的結果ニ及ホス影響ヲ知ルハ栽培上又育種上極メテ重要ナル事項ニ屬ス　卽チ栽培上ニ於テハ關係アル形質ノ發達ヲ計リ育種上ニ於テハ關係アル形質ノ發達スヘキ素性ヲ具有スルモノヲ選擇ノ目的トナスコトハ事業トシテ極メテ適確簡單ナル方法ナリ　此點ニ於テ予ハ先ツ臺灣稻各形質間ノ相關現象ヲ調査セリ

稻ノ生育收量等ニ關スル相關現象ノ調査ハ海外ニ於テハ Jacobson, H. O.[1] Vibar, T. N.[2] Capinpin, J. M.[3] 等ノ報告アリ　Jacobson 及 Vibar 兩氏ハ何レモ比律賓稻ニ就キ品種間特性ノ相關現象ヲ調査セリ　便宜兩氏ノ成績ヲ綴メテ示セハ次ノ如シ

I　相關現象(正)ナルモノ

(a)　相關現象特ニ顯著ナルモノ

籾收量ト分蘖數

○籾收量ト生育日數

生育日數ト最下位ノ葉ノ長サ

生育日數ト藁ノ重量

(b)　相關現象顯著ナルモノ

○籾收量ト草丈

○籾收量ト穗長

籾收量ト穗ノ節數

○籾收量ト粒ノ長サ

生育日數ト一穗粒數

---

(1) Jacobson, H. O.:- "Corre lative Characters of Rice plant." Phil. Agric. Review, 9 (1916), 74.

(2) Vibar, T. N.:- "Variation and Correlation of Characters among Rice varieties." Phil. Agrienlturist, 10 (1921), 93.

(3) Capinpin, J. M.:- "Correlation within pure lines of Rice." Phil. Agric. 12. 1923, No. I, 3—14.

(c) 相關現象稍存スルモノ

○籾收量ト一穗枝梗數

籾收量ト葉ノ重サ

○籾收量ト葉ノ長サ

籾收量ト藁ノ重サ

生育日數ト草丈

生育日數ト穗長

生育日數ト穗ノ節數

生育日數ト葉幅

(d) 其他相關現象(正)ナリト認ムルモノ

○生育日數ト粒ノ長サ

生育日數ト稈ノ節數

生育日數ト粒ノ幅長サノ比

草丈ト其節數

稈ノ節間數ト其平均長サ

草丈ト穗軸ノ長サ

穗軸ノ長サト其枝數

II 相關現象ナシト認ムルモノ

籾收量ト一穗粒數

生育日數ト莖數

生育日數ト一穗枝梗數

粒ノ長ト莖數

莖數ト粒ノ幅長サノ比

莖數ト其平均草丈

草丈ト粒ノ長サ

III 相關現象(負)トナルモノ

粒ノ幅ト成育日數

莖數ト一穗粒數

以上ハJacobson氏ノ調査成績ニシテ(○)印ヲ附セルハVibar氏モ亦得タル成績ナリ　其他比律賓稻ニ就テハCapinpin氏ハ純系內ニ於テハ一株ノ藁ノ重サト玄米重量トノ間ニハ顯著ナル(正)ノ相關現象アリトナシ

Peralta[1] 氏ハ生育日數ト葉ノ面積、草丈、ト收量トノ間ニ(正)ノ相關現象アルコトヲ認メタリ　日本稻ニ就テハ武田總七郎氏[2]、永井威三郎氏[3]等ノ實驗アリ　武田氏ハ山陰地方ニ於ケル品種72種ヲ次ノ項目ニ就キ調査シ品種間ノ特性相互ノ關係ヲ述ヘタリ

I　藁ノ大小ト一株莖數
II　早、中、晩ニ對スル藁ノ大小ト一株莖數
III　藁ノ大小ト穗ノ大小
IV　藁ノ大小ト粒ノ大小
V　早、中、晩ニ對スル藁ノ大小ト粒ノ大小
VI　粒ノ大小ト一株莖數
VII　粒ノ大小ト一穗ノ粒數
VIII　早、中、晩及籾ノ大小ト籾一升ノ重量
IX　籾一升重量籾摺歩合
X　早、中、晩及米粒ノ大小ト玄米一升ノ重量
XI　早、中、晩ト子實ノ比重
XII　米粒ノ長短ト藁ノ長短
XIII　早、中、晩ト玄米品位
XIV　早、中、晩ト粒ノ大小ト玄米品位
XV　早、中、晩及藁ノ長短ト倒伏トノ關係

而シテ其梗概ヲ約述スレハ次ノ如シ

I　藁ハ早稻ヨリ中稻、中稻ヨリ晩稻大ナリ、一株莖數モ亦之ニ伴ウテ多シ　但晩稻ハ早、中稻ト異ナリ其藁長ハ最長ヨリ最短ノ各階級ニ亙リ品種ノ分布ヲ見ルモ晩稻ニシテ藁短キモノハ莖數早、中稻ニ比シ著シク多シ　穗ノ大小ハ藁ノ大小ニ伴フヲ普通トス

II　藁ノ細太ハ其ノ長短ニ準シ其長キモノハ太シ藁ノ大ナルモノハ一株莖數少シ藁ノ太キモノハ莖數少ク細キモノハ莖數多シ

---

(1) Peralta, F. de, and Estioko, R. P.:— A Tentative Study of the Effect of Root Excretion upon···· Lowland Rice. Phil. Agric. Rev. II. (1923) 205.

(2) 武田總七郎:— 永稻種類ノ特性、農商務省農事試驗場報告第二十六號(明治三十六年)

(3) 永井威三郎:— 日本稻作講義(大正十五年)

III　藁ノ長大ナルモノハ大粒ナル傾向アリ　小粒種ハ莖數多ク大粒種ハ莖數少シ　粒ノ大小ト一穗ノ粒數ハ其關係顯著ナラサレトモ粒同大ナル場合ハ晩稻トナルニ從テ多シ　但莖數甚タ多キ時ハ穗小トナリ粒數ヲ減ス

IV　籾一升重量ハ大粒ヨリ小粒トナルニ從ヒ增加シ(但極小粒ハ減ス)一升重量重キモノハ籾摺步合大ナリ

V　玄米一升重量ハ中稻最モ大ニシテ晩稻之ニ次キ早稻最モ輕シ　而シテ各々大粒種ハ其重量大ナリ

VI　玄米ノ比重ハ早稻最モ少ク中稻,晩稻ハ殆ト差異ナシ

VII　米粒ノ長短ハ藁ノ長短ニ伴フ傾向アリ

VIII　玄米ノ品位ハ中稻最モ良好ナリ　而シテ大粒及中粒ハ品位相似タルモ小粒ハ之ニ劣ル早稻モ亦小粒種ハ品位劣ルモ晩稻ハ之ニ反ス

IX　藁ノ長キモノハ倒伏步合多シ　從テ早稻ハ少ク中稻,晩稻ハ多シ　但晩稻中短キモノハ少シ

永井氏ハ元陸羽支場ニ於テ大正七年一本植ノ品種146點ニ就キ品種間特性相互ノ相關係數ヲ調査シテ第百四十二表ノ如キ成績ヲ得タリ

第百四十二表　品種間特性ノ相關係數

形質	品種間相關係數	形質	品種間相關係數
籾重ト穗重	+ 0.905	草丈ト出穗期	+ 0.393
全重ト穗重	+ 0.863	籾重ト藁重	+ 0.671
藁重ト穗重	+ 0.647	籾重ト草丈	+ 0.410
全重ト藁重	+ 0.827	穗長ト草丈	+ 0.504
全重ト籾重	+ 0.823	穗長ト穗數	− 0.328
全重ト穗數	+ 0.395	草丈ト穗數	− 0.303
全重ト草丈	+ 0.420	籾重ト穗數	+ 0.282
全重ト出穗期	+ 0.854	籾重ト粒著密度	+ 0.231
籾重ト出穗期	+ 0.673	穗長ト粒著密度	+ 0.001

而シテ是等ノ成績ニ據リ異ナル品種間ニ於テハ

I　地上部全重ノ大ナルモノ程穗重亦大キク從ツテ籾ノ收量最モ多キ傾向著シ

II　出穗期晩キ品種程全收穫物乃至籾ノ收量多シ

III　草丈高キ品種ハ概シテ穗モ亦長キ傾向アリ

IV　草丈ト出穂期,草丈ト穂數,穂數ト籾收量トノ間ニハ著シキ相關關係ヲ認メス

ト述ヘラレタリ

次ニ又愛國純系(陸羽二十號)ニ就キ一本植ノ株個體間ニ就キ調査シ第百四十三表ノ如キ成績ヲ得タリ

第百四十三表　個體間特性ノ相關系數

形質	相關係數(愛國純系)	形質	相關係數(愛國純系)
籾重ト莖數	+ 0.864	籾重ト出穂期	− 0.306
籾重ト藁重	+ 0.830	草丈ト莖數	+ 0.227
穂重ト藁重	+ 0.615	穂重ト出穂期	− 0.223
草丈ト穂重	+ 0.519	草丈ト出穂期	− 0.229
籾重ト草丈	+ 0.422	穂重ト莖數	− 0.195
籾重ト穂長	+ 0.351		

更ニ以上ノ試料ヲ個體ニ關係ナク總莖數ニ就テ調査シ第百四十四表ニ示スカ如キ相關係數ヲ得タリ

第百四十四表　莖間特性ノ相關係數

形質	相關係數(愛國純系)	形質	相關係數(愛國純系)
藁重ト穂重	+ 0.801	草丈ト穂長	+ 0.704
穂長ト穂重	+ 0.795	草丈ト穂重	+ 0.673
穂長ト粒數	+ 0.783	穂長ト粒著密度	+ 0.522

以上ニヨリ永井氏ハ品種間ニアリテハ籾重ト出穂期トハ密接ナル關係アルモ個體間(晩稻)ニアリテハ然ラス　之ハ或時期迄出穂ト籾重トハ(正)ノ相關アルモ其以後ハ却テ(負)ノ關係アル結果ナリ　系統間ニ於テモ以上ノ關係ハ同一ナリ　品種間ニアリテハ籾重ト穂數トハ密接ナル關係ヲ示ササレトモ個體間ニアリテハ極メテ高度ノ相關アリ穂重ト藁重トハ品種間ニ於テモ個體間ニ於テモ密接ナル關係アリ殊ニ分蘖間ニ於テハ頗ル密接ナル關係ヲ示セリト說明サレタリ

臺灣稻ニ就テハ從來相關現象ハ全ク調査ヲ缺キ耕種並ニ育種上其指針ヲ得ルニ苦シムノ現狀ニアリ　而シテ又從來相關現象調査ノ多クハ異品種間ノ特性ニ就テ行ハレタルモノ多ク眞ニ其生理的ニ起ル

特性ノ相互關係ヲ適確ニ窺フニハ遺憾ノ點ナキニ非ス　茲ニ於テ予ハ先ツ第百四十五表ニ示スカ如キ14種ノ純系ヲ用ヒ各形質間ノ相關現象ヲ調査セリ　本調査ニ用ヒシ品種竝ニ調査方法ハ次ノ如シ

第一章　第一回相關現象調査

1　調査品種

調査品種ハ大正十年產第一期作7品種,第二期作7品種ニシテ何レモ臺中廳下ニ於ケル代表的品種ニシテ　臺中廳農會試驗場ニ於テ系統分離ヲ行ヒタル純系種ナリ[1]

第百四十五表　第一回相關現象調査品種

期作	番號	品種		期作	番號	品種	
第一期作	1	烏尖	17號	第二期作	1	格仔	37號
	2	朮仔舊	29號		2	清流	19號
	3	白殼仔	7號		3	蔞仔	20號
	4	高脚花蠟	13號		4	烏咬	9號
	5	早大花	24號		5	大菁稿	39號
	6	半天仔	17號		6	高梨	22號
	7	五脚齊	35號		7	黃稿	19號

2　調査項目

第百四十六表　相關現象調査項目竝ニ調査標準表

番號	形質	調査標準	
1	總重量	乾燥重量	(匁)
2	出穗期		
3	穀重量	乾燥重量	(匁)
4	分蘖		
5	草丈	一株每ニ測定シ平均價ヲ求ム	(寸)
6	穗長	一穗每ニ測定シ平均價ヲ求ム	(分)
7	穗重	一穗每ニ秤定シ平均價ヲ求ム	(瓦)
8	一穗粒數	一穗每ニ算定シ平均價ヲ求ム	

(1)　磯永吉,末永仁,其他:一　稻育種事業第一輯(大正五年)乃至第四輯(大正八年)　臺中廳農會

番號	形質	調査標準	
9	著粒疎密	一穗每ニ算定シ平均價ヲ求ム	
10	米千粒重量		(瓦)
11	米長	百粒ニ付キ測定シ平均價ヲ求ム	(粍)
12	米幅	百粒ニ付キ測定シ平均價ヲ求ム	(粍)
13	米厚	百粒ニ付キ測定シ平均價ヲ求ム	(粍)
14	粒形	米長、米幅ノ比	(米長/米幅)
15	米ノ整否	米長ノ變異係數	

備考　測定ニ尺貫法ト米突法ヲ並用セシハ當時調査上ノ利便ト第一編緒言ニ述ヘシ理由ニ因ル

3　調査方法

一品種ニ付キ百株宛豫メ一本植ヲ行ヒ總テ同樣ノ取扱ヲナシ　出穗期ニハ株別ニ期日ヲ調査シ　尙株別ニ番號ヲ附シ前記各項目ノ調査ヲ行ヒ形質別ニ所有組合セヲ行ヒ相關現象ノ有無及其係數ヲ算出シタリ　一品種ノ組合セ數105ニシテ14品種ノ組合セ總數1470トス

公式

平均價　$M=G+\frac{\Sigma F(V-G)}{N}$

M = 平均價
Σ = 總和
V = 級價
F = 級員數
G = 假定平均價
N = 觀測(調査)個體數

標準偏差　$\sigma=\sqrt{\frac{\Sigma F(V-G)^2}{N}-C^2}$

σ = 標準偏差
Σ = 總和
F = 總員數
V = 級價
G = 假定平均價
N = 觀測(調査)個體數
C = $\frac{\Sigma F(V-G)}{N}$

變異係數　$C=\frac{\sigma\times 100}{M}$

C = 變異係數
σ = 標準偏差
Σ = 平均價

相關係數　$\gamma-\frac{\Sigma FD'x\,D'y-NCxCy}{N\sigma x\,\sigma y}$

V = 相關係數
Σ = 總和
F = 級員數
D'x = X形質ノ級別ニ於テ假定平均價ト級價トノ偏差
D'y = Y形質ノ級別ニ於テ假定平均價ト級價トノ偏差
Cx及Cy = $\frac{\Sigma F(V-G)}{N}$
Σ = 總和
F = 級員數
V = 級價
G = 假定平均價
N = 觀測(調査)個體數
N = 觀測(調査)個體數
σx及σy = 標準偏差

平均價ノ平均誤差　$Em=\pm\frac{\sigma}{\sqrt{N}}$

Em = 平均價ノ平均誤差
σ = 標準偏差
N = 觀測(調査)個體數

標準偏差ノ平均誤差 $E\sigma = \pm\frac{\sigma}{\sqrt{2N}}$

$E\sigma$ = 標準偏差ノ平均誤差
σ = 標準偏差
N = 觀測(調査)個體數

相關係數ノ平均誤差 $Er = \pm\frac{1-\gamma^2}{\sqrt{N}}$

Er = 相關係數ノ平均誤差
γ = 相關係數
N = 觀測(調査)個體數

第百四十七表

	組合	平均	1 烏尖	2 朮仔舊
1	總重量ト出穗期	−0.052±0.098	−0.099±0.099	+0.023±0.100
2	總重量ト稈重量	∘ +0.558±0.068	∘ +0.745±0.045	∘ +0.626±0.061
3	總重量ト分蘖	∘ +0.757±0.044	∘ +0.776±0.040	∘ +0.750±0.044
4	總重量ト草丈	+0.208±0.094	+0.271±0.093	+0.229±0.095
5	總重量ト穗長	+0.149±0.095	∘ +0.318±0.090	+0.072±0.099
6	總重量ト穗重	+0.103±0.096	+0.214±0.095	−0.131±0.098
7	總重量ト一穗粒數	+0.194±0.094	+0.284±0.092	+0.026±0.100
8	總重量ト著粒疎密	+0.145±0.097	+0.221±0.095	−0.020±0.100
9	總重量ト米千粒重量	−0.013±0.099	+0.095±0.099	−0.061±0.100
10	總重量ト米長	−0.024±0.098	−0.203±0.096	−0.162±0.097
11	總重量ト米幅	+0.018±0.099	−0.110±0.099	+0.041±0.100
12	總重量ト米厚	+0.011±0.099	−0.107±0.099	−0.107±0.099
13	總重量ト粒形	+0.011±0.097	+0.080±0.099	+0.166±0.097
14	總重量ト米ノ整否	+0.058±0.098	+0.168±0.097	+0.151±0.098
15	出穗期ト稈重量	−0.024±0.099	−0.106±0.099	−0.027±0.100
16	出穗期ト分蘖	−0.027±0.099	−0.090±0.099	−0.061±0.100
17	出穗期ト草丈	+0.011±0.098	−0.092±0.099	+0.044±0.100
18	出穗期ト穗長	+0.042±0.099	−0.022±0.100	+0.080±0.099
19	出穗期ト穗重	−0.014±0.098	−0.084±0.099	+0.157±0.098
20	出穗期ト一穗粒數	−0.050±0.099	−0.119±0.099	+0.068±0.100
21	出穗期ト著粒疎密	−0.061±0.099	−0.089±0.099	+0.034±0.100
22	出穗期ト米千粒重量	−0.098±0.098	−0.133±0.098	−0.127±0.098
23	出穗期ト米長	−0.037±0.099	+0.052±0.100	−0.115±0.099
24	出穗期ト米幅	−0.107±0.096	+0.045±0.100	−0.273±0.093
25	出穗期ト米厚	−0.075±0.099	−0.044±0.100	−0.086±0.099
26	出穗期ト粒形	+0.107±0.097	−0.013±0.100	+0.279±0.092
27	出穗期ト米ノ整否	+0.057±0.100	+0.048±0.100	+0.062±0.100
28	稈重量ト分蘖	∘ +0.609±0.063	∘ +0.807±0.035	∘ +0.612±0.063
29	稈重量ト草丈	+0.069±0.099	+0.109±0.099	−0.033±0.100
30	稈重量ト穗長	+0.194±0.094	∘ +0.349±0.088	+0.013±0.100
31	稈重量ト穗重	∘ +0.346±0.090	∘ +0.349±0.088	+0.190±0.096
32	稈重量ト一穗粒數	∘ +0.366±0.086	∘ +0.442±0.080	+0.232±0.095
33	稈重量ト著粒疎密	∘ +0.312±0.090	∘ +0.325±0.089	+0.249±0.094
34	稈重量ト米千粒重量	+0.032±0.099	+0.119±0.099	−0.095±0.099
35	稈重量ト米長	+0.047±0.098	+0.108±0.099	−0.107±0.099

$$平均誤差ノ平均=\sqrt{\frac{E_1^2+E_2^2+E_3^2\cdots\cdots E_n^2}{N}}$$

E = 平均誤差
N = 個數

4 相關係數

一期作相關係數表

大正十年

3	4	5	6	7
自殼仔	高脚花螺	早大花	牛天仔	五脚齊
—	−0.136±0.098	+0.166±0.097	−0.298±0.091	+0.031±0.100
—	∘ +0.529±0.072	∘ +0.454±0.079	∘ +0.806±0.035	+0.188±0.097
∘ +0.801±0.036	∘ +0.786±0.038	∘ +0.662±0.056	∘ +0.884±0.022	∘ +0.639±0.059
∘ +0.503±0.075	+0.050±0.100	+0.055±0.100	+0.286±0.092	+0.059±0.100
+0.209±0.096	−0.111±0.099	−0.048±0.100	+0.234±0.095	∘ +0.371±0.086
—	−0.085±0.099	+0.047±0.100	∘ +0.304±0.091	+0.269±0.093
∘ +0.366±0.087	−0.072±0.099	+0.197±0.096	+0.250±0.094	∘ +0.309±0.091
∘ +0.336±0.089	−0.016±0.100	+0.141±0.098	+0.214±0.095	+0.137±0.098
+0.118±0.099	−0.179±0.097	−0.119±0.099	−0.062±0.100	+0.120±0.099
+0.085±0.099	−0.047±0.100	−0.056±0.100	+0.076±0.099	+0.142±0.098
+0.165±0.097	−0.203±0.096	+0.078±0.099	+0.049±0.100	+0.108±0.099
+0.219±0.095	+0.009±0.100	−0.090±0.099	−0.003±0.100	+0.158±0.098
−0.292±0.091	+0.199±0.096	−0.133±0.098	−0.039±0.100	+0.094±0.099
−0.054±0.100	+0.137±0.098	+0.020±0.100	+0.156±0.098	−0.169±0.097
—	−0.117±0.099	+0.201±0.096	−0.029±0.100	−0.063±0.100
—	−0.045±0.100	+0.158±0.098	−0.213±0.096	+0.090±0.099
—	+0.016±0.100	+0.067±0.100	−0.198±0.096	+0.229±0.095
—	+0.019±0.100	+0.031±0.100	+0.155±0.098	−0.010±0.100
—	−0.019±0.100	+0.087±0.099	−0.234±0.095	+0.008±0.100
—	+0.014±0.100	−0.053±0.100	−0.164±0.097	−0.047±0.100
—	−0.033±0.100	+0.039±0.100	−0.236±0.094	−0.082±0.099
—	−0.137±0.098	+0.067±0.100	−0.215±0.095	−0.043±0.100
—	−0.056±0.100	−0.027±0.100	−0.137±0.098	+0.063±0.100
—	−0.142±0.098	−0.096±0.099	∘ −0.345±0.088	+0.170±0.097
—	−0.107±0.099	−0.036±0.100	−0.172±0.097	−0.003±0.100
—	+0.151±0.098	+0.032±0.100	∘ +0.301±0.091	−0.110±0.099
—	+0.114±0.099	+0.069±0.100	+0.094±0.099	−0.048±0.100
—	∘ +0.592±0.065	∘ +0.560±0.069	∘ +0.763±0.042	∘ +0.318±0.090
—	+0.125±0.098	−0.059±0.100	+0.209±0.096	+0.063±0.100
—	+0.014±0.100	+0.154±0.098	+0.258±0.093	∘ +0.374±0.086
—	+0.228±0.095	∘ +0.414±0.083	∘ +0.529±0.072	∘ +0.368±0.087
—	+0.244±0.094	∘ +0.390±0.085	∘ +0.442±0.081	∘ +0.447±0.080
—	+0.286±0.092	∘ +0.320±0.090	∘ +0.389±0.085	∘ +0.304±0.091
—	+0.070±0.100	+0.180±0.097	+0.067±0.100	−0.007±0.100
—	+0.131±0.098	+0.052±0.100	+0.114±0.099	+0.201±0.096

組合		平均	1 烏尖	2 糯仔舊
36	穎重量ト米幅	−0.036±0.098	+0.025±0.100	−0.151±0.098
37	穎重量ト米厚	−0.026±0.098	+0.103±0.099	−0.166±0.097
38	穎重量ト粒形	+0.069±0.098	+0.005±0.100	+0.192±0.096
39	穎重量ト米ノ整否	+0.063±0.099	+0.141±0.098	+0.165±0.097
40	分蘖ト草丈	+0.066±0.098	−0.091±0.099	+0.023±0.100
41	分蘖ト穗長	+0.012±0.097	+0.048±0.100	−0.078±0.099
42	分蘖ト穗重	−0.087±0.097	−0.165±0.097	−0.233±0.095
43	分蘖ト一穗粒數	+0.004±0.098	−0.057±0.100	−0.131±0.098
44	分蘖ト著粒疎密	−0.002±0.099	−0.092±0.099	−0.076±0.099
45	分蘖ト米千粒重量	−0.067±0.098	+0.090±0.099	−0.279±0.092
46	分蘖ト米長	−0.026±0.098	−0.135±0.098	−0.253±0.094
47	分蘖ト米幅	−0.034±0.098	−0.267±0.093	−0.160±0.097
48	分蘖ト米厚	−0.010±0.098	−0.072±0.099	−0.165±0.097
49	分蘖ト粒形	−0.013±0.097	+0.054±0.100	+0.082±0.099
50	分蘖ト米ノ整否	−0.015±0.098	+0.201±0.096	+0.072±0.099
51	草丈ト穗長	+0.136±0.096	+0.260±0.093	+0.175±0.097
52	草丈ト穗重	+0.086±0.097	∘ +0.351±0.088	+0.073±0.099
53	草丈ト一穗粒數	+0.187±0.094	∘ +0.369±0.086	+0.167±0.097
54	草丈ト著粒疎密	+0.119±0.097	+0.297±0.091	+0.093±0.099
55	草丈ト米千粒重量	+0.036±0.098	+0.153±0.098	+0.068±0.100
56	草丈ト米長	+0.076±0.097	−0.117±0.099	−0.084±0.099
57	草丈ト米幅	+0.039±0.098	−0.084±0.099	−0.105±0.099
58	草丈ト米厚	+0.061±0.098	−0.094±0.099	+0.039±0.099
59	草丈ト粒形	+0.021±0.098	+0.181±0.097	+0.053±0.100
60	草丈ト米ノ整否	−0.033±0.099	−0.012±0.100	+0.071±0.100
61	穗長ト穗重	∘ +0.459±0.074	∘ +0.611±0.063	+0.295±0.091
62	穗長ト一穗粒數	∘ +0.451±0.078	∘ +0.644±0.059	+0.171±0.097
63	穗長ト著粒疎密	+0.110±0.096	+0.256±0.093	−0.164±0.097
64	穗長ト米千粒重量	+0.123±0.097	+0.290±0.092	−0.130±0.098
65	穗長ト米長	+0.037±0.098	+0.013±0.100	+0.163±0.097
66	穗長ト米幅	+0.028±0.099	+0.212±0.096	+0.116±0.099
67	穗長ト米厚	−0.013±0.098	+0.068±0.100	+0.192±0.096
68	穗長ト粒形	+0.010±0.099	−0.116±0.099	−0.062±0.100
69	穗長ト米ノ整否	+0.019±0.098	+0.121±0.099	−0.274±0.092
70	穗重ト一穗粒數	∘ +0.876±0.025	∘ +0.907±0.018	∘ +0.847±0.028
71	穗重ト著粒疎密	∘ +0.776±0.041	∘ +0.765±0.041	∘ +0.733±0.046
72	穗重ト米千粒重量	+0.121±0.098	+0.257±0.093	−0.012±0.100
73	穗重ト米長	+0.132±0.097	−0.058±0.100	+0.160±0.097
74	穗重ト米幅	+0.036±0.098	−0.115±0.099	+0.125±0.098
75	穗重ト米厚	+0.010±0.099	−0.143±0.098	+0.003±0.100
76	穗重ト粒形	+0.057±0.098	−0.102±0.099	+0.201±0.096

3	4	5	6	7
白 穀 仔	高 脚 花 蠶	早 大 花	中 天 仔	五 脚 齊
—	−0.067±0.100	−0.148±0.098	+0.203±0.096	−0.076±0.099
—	+0.159±0.098	−0.134±0.098	+0.002±0.100	−0.121±0.099
—	+0.144±0.098	+0.066±0.100	−0.158±0.098	+0.164±0.097
—	+0.035±0.100	−0.027±0.100	+0.018±0.100	+0.044±0.100
+0.252±0.094	−0.034±0.100	−0.057±0.100	+0.167±0.097	+0.202±0.096
+0.138±0.098	∘ −0.342±0.088	+0.016±0.100	+0.105±0.099	+0.196±0.096
—	−0.251±0.094	−0.081±0.099	+0.141±0.098	+0.066±0.100
+0.183±0.097	−0.240±0.094	−0.013±0.100	+0.118±0.099	+0.171±0.097
+0.110±0.099	−0.154±0.098	+0.019±0.100	+0.132±0.098	+0.044±0.100
+0.003±0.100	−0.129±0.098	−0.018±0.100	−0.143±0.098	+0.010±0.100
+0.083±0.099	−0.033±0.099	−0.004±0.100	+0.057±0.100	+0.161±0.097
+0.251±0.094	−0.225±0.095	+0.156±0.098	+0.004±0.100	+0.003±0.100
+0.229±0.095	+0.110±0.099	−0.058±0.100	−0.154±0.098	+0.040±0.100
∘ −0.356±0.087	+0.142±0.098	−0.131±0.098	−0.036±0.100	+0.154±0.098
−0.087±0.099	−0.005±0.100	−0.113±0.099	+0.048±0.100	−0.220±0.095
∘ +0.306±0.091	+0.174±0.097	−0.108±0.099	+0.160±0.097	−0.015±0.100
—	−0.012±0.100	−0.055±0.100	+0.240±0.094	−0.080±0.099
∘ +0.392±0.085	−0.017±0.100	+0.114±0.099	∘ +0.307±0.091	−0.020±0.100
+0.273±0.093	−0.098±0.099	+0.042±0.100	+0.243±0.094	−0.014±0.100
+0.207±0.096	−0.049±0.100	−0.058±0.100	+0.143±0.098	−0.210±0.096
+0.128±0.098	+0.081±0.099	∘ +0.351±0.088	+0.176±0.097	+0.000±0.100
+0.129±0.098	−0.066±0.100	+0.189±0.096	+0.166±0.097	+0.045±0.100
+0.057±0.100	+0.013±0.100	∘ +0.328±0.089	+0.034±0.100	+0.001±0.100
−0.199±0.096	+0.120±0.099	+0.147±0.098	−0.086±0.099	−0.072±0.100
−0.234±0.095	−0.085±0.099	−0.023±0.100	+0.018±0.100	+0.034±0.100
—	∘ +0.599±0.064	∘ +0.394±0.085	∘ +0.398±0.084	∘ +0.458±0.079
∘ +0.374±0.086	∘ +0.598±0.064	∘ +0.385±0.085	∘ +0.426±0.082	∘ +0.556±0.069
−0.044±0.100	∘ +0.376±0.086	+0.070±0.100	+0.081±0.099	+0.197±0.096
+0.134±0.098	+0.139±0.098	+0.221±0.095	+0.004±0.100	+0.206±0.096
−0.046±0.100	+0.221±0.095	−0.177±0.097	+0.023±0.100	+0.065±0.100
−0.011±0.100	+0.015±0.100	−0.024±0.100	−0.031±0.100	−0.079±0.099
−0.019±0.100	−0.005±0.100	−0.251±0.094	−0.000±0.100	−0.076±0.099
−0.007±0.100	+0.135±0.098	−0.076±0.099	+0.127±0.098	+0.069±0.100
−0.100±0.099	+0.074±0.099	+0.116±0.099	+0.081±0.099	+0.118±0.099
—	∘ +0.969±0.006	∘ +0.837±0.030	∘ +0.882±0.022	∘ +0.814±0.034
—	∘ +0.928±0.014	∘ +0.833±0.031	∘ +0.735±0.046	∘ +0.664±0.056
—	+0.163±0.097	+0.099±0.099	+0.052±0.100	+0.167±0.097
—	∘ +0.347±0.088	+0.094±0.099	+0.154±0.098	+0.094±0.099
—	+0.196±0.096	−0.104±0.099	+0.162±0.097	−0.050±0.100
—	+0.116±0.099	−0.019±0.100	+0.045±0.100	+0.059±0.100
—	+0.056±0.100	+0.146±0.098	−0.051±0.100	+0.199±0.096

組合		平均	1 烏尖	2 朮仔舊
77	穗重ト米ノ整否	+0.037±0.099	−0.058±0.100	+0.042±0.100
78	一穗粒數ト著粒疎密	○ +0.870±0.083	○ +0.806±0.035	○ +0.925±0.014
79	一穗粒數ト米千粒重量	+0.063±0.099	+0.162±0.098	+0.001±0.100
80	一穗粒數ト米長	+0.080±0.098	+0.099±0.099	+0.093±0.099
81	一穗粒數ト米幅	+0.032±0.100	+0.065±0.100	−0.049±0.100
82	一穗粒數ト米厚	−0.012±0.100	−0.110±0.099	−0.046±0.100
83	一穗粒數ト粒形	+0.032±0.099	−0.086±0.099	+0.083±0.099
84	一穗粒數ト米ノ整否	+0.017±0.099	−0.090±0.099	+0.048±0.100
85	著粒疎密ト米千粒重量	+0.022±0.099	+0.127±0.098	+0.045±0.100
86	著粒疎密ト米長	+0.030±0.099	+0.052±0.100	+0.058±0.100
87	著粒疎密ト米幅	+0.023±0.100	−0.000±0.100	−0.044±0.100
88	著粒疎密ト米厚	+0.002±0.099	−0.094±0.099	−0.070±0.100
89	著粒疎密ト粒形	+0.023±0.099	−0.045±0.100	+0.069±0.100
90	著粒疎密ト米ノ整否	+0.031±0.099	−0.076±0.099	+0.115±0.099
91	米千粒重量ト米長	+0.039±0.096	−0.188±0.096	−0.040±0.100
92	米千粒重量ト米幅	+0.124±0.096	+0.137±0.098	−0.036±0.100
93	米千粒重量ト米厚	+0.015±0.095	−0.144±0.098	−0.117±0.099
94	米千粒重量ト粒形	−0.020±0.098	+0.049±0.100	+0.157±0.098
95	米千粒重量ト米ノ整否	−0.026±0.099	+0.121±0.099	+0.033±0.100
96	米長ト米幅	○ +0.446±0.079	○ +0.594±0.065	○ +0.416±0.083
97	米長ト米厚	○ +0.363±0.084	○ +0.301±0.091	+0.185±0.097
98	米長ト粒形	+0.068±0.085	○ −0.397±0.084	−0.073±0.099
99	米長ト米ノ整否	−0.238±0.087	○ −0.587±0.066	−0.176±0.097
100	米幅ト米厚	○ +0.424±0.081	○ +0.391±0.085	○ +0.620±0.062
101	米幅ト粒形	○ −0.737±0.048	○ −0.783±0.039	○ −0.910±0.018
102	米幅ト米ノ整否	−0.260±0.091	○ −0.326±0.089	○ −0.337±0.089
103	米厚ト粒形	−0.192±0.089	−0.242±0.094	○ −0.467±0.078
104	米厚ト米ノ整否	−0.167±0.094	−0.098±0.099	−0.293±0.091
105	粒形ト米ノ整否	+0.160±0.094	+0.145±0.098	○ +0.325±0.089

備考

I. 表中○印ハ係數0.3以上ノモノ

II. 表中空欄ハ故障ノタメ試驗中止,係數缺如セルモノトス

第百四十八表　第

組合		平均	1 格仔	2 清滬
1	總重量ト出穗期	○ −0.303±0.086	○ −0.346±0.088	○ −0.434±0.081
2	總重量ト稈重量	○ +0.716±0.050	○ +0.631±0.060	○ +0.740±0.045
3	總重量ト分蘖	○ +0.712±0.050	○ +0.651±0.058	○ +0.637±0.059

3	4	5	6	7
白 發 仔	高 脚 花 蠶	早 大 花	牛 天 仔	五 脚 齊
—	+0.142±0.098	−0.042±0.098	+0.074±0.100	+0.064±0.100
∘ +0.905±0.018	∘ +0.939±0.012	∘ +0.905±0.018	∘ +0.752±0.044	∘ +0.859±0.026
+0.035±0.100	+0.107±0.099	−0.019±0.100	−0.017±0.100	+0.155±0.098
−0.092±0.099	+0.274±0.093	+0.143±0.098	+0.050±0.100	−0.006±0.100
−0.025±0.100	+0.119±0.099	−0.015±0.100	+0.067±0.100	+0.065±0.100
+0.005±0.100	+0.054±0.100	+0.034±0.100	+0.013±0.100	−0.035±0.100
+0.034±0.100	+0.096±0.099	+0.057±0.100	−0.005±0.100	+0.042±0.100
−0.146±0.098	+0.144±0.098	−0.087±0.099	+0.110±0.099	+0.141±0.098
−0.121±0.098	+0.053±0.100	−0.087±0.099	+0.051±0.100	+0.084±0.099
−0.065±0.100	+0.270±0.093	+0.029±0.100	+0.037±0.100	−0.056±0.100
−0.017±0.100	+0.151±0.098	+0.000±0.100	+0.100±0.099	−0.030±0.100
+0.005±0.100	+0.102±0.099	+0.087±0.099	+0.030±0.100	−0.045±0.100
+0.039±0.100	+0.055±0.100	+0.177±0.097	−0.114±0.099	−0.022±0.100
−0.115±0.099	+0.160±0.097	−0.074±0.099	+0.108±0.099	+0.102±0.099
−0.048±0.100	∘ +0.325±0.089	−0.054±0.100	∘ +0.331±0.089	−0.054±0.100
+0.012±0.100	∘ +0.392±0.085	−0.039±0.100	∘ +0.330±0.089	+0.072±0.100
−0.055±0.100	∘ +0.320±0.090	−0.252±0.094	∘ +0.417±0.083	−0.062±0.100
−0.228±0.095	−0.206±0.096	+0.000±0.100	+0.066±0.100	+0.024±0.100
−0.075±0.099	−0.106±0.099	+0.149±0.098	−0.197±0.096	−0.110±0.099
∘ +0.751±0.044	∘ +0.423±0.082	∘ +0.399±0.084	∘ +0.403±0.084	+0.139±0.098
∘ +0.603±0.064	∘ +0.391±0.085	∘ +0.730±0.047	+0.242±0.094	+0.087±0.099
∘ −0.530±0.072	+0.251±0.094	∘ +0.546±0.070	+0.120±0.099	∘ +0.556±0.069
∘ −0.439±0.081	∘ +0.375±0.086	∘ −0.381±0.086	−0.228±0.095	−0.228±0.095
∘ +0.766±0.041	∘ +0.354±0.088	∘ +0.389±0.085	+0.258±0.093	+0.193±0.096
∘ −0.867±0.025	∘ −0.758±0.043	∘ −0.515±0.074	∘ −0.793±0.037	∘ −0.536±0.071
∘ −0.478±0.077	−0.095±0.099	−0.290±0.092	−0.279±0.092	−0.013±0.100
∘ −0.662±0.056	−0.114±0.099	+0.282±0.093	−0.094±0.099	−0.045±0.100
∘ −0.386±0.085	+0.106±0.099	∘ −0.438±0.081	−0.053±0.100	−0.006±0.100
∘ +0.351±0.088	∘ +0.375±0.086	−0.100±0.099	+0.148±0.098	−0.121±0.098

（試驗地 臺中）

二期作相關係數表

大 正 十 年

3	4	5	6	7
蔓 仔	烏 咬	大 菁 驕	高 梨	黃 驕
∘ −0.418±0.083	+0.045±0.100	+0.057±0.100	∘ −0.488±0.076	∘ −0.538±0.071
∘ +0.690±0.052	∘ +0.730±0.047	∘ +0.575±0.067	∘ +0.751±0.044	∘ +0.894±0.020
∘ +0.567±0.068	∘ +0.746±0.044	∘ +0.795±0.037	∘ +0.702±0.051	∘ +0.886±0.021

	組合	平均	1 格仔	2 清流
4	總重量ト草丈	+0.280±0.091	−0.033±0.100	∘ +0.344±0.088
5	總重量ト穗長	∘ +0.329±0.089	+0.272±0.093	+0.187±0.097
6	總重量ト穗重	∘ +0.369±0.084	−0.063±0.100	∘ +0.476±0.077
7	總重量ト一穗粒數	∘ +0.420±0.082	+0.021±0.100	∘ +0.530±0.072
8	總重量ト著粒疎密	∘ +0.328±0.086	−0.097±0.099	∘ +0.444±0.080
9	總重量ト米千粒重量	+0.158±0.096	+0.017±0.100	+0.202±0.096
10	總重量ト米長	+0.127±0.097	+0.059±0.100	+0.012±0.100
11	總重量ト米幅	+0.073±0.098	−0.088±0.099	−0.025±0.100
12	總重量ト米厚	+0.116±0.098	+0.068±0.100	+0.078±0.099
13	總重量ト粒形	−0.049±0.099	+0.056±0.100	+0.010±0.100
14	總重量ト米ノ整否	−0.034±0.099	+0.093±0.099	−0.020±0.100
15	出穗期ト粳重量	∘ −0.314±0.088	∘ −0.328±0.089	∘ −0.388±0.085
16	出穗期ト分蘖	−0.249±0.091	−0.200±0.096	∘ −0.332±0.089
17	出穗期ト草丈	−0.115±0.097	−0.162±0.097	−0.202±0.096
18	出穗期ト穗長	−0.241±0.093	∘ −0.354+0.088	−0.285±0.092
19	出穗期ト穗重	−0.204±0.094	−0.177±0.097	∘ −0.306±0.091
20	出穗期ト一穗粒數	−0.257±0.092	−0.294±0.091	−0.292±0.091
21	出穗期ト著粒疎密	−0.146±0.096	−0.135±0.098	−0.053±0.100
22	出穗期ト米千粒重量	−0.128±0.096	+0.068±0.100	−0.272±0.093
23	出穗期ト米長	−0.087±0.098	+0.021±0.100	−0.153±0.098
24	出穗期ト米幅	−0.061±0.098	−0.086±0.099	−0.002±0.100
25	出穗期ト米厚	−0.076±0.098	+0.029±0.100	+0.097±0.099
26	出穗期ト粒形	+0.050±0.099	+0.188±0.097	+0.029±0.100
27	出穗期ト米ノ整否	+0.019±0.099	−0.082±0.099	+0.025±0.100
28	粳重量ト分蘖	∘ +0.818±0.035	∘ +0.828±0.031	∘ +0.881±0.022
29	粳重量ト草丈	+0.167±0.093	−0.221±0.095	+0.243±0.094
30	粳重量ト穗長	∘ +0.392±0.083	+0.236±0.094	+0.219±0.095
31	粳重量ト穗重	∘ +0.532±0.069	+0.077±0.099	∘ +0.536±0.071
32	粳重量ト一穗粒數	∘ +0.604±0.063	+0.230±0.095	∘ +0.629±0.060
33	粳重量ト著粒疎密	∘ +0.501±0.073	+0.134±0.098	∘ +0.571±0.067
34	粳重量ト米千粒重量	+0.159±0.095	−0.064±0.100	+0.236±0.094
35	粳重量ト米長	+0.145±0.096	+0.080±0.099	+0.074±0.099
36	粳重量ト米幅	+0.064±0.098	−0.100±0.099	+0.011±0.100
37	粳重量ト米厚	+0.083±0.098	−0.001±0.100	+0.074±0.099
38	粳重量ト粒形	+0.041±0.098	+0.252±0.094	+0.049±0.100
39	粳重量ト米ノ整否	+0.047±0.098	+0.053±0.100	−0.057±0.100
40	分蘖ト草丈	+0.025±0.097	−0.278±0.092	−0.044±0.100
41	分蘖ト穗長	+0.185±0.095	−0.010±0.100	−0.039±0.100
42	分蘖ト穗重	+0.170±0.091	∘ −0.415±0.083	+0.139±0.098
43	分蘖ト一穗粒數	∘ +0.238±0.090	−0.264±0.093	+0.252±0.094
44	分蘖ト著粒疎密	+0.209±0.093	−0.202±0.096	∘ +0.335±0.089

3	4	5	6	7
蔓仔	烏唉	大著橋	高梨	黃橋
∘ +0.359±0.087	+0.291±0.092	+0.253±0.094	• +0.309±0.091	∘ +0.439±0.081
∘ +0.378±0.086	∘ +0.377±0.086	∘ +0.368±0.087	+0.221±0.095	∘ +0.500±0.075
∘ +0.431±0.086	∘ +0.400±0.084	∘ +0.427±0.082	∘ +0.354±0.088	∘ +0.555±0.069
∘ +0.469±0.088	∘ +0.440±0.081	∘ +0.505±0.075	• +0.415±0.083	∘ +0.557±0.069
∘ +0.376±0.086	∘ +0.360±0.087	∘ +0.338±0.089	∘ +0.411±0.083	∘ +0.461±0.079
+0.044±0.100	+0.127±0.098	+0.142±0.098	+0.088±0.099	∘ +0.476±0.077
+0.162±0.097	+0.215±0.095	−0.064±0.100	+0.190±0.096	∘ +0.316±0.090
+0.079±0.099	+0.184±0.097	−0.066±0.100	+0.164±0.097	+0.261±0.093
+0.091±0.100	+0.204±0.096	+0.009±0.100	+0.204±0.096	+0.251±0.094
−0.043±0.100	−0.113±0.099	−0.091±0.099	−0.032±0.100	−0.133±0.098
−0.108±0.099	−0.082±0.099	−0.186±0.097	+0.117±0.099	−0.051±0.100
∘ −0.314±0.090	−0.114±0.099	−0.050±0.100	∘ −0.489±0.076	∘ −0.513±0.074
−0.262±0.093	−0.019±0.100	+0.012±0.100	• −0.488±0.076	∘ −0.457±0.079
−0.221±0.095	+0.126±0.098	+0.073±0.100	−0.166±0.097	−0.251±0.094
−0.214±0.095	−0.213±0.095	−0.053±0.100	−0.221±0.095	∘ −0.344±0.088
−0.199±0.096	−0.125±0.098	+0.101±0.099	−0.273±0.093	∘ −0.450±0.080
• −0.305±0.091	−0.160±0.097	−0.084±0.099	−0.254±0.094	• −0.407±0.083
−0.266±0.093	−0.115±0.099	+0.094±0.099	−0.184±0.097	∘ −0.365±0.087
−0.037±0.100	+0.006±0.100	−0.003±0.100	−0.244±0.094	• −0.412±0.083
−0.142±0.098	−0.101±0.099	+0.100±0.099	−0.100±0.099	−0.232±0.095
+0.002±0.100	−0.037±0.100	+0.060±0.100	−0.015±0.100	∘ −0.351±0.088
−0.072±0.099	−0.227±0.095	+0.029±0.100	−0.129±0.098	−0.262±0.093
+0.000±0.100	−0.038±0.100	−0.011±0.100	−0.062±0.100	• +0.247±0.094
+0.050±0.100	+0.091±0.099	+0.006±0.100	−0.132±0.098	+0.174±0.097
• +0.816±0.033	∘ +0.863±0.026	∘ +0.667±0.056	∘ +0.763±0.042	∘ +0.906±0.018
• +0.396±0.084	+0.131±0.098	+0.028±0.100	+0.182±0.097	∘ +0.410±0.083
• +0.521±0.073	∘ +0.518±0.073	+0.208±0.096	∘ +0.538±0.071	∘ +0.502±0.075
• +0.731±0.047	• +0.701±0.051	∘ +0.312±0.090	• +0.647±0.058	∘ +0.721±0.048
• +0.710±0.050	∘ +0.698±0.051	∘ +0.479±0.077	∘ +0.740±0.045	∘ +0.740±0.045
∘ +0.505±0.075	∘ +0.635±0.060	∘ +0.323±0.090	∘ +0.664±0.056	∘ +0.672±0.055
+0.063±0.100	+0.061±0.100	+0.175±0.097	+0.197±0.096	∘ +0.444±0.080
+0.118±0.099	+0.284±0.092	−0.026±0.099	+0.196±0.096	+0.291±0.091
+0.146±0.098	+0.145±0.098	−0.116±0.099	+0.076±0.100	+0.286±0.092
+0.058±0.100	+0.157±0.098	−0.133±0.098	+0.141±0.098	+0.284±0.092
−0.080±0.099	+0.045±0.100	+0.089±0.099	+0.080±0.099	−0.151±0.098
−0.151±0.098	−0.221±0.095	−0.095±0.099	+0.260±0.093	−0.121±0.098
+0.107±0.099	+0.030±0.100	−0.018±0.100	+0.082±0.099	+0.296±0.091
+0.272±0.093	+0.263±0.093	+0.256±0.094	+0.160±0.098	∘ +0.395±0.084
+0.276±0.092	∘ +0.303±0.091	∘ +0.341±0.088	+0.144±0.098	∘ +0.406±0.083
+0.284±0.092	∘ +0.319±0.090	∘ +0.330±0.089	+0.282±0.092	∘ +0.434±0.081
+0.185±0.097	+0.283±0.092	+0.266±0.093	+0.233±0.095	• +0.363±0.087

	組合	平均	1 格仔	2 清流
45	分蘖ト米千粒重量	+0.079±0.098	+0.050±0.100	+0.019±0.100
46	分蘖ト米長	+0.098±0.097	+0.074±0.099	+0.017±0.100
47	分蘖ト米幅	+0.020±0.098	−0.109±0.799	−0.051±0.100
48	分蘖ト米厚	+0.058±0.098	+0.071±0.100	−0.098±0.099
49	分蘖ト粒形	+0.004±0.099	+0.155±0.098	+0.064±0.100
50	分蘖ト米ノ整否	+0.041±0.099	+0.117±0.099	−0.115±0.099
51	草丈ト穗長	+0.231±0.094	+0.156±0.098	∘ +0.314±0.090
52	草丈ト穗重	∘ +0.351±0.086	+0.247±0.094	∘ +0.547±0.070
53	草丈ト一穗粒數	+0.290±0.090	+0.149±0.098	∘ +0.451±0.080
54	草丈ト著粒疎密	+0.195±0.095	+0.075±0.099	+0.226±0.095
55	草丈ト米千粒重量	+0.138±0.096	−0.102±0.099	+0.204±0.096
56	草丈ト米長	+0.164±0.094	∘ +0.451±0.080	+0.296±0.091
57	草丈ト米幅	+0.015±0.099	−0.001±0.100	+0.063±0.100
58	草丈ト米厚	+0.020±0.097	+0.011±0.100	+0.121±0.098
59	草丈ト粒形	+0.021±0.100	−0.008±0.100	+0.038±0.100
60	草丈ト米ノ整否	−0.031±0.100	−0.075±0.099	+0.069±0.100
61	穗長ト穗重	∘ +0.474±0.077	∘ +0.388±0.085	∘ +0.433±0.081
62	穗長ト一穗粒數	∘ +0.552±0.069	∘ +0.537±0.071	∘ +0.421±0.082
63	穗長ト著粒疎密	+0.184±0.091	−0.035±0.100	−0.241±0.094
64	穗長ト米千粒重量	+0.093±0.098	−0.025±0.100	+0.123±0.099
65	穗長ト米長	+0.099±0.098	−0.044±0.100	+0.073±0.099
66	穗長ト米幅	+0.036±0.099	−0.096±0.099	−0.000±0.100
67	穗長ト米厚	+0.099±0.098	+0.071±0.100	+0.217±0.095
68	穗長ト粒形	−0.003±0.100	−0.018±0.100	+0.018±0.100
69	穗長ト米ノ整否	+0.038±0.099	+0.067±0.100	+0.110±0.099
70	穗重ト一穗粒數	∘ +0.814±0.038	∘ +0.752±0.043	∘ +0.884±0.022
71	穗重ト著粒疎密	∘ +0.685±0.049	∘ +0.613±0.062	∘ +0.551±0.070
72	穗重ト米千粒重量	+0.230±0.092	+0.034±0.100	∘ +0.440±0.081
73	穗重ト米長	+0.171±0.095	−0.049±0.100	+0.239±0.094
74	穗重ト米幅	+0.087±0.097	−0.018±0.100	+0.039±0.100
75	穗重ト米厚	+0.111±0.097	−0.063±0.100	+0.102±0.099
76	穗重ト粒形	−0.036±0.098	−0.123±0.099	+0.064±0.100
77	穗重ト米ノ整否	−0.021±0.098	−0.109±0.099	+0.054±0.100
78	一穗粒數ト著粒疎密	∘ +0.789±0.041	∘ +0.589±0.065	∘ +0.600±0.064
79	一穗粒數ト米千粒重量	+0.134±0.096	−0.020±0.100	+0.251±0.094
80	一穗粒數ト米長	+0.183±0.095	−0.063±0.100	+0.199±0.096
81	一穗粒數ト米幅	+0.089±0.098	−0.014±0.100	+0.026±0.100
82	一穗粒數ト米厚	+0.144±0.097	+0.001±0.100	+0.159±0.098
83	一穗粒數ト粒形	−0.012±0.099	−0.035±0.100	+0.047±0.100
84	一穗粒數ト米ノ整否	−0.014±0.098	−0.064±0.100	−0.011±0.100
85	著粒疎密ト米千粒重量	+0.110±0.097	−0.054±0.100	+0.147±0.098

3	4	5	6	7
蕓仔	鳥咬	大菁糯	高梨	黃糯
−0.100±0.099	+0.145±0.098	+0.043±0.100	+0.079±0.099	∘ +0.320±0.090
+0.026±0.100	+0.031±0.100	−0.076±0.100	+0.155±0.098	∘ +0.460±0.079
+0.166±0.097	+0.008±0.100	−0.208±0.096	+0.114±0.099	+0.222±0.095
−0.081±0.099	+0.062±0.100	−0.076±0.099	+0.281±0.092	+0.250±0.094
−0.125±0.098	+0.018±0.100	+0.037±0.100	−0.000±0.100	−0.119±0.099
−0.076±0.099	−0.106±0.099	−0.091±0.099	+0.137±0.098	−0.153±0.098
∘ +0.474±0.078	+0.128±0.098	+0.141±0.098	+0.117±0.099	+0.290±0.092
∘ +0.468±0.078	+0.191±0.096	+0.258±0.093	∘ +0.388±0.085	∘ +0.368±0.086
∘ +0.573±0.067	+0.177±0.097	+0.198±0.096	+0.114±0.099	∘ +0.365±0.087
+0.262±0.093	+0.195±0.096	+0.235±0.095	+0.078±0.099	+0.296±0.091
+0.196±0.096	+0.074±0.099	+0.124±0.099	+0.094±0.099	∘ +0.374±0.086
+0.201±0.096	+0.160±0.097	−0.142±0.098	−0.082±0.099	+0.265±0.093
+0.050±0.100	+0.067±0.100	−0.020±0.100	−0.193±0.096	+0.137±0.098
+0.212±0.096	−0.011±0.100	−0.081±0.099	−0.177±0.097	+0.067±0.100
−0.012±0.100	+0.037±0.100	−0.051±0.100	+0.127±0.098	+0.015±0.100
−0.043±0.100	−0.023±0.100	+0.001±0.100	−0.115±0.099	−0.034±0.100
∘ +0.569±0.068	∘ +0.678±0.054	+0.207±0.096	∘ +0.514±0.074	∘ +0.528±0.072
∘ +0.571±0.067	∘ +0.648±0.058	∘ +0.423±0.082	∘ +0.754±0.043	∘ +0.508±0.074
+0.190±0.094	∘ +0.489±0.076	+0.166±0.097	∘ +0.472±0.078	+0.248±0.094
+0.197±0.096	+0.004±0.100	−0.050±0.100	+0.106±0.099	+0.293±0.091
+0.180±0.097	+0.258±0.093	+0.037±0.100	+0.084±0.099	+0.108±0.099
+0.055±0.100	+0.138±0.098	+0.029±0.100	−0.043±0.100	+0.170±0.097
+0.143±0.098	+0.160±0.097	+0.069±0.100	−0.053±0.100	+0.083±0.099
+0.020±0.100	+0.005±0.100	−0.017±0.100	+0.114±0.099	−0.146±0.098
−0.113±0.099	−0.050±0.100	+0.017±0.100	+0.198±0.096	+0.034±0.100
∘ +0.868±0.025	∘ +0.896±0.020	∘ +0.475±0.078	∘ +0.848±0.028	∘ +0.973±0.006
∘ +0.624±0.061	∘ +0.814±0.034	∘ +0.509±0.074	∘ +0.767±0.041	∘ +0.916±0.016
+0.226±0.095	+0.076±0.099	+0.102±0.099	+0.249±0.094	∘ +0.483±0.077
+0.247±0.094	+0.207±0.096	−0.033±0.100	+0.259±0.093	∘ +0.317±0.090
+0.118±0.099	+0.172±0.097	−0.088±0.099	+0.001±0.100	∘ +0.386±0.085
+0.234±0.094	+0.197±0.096	−0.005±0.100	+0.014±0.100	+0.298±0.091
+0.032±0.100	−0.095±0.099	−0.012±0.100	+0.152±0.098	−0.270±0.093
−0.115±0.099	−0.067±0.100	−0.148±0.098	+0.295±0.091	−0.060±0.100
∘ +0.815±0.034	∘ +0.958±0.008	∘ +0.803±0.036	∘ +0.888±0.021	∘ +0.867±0.025
+0.178±0.097	−0.107±0.099	+0.083±0.099	+0.112±0.099	∘ +0.444±0.080
+0.238±0.094	+0.219±0.095	+0.132±0.098	+0.200±0.096	∘ +0.355±0.087
+0.119±0.099	+0.077±0.099	+0.007±0.100	+0.019±0.100	∘ +0.388±0.085
+0.232±0.095	+0.105±0.099	+0.028±0.100	+0.174±0.097	∘ +0.306±0.091
+0.079±0.099	−0.038±0.100	+0.021±0.100	+0.086±0.099	−0.243±0.094
−0.112±0.099	−0.087±0.099	−0.108±0.099	∘ +0.317±0.090	−0.034±0.100
+0.181±0.097	−0.092±0.099	+0.084±0.099	+0.091±0.099	∘ +0.415±0.083

組合		平均	1 格仔	2 清流
86	著粒疎密ト米長	+0.197±0.036	+0.104±0.099	+0.171±0.097
87	著粒疎密ト米幅	+0.077±0.098	−0.018±0.100	−0.026±0.100
88	著粒疎密ト米厚	+0.108±0.098	−0.001±0.100	+0.033±0.100
89	著粒疎密ト粒形	−0.009±0.099	+0.010±0.100	+0.109±0.099
90	著粒疎密ト米ノ整否	−0.029±0.098	−0.103±0.099	+0.085±0.099
91	米千粒重量ト米長	+0.194±0.095	−0.058+0.100	+0.240±0.094
92	米千粒重量ト米幅	+0.138±0.097	+0.120±0.098	+0.197±0.096
93	米千粒重量ト米厚	+0.181±0.096	+0.172±0.097	+0.174±0.097
94	米千粒重量ト粒形	−0.028±0.099	−0.103±0.099	−0.083±0.099
95	米千粒重量ト米ノ整否	−0.040±0.098	−0.032±0.100	+0.141±0.098
96	米長ト米幅	○ +0.443±0.079	+0.242±0.094	+0.223±0.095
97	米長ト米厚	○ +0.375±0.083	−0.064±0.100	○ +0.326±0.089
98	米長ト粒形	+0.085±0.096	○ +0.323±0.090	+0.233±0.095
99	米長ト米ノ整否	+0.017±0.093	−0.073±0.100	+0.215±0.095
100	米幅ト米厚	○ +0.458±0.074	−0.158±0.098	○ +0.428±0.082
101	米幅ト粒形	○ −0.753±0.044	○ −0.683±0.053	○ −0.803±0.036
102	米幅ト米ノ整否	−0.046±0.096	−0.033±0.100	+0.205±0.096
103	米厚ト粒形	−0.270±0.089	+0.095±0.099	−0.133±0.098
104	米厚ト米ノ整否	−0.010±0.095	+0.053±0.100	+0.292±0.092
105	粒形ト米ノ整否	+0.092±0.097	+0.074±0.099	−0.106±0.099

備考　表中○印ハ係數0.3以上ノモノ

5　相關關係數

上表ヲ考査シ各形質間ニ相關々係ノ顯著ナルモノヲ擧クレハ第百四十九表及第百五十九表ノ如シ

第百四十九表　第一期作相關々係表

基礎性質	比較性質	相關係數 正	負
總重量	稈重量	+0.558±0.068	—
	分蘖	+0.757±0.044	—
稈重量	總重量	+0.558±0.068	—
	分蘖	+0.609±0.063	—
	穗重	+0.346±0.090	—
	一穗粒數	+0.366±0.086	—
	著粒粗密	+0.312±0.090	—
分蘖	總重量	+0.757±0.044	—
	稈重量	+0.609±0.063	—

3	4	5	6	7
蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黃稿
+0.250±0.094	+0.181±0.097	+0.143±0.098	+0.186±0.097	∘ +0.347±0.088
+0.110±0.099	+0.099±0.099	−0.018±0.100	+0.044±0.100	∘ +0.356±0.087
+0.190±0.096	+0.037±0.100	+0.099±0.099	+0.073±0.100	∘ +0.326±0.089
+0.009±0.100	−0.056±0.100	+0.043±0.100	+0.026±0.100	−0.201±0.096
−0.111±0.099	−0.122±0.099	−0.179±0.097	+0.290±0.092	−0.064±0.100
∘ +0.327±0.083	+0.192±0.096	+0.139±0.098	+0.220±0.095	+0.297±0.091
+0.059±0.100	+0.271±0.093	−0.013±0.100	+0.033±0.100	+0.296±0.091
+0.157±0.097	+0.193±0.096	+0.055±0.100	+0.095±0.099	∘ +0.418±0.082
+0.066±0.100	−0.133±0.098	+0.151±0.098	+0.087±0.099	−0.180±0.097
−0.161±0.097	−0.243±0.094	−0.125±0.099	+0.167±0.097	−0.030±0.100
∘ +0.323±0.090	∘ +0.670±0.055	∘ +0.496±0.075	∘ +0.516±0.073	∘ +0.629±0.060
∘ +0.431±0.081	∘ +0.385±0.085	∘ +0.431±0.082	∘ +0.554±0.069	∘ +0.563±0.068
+0.231±0.095	∘ −0.307±0.097	+0.220±0.095	+0.061±0.100	−0.166±0.097
∘ −0.355±0.087	∘ −0.345±0.088	∘ +0.356±0.087	∘ +0.318±0.090	−0.000±0.100
∘ +0.409±0.083	∘ +0.560±0.069	∘ +0.553±0.070	∘ +0.766±0.041	∘ +0.648±0.058
∘ −0.782±0.039	∘ −0.766±0.041	∘ −0.640±0.059	∘ −0.777±0.040	∘ −0.820±0.033
−0.199±0.096	∘ −0.423±0.082	+0.139±0.098	+0.132±0.098	−0.147±0.098
−0.191±0.096	∘ −0.485±0.077	−0.231±0.095	∘ −0.498±0.075	∘ −0.447±0.080
−0.074±0.100	∘ −0.455±0.079	−0.012±0.100	+0.249±0.094	−0.123±0.098
−0.053±0.100	+0.279±0.092	+0.135±0.098	+0.102±0.099	+0.213±0.095

（試驗地　臺中）

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
穗長	穗重	+0.459±0.074	—
	一穗粒數	+0.451±0.078	—
穗重	稈重量	+0.346±0.090	—
	穗長	+0.459±0.074	—
	一穗粒數	+0.876±0.025	—
	著粒粗密	+0.776±0.041	—
一穗粒數	稈重量	+0.366±0.086	—
	穗長	+0.451±0.078	—
	穗重	+0.876±0.025	—
	著粒粗密	+0.870±0.083	—
著粒粗密	稈重量	+0.312±0.090	—
	穗重	+0.776±0.041	—
	一穗粒數	+0.870±0.083	—
米長	米幅	+0.446±0.079	—
	米厚	+0.363±0.084	—

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
米幅	米長	+0.446±0.079	—
	米厚	+0.424±0.081	—
	粒形	—	−0.737±0.048
米厚	米長	+0.363±0.084	—
	米幅	+0.424±0.081	—
粒形	米幅	—	−0.737±0.048

第百五十表　第二期作相關々係數

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
總重量	出穗期	—	−0.303±0.086
	稈重量	+0.716±0.050	—
	分蘗	+0.712±0.050	—
	穗長	+0.329±0.089	—
	穗重	+0.369±0.084	—
	一穗粒數	+0.420±0.082	—
	著粒粗密	+0.328±0.086	—
出穗期	總重量	—	−0.303±0.086
	稈重量	—	−0.314±0.088
稈重量	總重量	+0.716±0.050	—
	出穗期	—	−0.314±0.088
	分蘗	+0.818±0.035	—
	穗長	+0.392±0.083	—
	穗重	+0.532±0.069	—
	一穗粒數	+0.604±0.063	—
	著粒粗密	+0.501±0.073	—
分蘗	總重量	+0.712±0.050	—
	稈重量	+0.818±0.035	—
草丈	穗重	+0.351±0.086	—
穗長	總重量	+0.329±0.089	—
	稈重量	+0.392±0.083	—
	穗重	+0.474±0.077	—
	一穗粒數	+0.552±0.069	—
穗重	總重量	+0.369±0.084	—
	稈重量	+0.532±0.069	—
	草丈	+0.351±0.086	—
	穗長	+0.474±0.077	—
	一穗粒數	+0.814±0.038	—
	著穗粗密	+0.685±0.049	—

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
一穗粒數	總重量	+0.420±0.082	—
	稈重量	+0.604±0.063	—
	穗長	+0.552±0.069	—
	穗重	+0.814±0.038	—
	著粒粗密	+0.789±0.041	—
著粒粗密	總重量	+0.328±0.086	—
	稈重量	+0.501±0.073	—
	穗重	+0.685±0.049	—
	一穗粒數	+0.789±0.041	—
米長	米幅	+0.443±0.079	—
	米厚	+0.375±0.083	—
米幅	米長	+0.443±0.079	—
	米厚	+0.458±0.074	—
	粒形	—	−0.753±0.044
米厚	米長	+0.375±0.083	—
	米幅	+0.458±0.074	—
粒形	米幅	—	−0.753±0.044

第二章　第二回相關現象調査

以上第百四十七表乃至第百五十表ノ調査ノ結果ヲ見ルニ I.籾重量ト穗長　II.分蘖ト草丈　III.草丈ト穗長ニ關スル成績カ第百五十一表其 I. 及其 II. ニ示スカ如ク第一期作ト第二期作トノ間ニ合致セサルト又別ニ其關係ヲ明ニスルノ要アルコトヲ認メ更ニ第二回調査ヲ行ヒ第百五十四表ニ示スカ如キ成績ヲ得タリ

第百五十一表　再調査ヲ要スト認メタル相關係數

其 I.　第一期作

組合	平均	1 烏尖	2 朮仔舊	3 白殼仔	4 高脚花蠟	5 早大花	6 牛天仔	7 五脚齊
籾重量ト穗長	+0.194±0.094	+0.349±0.088	+0.013±0.100	—	+0.014±0.100	+0.154±0.098	+0.258±0.093	+0.374±0.086
分蘖ト草丈	+0.012±0.097	+0.048±0.100	−0.078±0.099	+0.138±0.098	−0.342±0.088	+0.016±0.100	+0.105±0.099	+0.196±0.096
草丈ト穗長	+0.136±0.096	+0.260±0.093	+0.175±0.097	+0.306±0.091	+0.174±0.097	−0.108±0.099	+0.160±0.097	−0.015±0.100

其II. 第二期作

組合	平均	1 格仔	2 清流	3 蓬仔
稈重量ト穗長	+0.292±0.083	+0.236±0.094	+0.219±0.095	+0.521±0.073
分蘖ト草丈	+0.025±0.097	−0.278±0.092	−0.044±0.100	+0.107±0.099
草丈ト穗長	+0.231±0.094	+0.156±0.098	+0.314±0.090	+0.474±0.078

4 烏咬	5 大菁稿	6 高梨	7 黃稿
+0.518±0.073	+0.208±0.096	+0.538±0.071	+0.502±0.075
+0.030±0.100	−0.018±0.100	+0.082±0.099	+0.296±0.091
+0.128±0.098	+0.141±0.098	+0.117±0.099	−0.290±0.092

1. 調査品種

調査品種ハ大正十一年產第一期作7品種　第二期作7品種ニシテ第一回ニ用ヒシモノト同一ナリ

第百五十二表　第二回相關現象調査品種

期作	番號	品種		期作	番號	品種	
第一期作	1	烏尖	17號	第二期作	1	格仔	31號
	2	朮仔舊	29號		2	清流	19號
	3	白殼仔	7號		3	蓬仔	20號
	4	高脚花蓮	13號		4	烏咬	9號
	5	早大花	24號		5	大菁稿	39號
	6	牛天仔	17號		6	高梨	22號
	7	五脚齊	35號		7	黃稿	19號

2. 調査項目

第百五十三表　調査項目

番號	形質	調査項目	
1	稈重量	一株完全稈乾燥總重量	(瓦)
2	分蘖	一株有效分蘖木數	
3	草丈	一株ノ各莖ニツキ測定シ平均價ヲ求ム	(寸)
4	穗長	一株ノ各穗ニツキ測定シ平均價ヲ求ム	(分)

3. 調査方法

第一回ノ場合ト同シ

4. 相關係數

第百五十四表　第一期作相關係數表

大正十一年

番號	組合	平均	品種名 1 烏尖	2 糯仔舊	3 白殼仔	4 高脚花蠟	5 早大花	6 牛天仔	7 五脚齊
1	穎重量ト穗長	+0.322±0.088	+0.369±0.086	+0.584±0.067	+0.128±0.098	+0.318±0.090	+0.342±0.088	+0.268±0.093	+0.257±0.093
2	分蘖ト草丈	+0.190±0.093	+0.361±0.087	+0.279±0.092	+0.315±0.090	+0.300±0.090	+0.281±0.092	−0.027±0.100	−0.191±0.096
3	草丈ト穗長	+0.370±0.084	+0.300±0.091	+0.142±0.098	+0.567±0.068	+0.158±0.097	+0.494±0.076	+0.294±0.091	+0.638±0.059

（試驗地　臺中）

第百五十五表　第二期作相關係數表

大正十一年

番號	組合	平均	品種名 1 格仔	2 清流	3 蔓仔	4 烏咬	5 大菁稿	6 高梨	7 黃稿
1	穎重量ト穗長	+0.273±0.090	+0.434±0.081	+0.096±0.099	+0.197±0.086	+0.253±0.094	+0.285±0.092	+0.332±0.089	+0.314±0.090
2	分蘖ト草丈	+0.169±0.095	+0.315±0.090	−0.061±0.100	+0.163±0.097	+0.284±0.092	+0.189±0.096	+0.002±0.100	+0.293±0.091
3	草丈ト穗長	+0.459±0.078	+0.606±0.063	+0.685±0.053	+0.433±0.081	+0.212±0.096	+0.314±0.090	+0.500±0.075	+0.465±0.078

（試驗地　臺中）

5. 相關關係表

上表ヲ考査シ各形質間ニ相關關係ノ顯著ナルモノヽ相關係數ヲ擧クレハ第百五十六表及第百五十七表ノ如シ

第百五十六表　第一期作相關關係數表

大正十一年

基礎性質	比較性質	相關係數 正	負
穎重量	穗長	+0.322±0.088	—
穗長	草丈	+0.370±0.084	—

第百五十七表　第二期作相關關係數表

大正十一年

基礎性質	比較性質	相關係數	
		正	負
穗長	草丈	+0.459±0.078	—

以上籾重量(收量)ト穗長,分蘖ト草丈,草丈ト穗長ニ就キ行ヘル第一回調査(第百五十一表)ト第二回調査(第百五十四表及第百五十五表)ノ成績ヲ比較スルニ籾重量ト穗長ハ第一回調査第一期作ハ平均0.194±0.094ニシテ各品種ヲ通覽スレハ0.3以上ノモノI.鳥尖 II.五脚齊ノ2品種アリ其他ハ0.3以下ニシテ關係顯著ナラス　然ルニ第二期作ニ於テハ平均+0.392±0.083ニシテ各品種ヲ通覽シテ關係極メテ顯著ナリ　然ルニ第二回調査ニ於テハ第一期作ハ平均+0.322±0.088ニシテ第二期作ハ平均+0.273+0.090ニシテ第一期作ハ第二期作ヨリ關係顯著ナリ　然レトモ兩回ノ調査並ニ兩期作各品種ヲ通シテ考査スレハ大體ニ於テ一致スヘキ傾向ヲ示シ籾重量ト穗長トノ相關々係ハ顯著ナリト認メ得可シ

分蘖ト草丈トノ關係ハ第一回調査第一期作ハ平均+0.012±0.097第二期作ハ平均+0.025±0.097第二回調査第一期作平均+0.190±0.093第二期作平均+0.169+0.095ニテ何レモ相關關係顯著ナラサルコトニ於テ一致セリ　然レトモ第一回調査第一期作高脚花螺(−0.342±0.088)第二回調査第一期作鳥尖(+0.361±0.087)白殼(+0.315+0.090)高脚花螺(±0.309+0.090)第二期作格仔(+0.315±0.090)ノ如キアリ　分蘖ト草丈トノ關係ハ耕種上特ニ研究ヲ要スルモノト認メ之カ調査ハ第六編第四章ニ於テ詳述セリ

草丈ト穗長トノ關係ハ第一回調査第一期作平均+0.136+0.096,第二期作平均+0.231±0.094,第二回調査第一期作+0.370±0.084,第二期作平均+0.45±90.078,第二回調査ニ於テハ兩期作共關係顯著ナルコトニ一致セリ

第三章　相關關係綜合

以上第一期作及第二期作ノ2回ニ亙ル調査ノ結果ヲ綜合シ相關關係ノ確實ナリト認メタルモノヲ表示スレハ第百五十八表及第百五十九表ノ如シ

第百五十八表　第一期作相關關係綜合表

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
總重量	穎重量	+0.558±0.068	—
	分蘖	+0.757±0.044	—
穎重量	總重量	+0.558±0.068	—
	分蘖	+0.609±0.063	—
	穗重	+0.346±0.090	—
	一穗粒數	+0.366±0.086	—
	著粒粗密	+0.312±0.090	—
	穗長	+0.322±0.088	—
分蘖	總重量	+0.757±0.044	—
	穎重量	+0.609±0.063	—
草丈	穗長	+0.370±0.084	—
穗長	穗重	+0.459±0.074	—
	一穗粒數	+0.451±0.078	—
穗重	穎重量	+0.346±0.090	—
	穗長	+0.459±0.074	—
	一穗粒數	+0.876±0.025	—
	著粒粗密	+0.776±0.041	—
一穗粒數	穎重量	+0.366±0.086	—
	穗長	+0.451±0.078	—
	穗重	+0.876±0.025	—
	著粒粗密	+0.870±0.083	—
著粒粗密	穎重量	+0.312±0.090	—
	穗重	+0.776±0.041	—
	一穗粒數	+0.870±0.083	—
米長	米幅	+0.446±0.079	—
	米厚	+0.363±0.084	—
米幅	米長	+0.446±0.079	—
	米厚	+0.424±0.081	—
	粒形	—	−0.737±0.048
米厚	米長	+0.363±0.084	—
	米幅	+0.424±0.081	—
粒形	米幅	—	−0.737±0.048

第百五十九表　第二期作相關關係綜合表

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
總重量	出穗期	—	−0.303±0.086
	穎重量	+0.716±0.050	—
	分蘖	+0.712±0.050	—
	穗長	+0.329±0.089	—

基礎性質	比較性質	相關係數 正	相關係數 負
	穗重	+0.360±0.084	—
	一穗粒數	+0.420±0.082	—
	著粒粗密	+0.328±0.086	—
出穗期	總重量	—	−0.303±0.086
	稈重量	—	−0.314±0.088
稈重量	總重量	+0.716±0.050	—
	出穗期	—	−0.314±0.088
	分蘖	+0.818±0.035	—
	穗長	+0.392±0.083	—
	穗重	+0.532±0.069	—
	一穗粒數	+0.604±0.063	—
	著粒粗密	+0.501±0.073	—
分蘖	總重量	+0.712±0.050	—
	稈重量	+0.818±0.035	—
草丈	穗重	+0.351±0.086	—
	穗長	+0.459±0.078	—
穗長	總重量	+0.329±0.089	—
	稈重量	+0.392±0.083	—
	穗重	+0.474±0.077	—
	一穗粒數	+0.552±0.069	—
穗重	總重量	+0.369±0.084	—
	稈重量	+0.532±0.069	—
	草丈	+0.351±0.086	—
	穗長	+0.474±0.077	—
	一穗粒數	+0.814±0.038	—
	著粒粗密	+0.685±0.049	—
一穗粒數	總重量	+0.420±0.082	—
	稈重量	+0.604±0.063	—
	穗長	+0.552±0.069	—
	穗重	+0.814±0.038	—
	著粒粗密	+0.789±0.041	—
著粒粗密	總重量	+0.328±0.086	—
	稈重量	+0.501±0.073	—
	穗重	+0.685±0.049	—
	一穗粒數	+0.789±0.041	—
米長	米幅	+0.443±0.079	—
	米厚	+0.375±0.083	—
米幅	米長	+0.443±0.079	—
	米厚	+0.458±0.074	—
	粒形	—	−0.753±0.044
米厚	米長	+0.375±0.083	—
	米幅	+0.458±0.074	—
粒形	米幅	—	−0.753±0.044

試ミニ予カ第百五十八表及第百五十九表ニ示ス相關關係確實ナリト認ムル形質ノ組合セヲJacobson及Vibar兩氏カ異品種間ニ於テ相關關係特ニ顯著ナルモノ或ハ顯著ナリト認メタルモノノ中形質組合セノ同シキモノヲ擧クレハ籾收量ト分蘖數、籾收量ト穗長、籾收量ト草丈ニシテ何レモ正値ヲ表セリ　籾收量ト一穗粒數ハJacobson氏ハ異品種間ニ於テ相關關係ナシト認メタレトモ予ノ第一期作及第二期作各7品種各純系內ニ於テハ相關關係確實ナリ　又Jacobson氏カ相關關係負ナリト認ムル一株莖數ト一穗粒數ハ予ノ同上品種ノ調査ニ於テハ相關關係確實ト認メサルモ負値ヲ表ハサス（第百四十七表及第百四十八表、分蘖ト一穗粒數）然レトモ第百五十六表及第百六十一表異品種間特性相關係數ニ於テハ－0.431±0.0978及－0.552±0.0849ニシテ全ク相一致セリ　是レ異品種間ニ於ケルモノト一純系內ニ於ケルモノトノ差ト認ムルコトヲ得ヘシ　武田氏カ異品種間ニ於テ穗ノ大小ハ藁ノ大小ニ伴ヒ藁ノ長大ナルモノハ大粒ナル傾向アリト認メタルハ同純系內ニ於テモ同一ノ傾向アリ（第百四十七表及第百四十八表草丈ト穗長及穗重、草丈ト玄米千粒重量）然レトモ藁ノ大ナルモノハ一株莖數少ク粒ノ大小ハ莖數ニ反比例スト認メタルハ第百六十一表異品種間相關係數ハ其一致ヲ示スモ同純系內ニ於テハ必スシモ然ラス　是レ耕種上特ニ注意スヘキ事項タルヘシ

永井氏カ異品種間ノ特性ニ於テ地上部ノ全重大ナルモノ程穗重及籾收量最モ多ク草丈高キ品種ハ穗モ亦長シト認メタルハ予ノ各品種純系內ノ調査ニ於テモ同一傾向ヲ示セリ　然レトモ出穗期晩キ品種程全收量及籾收量多シト認メタルハ予ノ純系內調査ニ於テハ第一期作ハ殆ト相關關係ヲ確實ニ認メ難キ係數トナリ第二期作ハ顯著ナル負値ヲ示セリ　之ハ永井氏モ愛國純系內ノ調査ニ於テ之ヲ認メタリ

予ハ更ニ第一期作及第二期作各7品種總計17純系ニ就キ純系內ノ形質ノ相關現象ヲ永井氏カ愛國純系內ニ行ヘル調査成績ト比較對照スルニ同氏ハ

籾重ト莖數トノ係數＋0.864ヲ得　予ハ籾重ト分蘖トノ係數第一期作平均＋0.609±0.063、第二期作平均＋0.818±0.035ヲ得相關關係顯著ナルコトニ一致セリ

籾重ト藁重トノ係數＋0.830ナルニ對シ予ハ籾重ト藁重トシテ調査

セサリシト雖モ總重量ト籾重量トノ係數第一期作平均＋0.558±0.068第二期作平均＋0.716±0.050ナレハ籾重ト藁重トノ關係モ同一傾向ナルヘシト想像スルニ難カラス

穗重ト藁重トノ係數＋0.615ナルニ對シ予ハ穗重ト藁重トシテ調査セサリシモ總重量ト穗重第一期作平均＋0.360±0.014,第二期作平均＋0.360±0.084,又草丈ト穗重トノ關係ハ第一期作平均ハ顯著ナラスト雖モ一品種トシテハ顯著ナルモノアリ　第二期作平均＋0.351±0.086ニシテ或程度ニ於テ斯ル傾向ヲ認ムヘシ

草丈ト穗重トノ係數ハ＋0.519ニ對シ予ハ第一期作平均＋0.086±0.097第二期作平均＋0.351±0.086ヲ得上述ノ如ク或程度積極的關係ヲ認ムヘシ

籾重ト草丈トノ係數ハ＋0.422ナルニ對シ予ハ第一期作平均＋0.069±0.099第二期作平均＋0.167±0.093程度ニ於テ甚シキ差アリ予ノ成績モ一品種トシテハ第二期作蔓仔＋0.396±0.084黄稿＋0.410±0.083アレ共平均ニ於テハ然ラス　第一期作ノ如キハ相關關係確實ナリト認ムルニ難シ

籾重ト穗長トノ係數ハ＋0.357ナルニ對シ予ハ第一期作平均＋0.322±0.088第二期作平均＋0.392±0.083ヲ得關係確實ナルコトニ一致セリ

籾重ト出穗期トノ係數ハ－0.306ナルニ對シ予ハ第一期作平均－0.024±0.099第二期作平均－0.314±0.088ヲ得同傾向アリト雖モ第一期作ノ係數ハ關係ヲ認ムルニ困難ナリト云フ可シ

草丈ト莖數トノ係數ハ＋0.227ナルニ對シ予ハ草丈ト分蘖第一期作平均＋0.066±0.098,第二期作平均＋0.025±0.097ニシテ相關關係ヲ認ムルニ困難ナリ　然レトモ草丈ト分蘖トノ關係ハ生育期中ノ時期ニヨリ異ナル所アルヘク更ニ是等ニ就キ研究ヲ要スルモノト認ム此點後編更ニ述フル所アルヘシ

穗重ト出穗期トノ係數ハ－0.223ナルニ對シ予ハ第一期作平均－0.014±0.098第二期作平均－0.204±0.094ナリ　而シテ第一期ニ於テハ半天仔種－0.234±0.095アリ　第二期作ニ於テハ清流種－0.306±0.091,高梨種－0.273±0.093黄稿種－0.450±0.080等アリ成績同傾向ト認メテ可ナルヘシ

草丈ト出穗期トノ係數ハ－0.229ナルニ對シ予ハ第一期作平均＋0.011±0.098第二期作平均－0.115±0.097ヲ得全品種ヲ通シテ－0.200程度ノモノ4品種アリ，穗重ト莖數トノ係數ハ－0.195ナルニ對シ予ハ第一期作平均－0.087±0.098第二期作平均＋0.170±0.091ヲ得其關係確實ナラス

尙永井氏ハ愛國純系ニ就キ個體ニ關係ナク莖間ノ相關關係ヲ調査シ(第百四十四表)藁重ト穗重,穗長ト穗重,穗長ト粒數,草丈ト穗重,穗長ト著粒疎密ノ間ニ顯著ナル係數ヲ得タリ　試ミニ之ヲ予ノ兩期作14品種ノ純系ニ就キ調査セル成績ニ對照スルニ大體相似タル傾向ヲ示スモ唯穗長ト著粒疎密ノ係數ハ永井氏ノ+0.522ナルニ對シ予ハ第一期作平均+0.110±0.096,第二期作平均+0.184±0.091ヲ示セリ　然レトモ第一期作中高脚花螺+0.376±0.086,第二期作鳥咬+0.489±0.076,高梨+0.472±0.078ノ如キアリ一品種トシテハ相似タル傾向ノモノアリ

以上ハ同氏ノ組合セニシテ予ノ形質組合セ中ニアルモノヲ比較セルモノニシテ其他ノ特性間ニ於テ相關關係確實ト認ムルモノハ第百五十八表及第百五十九表ニ之ヲ示セリ

尙予ハ別ニ大正十三年第一期作臺灣種70品種,大正十四年第一期作內地種67品種ニ就キ品種間特性ノ相關現象ヲ調査セリ調査ノ方法ハ前項ニ準シ調査ノ項目ハ草丈,分蘖,穗長,穗重,一穗粒數,著粒疎密(一寸間ノ粒數)籾千粒ノ重量ニシテ參考ノタメ附記シ更ニ備考欄ニJacobson,武田,永井三氏ノ品種間相關關係調査成績ト比較スルコトトセリ

第百六十表　品種間特性相關係數(臺灣種)

大正十三年

基礎形質	比較形質	相關係數 正	相關係數 負	備考
草丈	分蘖	—	−0.078±0.1187	永井,武田ト一致ス、Jacobson 該當項目ナシ
	穗長	+0.599±0.0766	—	永井,武田、Gacobson ト一致ス
	穗重	+0.474±0.0926	—	比較該當項目ナシ
	粒數	+0.410±0.0994	—	同
	著粒粗密	+0.105±0.1182	—	同
分蘖	穗長	—	−0.062±0.1190	永井ト一致ス　其他比較該當項目ナシ
	穗重	—	−0.426±0.0978	比較該當項目ナシ
	粒數	—	−0.431±0.0978	Jacobson ト一致ス、其他比較該當項目ナシ
	著粒粗密	—	−0.379±0.1023	比較該當項目ナシ
穗長	穗重	—	−0.037±0.1193	同
	粒數	+0.240±0.1126	—	同
	著粒粗密	—	−0.240±0.1126	本項他ト一致セス
穗重	粒數	+0.877±0.0276	—	比較該當項目ナシ
	著粒粗密	+0.736±0.0547	—	同
粒數	著粒粗密	+0.872±0.0286	—	同

(試驗地　嘉義)

第百六十一表　品種間特性相關係數(內地種)

大正十四年

基礎形質	比較形質	相關係數 正	相關係數 負	備考
草丈	分蘖	—	−0.375±0.1050	永井、武田ト一致ス、Jacobson 該當項目ナシ
	穗長	+0.431±0.0995	—	永井、武田、Jacobson ト一致ス
	穗重	+0.670±0.0673	—	比較該當項目ナシ
	粒數	+0.635±0.0891	—	同
	著粒粗密	+0.557±0.0843	—	同
	粒千粒重量	—	−0.014±0.1222	同
分蘖	穗長	—	−0.219±0.1163	永井ト一致ス、其他比較該當項目ナシ
	穗重	—	−0.641±0.0720	比較該當項目ナシ
	粒數	—	−0.552±0.0849	Jacobson ト一致ス、其他比較該當項目ナシ、
	著粒粗密	—	−0.544±0.0860	比較該當項目ナシ
	粒千粒重量	—	−0.100±0.1209	同
穗長	穗重	+0.921±0.0186	—	同
	粒數	+0.576±0.0816	—	同
	著粒粗密	+0.143±0.1196	—	永井ト一致ス、其他比較該當項目ナシ
	粒千粒重量	—	−0.023±0.1220	武田ト一致ス、其他比較該當項目ナス
穗重	粒數	+0.920±0.0183	—	比較該當項目ナシ
	著粒粗密	+0.694±0.0633	—	同
	粒千粒重量	+0.000±0.1209	—	同
粒數	著粒粗密	+0.911±0.0208	—	同
	粒千粒重量	—	−0.240±0.1151	同
著粒粗密	粒千粒重量	—	−0.270±0.1133	同

(試驗地　嘉義)

要スルニ從來稻ニ關スル相關現象ノ調査ハ異品種間ノ特性ニ就テ行ハレシモノ多ク又純系內形質間ノ調査モ供試品種數少キカタメ一品種ニヨリテ得タル成績ハ必スシモ多數品種ヲ通スル平均成績ト一致セサルハ寧ロ當然ノコトニ屬ス　特ニ臺灣ニ於ケルカ如ク期作ヲ異ニスル場合ニ於ケル關係ハ生育中ノ氣象ノ異ナルニ伴ヒ必スシモ同一ナラス或ハ程度ニ於テ甚シキ差アルコト多カルヘシ　從ツテ耕種育種上注意スヘキ要點モ異ルヘシ　予カ相關現象ヲ調査シ得タル成績ハ單ニ以上係數ノ表記ニ止メ更ニ次編以後ニ於テ之カ應用ニ就キ研究ヲ進メントス

第五編　臺灣稻ノ收量構成ニ關スル研究

第一章　子實收量ト他形質トノ相關係數

子實收量ニ影響ヲ及ホスヘキ他形質ニ關シ前編相關現象ノ結果ニ基キ考査スルニ之ト積極的ノ關係アルハ總重量,分蘖,穗重,穗長,一穗粒數,著粒疎密等ニシテ其程度ハ第百六十二表ノ如シ

第百六十二表　子實收量ト他形質トノ相關係數

基礎形質	比較形質	第一期作	第二期作
子實收量	總重量	+0.558±0.068	+0.716±0.056
	分蘖	+0.609±0.063	+0.818±0.035
	穗重	+0.346±0.096	+0.532±0.069
	穗長	+0.392±0.083	+0.392±0.083
	一穗粒數	+0.366±0.086	+0.604±0.063
	著粒粗密	+0.312±0.090	+0.501±0.073

上表ニヨレハ子實收量ト密接ノ關係アルハ總重量,分蘖,穗重ト認ムルヲ得ヘク穗長,一穗粒數,著粒疎密ハ穗重ヲ大ナラシムル一要素ニ外ナラス　又總重量ハ分蘖ト關係スルトコロ大ナルヲ以テ結局子實收量ハ大部分分蘖及穗重ニヨリテ構成セラルルモノト看做シテ誤ナカルヘシ

第二章　系統分離試驗實蹟ニ據ル子實收量ト他形質トノ關係

臺中廳農會試驗場ニ於テ吾人ハ大正四年ヨリ同七年迄ニ第一期作15種,第二期作15種ノ代表的品種ニツキ系統分離[1]ヲ施行シ各形質ノ生物測定學的調査ヲ行ヒ最モ豐產ニシテ品質可良ノ見込アルモノ1系宛ヲ選擇シタリ　而シテ最終ノ生產比較試驗タル大正七年ノ成績ニヨリ玄米收量及之ニ關係アル形質ヲ抄錄シ品種別ニ選擇系ノ秀テタル形質ヲ精査スルニ第百六十三表ノ如シ　但玄米收量ハ反當分蘖本

(1)　磯永吉,末永仁,其他:一　稻育種事業　第一輯(大正五年)乃至第四輯(大正八年)臺中廳農會

數ハ一株當,重量比率ハ籾對玄米ノ比率,著粒疎密ハ一寸間粒數ニシテ選擇系以外ハ淘汰系トス　又分蘖,穗長ノ±以下ハ變異係數トス

第百六十三表　選擇系ト淘汰系トノ形質比較

第一期作

第一號　白米粉種

大正七年

調査項目	系統番號									
	選擇系(3)	1	2	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 2.084	2.012	2.018	1.978	1.902	1.947	2.001	2.027	1.956	2.079
分蘖	16.26 ±21.16	12.83 ±21.76	12.36 ±21.39	13.21 ±23.32	12.12 ±23.85	13.25 ±26.26	13.38 ±23.69	13.48 ±22.33	13.04 ±23.70	13.80 ±21.96
穗長	cm 58.48 ±10.78	65.90 ±5.81	64.92 ±7.70	67.20 ±10.46	62.86 ±7.51	64.28 ±6.77	65.76 ±6.82	65.86 ±6.83	68.96 ±9.02	65.62 ±9.14
千粒重量	g 22.1	21.3	23.2	22.1	23.3	21.1	21.6	21.3	21.3	24.0
重量比率	% 76.9	77.2	76.8	76.6	76.2	77.2	77.5	77.1	75.6	77.5
著粒粗密	20.1	25.1	28.9	19.3	24.5	25.5	27.4	22.4	22.7	18.8

備考　1.選擇系ハ分蘖多ク變異係數小ナリ

第二號　半高低烏尖

調査項目	系統番號									
	選擇系(5)	1	2	3	4	6	7	8	9	10
玄米收量	g 2.017	1.939	1.864	1.878	1.854	1.926	1.819	1.956	1.752	1.779
分蘖	21.96 ±24.77	16.30 ±22.14	19.97 ±23.69	16.72 ±23.39	17.71 ±24.45	18.23 ±22.87	16.18 ±24.72	19.18 ±22.84	16.68 ±20.20	14.68 ±26.29
穗長	cm 57.94 ±7.61	60.44 ±8.52	62.62 ±7.25	60.36 ±8.28	60.18 ±8.61	64.84 ±7.60	58.92 ±7.08	64.86 ±6.78	67.04 ±7.26	71.51 ±6.56
千粒重量	g 24.0	23.4	22.3	22.1	23.5	22.5	23.7	22.9	20.9	21.6
重量比率	% 77.1	76.7	76.2	75.8	77.3	76.0	77.6	76.8	75.9	76.5
著粒粗密	12.8	13.3	13.3	12.1	14.0	13.2	12.7	13.5	14.2	16.1

備考　1.選擇系ハ分蘖多ク千粒重量大ナリ

第三號　高脚花螺

調査項目	系統番號									
	選擇系(7)	1	2	3	4	5	6	8	9	10
玄米收量	g 1.808	1.323	1.181	1.386	1.359	1.324	1.427	1.587	1.502	1.490
分蘖	12.32 ±25.89	11.28 ±25.98	10.44 ±26.92	12.50 ±22.96	12.09 ±23.33	11.38 ±24.98	10.86 ±24.68	11.24 ±25.36	10.99 ±26.21	11.08 ±24.80
穗長	cm 72.78 ±5.04	70.32 ±6.26	71.06 ±6.37	70.28 ±6.38	68.04 ±7.77	70.94 ±6.12	73.08 ±5.32	66.36 ±5.71	72.34 ±5.18	68.38 ±5.75
千粒重量	g 23.2	21.5	21.8	20.9	21.0	21.9	22.0	21.7	22.1	21.0
重量比率	% 75.5	75.5	75.5	73.7	76.4	75.1	76.8	75.8	75.6	75.9
著粒粗密	19.1	22.6	17.3	22.1	21.1	18.2	18.7	19.7	15.5	22.4

備考　1.選擇系ハ分蘖穗長稍優レ千粒重量大ナリ

第四號　落　　忍

調査項目	系統番號									
	選擇系(2)	1	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.886	1.836	1.752	1.772	1.771	1.823	1.737	1.658	1.701	1.498
分蘖	18.60 ±26.99	19.93 ±23.48	13.62 ±24.16	20.49 ±23.28	19.68 ±25.25	11.13 ±28.12	18.35 ±23.32	19.43 ±26.87	19.74 ±24.52	9.39 ±26.67
穗長	cm 60.16 ±8.16	64.82 ±8.79	70.90 ±5.04	62.94 ±9.26	59.14 ±8.05	73.88 ±5.85	63.00 ±7.29	62.72 ±7.41	61.90 ±6.59	70.56 ±5.37
千粒重量	g 23.5	24.3	21.5	21.6	23.7	21.7	22.5	22.5	23.0	22.3
重量比率	% 76.5	76.4	74.8	75.8	76.8	76.3	76.6	76.9	76.5	74.9
著粒粗密	13.4	12.2	19.4	16.2	18.2	10.1	13.4	13.8	12.2	21.3

第五號　高脚鳥尖

調査項目	系統番號									
	選擇系(10)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
玄米收量	g 1.908	1.708	1.802	1.794	1.640	1.800	1.780	1.678	1.800	1.753
分蘖	17.16 ±24.71	11.72 ±27.90	12.52 ±29.79	11.96 ±26.51	11.79 ±23.83	12.71 ±25.02	12.24 ±22.96	11.79 ±21.71	12.40 ±22.34	13.30 ±25.49
穗長	cm 63.44 ±6.26	73.00 ±6.70	72.72 ±6.56	73.60 ±7.92	71.78 ±6.17	67.64 ±7.04	77.78 ±6.75	74.18 ±5.32	76.48 ±7.94	86.32 ±6.22
千粒重量	g 23.6	24.8	23.4	23.9	23.2	23.4	24.0	23.9	24.5	22.6
重量比率	% 76.8	75.9	78.2	76.8	76.2	77.2	77.2	76.7	76.2	73.7
著粒粗密	14.0	17.3	17.4	20.3	15.7	16.3	15.5	16.4	16.0	14.4

備考　1.選擇系ハ分蘖大ナリ

第六號　烏殼耳仔

調査項目	系統番號									
	選擇系(8)	1	2	3	4	5	6	7	9	10
玄米收量	g 1.843	1.680	1.707	1.702	1.708	1.582	1.692	1.846	1.601	1.725
分蘖	12.27 ±24.12	12.17 ±24.73	13.08 ±24.92	11.46 ±24.08	12.63 ±23.91	12.31 ±23.48	12.34 ±24.88	12.18 ±22.17	11.81 ±20.66	11.86 ±23.78
穗長	cm 70.22 ±5.61	68.34 ±5.49	70.86 ±5.43	69.08 ±6.33	68.10 ±5.95	67.90 ±5.70	67.54 ±5.69	68.68 ±5.07	71.36 ±5.49	72.08 ±5.24
千粒重量	g 21.6	22.3	22.3	22.9	22.7	22.6	22.6	22.3	22.9	22.5
重量比率	% 75.7	75.9	75.9	75.5	76.3	75.3	76.0	75.6	75.2	75.7
著粒粗密	21.3	16.7	19.6	17.3	17.2	19.2	17.7	19.2	19.1	17.9

備考　1.選擇系ハ著粒優レリ

第七號 朮 仔 舊

調査項目	系	統	番	號						
	選擇系 (6)	1	2	3	4	5	7	8	9	10
玄米收量	g 2.018	1.898	1.914	1.821	1.945	1.891	1.988	1.894	1.944	1.929
分蘖	14.29 ±23.37	13.54 ±27.47	13.67 ±26.92	13.96 ±24.57	14.38 ±26.56	13.79 ±25.90	14.60 ±25.07	14.85 ±25.12	14.06 ±22.69	14.29 ±25.12
穗長	cm 73.13 ±6.54	70.50 ±5.43	72.64 ±6.18	73.68 ±5.77	72.34 ±7.02	75.20 ±6.28	75.90 ±4.63	75.82 ±4.59	77.78 ±4.91	76.58 ±5.99
千粒重量	g 23.1	22.8	22.6	22.6	22.9	22.6	22.9	22.0	22.9	22.6
重量比率	% 76.8	76.2	76.8	77.0	77.1	77.1	76.0	76.3	76.1	77.3
著粒粗密	14.9	15.3	19.0	21.9	18.2	15.5	15.5	14.4	14.8	15.1

備考 1.選擇系ハ千粒重量大ナリ

第八號 柳 州

調査項目	系	統	番	號						
	選擇系 (1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 2.194	1.991	1.889	1.953	2.061	1.978	1.812	2.102	2.094	2.088
分蘖	21.81 ±22.37	21.33 ±21.75	20.87 ±20.17	22.75 ±18.42	21.88 ±20.38	23.73 ±20.69	21.08 ±23.06	15.72 ±21.76	20.12 ±21.77	16.29 ±21.55
穗長	cm 62.53 ±8.43	64.48 ±7.20	63.26 ±8.33	60.84 ±6.73	62.68 ±6.89	62.08 ±7.31	62.04 ±7.25	71.31 ±7.40	61.92 ±7.07	71.00 ±6.62
千粒重量	g 22.3	21.9	21.1	23.0	22.1	22.7	23.3	23.3	22.1	23.3
重量比率	% 76.7	76.2	76.0	76.2	75.8	76.5	75.9	76.8	76.3	76.4
著粒粗密	12.6	11.7	13.2	11.8	13.8	12.9	13.6	15.0	15.3	16.0

備考 1.選擇系ハ分蘖、重量比率稍優レリ

第九號 半 天 仔

調査項目	系	統	番	號						
	選擇系 (1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 2.066	2.057	2.053	1.757	1.811	1.804	1.823	1.903	1.855	2.005
分蘖	13.94 ±20.66	12.95 ±23.86	14.70 ±20.54	12.46 ±23.76	11.90 ±22.10	12.42 ±20.61	12.50 ±21.92	12.29 ±20.50	12.05 ±19.59	12.42 ±20.61
穗長	cm 78.96 ±7.24	76.28 ±6.04	76.04 ±7.22	78.04 ±6.30	78.70 ±5.32	78.37 ±6.81	79.50 ±6.50	78.98 ±6.67	79.46 ±5.73	79.30 ±6.04
千粒重量	g 23.8	24.7	23.7	24.3	24.0	22.9	25.1	25.2	24.5	24.7
重量比率	% 73.7	73.5	73.2	72.3	72.3	71.4	71.6	72.4	73.9	73.3
著粒粗密	18.4	20.6	15.9	17.6	15.6	19.5	15.2	15.8	14.9	18.5

備考 1.選擇系ハ分蘖、重量比率稍優レリ

第十號 白 殼 舊

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系（4）	1	2	3	5	6	7	8	9	10
玄米收量	2.200	2.046	1.916	1.937	1.961	2.000	1.981	2.041	2.050	2.160
分蘖	13.87 ±20.04	12.49 ±22.34	13.16 ±23.02	14.31 ±20.41	13.87 ±21.34	12.65 ±21.58	13.54 ±22.45	12.49 ±30.66	13.09 ±24.90	12.49 ±23.30
穗長	65.70 ±7.43	60.30 ±9.20	68.74 ±7.45	67.00 ±5.99	64.78 ±7.75	65.58 ±6.82	65.08 ±6.78	63.24 ±8.35	64.52 ±6.85	66.32 ±6.97
千粒重量	25.0	23.9	24.8	24.4	24.3	24.3	24.7	24.4	24.8	23.9
重量比率	77.8	76.5	76.3	76.5	76.7	76.9	77.1	76.3	78.7	76.7
著粒粗密	21.8	21.6	18.9	18.8	18.7	21.5	17.5	20.5	16.7	18.8

備考 1.選擇系ハ千粒重量優リ、著粒分蘖、重量比率稍優レリ

第十一號 白 殼 仔

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系（1）	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	2.195	1.828	1.780	1.825	1.766	1.852	1.825	1.787	1.811	1.781
分蘖	13.42 ±25.78	13.25 ±24.96	13.04 ±23.54	13.08 ±22.71	12.88 ±23.14	13.50 ±25.26	12.63 ±23.44	13.00 ±26.54	13.95 ±24.37	12.92 ±24.38
穗長	61.88 ±7.40	65.69 ±6.20	67.30 ±6.94	67.80 ±6.34	66.16 ±5.70	67.04 ±6.09	63.86 ±6.22	63.02 ±5.62	61.34 ±7.48	66.77 ±6.63
千粒重量	23.7	23.5	22.8	23.3	23.5	23.7	24.5	23.1	22.9	23.7
重量比率	76.6	76.3	76.0	76.8	76.2	77.5	76.7	76.4	76.6	76.0
著粒粗密	18.4	17.5	16.7	15.6	15.8	15.7	16.8	19.3	17.6	18.5

第十二號 白 殼 仔

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系（3）	1	2	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	2.069	1.899	1.556	1.948	1.926	1.873	1.839	1.719	1.810	1.540
分蘖	22.26 ±21.61	15.84 ±22.60	16.41 ±22.97	20.70 ±22.32	17.01 ±20.75	15.97 ±21.04	15.51 ±20.95	16.54 ±21.70	19.35 ±21.14	14.51 ±24.33
穗長	66.58 ±5.93	72.78 ±4.18	66.66 ±5.36	66.06 ±4.86	73.06 ±5.05	72.92 ±4.77	71.84 ±5.64	69.62 ±6.51	65.82 ±5.50	72.42 ±6.19
千粒重量	23.8	22.2	23.1	24.7	22.4	22.3	22.4	22.5	23.1	22.2
重量比率	77.8	74.8	75.0	77.4	74.7	74.7	74.7	75.5	77.0	74.5
著粒粗密	13.0	15.7	15.4	11.2	14.2	13.4	16.0	14.5	12.8	15.7

備考 1.選擇系ハ分蘖多ク、重量比率稍優レリ

第十三號　晩　大　花

調査項目	系統番號									
	選擇系(9)	1	2	3	4	5	6	7	8	10
玄米收量	2.062	1.819	1.788	1.990	1.834	1.969	1.909	1.892	1.847	2.008
分蘖	13.62 ±22.61	13.15 ±23.04	12.07 ±23.78	13.57 ±22.18	13.47 ±21.46	13.71 ±20.06	13.17 ±22.02	14.19 ±19.87	14.01 ±22.00	14.36 ±21.80
穗長	80.42 ±4.87	80.58 ±3.80	79.44 ±5.77	83.44 ±4.73	76.96 ±5.54	79.88 ±5.31	82.09 ±5.88	79.44 ±5.64	82.30 ±4.85	80.02 ±5.19
千粒重量	22.4	21.3	21.8	21.6	22.5	21.8	21.1	21.6	22.0	21.5
重量比率	76.3	75.9	75.8	75.2	75.7	76.3	75.2	74.9	75.3	74.9
著粒粗密	18.1	17.2	18.7	17.6	17.3	16.4	18.0	19.6	18.0	17.4

第十四號　低脚花螺

調査項目	系統番號									
	選擇系(9)	1	2	3	4	5	6	7	8	10
玄米收量	2.280	2.002	1.870	2.037	2.167	1.935	1.999	2.062	2.106	1.846
分蘖	18.34 ±22.14	17.58 ±21.39	16.66 ±22.75	16.53 ±22.69	18.27 ±22.82	15.49 ±21.24	16.93 ±20.67	12.83 ±24.79	17.34 ±19.57	14.72 ±21.47
穗長	68.44 ±5.99	69.20 ±4.77	72.44 ±4.69	66.38 ±5.86	73.86 ±6.16	78.22 ±6.65	70.38 ±5.88	78.74 ±7.39	67.82 ±5.96	75.16 ±4.52
千粒重量	23.4	24.1	23.2	25.5	23.7	22.3	23.1	22.3	22.7	24.3
重量比率	75.3	75.8	75.9	76.7	75.1	73.0	75.7	73.9	75.4	75.2
著粒粗密	15.8	13.9	13.5	14.9	15.5	16.1	14.3	20.1	15.2	14.3

備考　1.選擇系ハ分蘖優レリ

第十五號　早　大　花

調査項目	系統番號									
	選擇系(7)	1	2	3	4	5	6	8	9	10
玄米收量	1.973	1.879	1.920	1.982	1.928	1.850	1.874	1.767	1.838	1.789
分蘖	9.88 ±23.48	10.29 ±22.45	9.70 ±23.61	10.06 ±20.78	9.90 ±22.22	10.18 ±22.50	9.93 ±22.05	9.82 ±25.36	10.26 ±23.59	10.24 ±21.48
穗長	75.18 ±6.08	71.48 ±8.23	76.04 ±5.23	76.16 ±5.59	75.14 ±5.44	74.02 ±5.90	73.92 ±6.20	76.72 ±5.89	75.30 ±5.70	75.72 ±6.18
千粒重量	25.2	24.9	24.4	24.9	24.6	24.7	25.1	25.4	24.4	25.5
重量比率	77.5	77.1	77.4	77.3	77.3	76.1	76.9	77.3	76.5	76.8
著粒粗密	23.4	23.6	20.4	20.4	20.9	19.0	20.6	20.8	21.9	18.8

備考　1.選擇系ハ千粒重量,重量比率,著粒稍優レリ

第二期作

第一號 菁 稿

調査項目	系統番號									
	選擇系(4)	1	2	3	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.404	1.267	1.367	1.312	1.399	1.384	1.399	1.423	1.242	1.348
分蘗	17.47 ±19.06	15.39 ±20.53	13.02 ±17.80	14.65 ±21.57	16.04 ±17.89	15.49 ±20.01	16.18 ±20.02	14.54 ±23.45	15.21 ±21.43	14.41 ±23.11
穗長	cm 67.88 ±8.00	64.02 ±9.06	65.22 ±6.79	66.38 ±9.40	67.36 ±8.33	66.52 ±7.19	63.76 ±7.26	65.18 ±7.95	69.22 ±5.50	65.68 ±5.80
千粒重量	g 18.4	19.2	19.0	18.4	19.6	19.4	19.0	18.6	19.2	17.6
重量比率	% 71.7	70.3	73.5	72.7	72.8	73.5	73.8	73.5	71.3	74.0
著粒粗密	16.5	15.9	15.4	12.5	13.6	18.0	15.8	17.8	13.1	15.5

備考 1.選擇系ハ分蘗多クシテ穗長稍優レリ

第二號 五 枝 齊

調査項目	系統番號									
	選擇系(7)	1	2	3	4	5	6	8	9	10
玄米收量	g 1.296	1.222	1.043	1.219	1.075	1.275	1.267	1.232	1.183	1.225
分蘗	15.57 ±21.97	14.99 ±24.75	14.12 ±25.64	15.23 ±23.18	15.37 ±28.37	15.76 ±23.86	14.40 ±25.35	15.76 ±24.68	15.23 ±23.51	14.43 ±27.70
穗長	cm 54.24 ±6.22	55.96 ±8.81	60.16 ±6.32	57.68 ±10.06	60.04 ±6.72	56.12 ±7.68	56.05 ±8.83	54.90 ±8.03	56.54 ±10.19	56.66 ±9.23
千粒重量	g 21.8	21.6	21.8	21.8	21.4	21.6	21.8	21.6	21.8	21.6
重量比率	% 73.2	72.7	73.2	75.3	72.9	74.7	73.8	74.2	73.6	75.7
著粒粗密	13.8	13.6	12.9	14.4	12.6	11.6	13.1	14.1	13.2	14.8

第三號 高 梨

調査項目	系統番號									
	選擇系(4)	1	2	3	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.316	1.103	1.273	1.227	1.138	1.044	1.142	1.151	1.135	1.217
分蘗	17.64 ±28.51	16.17 ±26.78	17.91 ±25.74	18.31 ±26.60	19.37 ±26.79	19.05 ±24.57	17.86 ±26.32	18.15 ±25.34	16.82 ±27.65	18.15 ±26.83
穗長	cm 64.20 ±8.50	62.04 ±9.98	60.48 ±8.32	61.16 ±6.67	61.74 ±7.50	58.68 ±8.81	59.50 ±7.14	61.50 ±7.14	65.34 ±8.66	58.92 ±8.91
千粒重量	g 21.6	21.2	21.6	22.6	21.4	22.2	22.6	21.2	20.8	22.6
重量比率	% 76.8	76.0	77.2	76.0	76.0	76.0	77.2	75.7	76.7	77.5
著粒粗密	13.0	13.6	12.8	15.2	13.1	13.7	14.1	14.5	11.7	13.0

備考 1.選擇系ハ穗長稍優レリ

第四號　黃　　稿

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系(2)	1	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	石 1.076	0.984	0.930	1.044	1.030	1.000	0.991	0.982	1.003	1.049
分蘖	17.04 ±25.41	16.84 ±26.78	14.24 ±23.46	15.82 ±28.19	17.67 ±24.00	15.46 ±27.17	15.36 ±26.08	15.42 ±24.97	15.22 ±26.15	15.23 ±25.08
穗長	糎 56.58 ±8.50	58.66 ±7.55	59.04 ±7.59	60.74 ±5.58	62.27 ±10.73	62.16 ±9.19	61.14 ±6.43	62.18 ±7.67	61.72 ±7.26	61.60 ±7.29
千粒重量	瓦 20.8	20.6	22.0	20.0	25.0	20.8	20.6	18.4	20.8	20.8
重量比率	% 76.0	74.8	75.3	75.8	76.0	74.3	76.7	75.3	73.2	75.2
著粒組密	13.3	13.4	13.6	14.5	17.2	17.7	13.2	17.7	16.2	15.0

備考　1.選擇系ハ分蘖、重量比率稍優レリ

第五號　烏　　咬

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系(6)	1	2	3	4	5	7	8	9	10
玄米收量	石 1.066	1.016	1.003	0.859	0.973	0.960	1.017	0.995	1.010	1.089
分蘖	14.24 ±28.09	15.22 ±26.28	14.86 ±27.52	15.26 ±25.69	14.51 ±24.67	18.21 ±26.80	15.17 ±23.93	14.76 ±24.73	16.55 ±27.79	14.55 ±25.77
穗長	糎 61.38 ±9.03	63.84 ±7.27	60.94 ±7.50	57.76 ±8.54	62.74 ±7.97	59.26 ±7.31	61.84 ±8.00	61.96 ±10.64	60.46 ±8.65	66.78 ±8.48
千粒重量	瓦 19.2	18.8	19.4	20.4	19.4	19.6	19.0	18.6	20.6	19.0
重量比率	% 74.7	72.3	71.7	73.7	71.3	72.7	71.7	73.0	73.0	74.5
著粒組密	13.4	14.5	16.7	14.8	15.5	13.4	15.9	12.2	13.3	11.9

備考　1.選擇系ハ重量比率優レリ

第六號　岸　　仔

調査項目	系	統	番				號			
	選擇系(1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	石 1.065	0.936	0.697	0.833	0.860	0.927	0.989	0.867	0.989	0.955
分蘖	14.56 ±28.23	15.20 ±29.08	14.11 ±29.13	15.30 ±32.94	14.90 ±30.40	14.10 ±32.20	14.72 ±31.66	14.20 ±28.87	14.16 ±28.95	14.80 ±28.45
穗長	糎 62.10 ±8.60	59.80 ±7.68	63.26 ±7.87	59.20 ±9.37	60.42 ±7.60	55.04 ±7.06	63.74 ±7.20	61.54 ±8.08	64.38 ±11.29	60.12 ±9.98
千粒重量	瓦 19.0	21.2	19.6	21.4	18.6	19.0	21.0	21.0	20.2	20.0
重量比率	% 73.5	73.5	69.3	73.0	74.2	73.5	71.7	72.2	73.3	74.7
著粒組密	15.0	12.3	11.7	12.4	16.3	15.6	14.6	14.3	11.9	17.7

第七號　烏　　踏

調査項目	系	統	番					號		
	選抜系(1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	1.119	1.057	0.992	1.059	1.086	1.117	1.075	1.046	1.065	1.001
分蘖	15.90 ±29.18	15.37 ±26.55	15.54 ±27.99	15.40 ±26.10	15.75 ±27.49	16.44 ±26.95	15.10 ±24.83	15.70 ±25.99	14.50 ±26.41	16.60 ±28.19
穗長	62.38 ±9.19	61.82 ±8.04	64.38 ±10.10	63.00 ±8.56	62.18 ±8.89	62.72 ±9.73	61.99 ±8.21	63.37 ±10.67	65.00 ±8.11	62.12 ±7.29
千粒重量	19.0	18.8	18.6	19.4	19.6	19.6	19.6	19.0	19.4	19.2
重量比率	73.0	74.3	72.2	73.8	73.1	75.6	74.2	72.8	74.3	73.7
著粒粗密	11.8	16.4	14.0	13.1	13.8	14.4	14.5	15.5	12.8	11.8

第八號　格　　仔

調査項目	系	統	番					號		
	選抜系(4)	1	2	3	5	6	7	8	9	10
玄米收量	1.073	0.930	1.004	0.994	1.086	1.076	0.991	0.881	1.040	0.973
分蘖	20.17 ±24.29	19.03 ±26.96	18.56 ±26.08	18.17 ±22.95	19.00 ±24.47	17.56 ±24.66	26.15 ±25.77	18.72 ±24.25	19.29 ±24.52	18.83 ±26.18
穗長	39.86 ±9.39	61.48 ±8.44	62.92 ±10.41	61.22 ±9.26	62.56 ±9.57	60.90 ±9.85	56.08 ±11.70	58.06 ±8.25	61.72 ±8.52	58.42 ±10.34
千粒重量	20.2	19.4	20.0	19.5	20.4	18.0	18.2	19.2	19.0	19.2
重量比率	73.4	71.2	70.6	74.2	74.0	74.5	74.4	74.3	74.3	75.1
著粒粗密	15.3	13.6	9.3	8.7	13.8	15.8	12.2	13.7	13.2	12.3

備考　1.選抜系ハ分蘖多ク、千粒重量稍優レリ

第九號　蔓　　仔

調査項目	系	統	番					號		
	選抜系(7)	1	2	3	4	5	6	8	9	10
玄米收量	1.213	1.140	1.177	1.146	1.174	1.093	1.185	1.085	1.160	1.162
分蘖	15.81 ±25.68	15.63 ±28.92	13.86 ±27.06	15.88 ±26.20	14.92 ±26.81	15.96 ±26.44	15.85 ±25.93	16.63 ±26.46	16.24 ±26.23	16.18 ±27.75
穗長	57.46 ±7.29	61.36 ±8.87	59.96 ±8.47	57.06 ±7.68	58.80 ±6.89	58.72 ±8.72	59.58 ±7.89	55.48 ±8.49	61.20 ±7.06	61.38 ±8.59
千粒重量	20.2	20.8	22.0	20.2	20.6	19.6	20.2	19.6	20.4	19.6
重量比率	76.5	77.2	75.8	73.5	77.3	75.8	76.1	7.63	75.7	77.2
著粒粗密	19.0	13.7	15.2	18.2	14.5	15.8	15.0	15.4	14.5	16.7

備考　1.選抜系ハ著粒稍優レリ

第十號 大 菁 稿

調査項目	系統番號									
	選擇系（3）	1	2	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.389	1.339	1.316	1.327	1.343	1.327	1.362	1.441	1.327	1.275
分蘗	17.03 ±24.13	17.00 ± 24.41	16.80 ±23.99	23.32 ±22.60	13.61 ±25.86	17.84 ±23.82	16.55 ±24.53	21.81 ±24.07	15.85 ±25.11	18.52 ±25.42
穗長	cm 64.10 ±10.16	56.48 ± 8.04	60.14 ±8.21	53.88 ±9.06	60.48 ±8.20	56.04 ±8.40	57.16 ±8.45	53.40 ±7.98	60.58 ±12.46	58.08 ±7.90
千粒重量	g 20.4	23.4	21.0	19.4	24.4	22.0	23.6	19.6	23.4	23.4
重量比率	% 76.4	76.0	76.1	77.1	75.5	76.3	75.5	77.3	77.0	77.5
著粒粗密	17.3	14.0	16.8	15.0	15.0	14.9	14.0	16.0	16.5	15.0

備考 1.選擇系ハ千粒重量、著粒稍優レリ

第十一號 反 鹽 朮

調査項目	系統番號									
	選擇系（1）	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.194	1.126	1.149	1.157	1.099	1.119	1.132	1.235	1.127	1.150
分蘗	17.29 ±27.18	17.88 ±23.92	17.78 ±25.65	18.33 ±25.91	18.91 ±25.44	15.95 ±26.77	17.70 ±29.49	19.48 ±27.26	18.21 ±28.78	17.88 ±26.12
穗長	cm 65.36 ±5.98	63.30 ±6.45	62.86 ±5.95	60.58 ±6.37	66.96 ±6.08	66.06 ±5.43	64.02 ±6.36	64.82 ±6.40	63.02 ±6.81	62.62 ±6.87
千粒重量	g 16.6	16.4	16.4	16.6	15.6	16.4	17.0	16.6	17.0	16.6
重量比率	% 74.6	73.2	73.1	72.1	73.5	71.5	75.1	72.9	73.3	73.3
著粒粗密	14.9	14.5	12.9	13.5	16.7	13.0	13.3	14.3	13.8	14.4

備考 1.選擇系ハ穗長稍優レリ

第十二號 高 脚 萬 仔

調査項目	系統番號									
	選擇系（1）	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	g 1.209	1.093	1.068	1.135	1.106	1.059	1.117	1.135	1.154	1.106
分蘗	19.55 ±24.66	20.14 ±23.39	21.24 ±25.19	18.51 ±24.58	18.57 ±26.12	18.93 ±26.41	19.01 ±25.04	19.11 ±26.64	19.61 ±25.88	21.24 ±22.93
穗長	cm 59.88 ±9.08	58.62 ±9.66	58.92 ±9.32	59.24 ±12.58	62.44 ±10.06	59.44 ±8.95	59.46 ±8.04	59.58 ±7.64	58.50 ±9.25	59.40 ±9.58
千粒重量	g 19.0	18.4	19.2	18.4	19.6	20.4	20.2	19.0	20.2	19.0
重量比率	% 77.3	77.5	75.4	76.5	76.4	76.2	77.0	76.0	76.8	76.6
著粒粗密	13.3	14.8	12.6	15.0	14.6	14.3	13.4	13.2	14.9	11.9

第十三號　小　菁　稿

調査項目	系	統	番					號		
	選擇系 (10)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
玄米收量	1.007 g	1.102	0.926	0.985	0.957	0.935	0.900	0.912	0.977	1.001
分蘖	15.58 ±27.28	16.09 ±27.22	16.05 ±30.03	18.84 ±29.14	16.52 ±27.60	18.15 ±27.38	19.74 ±27.96	17.79 ±26.81	17.59 ±25.13	16.69 ±25.04
穗長	61.92 cm ±8.62	60.82 ±7.76	56.22 ±8.82	58.54 ±8.71	57.46 ±8.41	61.18 ±8.60	54.62 ±8.86	58.70 ±8.76	55.62 ±9.17	59.88 ±9.34
千粒重量	21.0 g	20.6	21.0	19.2	19.6	19.8	18.6	18.8	19.8	20.0
重量比率	77.0 %	76.1	77.5	75.9	77.3	75.1	75.4	76.5	76.3	76.9
著粒粗密	11.5	18.1	10.6	14.0	14.0	11.7	14.9	13.7	12.9	12.4

備考　1.選擇系ハ穗長、千粒重量優レリ

第十四號　學　種

調査項目	系	統	番					號		
	選擇系 (7)	1	2	3	4	5	6	8	9	10
玄米收量	1.261 g	1.052	1.115	1.113	1.099	1.098	1.144	1.104	1.101	1.230
分蘖	18.84 ±26.33	15.87 ±25.27	17.29 ±25.22	17.87 ±24.40	15.18 ±28.79	16.50 ±27.76	17.19 ±26.12	16.55 ±25.98	17.60 ±25.23	18.23 ±25.89
穗長	58.14 cm ±6.88	60.66 ±6.84	59.32 ±7.94	59.34 ±7.53	64.08 ±7.97	61.46 ±6.45	61.90 ±7.24	62.04 ±8.66	62.40 ±6.55	59.56 ±7.76
千粒重量	18.8 g	20.8	20.8	19.8	20.0	18.8	20.6	19.6	19.2	19.2
重量比率	77.8 %	75.7	75.9	75.3	76.0	76.2	75.5	75.7	75.4	76.1
著粒粗密	15.8	14.3	12.9	15.5	13.0	14.5	12.4	10.2	14.0	14.7

備考　1.選擇系ハ分蘖、重量比率、著粒優レリ

第十五號　清　流

調査項目	系	統	番					號		
	選擇系 (1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10
玄米收量	1.187 g	1.171	1.117	1.021	0.987	0.872	1.105	1.089	1.066	1.044
分蘖	20.56 ±28.50	21.16 ±23.44	20.85 ±26.33	20.67 ±24.14	21.38 ±26.89	20.60 ±28.30	22.78 ±23.75	20.90 ±28.90	19.43 ±29.23	20.25 ±27.11
穗長	57.78 cm ±8.24	56.36 ±9.03	54.58 ±9.05	56.74 ±8.49	56.44 ±10.03	50.74 ±8.00	54.80 ±8.10	54.30 ±8.88	57.80 ±9.41	56.86 ±8.83
千粒重量	19.0 g	18.2	17.2	17.4	18.1	19.0	18.1	18.6	18.6	19.0
重量比率	78.2 %	78.8	76.8	77.1	76.9	74.9	77.4	77.0	78.0	77.6
著粒粗密	10.6	14.5	15.0	11.9	14.6	11.1	15.8	10.9	12.6	9.1

備考　1.選擇系ハ穗長、千粒重量、重量比率稍優レリ

上表ニヨレハ選擇系ト各形質トノ關係ハ第百六十四表ノ如シ

第百六十四表　選擇系ノ淘汰系ニ優リタル特性

第一期作

分蘖優リタルモノ	白米粉
	半高低烏尖
	高脚花螺
	高脚烏尖
	柳洲
	半天仔
	白殼仔
	烏殼仔
	低脚花螺
穗長優リタルモノ	高脚花螺
重量比率優リタルモノ	柳洲
	半天仔
	白殼舊
	白殼仔
	早大花
千粒重量優リタルモノ	半高低烏尖
	高脚花螺
	朮仔舊
	白殼舊
	早大花
著粒優リタルモノ	烏殼耳仔
	白殼舊
	早大花

第二期作

分蘖優リタルモノ	菁稿
	黃稿
	格仔
	學種
穗長優リタルモノ	高梨
	半鹽朮
	小菁稿
	清流

重量比率優リタルモノ
- 黄　稿
- 鳥　咬
- 學　種
- 清　流

千粒重量優リタルモノ
- 格　仔
- 大　菁　稿
- 小　菁　稿
- 清　流

著粒優リタルモノ
- 蔓　仔
- 大　菁　稿
- 學　種

即チ第一、二期作ヲ通シ選擇セラレタル系統ノ優リタル形質ハ分蘖及千粒重量、穗長、籾對玄米比率、著粒疎密等ナリ　而シテ分蘖以外ノ形質ハ綜合的ニ穗重ト看做シ得ヘキカ故ニ育種實行ノ成績ハ分蘖穗重ノ2形質カ最モ重要ナル收量構成ノ要素ナルコトヲ示セルモノト認メ得ヘシ

第六編　臺灣稻ノ分蘖構成ニ關スル研究

既ニ前編ニ於テ臺灣稻ノ收量構成上密接ナル關係アル形質ハ分蘖、穗重ナルコト判明シタル以上是等形質ノ構成ヲ研究シ進ンテ育種並ニ耕種兩學上ヨリ其形質ノ昂進ヲ圖ルハ最モ重要ナルコトニ屬スルヲ以テ以下章ヲ追ウテ論スル所アルヘシ

第一章　分蘖ト有效分蘖トノ關係

分蘖ハ特性ノ部ニ於テ述ヘシカ如ク分蘖莖ノ全部出穗スルモノニ非スシテ其一部ハ出穗ヲナサス漸次枯死スルモノナリ　吾人ハ出穗セシ莖ヲ有效分蘖ト稱ス分蘖ト有效分蘖トノ關係ハ第一期作及第二期作各7品種ニ就キ相關現象ヲ調査セシニ第百六十五表ノ如シ

第百六十五表　分蘖ト有效分蘖トノ相關係數

大正十二年

品種		係數	品種		係數
第一期作	烏尖	+0.835±0.055	第二期作	格仔	+0.815±0.061
	甫仔舊	+0.715±0.089		清流	+0.777±0.072
	白殼	+0.800±0.066		蔓仔	+0.774±0.083
	高脚花蠟	+0.661±0.103		烏唆	+0.685±0.102
	早大花	+0.736±0.084		大箐稿	+0.632±0.110
	半天仔	+0.831±0.056		高梨	+0.560±0.125
	五脚齊	+0.664±0.102		黃稿	+0.416±0.151
	平均	+0.749±0.081		平均	+0.666±0.105

（試驗地　臺中）

上表ニ據レハ相關係數ハ何レノ品種モ正値ヲ示シ第一期作平均＋0.749±0.081、第二期作平均＋0.666±0.105ニシテ分蘖數多キ株ハ又有效分蘖多キヲ見ルト雖モ然シ有效分蘖ノ增加ハ分蘖數ニ正比例スルモノニ非スシテ分蘖數多キニ隨ツテ比率低下ス　卽チ第百六十六表ハ分蘖數ト分蘖數ニ對スル有效分蘖數ノ比率トノ相關係數ニシテ何レノ品種モ負ノ値ヲ示シ第一期作平均－0.258±0.170、第二期作平均－0.346±0.157ヲ得タルハ之ヲ證スルモノナリ

第百六十六表　分蘖本數ト之ニ對スル有效分蘖本數比率トノ相關係數

大正十二年

品種		係數	品種		係數
第一期作	烏尖	−0.169±0.177	第二期作	格仔	−0.075±0.181
	朮仔舊	−0.243±0.172		清流	−0.290±0.167
	白殼	−0.221±0.174		蔓仔	−0.314±0.164
	高脚花螺	−0.291±0.167		烏唆	−0.362±0.159
	早大花	−0.377±0.157		大菁稿	−0.212±0.174
	中天仔	−0.286±0.168		高梨	−0.690±0.096
	五脚齊	−0.216±0.176		黃稿	−0.480±0.140
	平均	−0.258±0.170		平均	−0.346±0.157

（試驗地　臺中）

第二章　分蘖ノ早晩ト生育期間ノ長短

第一期作及第二期作各7品種ニツキ1本植ヲ行ヒ30株ニ就キ各株ノ莖別分蘖期及分蘖ヨリ出穗迄ノ日數ヲ調査シ株別竝ニ總株ノ分蘖ノ順序ト各莖ノ生育日數ノ長短トノ相關現象ヲ考査セシニ第百六十七表ノ如シ而シテ該表ニ據レハ第一期作及第二期作全部ニ亙リ負ノ値ヲ示シ且係數大ニシテ消極的相關現象極メテ明白ナリ　仍テ分蘖ノ早キモノハ生育期間長キ傾向アリト認ムルコトヲ得ヘシ

第百六十七表　分蘖順序ト生育日數トノ相關係數表

第一期作

大正十二年

株別	品種						
	烏尖	朮仔舊	白殼仔	高脚花螺	早大花	中天仔	五脚齊
1	−0.950±0.018	−0.934±0.034	−0.796±0.098	−0.916±0.040	−0.930±0.030	−0.986±0.007	−0.974±0.014
2	−0.847±0.055	−0.884±0.056	−0.887±0.055	−0.930±0.034	−0.941±0.030	−0.879±0.057	−0.951±0.030
3	−0.836±0.061	−0.917±0.044	−0.903±0.049	−0.939±0.029	−0.901±0.052	−0.898±0.054	−0.903±0.053
4	−0.891±0.043	−0.877±0.070	−0.934±0.037	−0.898±0.047	−0.911±0.047	−0.913±0.048	−0.880±0.062
5	−0.966±0.015	−0.977±0.013	−0.940±0.030	−0.915±0.045	−0.936±0.036	−0.873±0.064	−0.959±0.025
6	−0.936±0.028	−0.926±0.038	−0.971±0.017	−0.943±0.033	−0.901±0.052	−0.924±0.036	−0.972±0.018
7	−0.943±0.026	−0.927±0.036	−0.925±0.040	−0.826±0.085	−0.927±0.041	−0.926±0.038	−0.924±0.053
8	−0.938±0.030	−0.970±0.016	−0.865±0.070	−0.944±0.031	−0.860±0.070	−0.930±0.037	−0.971±0.020
9	−0.968±0.013	−0.933±0.036	−0.977±0.013	−0.895±0.070	−0.857±0.080	−0.890±0.056	−0.964±0.020

株別	品種						
	烏尖	朮仔舊	白殼仔	高脚花蝶	早大花	牛天仔	玉脚寶
10	−0.929±0.034	−0.891±0.062	−0.935±0.035	−0.943±0.033	−0.900±0.052	−0.890±0.057	−0.927±0.047
11	−0.894±0.045	−0.895±0.053	−0.945±0.029	−0.897±0.059	−0.667±0.185	−0.957±0.025	−0.954±0.027
12	−0.881±0.048	−0.908±0.045	−0.914±0.044	−0.947±0.028	−0.908±0.053	−0.948±0.028	−0.956±0.025
13	−0.929±0.033	−0.940±0.031	−0.932±0.038	−0.899±0.055	−0.792±0.112	−0.941±0.038	−0.935±0.042
14	−0.912±0.042	−0.966±0.019	−0.905±0.051	−0.947±0.029	−0.928±0.049	−0.944±0.029	−0.917±0.050
15	−0.958±0.018	−0.951±0.026	−0.926±0.045	−0.899±0.053	−0.892±0.063	−0.844±0.083	−0.888±0.071
16	−0.934±0.032	−0.936±0.041	−0.968±0.010	−0.929±0.048	−0.962±0.025	−0.908±0.047	−0.928±0.044
17	−0.844±0.066	−0.899±0.053	−0.906±0.050	−0.897±0.050	−0.944±0.038	−0.921±0.044	−0.953±0.028
18	−0.931±0.031	−0.968±0.019	−0.896±0.057	−0.888±0.059	−0.917±0.050	−0.981±0.010	−0.863±0.077
19	−0.920±0.036	−0.970±0.018	−0.905±0.055	−0.842±0.081	−0.939±0.037	−0.988±0.008	−0.963±0.028
20	−0.971±0.013	−0.951±0.032	−0.822±0.108	−0.750±0.109	−0.937±0.041	−0.874±0.071	−0.881±0.071
21	−0.932±0.030	−0.838±0.094	−0.959±0.022	−0.920±0.049	−0.880±0.075	−0.975±0.016	−0.937±0.039
22	−0.890±0.047	−0.961±0.022	−0.882±0.078	−0.968±0.018	−0.951±0.032	−0.856±0.094	−0.918±0.050
23	−0.909±0.042	−0.926±0.045	−0.869±0.077	−0.897±0.062	−0.913±0.059	−0.906±0.054	−0.952±0.031
24	−0.943±0.028	−0.973±0.018	−0.854±0.010	−0.931±0.038	−0.987±0.008	−0.943±0.037	−0.888±0.067
25	−0.933±0.033	−0.895±0.060	−0.930±0.045	−0.945±0.036	−0.910±0.057	−0.942±0.046	−0.911±0.057
26	−0.960±0.020	−0.986±0.010	−0.871±0.091	−0.963±0.022	−0.817±0.105	−0.911±0.064	−0.914±0.062
27	−0.867±0.057	−0.909±0.058	−0.950±0.034	−0.977±0.014	−0.880±0.075	−0.925±0.046	−0.982±0.019
28	−0.947±0.026	−0.964±0.020	−0.963±0.027	−0.967±0.023	−0.890±0.066	−0.949±0.038	−0.962±0.026
29	−0.928±0.034	−0.996±0.003	−0.945±0.038	−0.970±0.020	−0.887±0.071	−0.922±0.053	−0.948±0.036
30	−0.953±0.023	−0.865±0.084	—	−0.900±0.057	−0.876±0.088	−0.977±0.017	−0.978±0.019
總株	−0.847±0.012	−0.869±0.013	−0.799±0.020	−0.781±0.020	−0.805±0.020	−0.819±0.018	−0.808±0.020

（試驗地　臺中）

第二期作

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏崁	大菁稿	高梨	黃稿
1	−0.824±0.052	−0.913±0.031	−0.832±0.067	−0.848±0.055	−0.915±0.038	−0.912±0.043	−0.919±0.039
2	−0.833±0.060	−0.925±0.027	−0.881±0.041	−0.845±0.069	−0.925±0.033	−0.910±0.039	−0.932±0.034
3	−0.729±0.100	−0.926±0.027	−0.925±0.029	−0.920±0.033	−0.877±0.052	−0.897±0.049	−0.936±0.029
4	−0.694±0.111	−0.874±0.045	−0.893±0.041	−0.865±0.054	−0.952±0.022	−0.933±0.028	−0.892±0.051
5	−0.926±0.032	−0.842±0.060	−0.908±0.037	−0.741±0.101	−0.785±0.099	−0.915±0.038	−0.921±0.037
6	−0.730±0.107	−0.897±0.070	−0.855±0.059	−0.857±0.059	−0.949±0.022	−0.875±0.057	−0.957±0.021
7	−0.736±0.103	−0.935±0.026	−0.894±0.043	−0.934±0.030	−0.974±0.014	−0.917±0.041	−0.950±0.025
8	−0.778±0.088	−0.932±0.026	−0.864±0.054	−0.722±0.128	−0.944±0.026	−0.872±0.058	−0.945±0.028
9	−0.837±0.069	−0.829±0.043	−0.840±0.065	−0.785±0.093	−0.907±0.044	−0.888±0.057	−0.922±0.039
10	−0.789±0.084	−0.939±0.026	−0.926±0.031	−0.974±0.011	−0.697±0.142	−0.898±0.054	−0.870±0.063
11	−0.807±0.088	−0.928±0.026	−0.856±0.057	−0.882±0.059	−0.959±0.023	−0.929±0.033	−0.933±0.031
12	−0.763±0.099	−0.913±0.025	−0.882±0.051	−0.887±0.050	−0.922±0.047	−0.948±0.028	−0.916±0.045

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏唉	大菁稿	高梨	黄稿
13	−0.804±0.081	−0.910±0.038	−0.837±0.069	−0.919±0.039	−0.981±0.009	−0.912±0.042	−0.919±0.043
14	−0.874±0.056	−0.927±0.031	−0.923±0.033	−0.720±0.117	−0.913±0.042	−0.939±0.030	−0.896±0.048
15	−0.788±0.087	−0.846±0.058	−0.838±0.063	−0.954±0.025	−0.966±0.019	−0.919±0.039	−0.901±0.043
16	−0.824±0.074	−0.900±0.038	−0.769±0.085	−0.886±0.054	−0.966±0.017	−0.914±0.041	−0.935±0.039
17	−0.872±0.058	−0.902±.0039	−0.882±0.050	−0.862±0.061	−0.934±0.033	−0.941±0.031	−0.873±0.064
18	−0.824±0.076	−0.950±0.034	−0.884±0.052	−0.759±0.113	−0.917±0.041	−0.978±0.012	−0.973±0.015
19	−0.855±0.074	−0.910±0.037	−0.892±0.048	−0.903±0.045	−0.961±0.019	−0.872±0.064	−0.925±0.039
20	−0.817±0.083	−0.868±0.058	−0.895±0.042	−0.765±0.104	−0.934±0.035	−0.945±0.029	−0.925±0.040
21	−0.820±0.082	−0.926±0.030	−0.880±0.053	−0.892±0.053	−0.923±0.041	−0.866±0.067	−0.887±0.059
22	−0.827±0.082	−0.934±0.029	−0.891±0.046	−0.912±0.042	−0.963±0.019	−0.822±0.081	−0.903±0.051
23	−0.777±0.096	−0.851±0.071	−0.892±0.046	−0.875±0.063	−0.956±0.025	−0.963±0.018	−0.956±0.025
24	−0.754±0.102	−0.860±0.058	−0.840±0.069	−0.855±0.078	−0.954±0.030	−0.962±0.021	−0.957±0.027
25	−0.705±0.119	−0.986±0.068	−0.852±0.067	−0.724±0.194	−0.967±0.019	−0.893±0.059	−0.942±0.033
26	−0.859±0.068	−0.918±0.041	−0.878±0.059	−0.863±0.077	−0.969±0.019	−0.954±0.025	−0.947±0.030
27	−0.854±0.070	−0.875±0.052	−0.906±0.043	−0.961±0.029	−0.924±0.041	−0.904±0.053	−0.881±0.062
28	−0.791±0.097	−0.902±0.047	−0.811±0.083	−	−0.942±0.031	−0.903±0.051	−0.717±0.140
29	−0.851±0.071	−0.907±0.043	−0.982±0.009	−	−0.953±0.025	−0.868±0.078	−0.924±0.042
30	−0.774±0.107	−0.876±0.056	−0.810±0.079	−	−0.965±0.022	−0.865±0.080	−0.893±0.061
總株	−0.752±0.019	−0.814±0.013	−0.759±0.017	−0.717±0.023	−0.864±0.012	−0.862±0.012	−0.863±0.012

（試驗地　臺中）

第三章　分蘖ノ早晩ト有效分蘖トノ關係

植付後稻株ノ分蘖開始ノ早晩ト有效分蘖ノ數トニ關シ第一期作及第二期作各7品種ニ就キ1品種50株宛1本植ヲ行ヒ各株ニ番號ヲ附シ挿秧ヨリ出穗迄隔日ニ株別ニ分蘖本數ヲ數ヘ斯クシテ各生育初期（挿秧後第一期作ハ16日、18日、20日、22日、24日、26日、第二期作ハ12日、14日、16日、18日、20日、22日、24日、26日）ニ於ケル株別分蘖本數ト出穗セシ本數（有效分蘖）トノ各品種（純系）內ニ於ケル相關現象ヲ調査セシニ第百六十八表ノ如キ成績ヲ得タリ

第百六十八表　生育初期ニ於ケル分蘖本數ト有效分蘖トノ相關係數

第一期作

大正十二年

品種	挿秧後ノ經過日數 16日		18日		20日	
	分蘖本數	相關係數	分蘖本數	相關係數	分蘖本數	相關係數
烏尖	1.36±0.07	+0.145±0.138	2.22±0.11	+0.243±0.133	2.74±0.09	+0.171±0.137
朮仔舊	—	—	—	—	—	—
白殼仔	1.60±0.10	+0.513±0.104	2.36±0.12	+0.633±0.085	2.90±0.12	+0.585±0.093
高脚花蠶	1.18±0.06	+0.601±0.090	1.88±0.09	+0.513±0.104	2.48±0.10	+0.399±0.119
早大花	1.40±0.09	+0.342±0.125	1.96±0.13	+0.450±0.113	2.32±0.11	+0.367±0.122
半天仔	1.78±0.11	+0.640±0.084	2.32±0.11	+0.578±0.094	2.86±0.12	+0.565±0.096
五脚齊	1.40±0.09	+0.629±0.085	2.10±0.13	+0.692±0.074	2.70±0.15	+0.707±0.071
平均	1.45±0.09	+0.478±0.106	2.14±0.12	+0.518±0.102	2.67±0.12	+0.466±0.109

品種	挿秧後ノ經過日數 22日		24日		26日	
	分蘖本數	相關係數	分蘖本數	相關係數	分蘖本數	相關係數
烏尖	3.18±0.13	+0.467±0.109	3.96±0.15	+0.270±0.131	4.46±0.19	+0.298±0.129
朮仔舊	—	—	—	—	—	—
白殼仔	3.42±0.11	+0.638±0.084	4.04±0.17	+0.691±0.074	5.08±0.23	+0.663±0.079
高脚花蠶	2.84±0.09	+0.605±0.090	3.62±0.12	+0.615±0.088	4.00±0.16	+0.649±0.082
早大花	2.96±0.13	+0.433±0.115	3.46±0.14	+0.415±0.117	4.14±0.18	+0.475±0.110
半天仔	3.18±0.12	+0.515±0.104	3.84±0.16	+0.579±0.094	4.72±0.23	+0.722±0.068
五脚齊	3.10±0.15	+0.739±0.064	3.88±0.15	+0.829±0.044	4.48±0.22	+0.775±0.056
平均	3.11±0.15	+0.566±0.096	3.80±0.15	+0.566±0.096	4.48±0.20	+0.597±0.091

品種	挿秧後ノ經過日數平均		有效分蘖		備考
	分蘖本數	相關係數	挿秧後ノ經過日數	本數	
烏尖	2.99±0.13	+0.266±0.130	38.04±0.43	18.42±0.47	
朮仔舊	—	—	—	—	試驗中途故障ノタメ廢棄ス
白殼仔	3.23±0.15	+0.621±0.087	34.60±0.38	11.06±0.39	
高脚花蠶	2.67±0.11	+0.564±0.096	36.44±0.32	12.28±0.34	
早大花	2.71±0.13	+0.413±0.117	34.40±0.47	9.92±0.37	
半天仔	3.12±0.15	+0.600±0.091	37.28±0.31	13.02±0.33	
五脚齊	2.94±0.15	+0.728±0.067	33.68±0.32	10.16±0.31	
平均	2.94±0.14	+0.532±0.100	35.74±0.38	12.48±0.37	

（試驗地　臺中）

第二期作

品種	挿秧後ノ經過日數 12日 分蘖本數	12日 相關係數	14日 分蘖本數	14日 相關係數	16日 分蘖本數
格仔	2.00±0.11	+0.279±0.130	2.74±0.11	+0.177±0.137	3.08±0.11
清流	1.60±0.09	+0.395±0.119	2.02±0.10	+0.364±0.123	2.44±0.12
蔓仔	1.66±0.09	+0.180±0.137	2.16±0.10	+0.304±0.128	2.66±0.13
烏咬	1.46±0.09	+0.534±0.101	2.02±0.10	+0.469±0.110	2.42±0.10
大菁稿	1.42±0.07	+0.344±0.125	2.00±0.09	+0.529±0.102	2.42±0.11
高梨	1.44±0.08	+0.349±0.124	1.90±0.08	+0.409±0.118	2.36±0.09
黃稿	1.34±0.08	+0.139±0.139	1.98±0.09	+0.623±0.087	2.50±0.09
平均	1.43±0.09	+0.317±0.126	2.12±0.09	+0.411±0.116	2.55±0.11

品種	挿秧後ノ經過日數 16日 相關係數	18日 分蘖本數	18日 相關係數	20日 分蘖本數	20日 相關係數
格仔	+0.298±0.129	3.68±0.16	+0.235±0.134	4.18±0.14	+0.193±0.136
清流	+0.349±0.124	2.72±0.14	+0.538±0.101	3.26±0.13	+0.528±0.102
蔓仔	+0.313±0.128	2.96±0.13	+0.430±0.114	3.62±0.15	+0.450±0.113
烏咬	+0.603±0.090	2.72±0.10	+0.678±0.076	3.14±0.11	+0.632±0.085
大菁稿	+0.383±0.121	2.66±0.11	+0.457±0.112	3.02±0.11	+0.393±0.120
高梨	+0.474±0.110	2.60±0.11	+0.417±0.117	2.92±0.09	+0.500±0.106
黃稿	+0.476±0.109	2.76±0.10	+0.435±0.115	3.06±0.12	+0.554±0.098
平均	+0.414±0.116	2.87±0.12	+0.456±0.111	3.31±0.12	+0.464±0.110

品種	挿秧後ノ經過日數 22日 分蘖本數	22日 相關係數	24日 分蘖本數	24日 相關係數	26日 分蘖本數
格仔	5.12±0.18	+0.110±0.140	6.66±0.25	+0.199±0.136	8.54±0.29
清流	4.06±0.17	+0.510±0.105	5.54±0.28	+0.533±0.101	6.92±0.31
蔓仔	4.38±0.19	+0.362±0.123	6.00±0.25	+0.544±0.100	7.24±0.30
烏咬	3.90±0.12	+0.578±0.094	5.08±0.18	+0.696±0.073	6.34±0.22
大菁稿	3.74±0.14	+0.555±0.098	4.98±0.18	+0.541±0.100	6.32±0.24
高梨	3.52±0.14	+0.636±0.084	4.44±0.17	+0.547±0.099	5.36±0.20
黃稿	3.92±0.16	+0.443±0.114	5.18±0.20	+0.425±0.116	6.28±0.26
平均	4.09±0.16	+0.456±0.110	5.41±0.22	+0.498±0.105	6.77±0.26

品種	挿秧後ノ經過日數 26日 相關係數	平均 分蘖本數	平均 相關係數	有效分蘖 挿秧後ノ經過日數	有效分蘖 本數
格仔	+0.227±0.134	4.50±0.18	+0.215±0.135	34.24±0.57	14.84±0.41
清流	+0.531±0.102	3.57±0.18	+0.468±0.110	36.94±0.43	14.40±0.50
蔓仔	+0.632±0.085	3.83±0.18	+0.402±0.116	36.92±0.41	16.92±0.52
烏咬	+0.708±0.071	3.38±0.13	+0.612±0.089	34.74±0.34	12.32±0.40
大菁稿	+0.635±0.074	3.32±0.13	+0.479±0.108	34.80±0.41	12.08±0.38
高梨	+0.640±0.084	3.07±0.13	+0.496±0.106	37.16±0.69	11.64±0.46
黃稿	+0.503±0.106	3.38±0.15	+0.450±0.112	35.10±0.53	12.12±0.43
平均	+0.554±0.096	3.58±0.16	+0.446±0.124	35.70±0.50	13.47±0.45

（試驗地 臺中）

上表ニ據レハ挿秧後ノ經過日數第一期作16日欄、第二期作12日欄ヲ通シテ見ルニ一株ノ分蘗數1.18本乃至2.00本程度ノ場合ニ於テ既ニ分蘗本數多キ株ハ又有效分蘗多キ結果ヲ示セリ　仍テ分蘗ノ開始早キ株ハ又有效分蘗多ク　晩キモノハ之ニ反スト認ムルコトヲ得ヘシ

從ツテ育種ニ於テハ此ノ點ニ留意シ育苗上ニ於テハ分蘗開始早キ苗ヲ養成スルコトハ最モ緊要ナルコトニ屬シ本編各章ノ試驗成績及第八編第二章ニ於ケル苗ノ性質(主トシテ老幼)苗ノ大小、分蘗又ハ非分蘗苗ト分蘗、出穗、穗重等トノ關係ヲ試驗セル成績ト併セ特ニ注意スヘキコトト認ム

第四章　分蘗ト草丈トノ關係

異品種間ニアリテハ分蘗多キモノハ比較的草丈低ク草丈高キ品種ハ分蘗ノ點ニ於テ劣ルヲ普通トスレトモ同一品種ノ一純系間ニアリテハ分蘗ト草丈トノ間ニ積極的ノ相關現象アルカ如シ　即チ第百六十九表ハ第一期作及第二期作各7品種各百株ニツキ生育ノ初期、同中期、同末期(出穗後)ノ3回ニ亙リ株別ニ其草丈分蘗ヲ測定シ相關現象ヲ調査シタルモノナリ

第百六十九表　生育期別分蘗ト草丈ノ相關係數

期作	品種	大正十一年 第一回(9月1日)	大正十一年 第二回(9月28日)	大正十一年 第三回(11月9日)
第二期作	稻仔	+0.722±0.048	+0.497±0.075	+0.248±0.034
	清流	+0.590±0.065	+0.132±0.098	+0.249±0.034
	蓬仔	+0.713±0.042	+0.178±0.097	+0.239±0.031
	鳥咬	+0.495±0.075	+0.239±0.034	+0.469±0.078
	大菁稿	+0.758±0.043	+0.488±0.077	+0.366±0.087
	高梨	+0.597±0.064	+0.150±0.038	+0.411±0.083
	黃稿	+0.609±0.063	+0.006±0.100	+0.373±0.086
	平均	+0.641±0.058	+0.241±0.031	+0.345±0.088
挿秧後ノ日數		25	52	94

期作	品種	大正十二年 第一回(4月8日)	大正十二年 第二回(5月6日)	大正十二年 第三回(6月7日)
第一期作	烏尖	+0.510±0.105	+0.357±0.123	+0.103±0.140
	白殼仔	+0.345±0.125	+0.428±0.116	+0.226±0.134
	高脚花蓮	+0.494±0.107	+0.393±0.120	+0.115±0.140
	早大花	+0.562±0.097	+0.047±0.141	+0.12±0.139
	中天仔	+0.724±0.067	+0.575±0.095	+0.526±0.102
	五脚齊	+0.649±0.082	+0.591±0.092	+0.596±0.091
	北仔舊	試驗中故障廢	棄決如	—
	平均	+0.549±0.099	+0.398±0.116	+0.282±0.031
挿秧後ノ日數		26	54	86

備考　　(試驗地　臺中)

I　大正十一年第二期作　播種期七月七日　挿秧期八月七日

II　大正十二年第一期作　播種期一月十五日　挿秧期三月十三日

上表ニ據レハ分蘗ト草丈トノ相關現象ハ正値ヲ示シ且生育ノ初期

ニ於テ最モ顯著ナルヲ知ル　而シテ此現象ハ稻ノ耕種要綱トシテ看過スヘカラサルコトニ屬スヘシ

第五章　分蘖ノ齊否ト出穗ノ齊否トノ關係

第一期作及第二期作各7品種宛30株ニツキ一本植ヲ行ヒ莖別ニ分蘖及出穗期日ヲ調査シ此兩期日順序ノ相關現象ヲ調査セシニ第百七十表ノ如シ

該表ニヨリ其成績ヲ見ルニ第一期作,第二期作ニ亙リ各品種何レモ正値ヲ示シ且係數多ク相關現象顯著ナルヲ示セリ　故ニ分蘖期日早キ莖ハ又出穗期日早キ關係アルコトヲ示セリ隨テ一株中各莖ノ分蘖期日ニ早晩ノ差少ク一齊ニ行ハルルモノハ出穗モ亦齊一ナリト認ムルコトヲ得ヘシ予ハ又更ニ大正十三年第二期作ニ於テ早稻格仔·中稻白占·晩稻鳥咬ノ3品種ニツキ別種ノ研究ヲナス際分蘖順序ト出穗順序ヲ調査セシニ格仔 +0.757±0.030　白占 +0.822±0.023　鳥咬 +0.860±0.018ヲ得前項ノ研究結果ニ一致スルコトヲ認メタリ

第百七十表　分蘖順序ト出穗順序トノ相關係數表

第一期作　　大正十二年

株別	品種						
	烏尖	朮仔舊	白殼仔	高脚花蠟	早大花	半天仔	五脚齊
1	+0.256±0.173	+0.313±0.233	+0.238±0.246	+0.636±0.149	+0.218±0.264	+0.034±0.242	−0.036±0.258
2	+0.699±0.098	−0.059±0.257	+0.283±0.230	+0.033±0.250	+0.452±0.199	+0.571±0.164	−0.195±0.290
3	+0.515±0.147	+0.524±0.194	+0.141±0.253	+0.222±0.231	+0.389±0.227	+0.419±0.220	+0.346±0.244
4	+0.431±0.166	+0.437±0.234	+0.452±0.230	−0.054±0.235	+0.422±0.228	−0.044±0.276	+0.448±0.214
5	+0.579±0.149	+0.363±0.232	+0.493±0.189	+0.639±0.164	+0.423±0.237	+0.461±0.203	+0.135±0.311
6	+0.689±0.118	+0.930±0.035	−0.139±0.284	−0.069±0.288	+0.569±0.187	+0.230±0.223	+0.568±0.214
7	+0.710±0.114	+0.717±0.121	+0.774±0.107	+0.576±0.172	+0.421±0.283	+0.479±0.206	+0.358±0.301
8	+0.584±0.160	+0.501±0.200	+0.339±0.245	+0.735±0.133	+0.449±0.213	+0.256±0.250	+0.308±0.302
9	+0.764±0.085	+0.803±0.095	+0.397±0.243	+0.622±0.217	+0.632±0.181	−0.080±0.257	+0.130±0.272
10	+0.765±0.101	+0.853±0.079	−0.046±0.267	+0.478±0.232	+0.150±0.283	+0.208±0.256	+0.447±0.253
11	+0.747±0.097	+0.292±0.236	+0.019±0.266	+0.332±0.268	+0.582±0.209	+0.126±0.287	−0.399±0.253
12	+0.628±0.126	+0.579±0.166	+0.425±0.212	+0.010±0.267	+0.304±0.262	+0.384±0.228	+0.148±0.283
13	+0.806±0.083	+0.305±0.234	+0.396±0.244	+0.304±0.262	+0.441±0.233	+0.055±0.316	−0.310±0.280
14	+0.779±0.093	+0.732±0.124	+0.394±0.244	+0.368±0.240	+0.556±0.230	+0.390±0.219	+0.737±0.138
15	+0.571±0.151	+0.583±0.176	+0.359±0.263	+0.273±0.256	+0.579±0.200	+0.557±0.191	+0.161±0.308
16	+0.705±0.122	+0.340±0.280	+0.699±0.162	+0.795±0.130	+0.060±0.332	+0.261±0.241	+0.435±0.244

株別	品種						
	烏尖	尤仔舊	白殼仔	高脚花蟹	早大花	牛天仔	五脚齊
17	+0.546±0.161	+0.755±0.115	+0.272±0.257	+0.599±0.166	+0.411±0.277	+0.363±0.240	+0.196±0.278
18	+0.241±0.216	+0.785±0.116	+0.083±0.275	+0.542±0.196	+0.492±0.228	+0.438±0.224	+0.189±0.27[illegible]
19	+0.640±0.139	+0.789±0.109	+0.510±0.205	+0.408±0.231	+0.152±0.309	+0.083±0.331	−0.218±0.337
20	+0.558±0.162	+0.516±0.232	+0.577±0.222	+0.314±0.261	+0.691±0.165	+0.273±0.268	+0.289±0.28[illegible]
21	+0.722±0.107	+0.255±0.282	+0.429±0.2[illegible]	+0.021±0.316	+0.794±0.123	+0.408±0.251	+0.548±0.211
22	+0.801±0.079	+0.632±0.166	+0.153±0.325	+0.786±0.110	−0.354±0.292	+0.119±0.329	+0.583±0.191
23	+0.740±0.107	+0.682±0.161	+0.451±0.240	+0.227±0.306	+0.245±0.315	+0.140±0.284	−0.261±0.30[illegible]
24	+0.489±0.185	+0.844±0.091	+0.027±0.353	+0.477±0.223	+0.483±0.231	+0.483±0.243	+0.273±0.27[illegible]
25	+0.818±0.084	+0.833±0.088	−0.028±0.316	−0.023±0.333	+0.668±0.185	−0.467±0.295	−0.419±0.261
26	+0.595±0.161	+0.885±0.072	+0.623±0.216	+0.321±0.270	+0.771±0.122	+0.140±0.346	+0.415±0.293
27	+0.525±0.166	+0.502±0.237	+0.384±0.284	+0.128±0.296	+0.699±0.162	+0.425±0.247	−0.151±0.32[illegible]
28	+0.872±0.058	+0.574±0.186	+0.081±0.375	−0.588±0.231	+0.633±0.181	−0.035±0.353	+0.223±0.317
29	+0.570±0.159	+0.298±0.204	+0.394±0.299	−0.113±0.329	+0.694±0.173	+0.835±0.101	+0.265±0.310
30	+0.637±0.149	+0.702±0.161	—	+0.417±0.249	+0.403±0.296	−0.320±0.317	+0.633±0.245
總株	+0.672±0.023	+0.553±0.036	+0.290±0.049	+0.388±0.043	+0.456±0.044	+0.346±0.046	+0.202±0.054

（試驗地　臺中）

第二期作

株別	品種						
	絡仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黃稿
1	+0.499±0.120	+0.255±0.171	+0.827±0.069	+0.882±0.043	+0.698±0.114	+0.182±0.250	+0.413±0.207
2	+0.596±0.124	+0.833±0.056	+0.236±0.170	+0.876±0.055	+0.554±0.151	+0.493±0.174	+0.229±0.228
3	+0.721±0.100	+0.539±0.132	+0.741±0.092	+0.346±0.183	+0.566±0.152	+0.574±0.168	+0.389±0.195
4	+0.596±0.134	+0.564±0.129	+0.598±0.128	+0.779±0.082	+0.684±0.122	+0.754±0.094	+0.549±0.170
5	+0.638±0.133	+0.366±0.173	+0.575±0.140	+0.575±0.146	+0.505±0.171	+0.555±0.163	+0.796±0.086
6	+0.721±0.107	+0.215±0.180	+0.392±0.177	+0.797±0.080	+0.752±0.102	+0.553±0.168	+0.315±0.219
7	+0.761±0.092	+0.258±0.194	+0.637±0.124	+0.680±0.123	+0.634±0.141	+0.485±0.198	+0.374±0.215
8	+0.369±0.189	+0.609±0.123	+0.294±0.191	+0.825±0.083	+0.475±0.183	+0.376±0.208	+0.545±0.176
9	+0.743±0.100	+0.607±0.124	+0.204±0.204	+0.779±0.092	+0.668±0.134	−0.123±0.263	+0.519±0.183
10	+0.555±0.151	+0.413±0.177	+0.725±0.101	+0.769±0.089	+0.343±0.214	+0.099±0.274	+0.115±0.247
11	+0.746±0.097	+0.491±0.138	+0.295±0.191	+0.759±0.110	+0.442±0.201	+0.738±0.111	+0.210±0.225
12	+0.666±0.131	+0.545±0.143	+0.464±0.176	+0.805±0.083	+0.592±0.162	+0.080±0.275	+0.090±0.265
13	+0.681±0.120	+0.590±0.139	+0.464±0.176	+0.805±0.085	+0.502±0.190	+0.458±0.211	+0.647±0.155
14	+0.598±0.147	+0.543±0.150	+0.465±0.172	+0.732±0.109	+0.694±0.130	+0.652±0.144	+0.480±0.182
15	+0.634±0.134	+0.623±0.122	+0.262±0.194	+0.398±0.225	+0.716±0.130	+0.035±0.250	+0.455±0.192
16	+0.799±0.081	+0.257±0.183	+0.495±0.154	+0.871±0.059	+0.571±0.180	+0.435±0.203	−0.187±0.267
17	+0.726±0.112	+0.554±0.141	+0.711±0.107	+0.741±0.103	+0.704±0.135	+0.832±0.082	+0.467±0.202
18	+0.669±0.127	+0.471±0.184	+0.393±0.194	+0.708±0.129	+0.458±0.211	−0.569±0.187	−0.079±0.275

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	島峻	大菁龜	高梨	黄龜
19	+0.623±0.153	+0.664±0.116	+0.573±0.154	+0.622±0.145	+0.513±0.197	+0.580±0.177	+0.674±0.141
20	+0.629±0.147	+0.568±0.155	+0.185±0.202	+0.661±0.137	+0.376±0.230	+0.452±0.213	+0.208±0.256
21	+0.566±0.165	+0.781±0.083	+0.639±0.136	+0.561±0.171	+0.594±0.179	+0.403±0.224	+0.737±0.122
22	+0.687±0.132	+0.652±0.129	+0.354±0.191	+0.706±0.122	+0.300±0.252	+0.599±0.161	+0.246±0.251
23	+0.655±0.135	+0.321±0.224	+0.469±0.170	+0.743±0.116	+0.504±0.207	+0.320±0.224	+0.236±0.262
24	+0.531±0.165	+0.538±0.155	+0.512±0.169	+0.712±0.137	+0.682±0.148	+0.243±0.261	−0.462±0.237
25	+0.603±0.146	+0.595±0.152	+0.133±0.232	+0.507±0.280	+0.418±0.249	+0.511±0.214	+0.292±0.253
26	+0.471±0.195	+0.769±0.102	+0.558±0.172	+0.868±0.071	+0.787±0.115	+0.761±0.117	+0.404±0.232
27	+0.494±0.189	+0.691±0.114	+0.567±0.160	+0.691±0.185	+0.458±0.204	+0.680±0.149	+0.688±0.141
28	+0.497±0.188	+0.423±0.199	+0.752±0.102	—	+0.659±0.151	+0.133±0.272	+0.148±0.271
29	+0.591±0.163	+0.593±0.153	+0.564±0.170	—	+0.594±0.187	+0.390±0.268	+0.352±0.243
30	+0.582±0.171	+0.151±0.230	+0.692±0.117	—	+0.324±0.283	+0.851±0.087	+0.238±0.273
總株	+0.674±0.023	+0.501±0.029	+0.492±0.030	+0.748±0.020	+0.606±0.029	+0.476±0.036	+0.406±0.039

（試驗地　臺中）

第六章　各章摘要

以上各章ニ亙ル研究ノ結果ヲ綜合スレハ

I 生育中分蘖多キモノハ有效分蘖多シ　但其比率ハ分蘖多キニ從ツテ低下ス

II 早ク分蘖シタル莖ハ生育期間(分蘖ヨリ出穗迄若クハ挿秧ヨリ出穗迄)長シ

III 分蘖ノ開始早キモノハ有效分蘖多シ

IV 分蘖ノ開始早キモノハ發育旺盛ニシテ草丈亦高シ

V 分蘖齊一ニ行ハルルモノハ出穗亦齊一ナリ

第七編　穗重性構成ニ關スル研究

第一章　穗重ヲ構成スヘキ形質

穗重ハ一穗粒數ト子實ノ重サトノ組合セニヨリテ決定スルモノト謂フヲ得ヘク一穗粒數ハ穗長ト著粒疎密ニヨリ子實重量ハ籾ノ大サ及充實度ニ加フルニ籾對玄米比率ニ關係スヘシ　仍テ穗重ニ直接關係アル形質ハ穗長、一穗粒數、著粒疎密、籾ノ大サ、籾對玄米ノ比率等ト認メ得ヘシ　而シテ穗長、一穗粒數、著粒疎密ト穗重トノ關係ノ程度ヲ第四編ノ結果ニヨリ摘錄スレハ之カ相關係數ハ第百七十一表ノ如ク何レモ相當顯著ナル數字ヲ示セリ　若シ夫レ籾ノ大サ及充實度ト穗重トノ關係、籾對玄米ノ比率ト穗重トノ關係ハ敢テ證明ノ要ナカルヘシ

第百七十一表　穗重構成ト關係アル形質ノ相關係數

基礎形質	比較形質	相關係數 第一期作	相關係數 第二期作
穗重	穗長	+0.459±0.074	+0.474±0.077
	一穗粒數	+0.876±0.025	+0.814±0.038
	著粒疎密	+0.776±0.041	+0.685±0.049

第二章　生育日數ト草丈トノ關係

各莖ノ分蘖ヨリ出穗迄ノ日數ノ長短ト草丈トノ關係ハ日數長キニ隨ツテ草丈高キ傾アルカ如シ　即チ第一期作及第二期作各7品種宛各30株一本植ヲ行ヒ分蘖莖毎ニ分蘖ヨリ出穗迄ノ日數ヲ測定シ之ト草丈トノ相關現象ヲ調査セシニ第百七十二表ノ如シ

該表ニヨレハ第一期作ニ於テ少數ノ負値ヲ示スモノアリト雖モ大多數ハ正値ヲ示シ總株ニ於テハ何レモ正値ヲ示セリ　第二期作ハ全株中僅ニ4株負値ヲ見ルノミニシテ他ハ全株正値ヲ示シ總株ニ於テハ何レモ正値ニシテ且顯著ナル相關現象ヲ現セリ　隨ツテ生育日數長キモノハ草丈高キ傾向アリ之ニ反スルモノハ低シト認ムルコトヲ得ヘシ　負値ヲ現セル少數ノ株ハ特殊ノ故障カ原因トナリ正常ナル結果ヲ現ササリシモノト見ルヲ至當トスヘシ

第百七十二表　生育日數ト草丈トノ相關係數表

第一期作

大正十二年

株別	品種						
	烏尖	朮仔舊	白殼仔	高脚花蠟	早大花	半天仔	五脚齊
1	+0.787±0.071	+0.414±0.222	+0.282±0.246	+0.305±0.227	+0.214±0.276	+0.926±0.036	+0.039±0.227
2	+0.517±0.144	+0.487±0.197	+0.522±0.188	+0.046±0.250	+0.441±0.216	+0.206±0.239	+0.734±0.147
3	+0.556±0.141	+0.662±0.156	+0.407±0.231	−0.057±0.242	+0.808±0.100	+0.214±0.264	−0.167±0.293
4	+0.303±0.189	−0.119±0.297	+0.513±0.213	+0.225±0.224	+0.339±0.245	+0.622±0.177	+0.582±0.191
5	+0.177±0.222	+0.815±0.093	+0.406±0.216	+0.757±0.118	−0.011±0.286	+0.372±0.230	+0.111+0.313
6	+0.653±0.132	+0.509±0.198	−0.473±0.235	+0.813±0.107	+0.539±0.225	+0.159±0.237	+0.018±0.323
7	+0.749±0.104	+0.222±0.246	+0.553±0.192	+0.165±0.251	+0.316±0.260	+0.111±0.274	+0.641+0.208
8	+0.636±0.149	+0.388±0.227	+0.368±0.240	+0.205±0.277	+0.365±0.232	+0.481±0.213	+0.351±0.310
9	+0.847±0.059	+0.541±0.196	−0.277±0.267	+0.187±0.341	+0.579±0.210	+0.444±0.215	+0.832±0.085
10	+0.699±0.128	+0.366±0.261	−0.348±0.243	+0.170±0.292	+0.285±0.277	−0.034±0.277	+0.072±0.332
11	+0.617±0.146	+0.315±0.241	+0.204±0.256	+0.692±0.157	+0.186±0.322	+0.344±0.266	+0.726±0.142
12	+0.002±0.136	+0.341±0.228	+0.260±0.249	−0.086±0.265	+0.472±0.293	+0.568±0.188	+0.795±0.110
13	+0.075±0.241	+0.617±0.166	+0.816±0.097	+0.485±0.221	+0.599±0.193	+0.369±0.288	−0.258±0.311
14	+0.091±0.241	+0.343±0.244	+0.305±0.262	+0.161±0.270	+0.749±0.155	+0.555±0.185	+0.157±0.237
15	+0.407±0.187	+0.192±0.267	+0.653±0.182	+0.415±0.229	+0.438±0.243	+0.344±0.255	+0.052±0.332
16	+0.695±0.142	+0.291±0.305	+0.727±0.159	+0.137±0.347	+0.597±0.215	+0.710±0.133	+0.117±0.312
17	+0.522±0.167	−0.251±0.260	+0.659±0.157	+0.586±0.170	+0.633±0.212	+0.636±0.172	+0.311±0.272
18	+0.488±0.175	+0.587±0.197	+0.298±0.263	−0.005±0.277	+0.268±0.294	+0.573±0.186	+0.394±0.254
19	+0.522±0.172	+0.721±0.145	+0.012±0.301	+0.880±0.149	+0.569±0.214	+0.003±0.353	−0.611±0.250
20	+0.643±0.142	+0.006±0.333	+0.664±0.186	+0.547±0.203	+0.330±0.315	+0.093±0.299	+0.779±0.124
21	+0.535±0.164	−0.140±0.310	+0.725±0.131	−0.089±0.314	+0.383±0.284	+0.231±0.300	+0.482±0.243
22	+0.572±0.151	+0.272±0.268	+0.167±0.343	+0.375±0.248	+0.717±0.172	−0.269±0.328	+0.619±0.233
23	+0.710±0.120	+0.469±0.247	+0.392±0.268	−0.558±0.218	+0.561±0.242	+0.024±0.301	+0.538±0.251
24	+0.652±0.149	+0.597±0.215	+0.782±0.147	+0.224±0.275	+0.551±0.240	+0.265±0.310	+0.348±0.268
25	+0.586±0.170	−0.502±0.225	−0.111±0.329	−0.495±0.252	+0.385±0.284	−0.677±0.221	+0.524±0.242
26	+0.613±0.161	+0.525±0.250	+0.936±0.047	−0.142±0.295	+0.500±0.237	−0.342±0.333	+0.336±0.302
27	+0.095±0.227	+0.512±0.240	+0.051±0.344	+0.460±0.237	+0.814±0.113	+0.392±0.267	+0.515±0.277
28	+0.215±0.238	+0.606±0.183	+0.944±0.041	−0.301±0.343	+0.549±0.233	+0.064±0.376	+0.654±0.202
29	+0.547±0.170	−0.120±0.348	+0.509±0.262	+0.231±0.316	+0.188±0.341	+0.177±0.342	+0.798±0.101
30	+0.798±0.091	+0.772±0.135	—	−0.221±0.301	+0.642±0.222	+0.228±0.358	—
總株	+0.375±0.037	+0.300±0.048	+0.187±0.054	+0.176±0.051	+0.383±0.050	+0.161±0.052	+0.147±0.059

（試驗地　臺中）

第二期作

株別	品種						
	絡仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稻	高梨	黃稻
1	+0.279±0.161	+0.733±0.086	+0.350±0.191	+0.527±0.142	+0.709±0.117	+0.433±0.235	+0.276±0.231
2	+0.125±0.205	+0.822±0.061	+0.580±0.121	+0.654±0.139	+0.676±0.125	+0.541±0.167	+0.595±0.173
3	+0.165±0.218	+0.563±0.137	+0.598±0.137	+0.383±0.182	+0.670±0.126	+0.470±0.208	+0.414±0.201
4	+0.337±0.194	+0.673±0.109	+0.488±0.159	+0.638±0.129	+0.676±0.128	+0.721±0.110	+0.056±0.249
5	+0.368±0.216	+0.795±0.080	+0.425±0.175	+0.166±0.218	+0.623±0.158	+0.420±0.200	+0.563±0.166
6	+0.480±0.177	+0.645±0.115	+0.147±0.214	+0.598±0.144	+0.405±0.203	+0.578±0.201	+0.331±0.230
7	+0.225±0.230	+0.781±0.085	+0.571±0.147	+0.568±0.164	+0.463±0.262	+0.649±0.150	+0.540±0.189
8	+0.269±0.232	+0.713±0.100	+0.509±0.158	+0.177±0.256	+0.802±0.087	+0.801±0.104	+0.679±0.144
9	+0.549±0.170	+0.621±0.134	+0.661±0.126	+0.487±0.185	+0.666±0.139	+0.632±0.161	+0.669±0.143
10	+0.492±0.179	+0.553±0.153	+0.611±0.137	+0.705±0.113	+0.195±0.278	+0.396±0.234	+0.608±0.169
11	+0.220±0.213	+0.490±0.155	+0.583±0.141	+0.854±0.072	+0.598±0.186	+0.499±0.182	+0.702±0.136
12	+0.427±0.227	+0.683±0.117	+0.351±0.200	+0.396±0.205	+0.174±0.307	+0.291±0.254	+0.709±0.138
13	+0.517±0.178	+0.628±0.132	+0.770±0.093	+0.507±0.191	+0.586±0.159	+0.749±0.119	+0.453±0.220
14	+0.138±0.262	+0.739±0.099	+0.582±0.148	+0.071±0.242	+0.600±0.160	+0.454±0.205	+0.396±0.234
15	+0.525±0.166	+0.460±0.172	+0.404±0.178	+0.721±0.133	+0.676±0.157	+0.447±0.200	+0.554±0.179
16	+0.442±0.215	+0.716±0.098	+0.464±0.163	+0.303±0.226	+0.570±0.181	+0.408±0.215	+0.688±0.167
17	+0.377±0.229	+0.685±0.113	+0.629±0.135	+0.412±0.208	+0.727±0.122	+0.706±0.151	+0.586±0.176
18	+0.541±0.183	+0.603±0.154	+0.602±0.150	+0.680±0.144	+0.087±0.256	+0.806±0.097	+0.038±0.301
19	+0.524±0.218	+0.587±0.140	+0.761±0.099	+0.457±0.198	+0.705±0.122	+0.360±0.233	+0.516±0.208
20	+0.197±0.248	+0.905±0.044	+0.759±0.093	+0.063±0.249	+0.603±0.176	+0.923±0.040	+0.147±0.283
21	+0.508±0.206	+0.787±0.081	+0.416±0.195	+0.658±0.147	+0.329±0.247	+0.639±0.158	+0.385±0.240
22	+0.642±0.163	+0.630±0.138	+0.792±0.083	+0.514±0.190	+0.746±0.119	−0.159±0.252	+0.195±0.206
23	+0.664±0.162	+0.789±0.105	+0.568±0.155	+0.433±0.217	+0.757±0.123	+0.660±0.141	+0.227±0.274
24	+0.390±0.206	+0.580±0.148	+0.680±0.130	+0.627±0.175	+0.591±0.217	+0.603±0.184	−0.048±0.316
25	±0.239±0.252	+0.563±0.766	+0.754±0.105	+0.953±0.037	+0.708±0.144	+0.158±0.294	+0.835±0.088
26	+0.358±0.233	+0.634±0.160	+0.640±0.153	+0.631±0.190	+0.444±0.254	+0.550±0.193	+0.584±0.190
27	+0.814±0.102	+0.774±0.090	+0.630±0.151	−0.428±0.306	+0.683±0.148	+0.583±0.183	+0.149±0.271
28	+0.294±0.236	+0.657±0.141	+0.556±0.168	—	+0.717±0.135	+0.713±0.136	+0.495±0.218
29	+0.651±0.149	+0.254±0.227	+0.313±0.233	—	+0.821±0.090	+0.627±0.192	+0.797±0.105
30	+0.713±0.131	+0.694±0.126	+0.426±0.188	—	+0.692±0.165	−0.106±0.313	+0.444±0.254
總株	+0.299±0.041	+0.627±0.024	+0.482±0.031	+0.431±0.039	+0.576±0.033	+0.464±0.039	+0.395±0.042

（試驗地　臺中）

第三章　生育日數ト穗長トノ關係

第四編ノ相關現象調査ニ隨ヘハ草丈ト穗長トハ積極的ノ相關關係アリ　又前章生育日數ト草丈トノ相關現象カ示ス所ニヨリ生育日數ト穗長トノ間ニモ積極的ノ相關現象アルハ想像スルニ難カラス　即チ第一期作及第二期作各7品種各30株ニツキ前項同樣ノ方法ヲ以テ

生育日數ノ長短ト穗長トノ相關調査ヲ行ヒシニ第百七十三表ノ如シ

該表ニヨレハ全株中多少ノ負値ヲ示スモノアルモ之ヲ通覽スレハ正値ヲ表スモノ大多數ニシテ總株ニ於テハ何レモ正値ナリ　少數ノ負値ヲ表セルハ前章生育日數ト草丈トノ關係ニ於ケルカ如ク寧ロ故障ノタメ特殊ノ發育ヲナセルモノト認ムルヲ至當トスヘク　本成績ハ係數特ニ顯著トハ云フヘカラサルモ生育日數長キモノハ又穗長大ナルノ傾アリト認ムルコトヲ得ヘシ

第百七十三表　生育日數ト穗長トノ相關係數表

第一期作

大正十二年

株別	品種						
	烏尖	朮仔舊	白殼仔	高脚花蓮	早大花	中天仔	玉脚齊
1	+0.720±0.080	+0.448±0.216	+0.473±0.208	+0.572±0.168	+0.362±0.251	+0.929±0.036	−0.309±0.242
2	+0.371±0.169	+0.237±0.244	+0.595±0.167	+0.358±0.218	+0.010±0.267	+0.667±0.139	+0.430±0.258
3	+0.292±0.187	−0.402±0.232	+0.192±0.267	+0.680±0.130	−0.626±0.176	+0.176±0.268	−0.201±0.289
4	+0.447±0.167	−0.204±0.289	+0.262±0.269	+0.190±0.227	+0.438±0.224	+0.651±0.167	+0.297±0.264
5	+0.416±0.190	+0.278±0.256	+0.473±0.201	+0.659±0.158	+0.717±0.140	+0.581±0.177	+0.220±0.304
6	+0.313±0.207	+0.250±0.251	+0.375±0.259	+0.024±0.316	+0.604±0.201	+0.554±0.168	+0.466±0.261
7	+0.226±0.224	+0.062±0.256	+0.720±0.130	+0.023±0.258	−0.226±0.274	+0.300±0.243	+0.428±0.289
8	+0.425±0.205	+0.377±0.229	+0.469±0.216	+0.386±0.246	+0.172±0.260	+0.497±0.209	+0.234±0.334
9	+0.691±0.109	+0.507±0.206	+0.321±0.259	+0.289±0.324	+0.888±0.067	+0.212±0.255	+0.512±0.204
10	+0.718±0.121	+0.426±0.247	+0.311±0.242	+0.670±0.166	+0.144±0.295	+0.535±0.198	+0.100±0.330
11	+0.562±0.161	+0.437±0.216	−0.122±0.273	+0.591±0.196	+0.015±0.333	+0.498±0.227	+0.787±0.115
12	+0.399±0.179	+0.512±0.191	−0.048±0.267	+0.364±0.232	−0.307±0.342	+0.534±0.198	+0.842±0.092
13	+0.030±0.242	+0.524±0.194	+0.155±0.283	+0.520±0.211	+0.224±0.286	+0.508±0.247	+0.419±0.275
14	+0.369±0.210	+0.781±0.108	−0.273±0.268	+0.691±0.145	+0.697±0.182	+0.254±0.250	+0.349±0.278
15	+0.435±0.181	−0.243±0.261	+0.096±0.313	+0.532±0.199	+0.655±0.172	+0.560±0.198	+0.472±0.259
16	+0.448±0.200	+0.035±0.333	+0.648±0.193	+0.384±0.301	+0.718±0.162	+0.695±0.138	+0.216±0.302
17	+0.327±0.205	+0.028±0.277	+0.665±0.154	+0.530±0.186	+0.280±0.320	+0.455±0.229	+0.378±0.258
18	+0.596±0.147	+0.458±0.238	+0.747±0.128	+0.487±0.211	+0.136±0.311	+0.483±0.212	+0.283±0.277
19	+0.335±0.209	+0.589±0.197	+0.479±0.232	+0.442±0.223	+0.375±0.272	+0.035±0.353	+0.614±0.278
20	+0.648±0.141	+0.119±0.329	+0.627±0.202	+0.691±0.151	+0.314±0.319	+0.585±0.198	+0.069±0.318
21	+0.599±0.147	+0.009±0.316	+0.428±0.226	+0.090±0.316	+0.617±0.206	+0.171±0.307	+0.058±0.316
22	+0.648±0.130	+0.633±0.173	−0.400±0.269	+0.438±0.234	+0.392±0.299	+0.241±0.333	+0.521±0.275
23	+0.513±0.179	+0.707±0.158	+0.191±0.305	+0.331±0.282	+0.594±0.222	+0.194±0.290	+0.078±0.351
24	+0.578±0.172	+0.742±0.149	+0.584±0.249	+0.751±0.126	+0.821±0.115	+0.596±0.215	+0.749±0.139
25	+0.269±0.241	+0.002±0.301	+0.196±0.321	+0.322±0.299	+0.641±0.196	+0.577±0.272	−0.083±0.331
26	+0.697±0.133	−0.068±0.352	+0.900±0.072	+0.591±0.196	+0.753±0.137	+0.200±0.362	+0.421±0.336
27	+0.077±0.228	+0.196±0.321	+0.641±0.208	+0.780±0.118	+0.063±0.333	+0.322±0.284	+0.434±0.306

株別	品種						
	烏尖	光仔舊	白殼仔	高脚花蝶	早大花	中天仔	五脚齊
28	+0.670±0.138	+0.329±0.258	+0.567±0.256	−0.049±0.376	+0.920±0.051	+0.750±0.165	+0.720±0.170
29	+0.412±0.202	−0.032±0.353	+0.480±0.272	+0.505±0.218	+0.415±0.293	+0.695±0.183	—
30	+0.408±0.208	−0.236±0.315	—	+0.432±0.257	+0.363±0.328	+0.275±0.349	—
總株	+0.390±0.036	+0.221±0.051	+0.116±0.055	+0.354±0.046	+0.286±0.053	+0.303±0.049	+0.147±0.059

（試驗地　臺中）

第二期作

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黃稿
1	+0.354±0.152	+0.534±0.133	+0.660±0.123	+0.504±0.146	+0.316±0.212	+0.408±0.241	+0.333±0.222
2	+0.154±0.203	+0.612±0.116	+0.241±0.172	+0.590±0.158	+0.422±0.189	+0.338±0.209	+0.630±0.161
3	+0.253±0.209	+0.607±0.126	+0.603±0.136	+0.232±0.202	+0.484±0.176	+0.730±0.125	+0.313±0.219
4	+0.194±0.210	+0.557±0.138	+0.562±0.143	+0.641±0.129	+0.500±0.177	+0.428±0.187	+0.270±0.225
5	+0.562±0.171	+0.455±0.173	+0.469±0.166	+0.151±0.219	+0.291±0.237	+0.340±0.215	+0.590±0.163
6	+0.506±0.171	+0.395±0.166	+0.298±0.199	+0.498±0.168	+0.633±0.145	+0.406±0.252	+0.120±0.255
7	+0.245±0.228	+0.526±0.158	+0.616±0.135	+0.723±0.113	−0.524±0.242	+0.510±0.191	+0.506±0.199
8	+0.057±0.249	+0.708±0.121	+0.597±0.137	+0.563±0.183	+0.178±0.235	+0.610±0.181	+0.642±0.157
9	+0.724±0.115	+0.493±0.165	+0.519±0.163	+0.354±0.212	+0.868±0.062	+0.142±0.262	+0.480±0.199
10	+0.542±0.167	+0.743±0.091	+0.678±0.118	+0.660±0.126	−0.219±0.275	−0.007±0.277	+0.475±0.207
11	+0.304±0.203	+0.614±0.136	+0.430±0.174	+0.818±0.115	+0.804±0.102	+0.167±0.236	−0.048±0.267
12	+0.166±0.269	+0.543±0.154	+0.334±0.204	+0.295±0.197	+0.473±0.246	−0.289±0.254	+0.508±0.206
13	+0.281±0.224	+0.411±0.170	+0.381±0.196	+0.385±0.220	+0.528±0.175	+0.452±0.213	+0.593±0.180
14	−0.222±0.254	+0.540±0.158	+0.197±0.215	+0.150±0.237	+0.585±0.164	+0.346±0.227	−0.353±0.243
15	+0.301±0.209	+0.609±0.137	+0.285±0.196	+0.569±0.187	−0.085±0.287	+0.201±0.240	+0.328±0.231
16	+0.400±0.225	+0.381±0.187	+0.387±0.177	+0.180±0.259	+0.273±0.247	+0.517±0.189	+0.467±0.247
17	+0.570±0.181	+0.578±0.133	+0.693±0.116	+0.418±0.206	+0.508±0.192	+0.617±0.187	+0.200±0.257
18	−0.132±0.254	+0.619±0.132	+0.528±0.180	+0.507±0.199	+0.161±0.252	+0.564±0.189	+0.354±0.263
19	+0.545±0.212	+0.580±0.141	+0.688±0.124	+0.274±0.231	+0.593±0.157	+0.504±0.199	+0.429±0.226
20	+0.387±0.220	+0.634±0.145	+0.618±0.135	+0.279±0.233	+0.656±0.158	+0.478±0.206	−0.322±0.259
21	+0.245±0.260	+0.802±0.076	+0.634±0.141	+0.590±0.168	+0.132±0.272	+0.407±0.223	+0.524±0.210
22	+0.608±0.175	+0.741±0.103	+0.549±0.156	+0.626±0.157	+0.748±0.118	+0.596±0.161	−0.093±0.275
23	+0.506±0.215	+0.327±0.247	+0.559±0.158	+0.350±0.234	+0.374±0.249	−0.107±0.255	+0.538±0.205
24	+0.308±0.220	+0.638+0.133	+0.407±0.203	+0.672±0.158	+0.266±0.310	+0.871±0.070	+0.649±0.183
25	+0.286±0.246	+0.553±0.168	+0.509±0.180	+0.840±0.119	+0.634±0.173	+0.193±0.290	+0.630±0.174
26	+0.357±0.233	+0.588±0.175	+0.499±0.194	+0.421±0.260	+0.562±0.217	+0.505±0.206	+0.648±0.168
27	+0.374±0.259	+0.728±0.105	+0.695±0.129	+0.842±0.110	+0.733±0.128	+0.194±0.267	+0.574±0.186
28	+0.320±0.232	+0.543±0.176	+0.605±0.154	—	+0.292±0.253	+0.556±0.191	+0.507±0.215
29	+0.448±0.207	+0.676±0.132	+0.156±0.252	—	+0.590±0.181	+0.694±0.164	+0.640±0.171

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黄稿
30	+0.425±0.219	+0.584±0.160	+0.361±0.199	—	+0.482±0.243	+0.374±0.272	+0.359±0.276
總株	+0.219±0.043	+0.550±0.028	+0.398±0.034	+0.420±0.041	+0.331±0.043	+0.375±0.023	+0.293±0.046

（試驗地　臺中）

第四章　分蘖ノ早晩ト草丈トノ關係

第六編ニ於テ分蘖ノ開始早キモノハ生育日數長ク又本編第二章ニ於テ生育日數長キモノハ草丈高キコト瞭ナレハ分蘖ノ開始早キハ草丈高カルヘキコト勿論ナリト雖更ニ直接ニ其關係ヲ知ランカタメ第一期作及第二期作各7品種各30株ノ一本植ヲ行ヒ莖毎ニ分蘖日ト草丈ヲ測定セリ{草丈測定方法ハ株毎ニ引拔キ各莖共分蘖ノ分岐點ヨリ穗ノ頂點(芒ヲ除ク)迄ヲ測定シタリ}株別竝ニ總株ニツキ分蘖ノ順序ト草丈トノ相關現象ヲ調査セシニ第百七十四表ノ如シ

該表ニ據レハ第一期作ニ於テ極メテ少數ノ正値ヲ示スモノアレ共大多數ノ株ハ負値ニシテ第二期作ハ殆ト皆負値ナリ　總株ニ於テハ兩期作共負値ニシテ相關現象顯著ナリ　而シテ第二期作ハ第一期作ニ比シ一層顯著ナル傾向アリ　即チ上表ハ分蘖ノ遲ルル程其草丈短キヲ示スモノニシテ換言スレハ分蘖順序ノ早キモノハ隨ツテ草丈高シト云フコトヲ得ヘシ

第百七十四表　分蘖順序ト草丈トノ相關係數表

第一期作

大正十二年

株別	品種						
	烏尖	朮仔菁	白殼仔	高脚花蠟	早大花	中天仔	玉脚青
1	−0.860±0.048	−0.557±0.191	−0.499±0.201	−0.513±0.184	−0.550±0.210	−0.922±0.037	−0.163±0.260
2	−0.666±0.109	−0.670±0.147	−0.536±0.178	−0.735±0.119	−0.433±0.217	−0.132±0.246	−0.612±0.198
3	−0.514±0.150	−0.757±0.118	+0.114±0.273	−0.331±0.223	−0.684±0.154	−0.439±0.224	+0.271±0.279
4	−0.581±0.138	−0.453±0.252	−0.437±0.234	−0.349±0.207	−0.242±0.261	−0.697±0.149	−0.627±0.175
5	−0.290±0.210	−0.769±0.113	−0.447±0.207	−0.802±0.099	−0.079±0.287	−0.026±0.267	−0.247±0.313
6	−0.733±0.106	−0.684±0.142	+0.460±0.237	−0.786±0.121	−0.475±0.245	−0.413±0.201	−0.684±0.188
7	−0.789±0.089	−0.398±0.225	−0.561±0.190	−0.375±0.222	−0.367±0.250	−0.324±0.239	−0.293±0.323
8	−0.728±0.118	−0.293±0.244	−0.611±0.174	−0.539±0.205	−0.576±0.179	−0.509±0.205	−0.809±0.096

株別	品種						
	烏尖	鼎仔舊	白殼仔	高脚花蠟	早大花	半天仔	五脚齊
9	−0.877±0.048	−0.486±0.212	+0.246±0.272	−0.533±0.253	−0.414±0.262	−0.270±0.248	+0.250±0.313
10	−0.688±0.132	−0.484±0.231	+0.306±0.251	−0.402±0.265	−0.350±0.264	−0.264±0.258	−0.652±0.173
11	−0.550±0.165	−0.380±0.229	−0.199±0.257	−0.691±0.157	−0.405±0.279	−0.511±0.223	−0.776±0.126
12	−0.639±0.127	−0.528±0.186	−0.240±0.252	−0.488±0.211	−0.431±0.307	−0.575±0.185	+0.420±0.275
13	−0.015±0.243	−0.622±0.164	−0.815±0.097	−0.467±0.226	−0.598±0.193	−0.279±0.307	−0.431±0.258
14	−0.348±0.213	−0.628±0.168	−0.335±0.257	−0.252±0.259	−0.833±0.108	−0.650±0.154	+0.104±0.330
15	−0.521±0.170	−0.660±0.163	−0.802±0.113	−0.521±0.202	−0.075±0.300	−0.482±0.222	−0.654±0.181
16	−0.726±0.118	−0.027±0.333	−0.743±0.149	+0.081±0.351	−0.784±0.123	−0.683±0.143	−0.338±0.267
17	−0.564±0.156	+0.012±0.289	−0.628±0.168	−0.757±0.110	−0.811±0.121	−0.541±0.204	−0.353±0.264
18	−0.565±0.156	−0.547±0.211	−0.342±0.255	−0.157±0.270	−0.333±0.268	−0.611±0.174	+0.503±0.305
19	−0.507±0.181	−0.780±0.118	+0.245±0.272	−0.834±0.084	−0.512±0.234	+0.066±0.352	−0.614±0.197
20	−0.585±0.160	±0.000±0.333	−0.417±0.275	−0.595±0.187	−0.466±0.277	−0.333±0.255	−0.486±0.242
21	−0.554±0.159	−0.196±0.304	−0.422±0.228	−0.048±0.243	−0.460±0.263	−0.268±0.291	−0.597±0.243
22	−0.658±0.127	−0.389±0.245	−0.292±0.323	−0.640±0.171	−0.787±0.134	−0.139±0.347	−0.390±0.299
23	−0.676±0.132	−0.546±0.222	−0.804±0.112	−0.262±0.310	−0.567±0.240	−0.040±0.301	±0.000±0.316
24	−0.650±0.149	−0.674±0.182	−0.786±0.144	−0.208±0.277	−0.666±0.197	−0.092±0.331	−0.550±0.233
25	−0.580±0.171	+0.191±0.321	−0.336±0.296	−0.211±0.338	−0.460±0.263	±0.000±0.446	−0.227±0.387
26	−0.676±0.140	−0.598±0.227	−0.960±0.030	−0.300±0.288	−0.461±0.249	−0.623±0.250	−0.483±0.289
27	−0.349±0.201	−0.384±0.284	+0.318±0.318	−0.418±0.249	−0.713±0.164	−0.622±0.194	−0.751±0.154
28	−0.376±0.215	−0.793±0.112	−0.410±0.314	−0.317±0.339	−0.251±0.312	−0.741±0.184	−0.678±0.191
29	−0.698±0.124	−0.091±0.350	−0.608±0.223	−0.374±0.287	−0.643±0.207	−0.409±0.294	—
30	−0.875±0.059	−0.476±0.258	—	−0.143±0.310	−0.696±0.195	−0.221±0.259	—
總株	−0.477±0.032	−0.398±0.045	−0.222±0.053	−0.383±0.045	−0.294±0.053	−0.244±0.051	−0.245±0.058

（試驗地　臺中）

第二期作

株別	品種						
	格仔	清流	蔞仔	烏咬	大菁糯	高梨	黃糯
1	−0.477±0.135	−0.802±0.069	−0.520±0.159	−0.656±0.112	−0.787±0.090	−0.491±0.219	−0.578±0.178
2	−0.545±0.146	−0.826±0.064	−0.703±0.092	−0.604±0.154	−0.827±0.073	−0.715±0.115	−0.554±0.185
3	−0.654±0.128	−0.710±0.101	−0.722±0.102	−0.457±0.169	−0.865±0.058	−0.647±0.155	−0.672±0.137
4	−0.768±0.090	−0.809±0.073	−0.673±0.114	−0.759±0.093	−0.710±0.117	−0.791±0.086	−0.430±0.204
5	−0.514±0.184	−0.702±0.111	−0.556±0.147	−0.405±0.187	−0.609±0.163	−0.324±0.217	−0.735±0.112
6	−0.821±0.075	−0.667±0.111	−0.416±0.181	−0.732±0.104	−0.428±0.198	−0.373±0.259	−0.562±0.183
7	−0.635±0.145	−0.741±0.098	−0.726±0.101	−0.706±0.122	−0.432±0.271	−0.635±0.154	−0.537±0.190
8	−0.576±0.167	−0.784±0.082	−0.734±0.098	−0.240±0.252	−0.899±0.047	−0.800±0.104	−0.753±0.116
9	−0.724±0.115	−0.762±0.092	−0.723±0.107	−0.678±0.131	−0.851±0.069	−0.623±0.164	−0.703±0.131
10	−0.749±0.104	−0.644±0.128	−0.732±0.101	−0.701±0.114	−0.283±0.266	−0.190±0.267	−0.752±0.116
11	−0.567±0.152	−0.712±0.103	−0.710±0.106	−0.879±0.061	−0.651±0.167	−0.574±0.163	−0.618±0.165

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黃稿
12	−0.845±0.079	−0.827±0.071	−0.404±0.192	−0.500±0.182	−0.182±0.306	−0.272±0.257	−0.710±0.137
13	−0.738±0.111	−0.658±0.124	−0.860±0.060	−0.409±0.215	−0.575±0.162	−0.638±0.159	−0.670±0.153
14	−0.360±0.233	−0.726±0.103	−0.552±0.156	−0.195±0.233	−0.786±0.096	−0.526±0.187	−0.417±0.229
15	−0.716±0.112	−0.683±0.116	−0.330±0.190	−0.725±0.131	−0.689±0.152	−0.539±0.177	−0.686±0.137
16	−0.733±0.124	−0.763±0.085	−0.609±0.131	−0.470±0.208	−0.562±0.183	−0.550±0.180	−0.816±0.106
17	−0.583±0.176	−0.780±0.086	−0.785±0.087	−0.549±0.175	−0.764±0.108	−0.633±0.180	−0.739±0.121
18	−0.595±0.167	−0.650±0.140	−0.610±0.157	−0.766±0.110	−0.313±0.233	−0.861±0.072	−0.715±0.155
19	−0.487±0.230	−0.786±0.083	−0.849±0.066	−0.585±0.164	−0.777±0.096	−0.364±0.232	−0.694±0.144
20	−0.412±0.215	−0.857±0.064	−0.812±0.074	−0.539±0.177	−0.539±0.197	−0.814±0.090	−0.237±0.273
21	−0.694±0.144	−0.860±0.057	−0.476±0.182	−0.707±0.129	−0.530±0.199	−0.548±0.187	−0.538±0.205
22	−0.819±0.091	−0.762±0.096	−0.747±0.099	−0.572±0.174	−0.820±0.088	−0.072±0.257	−0.832±0.089
23	−0.885±0.063	−0.856±0.094	−0.743±0.103	−0.614±0.167	−0.697±0.149	−0.684±0.133	−0.744±0.129
24	−0.792±0.090	−0.799±0.083	−0.769±0.099	−0.639±0.171	−0.691±0.174	−0.678±0.156	−0.377±0.286
25	−0.449±0.213	−0.691±0.128	−0.650±0.140	−0.944±0.044	−0.657±0.164	−0.082±0.299	−0.876±0.067
26	−0.596±0.172	−0.745±0.119	−0.813±0.087	−0.758±0.135	−0.501±0.237	−0.451±0.221	−0.628±0.175
27	−0.927±0.042	−0.867±0.094	−0.826±0.079	+0.254±0.353	−0.646±0.161	−0.540±0.196	−0.546±0.203
28	−0.511±0.191	−0.812±0.085	−0.840±0.071	—	−0.867±0.069	−0.703±0.140	−0.444±0.232
29	−0.657±0.147	−0.671±0.137	−0.410±0.215	—	−0.796±0.101	−0.685±0.168	−0.816±0.097
30	−0.683±0.143	−0.653±0.148	−0.726±0.108	—	−0.627±0.192	−0.044±0.316	−0.357±0.276
總株	−0.492±034.0	−0.649±0.023	−0.575±0.027	−0.341±0.043	−0.613±0.030	−0.433±0.040	−0.514±0.037

（試驗地　臺中）

第五章　草丈ト穗重トノ關係

本編第二章ニ於テ生育日數長キハ草丈高ク且穗長大ナルノ結果ヲ示シ又第四編第二章ニ於テハ草丈高キハ穗長大ナルノ結果ヲ示セリ而シテ穗長ハ穗重構成ノ要素ナレハ是等ノ點ヨリ草丈ト穗重トノ間ニ密接ナル積極的相關關係アルハ想像スルニ難カラスト雖モ更ニ之ヲ具體的ニ闡明センカ爲メ第一期作及第二期作各7品種各30個體ニ就キ一本植ヲ行ヒ莖別ニ草丈ト穗重トヲ測定シ株別並ニ總株ニツキ相關現象ヲ調査セシニ第百七十五表ノ如シ　但第一期作ハ穗首稻熱病ニ罹リ結實不充分ナリシヲ以テ調査ヲ缺ク

第百七十五表　草丈ト穗重トノ相關係數表

第二期作

株別	品種						
	格仔	清流	蔓仔	烏咬	大菁稿	高梨	黃稿
1	+0.604±0.154	+0.679±0.100	+0.601±0.151	+0.694±0.101	+0.691±0.123	+0.841±0.085	+0.543±0.176
2	+0.702±0.106	+0.885±0.040	+0.774±0.073	+0.805±0.085	+0.783±0.080	+0.721±0.113	+0.884±0.058
3	+0.646±0.151	+0.820±0.066	+0.771±0.105	+0.527±0.154	+0.596±0.148	+0.767±0.110	+0.515±0.178
4	+0.628±0.147	+0.827±0.063	+0.651±0.140	+0.584±0.144	+0.640±0.139	+0.675±0.125	+0.908±0.044
5	+0.634±0.155	+0.538±0.159	+0.744±0.098	+0.485±0.171	+0.634±0.155	+0.461±0.191	+0.740±0.110
6	+0.607±0.199	+0.730±0.092	+0.532±0.160	−0.157±0.218	+0.524±0.176	+0.530±0.217	+0.586±0.170
7	+0.523±0.210	+0.663±0.122	+0.841±0.065	+0.332±0.146	+0.328±0.297	+0.695±0.134	+0.597±0.172
8	+0.511±0.185	+0.909±0.035	+0.634±0.131	+0.714±0.132	+0.808±0.084	+0.808±0.100	+0.789±0.101
9	+0.730±0.113	+0.598±0.140	+0.598±0.152	+0.551±0.169	+0.553±0.174	+0.275±0.247	+0.536±0.184
10	+0.591±0.168	+0.728±0.103	+0.472±0.170	+0.316±0.201	+0.546±0.203	+0.582±0.183	+0.165±0.260
11	+0.399±0.243	+0.508±0.151	+0.718±0.103	+0.956±0.023	+0.141±0.283	+0.853±0.066	+0.486±0.204
12	+0.502±0.207	+0.886±0.048	+0.721±0.110	+0.385±0.207	+0.628±0.147	+0.058±0.276	+0.778±0.109
13	+0.611±0.152	+0.769±0.080	+0.827±0.075	+0.280±0.212	−0.080±0.314	+0.542±0.189	−0.004±0.277
14	+0.002±0.316	+0.570±0.147	+0.876±0.052	+0.740±0.110	+0.532±0.179	+0.515±0.190	+0.351±0.243
15	+0.615±0.147	+0.918±0.034	+0.887±0.048	+0.527±0.200	+0.341±0.255	+0.366±0.216	+0.849±0.072
16	+0.779±0.109	+0.835±0.063	+0.698±0.118	+0.632±0.160	+0.414±0.222	+0.800±0.093	+0.891±0.065
17	+0.759±0.117	+0.843±0.063	+0.696±0.115	+0.640±0.148	+0.684±0.137	+0.577±0.201	+0.568±0.181
18	+0.729±0.135	+0.866±0.061	+0.711±0.124	+0.764±0.111	+0.370±0.223	+0.571±0.187	+0.727±0.142
19	+0.479±0.396	+0.886±0.046	+0.819±0.078	+0.534±0.179	+0.582±0.161	+0.375±0.230	+0.691±0.145
20	+0.708±0.166	+0.568±0.164	+0.790±0.082	+0.696±0.129	+0.629±0.167	+0.609±0.168	+0.443±0.232
21	+0.389±0.235	+0.934±0.027	+0.702±0.123	+0.366±0.224	+0.396±0.234	+0.514±0.179	+0.802±0.103
22	+0.592±0.217	+0.756±0.098	+0.524±0.162	+0.386±0.220	+0.667±0.148	+0.737±0.118	+0.771±0.112
23	+0.861±0.075	+0.762±0.116	+0.905±0.044	+0.579±0.178	+0.412±0.240	+0.596±0.161	+0.167±0.281
24	+0.827±0.088	+0.868±0.055	+0.883±0.055	+0.071±0.288	+0.262±0.310	+0.658±0.164	+0.806±0.111
25	+0.817±0.092	+0.894±0.049	+0.969±0.017	+0.819±0.134	+0.200±0.277	−0.004±0.301	+0.874±0.068
26	+0.805±0.106	+0.639±0.158	+0.754±0.111	+0.911±0.054	+0.507±0.235	+0.281±0.255	+0.651±0.167
27	+0.433±0.245	+0.717±0.109	+0.907±0.046	+0.476±0.292	+0.605±0.176	+0.676±0.150	−0.165±0.269
28	+0.242±0.252	+0.863±0.064	+0.739±0.121	—	+0.554±0.192	+0.708±0.138	+0.564±0.197
29	+0.657±0.171	+0.817±0.081	+0.489±0.203	—	+0.705±0.139	+0.791±0.118	+0.763±0.121
30	+0.498±0.201	+0.863±0.062	+0.846±0.065	—	+0.456±0.251	+0.456±0.183	+0.643±0.186
總株	+0.557±0.034	+0.760±0.017	+0.885±0.010	+0.426±0.040	+0.538±0.035	+0.596±0.032	+0.581±0.033

（試驗地　臺中）

上表ニ據レハ數値極メテ少キ5株ノ負値ヲ除ク外全部正値ニシテ且係數大ナリ　故ニ草丈ト穗重トノ間ニハ積極的ノ相關現象アリ從ツテ草丈高キハ穗重大ナルノ結果ヲ生スルモノト認メ得ヘシ　本項第一期作ノ調査ヲ缺クモ前後ノ關係ヨリシテ考査上大ナル誤ナキヲ信ス

而シテ第一期作ノ調査ヲ缺クノ止ムヲ得サリシコトニ關シ以下別ニ目下試驗中ノ他ノ研究題目中ヨリ本章ニ關係深キ事項ヲ引用補足シ所說ノ證明ニ資スヘシ

第百七十六表　草丈ト穗長、穗重及穗長ト穗重トノ相關係數

大正十二年第一期作

要項		反當三要素施用量（貫）										
		無肥	無	0.500	1.000	1.500	2.000	2.500	3.000	3.500	4.000	平均
窒素燐酸加里	草丈ト穗長	+0.427±0.082	+0.252±0.034	+0.257±0.033	+0.085±0.033	−0.214±0.035	−0.135±0.039	+0.378±0.086	+0.248±0.034	+0.312±0.030	+0.383±0.080	+0.774±0.091
	草丈ト穗重	+0.557±0.069	+0.350±0.088	+0.417±0.083	+0.322±0.030	+0.420±0.082	+0.573±0.067	+0.378±0.086	+0.058±0.100	+0.292±0.091	+0.579±0.066	+0.377±0.085
	穗長ト穗重	+0.649±0.058	+0.638±0.059	+0.748±0.044	+0.729±0.047	+0.685±0.053	+0.014±0.100	+0.689±0.052	+0.403±0.076	+0.648±0.058	+0.685±0.053	+0.592±0.062
	草丈ト穗長	但本欄窒素、燐酸加里ノ類別本項ニ關係ナシ	+0.352±0.088	+0.427±0.082	+0.151±0.038	+0.425±0.082	+0.321±0.030	+0.362±0.082	+0.172±0.097	+0.361±0.087	+0.270±0.093	+0.316±0.089
	草丈ト穗重		+0.371±0.086	+0.621±0.061	+0.184±0.097	+0.468±0.078	+0.205±0.096	+0.389±0.085	+0.206±0.096	+0.460±0.079	+0.308±0.090	+0.357±0.086
	穗長ト穗重		+0.675±0.054	+0.659±0.057	+0.711±0.049	+0.592±0.065	+0.511±0.074	+0.679±0.054	+0.567±0.068	+0.612±0.063	+0.606±0.063	+0.624±0.058
	草丈ト穗長		+0.347±0.088	+0.389±0.080	+0.419±0.082	+0.395±0.084	+0.436±0.081	+0.135±0.098	+0.454±0.079	+0.342±0.088	+0.274±0.092	+0.355±0.086
	草丈ト穗重		+0.293±0.091	+0.533±0.072	+0.242±0.094	+0.347±0.088	+0.280±0.092	+0.403±0.076	+0.535±0.071	+0.438±0.081	+0.236±0.094	+0.377±0.085
	穗長ト穗重		+0.725±0.047	+0.705±0.050	+0.659±0.057	+0.682±0.053	+0.543±0.070	+0.732±0.046	+0.720±0.048	+0.752±0.043	+0.604±0.063	+0.680±0.054

備考　品種　烏尖　　（試驗地　嘉義）

總平均

草丈ト穗長	草丈ト穗重	穗長ト穗重
+0.305±0.089	+0.381±0.084	+0.636±0.059

卽チ本成績ニヨレハ第一期作ニ於テモ草丈高キハ穗重大ナル結果ヲ生スルモノト認ノ得ヘシ

第六章　出穗ノ齊否ト穗重トノ關係

第四章ニヨリ分蘖順序早キモノハ草丈高ク遲キモノハ之ニ反シ又第五章ニヨリ草丈低キトキハ穗重小ナル傾向アルヲ知ル　隨ツテ遲レ穗ヲ多ク混スルトキハ平均穗重ヲ小ナラシムル結果ヲ生スヘシ

而シテ第六編第五章ニ據リ分蘖ノ順序ト出穗ノ順序トハ積極的ノ相關關係アルヲ以テ遲レ穗ハ出穗ヲ不揃ナラシムルノ原因トナリ之ニ

反シテ出穗齊一ナレハ遲レ穗ノ少キヲ意味シ一株ノ平均穗重ヲ大ナラシムルモノト認ムルコトヲ得ヘシ

第七章　分蘖ノ早晩ト一株穗重トノ關係

第一期作及第二期作各7品種各30株宛株別ニ一本植ヲ行ヒ一株中ノ最長莖及最短莖ニツキ藁重100ニ對スル穀重量ノ比率ヲ調査セシニ第百七十七表ノ結果ヲ得タリ

第百七十七表　一株中最長莖ト最短莖ノ藁對穀重量ノ比率

大正十二年

期作	品種	一株中最長莖ニ於ケル藁對穀ノ比率	一株中最短莖ニ於ケル藁對穀ノ比率	期作	品種	一株中最長莖ニ於ケル藁對穀ノ比率	一株中最短莖ニ於ケル藁對穀ノ比率
第一期作	烏尖	107.40±1.08	97.91±1.99	第二期作	格仔	缺如	缺如
	朮仔舊	111.59±1.30	108.62±2.04		清流	110.75±0.97	108.52±0.64
	白殼仔	111.04±1.37	106.15±1.65		蓑仔	110.95±1.24	97.70±1.25
	高脚花螺	94.39±0.29	96.631±1.43		烏咬	109.75±1.98	106.55±1.65
	早大花	110.52±1.41	98.171±1.81		大菁稿	75.30±1.15	81.55±1.46
	中天仔	107.74±0.87	106.54±1.59		高梨	110.45±1.79	105.80±1.75
	五脚齊	104.11±1.39	106.36±0.92		黃稿	102.15±1.18	89.80±1.85
	平均	106.68±1.35	102.66±1.62		平均	102.56±1.43	98.27±1.49

（試驗地　臺中）

上表ニ據レハ一株中最長莖ノ藁對穀ノ重量比率ハ最短莖ノ夫レニ比シ大ナリ　而シテ一株中草丈高キモノハ又分蘖早キ關係（第四章）アルヲ以テ結局分蘖ノ早キハ藁ニ對スル穀ノ比率高ク晩キハ之ニ反シ一株ノ經濟的穗重ヲ低下セシムルコトトナルヘシ

第八章　草丈ト子實重量トノ關係

子實ノ重量ハ充實ノ狀態並ニ粒ノ大小ニ關係スヘク隨ツテ一純系内ニアリテ生育可良ニシテ草丈高キ株ト然ラサル株ニ結實セルモノハ自ラ大小輕重ノ差アルヘシ草丈ト子實重量ノ關係ニツキ同一純系ニ屬スル100株ニツキ一莖毎ニ稈長並ニ之ニ結實セル玄米ノ平均重量ヲ測定シ兩形質間ノ相關現象ヲ調査セシニ第百七十八表ノ如シ

第百七十八表　草丈ト玄米千粒重量トノ相關係數

期作	品種	相關係數	摘要
第一期作	烏尖	+0.362±0.059	大正十三年調査
	白粳	+0.249±0.066	同 八年調査

(試驗地 臺中)

上表ニ據レハ草丈高キ株ニ結實セル米粒ハ草丈低キ株ニ結實セルモノヨリ千粒重量重キ傾向アリト認メ得ヘシ 之ヲ實例ニ徵スルニ臺中廳農會試驗場育種[1]成績ニヨレハ大正七年ノ第二期作ハ水利ノ關係上挿秧期遲延シ前年ニ比シ各品種共草丈低カリシカ第百七十九表ノ如ク玄米千粒ノ重量モ亦小サキ結果ヲ示シタリ 蓋シ同年ノ作柄ハ結實必スシモ不良ト認ム可カラサルニ前年ニ比シ千粒重量輕キハ勿論生理的作用ニ基因スト雖モ其結果ハ草丈ト子實重量ニ相關的ニ表ハレシモノト認メ得ヘシ

第百七十九表 各品種ノ年別草丈對玄米千粒重量

期作	品種	10系統平均草丈		10系統平均千粒重量	
		大正六年	同 七年	大正六年	同 七年
		寸	寸	瓦	瓦
第二期作	蓍稿	30.23	36.35	15.60	14.10
	五枝齊	36.51	29.34	19.25	18.50
	高梨	34.70	29.52	18.35	17.95
	黃稿	35.47	29.87	17.95	17.00
	烏咬	35.71	30.11	16.55	15.80
	岸仔	35.56	30.03	16.85	16.20
	烏踏	37.11	30.77	15.97	15.65
	格仔	31.02	28.45	16.21	15.75
	蔓仔	34.87	31.54	17.35	16.45
	大蓍稿	35.54	32.13	18.65	17.75
	反鹽朮	35.22	31.35	13.20	12.84
	高脚萬仔	33.02	28.22	16.50	15.75
	小蓍仔	32.64	29.30	16.50	15.95
	學種	33.02	31.04	17.15	16.15
	清流	33.15	28.20	15.70	15.25
	平均	34.85	30.41	16.81	16.07

(試驗地 臺中)

又大正十三年第一期作ニ於ケル苗代日數ト草丈ノ伸長性ヲ試驗セ

(1) 磯永吉、末永仁其他:一 稻育種事業第一輯(大正五年)乃至第四輯(大正八年) 臺中廳農會

ル材料ニ就キ玄米ノ大小ヲ調査セシニ第八十表ノ如ク草丈高キ株ニ結實セシ米粒ハ草丈低キ株ニ結實セシモノニ比シ大ナル傾向ヲ示シ又同年第一期作及第二期作トシテ栽培セル內地種水稻[1]184種ニ就キ調査セシニ其殆ト全部ニ亙リ第二期作栽培ニ係ルモノハ第一期作栽培ノモノニ比シ草丈低ク米粒小ナリ(第百八十一表)

第百八十表　草丈對玄米ノ大小トノ關係

大正十三年第一期作

苗代日數	草丈	玄米(粍)			
		長	幅	厚	長幅厚ノ積
	R				
30	4.15	5.534	2.694	1.912	28.505
35	4.22	5.482	2.694	1.888	27.883
40	4.05	5.536	2.676	1.878	27.821
45	3.98	5.500	2.662	1.858	27.203
50	3.54	5.500	2.670	1.846	27.108
55	3.81	5.490	2.672	1.834	26.903
60	3.64	5.458	2.622	1.846	26.418
65	3.44	5.464	2.584	1.810	25.555
70	3.30	5.428	2.586	1.816	25.491
80	3.57	5.390	2.558	1.828	25.204

(試驗地　嘉義)

備考

I. 播種期　二月十二日

II. 品種　烏尖

第百八十一表　草丈對玄米千粒重量

大正十三年

期作	草丈	千粒重量
	R	g
第一期作	3.35	23.47
第二期作	2.86	22.11

(試驗地　臺北)

備考　內地種184品種平均

以上ノ各成績ヲ總括シ草丈ト子實重量ノ間ニハ積極的相關現象アリ　草丈高キモノハ米粒大ナルモノト認メ得ヘシ

---

(1) 磯永吉:一　臺灣ニ於ケル內地種水稻栽培ニ就テ

第九章　各章摘要

以上各章ニ亙ル研究ノ結果ヲ綜合スレハ

I　穂重構成ニ直接關係アル形質ハ穂長,一穂粒數著粒疎密,籾ノ大サ及充實度,籾對玄米比率等トス

II　生育日數(分蘖ヨリ出穂迄若クハ挿秧ヨリ出穂迄)長キトキハ草丈高ク穂長大ナリ

III　分蘖ノ開始早キモノハ草丈高ク穂重大ナリ

IV　出穂齊一ナルモノハ遲レ穂少ク平均穂重大ナリ

V　遲レテ分蘖シタルモノハ早ク分蘖シタルモノヨリ藁ニ對スル籾ノ比率小ナリ　隨ツテ遲レ穂ハ經濟的穂重ヲ低下ス

VI　草丈高キ莖ニ結實セル子實ハ低キ莖ノモノヨリ重量大ナリ

第八編　育種並ニ耕種上ヨリ分蘖及穗重昂進ノ研究

以上分蘖及穗重構成ノ研究ヲ基礎トシ之カ昂進ノ方法ヲ考察スルニ要ハ挿秧後ノ分蘖ヲ早メ且分蘖ノ偏差ヲ小ナラシムルニアリ　蓋シ分蘖早キハ生育日數長ク隨ツテ有效分蘖、草丈、穗長大ニシテ子實重ク總穗重大ナリ　又分蘖偏差小ナレハ出穗齊一ニシテ遲レ穗ヲ生スルコト少ク平均並ニ經濟的穗重大ナリ　是レ卽チ分蘖及穗重ノ昂進ヲ圖ル本研究ノ全部ト謂テ可ナルヘシ　尤モ既ニ引用シタル各形質間ノ相關現象ハ係數完全ト謂フ可カラサルヲ以テ外界ノ異變ハ或形質ニ對シ特ニ影響ヲ及ホスコトアリト認ムヘキモ是等ハ本研究トシテハ枝葉ノ問題ニ屬ス

第一章　育種上ニ於ケル分蘖及穗重ノ昂進

育種ニ於テ分蘖穗重ノ昂進ヲ圖ルニハ第一交配ニヨリテ目的トスル新結合ヲ育成スルニアリ　此場合ニ於ケル遺傳現象ハ既ニ第三編特性ノ部ニ述ヘタリ　而シテ第二ハ在來種ヨリ目的ノ形質ヲ有スルモノ或ハ偶然變異ニヨリテ現ハレタルモノヲ選擇スルニアリ　此場合ニ於ケル分蘖及穗重ノ構成ハ

I　分蘖及穗重共ニ優ルコト

II　分蘖優リ穗重劣ルコト

III　穗重優リ分蘖劣ルコト

ノ三種ニ分チ得ヘク II. III ノ場合ニアリテモ優リタル形質カ劣レル形質ノ缺點ヲ償ウテ尙餘アル場合ニハ勿論育種ノ目的ヲ達シタルモノト謂フヲ得ヘシ　而シテ誤ナク選擇ノ目的ヲ達スルニハ分蘖及穗重ノ生物測定學的調査ヲ行フニアリ　然リト雖モ穗ハ種々ナル外障ノ爲ニ往々充實不完全ノモノヲ生シ穗重ノ調査ヲ困難ナラシム　殊ニ臺灣稻ニアリテハ出穗後穗首稻熱病ニ罹ルノ機會少カラス　隨ツテ穗重構成ノ直接要因タル穗長、一穗粒數、著粒、子實重等ニ就キ調査シ正確ヲ期スルヲ要スヘシ　而シテ

I　生育初期ニ於テ分蘖及草丈伸長旺盛ナルモノ

II　出穗偏差小ナルモノ

ヲ先ツ目標トシテ選擇ヲ行ヘハ自ラ分蘖,穗重ノ優レタルモノヲ選擇スルノ機會多カルヘシ　之ヲ臺中廳農會試驗場ニ於ケル育種ノ實際成績[1]ニ鑑ルニ同場系統分離ノ方式ハ生育中2回乃至3回　第一回ハ生育初期(挿秧ヨリ有效分蘖期ニ至ル期間)第二回ハ分蘖極期(生育中分蘖ノ最多ヲ示ストキ)第三回ハ出穗期(全株ノ八九割出穗セシ時)ニ圃場ニテ豫選シ該豫選系ヲ收穫シテ收量ヲ主トシ生育中ノ狀態其他ヲ加味シテ豐產ナルモノヲ選擇シ翌年ノ試驗用ニ供スルニアリ　而シテ各期ニ豫選セシ系統カ如何ナル割合ニテ選擇セラレシ哉ニツキ遡リテ調査スルニ第百八十二表ノ如ク第一回卽チ生育ノ初期ニ豫選セシモノノ割合最モ高率ノ結果ヲ示セリ　素ヨリ選擇法ハ全然收量ニノミ據リタルニ非ス又各回ノ豫選系數異ナルノミナラス第一回ニ豫選セシ殘餘ヲ第二回ニ更ニ其ノ殘餘ヲ第三回ニ豫選セシモノナレハ比較ノ意義ニ於テ聊カ不合理ノ點ナキニ非サルモ第一回ノ豫選ノ合格步合高率ナルハ又以テ成育ノ初期ニ旺盛ナルモノカ最後迄繼續スルコトノ大體傾向ヲ窺フニ足ルヘシ

第百八十二表　系統分離試驗ニ於ケル豫選回次別選擇系數

大正五年

期作	豫選回次	豫選系數	選擇系數	
			實數	步合
第一期作	1	1.500	578	38.0
	2	—	—	—
	3	241	53	22.0
第二期作	1	178	101	56.7
	2	1.202	453	37.7
	3	120	55	45.8

備考　本系數ハ第一,二期作共15品種ノ合計トス

第二章　耕種上ニ於ケル分蘖及穗重ノ昂進

I　苗ノ性質ト分蘖及穗重トノ關係

苗ノ良否カ稻ノ生育ニ影響ヲ及ホスコトハ古來稱ヘラルル所ニシテ坊間苗代半作ナル言アリ以テ如何ニ重要視セラルルカハ想像スル

(1) 磯永吉,末永仁其他:— 稻育種事業,第四輯, 臺中農會 (大正八年)

ニ難カラス　而シテ從來稱ヘラルル所ニヨレハ苗ハ强剛ナル熟苗ヲ以テ良苗トセリ吾人ハ苗ノ良否ニツキ正當ナル見解ヲ得ンカタメニ各種ノ試驗ヲ行ヒタリ　卽チ先ツ苗代ノ日數カ稻ノ分蘖穗重其他ノ形質ニ如何ナル影響ヲ及ホス哉ニツキ栽培試驗ヲ行ヒタル結果第百八十三表ノ如シ

第百八十三表　苗代期間ノ長短カ分蘖出穗其他ニ及ホス影響

其ノ一　播種期ヲ一定シ挿秧期ヲ異ニシタル試驗

第一期作

大正九年　烏尖

要項	A	B	C	D	E	F	G
苗代日數	30	40	50	60	70	80	90
播種月日	1,16	1,16	1,16	1,16	1,16	1,16	1,16
挿秧月日	2,16	2,26	3,08	3,17	3,28	4,07	4,17
出穗月日	(5月) 27.90±0.255	31.06±0.322	(6月) 1.63±0.205	6.33±0.239	9.34±0.225	10.80±0.424	10.06±0.643
出穗標準偏差	±2.55±0.181	±3.22±0.228	±2.05±0.145	±2.39±0.170	±225±0.160	±4.24±0.301	±6.43±0.456
播種ヨリ出穗マデノ日數	130	134	135	141	143	144	144
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	100	94	85	81	73	64	54
草丈	30.1	27.7	27.2	28.9	32.4	24.8	22.8
分蘖本數	14.4	14.2	13.1	13.8	11.5	8.1	8.1
穗長	59	56	54	53	60	55	52

（試驗地　臺中）

大正十年　烏尖

要項	A	B	C	D	E	F	G
苗代日數	30	41	51	63	70	80	90
播種月日	1,18	1,18	1,18	1,18	1,18	1,18	1,18
挿秧月日	2,17	2,28	3,10	3,22	3,29	4,08	4,18
出穗月日	(5月) 25.89±0.242	27.55±0.237	(6月) 1.38±0.238	6.38±0.241	6.13±0.245	11.48±0.290	11.11±0.309
出穗標準偏差	±2.42±0.172	±2.37±0.168	±2.35±0.167	±2.41±0.171	±2.45±0.174	±2.90±0.206	±3.09±0.219
播種ヨリ出穗マデノ日數	128	130	134	139	139	144	144
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	98	89	83	76	69	64	54
草丈	34.7	36.7	36.2	35.3	34.5	35.0	33.0
分蘖本數	23.0	21.6	16.4	13.8	14.0	13.2	10.0
穗長	60	59	58	54	53	57	58

（試驗地　臺中）

大正十一年　烏尖

要項	A	B	C	D	E	F	G
苗代日數	30	40	50	60	70	80	90
播種月日	1,15	1,15	1,15	1,15	1,15	1,15	1,15
挿秧月日	2,14	2,24	3,06	3,16	3,26	4,05	4,15
出穗月日	(5月) 21.20±0.356	24.93±0.261	2.930±0.270	(6月) 1.31±0.358	3.91±0.427	6.04±0.451	2.01±0.160
出穗標準偏差	±3.56±0.253	±2.61±0.185	±2.70±0.192	±3.58±0.255	±4.27±0.303	±4.51±0.319	±10.99 ±0.782
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	127	130	134	137	140	142	138
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	97	90	84	77	70	62	48
草丈	寸 29.5	31.0	30.4	30.2	31.6	31.9	29.4
分蘖本數	21.5	16.6	14.2	13.9	13.7	14.2	18.4
穗長	糎 58.0	58.0	54.0	63.0	62.0	60.0	46.0

（試驗地　臺中）

第二期作

大正八年　菁稿

要項	A	B	C	D	E	F
苗代日數	10	20	31	41	51	61
播種月日	7,10	7,10	7,10	7,10	7,10	7,10
挿秧月日	7,18	7,28	8,08	8,18	8,28	9,08
出穗月日	(10月) 17.73±0.121	16.62±0.164	17.01±0.161	19.66±0.205	22.42±0.268	26.79±0.316
出穗標準偏差	±1.207±0.086	±1.642±0.116	±1.609±0.114	±2.050±0.145	±2.680±0.190	±3.160±0.224
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	101	100	101	103	106	110
挿秧ヨリ出穗迄期ノ日數	91	80	70	62	55	49
草丈	寸 38.7	38.4	36.4	31.0	30.8	29.2
分蘖本數	14.1	11.6	10.1	9.5	17.2	14.4
穗長	糎 71.6	73.5	64.9	65.6	61.0	60.6

（試驗地　臺中）

大正九年　菁稿

要項	A	B	C	D	E
苗代日數	14	24	37	47	58
播種月日	7,07	7,07	7,07	7,07	7,07
挿秧月日	7,21	7,31	8,13	8,23	9,03
出穗月日	(10月) 4.77±0.135	8.35±0.145	9.20±0.181	9.18±0.182	15.61±0.312
出穗標準偏差	±1.35±0.096	±1.45±0.103	±1.81±0.128	±1.82±0.129	±3.12±0.221
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	89	93	94	94	100
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	75	69	57	47	42
草丈	寸 44.0	35.2	33.9	33.7	28.3
分蘖本數	10.4	11.1	10.8	10.6	15.3
穗長	糎 75	75	70	72	62

（試驗地　臺中）

大正十年　菁稿

要項	A	B	C	D	E	F	G
苗代日數	12	20	30	40	50	60	70
播種月日	7,07	7,07	7,07	7,07	7,07	7,07	7,07
挿秧月日	7,19	7,27	8,06	8,16	8,26	9,05	9,15
出穗月日	(10月) 8.29±0.148	8.19±0.120	11.28±0.152	12.71±0.138	16.73±0.178	22.41±0.274	22.37±0.277
出穗標準偏差	±1.48±0.105	±1.20±0.088	±1.52±0.108	±1.38±0.098	±1.78±0.126	±2.74±0.194	±2.77±0.196
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	93	93	96	98	102	107	107
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	81	73	66	58	62	47	37
草丈	寸 35.6	33.2	31.8	28.8	26.4	24.2	21.9
分蘖本數	13.4	12.1	11.8	8.9	10.0	15.3	17.3
穗長	糎 70.1	72.5	66.4	64.6	60.9	50.5	47.0

（試驗地　臺中）

大正十一年　菁稿

要項	A	B	C	D	E	F	G
苗代日數	20	30	40	50	60	70	80
播種月日	6,25	6,25	6,25	6,25	6,25	6,25	6,25
挿秧月日	7,15	7,25	8,04	8,14	8,24	9,03	9,13
出穗月日	(9月) 30.53±0.098	(10月) 10.8±0.073	30.6±0.099	7.85±0.133	11.25±0.150	14.63±0.202	19.25±0.288
出穗標準偏差	±1.34±0.055	±1.27±0.052	±1.72±0.070	±2.30±0.092	±2.59±0.107	±3.49±0.138	±4.99±0.207
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	97	98	100	105	108	112	116
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	77	68	60	55	48	42	36
草丈	寸 43.9	42.3	35.4	33.4	28.2	24.8	21.8
分蘖本數	11.7	13.0	10.1	11.6	15.9	16.0	6.0
穗長	糎 75.3	75.6	72.3	72.3	57.9	44.7	49.7

（試驗地　臺中）

第一期作

大正十三年　烏尖

要項	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
苗代日數	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75
播種月日	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12
挿秧月日	3,13	3,18	3,23	3,28	4,02	4,07	4,12	4,17	4,22	4,27
出穗月日	6,03	6,05	6,05	6,06	6,04	6,06	6,09	6,09	6,12	6,13
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	112	114	114	115	113	115	118	118	121	122
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	82	79	74	70	63	60	59	53	51	47
草丈	寸 41.5	42.2	40.5	39.8	35.4	38.1	36.4	34.4	33.0	35.7
穗長	糎 66.1	64.0	64.7	71.9	64.5	64.4	65.4	60.6	65.0	65.9
分蘖本數	29.9	25.9	26.9	26.8	24.1	27.4	25.5	26.4	27.6	25.6
穗重	瓦 2.54	2.24	2.50	2.95	2.34	2.23	2.23	2.01	2.18	1.89
輕反當收量	瓦 4.600	4.207	4.099	3.834	3.378	3.791	3.593	3.488	3.812	3.050

（試驗地　嘉義）

大正十三年　都（内地種）

要項	A	B	C	D	E	F	G	H
苗代日數	15	20	25	30	35	40	45	50
播種月日	7,11	7,11	7,11	7,11	7,11	7,11	7,11	7,11
挿秧月日	7,26	7,31	8,05	8,10	8,15	8,20	8,25	8,30
出穗月日	9,14	9,19	9,24	10,01	10,11	10,13	10,16	10,20
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	65	70	75	82	92	94	97	101
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	50	50	50	52	57	54	52	51
草丈	寸 34.4	32.5	26.6	24.0	23.5	21.3	20.8	20.5
穗長	分 66.6	64.0	52.5	50.7	48.2	52.5	52.1	52.9
分蘖本數	14.4	14.8	20.0	20.5	22.7	18.6	14.6	15.0
穗重	瓦 2.97	2.41	1.69	1.57	1.25	1.30	1.27	1.26
籾反當收量	石2.912	3.050	2.317	1.866	1.457	0.769	0.775	0.512

（試驗地．嘉義）

其ノ二　播種期ヲ異ニシ挿秧期ヲ一定シタル試驗

第一期作

大正十二年　烏尖

苗代日數	草丈	分蘖	出穗期	出穗期標準偏差	挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	摘要
30	寸 41.6	23.4	(5月) 30.12±0.14	±1.40±0.10	81	
40	43.2	22.5	28.10±0.12	±1.20±0.09	79	
50	40.5	21.6	24.91±0.17	±1.73±0.12	76	
60	39.3	21.1	22.99±0.20	±1.96±0.14	74	
70	—	—	—	—	—	發芽不良廢棄
80	34.4	21.5	14.12±0.46	±4.62±0.33	65	
90	34.1	19.4	14.33±0.57	±5.75±0.41	65	
100	—	—	—	—	—	發芽不良廢棄

備考　1. 挿秧三月十日．

（試驗地　臺中）

大正十三年　都（内地種）

要項	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
苗代日數	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
播種月日	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12	2,12
挿秧月日	2,27	3,03	3,08	3,13	3,18	3,23	3,28	4,02	4,07	4,12
出穗月日	5,08	5,08	5,12	5,14	5,16	5,19	5,06	5,16	5,08	5,08
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	86	86	90	92	94	97	84	94	86	86
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	71	66	65	62	59	57	39	44	31	26
草丈	寸 34.1	33.5	33.6	33.2	35.0	32.4	32.0	31.5	29.5	28.9
穗長	分 66.2	68.1	68.0	69.3	65.1	59.4	70.1	65.6	68.5	67.6
分蘖本數	14.2	14.0	15.3	16.9	17.5	13.6	16.2	17.6	18.7	12.1
穗重	3.44	3.48	3.20	3.39	2.75	2.23	3.04	2.71	3.23	2.79
籾反當收量	石3.960	4.035	3.907	3.560	3.448	3.283	3.133	3.565	2.579	1.384

（試驗地　嘉義）

第一期作

大正十三年　烏尖

要項	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
苗代日數	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65
播種月日	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11	7.11
挿秧月日	7.31	8.05	8.10	8.15	8.20	8.25	8.30	9.04	9.09	9.14
出穗月日	10.14	10.14	10.15	10.18	10.20	10.20	10.22	10.24	10.24	—
播種ヨリ出穗期迄ノ日數	95	95	96	99	101	101	103	105	105	—
挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	75	70	66	64	61	56	53	50	45	—
草丈	寸43.1	44.9	44.8	45.9	44.2	38.8	34.4	33.8	30.1	24.1
穗長	分74.5	76.1	75.6	73.7	70.8	70.6	68.3	67.2	65.5	56.8
分蘖本數	15.6	16.8	16.7	17.0	16.3	24.3	20.8	20.8	19.7	11.6
穗重	瓦2.52	2.56	2.49	2.46	2.07	2.29	1.84	1.71	1.73	1.00
籾反當收量	石3.178	3.953	3.510	3.419	3.808	3.526	2.849	2.424	1.445	0.101

（試驗地　嘉義）

大正十三年　烏尖

苗代日數	草丈	分蘖	出穗期	出穗期標準偏差	挿秧ヨリ出穗迄ノ日數	摘要
	寸		(5月)			
30	35.6	26.8	30.84±0.10	±0.96±0.07	83	
40	35.6	26.2	27.57±0.16	±1.61±0.11	80	
50	35.2	21.4	27.56±0.27	±2.67±0.19	80	
60	35.4	21.9	20.41±0.30	±3.00±0.21	73	
70	35.2	20.4	18.34±0.35	±3.46±0.24	71	
80	34.5	22.9	14.54±0.44	±4.44±0.31	68	
90	33.2	20.5	3.88±0.61	±6.06±0.43	57	
100	31.1	21.1	(4月) 22.90±0.93	±9.26±0.66	46	

備考　1. 挿秧三月七日　　（試驗地　臺中）

大正十四年　臺中特二號（神力系內地種）

區別	播種月日	挿秧月日	栽培面積	草丈 平均價	草丈 標準偏差	分蘖	穗長 平均價
	(十四年)		坪	cm			cm
三十日苗	2.18	3.20	10	89.51±0.572	±6.77±0.405	18.8	197.80±1.497
四十日苗	2.08	3.20	10	89.67±0.480	±5.88±0.339	18.0	193.94±1.378
五十日苗	1.29	3.20	10	88.66±0.486	±6.23±0.344	17.2	190.38±1.445
六十日苗	1.19	3.20	10	88.19±0.445	±6.05±0.315	17.7	186.19±1.297
七十日苗	1.09	3.20	10	87.92±0.449	±6.02±0.317	17.3	190.20±1.461
八十日苗	(十三年) 12.30	3.20	10	86.74±0.511	±6.05±0.362	16.2	180.36±1.477

區別	穗長 標準偏差	一穗重量	一穗粒數	出穗期 平均價	出穗期 標準偏差	挿秧ヨリ出穗マデノ日數
		瓦		(月日)		
三十日苗	±16.54±1.039	1.8	91.7	6,13.53±0.451	±4.05±0.319	86
四十日苗	±16.59±0.974	1.8	90.6	6,10.87±0.450	±4.43±0.313	83
五十日苗	±18.22±1.022	1.8	92.1	6,08.77±0.400	±5.44±0.283	81
六十日苗	±16.15±0.917	1.8	85.9	6,03.95±0.422	±6.24±0.229	76
七十日苗	±19.21±1.033	1.8	80.9	6,03.49±0.482	±6.57±0.341	75
八十日苗	±18.21±1.044	1.8	79.2	6,02.86±0.633	±8.08±0.447	75

(試驗地 臺中)

第二期作

大正十二年 菁稿

苗代日數	草丈	分蘖	出穗期	出穗期標準偏差	挿秧ヨリ出穗迄ノ日數	摘要
	寸		(月日)			
10	—	—	—	—	—	發芽不良廢棄
20	32.4	13.4	13.63±0.15	±1.55±0.11	71	
30	31.3	13.9	10.07±0.19	±1.59±0.13	68	
40	30.9	13.9	5.51±0.17	±1.69±0.12	64	
50	31.5	14.6	4.57±0.16	±1.64±0.12	63	
60	31.5	15.6	5.37±0.23	±2.27±0.16	63	
70	30.2	15.3	5.05±0.25	±2.46±0.17	63	

備考 1. 挿秧八月三日

(試驗地 臺中)

大正十四年 臺中特二號 (神力系內地種)

區別	播種月日	挿秧月日	栽培面積	草丈 平均價	草丈 標準偏差	分蘖	穗長 平均價
			坪	cm			mm
二十日苗	7,26	8,25	10	60.08±0.448	±5.80±0.316	18.1	159.45±1.202
三十日苗	7,16	8,25	10	60.29±0.449	±6.65±0.353	17.2	157.99±1.112
四十日苗	7,06	8,25	10	56.32±0.447	±5.83±0.316	17.2	151.74±1.089
五十日苗	6,26	8,25	10	53.40±0.426	±5.50±0.301	15.7	141.48±0.945
六十日苗	6,16	8,25	10	51.23±0.430	±5.86±0.304	22.0	139.30±0.943
七十日苗	6,06	8,25	10	52.53±0.429	±6.21±0.303	21.5	141.26±1.009

區別	穗長 標準偏差	一穗重量	一穗粒數	出穗期 平均價	出穗期 標準偏差	挿秧ヨリ出穗マデノ日數
		瓦		(月日)		
二十日苗	±15.46±0.893	0.9	70.7	10,28.05±0.270	±4.23±0.191	64
三十日苗	±14.24±0.786	1.0	70.8	10,27.98±0.369	±4.76±0.261	64
四十日苗	±13.11±0.770	0.9	64.8	10,23.06±0.458	±5.16±0.323	59
五十日苗	±11.38±0.668	0.9	54.8	10,20.32±0.481	±5.98±0.340	56
六十日苗	±11.23±0.666	0.8	56.8	10,20.15±0.559	±9.26±0.395	56
七十日苗	±13.16±0.714	0.8	61.8	11,02.07±0.594	±9.94±0.420	69

(試驗地 臺中)

上表ヲ仔細ニ觀察スレハ次ノ如キ事實ヲ認ムルコトヲ得ヘシ

I　播種ヨリ出穗迄ノ日數ハ苗代日數短キモノ程短ク苗代日數長キニ從ツテ漸次延長ス

II　挿秧ヨリ出穗迄ノ日數ハ苗代日數短キモノ程長ク苗代日數長キニ從テ漸次短縮ス

III　出穗ハ苗代日數短キモノ程齊一ニシテ苗代日數長キニ從テ不齊ナル傾向アリ

IV　草丈ハ苗代日數短キモノ程高ク苗代日數長キニ從テ低下スル傾向アリ

V　穗長ハ草丈ト同一ノ傾向アレトモ顯著ナラス　他要素ノ干涉セルタメナルヘシ

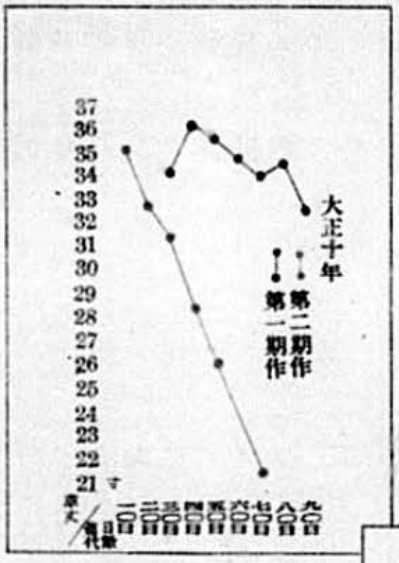
VI　分蘖本數ハ第一期作ハ苗代日數短キモノ程多ク苗代日數長キニ從テ漸次減少スルノ傾向アリ　第二期作ハ顯著ナラス寧ロ苗代過度ニ長キモノ分蘖多キ結果ヲ示セリ　然レトモ此場合ニ於ケル分蘖ハ遲穗ニシテ實用上價値ナク變調ノ生育ヲ示セルモノナリ

VII　其I播種期ヲ一定シ挿秧期ヲ異ニシタル試驗成績ト　其II播種期ヲ異ニシ挿秧期ヲ一定シタル試驗成績ハ傾向同一ナリト雖モ程度ニ差アリ例ヘハ第百八十三表ニ示スカ如シ　蓋シ其Iハ挿秧後ニ於ケル氣温及氣温系　其IIハ苗代時代ノ氣温及氣温系ノ相似タル傾向ノモノカ重複シテ生育上良好又ハ不良ナル影響ヲ與ヘ或ハ相反スル傾向ノモノカ相反援シ生育上ニ現ハルル結果ヲ相殺セル關係ニヨルモノナラン

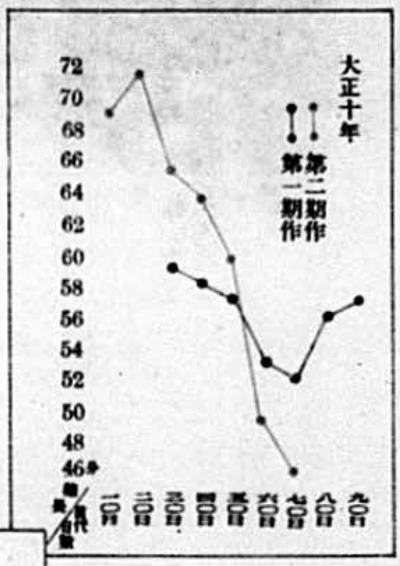
以上ノ結果ヲ綜合スルニ第九圖乃至第十三圖ニ示スカ如ク苗代日數ノ短キモノハ長キモノニ比シ挿秧ヨリ出穗迄ノ日數長ク草丈高ク穗長分蘖優レ出穗齊一ナリ

而シテ苗代日數ノ短キハ苗ノ性質幼若ナルコトヲ意味スルヲ以テ苗ニヨル分蘖穗長ノ昂進ハ苗ノ若キ程可良ナリト云フヲ得ヘシ　上表中最モ若キ苗カ顯著ナル成績ヲ缺キ往々各形質ニ就キ劣レル觀アレトモ之ハ苗ノ過小ナル結果他要素ニ支配セラレシモノト認メラル隨ツテ實際問題トシテハ幼若ノ苗ハ動モスレハ軟弱ニ陷リ易ク挿秧ニ際シ植傷ミ等ノ故障ヲ生シ易キヲ以テ幼若ナル性質ニ加ヘ强剛ナル苗タラサル可カラサルハ論ヲ俟タス

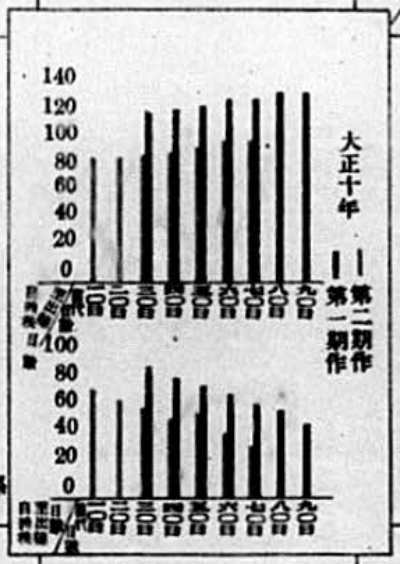
第十圖　苗代日數ト草丈トノ關係



第十一圖　苗代日數ト葉長トノ關係

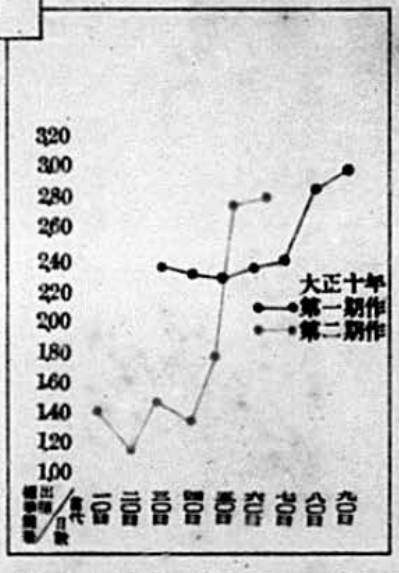


第九圖
苗代日數ト生育日數トノ關係



第十二圖　苗代日數ト分蘖トノ關係

第十三圖
苗代日數ト出穂標準偏差トノ關係



備考　出穂標準偏差ハ(土)トス

2. 苗ノ大小ト分蘖及穂重トノ關係

同一苗代ニ生育スル苗ニシテ強大ナルモノト弱小ナルモノトアリ蓋シ假令同一純系ニアリテモ種子個々ノ後作用異ナルヘク又一本ノ苗ノ占有スル空間肥養分等ニ差異アルカタメナリ　而シテ大苗ト小苗トノ挿秧後ノ關係ニ就キ大正十年ヨリ大正十二年迄施行セシ試驗ノ結果ハ第百八十四表ノ如シ

本試驗ニ供用セシ大苗トハ分蘖セサル苗ニシテ太ク且長キ苗ヲ意味シ第一期作ノモノハ苗丈6寸5分,葉數5枚,葉幅2分　第二期作ノモノハ苗丈1尺,葉數5枚,葉幅1分5厘ヲ標準トスル熟苗ニシテ小苗ハ大苗ヲ採用シタル苗代ヨリ採擇シ細長キ熟苗ニシテ第一期作ノモノハ苗丈6寸,葉數4枚,葉幅1分5厘　第二期作ノモノハ苗丈8寸,葉數5枚,葉幅1分2厘ヲ標準トシタルモノナリ　而シテ1坪49株,1株1本植トセリ調査株數ハ各200株トス

本試驗ノ調査ハ草丈,分蘖,穂長,出穂期等ニシテ穂重ノ調査ヲ缺クト雖モ穂重ト穂長トノ相關關係ハ第百五十八表ニ示スカ如ク第一期作平均+0.459±0.074　第二期作平均+0.474±0.077　又第百七十六表ニ於テハ第一期作平均+0.633±0.057ニシテ積極的關係顯著ニシテ穂長ハ穂重ヲ構成スヘキ主要ナル要素ノ一ナルヲ以テ苗ノ大小ト穂長トノ關係ハ隨ツテ穂重トノ關係ト見ルモ大過ナカルヘシ

第百八十四表ニ據レハ成績區々ニシテ俄ニ結論ヲ下ス可カラス蓋シ強大ナル苗ハ過熟ニ陷リ易ク弱小ナル苗ハ又植傷ミヲ受ケ易シ斯ル不明瞭ナル性質ヲ有スルモノヲ外觀ノミヲ以テ分別スルモ判別ニ苦シム結果ヲ生スヘキハ想像スルニ難カラス

從來大苗ヲ可トシ小苗ヲ否トスルカ如キハ植傷ミ等ノ點ヨリ觀察セシ單純ナル理由ニ外ナラサルモノ多カル可シ

第百八十四表　苗ノ大小カ分蘖及穂長ニ及ホス影響

第一期作

年次	區別	播種月日	挿秧月日	草丈	分蘖	穂長	出穂期	出穂標準偏差	挿秧ヨリ出穂マデノ日數	生育日數
大正				寸		分				
10	大苗	1,17	3,11	43.07	15.34	63.21	(5月) 30.99±0.20	±1.98±0.140	81	167
	小苗	1,17	3,11	43.07	23.73	62.23	(6月) 3.55±0.20	±2.04±0.145	85	171
11	大苗	1,15	3,06	42.63	11.39	70.87	(5月) 25.64±0.12	±1.20±0.085	81	162
	小苗	1,15	3,06	42.78	11.45	72.06	29.65±0.13	±1.28±0.091	85	171

年次	區別	播種月日	挿秧月日	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差	挿秧ヨリ出穗期マデノ日數	生育日數
大正				寸		分	(5月)			
12	大苗	1,15	3,10	34.84	18.83	64.29	26.58±0.15	±1.54±0.109	78	159
	小苗	1,15	3,10	32.50	18.58	63.86	31.52±0.17	±1.73±0.123	83	164

(試驗地 臺中)

備考

1. 品種烏尖
2. 調査個體數 200株

第二期作

年次	區別	播種月日	挿秧月日	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差	挿秧ヨリ出穗期迄ノ日數	生育日數
大正				寸		分	(10月)			
10	大苗	7,16	8,13	33.45	16.14	64.05	12.94±0.28	±2.75±0.095	61	121
	小苗	7,16	8,18	31.61	17.60	61.51	16.22±0.18	±1.81±0.128	64	124
11	大苗	7,08	8,09	39.21	13.63	74.43	5.49±0.12	±1.16±0.082	57	122
	小苗	7,08	8,09	35.18	13.25	70.76	9.43±0.23	±2.28±0.162	61	127
12	大苗	7,07	8,05	38.89	14.56	68.34	5.64±0.16	±1.63±0.116	62	123
	小苗	7,07	8,05	37.88	15.84	65.22	7.66±0.17	±1.71±0.121	64	123

(試驗地 臺中)

備考

1. 品種菁稿
2. 調査個體數200株
3. 出穗調査方法 第二編第三章調査標準ニ據リタリ
4. 出穗標準偏差計算法 特定シタル數字ヲ以テ平均價並ニ標準偏差ヲ計算シ平均價ニアリテハ相當スル月日ニ置換シタリ 一例ヲ擧クレハ略算法ニヨリ

V 出穗期日		特定數字	F 株數	V−G	F(V−G)	F(V−G)²
6月	29日	1	2	−2	−4	8
6	30	2	3	−1	−3	3
7	1	3	8	0	0	0
7	2	4	5	+1	+5	5
7	3	5	2	+2	+4	8
			20		+2	24

$$\text{平均價}M=\frac{\Sigma F(V-G)}{n}+G=\frac{+2}{20}+3=3.1$$

$$\text{標準偏差}\sigma=\sqrt{\frac{\Sigma F(V-G)^2}{n}-C^2}=\sqrt{\frac{24}{20}-\left(\frac{2}{20}\right)^2}=\pm1.09$$

出穗期日 = 7月01.1日　同標準偏差 = ± 1.09

3 分蘖苗、非分苗ト分蘖及穗重トノ關係

分蘖苗ハ一般ニ强剛ニシテ非分蘖苗ハ强剛ノ點ニ於テ分蘖苗ニ及

ハサルハ特ニ説明ヲ要セサル所ニシテ此兩苗カ分蘖及穗重ノ昂進ニ影響ヲ及ホス點ハ前項苗ノ大小ト分蘖及穗重トノ關係ニ就テ推察スルコトヲ得ヘシ　而シテ此關係ハ大正十年ヨリ大正十三年迄ノ4箇年ノ成績タル第百八十五表ニ據リ知リ得ヘシ

本試驗ニ供用セシ苗ハ同一苗代ヨリ採擇シ非分蘖苗ハ第一期作ノモノハ苗丈6寸2分、葉數4枚、葉幅1分7厘　第二期作ノモノハ苗丈9寸、葉數5枚、葉幅1分3厘　分蘖苗ハ3本苗ニシテ母莖ハ第一期作苗丈ハ6寸5分、葉數5枚、葉幅2分　第二期作ノモノハ苗丈1尺、葉數5枚、葉幅1分5厘ノモノヲ標準トシテ採擇セリ　而シテ非分蘖苗ハ1坪49株ノ方形1株3本植トシ分蘖苗ハ單植トス　栽植面積ハ各々10坪3組ニシテ草丈、分蘖、穗長、出穗期ハ各200株ニツキ調査シ其他ハ各組栽培面積ヲ平均シ之ヲ反當ニ換算セルモノトス

第百八十五表　分蘖苗ト非分蘖苗カ稻ノ生育ニ及ホス影響

期作	年別	區別	播種月日	挿秧月日	草丈	分蘖	穗長	出穗期	出穗標準偏差	生育日數	籾一升重量	反當收量（實）籾	藁	藁	籾指數
					寸		分				瓦				
第一期作	大正10	非分蘖	1,15	3,08	35.8	15.8	56.0	(6月) 2.45±0.16	±2.31±0.117	170	276	92.900	3.530	105.800	100.0
		分蘖	1,15	3,08	35.8	20.3	57.0	2.20±0.14	±2.01±0.102	165	270	107.400	2.350	114.000	115.6
	11	非分蘖	1,15	3,12	35.7	20.1	57.0	2.11±0.22	±2.23±0.158	171	275	87.210	1.180	110.000	100.0
	〃	分蘖	1,15	3,12	34.5	18.1	61.8	4.01±0.18	±1.78±0.126	173	275	94.410	1.780	110.500	108.3
	12	非分蘖	1,14	3,10	37.5	25.0	66.7	(5月) 26.00±0.11	±1.52±0.076	165	271	126.600	1.800	—	100.0
		分蘖	1,14	3,10	35.4	26.2	61.2	24.48±0.10	±1.41±0.070	163	271	137.100	1.800	—	108.9
	13	非分蘖	1,13	3,07	35.2	21.8	59.5	22.96±0.19	±2.61±0.131	163	236	78.983	3.974	91.225	100.0
	〃	分蘖	1,13	3,07	35.0	23.1	60.5	17.25±0.18	±2.53±0.127	157	240	76.719	2.440	108.440	97.1
第二期作	10	非分蘖	7,07	8,08	33.5	18.4	67.0	(10月) 11.98±0.09	±1.21±0.061	129	267	84.000	4.200	93.000	100.0
		分蘖	7,07	8,08	34.8	14.7	74.0	8.58±0.07	±0.94±0.047	125	270	100.800	3.000	114.000	120.2
	11	非分蘖	7,07	8,13	37.8	18.9	71.1	7.70±0.10	±1.04±0.074	125	267	80.000	0.570	96.060	100.0
	〃	分蘖	7,07	8,13	42.1	15.3	79.8	5.55±0.10	±1.05±0.074	123	266	94.880	0.980	110.130	118.6
	12	非分蘖	7,07	8,03	30.7	17.5	61.8	8.16±0.13	±1.31±0.093	125	270	69.412	4.117	73.529	100.0
	〃	分蘖	7,07	8,03	39.8	19.1	77.6	1.68±0.10	±0.99±0.070	119	270	97.647	3.235	108.823	140.7
	13	非分蘖	7,07	7,24	23.4	16.1	71.1	2.84±0.10	±0.98±0.070	120	271	82.622	2.459	130.327	100.0
	〃	分蘖	7,07	7,24	45.4	13.6	76.7	(9月) 30.30±0.08	±0.85±0.060	117	271	89.016	1.967	132.786	107.7

備考　1. 第一期作ハ烏尖、第二期作ハ著稿

上表ニ據レハ分蘖苗ハ非分蘖苗ニ比シ分蘖本數ハ大差ナキモ穗長優リ出穗齊一ナル結果ヲ示セリ　又全生育日數（播種ヨリ成熟迄）短キモ

挿秧後ノ分蘖開始速ナルヲ以テ本田ニ於ケル發育日數(挿秧ヨリ出穗迄)長カルヘシ　是レ分蘖苗カ非分蘖苗ニ比シ全生育日數短キニモ拘ラス成績可良ナル所以ナルヘキ乎

本章耕種上分蘖及穗重ノ昂進ニ關シ苗代日數ノ長短カ分蘖出穗其他ニ及ホス影響,苗ノ大小ト分蘖及穗重トノ關係及本項分蘖苗,非分蘖苗ト分蘖及穗重トノ關係ノ各成績ヲ綜合シテ考査スレハ苗ノ性質ハ幼若ニシテ分蘖苗カ有スルカ如キ特性ヲ保持スルモノヲ最モ良苗ト認ムルニ至ルヘシ　而シテ幼若ナル苗ノ效果ハ同一氣温系ノ下ニ於テハ早生種トナルニ從ツテ一層顯著トナリ臺灣種ニ比較シテ概シテ甚シク早生種タル內地種ニ對シテハ幼若苗ノ效果特ニ大ナリ　而シテ期作トノ關係ハ第一期作ヨリ中間作,第二期作ニ至ルニ從ヒ又地方的ニハ北部ヨリ中南部地方ニ至ルニ從ツテ顯著ナルモノト認ムルニ至ルヘシ(第三編第二章ノ2及第六編)卽チ强健ナル若苗ノ養成ハ臺灣稻作上最モ重要ナル事項ニシテ在來種ハ依之收量增加ノ餘地ヲ有シ內地種ハ依之臺灣各期作ヲ通シ適種トシテ成立スルニ至ルヘシ

4　植付株間距離ト分蘖及穗重トノ關係

植付ノ疎密ニ關シテハ吉川氏[1]ハ之ヲ左右スヘキ重要ナル事項ハ分蘖,一穗重量及稈長ニアリトナシ分蘖ト一穗重要量トノ積及稈長ヲ異品種ニ就キ比較シテ其適度ヲ決定スヘキトナシ　安藤氏[2]ハ品種ノ移植本數ニ對スル莖數增加率竝ニ之ニ對スル穗重トニヨリテ定マルヘキモノトセリ

植付間距離ノ適否ハ分蘖穗重ニ影響スルコト少カラサルカ如シ卽チ植付株間試驗ニ於テ坪49株(方8寸5分)ト坪16株(方1尺5寸)ニ植付ケタルモノニ就キ比較スルニ第百八十六表ノ如シ

第百八十六表　植付株間距離カ分蘖穗長ニ及ホス影響

期作	株間(方)	大正十年 一株 分蘖	大正十年 一株 穗長	大正十年 一坪 分蘖	大正十年 一坪 穗長	大正十一年 一株 分蘖	大正十一年 一株 穗長
			分		分		分
第一期作	1尺5寸	56.60±1.29	66.26±0.51	905.6	1060.2	30.39±0.43	77.10±0.43
	8寸5分	22.61±0.47	58.92±0.41	1126.7	2936.0	11.06±0.30	72.93±0.37

(1) 吉川祐輝:一稻ノ特性ト栽植ノ疎密　農事試驗場報告第十七號　農商務省(明治三十四年)

(2) 安藤廣太郎:一水稻ノ分蘖ト栽植疎密トノ關係試驗成績(農事試場報告第四十號)農商務省(大正十二年)

期作	株間(方)	大正十年 一株 分蘖	大正十年 一株 穗長	大正十年 一坪 分蘖	大正十年 一坪 穗長	大正十一年 一株 分蘖	大正十一年 一株 穗長
		本	分	本	分	本	分
第二期作	1尺5寸	44.49±1.09	62.09±0.41	711.8	993.4	36.05±0.85	72.86±0.63
	8寸5分	16.32±0.40	60.72±0.40	813.2	3025.7	13.23±0.49	72.38±0.49

期作	株間(方)	大正十一年 一坪 分蘖	大正十一年 一坪 穗長	大正十二年 一株 分蘖	大正十二年 一株 穗長	大正十二年 一坪 分蘖	大正十二年 一坪 穗長
		本	分	本	分	本	分
第一期作	1尺5寸	486.2	1233.6	50.10±0.96	73.83±0.57	801.6	1181.3
	8寸5分	551.1	3634.1	17.21±0.25	65.52±0.37	857.6	3264.9
第二期作	1尺5寸	576.8	1165.8	44.85±0.78	68.52±0.53	717.6	1096.3
	8寸5分	659.3	3606.7	15.33±0.38	67.61±0.48	763.9	3369.0

(試驗地 臺中)

備考

1. 供試品種 第一期作烏尖A_3 第二期作菁稿A_3
II. 栽培面積 各10坪
III. 植付苗數 一株一本
IV. 調査方法 第二編第三章調査標準ニ據リ各百株調査

上表ニ據レハ坪49株植ハ坪16株植ニ比シ1株ノ分蘖著シク少ク穗長稍短キ觀アルモ一坪ノ總分蘖ニ於テハ却テ大ナリ 隨ツテ一定面積ニ對スル總穗長ハ坪49株植著シク大ナリ 而シテ穗長ト穗重トノ間ニハ積極的ノ相關現象アルヲ以テ結局前者ハ後者ニ比シ分蘖穗重大ナリ 仍テ植付株間ハ品種本來ノ特性ニ鑑ミ適當ナル距離タラシメサル可カラス

5 耕耘肥培ト分蘖穗重トノ關係

苗ノ養成 植付株間カ分蘖穗重ニ及ホス影響ハ既ニ述ヘタリ其他ノ耕耘肥培ノ巧拙モ亦分蘖穗重ノ昂進低下ニ關係ヲ及ホスハ論ヲ俟タス 例ヘハ速效肥料ヲ早期ニ施用スレハ養分ノ補給持續セス爲ニ分蘖ノ優リタルニ比シ穗長比例セス 植付深キハ淺キニ比シ分蘖劣リ生育不充分ナレハ結實シタル子實小ナル等耕耘肥培ノ如何ハ分蘖穗重ニ關係ヲ及ホスヘキヲ以テ地方的ニ是等ニ對スル研究ノ必要アルヘシ

第九編　臺灣稻ノ品質構成ニ關スル研究

第一章　品質構成ノ原因

品質ノ良否ハ內因及外因ニヨリテ決セラルヘキハ勿論ニシテ此直接要因ハ　I.保存ニ堪ヘ得ルコト　II.歩減少キコト　III.滋養ニ富ムコト　IV.食味可良ナルコト　V.外觀美麗ナルコト等ノ條件ニ適合スヘキ要素タラサル可カラス　而シテ此點ニ關シテハ第一編第十二章玄米品質ノ定義ノ部ニ於テ詳報セルヲ以テ玆ニハ省略スト雖モ調査上ノ項目トシテハ　I.腹白　II.罅破　III.剛性　IV.一升重量　V.形狀ノ整否　VI.米色　VII.色澤　VIII.堅溝ノ深淺等重要ナル事項ナルヘシ而シテ以上ノ各項ハ素ヨリ內因ニ因ルト雖モ亦外因ノ影響少カラサルヲ以テ調査上留意スル所ナカルヘカラス卽チ腹白ハ收穫期ニヨリ罅破ハ乾燥ニヨリ、剛性一升重量、色澤ハ乾燥ノ程度ニヨリ異ナルコトハ旣ニ述ヘタル所ナリ育種上ニ於ケル品質ノ向上ハ第一交配ニヨリテ目的トスル新結合ヲ育成スルニアリ　第二ニハ在來種中ヨリ目的ノ形質ヲ有スルモノヲ選擇スルニアリ　而シテ選擇ノ標準トシテハ勿論前記各形質ニ亙リテ良質ノモノヲ吟味スルニアリト雖モ一般的目標トシテハ出穗偏差小ナル性質ヲ具備スルモノヲ選擇スルヲ要ス是レ出穗偏差小ナルモノハ腹白罅破少ク色澤可良ナルノ傾向アルカタメナリ

第百八十七表ハ成熟セル稻穗ニ就キ一穗ノ穗先、中央、穗元各10粒中ノ罅破腹白ノ割合ヲ百穗宛調査セルモノナリ

第百八十七表　一穗中穗先、中央、穗元別罅破並腹白歩合

罅　破（%）　　大正七年

供試品種	罅破粒數歩合			罅破（百中）								
				穗先			中央			穗元		
	穗先	中央	穗元	龜裂一	龜裂二	龜裂三	龜裂一	龜裂二	龜裂三	龜裂一	龜裂二	龜裂三
烏尖	6.24	4.77	2.98	67.0	29.2	3.8	79.6	19.1	1.3	84.6	14.7	0.7
早大花	75.25	60.00	30.06	29.0	42.3	28.7	26.4	46.2	27.4	29.2	49.0	21.8
低脚花蓮	23.75	22.50	20.00	90.0	10.0	0	96.0	2.0	2.0	75.0	25.0	0

（試驗地　臺中）

腹白歩合（%）　大正七年

供試品種	穂先	中央	穂元
烏尖	6.20	4.76	2.99
早大花	30.00	15.00	2.50
低脚花蠶	21.30	16.00	15.00

（試験地　臺中）

上表ニ據レハ㷔破腹白共ニ穂先ニ最モ多ク次ニ中央部ニシテ穂元最モ少キ傾向アリ　蓋シ一穂ノ出穂シ始メテ之ヲ了スル迄ニハ三,四日ノ時日ヲ要シ出穂早キ穂先ハ他ニ比シ過熟ニ陥リ易ク且粳ノ過熟ハ㷔破ヲ生シ易キノミナラス又容積大ナル割合ニ養分ノ集積不充分ナルカタメ腹白ヲ生セシ爲ナルヘシ

凡ソ稻ノ成熟ハ各分蘖莖ニヨリ又稻株ニヨリ相異ナルモノニシテ是等ハ一穂内ノ成熟ノ差ニ比シ頗ル大ナルモノアリ　隨テ熟期ノ大體觀察ニヨリ青米ノ混セサル程度ヲ標準トシテ收穫スル現時ノ作業狀態ニ在リテハ出穂早キモノハ大半既ニ過熟ニ陥リシモノト認ムヘシ而シテ出穂不揃ナレハ夫レ丈過熟歩合昂進シテ㷔破ヲ生スルコト多ク又腹白ノ數ヲ增加スヘキハ想像スルニ難カラス

摘　要

1.臺灣稻品種ノ大多數ハ南支那系ノモノニシテ明治三十九年乃至大正二年中現存セシ總數ハ1197ニシテ其中限定品種390ナリ　而シテ之カ特性ヲ調査研究シ系統的分類ヲ行ヒシニ第一期作72種(粳57.糯15)第二期作57種(粳41.糯16)中間作18種(粳14.糯4)陸稻28種(粳19.糯9)計175種ニ歸セリ(第五表第八表)而シテ品種ノ特性ハ又之ヲ內地稻品種ノ特性ト比較研究セリ(第二編.第三編)

2.期作ニヨル特性上ノ地位ハ熟期ノ早晩ニヨリ實用上ニ區分セラレタルモノニシテ永年繼續栽培中自然淘汰作用竝ニ人爲淘汰作用ニヨリ各栽培期ニ適應スルモノ殘存シ然ラサルモノ絕滅セシ結果ニ因ルモノナラン　而シテ第一期作.中間作.第二期作ノ順序ニ隨ツテ晩生性ナリ第二期作種ハ晩生種ナルカ故ニ第一期作トシテ栽培困難ナルモノニシテ第一期作種ハ早生種ナルカ故ニ方法ニヨリテハ第二期作トシテ栽培可能ナルモノト認ム(第三編第二章)

3.草丈ハ氣溫高ク且漸昇スル氣溫系ニ於テ最モ伸長ス　氣溫低ク漸降スル氣溫系ニ於テハ著シク低下ス　同一氣溫ニ於テハ漸昇氣溫系ノ場合ニ比シ漸降氣溫系ノ場合ハ草丈著シク低シ故ニ第二期作ノ植付ヲ遲延スルトキハ草丈低下シ生育上良好ノ成績ヲ擧クルコト難シ(第三編第二章)

4.分蘖ハ草丈ト異リ寧ロ氣溫低キトキハ其數多シ　故ニ第一期作ノ植付早キトキハ分蘖多ク遲ルルトキハ減少スル傾向アリ　第二期作ノ植付遲延スレハ分蘖增加スルモ無效分蘖多ク實益ナシ(第三編第二章)

5.生育期間中氣溫高キトキハ生育日數少ク第一期作ノ挿秧早ク氣溫低キトキハ生育日數多シ挿秧後漸降スル第二期作ノ如キ場合ニアリテハ假令氣溫低キモ生育日數短縮ス各期作ノ生育日數ハ第一期作最モ多ク中間作.第二期作ノ順序ニ從ツテ短シ　各期作ノ生育日數ヲ內地稻作ニ比較スレハ一般ニ短シ又概シテ內地稻作ニ比シ早晩ノ差相接近シテ少シ(第三編第二章.第四章)

6.臺灣稻ノ稈ハ概ネ脆剛ニシテ撓性ニ乏シク藁細工用トシテ內地稻ニ劣ル　稈長ハ普通3.5尺乃至4.0尺ニシテ第一期作ハ第二期作ニ比

シ稍長シ稈ノ太サハ概シテ稍細ク又第二期作種ハ第一期作種ニ比シ稍細シ（第三編第六章）

7.稈ノ伸長性ニ關シテハ第一期作ハ挿秧後5日內外ニシテ發根シ10日內外ニシテ伸長ヲ開始シ第二期作ハ挿秧後1晝夜ニシテ既ニ發根シ5日內外ニシテ伸長ヲ開始ス　全生育期間ヲ通シ發育初期及出穗期ニ於ケル伸長ハ他ノ時期ニ比シ速カナリ　而シテ此傾向ハ第一期作ハ第二期作ニ比シ顯著ナリ（第三編第六章）

8.分蘖ハ挿秧後第一期作ハ15日內外第二期作ハ10日內外ニシテ開始シ有效分蘖終期ハ第一期作ハ45日內外,第二期作ハ35日內外,分蘖極期ハ第一期作ハ60日內外,第二期作ハ50日內外ニテ達ス　臺灣稻ノ分蘖數ハ之ヲ內地稻ニ比較スルニ大差ナシ　而シテ第二期作種ハ他期作種ニ比シ多蘖ノ傾向ヲ有ス（第三編第六章）

9.稈長,穗長及分蘖ノ遺傳ニ關シ大稻（長稈,少蘖）×烏尖（短稈,多蘖）ノF_2ノ分離狀態ニヨリ多元性ト認ムヘキ成績ヲ得タリ　而シテF_1ノ稈長及穗長ハ著シク大トナリ雜種勢ニ歸スヘキモノト認メタリ（第三編第六章,第十章）

10.稈色ノ遺傳ニ關シ紅鬚（暗紫色）×格仔（綠色）ニ於テ紫色優性ニシテF_2ハ3:1ノ簡單ナル分離ヲナシ又大稻（綠色）×烏尖（綠色）ニ於テF_1ハ紫色F_2ハ紫色9:綠色7ノ分離ヲナシ紫莖ニハ二ツノ補足因子ノ關係スルコトヲ認メタリ（第三編第六章）

11.稻ノ開花順序ハ一穗ニ於テハ先端粒先ツ開花シ順次下部ニ向フ一枝梗內ニアリテハ穗ノ場合ト同樣ノ傾向アリ　一小枝梗及主枝內ニ於テハ前者ト異ナリ先端粒先ツ開花シ次ニ最後端粒ニ移リ順次先端ニ向フ傾向アリ（第三編第七章）

12.臺灣ニ於ケル開花ハ大約第一期作ハ午前九時乃至正午,第二期作ハ午前十時乃至午後二時迄ニ開花シ第二期作ハ第一期作ニ比シ時刻遲ル　兩期作ヲ通シ晝間十一時乃至正午ヲ中心トシテ開花シ其時刻ニ於ケル開花密度大ナリ　開花時間ハ1時間內外ヲ普通トシ第一期作ハ第二期作ニ比シ稍短ク又開花時刻早キトキハ比較的開花時間長ク遲キトキハ之ニ反スル傾向アリ　一穗ノ開花日數ハ第一期作ハ約5日內外,第二期作ハ7日內外ニシテ第一期作ハ第二期作ニ比シ短シ　一枝梗ノ開花日數ハ2日內外ヲ普通トス（第三編第七章）

13.臺灣稻ハ陸稻中數種ヲ除ク外一般ニ完全ナル有芒ト認メ得ルモノ殆トナシ　芒ノ發達ハ出穗期ノ濕度ニ關係スルカ如ク多濕ナル第一期作ニ於テ有芒トナル品種モ乾燥セル第二期作ニ於テハ無芒トナル例多シ

芒ノ遺傳ニ關シ格仔(無芒)×紅鬚(有芒)ニ於テ有芒優性ニシテF_2ノ分離比 15:1 ヲ示シ紅鬚ヲ形成スル芒ハ二元形質ナルヲ認メタリ(第三編第八章)

14.稃色ノ遺傳ニ關シ雄町(白殼)×落忍(烏殼)ニ於テF_1白殼F_2白殼13:烏殼3ヲ生シ雄町ニ於テ抑制因子ノ存在ヲ認ムヘキ結果ヲ得　又大稻(白殼)×烏尖(烏殼)ニ於テF_1烏殼F_2烏殼9:白殼7ヲ生シ補足因子ノ存在ヲ認ムヘキ成績ヲ得タリ(第三編第九章)

15.臺灣稻ノ穗長、一穗粒數ハ內地稻ト大差ナキモ著粒ハ稍疎ナリ　其最モ異ナル形質ハ穗重ニシテ著シク輕シ　而シテ其主ナル原因ハ內地種ニ比シ籾米ノ小粒ナルニアリ(第三編第十章)

16.臺灣稻一株ノ出穗日數ハ普通10日內外ニシテ一穗ノ出穗始メヨリ完了スル迄ノ時間ハ60乃至70時間ヲ要シ第二期作ハ第一期作ヨリ稍少キ傾向アリ　一日中ニ於ケル出穗進行ハ夜半ヨリ早朝ニ於テ緩漫ニシテ晝間ニ於テ迅速トナル　第一期作ノ出穗ハ第二期作ニ比シ稍不齊ナリ(第三編第十章)

17.早晩兩種ノ交配ニ於テ出穗期ノ遺傳ハF_1ハ中間性F_2ニ於テハ兩親ノ出穗期ニ跨カリ更ニ限界ヲ越エ之ヨリ早キモノ及晩キモノヲ生シ復因子ニ由リ支配セラルト認ムヘキ成績ヲ得タリ(第三編第十章)

18.臺灣種玄米ハ內地種玄米ニ比シ著シク小粒長形ナリ(但數種ノ例外アリ)而シテ第二期作米ハ第一期作米ニ比シ更ニ小粒長形ナル傾向アリ　臺灣米ハ品質トシテハ長形米ハ圓形米ニ比シ優良ナルモノ多シ(但糯ハ例外トス)(第三編第十一章)

19.臺灣米ハ之ヲ飯トスル場合粘氣甚ク食味淡白ニシテ不良ノモノ多シ　適度ノ飯ヲ得ルニ要スル炊爨水量ハ內地米ハ米ト等容量ナルニ對シ臺灣米及混糯臺灣米ハ3割增ノ水量ヲ以テ適當トス　而シテ特ニ密閉セル高溫裝置ニヨリ炊爨スルトキハ粘力ヲ增シ混糯臺灣米ニ於テハ2割增ノ水量ニテ良飯ヲ得タリ　然レトモ未タ內地米ニ及ハス

釜殖ハ同一量水加減ニアリテハ重量殖ハ內地米ト差ナク容量殖ハ內地米ニ比シ少シ　而シテ各適度ノ水加減ニアリテハ容量殖ハ內地米ニ等シク重量殖ハ臺灣米大ナリ（第三編第三章）

20.糯米ハ最初硝子質狀ヲ呈スレトモ乾燥シテ或程度水分ヲ放散スレハ白化ス而シテ其限界水分率ハ 14.0 % 乃至 15.0 % ナルカ如シ　市場出廻糯米中ニ混在セル硝子質ノ米粒ハ絕對ニ白化セサル粳性ノモノ大部分ヲ占メ乾燥不足ノタメ白化ニ至ラサルモノ多少アリ粳性米粒ノ成因ハ主トシテ粳稻トノ間ニ自然雜種ノ形成セラレタルニヨルヘシ（第三編第三章）

21.玄米ノ大サ竝形狀ノ遺傳ニ關シテハ F_1 ハ中間性ニシテ F_2 ノ分離狀態ニヨリ多元形質ナルモノト認メ得ル成績ヲ得　又不稔性ノ遺傳ニ關シテハ多元形質ヲ想像セシムヘキ結果ヲ得タリ（第三編第十一章）

22.子實ハ一般ニ脫落シ易ク而シテ脫粒難易ノ遺傳ハ優劣ノ關係ナク多元形質ナルカ如ク又 F_2 ニ於テハ難易共兩親ノ程度ヲ超逸スルモノヲ生スル場合多シ（第三編第十一章）

23.內地種ヲ永年臺灣ニ繼續栽培スルモ玄米ノ大サ形狀竝ニ品質臺灣種ニ近似スル傾向ナシ（第三編第十一章）

24.臺灣稻ノ籾及玄米ノ容重、籾對玄米ノ重量比率ハ內地稻ヨリ少ク又糯ハ粳ヨリ容重輕シ（第三編第十一章）

25.臺灣稻ノ籾ハ收穫後未乾燥狀態ニ於テ含水率第一期作 18 % 內外第二期作 15 % 乃至 16 % 內外ヲ普通トス　而シテ收穫當時晴天 3 日間（1石ノ籾ヲ1坪半ニ擴ケ南北畦ノ波形ニ乾シ30分ニ1回切扇シ3回扇シニテ畦ヲ移ス）天日乾燥スレハ 10 % 內外トナスコト難事ナラス而シテ籾摺直後ノ玄米ノ含水率ハ籾ノ含水率ヨリ 1.0 % 乃至 1.5 % 多ク又其差ハ乾燥ニ伴ヒ增加ス（第三編第十一章）

26.臺灣ニ於ケル貯藏用米穀ノ經濟的最小限度ノ乾燥ハ含水率、籾 11.5 % 內外玄米 13.0 % ナルヘシ（第三編第十一章）

27.籾ハ乾燥ニ伴ヒ重量ヲ減シ容重及籾摺步合ヲ增加ス　但籾ノ充實可良ナラサルトキハ容重ヲ減スルコトアリ　乾燥直後ノ籾ハ籾摺ニ際シ碎米ヲ生シ易シ故ニ四、五日間放置シ適熟セシメテ後籾摺ニ供スルヲ可トス（第三編第十一章）

28.含水率ノ異ナル籾及玄米ヲ貯藏スルトキハ其含水率ハ何レモ 13.5%乃至14.0%内外(玄米ハ稍多シ)ヲ目標トシテ相接近シ爾後外濕ノ高低ニ伴ヒ水分ヲ吸收又ハ放散シ目標ノ率ヲ中心トシテ彷徨ス 而シテ又含水率ハ貯藏期間永キニ亙ルニ從ヒ前記彷徨現象ヲ現シツツ全體トシテハ減少ノ傾向ヲ示ス 普通ノ場合目標ノ含水率ニ接近スルニハ二、三箇月ヲ要シ1箇年ヲ通シ五、六月前後ハ含水率最モ高ク十二、一、二月頃ハ低シ 貯藏前乾燥度高カリシモノハ外氣ノ乾燥ニ伴フ水分ノ放散銳敏ナルカ如ク又全貯藏期間ヲ通シ含水率幾分少シ(第三編第十一章)

29.籾摺時期ヲ異ニスル場合籾摺後ノ玄米含水率ハ貯藏當初增加ノ傾向大ニシテ籾摺時期遲キモノハ早キモノニ比シ貯藏期間ノ平均含水率少シ(第三編第十章)

30.貯藏米品質ノ變化ハ含水率ノ增減ニ伴ヒ含水率大ナレハ惡變速カナリ 籾摺時期ヲ異ニスル場合ニ於テ籾摺當時ノ玄米ハ概シテ品質良好ナルモ其後ニ於テ惡變速カトナル(第三編第十一章)

31.臺灣ハ氣温、濕度ノ關係上玄米貯藏困難ナリ 特ニ四、五、六月頃籾摺シタルモノハ貯藏最モ困難ナリ 八月以後籾摺ニシタルモノハ相當貯藏セラルルモ四月ニ近ツケハ貯藏期間短縮ス(第三編第十一章)

32.貯藏米ニ籾摺前乾燥ヲ充分ナラシムルコトノ必要ナルハ勿論ニシテ又可成籾貯藏ヲナシ必要ニ應シ玄米トナスヲ可トス(第三編第十一章)

33.壞破ノ生スル外因ハ出穗ノ不齊急激ナル乾燥、乾燥度ノ高キコトヲ主ナルモノトス 第一期作米ハ第二期作米ニ比シ壞破多シ 而シテ其原因ハ第一期作ノ成熟期竝ニ收穫期ノ高温ニシテ出穗ノ不揃ナル爲ナルヘシ 壞破ハ立毛中ニ於テモ認ムルコトアリ 一穗中ニ於ケル壞破ハ穗先粒ニ生シ易シ(第三編第十二章)

34.臺灣米ノ腹白歩合ハ一般ニ頗ル大ナリ 而シテ長形米ハ圓形米ニ比シ歩合少シ 一穗中ニ於ケル腹白米ノ分布、期作別腹白ノ多少ハ壞破ニ於ケル場合ト同樣ノ傾向ヲ認メラル(第三編第十二章)

35.臺灣米ノ剛性ハ一般ニ內地米ニ比シ稍小ナルカ如シ 而シテ糯ハ粳ヨリ剛性大ナリ 剛性ハ含水率ニヨリ左右セラレ含水率少キ程剛性大ナリ(第三編第十二章)

36.臺灣米ノ平均搗減ハ重量ニ於テ1割内外ト認メラルルモ乾燥可良ナルニ隨テ少キ傾向アリ（第三編第十二章）

37.臺灣米ノ色澤ハ硝子質ナルモノ及適期ニ收穫シタルモノハ概シテ透明的ニシテ粉狀質ナルモノ及收穫期ヲ失シタルモノハ鈍白又ハ暗鈍白ヲ呈ス　一般ニ第二期作米ハ純白ニシテ第一期作ハ鈍白ナリ　蓋シ栽培時期ノ氣温ニ伴フ内容充實ノ關係ヲ以テ主ナル原因トナスヘシ（第三編第十二章）

38.臺灣米素質改良ノ要點ハ(1)長形米ヲ選ヒ（最モ長キモノノ謂ニアラス）(2)出穗偏差ヲ小ナラシメ龜破腹白ヲ減シ光澤ヲ優良ナラシムルニアリ　而シテ内地市場ヲ目標トスル玄米ノ形狀ハ圓形米タラサルヘカラサルモ現存臺灣種中ニハ優良ナルモノナシ　從ツテ内地種ヲ全島ニ亙リ栽培スル方法ヲ研究スルコトハ緊急ナル事項ナリ（第三編第十二章）

39.分類及特性上ヨリ見タル收量上ニ於ケル臺灣稻改良ノ要點ハ(1)分蘖ヲ多カラシムルコト(2)穗ノ重量ヲ大ナラシムルコト（イ、大粒タラシムルコト、ロ、著粒ヲ密ナラシムルコト、ハ、一穗粒數ヲ增加スルコト）(3)肥料ニ對スル能率ヲ大ナラシムルコト(4)穗ノ脫粒ヲ少カラシムルコト等ナリ（第三編第十三章）

40.臺灣稻ノ藁對籾收量ハ伯仲ノ間ニアリ　一般ニ施肥量ヲ增加スルニ從ツテ籾ニ對スル藁ノ步合ヲ增加ス　而シテ其比率ハ第二期作種ハ第一期作種ニ比シ第一期作種ハ内地種ニ比シ各々大ナリ（第三編第十四章）

41.臺灣種第一期作及第二期作代表品種各7品種計14品種ヲ栽培シ純系内ニ於ケル形質間（總重量、出穗期、籾收量、分蘖、草丈、穗長、穗重、一穗粒數、著粒粗密、玄米千粒重量、米長、米幅、米厚、粒形、米粒ノ整否）ノ相關現象ヲ研究シ係數ヲ以テ之ヲ示セリ（第百四十七表、第百五十四表、第百五十五表）　而シテ是等ノ中相關現象顯著ト認メタルモノハ第百五十八表ノ如シ（第四編）

42.臺灣種70品種内地種67品種ヲ栽培シ異品種間ニ於ケル形質間（草丈、分蘖、穗長、穗重、一穗粒數、著粒粗密、玄米千粒重量）ノ相關現象ヲ研究シ係數ヲ以テ之ヲ示セリ（第百六十表、第百六十一表）（第四編）

43.子實收量ト積極的相關關係顯著ナル形質ハ總重量、分蘖、穗重、穗長、一穗粒數、著粒粗密ニシテ結局子實收量ハ大部分分蘖及穗重ニヨリ構

成セラルモノト看做シ得ヘシ（第四編、第五編）

44.穗重構成ニ直接關係アル形質ハ穗長、一穗粒數、著粒粗密、籾ノ大サ及充實度、籾對玄米比率等トス（第四編、第五編、第七編）

45.生育分蘖多キモノハ有效分蘖多シ　但其比率ハ分蘖多キニ隨テ低下ス（第六編）

46.分蘖開始早キモノハ發育旺盛ニシテ草丈高ク穗重大ニシテ有效分蘖多シ（第六編第七編）

47.分蘖齊一ナレハ出穗モ亦齊一ナリ出穗齊一ナレハ遲レ穗少ク平均及經濟的穗重大ナリ　而シテ遲レテ分蘖シタルモノハ早ク分蘖シタルモノヨリ蘖ニ對スル籾ノ比率少ク隨ツテ遲レ穗ハ經濟的穗重ヲ低下ス出穗齊一ナレハ米質優良トナル（第六編、第七編）

48.早ク分蘖シタル莖ハ生育期間長ク生育期間長キトキハ草丈高ク穗重大ナリ　而シテ其傾向ハ第二期作ハ第一期作ヨリ大ナリ　又高キ莖ニ結實セル子實ハ低キ莖ニ結實セルモノヨリ重量大ナリ（第三編第十章第六編、第七編）

49.分蘖及穗重昂進ノ方法ハ挿秧後ノ分蘖ヲ早メ且分蘖ノ偏差ヲ少カラシムルニアリ（第八編）

50.育種上ニ於テハ分蘖穗重ノ優レタルモノ或ハ一方ノ形質特ニ優リ他ノ劣リタル點ヲ償ウテ餘リアルモノヲ育成選擇スヘク而シテ生育中ニ於テハ(1)生育初期ニ於テ分蘖及草丈旺盛ナルモノ(2)出穗偏差小ナルモノヲ目標トシテ選擇ヲ行ヘハ自ラ分蘖穗重ノ優レタルモノヲ得ル機會多シ（第八編）

51.播種ヨリ出穗迄ノ日數ハ苗代日數短キモノ程短ク挿秧ヨリ出穗迄ノ日數ハ之ニ反ス

若苗ハ挿秧後ノ生育期間ヲ長カラシメ草丈分蘖ヲ增大シ出穗ヲ齊一ニシ品質ヲ優良ナラシメ穗重ヲ大ニシ收量ヲ增加ス　而シテ苗ノ性質ハ幼若ニシテ强健適當ナル乾物量ニ富ミ分蘖苗カ有スルカ如キ特性ヲ具備スルモノヲ最良トス（第三編第二章、第四章、第八編第二章、第九編）

52.植付密度ヲ異ニスル場合分蘖（穗數）ト穗長トノ關係ハ密植スレハ概シテ一株ノ分蘖及穗長ハ低下スレトモ一定面積ニ對スル總分蘖數及總穗長ハ反ツテ大トナル　但自ラ限度アリ故ニ穗數增加ノ割合

カ穂長低下ノ割合ヨリ大ナル場合ハ一定面積ニ對スル穂重ハ增加ス　仍テ植付密度ハ品種ノ特性及氣象ニ應シ適當ナル距離タラシメサルヘカラス（第八編第二章）

備考　本研究ハ項目多岐ニ亙レルヲ以テ摘要ニ於テハ煩雜ヲ避クルタメ可成育種上及耕種上實用的關係特ニ深キモノヲ記載スルコトトセリ